

ぐんまネイチャー・ポジティブ戦略 (2026-2030)

別冊資料 — アンケート調査 —

案

1 県民アンケート調査

調査概要

調査対象者	18歳以上の群馬県在住者	実施期間	2025（令和7）年6月9日から6月16日
調査方法	インターネット調査	回収数	2,344名

調査結果分析方法

アンケート調査結果の分析には、①回答者の年代、②居住地域、③居住地域の状況の3つの軸を用いました。また、「居住地域」と「居住地域の状況別」の内訳は次のとおりです。

居住地域

中毛	前橋市、渋川市、榛東村、吉岡町、伊勢崎市、玉村町
西毛	高崎市、安中市、藤岡市、神流町、上野村、富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町
東毛	太田市、大泉町、館林市、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町、桐生市、みどり市
北毛	沼田市、片品村、川場村、みなかみ町、昭和村、中之条町、東吾妻町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村

の居住地域 の状況別

農村・山村

農村・山村以外

市街地、古くからある住宅地、新興住宅地、工場地帯

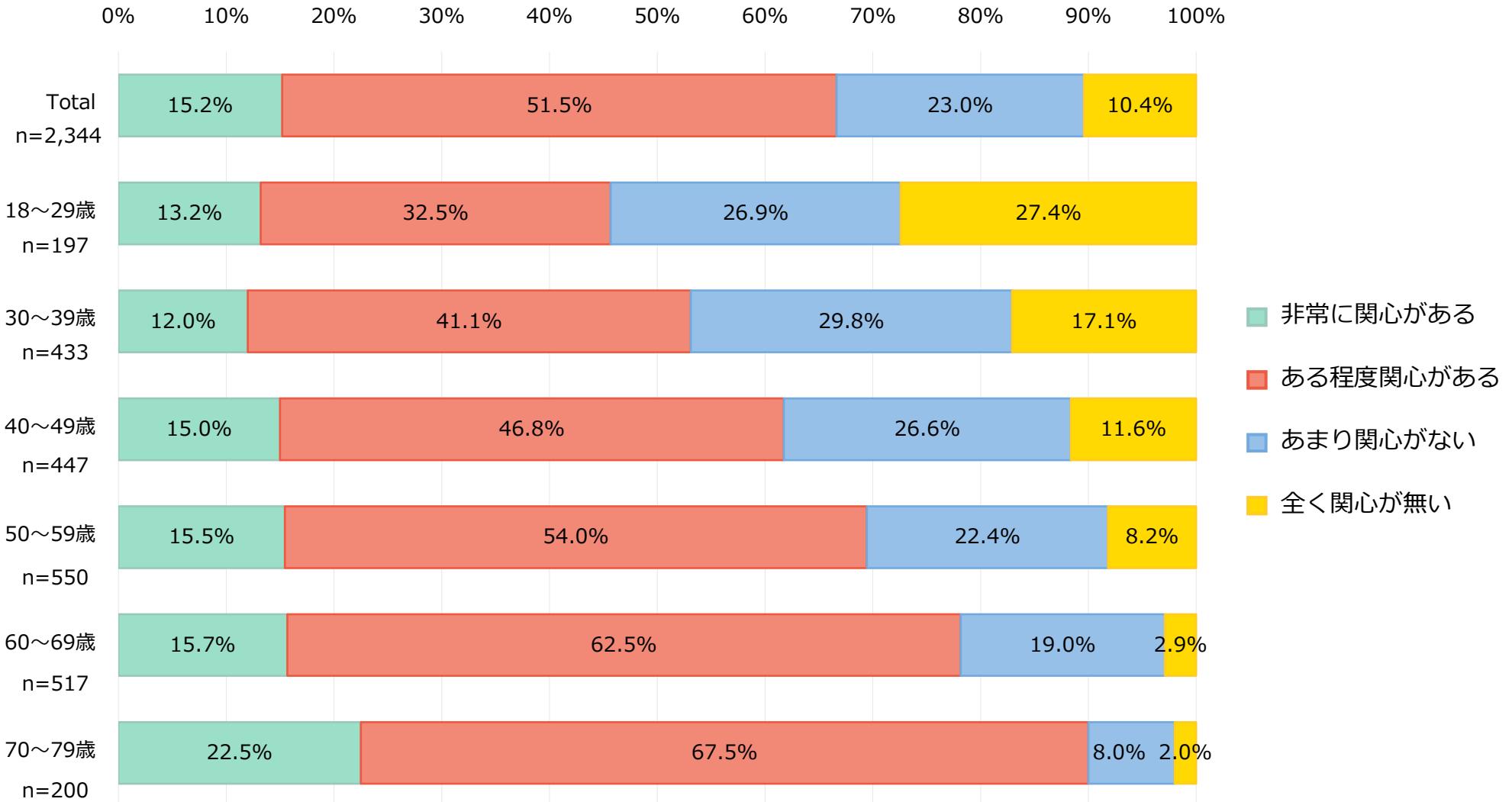
※図表数値（%）は、四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないことがあります。

1 自然に対する関心

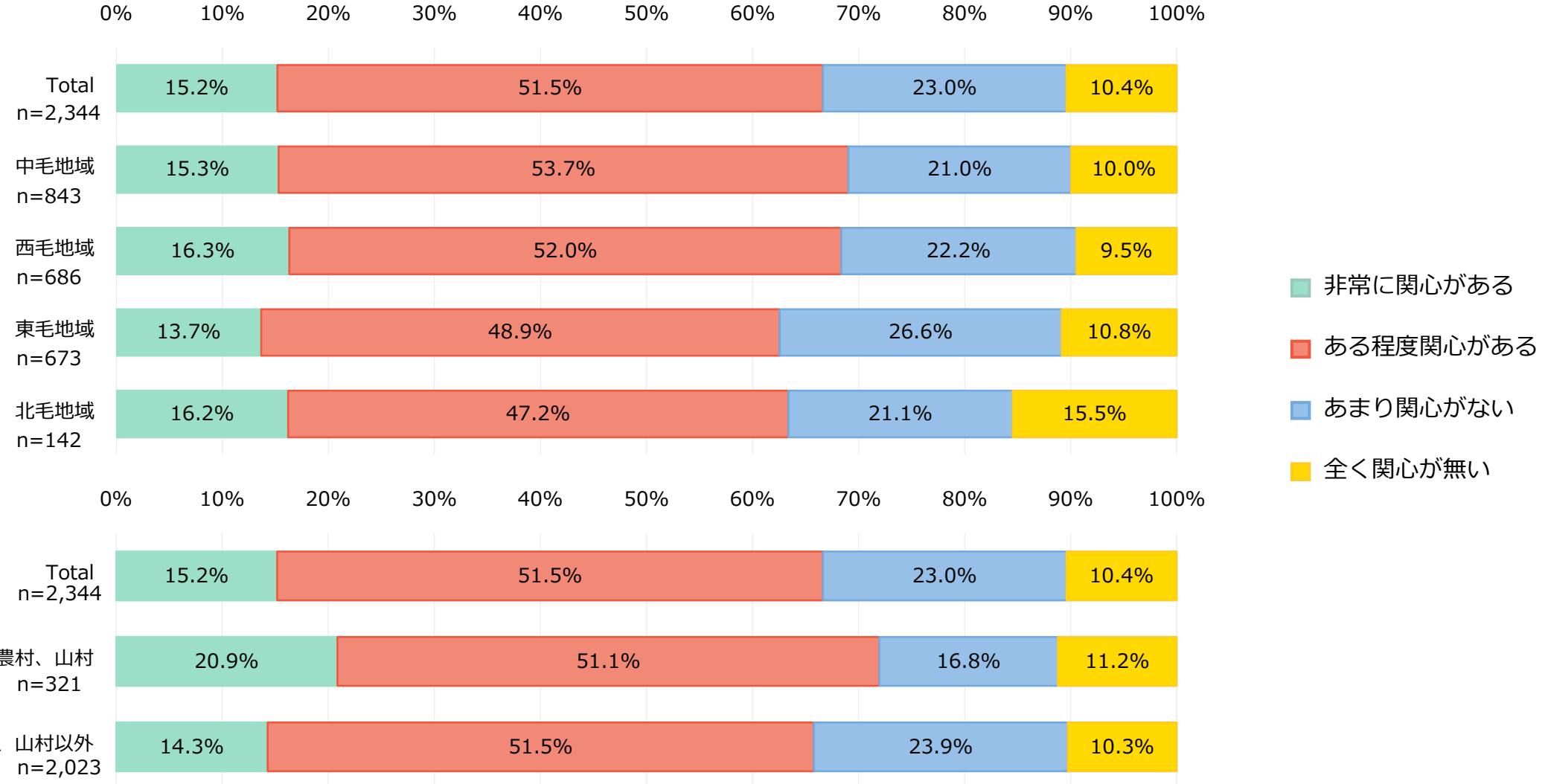
問1 あなたは自然について、どの程度関心がありますか。以下の中からあてはまるものを1つお選びください。

1. 非常に関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない

1 自然に対する関心（年代別）



1 自然に対する関心（居住地域別、居住地域の状況別）



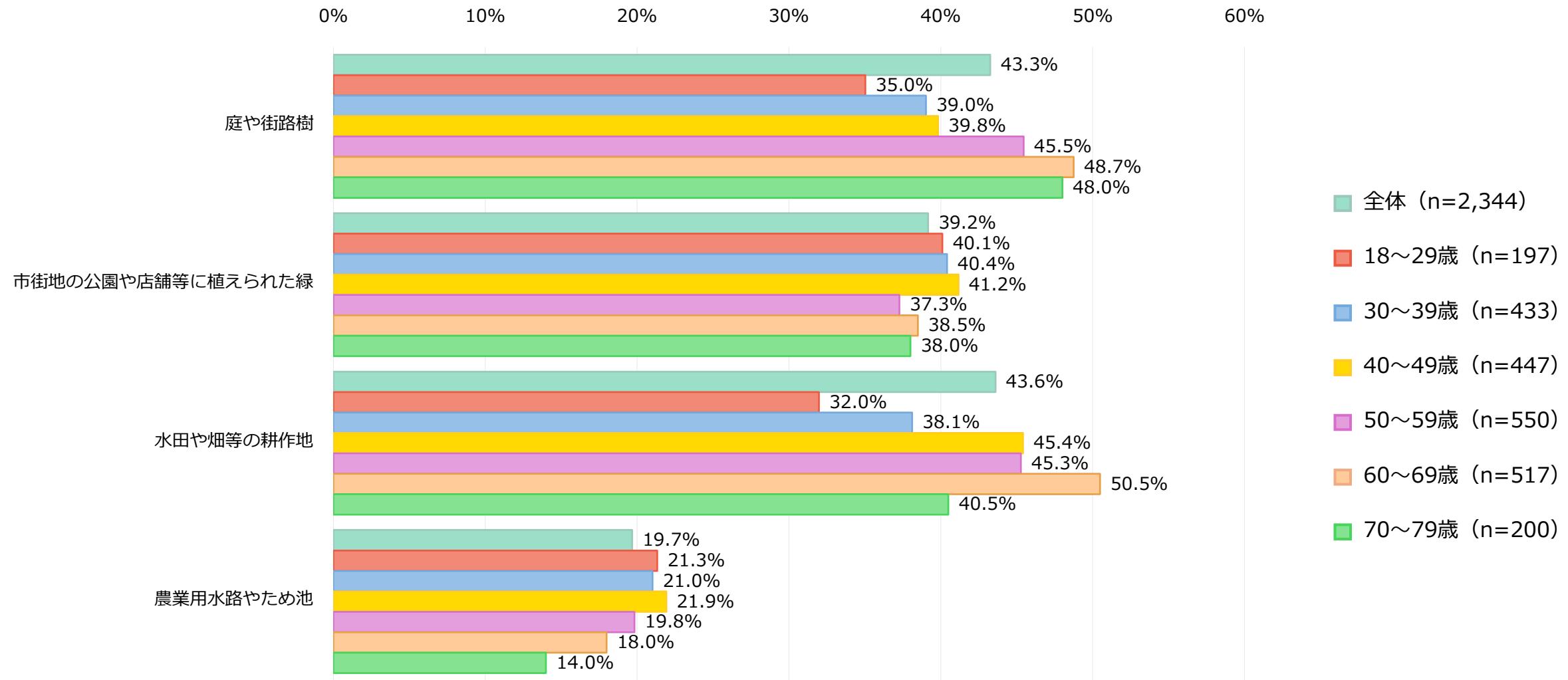
2 自然を感じられる場所

問2 あなたがお住まいの地域で自然を感じられる場所はどのような場所ですか。以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。

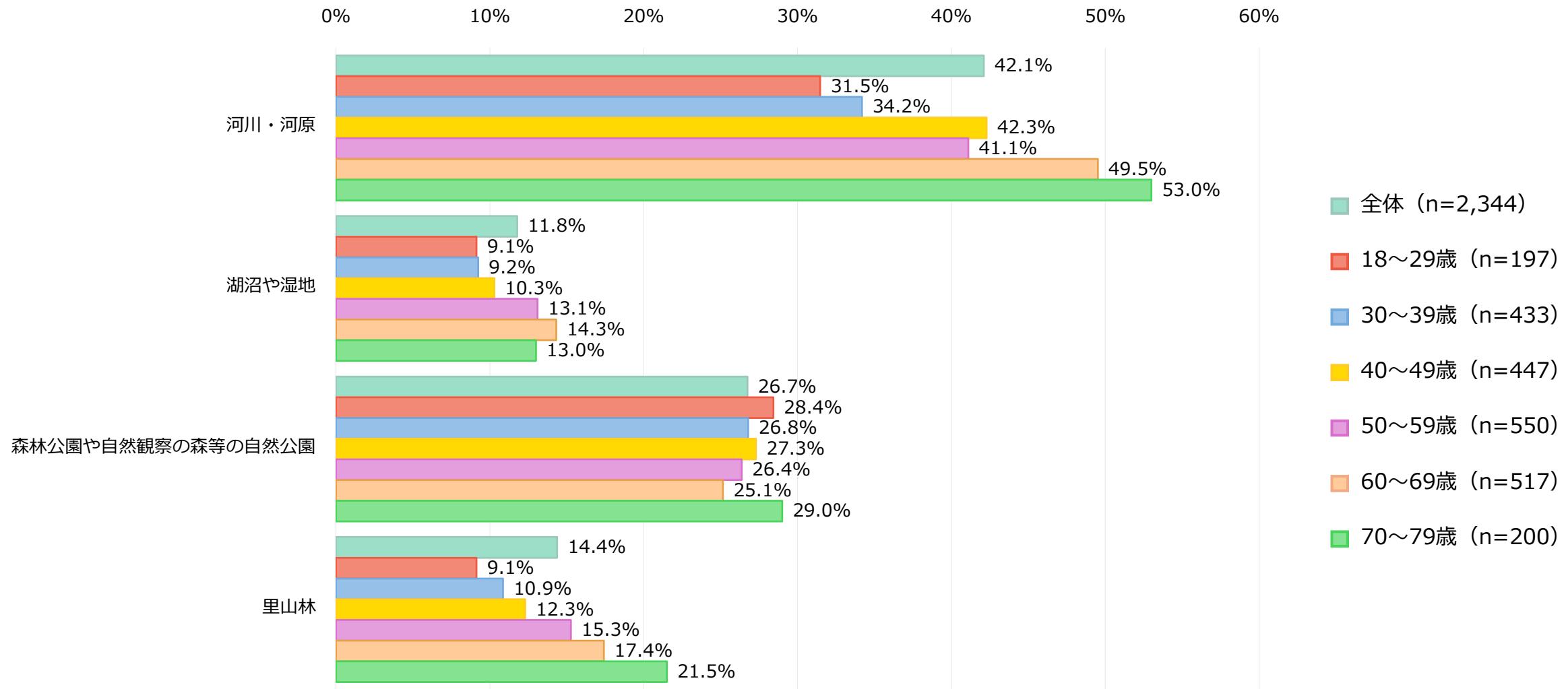
1. 庭や街路樹
2. 市街地の公園や店舗等に植えられた緑
3. 水田や畑等の耕作地（作物生産だけの場ではなく、野生生物の生息の場として）
4. 農業用水路やため池
5. 河川・河原
6. 湖沼や湿地
7. 森林公園や自然観察の森等の自然公園
8. 里山林*
9. 山間部の森林
10. その他 ()
11. 自然を感じられる場所はない

*里山林：原生的な自然と都市との中間に位置し、農林業などに伴うさまざまな人間の働きかけを通じて環境が形成・維持されてきた森林（出典：「里地里山の保全・活用」（環境省））

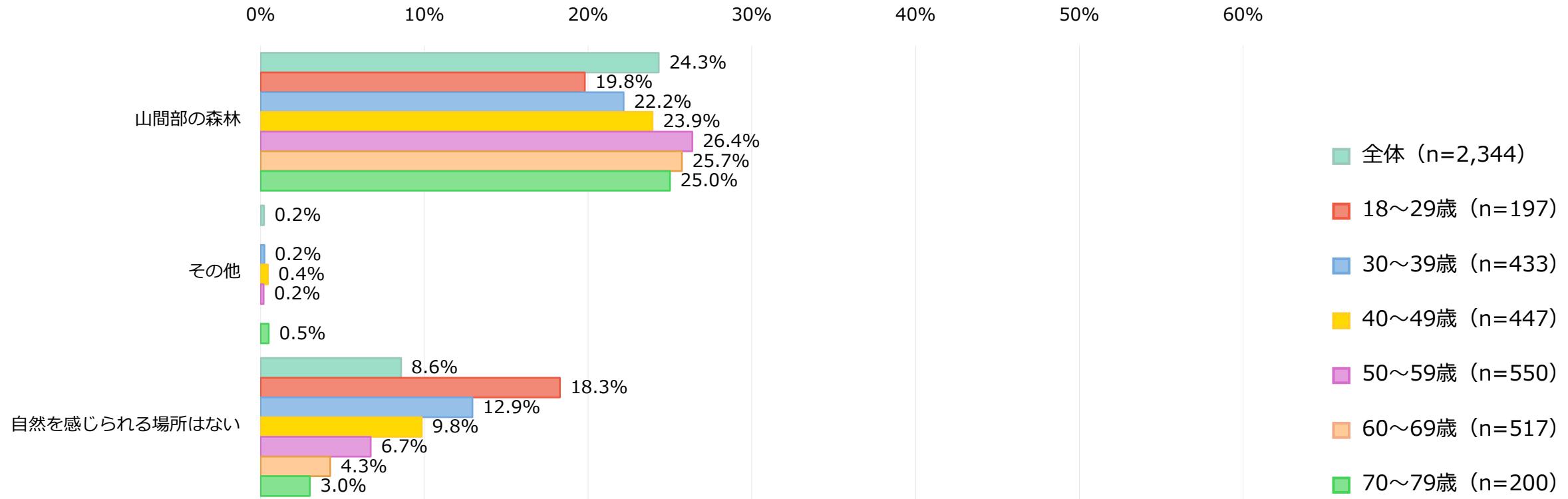
2 自然を感じられる場所（年代別）



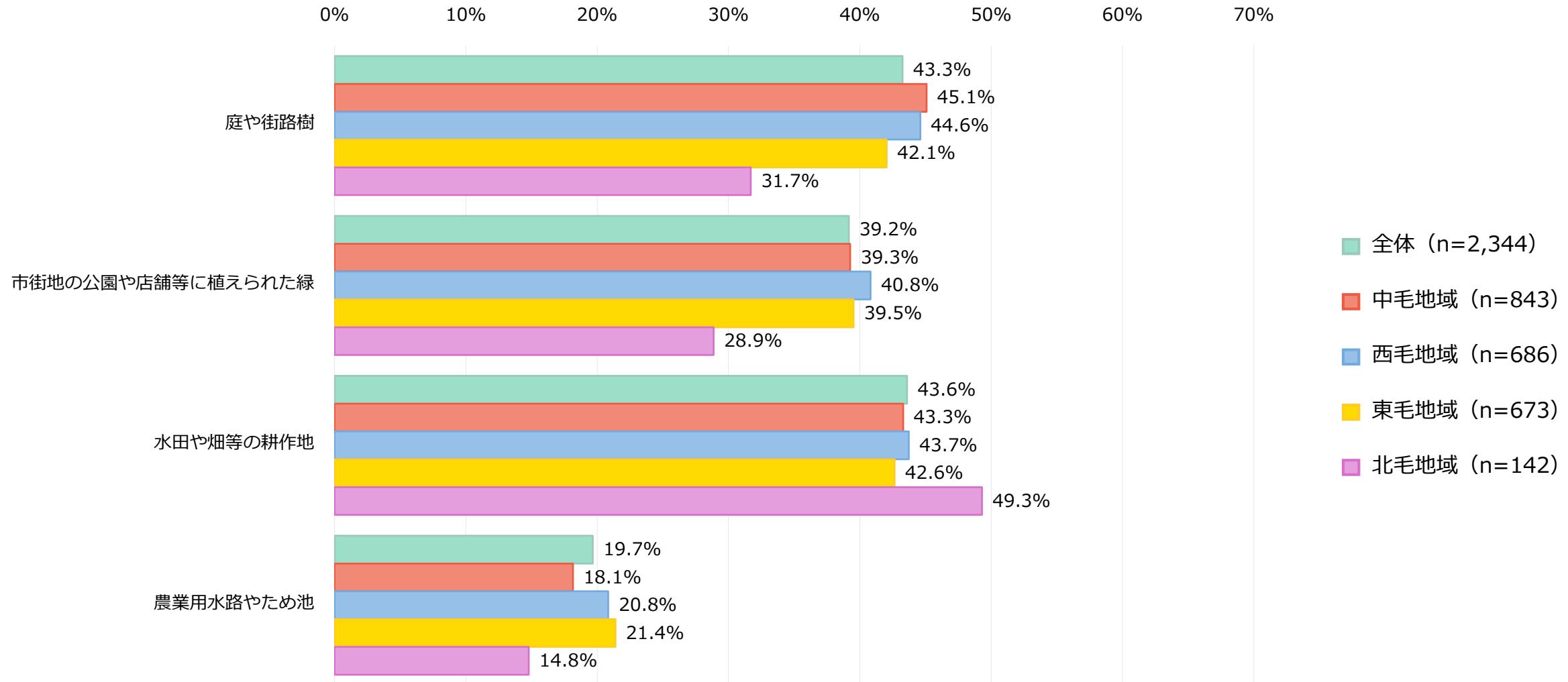
2 自然を感じられる場所（年代別_続き）



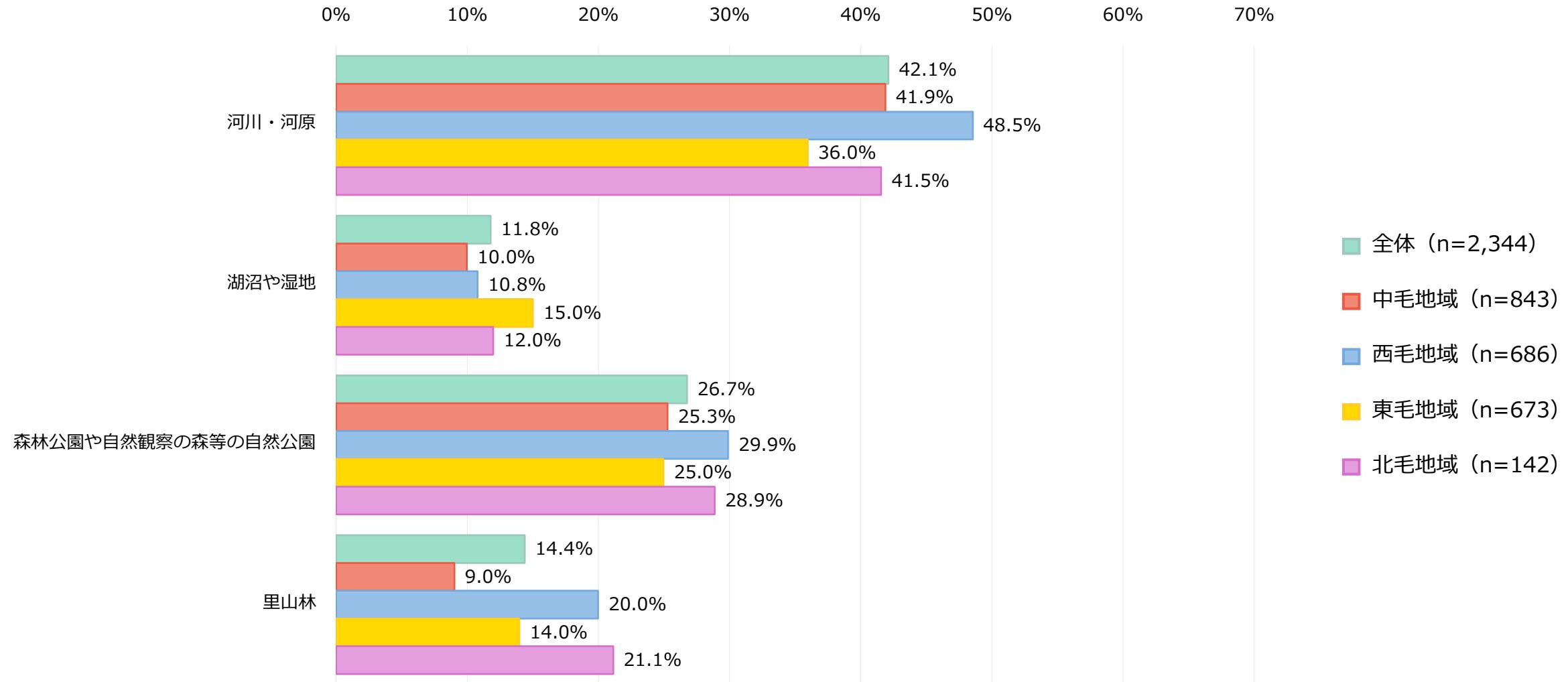
2 自然を感じられる場所（年代別_続き）



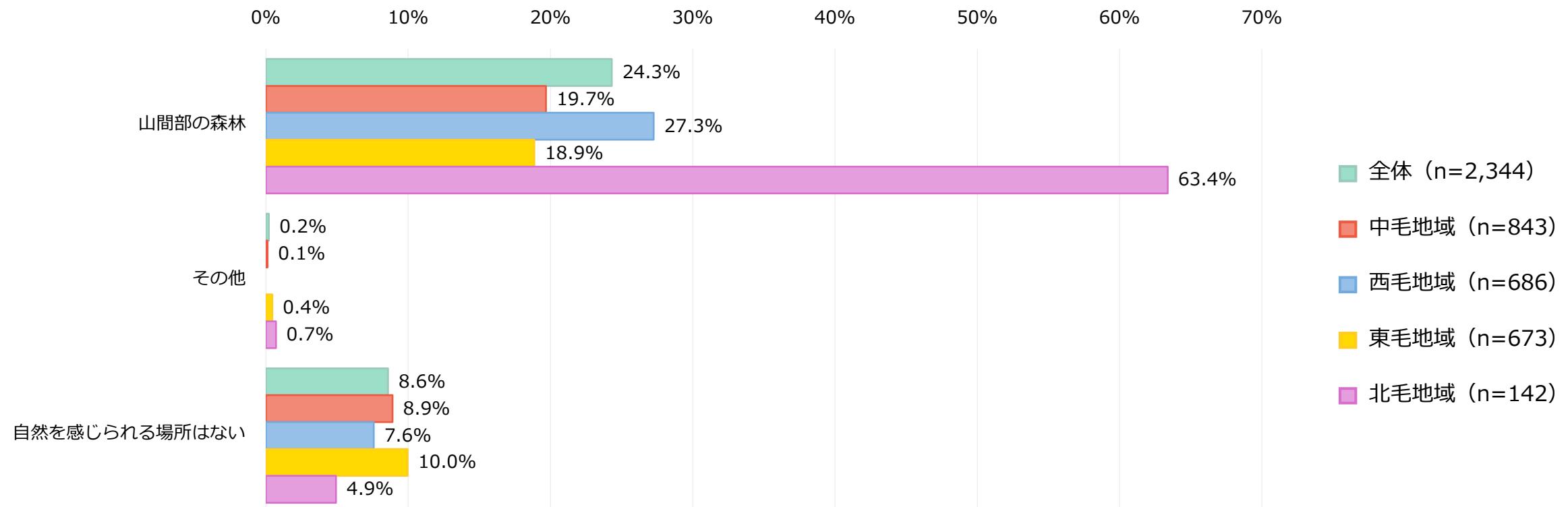
2 自然を感じられる場所（居住地域別）



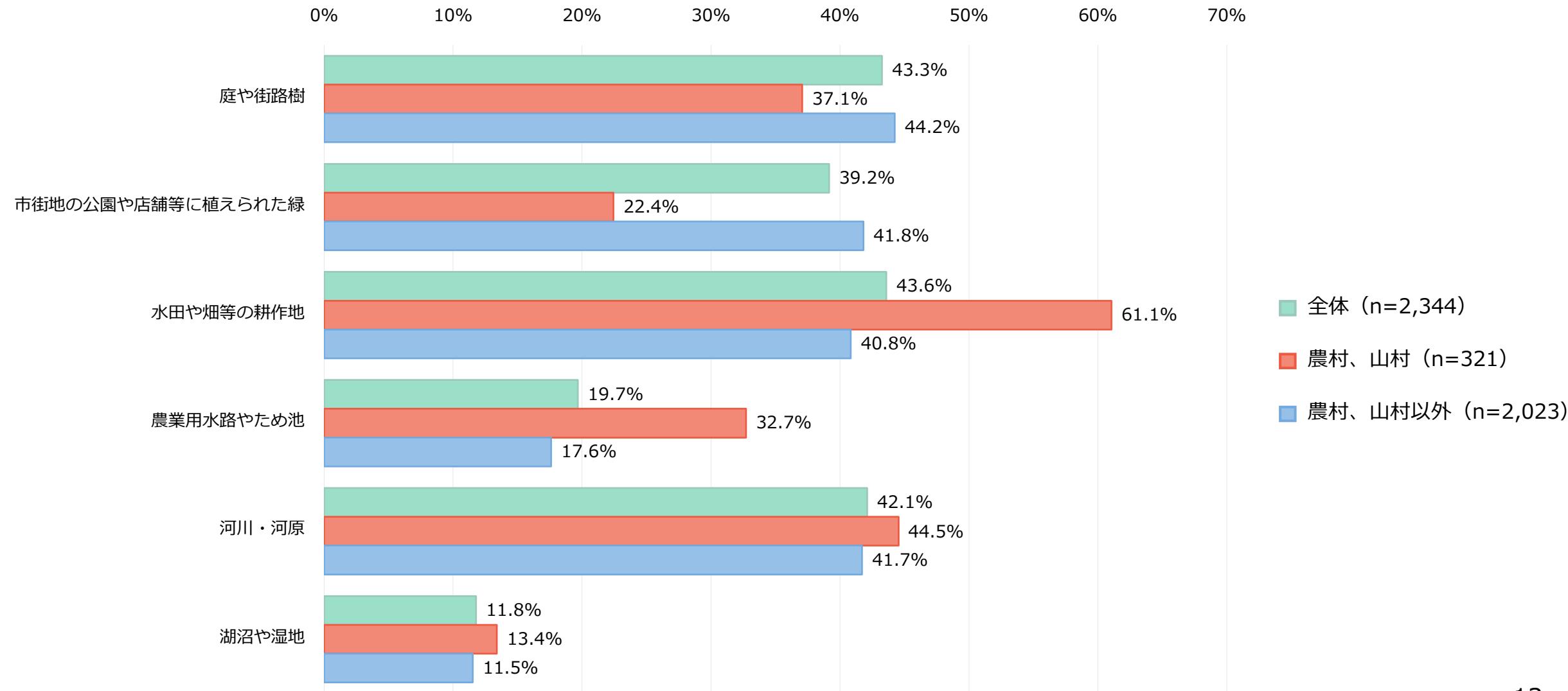
2 自然を感じられる場所（居住地域別_続き）



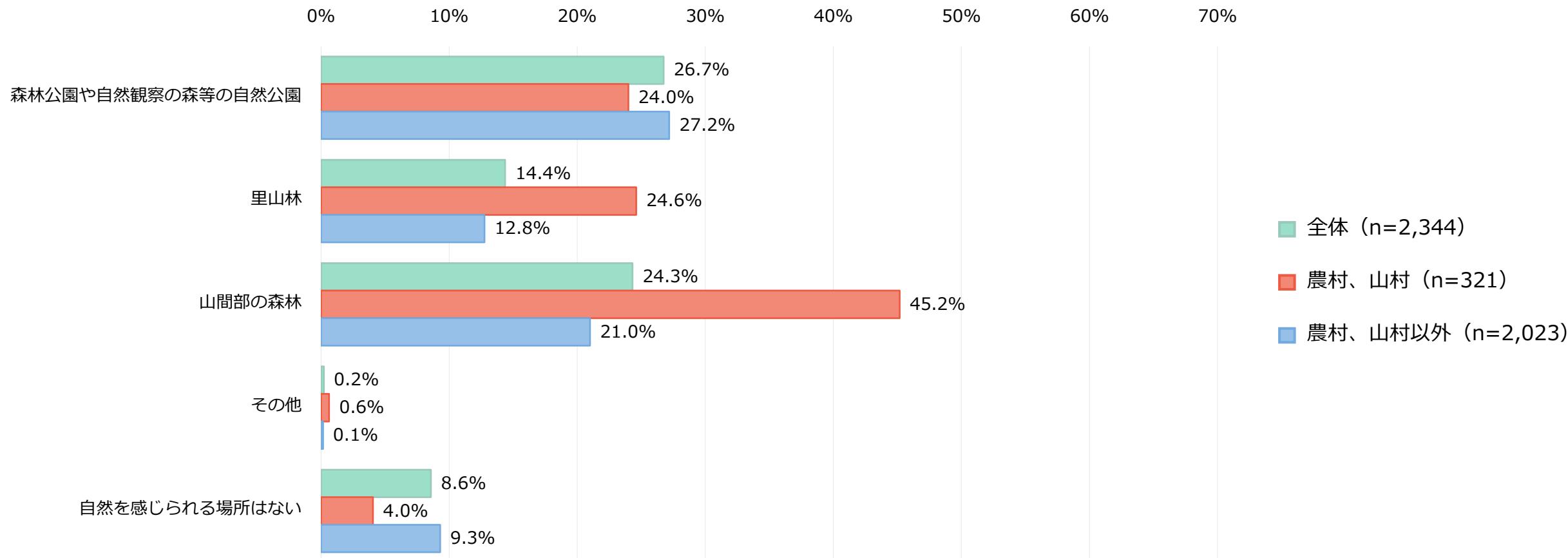
2 自然を感じられる場所（居住地域別_続き）



2 自然を感じられる場所（居住地域の状況別）



2 自然を感じられる場所（居住地域の状況別_続き）



2 自然を感じられる場所

		合計	庭や街路樹	市街地の公園や店舗等に植えられた緑	水田や畠等の耕作地	農業用水路やため池	河川・河原
全体	2,344	43.3%		39.2%	43.6%	19.7%	42.1%
年代	18~29歳	197	35.0%	40.1%	32.0%	21.3%	31.5%
	30~39歳	433	39.0%	40.4%	38.1%	21.0%	34.2%
	40~49歳	447	39.8%	41.2%	45.4%	21.9%	42.3%
	50~59歳	550	45.5%	37.3%	45.3%	19.8%	41.1%
	60~69歳	517	48.7%	38.5%	50.5%	18.0%	49.5%
	70~79歳	200	48.0%	38.0%	40.5%	14.0%	53.0%
居住市町村	中毛地域	843	45.1%	39.3%	43.3%	18.1%	41.9%
	西毛地域	686	44.6%	40.8%	43.7%	20.8%	48.5%
	東毛地域	673	42.1%	39.5%	42.6%	21.4%	36.0%
	北毛地域	142	31.7%	28.9%	49.3%	14.8%	41.5%
居住地域の状況	農村、山村	321	37.1%	22.4%	61.1%	32.7%	44.5%
	農村、山村以外	2,023	44.2%	41.8%	40.8%	17.6%	41.7%

全体+10.0ポイント以上
全体+5.0~9.9ポイント
全体-5.0~9.9ポイント
全体-10.0ポイント以上

2 自然を感じられる場所（続き）

		合計	湖沼や湿地	森林公園や自然観察の森等の自然公園	里山林	山間部の森林	その他	自然を感じられる場所はない
全体		2,344	11.8%	26.7%	14.4%	24.3%	0.2%	8.6%
年代	18~29歳	197	9.1%	28.4%	9.1%	19.8%	0.0%	18.3%
	30~39歳	433	9.2%	26.8%	10.9%	22.2%	0.2%	12.9%
	40~49歳	447	10.3%	27.3%	12.3%	23.9%	0.4%	9.8%
	50~59歳	550	13.1%	26.4%	15.3%	26.4%	0.2%	6.7%
	60~69歳	517	14.3%	25.1%	17.4%	25.7%	0.0%	4.3%
	70~79歳	200	13.0%	29.0%	21.5%	25.0%	0.5%	3.0%
居住市町村	中毛地域	843	10.0%	25.3%	9.0%	19.7%	0.1%	8.9%
	西毛地域	686	10.8%	29.9%	20.0%	27.3%	0.0%	7.6%
	東毛地域	673	15.0%	25.0%	14.0%	18.9%	0.4%	10.0%
	北毛地域	142	12.0%	28.9%	21.1%	63.4%	0.7%	4.9%
居住地域の状況	農村、山村	321	13.4%	24.0%	24.6%	45.2%	0.6%	4.0%
	農村、山村以外	2,023	11.5%	27.2%	12.8%	21.0%	0.1%	9.3%

■	全体+10.0ポイント以上
■	全体+5.0~9.9ポイント
■	全体-5.0~9.9ポイント
■	全体-10.0ポイント以上

2 自然を感じられる場所（続き）

■ 「その他」の回答

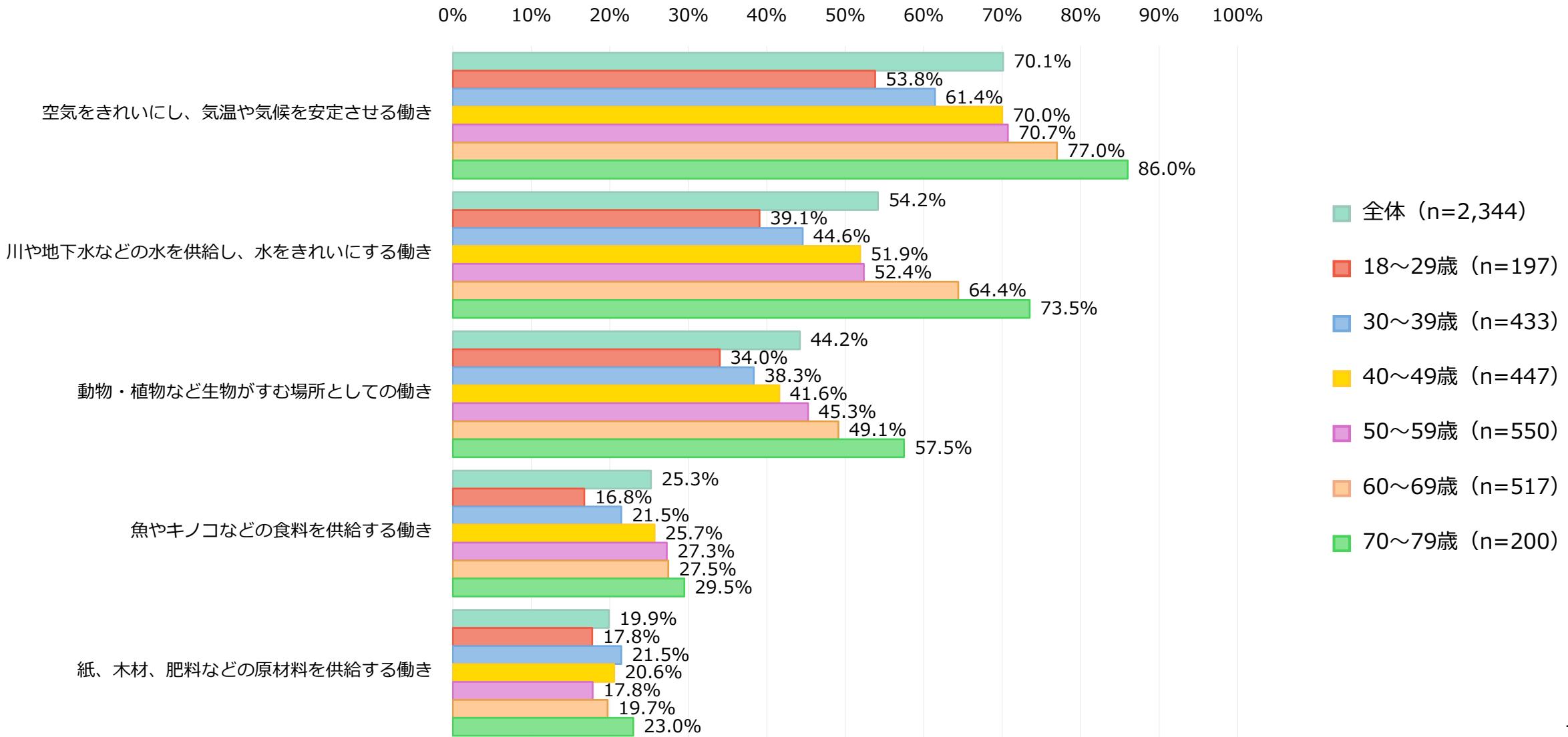
- ・ゴルフ場
- ・桐生が岡公園
- ・神社の境内
- ・谷川岳
- ・竹林

3 重要な自然の働き

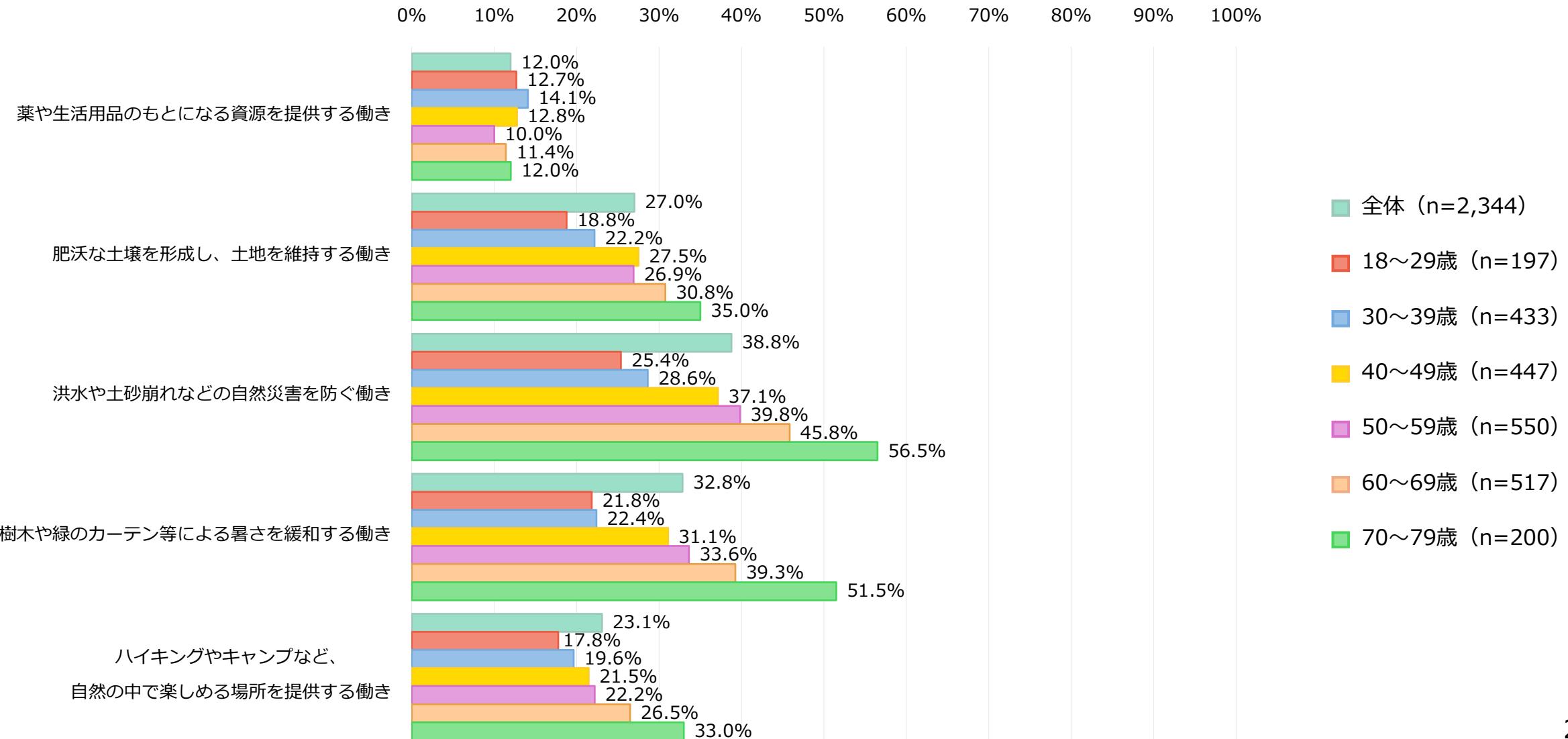
問3 あなたは、私たちの生活にとって、どのような自然の働きが重要だと考えますか。以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。

1. 空気をきれいにし、気温や気候を安定させる働き
2. 川や地下水などの水を供給し、水をきれいにする働き
3. 動物・植物など生物がすむ場所としての働き
4. 魚やキノコなどの食料を供給する働き
5. 紙、木材、肥料などの原材料を供給する働き
6. 薬や生活用品のもとになる資源を提供する働き
7. 肥沃な土壤を形成し、土地を維持する働き
8. 洪水や土砂崩れなどの自然災害を防ぐ働き
9. 樹木や緑のカーテン等による暑さを緩和する働き
10. ハイキングやキャンプなど、自然の中で楽しめる場所を提供する働き
11. 美しい景色や自然の音が気持ちをリラックスさせる働き
12. 芸術や文化、自然に対する信仰の基盤としての働き
13. 自然体験を通じて環境への关心や行動を育てる働き
14. その他（ ）
15. 特にない

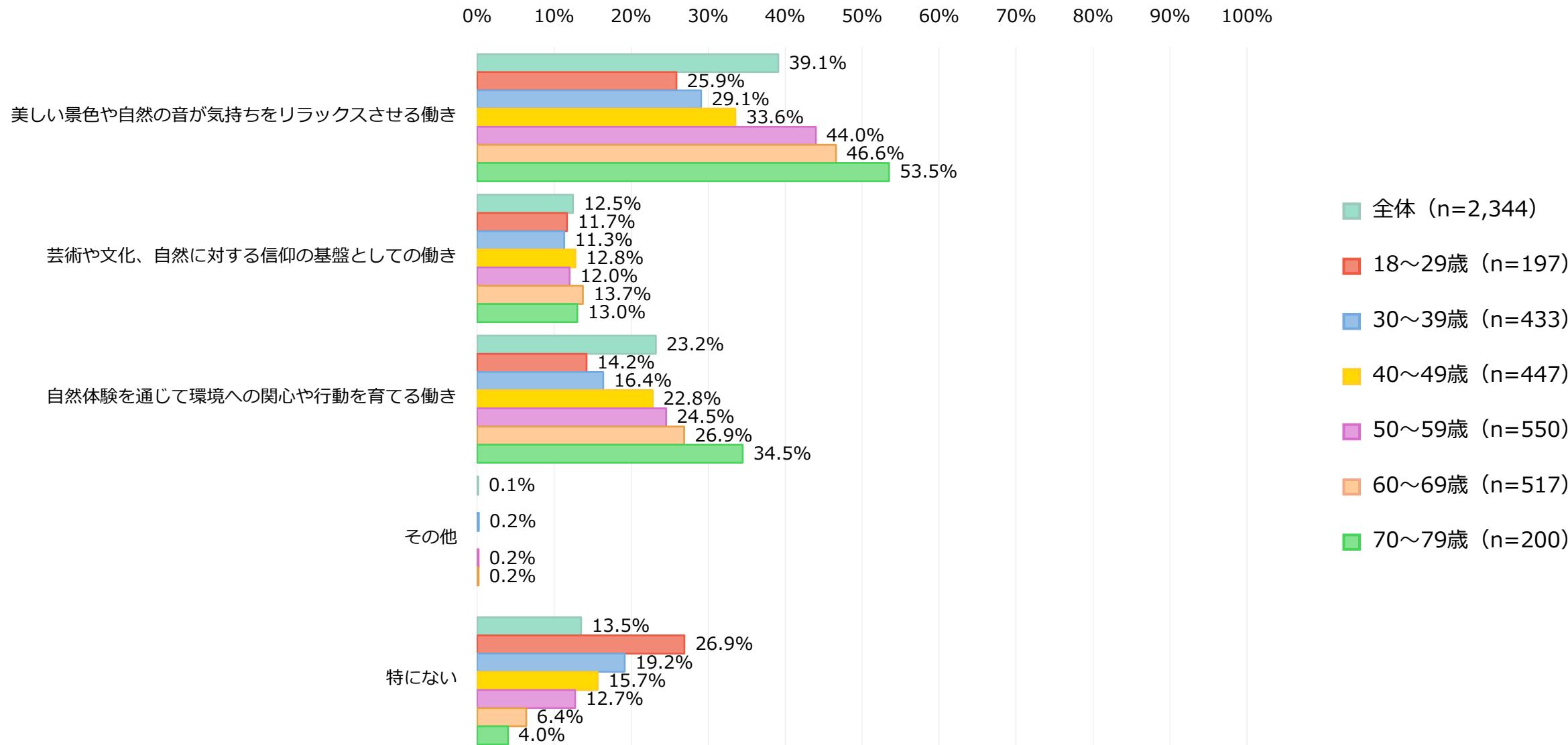
3 重要な自然の働き（年代別）



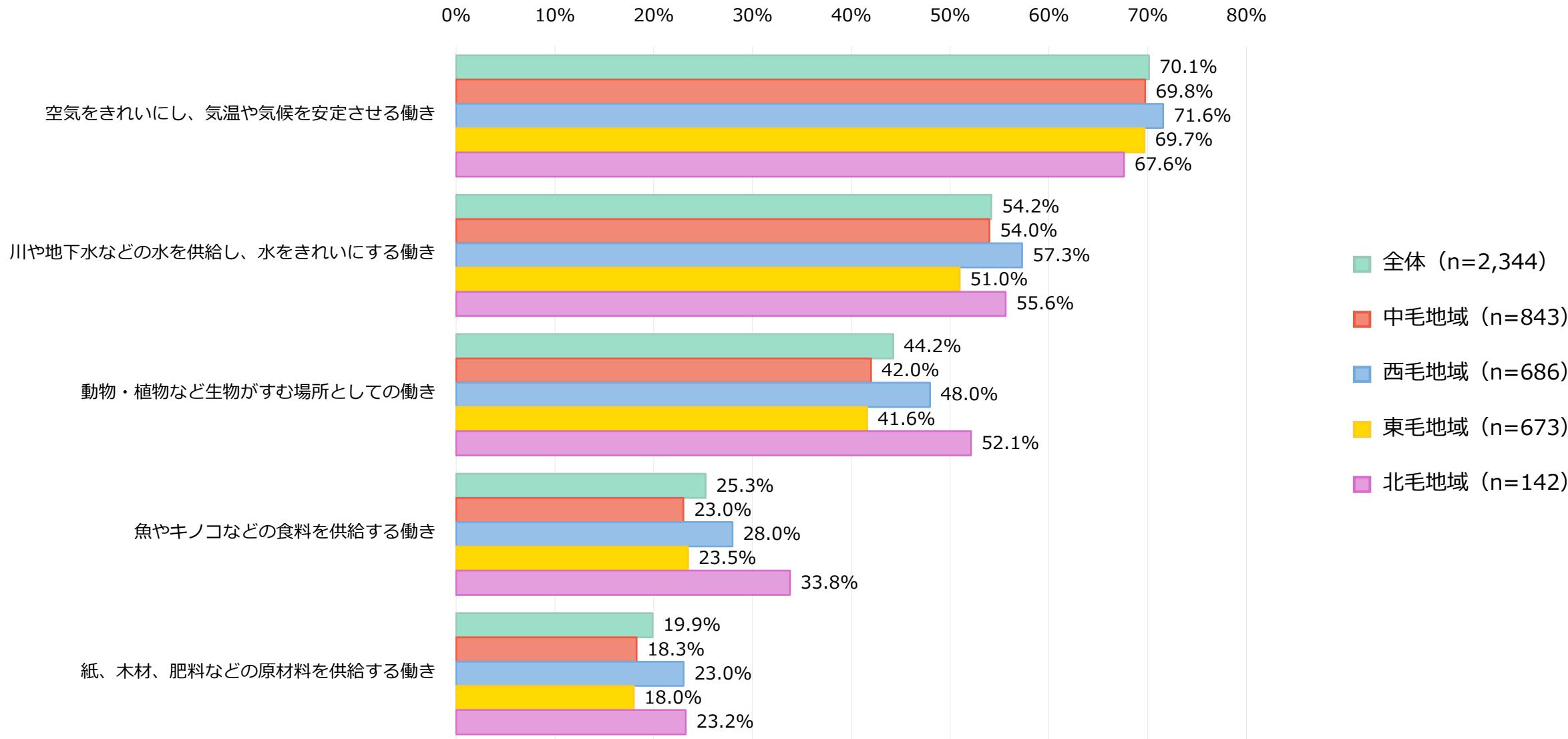
3 重要な自然の働き（年代別_続き）



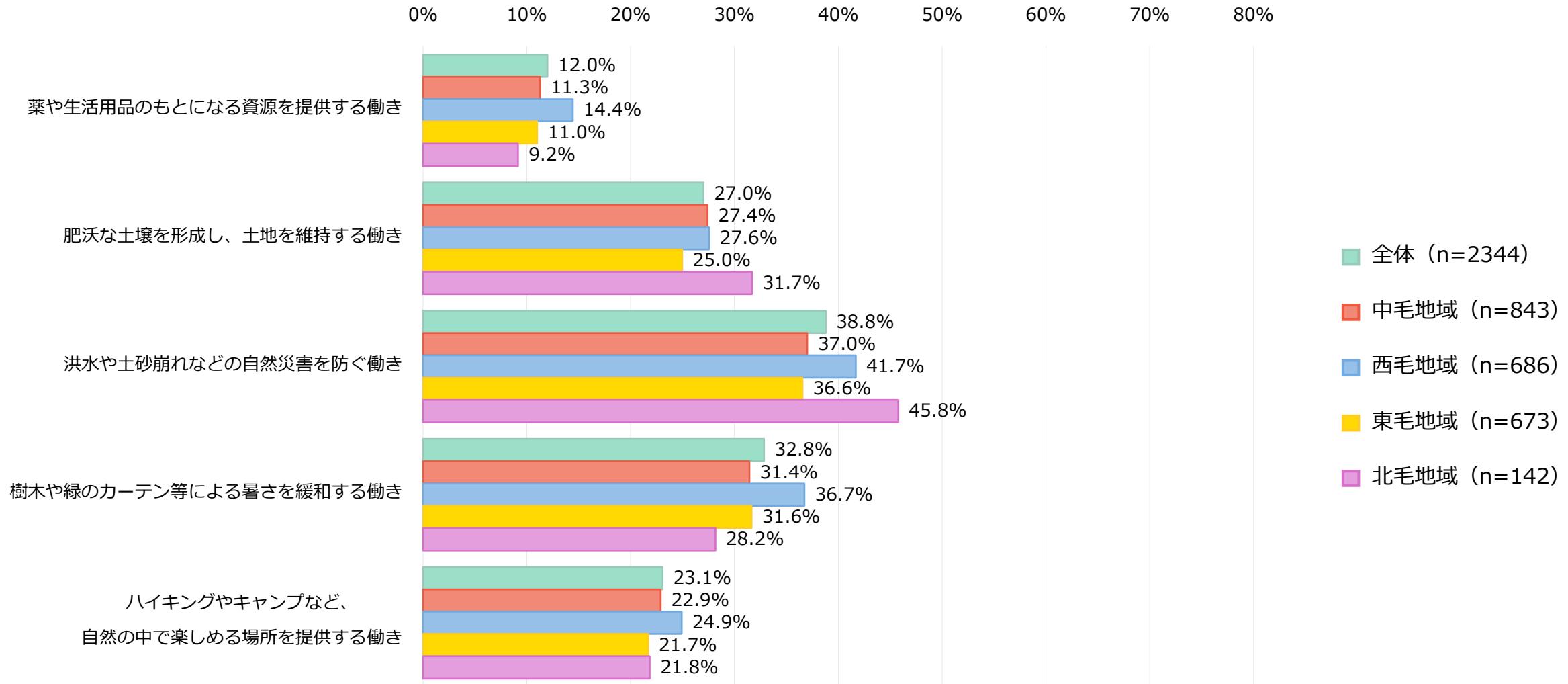
3 重要な自然の働き（年代別_続き）



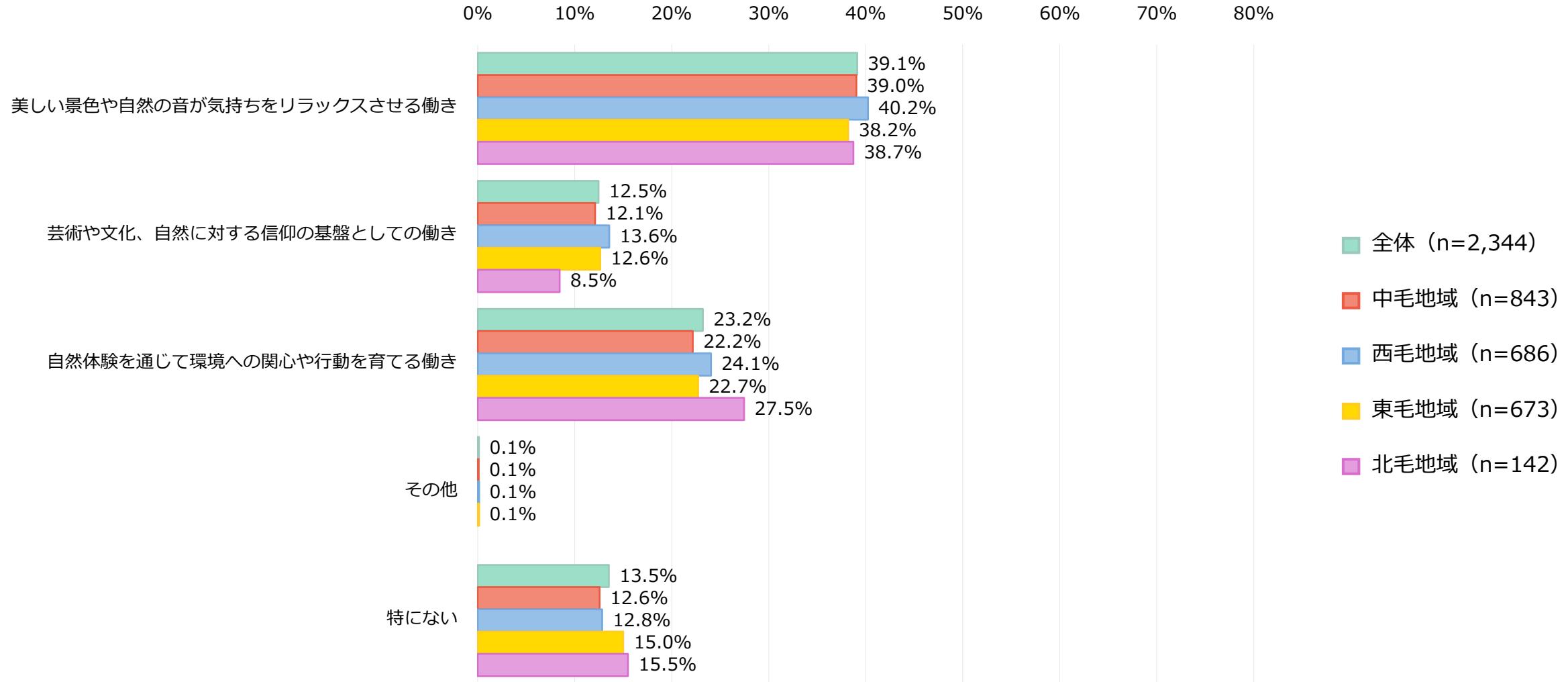
3 重要な自然の働き（居住地域別）



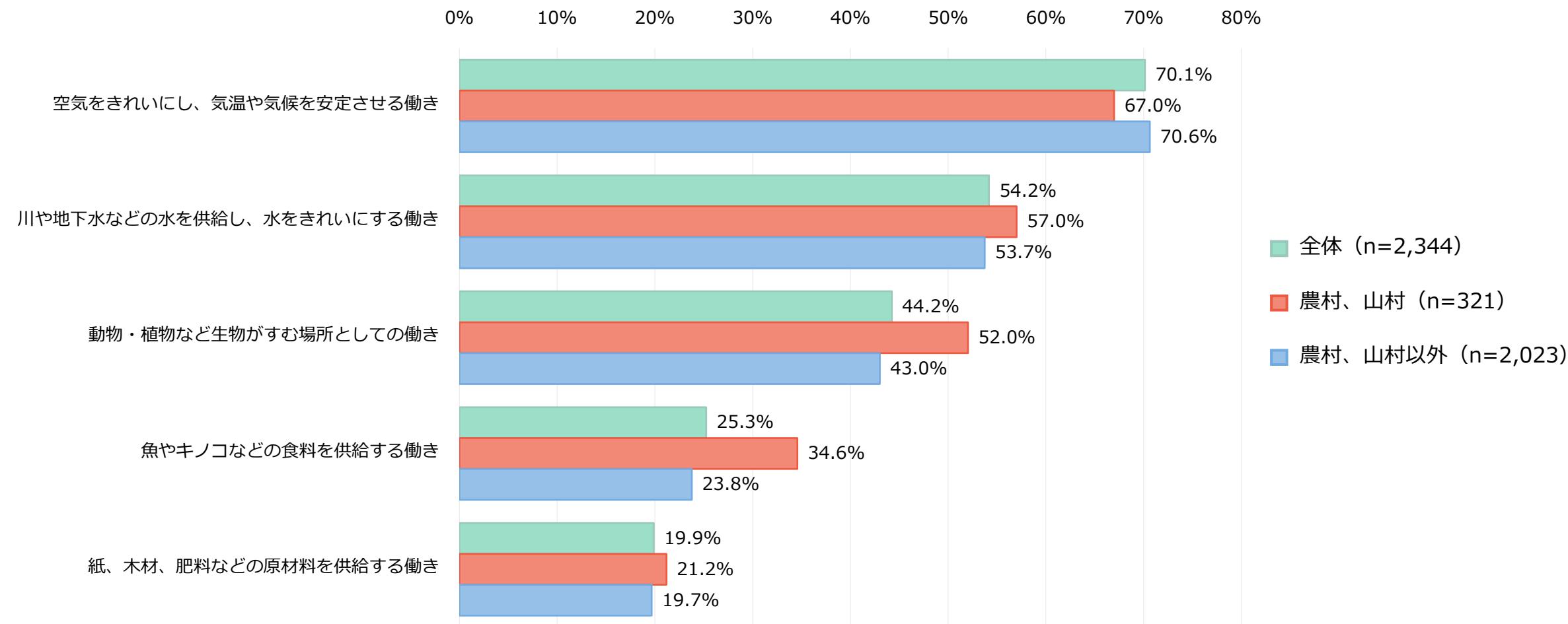
3 重要な自然の働き（居住地域別_続き）



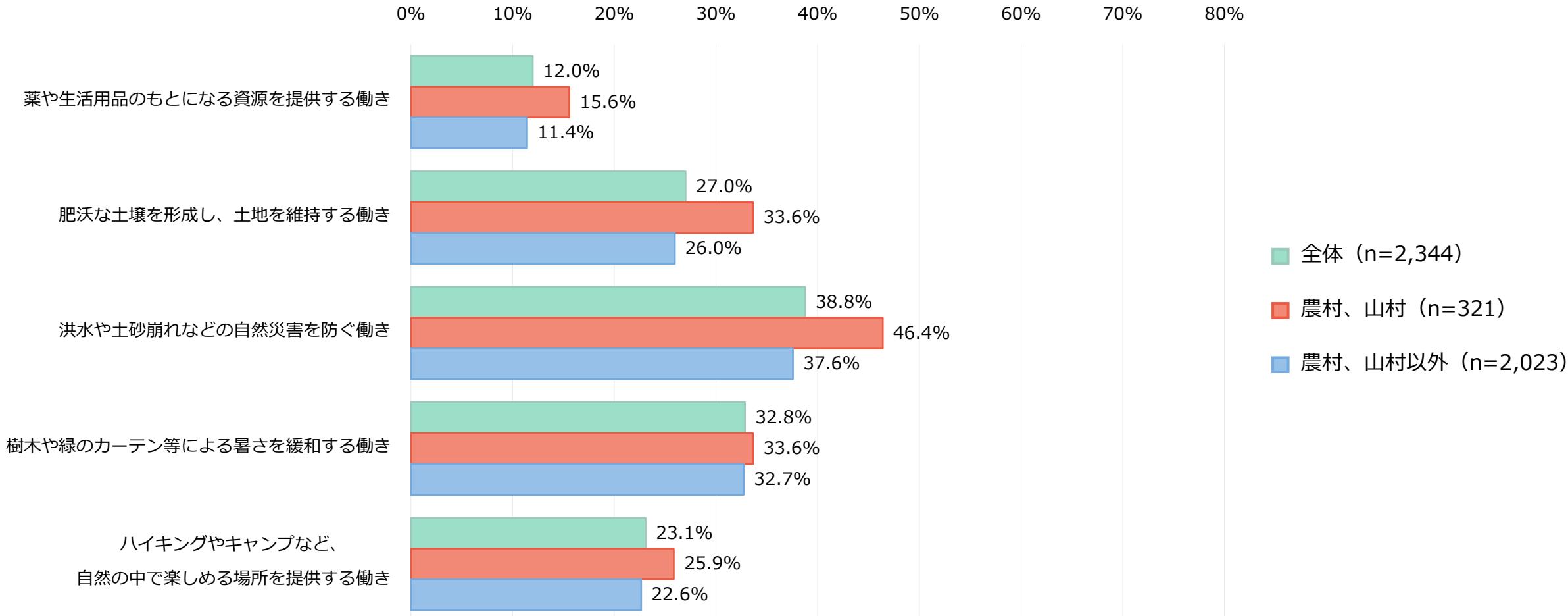
3 重要な自然の働き（居住地域別_続き）



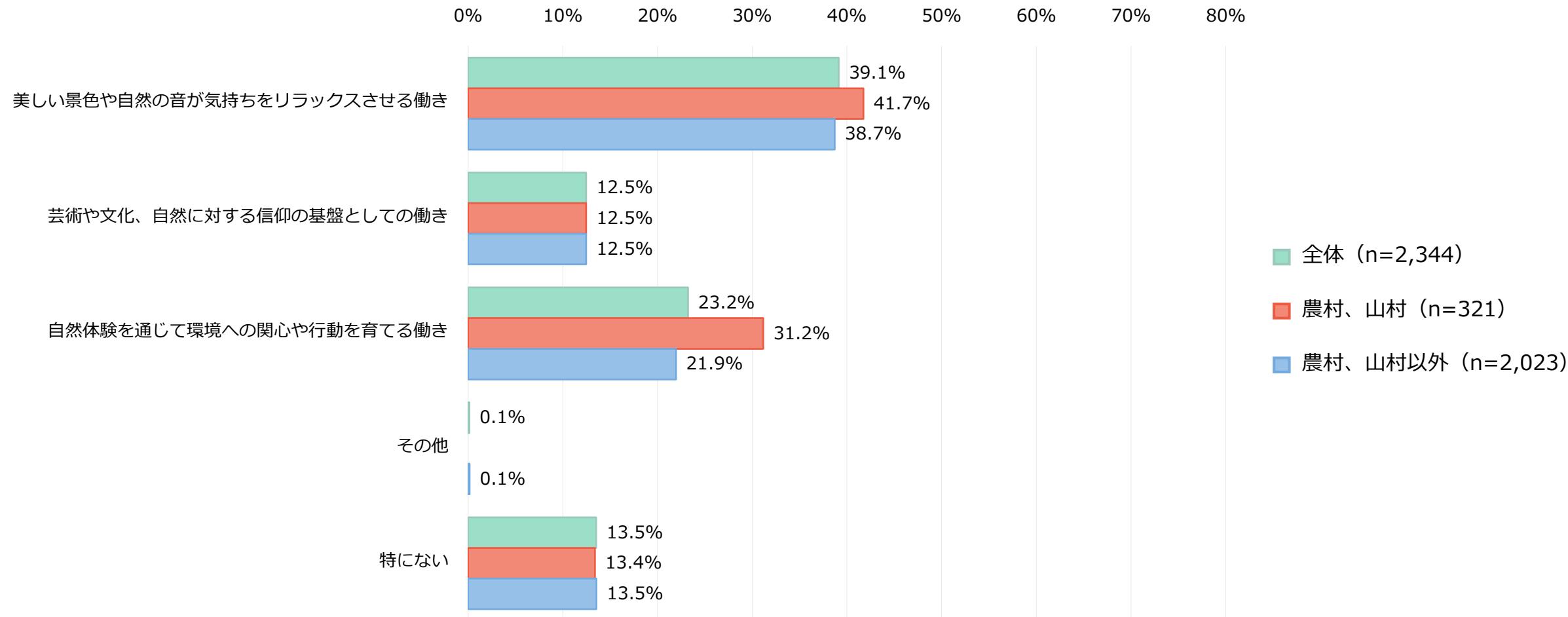
3 重要な自然の働き（居住地域の状況別）



3 重要な自然の働き（居住地域の状況別_続き）



3 重要な自然の働き（居住地域の状況別_続き）



3 重要な自然の働き

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0~9.9ポイント
	全体-5.0~9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	空気をきれいにし、気温や気候を安定させる働き	川や地下水などの水を供給し、水をきれいにする働き	動物・植物など生物がすむ場所としての働き	魚やキノコなどの食料を供給する働き	紙、木材、肥料などの原材料を供給する働き	薬や生活用品のもとになる資源を提供する働き
全体		2,344	70.1%	54.2%	44.2%	25.3%	19.9%	12.0%
年代	18~29歳	197	53.8%	39.1%	34.0%	16.8%	17.8%	12.7%
	30~39歳	433	61.4%	44.6%	38.3%	21.5%	21.5%	14.1%
	40~49歳	447	70.0%	51.9%	41.6%	25.7%	20.6%	12.8%
	50~59歳	550	70.7%	52.4%	45.3%	27.3%	17.8%	10.0%
	60~69歳	517	77.0%	64.4%	49.1%	27.5%	19.7%	11.4%
	70~79歳	200	86.0%	73.5%	57.5%	29.5%	23.0%	12.0%
居住市町村	中毛地域	843	69.8%	54.0%	42.0%	23.0%	18.3%	11.3%
	西毛地域	686	71.6%	57.3%	48.0%	28.0%	23.0%	14.4%
	東毛地域	673	69.7%	51.0%	41.6%	23.5%	18.0%	11.0%
	北毛地域	142	67.6%	55.6%	52.1%	33.8%	23.2%	9.2%
居住地域の状況	農村、山村	321	67.0%	57.0%	52.0%	34.6%	21.2%	15.6%
	農村、山村以外	2,023	70.6%	53.7%	43.0%	23.8%	19.7%	11.4%

3 重要な自然の働き（続き）

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

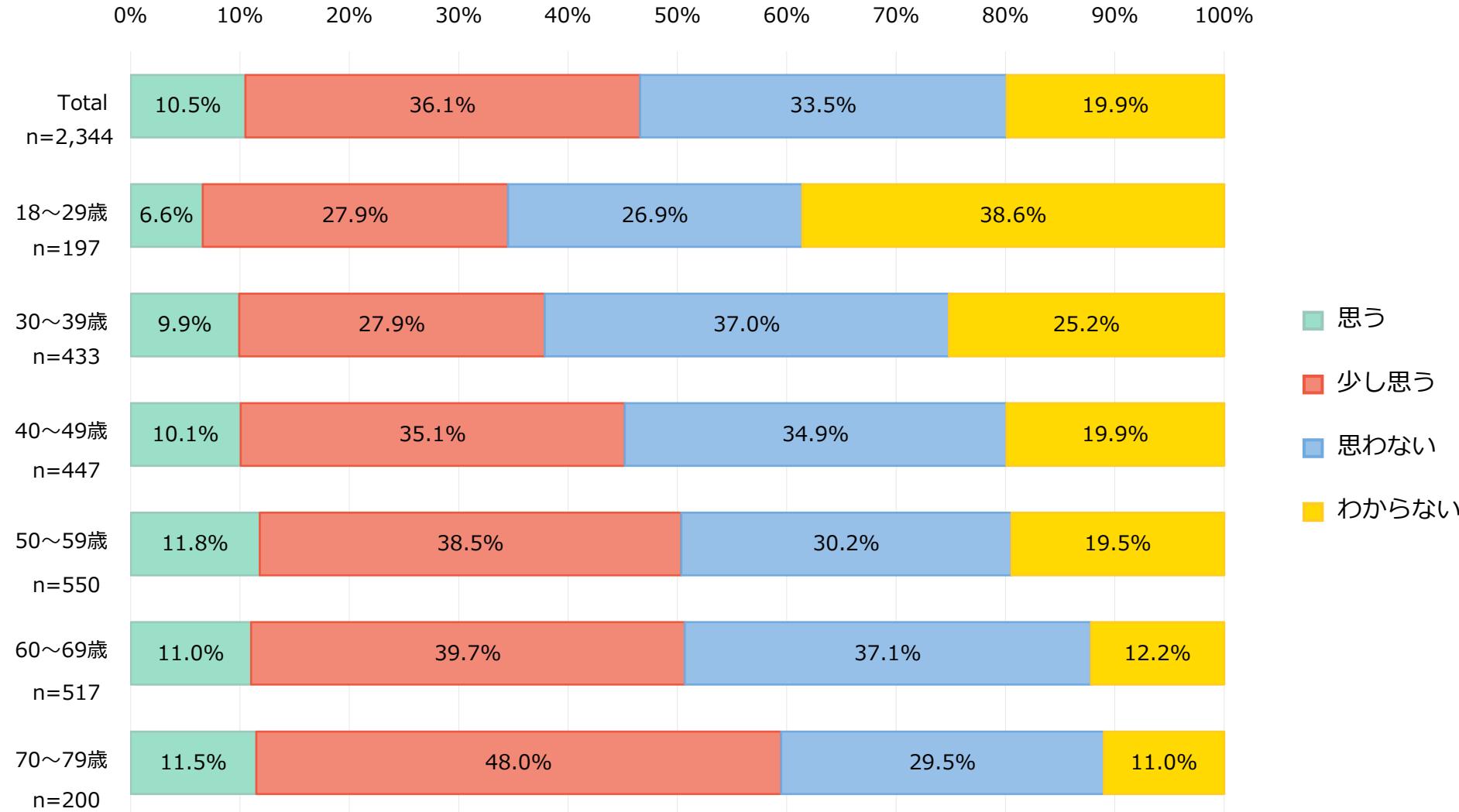
		合計	肥沃な土壌を形成し、土地を維持する働き	洪水や土砂崩れなどの自然災害を防ぐ働き	樹木や緑のカーテン等による暑さを緩和する働き	ハイキングやキャンプなど、自然の中で楽しめる場所を提供する働き	美しい景色や自然の音が気持ちをリラックスさせる働き	芸術や文化、自然に対する信仰の基盤としての働き	自然体験を通じて環境への関心や行動を育てる働き	その他	特にない
全体		2,344	27.0%	38.8%	32.8%	23.1%	39.1%	12.5%	23.2%	0.1%	13.5%
年代	18～29歳	197	18.8%	25.4%	21.8%	17.8%	25.9%	11.7%	14.2%	0.0%	26.9%
	30～39歳	433	22.2%	28.6%	22.4%	19.6%	29.1%	11.3%	16.4%	0.2%	19.2%
	40～49歳	447	27.5%	37.1%	31.1%	21.5%	33.6%	12.8%	22.8%	0.0%	15.7%
	50～59歳	550	26.9%	39.8%	33.6%	22.2%	44.0%	12.0%	24.5%	0.2%	12.7%
	60～69歳	517	30.8%	45.8%	39.3%	26.5%	46.6%	13.7%	26.9%	0.2%	6.4%
	70～79歳	200	35.0%	56.5%	51.5%	33.0%	53.5%	13.0%	34.5%	0.0%	4.0%
居住市町村	中毛地域	843	27.4%	37.0%	31.4%	22.9%	39.0%	12.1%	22.2%	0.1%	12.6%
	西毛地域	686	27.6%	41.7%	36.7%	24.9%	40.2%	13.6%	24.1%	0.1%	12.8%
	東毛地域	673	25.0%	36.6%	31.6%	21.7%	38.2%	12.6%	22.7%	0.1%	15.0%
	北毛地域	142	31.7%	45.8%	28.2%	21.8%	38.7%	8.5%	27.5%	0.0%	15.5%
居住地域の状況	農村、山村	321	33.6%	46.4%	33.6%	25.9%	41.7%	12.5%	31.2%	0.0%	13.4%
	農村、山村以外	2,023	26.0%	37.6%	32.7%	22.6%	38.7%	12.5%	21.9%	0.1%	13.5%

4 地域の自然環境の減少

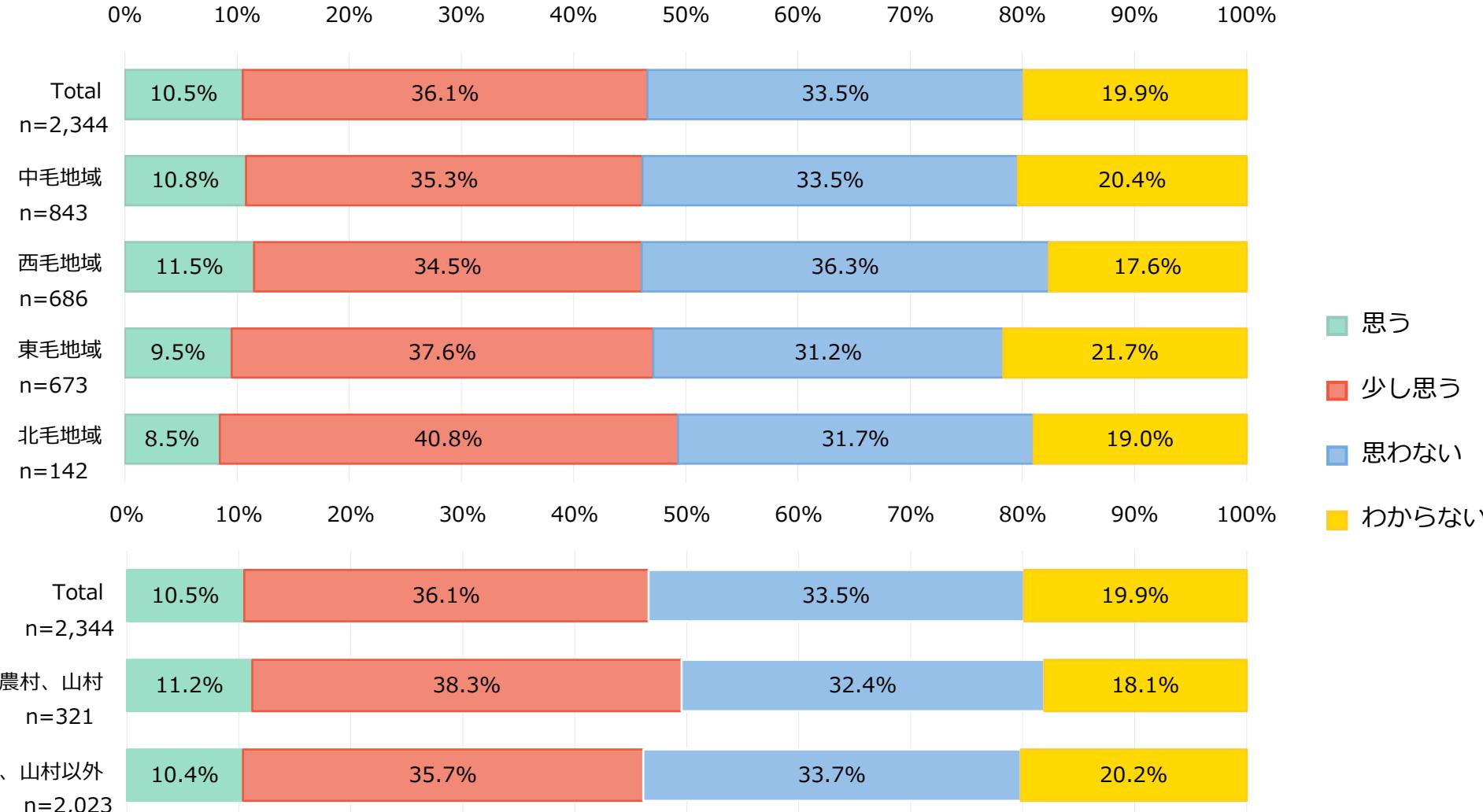
問4 あなたは、5、6年前と比べて、群馬県の自然が少なくなってきた、または損なわれてきていると思いますか。以下のなかあてはまるものを1つお選びください。

1. 思う
2. 少し思う
3. 思わない ⇒ 問6へ
4. わからない ⇒ 問6へ

4 地域の自然環境の減少（年代別）



4 地域の自然環境の減少（居住地域別、居住地域の状況別）



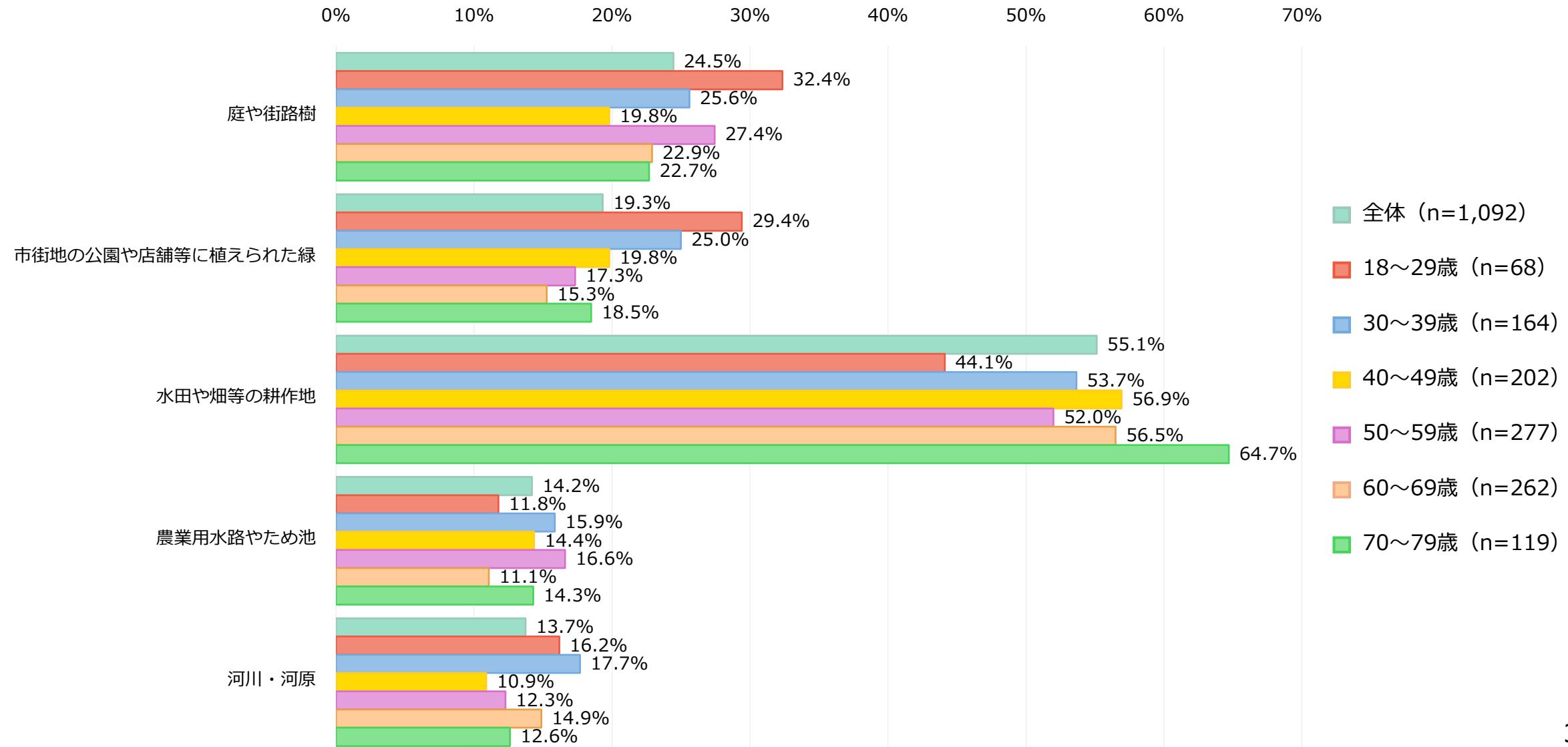
5 特に減少している自然環境

■問4で「1. 思う」「2. 少し思う」を選んだ方にお伺いします。

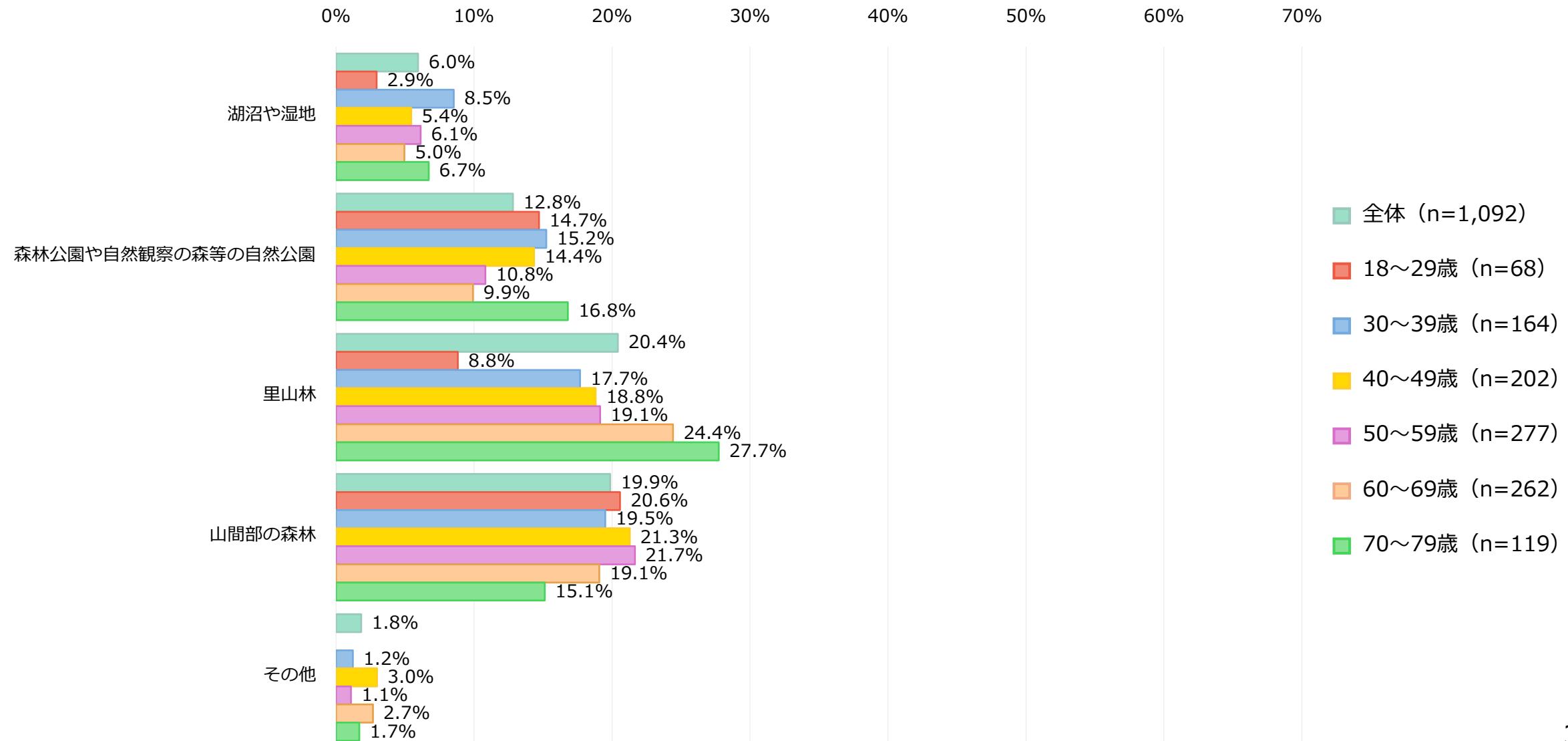
問5 5、6年前と比べて、特に少なくなってきたている、または損なわれてきていると感じる群馬県の自然環境は何ですか。以下のの中からあてはまるものを全てお選びください。

1. 庭や街路樹
2. 市街地の公園や店舗等に植えられた緑
3. 水田や畠等の耕作地
4. 農業用水路やため池
5. 河川・河原
6. 湖沼や湿地
7. 森林公園や自然観察の森等の自然公園
8. 里山林
9. 山間部の森林
10. その他 ()

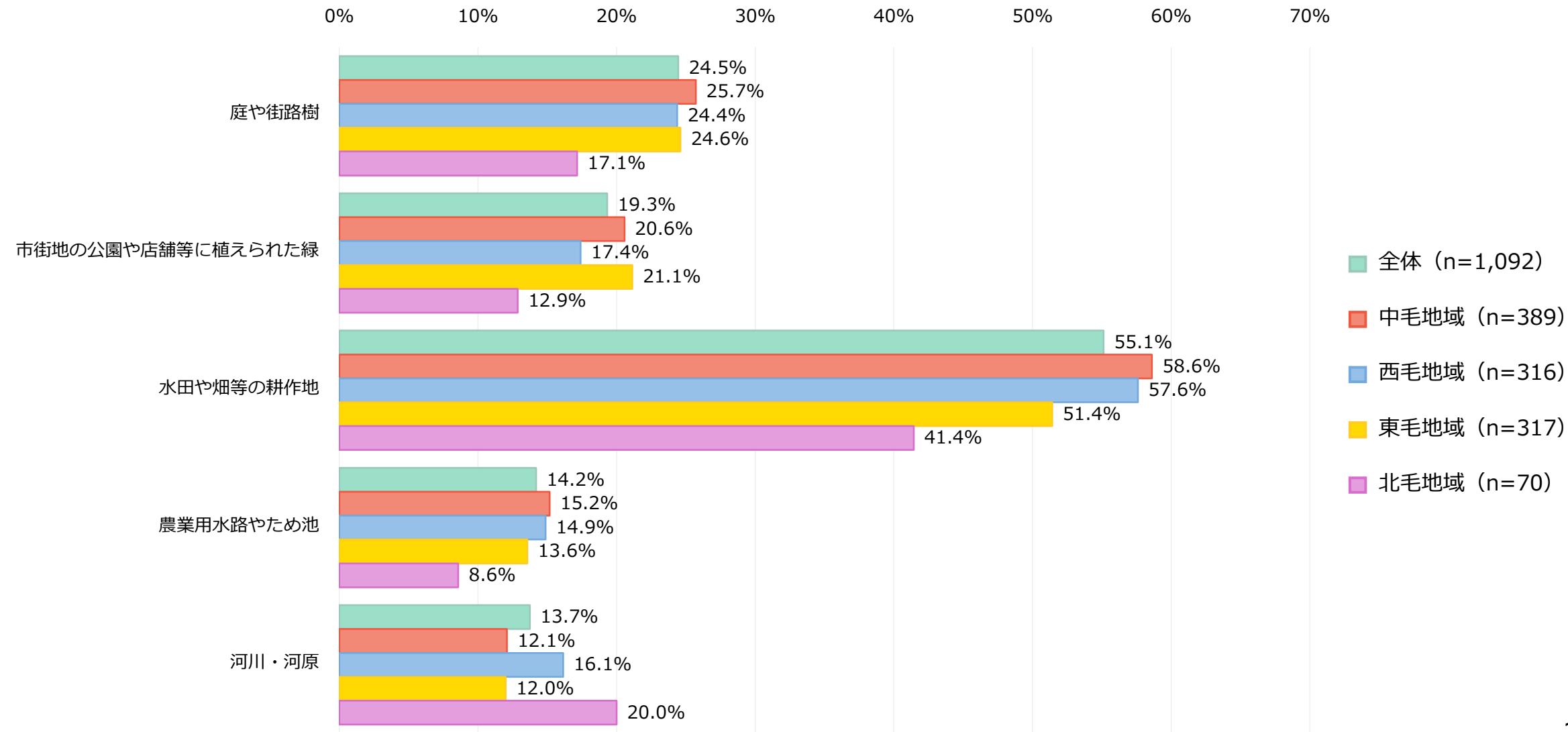
5 特に減少している自然環境（年代別）



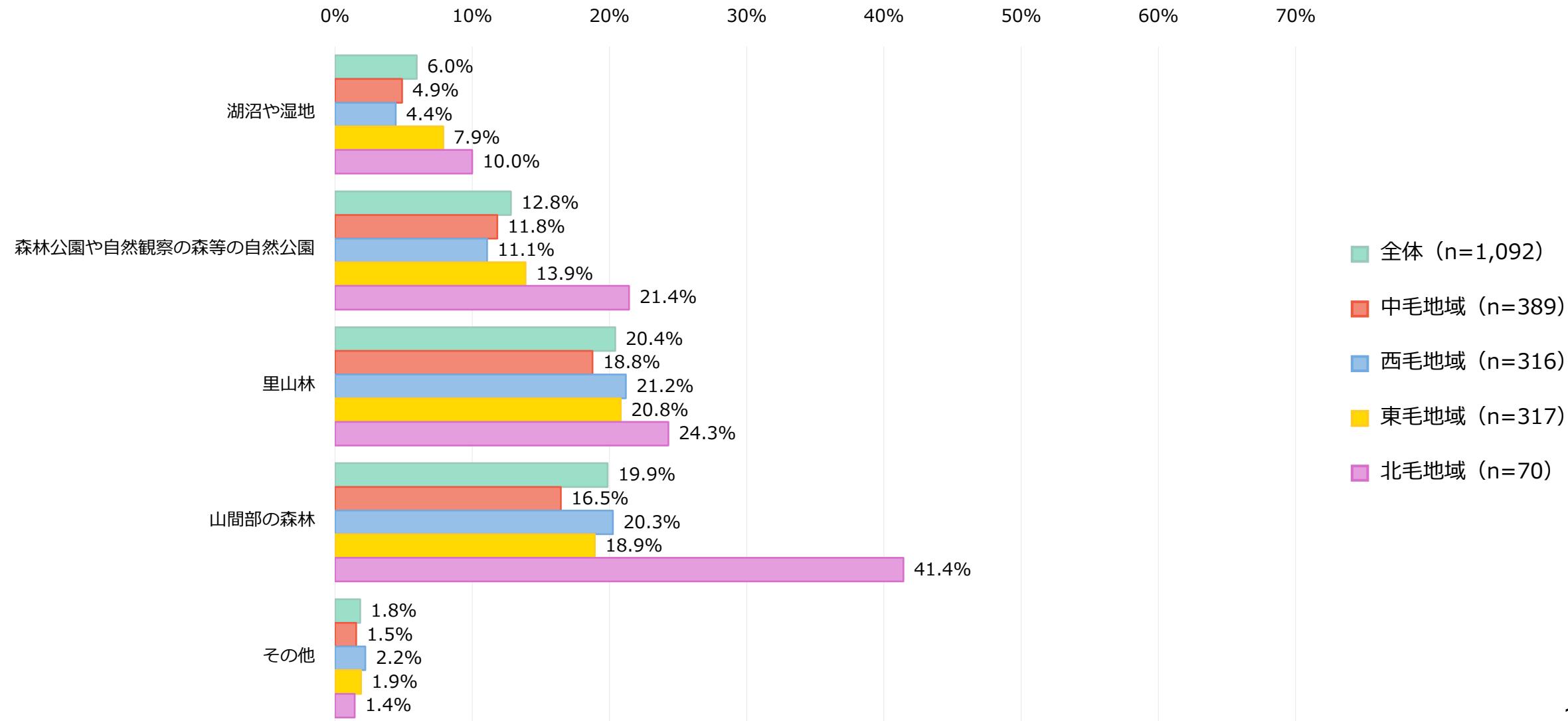
5 特に減少している自然環境（年代別_続き）



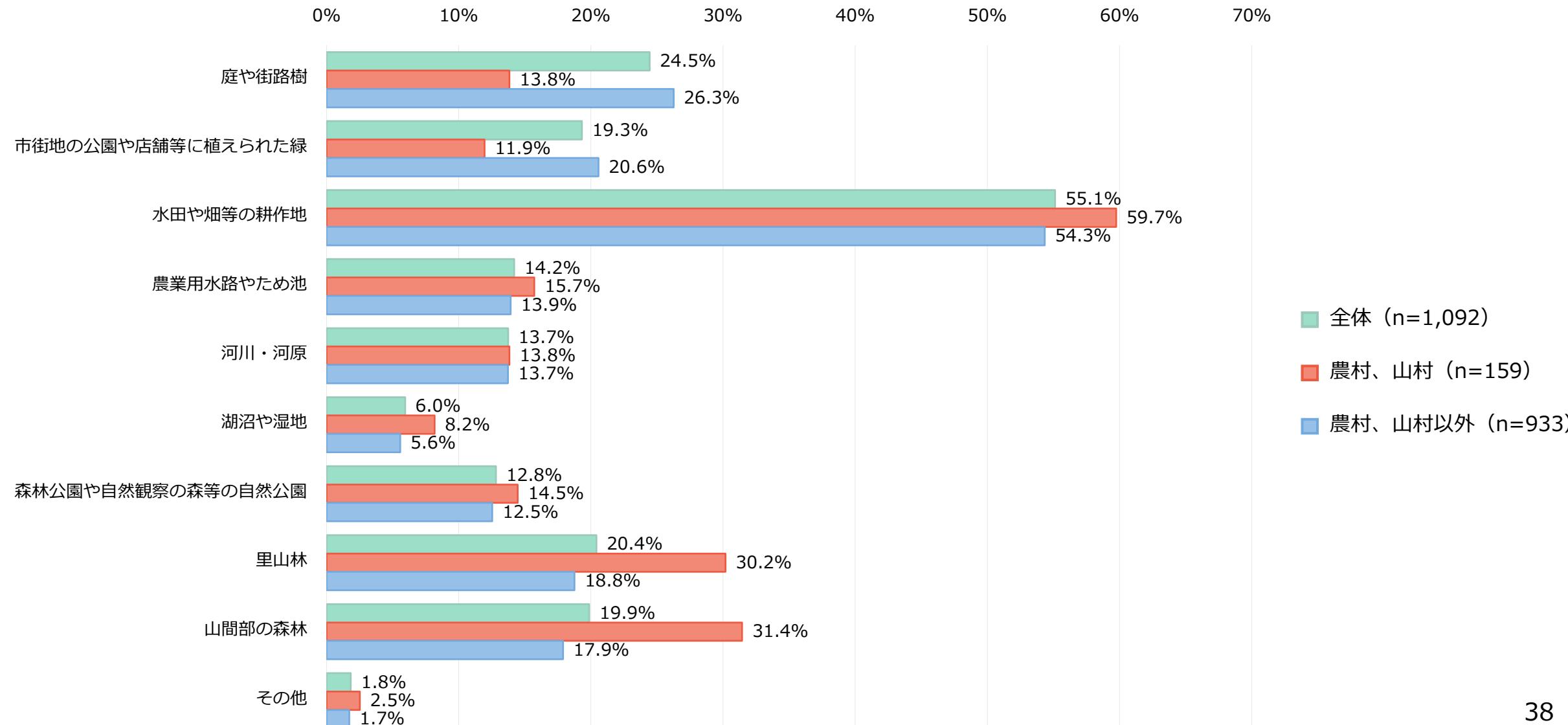
5 特に減少している自然環境（居住地域別）



5 特に減少している自然環境（居住地域別_続き）



5 特に減少している自然環境（居住地域の状況別）



5 特に減少している自然環境

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	庭や街路樹	市街地の公園や店舗等 に植えられた緑	水田や畠等の 耕作地	農業用水路や ため池	河川・河原
全体		2,344	24.5%	19.3%	55.1%	14.2%	13.7%
年代	18～29歳	197	32.4%	29.4%	44.1%	11.8%	16.2%
	30～39歳	433	25.6%	25.0%	53.7%	15.9%	17.7%
	40～49歳	447	19.8%	19.8%	56.9%	14.4%	10.9%
	50～59歳	550	27.4%	17.3%	52.0%	16.6%	12.3%
	60～69歳	517	22.9%	15.3%	56.5%	11.1%	14.9%
	70～79歳	200	22.7%	18.5%	64.7%	14.3%	12.6%
居住市町村	中毛地域	843	25.7%	20.6%	58.6%	15.2%	12.1%
	西毛地域	686	24.4%	17.4%	57.6%	14.9%	16.1%
	東毛地域	673	24.6%	21.1%	51.4%	13.6%	12.0%
	北毛地域	142	17.1%	12.9%	41.4%	8.6%	20.0%
居住地域の状況	農村、山村	321	13.8%	11.9%	59.7%	15.7%	13.8%
	農村、山村以外	2,023	26.3%	20.6%	54.3%	13.9%	13.7%

5 特に減少している自然環境（続き）

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	湖沼や湿地	森林公园や自然観察の森等の自然公園	里山林	山間部の森林	その他
全体		2,344	6.0%	12.8%	20.4%	19.9%	1.8%
年代	18～29歳	197	2.9%	14.7%	8.8%	20.6%	0.0%
	30～39歳	433	8.5%	15.2%	17.7%	19.5%	1.2%
	40～49歳	447	5.4%	14.4%	18.8%	21.3%	3.0%
	50～59歳	550	6.1%	10.8%	19.1%	21.7%	1.1%
	60～69歳	517	5.0%	9.9%	24.4%	19.1%	2.7%
	70～79歳	200	6.7%	16.8%	27.7%	15.1%	1.7%
居住市町村	中毛地域	843	4.9%	11.8%	18.8%	16.5%	1.5%
	西毛地域	686	4.4%	11.1%	21.2%	20.3%	2.2%
	東毛地域	673	7.9%	13.9%	20.8%	18.9%	1.9%
	北毛地域	142	10.0%	21.4%	24.3%	41.4%	1.4%
居住地域の状況	農村、山村	321	8.2%	14.5%	30.2%	31.4%	2.5%
	農村、山村以外	2,023	5.6%	12.5%	18.8%	17.9%	1.7%

5 特に減少している自然環境（続き）

■ 「その他」の回答

- ・桜
- ・竹林
- ・田畠
- ・平野部の森林
- ・遊歩道沿いの樹木

6 生物多様性とネイチャーポジティブの認知度

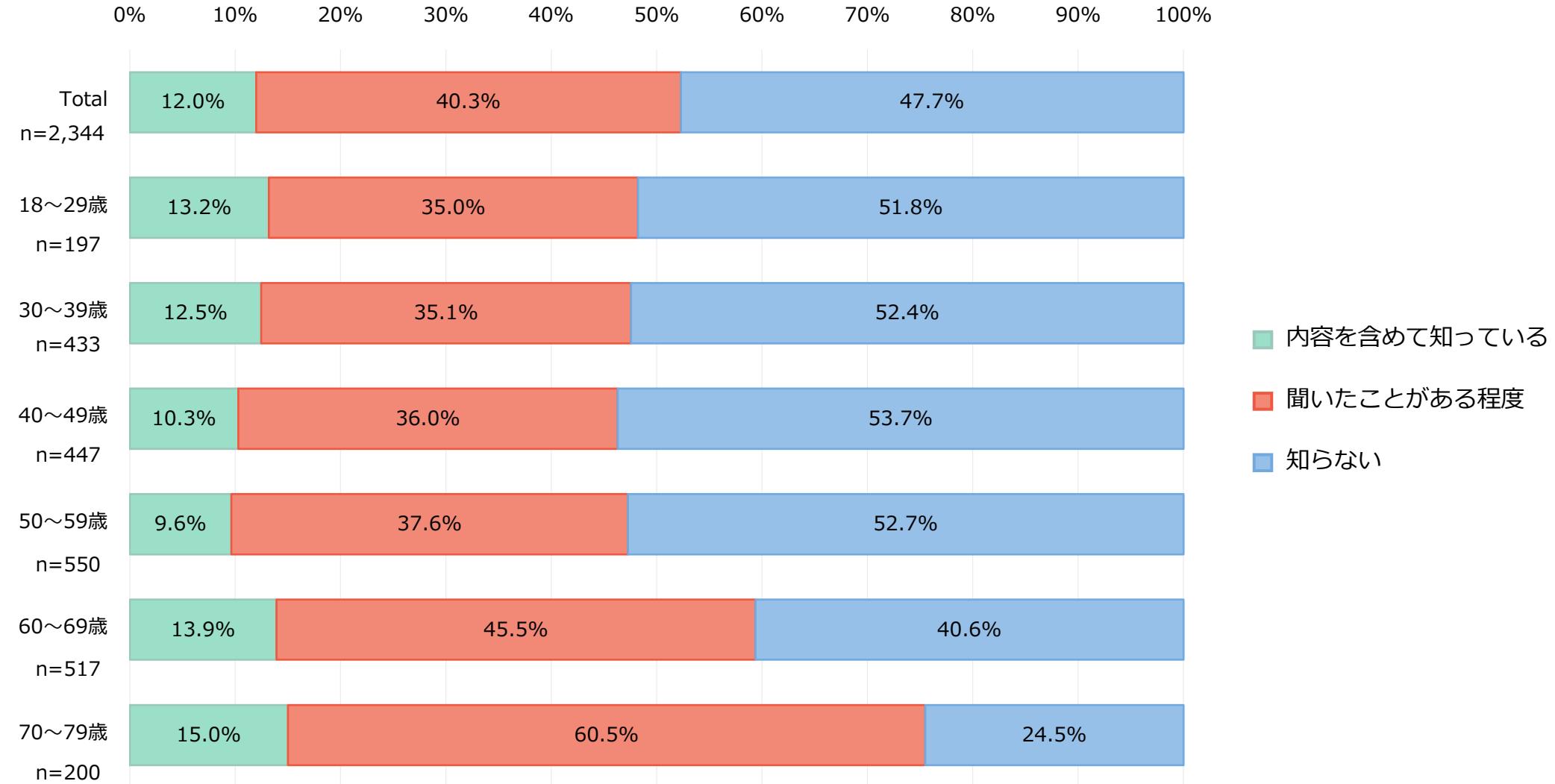
問6 あなたは「生物多様性*1」や「ネイチャーポジティブ*2」という言葉を知っていますか（言葉の意味を知らなくても、言葉は聞いたことがある場合を含む）。以下の中からあてはまるものを1つお選びください。

*1 生物多様性：生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと（出典：群馬県ホームページ「生物多様性について」）

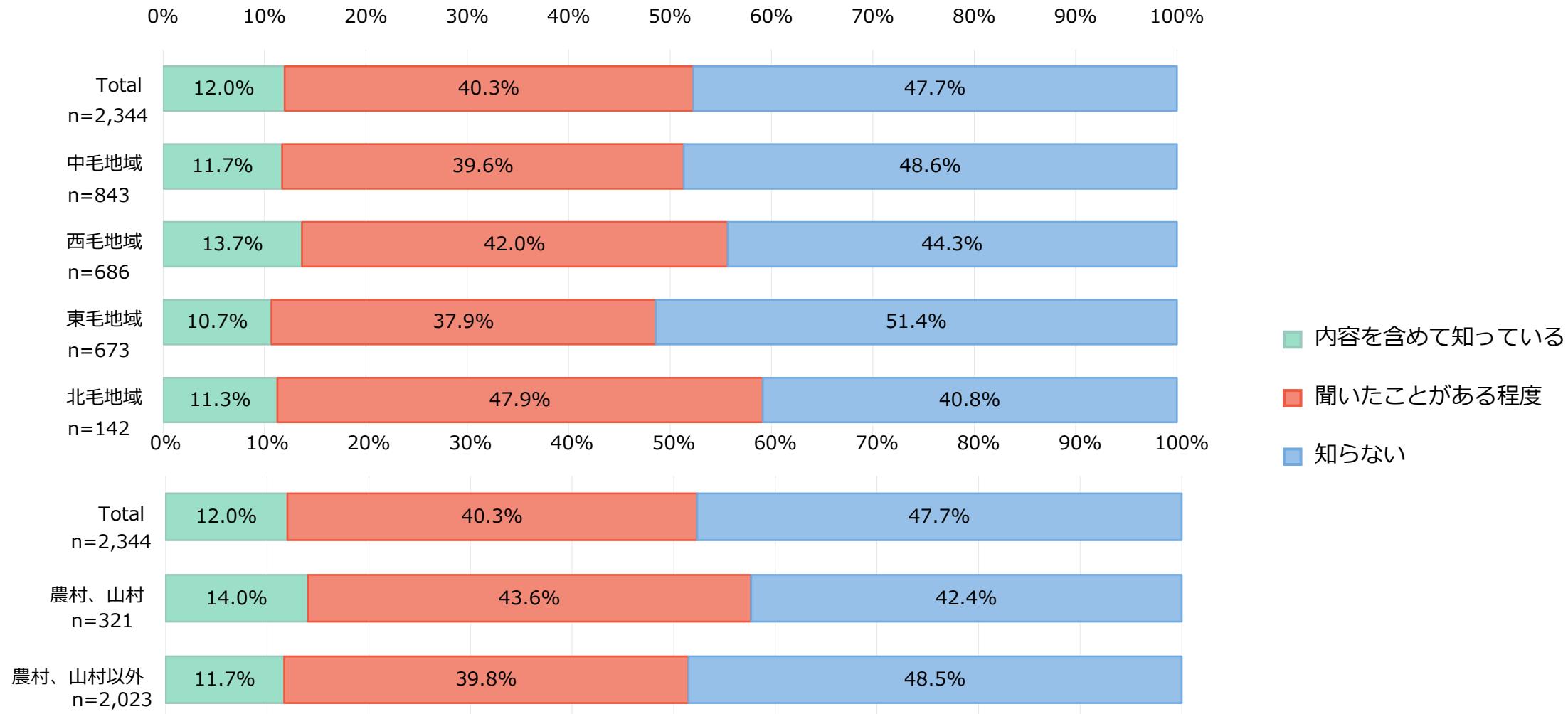
*2 ネイチャーポジティブ（自然再興）：自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること（出典：「令和6年度 環境・循環型社会・生物多様性白書」（環境省））

		内容を含めて知っている	聞いたことがある程度	知らない
①	生物多様性			
②	ネイチャーポジティブ			

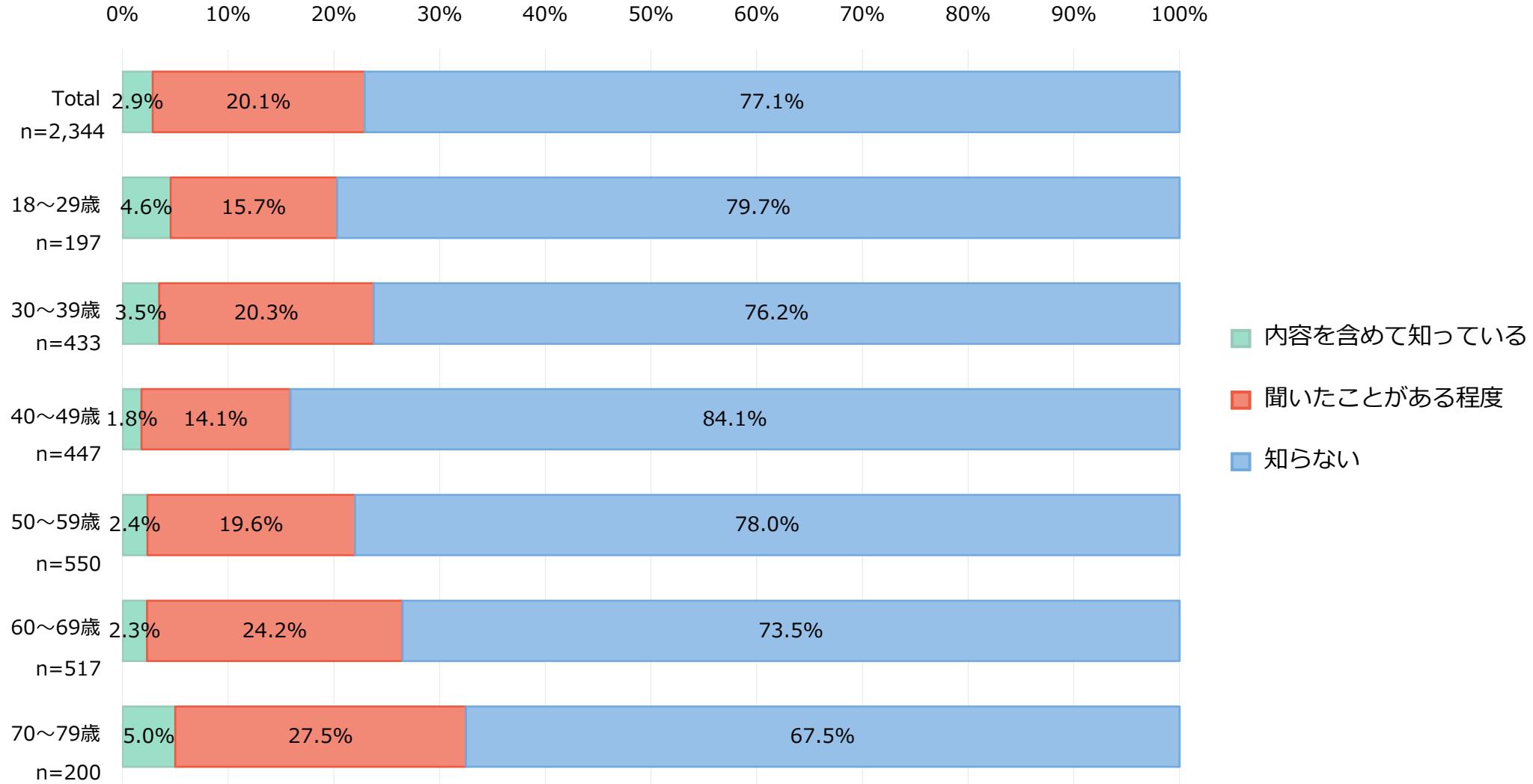
6-1 生物多様性の認知度（年代別）



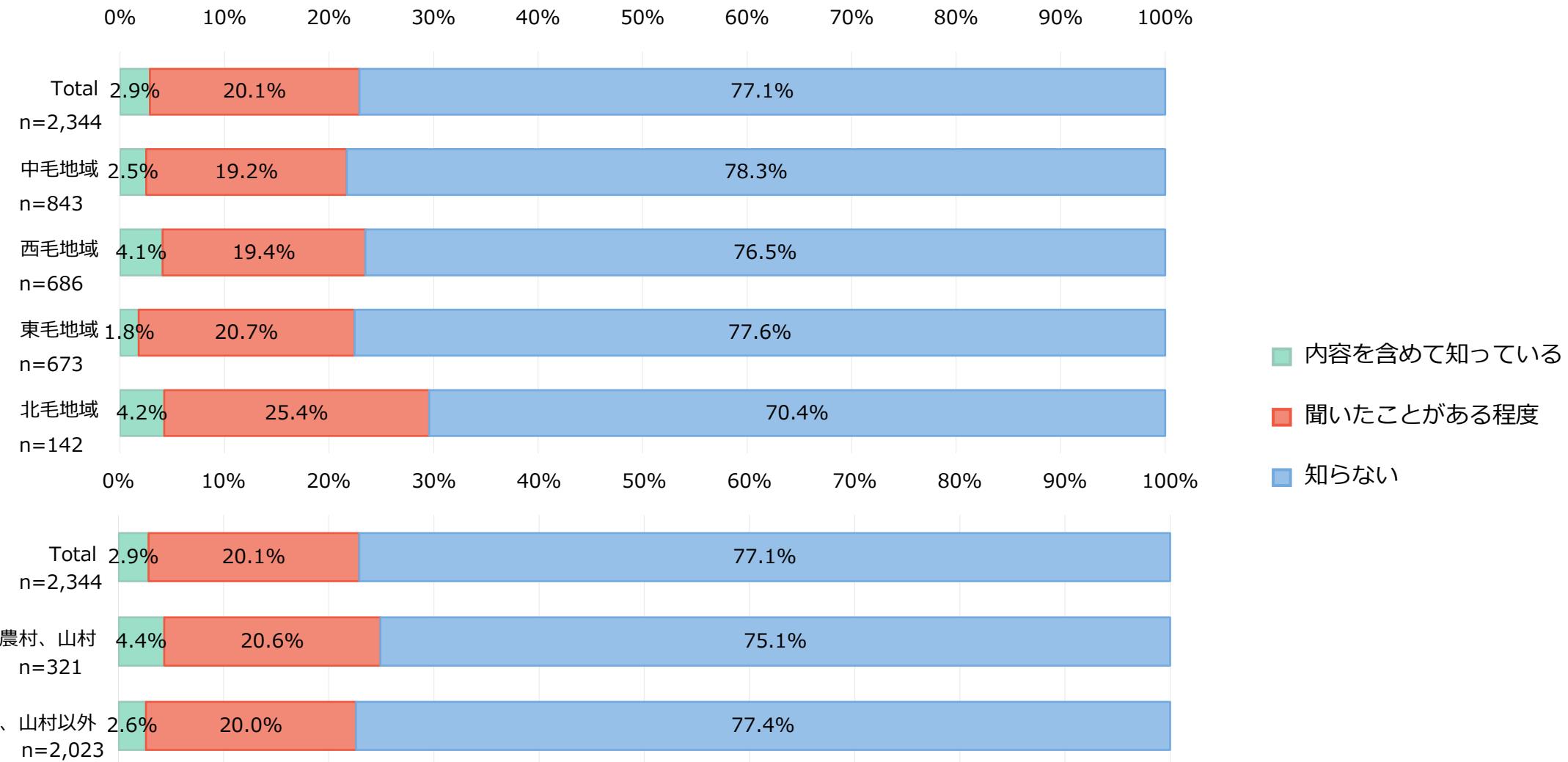
6-1 生物多様性の認知度（居住地域別、居住地域の状況別）



6-2 ネイチャー・ポジティブの認知度（年代別）



6-2 ネイチャー・ポジティブの認知度（居住地域別、居住地域の状況別）



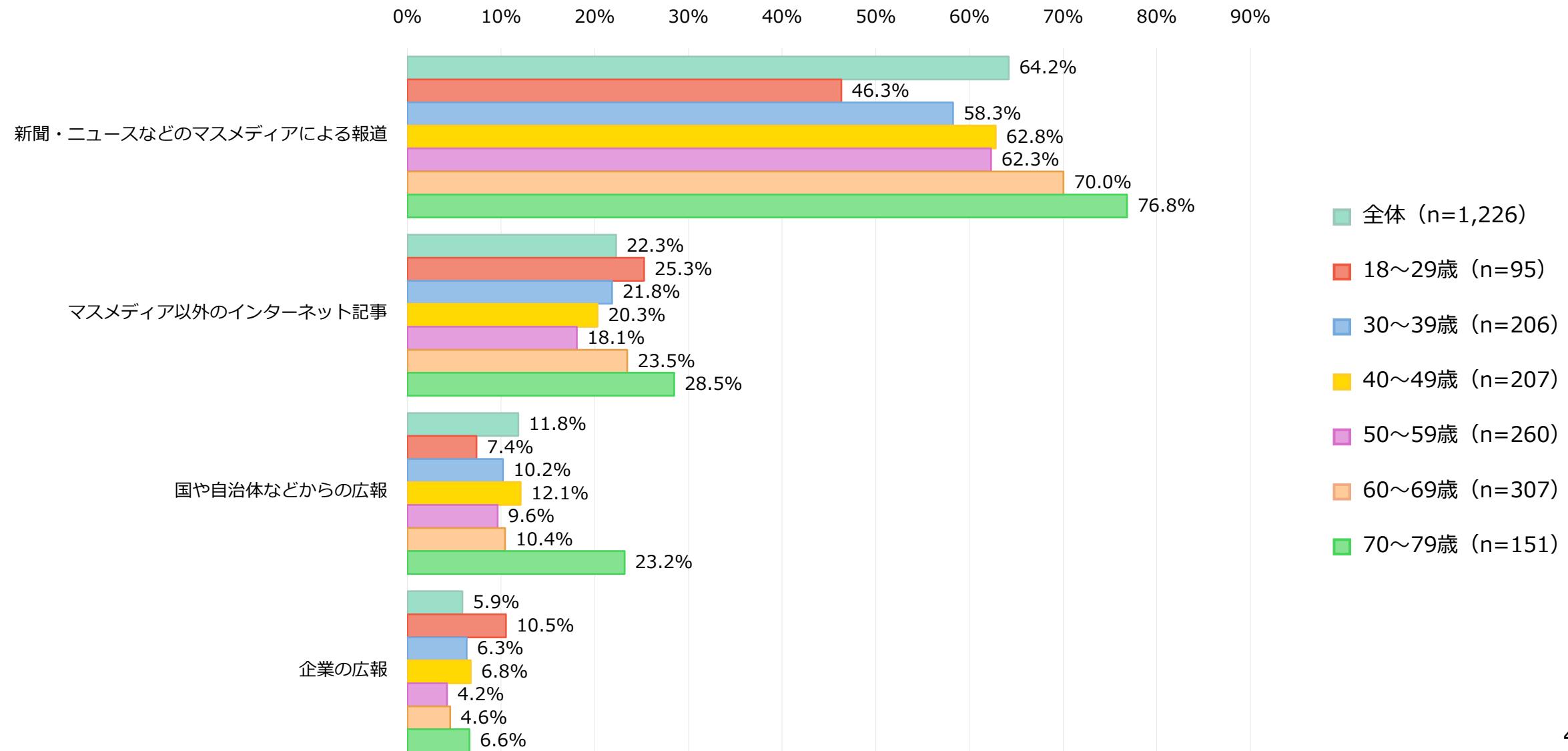
7 生物多様性・ネイチャーポジティブについて聞いたことのある場所・場面

■問6の「①生物多様性」「②ネイチャーポジティブ」について、「1.内容を含めて知っている」「2.聞いたことがある程度」を選んだ方にお伺いします。

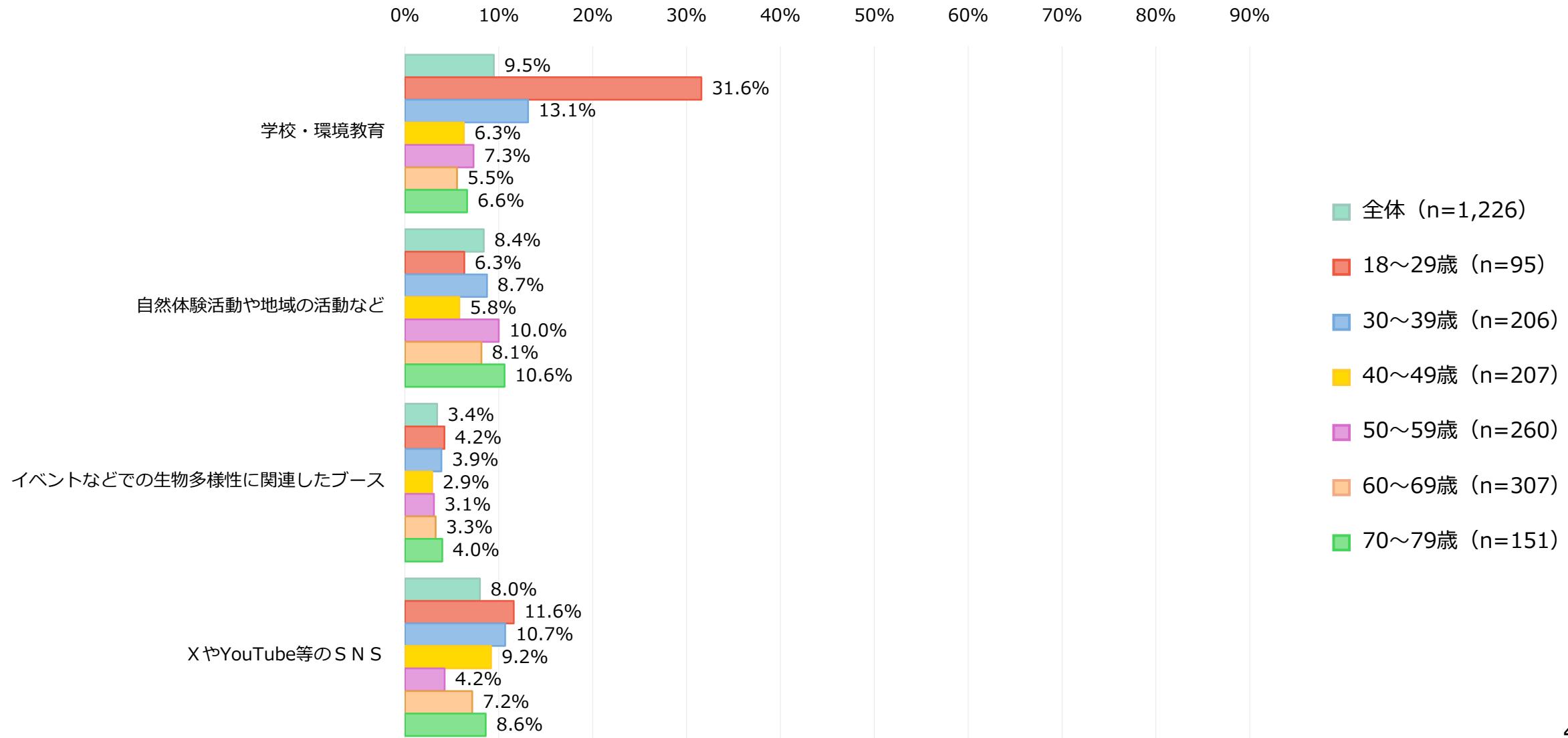
問7 どのような場所・場面で生物多様性やネイチャーポジティブについて聞いたことがありますか。
以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。

	①生物多様性	②ネイチャーポジティブ
新聞・ニュースなどのマスメディアによる報道		
マスメディア以外のインターネット記事		
国や自治体などからの広報		
企業の広報		
学校・環境教育		
自然体験活動や地域の活動など		
イベントなどでの生物多様性に関連したブース		
XやYouTube等のSNS		
生物多様性に関連した講演会・シンポジウム・イベント		
その他（ ）		
具体的には分からない		

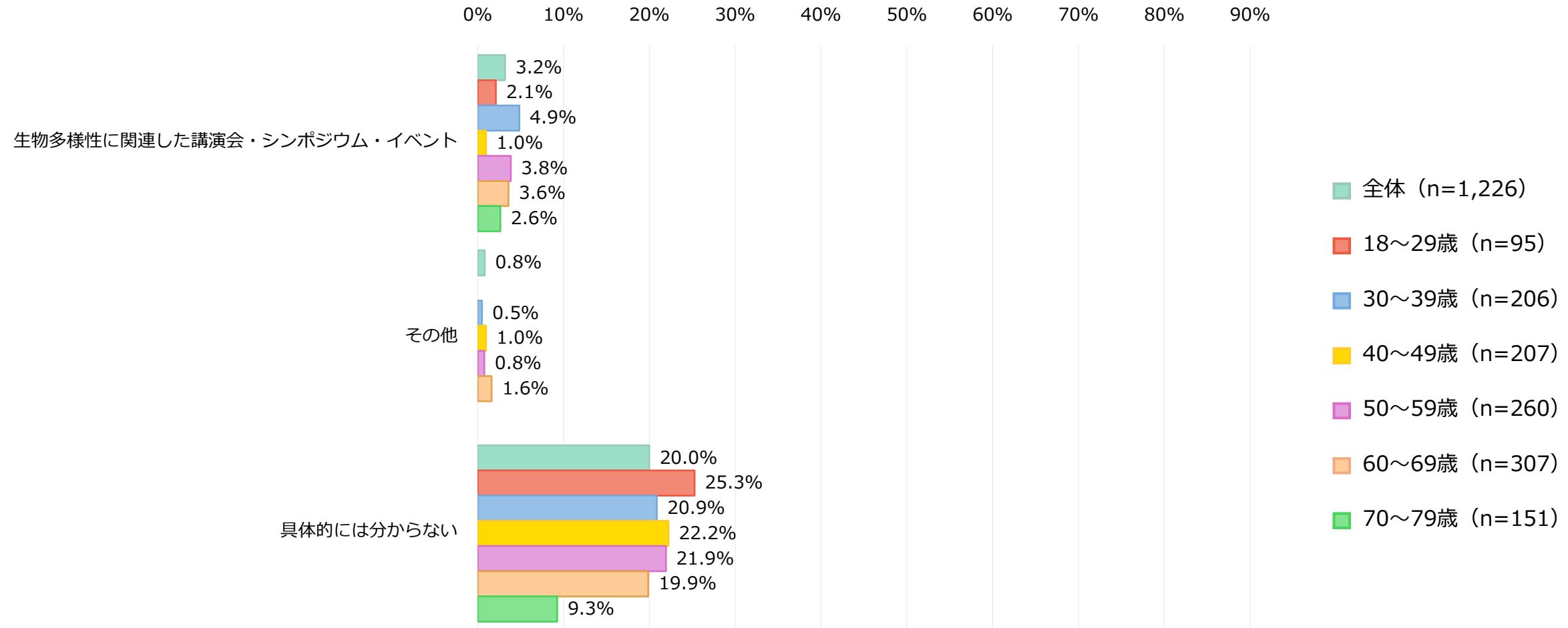
7-1 生物多様性について聞いたことのある場所・場面（年代別）



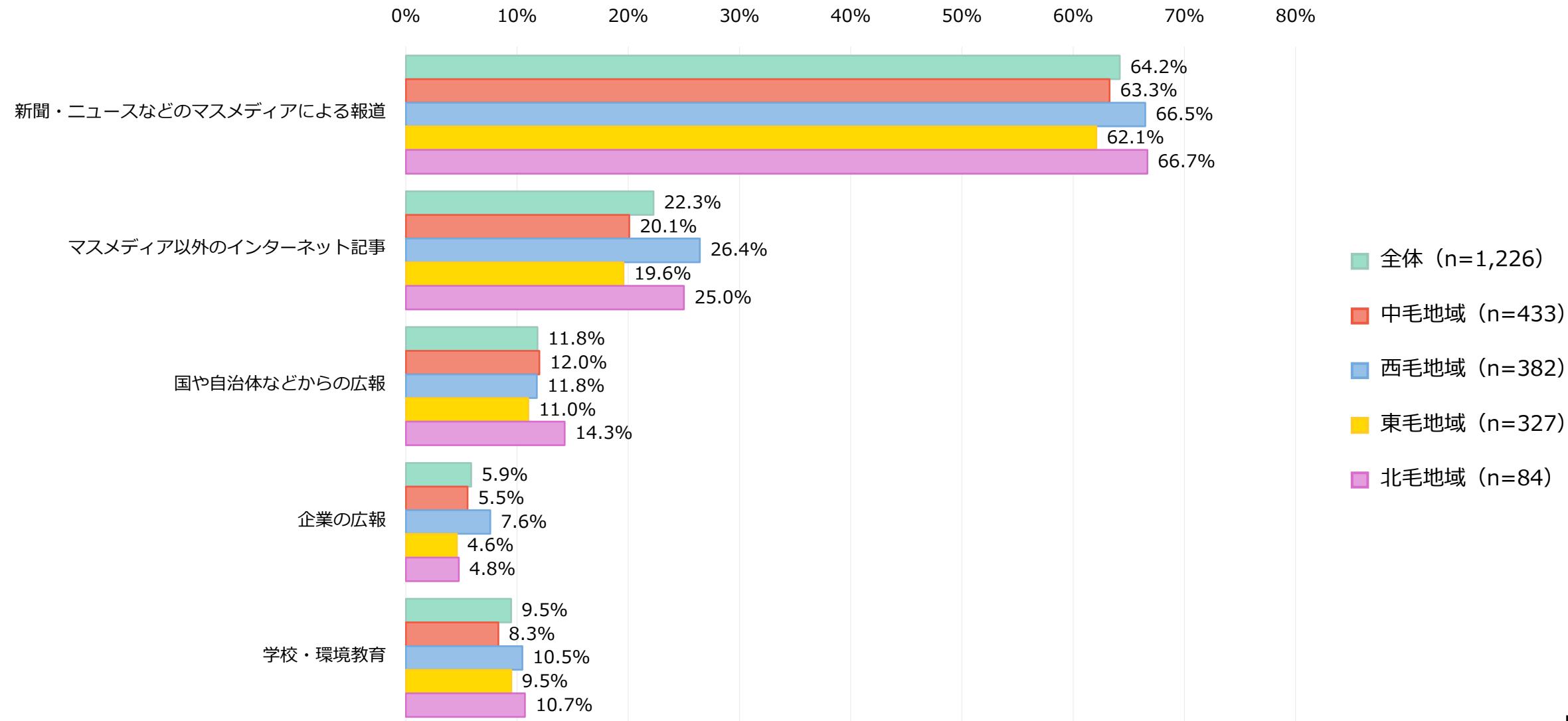
7-1 生物多様性について聞いたことのある場所・場面（年代別_続き）



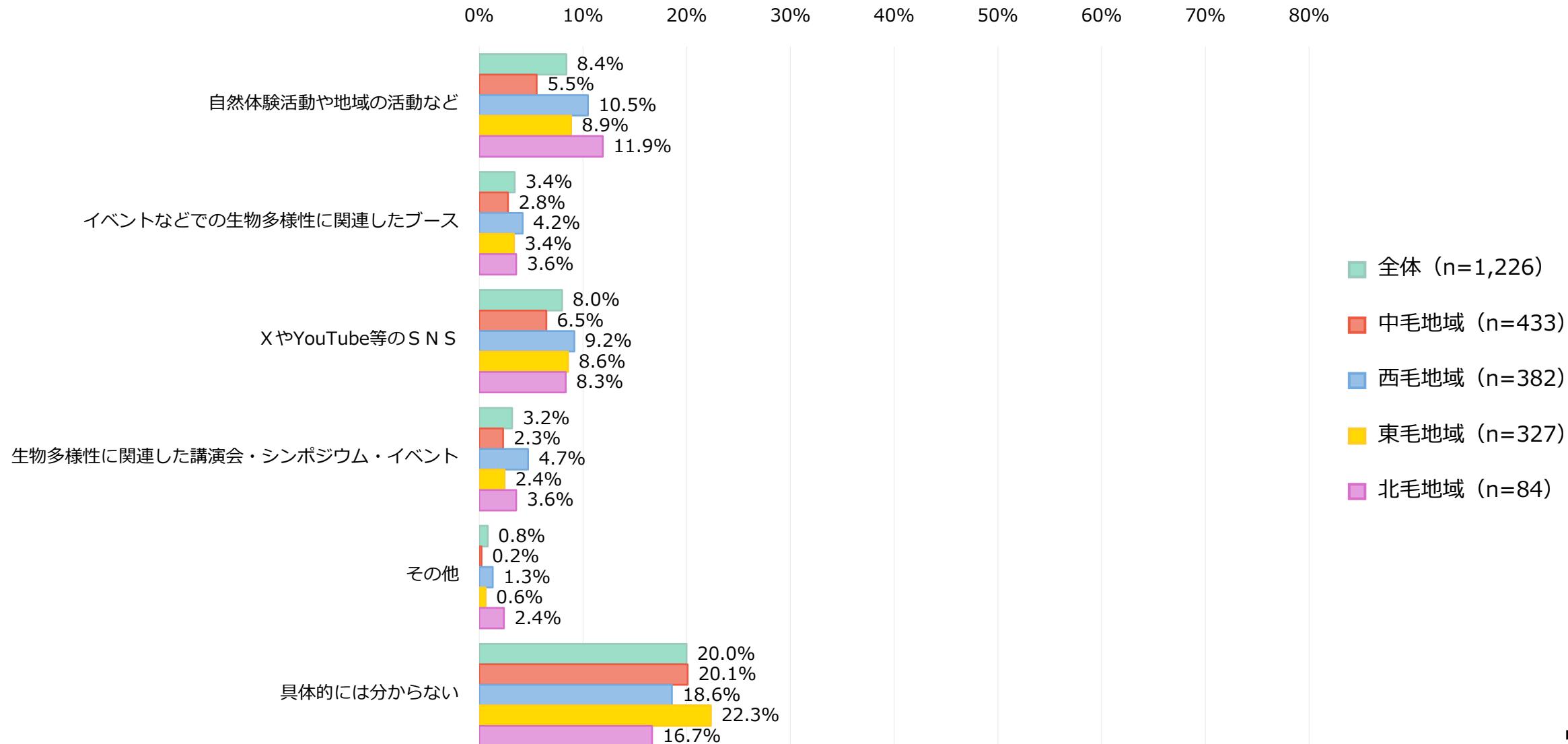
7-1 生物多様性について聞いたことのある場所・場面（年代別_続き）



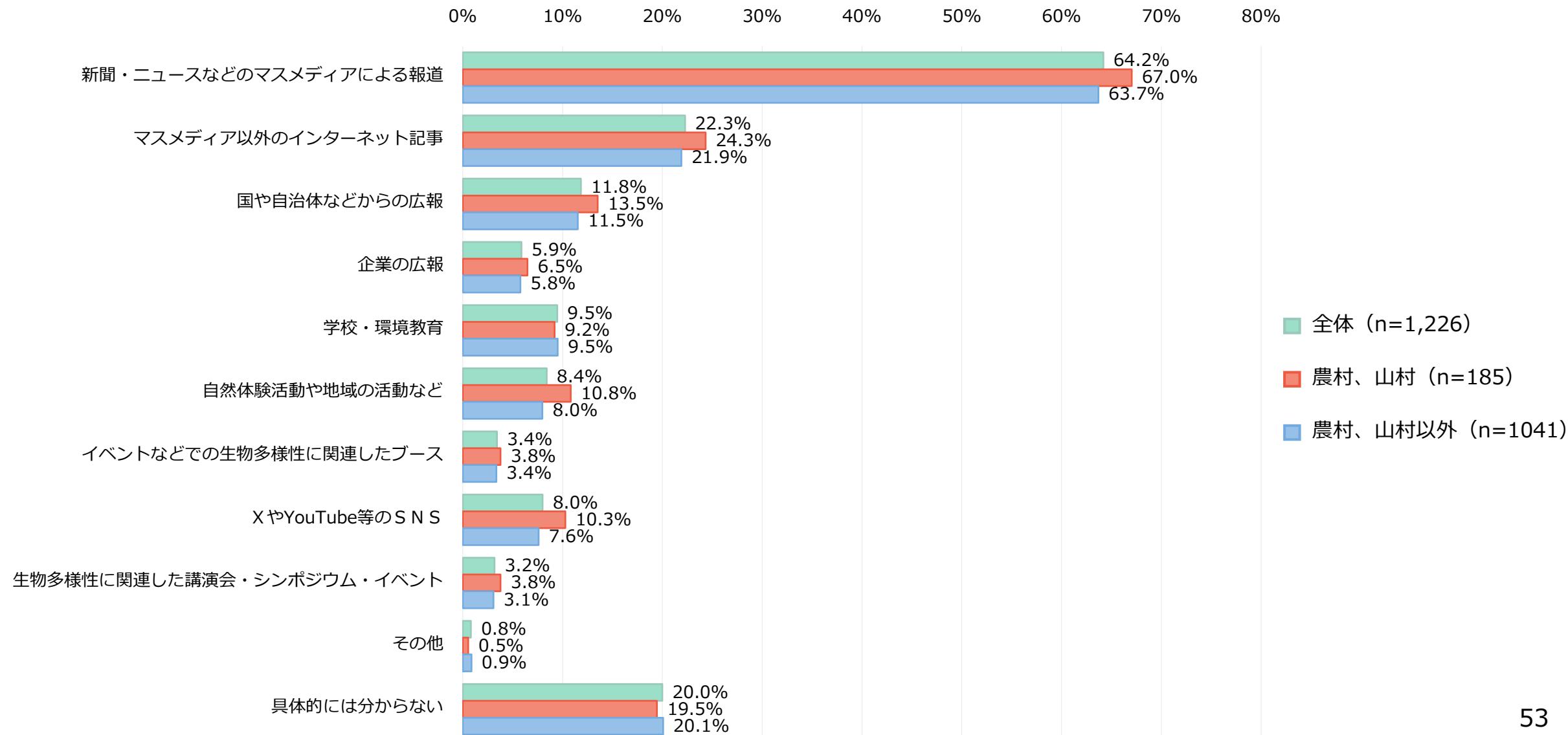
7-1 生物多様性について聞いたことのある場所・場面（居住地域別）



7-1 生物多様性について聞いたことのある場所・場面（居住地域別_続き）



7-1 生物多様性について聞いたことのある場所・場面（居住地域の状況別）



7-1 生物多様性について聞いたことのある場所・場面

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	新聞・ニュースなどのマスメディアによる報道	マスメディア以外のインターネット記事	国や自治体などからの広報	企業の広報	学校・環境教育
全体		2,344	64.2%	22.3%	11.8%	5.9%	9.5%
年代	18～29歳	197	46.3%	25.3%	7.4%	10.5%	31.6%
	30～39歳	433	58.3%	21.8%	10.2%	6.3%	13.1%
	40～49歳	447	62.8%	20.3%	12.1%	6.8%	6.3%
	50～59歳	550	62.3%	18.1%	9.6%	4.2%	7.3%
	60～69歳	517	70.0%	23.5%	10.4%	4.6%	5.5%
	70～79歳	200	76.8%	28.5%	23.2%	6.6%	6.6%
居住市町村	中毛地域	843	63.3%	20.1%	12.0%	5.5%	8.3%
	西毛地域	686	66.5%	26.4%	11.8%	7.6%	10.5%
	東毛地域	673	62.1%	19.6%	11.0%	4.6%	9.5%
	北毛地域	142	66.7%	25.0%	14.3%	4.8%	10.7%
居住地域の状況	農村、山村	321	67.0%	24.3%	13.5%	6.5%	9.2%
	農村、山村以外	2,023	63.7%	21.9%	11.5%	5.8%	9.5%

7-1 生物多様性について聞いたことのある場所・場面（続き）

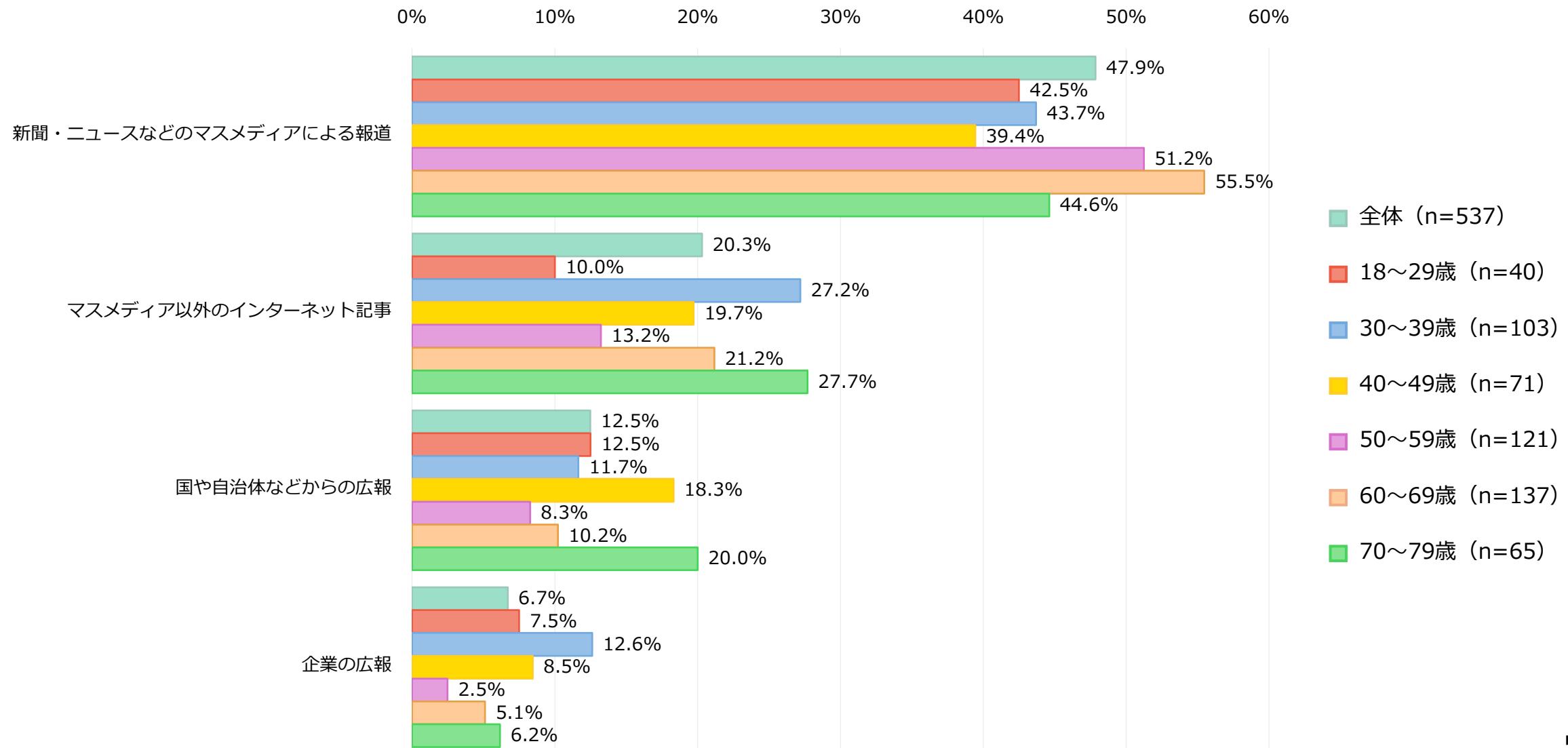
		合計	自然体験活動や地域の活動など	イベントなどの生物多様性に関連したブース	XやYouTube等のSNS	生物多様性に関連した講演会・シンポジウム・イベント	その他	具体的には分からぬ
全体		2,344	8.4%	3.4%	8.0%	3.2%	0.8%	20.0%
年代	18~29歳	197	6.3%	4.2%	11.6%	2.1%	0.0%	25.3%
	30~39歳	433	8.7%	3.9%	10.7%	4.9%	0.5%	20.9%
	40~49歳	447	5.8%	2.9%	9.2%	1.0%	1.0%	22.2%
	50~59歳	550	10.0%	3.1%	4.2%	3.8%	0.8%	21.9%
	60~69歳	517	8.1%	3.3%	7.2%	3.6%	1.6%	19.9%
	70~79歳	200	10.6%	4.0%	8.6%	2.6%	0.0%	9.3%
居住市町村	中毛地域	843	5.5%	2.8%	6.5%	2.3%	0.2%	20.1%
	西毛地域	686	10.5%	4.2%	9.2%	4.7%	1.3%	18.6%
	東毛地域	673	8.9%	3.4%	8.6%	2.4%	0.6%	22.3%
	北毛地域	142	11.9%	3.6%	8.3%	3.6%	2.4%	16.7%
居住地域の状況	農村、山村	321	10.8%	3.8%	10.3%	3.8%	0.5%	19.5%
	農村、山村以外	2,023	8.0%	3.4%	7.6%	3.1%	0.9%	20.1%

7-1 生物多様性について聞いたことのある場所・場面（続き）

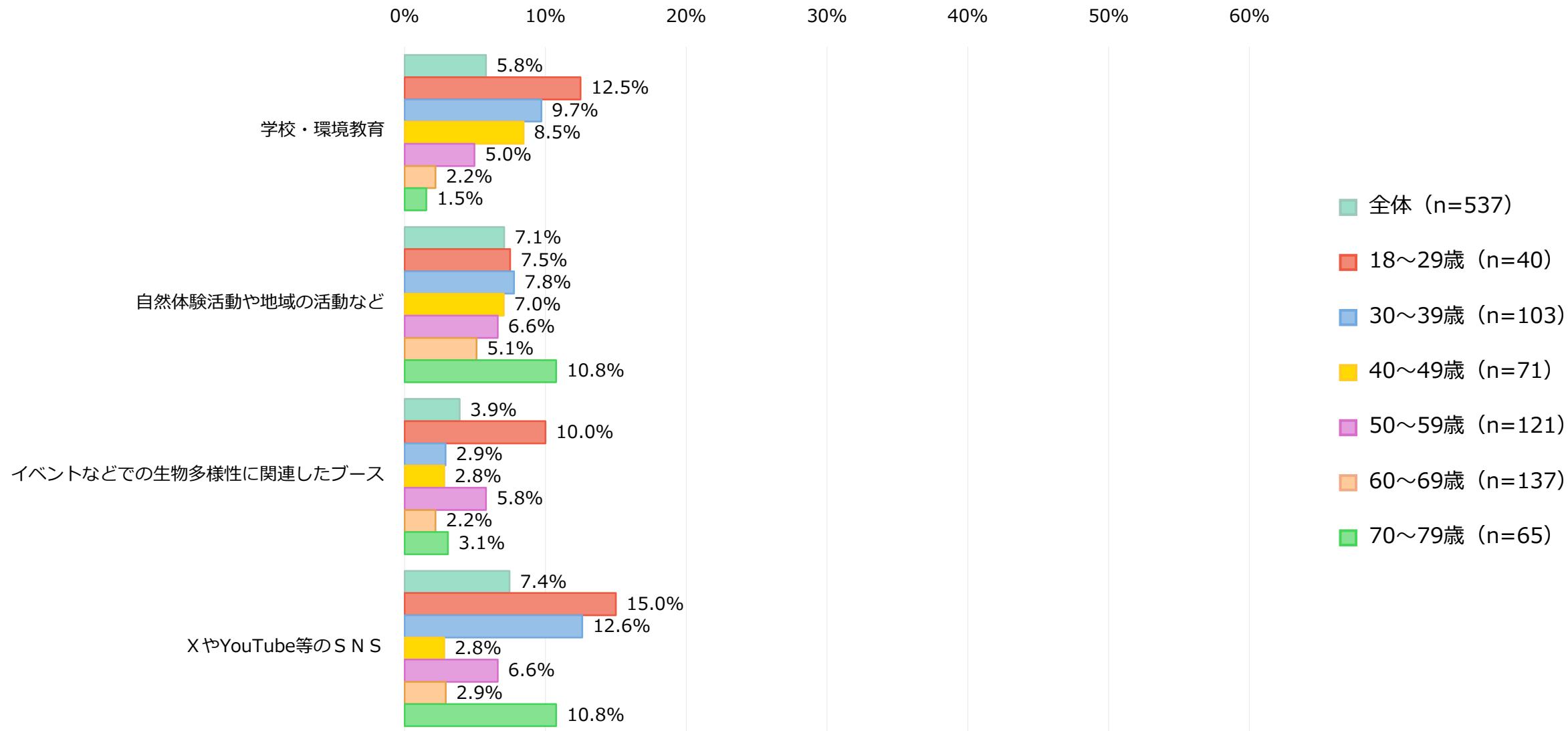
■ 「その他」の回答

- ・テレビ番組
- ・会社
- ・教科書
- ・県の環境ボランティア
- ・国立科学博物館
- ・書籍

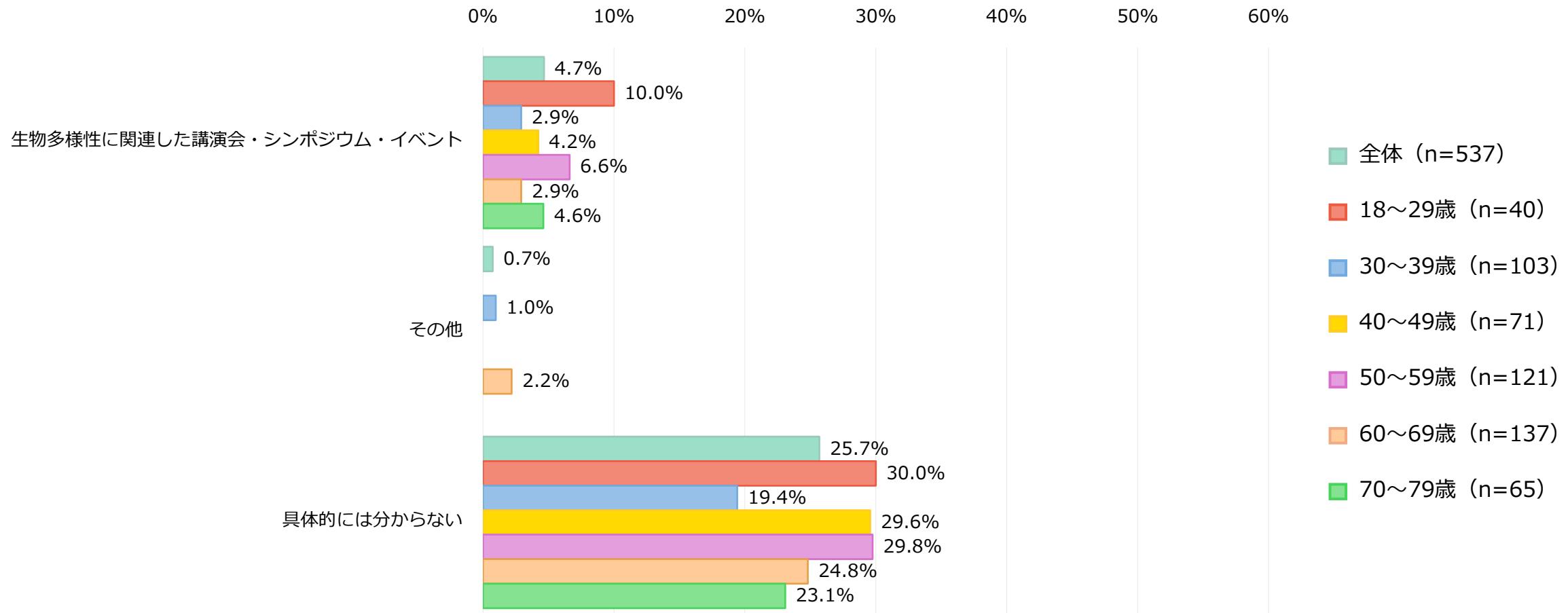
7-2 ネイチャー・ポジティブについて聞いたことのある場所・場面（年代別）



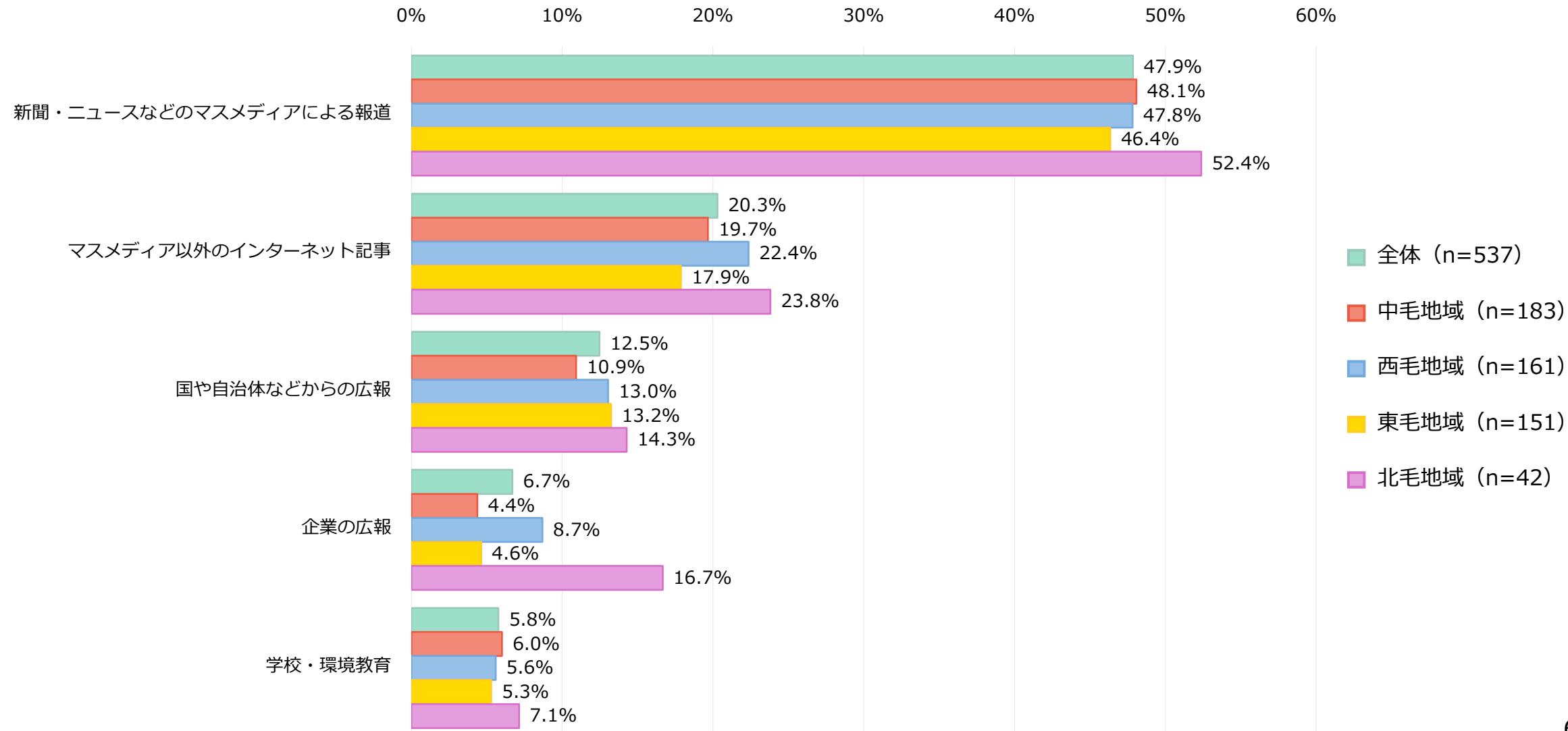
7-2 ネイチャーポジティブについて聞いたことのある場所・場面（年代別_続き）



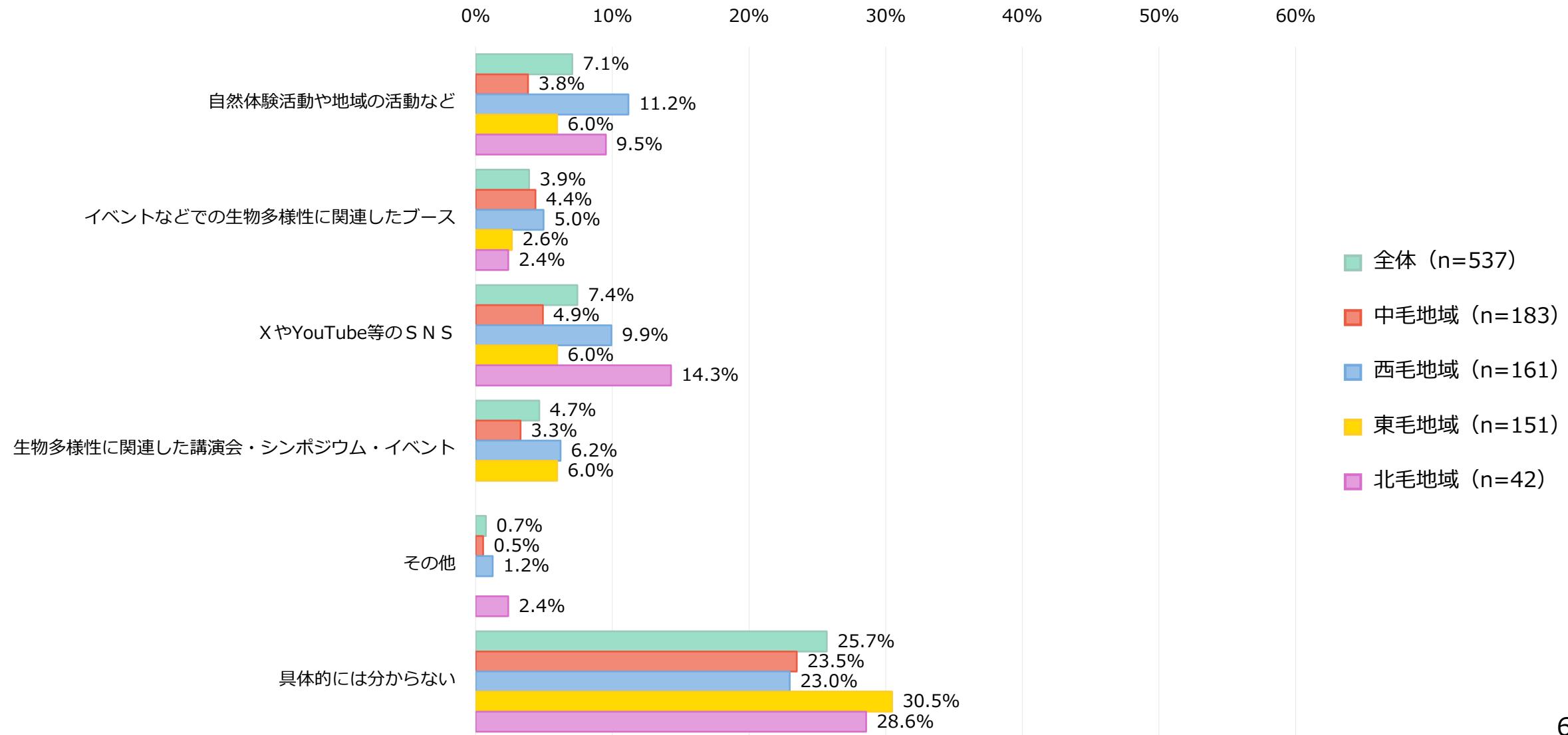
7-2 ネイチャーPOジティブについて聞いたことのある場所・場面（年代別_続き）



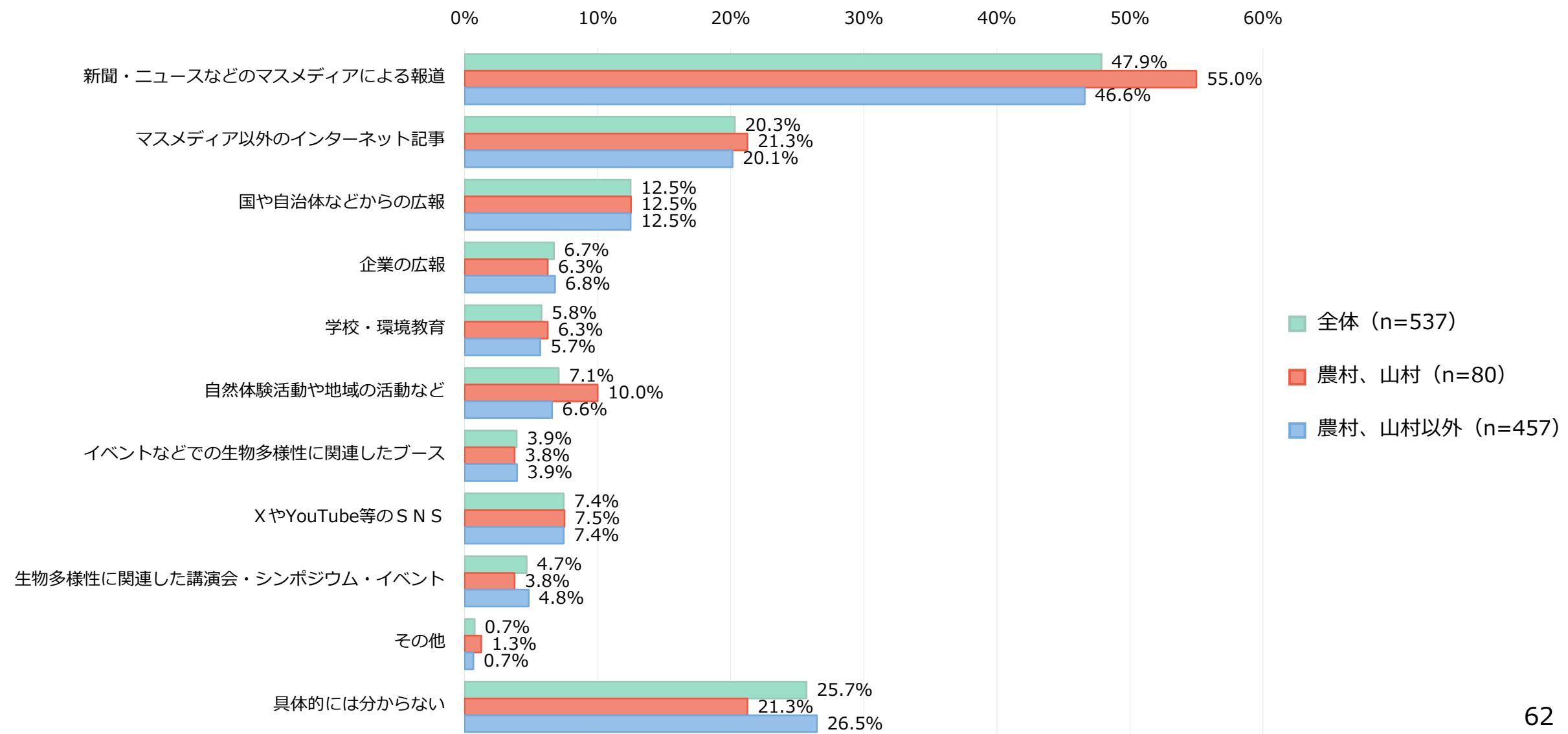
7-2 ネイチャーポジティブについて聞いたことのある場所・場面（居住地域別）



7-2 ネイチャーPOジティブについて聞いたことのある場所・場面（居住地域別_続き）



7-2 ネイチャーポジティブについて聞いたことのある場所・場面（居住地域の状況別）



7-2 ネイチャー・ポジティブについて聞いたことのある場所・場面

		合計	新聞・ニュースなどのマスメディアによる報道	マスメディア以外のインターネット記事	国や自治体などからの広報	企業の広報	学校・環境教育		
		全体	2,344	47.9%	20.3%	12.5%	6.7%	5.8%	全体+10.0ポイント以上
年代	18~29歳	197	42.5%	10.0%	12.5%	7.5%	12.5%		全体+10.0ポイント以上
	30~39歳	433	43.7%	27.2%	11.7%	12.6%	9.7%		全体+5.0~9.9ポイント
	40~49歳	447	39.4%	19.7%	18.3%	8.5%	8.5%		全体-5.0~9.9ポイント
	50~59歳	550	51.2%	13.2%	8.3%	2.5%	5.0%		全体-10.0ポイント以上
	60~69歳	517	55.5%	21.2%	10.2%	5.1%	2.2%		
	70~79歳	200	44.6%	27.7%	20.0%	6.2%	1.5%		
居住市町村	中毛地域	843	48.1%	19.7%	10.9%	4.4%	6.0%		
	西毛地域	686	47.8%	22.4%	13.0%	8.7%	5.6%		
	東毛地域	673	46.4%	17.9%	13.2%	4.6%	5.3%		
	北毛地域	142	52.4%	23.8%	14.3%	16.7%	7.1%		
居住地域の状況	農村、山村	321	55.0%	21.3%	12.5%	6.3%	6.3%		
	農村、山村以外	2,023	46.6%	20.1%	12.5%	6.8%	5.7%		

7-2 ネイチャーPOジティブについて聞いたことのある場所・場面（続き）

		合計	自然体験活動や 地域の活動など	イベントなどで生 物多様性に関連した ブース	X やYouTube等の S N S	生物多様性に関連し た講演会・シンポジ ウム・イベント	その他	具体的には 分からぬい	
全体		2,344	7.1%	3.9%	7.4%	4.7%	0.7%	25.7%	全体+10.0ポイント以上
年代	18～29歳	197	7.5%	10.0%	15.0%	10.0%	0.0%	30.0%	全体+5.0～9.9ポイント
	30～39歳	433	7.8%	2.9%	12.6%	2.9%	1.0%	19.4%	全体-5.0～9.9ポイント
	40～49歳	447	7.0%	2.8%	2.8%	4.2%	0.0%	29.6%	全体-10.0ポイント以上
	50～59歳	550	6.6%	5.8%	6.6%	6.6%	0.0%	29.8%	全体+10.0ポイント以上
	60～69歳	517	5.1%	2.2%	2.9%	2.9%	2.2%	24.8%	全体+5.0～9.9ポイント
	70～79歳	200	10.8%	3.1%	10.8%	4.6%	0.0%	23.1%	全体-5.0～9.9ポイント
居住市町村	中毛地域	843	3.8%	4.4%	4.9%	3.3%	0.5%	23.5%	全体-10.0ポイント以上
	西毛地域	686	11.2%	5.0%	9.9%	6.2%	1.2%	23.0%	全体+10.0ポイント以上
	東毛地域	673	6.0%	2.6%	6.0%	6.0%	0.0%	30.5%	全体+5.0～9.9ポイント
	北毛地域	142	9.5%	2.4%	14.3%	0.0%	2.4%	28.6%	全体-5.0～9.9ポイント
居住地域の状況	農村、山村	321	10.0%	3.8%	7.5%	3.8%	1.3%	21.3%	全体+10.0ポイント以上
	農村、山村以外	2,023	6.6%	3.9%	7.4%	4.8%	0.7%	26.5%	全体+5.0～9.9ポイント

7-2 ネイチャーポジティブについて聞いたことのある場所・場面（続き）

■ 「その他」の回答

- ・テレビ番組
- ・会社
- ・教科書
- ・県の環境ボランティア
- ・国立科学博物館
- ・書籍

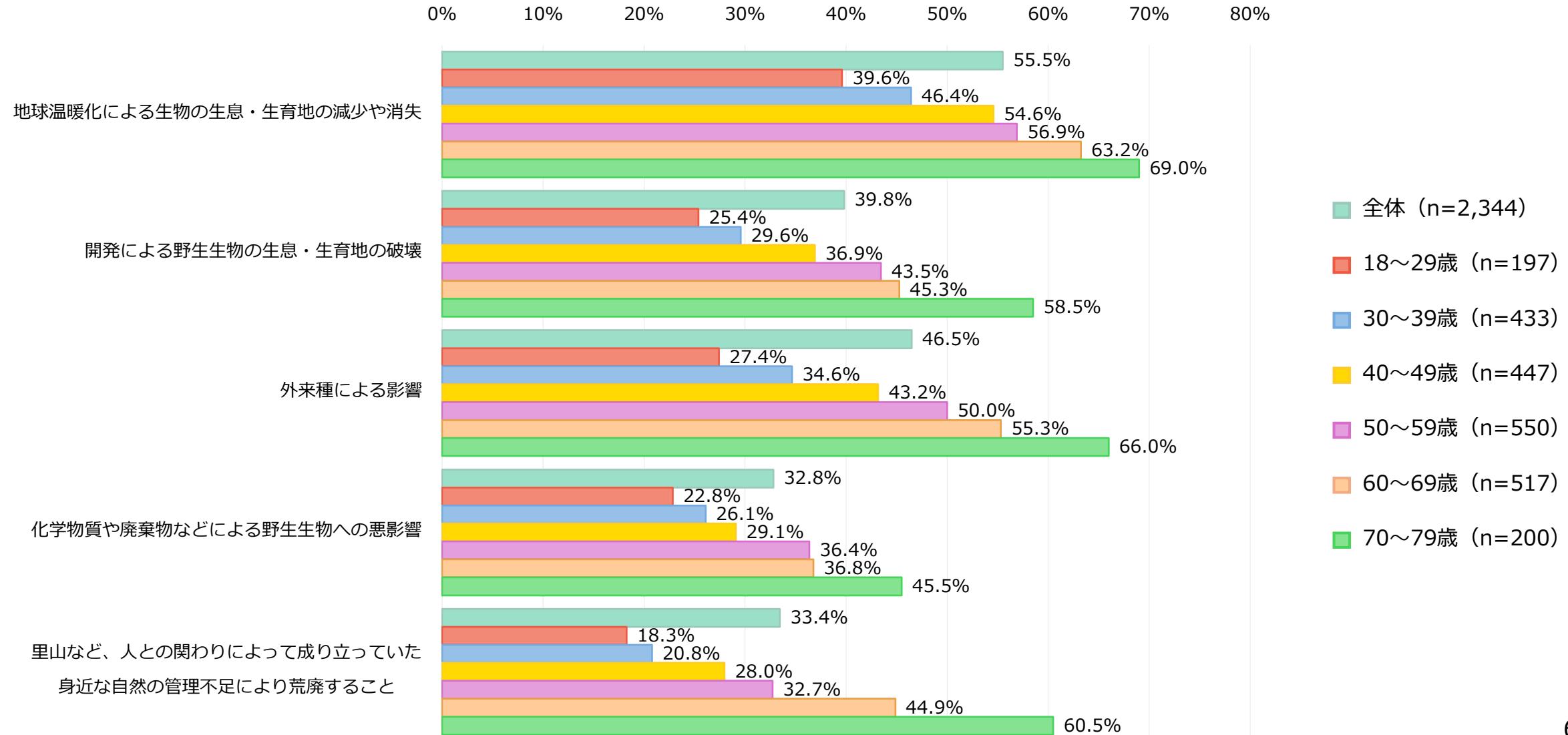
8 生物多様性の危機を招く要因

問8 生物多様性は、豊かな水資源や多様な農作物、温泉など、私たちの生活に欠かすことのできない様々な恵みをもたらしていますが、現在、人間の活動などの影響によって危機に直面しています。あなたは、全国的に生物多様性の危機を招く要因について、どのようなことに関心がありますか。また、重視すべきと思うものは何ですか。以下のなかから①関心があるものについては、当てはまるもの全てを、②重視すべきと思うものについては、3つまでお選びください。

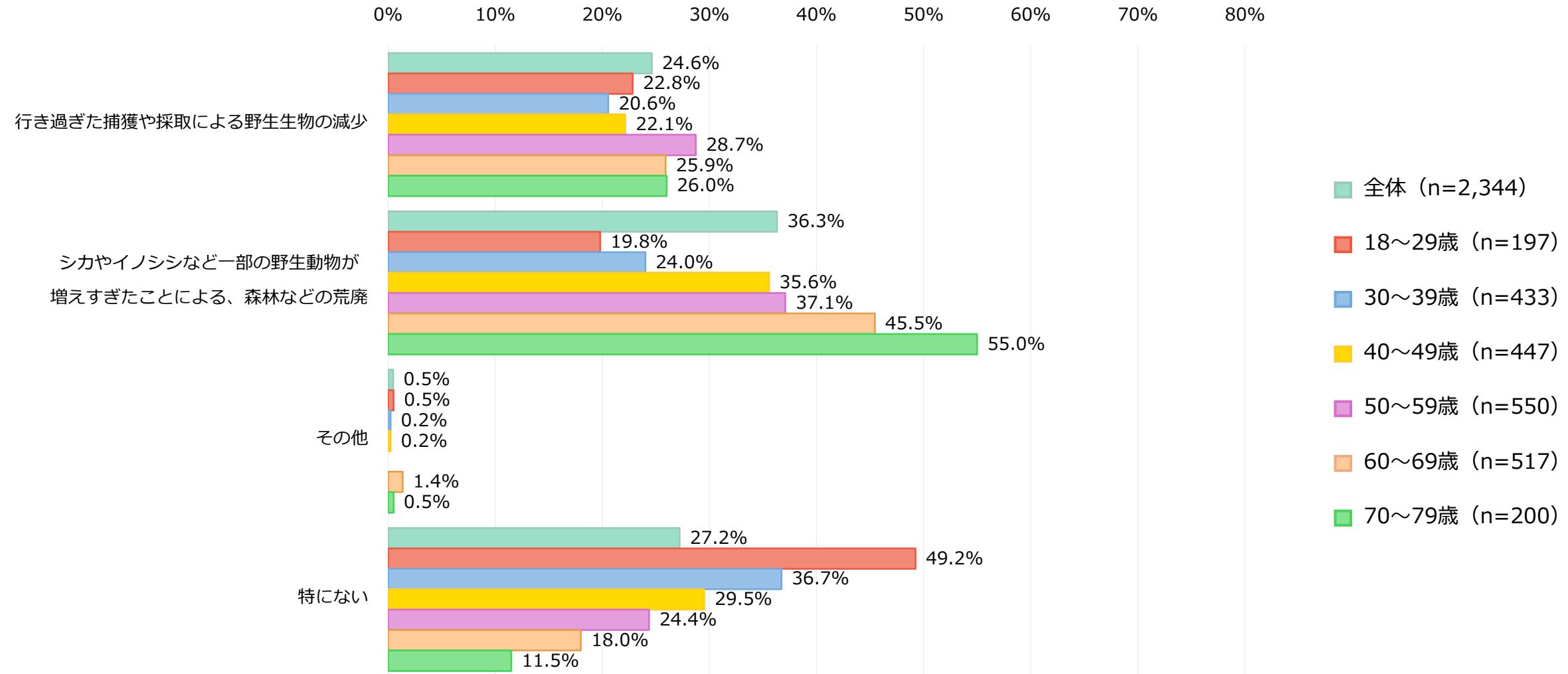
※「①関心がある」と「②重視すべき」は別々の質問です。必ずしも「①関心がある」のうちから「②重視すべき」を選ばなくてかまいません。

	①関心があるもの	②重視すべきと思うもの
地球温暖化による生物の生息・生育地の減少や消失		
開発による野生生物の生息・生育地の破壊		
外来種による影響（その土地に生息・生育していた生物が、本来その土地にいなかったが人間の活動によって持ち込まれた生物に食べられたり、生息・生育地を奪われたりすることにより減少すること）		
化学物質や廃棄物などによる野生生物への悪影響		
里山など、人との関わりによって成り立っていた身近な自然の管理不足により荒廃すること		
行き過ぎた捕獲や採取による野生生物の減少		
シカやイノシシなど一部の野生動物が増えすぎたことによる、森林などの荒廃		
その他（ ）		
特にない		

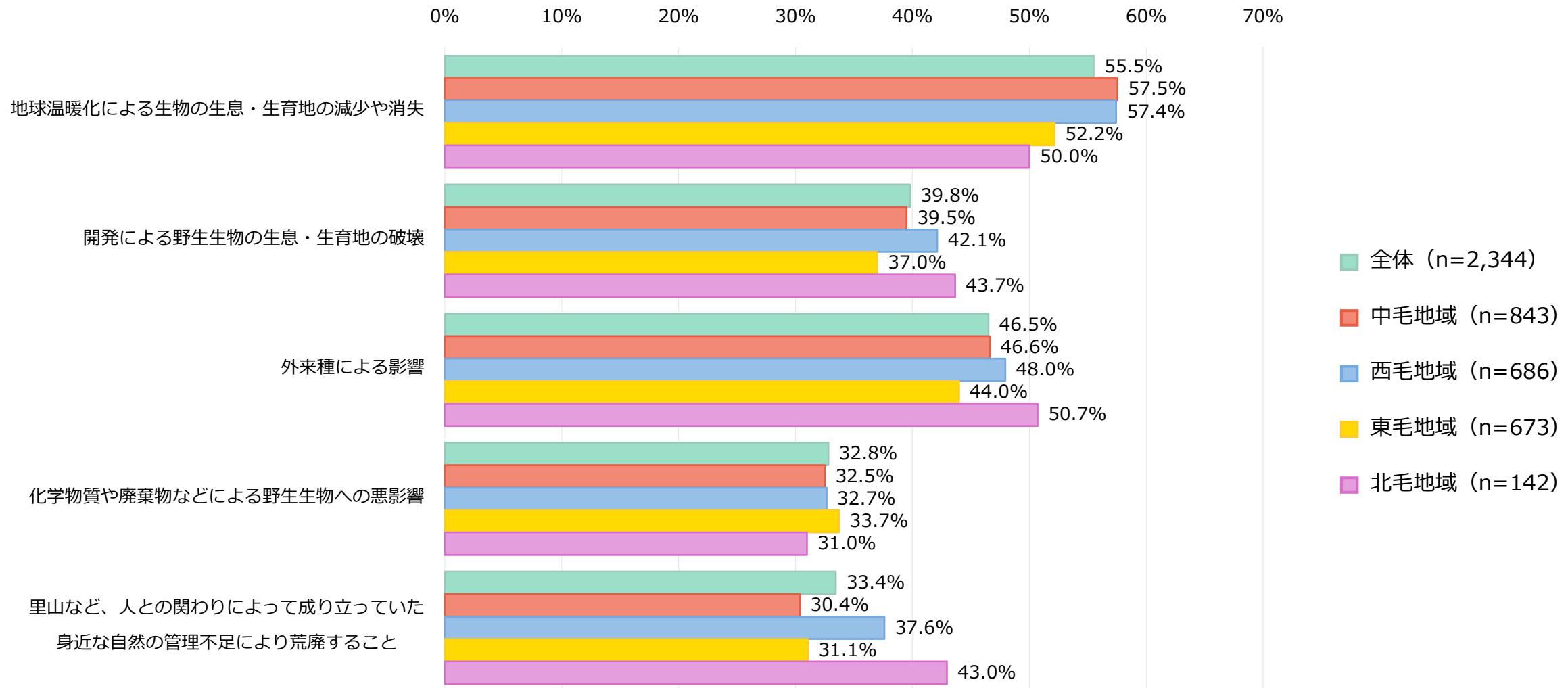
8-1 生物多様性の危機を招く要因_関心があるもの（年代別）



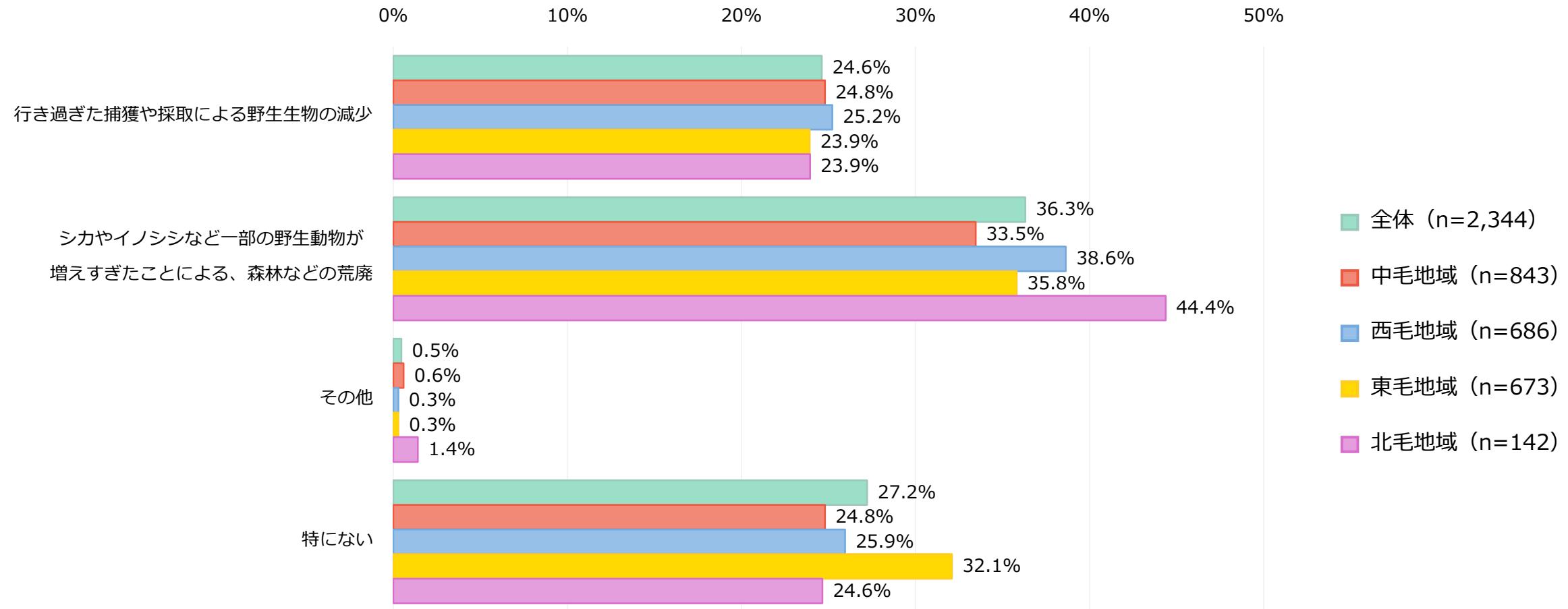
8-1 生物多様性の危機を招く要因_関心があるもの（年代別_続き）



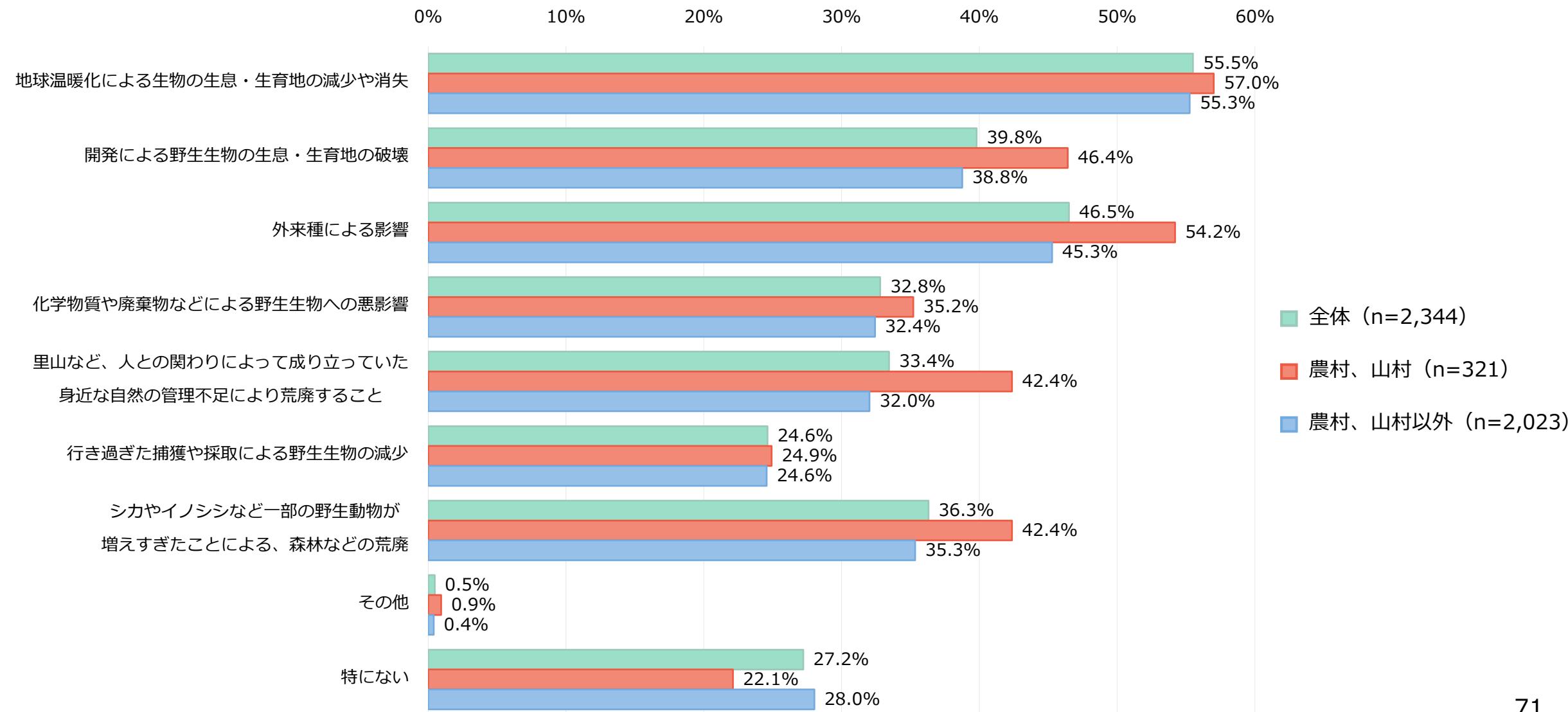
8-1 生物多様性の危機を招く要因_関心があるもの（居住地域別）



8-1 生物多様性の危機を招く要因_関心があるもの（居住地域別_続き）



8-1 生物多様性の危機を招く要因_関心があるもの（居住地域の状況別）

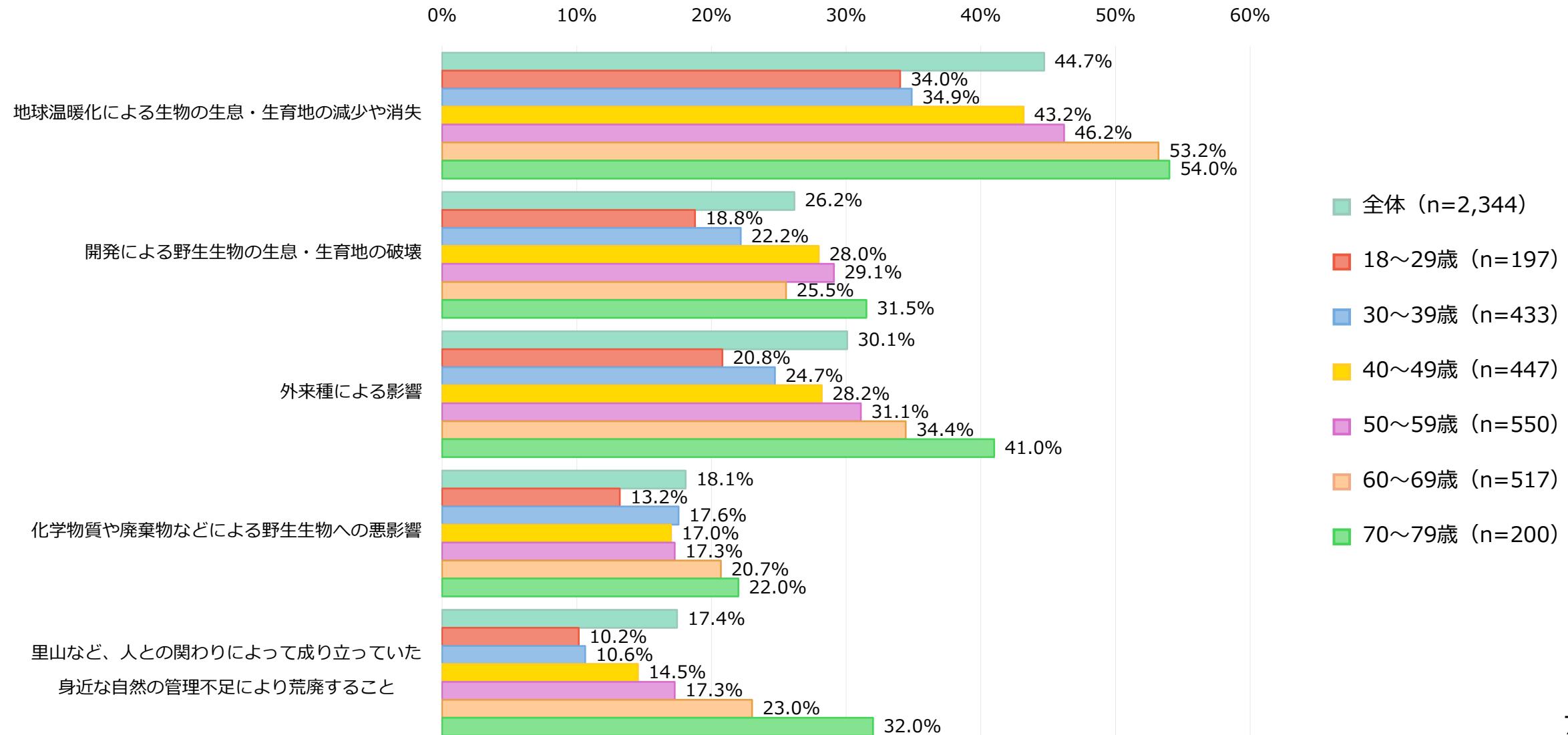


8-1 生物多様性の危機を招く要因_関心があるもの

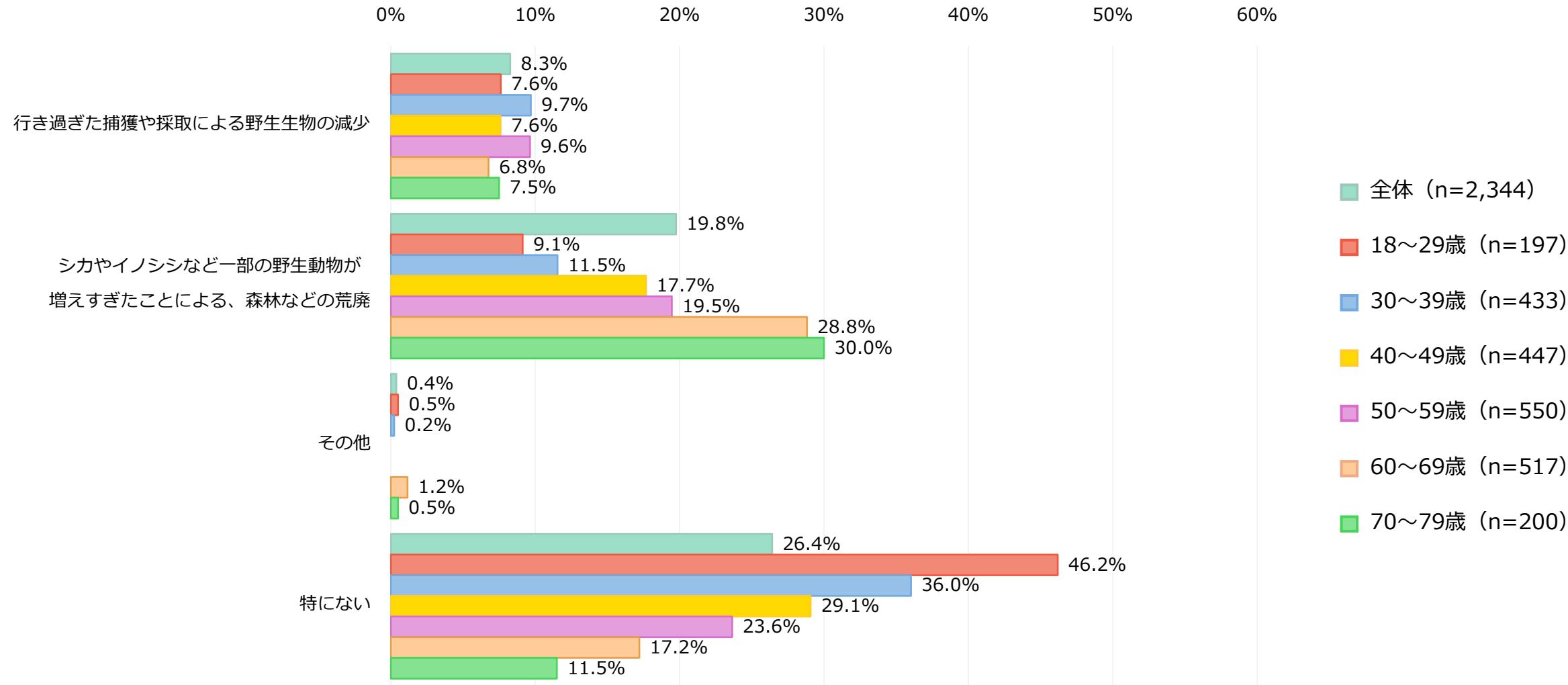
	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0~9.9ポイント
	全体-5.0~9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	地球温暖化による生物の生息・生育地の減少や消失	開発による野生生物の生息・生育地の破壊	外来種による影響	化学物質や廃棄物などによる野生生物への悪影響	里山など、人との関わりによって成り立っていた身近な自然の管理不足により荒廃すること	行き過ぎた捕獲や採取による野生生物の減少	シカやイノシシなど一部の野生動物が増えすぎたことによる、森林などの荒廃	その他	特にない
全体		2,344	55.5%	39.8%	46.5%	32.8%	33.4%	24.6%	36.3%	0.5%	27.2%
年代	18~29歳	197	39.6%	25.4%	27.4%	22.8%	18.3%	22.8%	19.8%	0.5%	49.2%
	30~39歳	433	46.4%	29.6%	34.6%	26.1%	20.8%	20.6%	24.0%	0.2%	36.7%
	40~49歳	447	54.6%	36.9%	43.2%	29.1%	28.0%	22.1%	35.6%	0.2%	29.5%
	50~59歳	550	56.9%	43.5%	50.0%	36.4%	32.7%	28.7%	37.1%	0.0%	24.4%
	60~69歳	517	63.2%	45.3%	55.3%	36.8%	44.9%	25.9%	45.5%	1.4%	18.0%
	70~79歳	200	69.0%	58.5%	66.0%	45.5%	60.5%	26.0%	55.0%	0.5%	11.5%
居住市町村	中毛地域	843	57.5%	39.5%	46.6%	32.5%	30.4%	24.8%	33.5%	0.6%	24.8%
	西毛地域	686	57.4%	42.1%	48.0%	32.7%	37.6%	25.2%	38.6%	0.3%	25.9%
	東毛地域	673	52.2%	37.0%	44.0%	33.7%	31.1%	23.9%	35.8%	0.3%	32.1%
	北毛地域	142	50.0%	43.7%	50.7%	31.0%	43.0%	23.9%	44.4%	1.4%	24.6%
居住地域の状況	農村、山村	321	57.0%	46.4%	54.2%	35.2%	42.4%	24.9%	42.4%	0.9%	22.1%
	農村、山村以外	2,023	55.3%	38.8%	45.3%	32.4%	32.0%	24.6%	35.3%	0.4%	28.0%

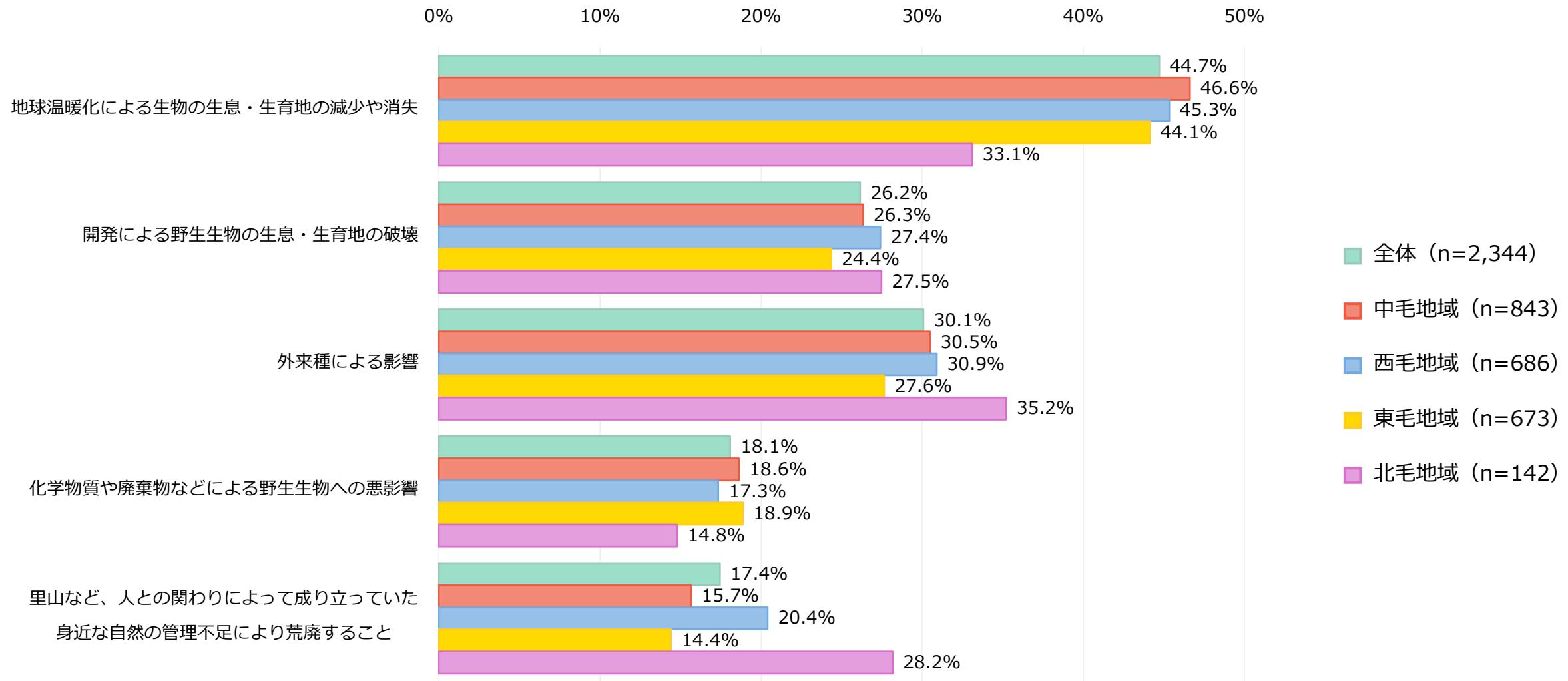
8-2 生物多様性の危機を招く要因_重視すべきと思うもの（3つまで）（年代別）



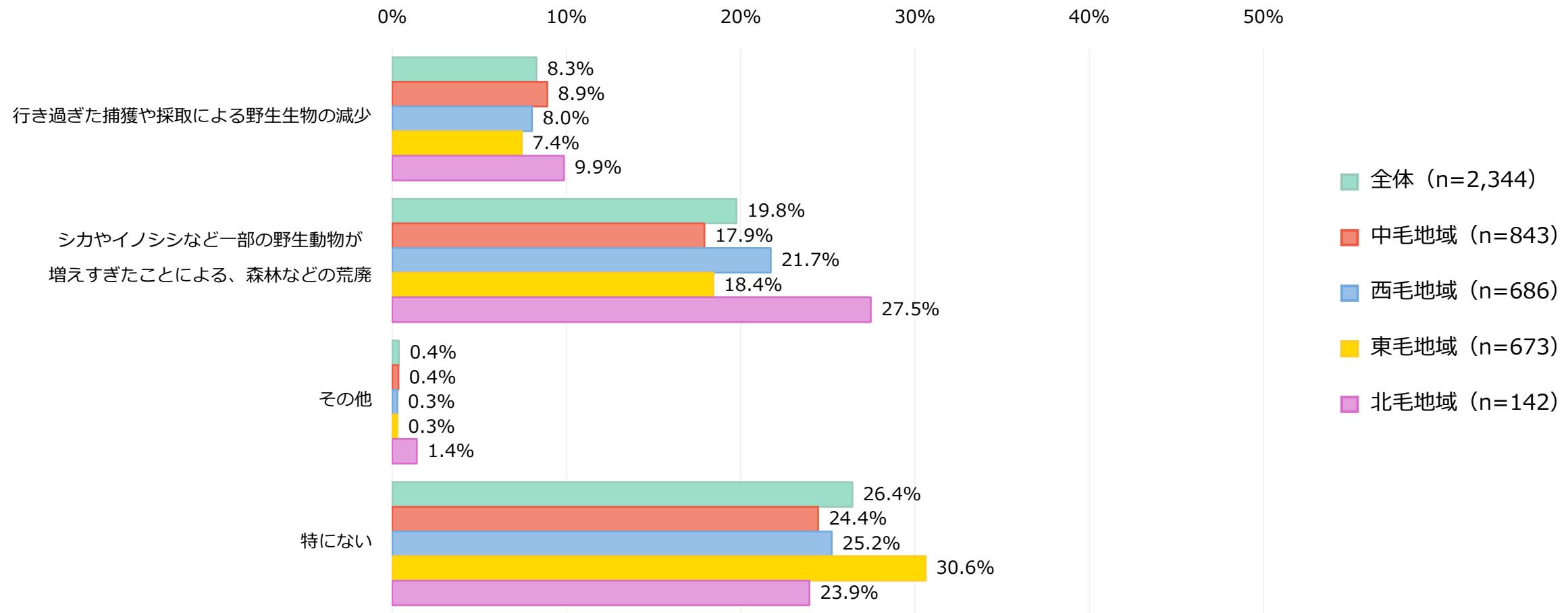
8-2 生物多様性の危機を招く要因_重視すべきと思うもの（3つまで）（年代別_続き）



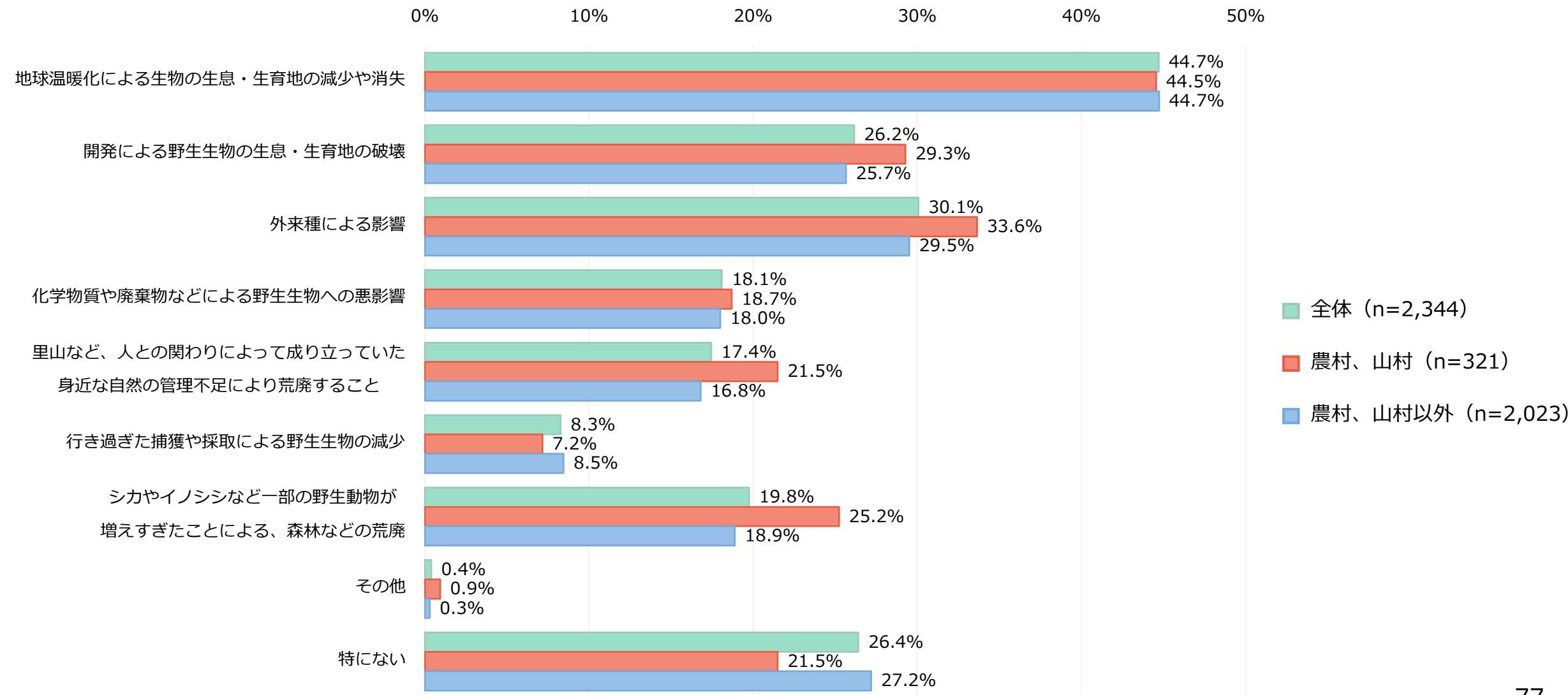
8-2 生物多様性の危機を招く要因_重視すべきと思うもの（3つまで）（居住地域別）



8-2 生物多様性の危機を招く要因_重視すべきと思うもの（3つまで）（居住地域別_続き）



8-2 生物多様性の危機を招く要因_重視すべきと思うもの（3つまで）（居住地域の状況別）



8-2 生物多様性の危機を招く要因_重視すべきと思うもの（3つまで）

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0~9.9ポイント
	全体-5.0~9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	地球温暖化による生物の生息・生育地の減少や消失	開発による野生生物の生息・生育地の破壊	外来種による影響	化学物質や廃棄物などによる野生生物への悪影響	里山など、人との関わりによって成り立っていた身近な自然の管理不足により荒廃すること	行き過ぎた捕獲や採取による野生生物の減少	シカやイノシシなど一部の野生動物が増えすぎたことによる、森林などの荒廃	その他	特にない
全体	2,344	44.7%	26.2%	30.1%	18.1%	17.4%	8.3%	19.8%	0.4%	26.4%	
年代	18~29歳	197	34.0%	18.8%	20.8%	13.2%	10.2%	7.6%	9.1%	0.5%	46.2%
	30~39歳	433	34.9%	22.2%	24.7%	17.6%	10.6%	9.7%	11.5%	0.2%	36.0%
	40~49歳	447	43.2%	28.0%	28.2%	17.0%	14.5%	7.6%	17.7%	0.0%	29.1%
	50~59歳	550	46.2%	29.1%	31.1%	17.3%	17.3%	9.6%	19.5%	0.0%	23.6%
	60~69歳	517	53.2%	25.5%	34.4%	20.7%	23.0%	6.8%	28.8%	1.2%	17.2%
	70~79歳	200	54.0%	31.5%	41.0%	22.0%	32.0%	7.5%	30.0%	0.5%	11.5%
居住市町村	中毛地域	843	46.6%	26.3%	30.5%	18.6%	15.7%	8.9%	17.9%	0.4%	24.4%
	西毛地域	686	45.3%	27.4%	30.9%	17.3%	20.4%	8.0%	21.7%	0.3%	25.2%
	東毛地域	673	44.1%	24.4%	27.6%	18.9%	14.4%	7.4%	18.4%	0.3%	30.6%
	北毛地域	142	33.1%	27.5%	35.2%	14.8%	28.2%	9.9%	27.5%	1.4%	23.9%
居住地域の状況	農村、山村	321	44.5%	29.3%	33.6%	18.7%	21.5%	7.2%	25.2%	0.9%	21.5%
	農村、山村以外	2,023	44.7%	25.7%	29.5%	18.0%	16.8%	8.5%	18.9%	0.3%	27.2%

8 生物多様性の危機を招く要因

■ 「その他」の回答

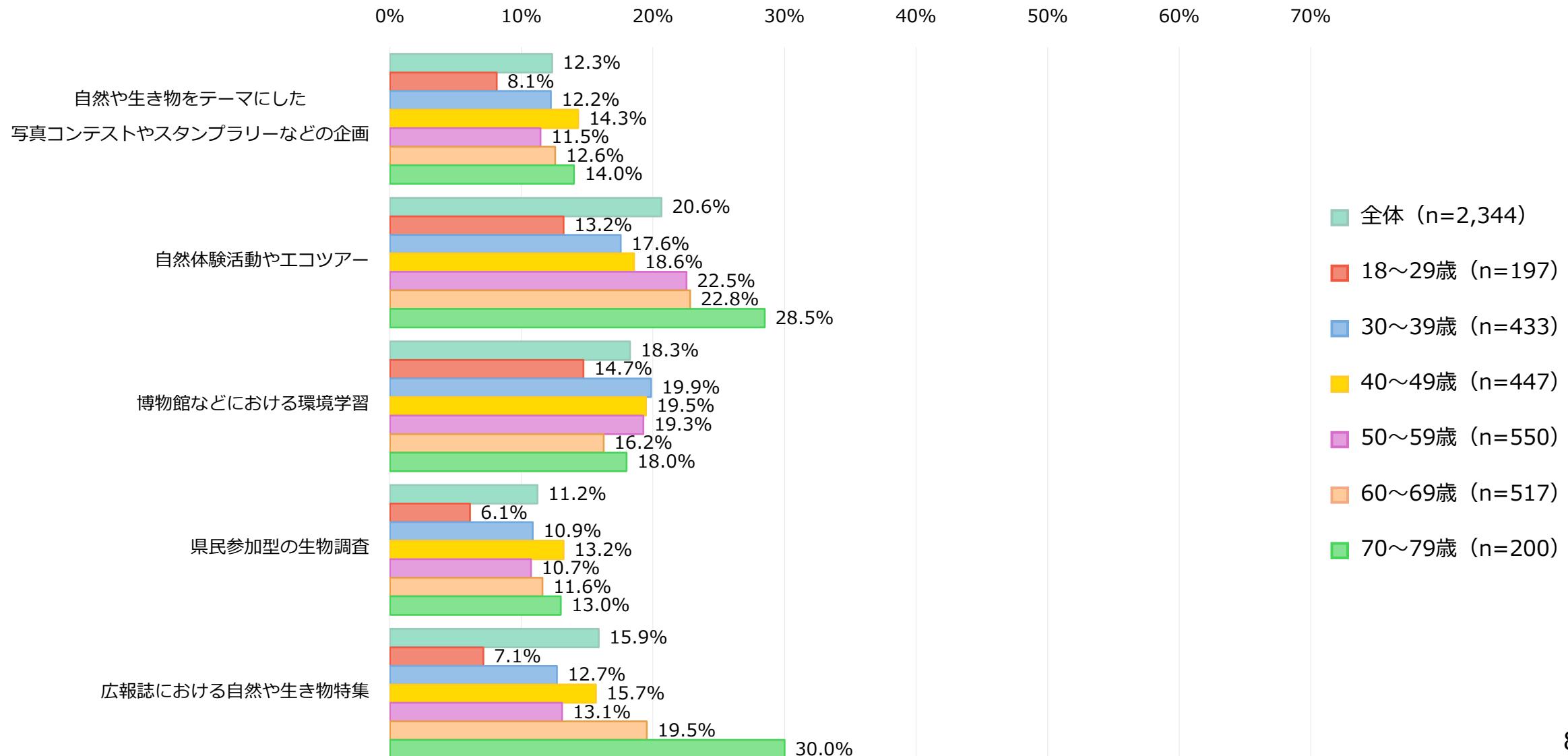
- ・化石燃料の使用
- ・外来種が多すぎる
- ・耕作地へのソーラーパネル
- ・太陽光発電の設置
- ・山林の新しい道路
- ・産業廃棄物違法投棄
- ・不法投棄による自然破壊
- ・人間が豊かに過ごすことを考えることが自然を壊すことになること
- ・大規模太陽光＆風力発電設備による自然破壊
- ・野生の熊への対処
- ・野生動物との共存

9 生物多様性に関して参加・視聴閲覧したいと思う取組

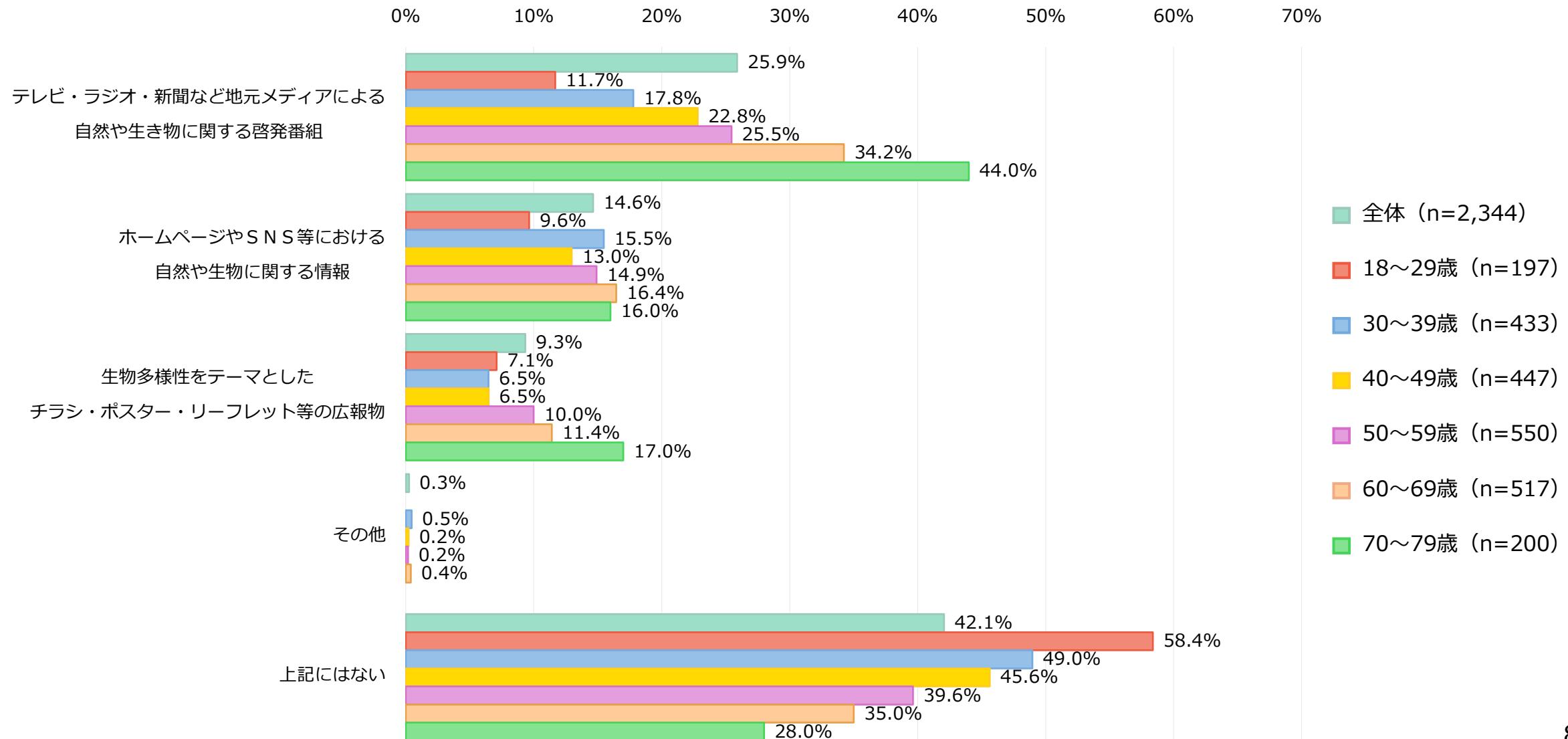
問9 生物多様性に関して以下の取組が行われた場合、あなた自身が参加・視聴閲覧したいと思うものはどれですか。以下のなかあてはまるものを全てお選びください。

1. 自然や生き物をテーマにした写真コンテストやスタンプラリーなどの企画
2. 自然体験活動やエコツアー
3. 博物館などにおける環境学習
4. 県民参加型の生物調査
5. 広報誌における自然や生き物特集
6. テレビ・ラジオ・新聞など地元メディアによる自然や生き物に関する啓発番組
7. ホームページやSNS等における自然や生物に関する情報
8. 生物多様性をテーマとしたチラシ・ポスター・リーフレット等の広報物
9. その他（ ）
10. 上記にはない

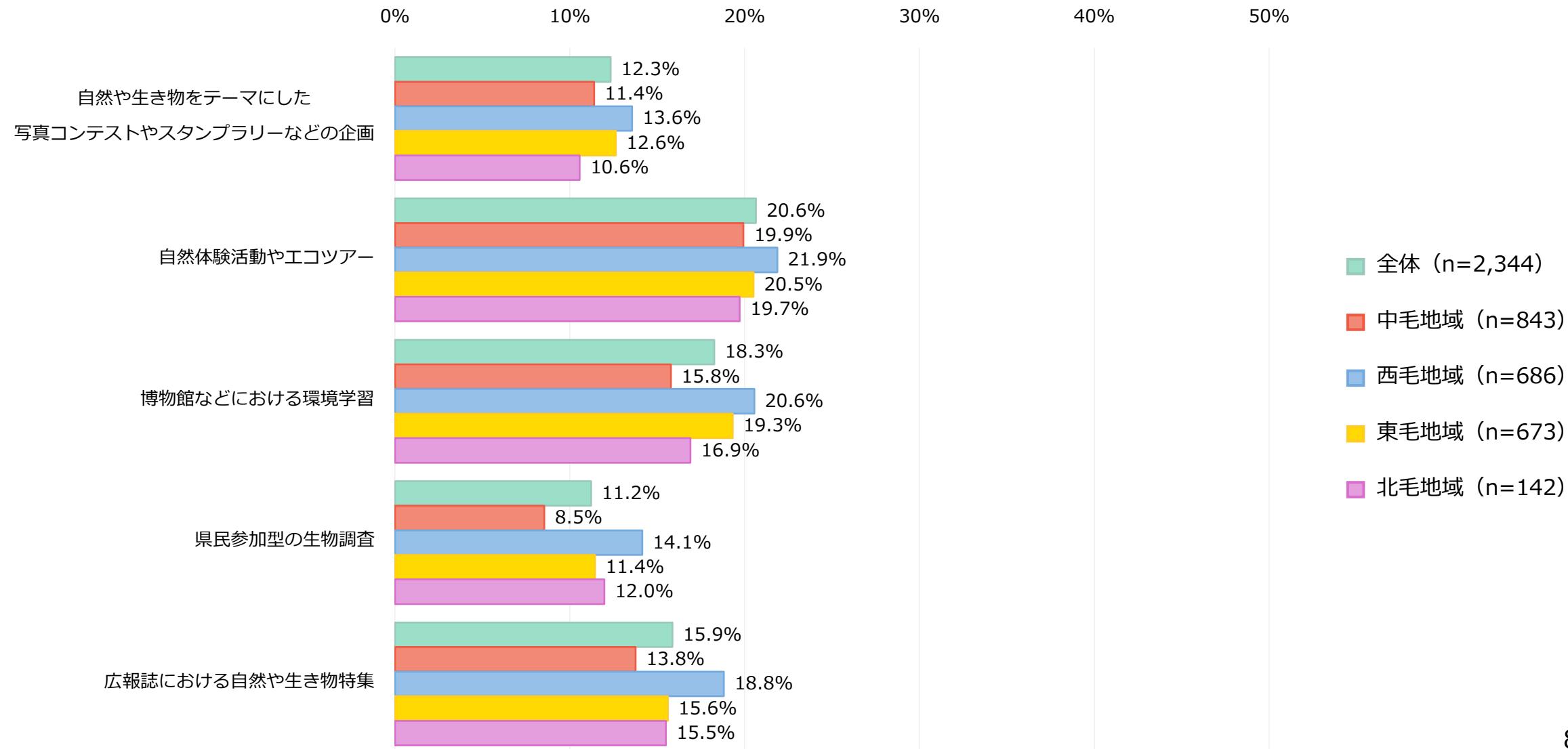
9 生物多様性に関して参加・視聴閲覧したいと思う取組（年代別）



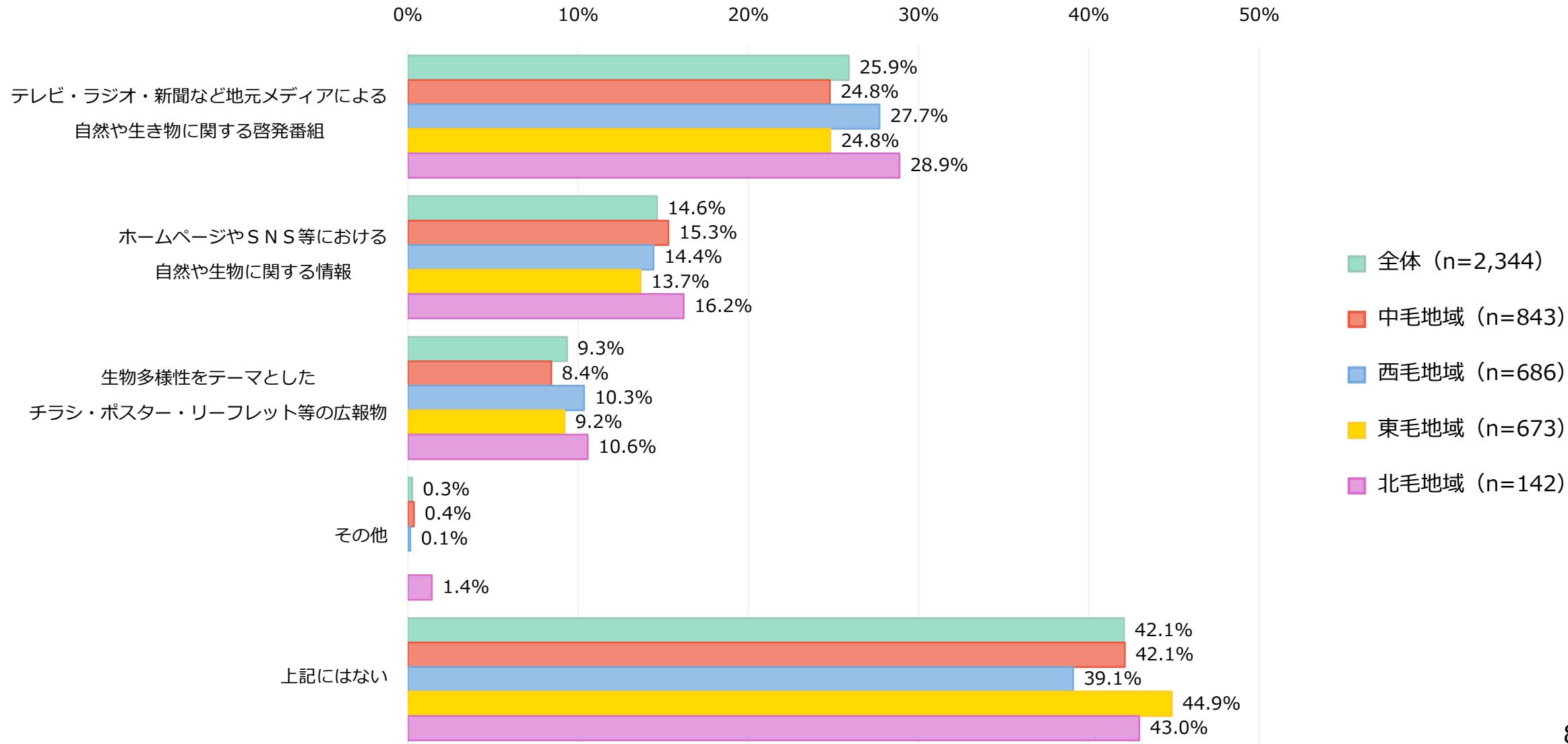
9 生物多様性に関して参加・視聴閲覧したいと思う取組（年代別_続き）



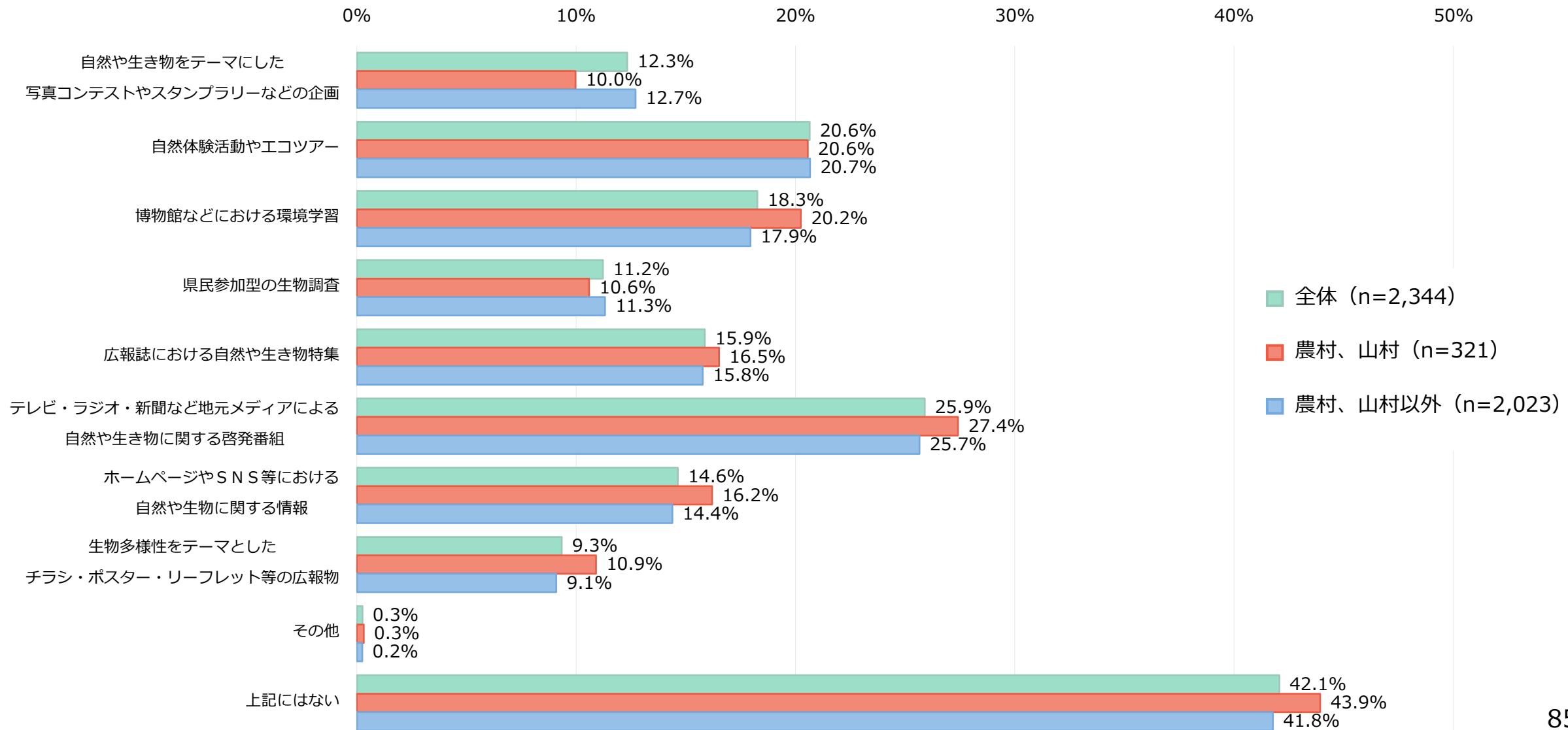
9 生物多様性に関して参加・視聴閲覧したいと思う取組（居住地域別）



9 生物多様性に関して参加・視聴閲覧したいと思う取組（居住地域別_続き）



9 生物多様性に関して参加・視聴閲覧したいと思う取組（居住地域の状況別）



9 生物多様性に関して参加・視聴閲覧したいと思う取組

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0~9.9ポイント
	全体-5.0~9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	自然や生き物をテーマにした写真コンテストやスタンプラリーなどの企画	自然体験活動やエコツアー	博物館などにおける環境学習	県民参加型の生物調査	広報誌における自然や生き物特集	テレビ・ラジオ・新聞など地元メディアによる自然や生き物に関する啓発番組	ホームページやSNS等における自然や生物に関する情報	生物多様性をテーマとしたチラシ・ポスター・リーフレット等の広報物	その他	上記にはない
全体		2,344	12.3%	20.6%	18.3%	11.2%	15.9%	25.9%	14.6%	9.3%	0.3%	42.1%
年代	18~29歳	197	8.1%	13.2%	14.7%	6.1%	7.1%	11.7%	9.6%	7.1%	0.0%	58.4%
	30~39歳	433	12.2%	17.6%	19.9%	10.9%	12.7%	17.8%	15.5%	6.5%	0.5%	49.0%
	40~49歳	447	14.3%	18.6%	19.5%	13.2%	15.7%	22.8%	13.0%	6.5%	0.2%	45.6%
	50~59歳	550	11.5%	22.5%	19.3%	10.7%	13.1%	25.5%	14.9%	10.0%	0.2%	39.6%
	60~69歳	517	12.6%	22.8%	16.2%	11.6%	19.5%	34.2%	16.4%	11.4%	0.4%	35.0%
	70~79歳	200	14.0%	28.5%	18.0%	13.0%	30.0%	44.0%	16.0%	17.0%	0.0%	28.0%
居住市町村	中毛地域	843	11.4%	19.9%	15.8%	8.5%	13.8%	24.8%	15.3%	8.4%	0.4%	42.1%
	西毛地域	686	13.6%	21.9%	20.6%	14.1%	18.8%	27.7%	14.4%	10.3%	0.1%	39.1%
	東毛地域	673	12.6%	20.5%	19.3%	11.4%	15.6%	24.8%	13.7%	9.2%	0.0%	44.9%
	北毛地域	142	10.6%	19.7%	16.9%	12.0%	15.5%	28.9%	16.2%	10.6%	1.4%	43.0%
居住地域の状況	農村、山村	321	10.0%	20.6%	20.2%	10.6%	16.5%	27.4%	16.2%	10.9%	0.3%	43.9%
	農村、山村以外	2,023	12.7%	20.7%	17.9%	11.3%	15.8%	25.7%	14.4%	9.1%	0.2%	41.8%

9 生物多様性に関して参加・視聴閲覧したいと思う取組

■ 「その他」の回答

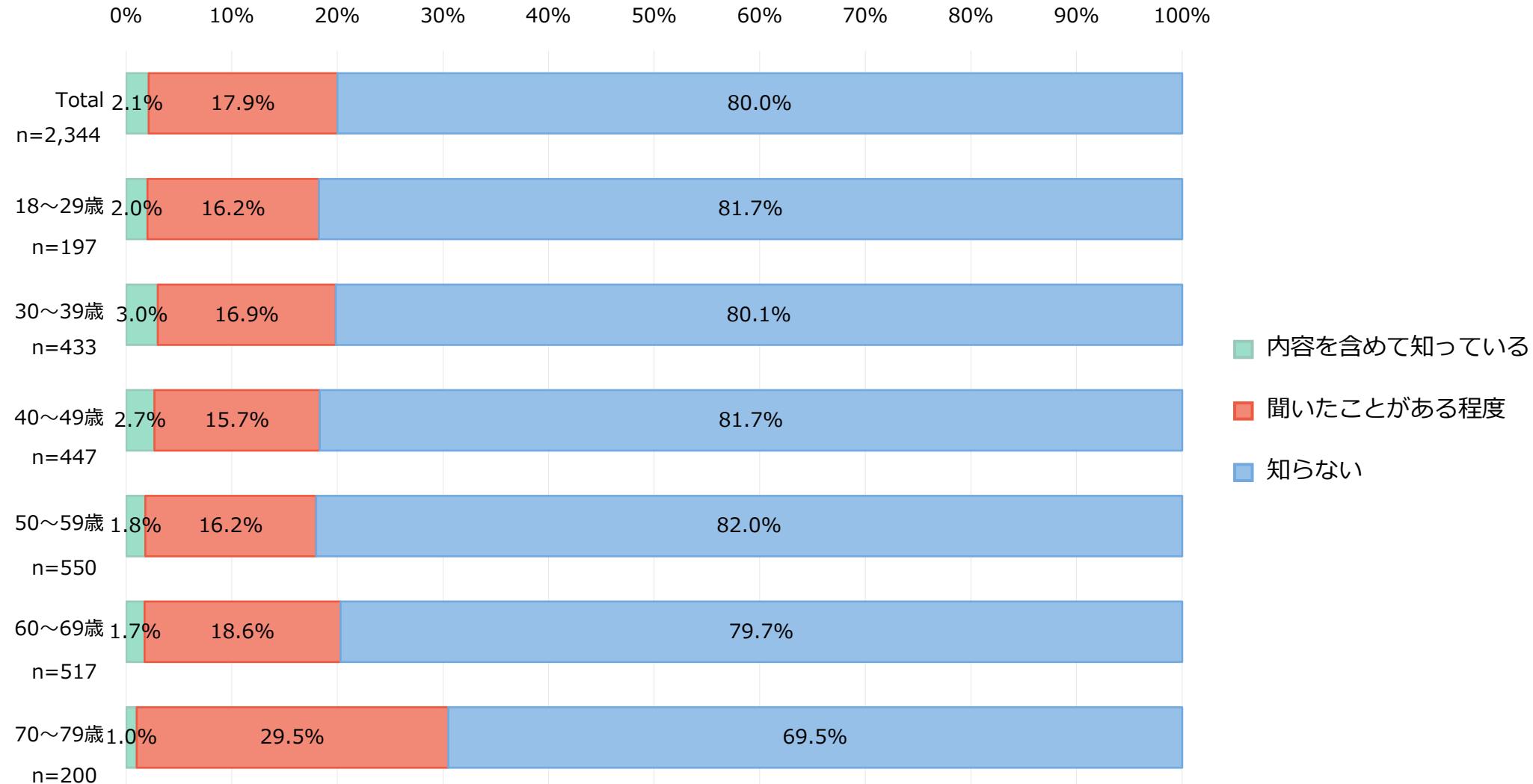
- ・動画媒体でブッシュクラフトなどの自然の中での活動記録
- ・ボランティアでの活動
- ・群馬の自然環境でストーリーが進むアニメや漫画
- ・実際にゴミ拾いなどをしながら参加出来るもの
- ・登山

10 「生物多様性ぐんま戦略」の認知度

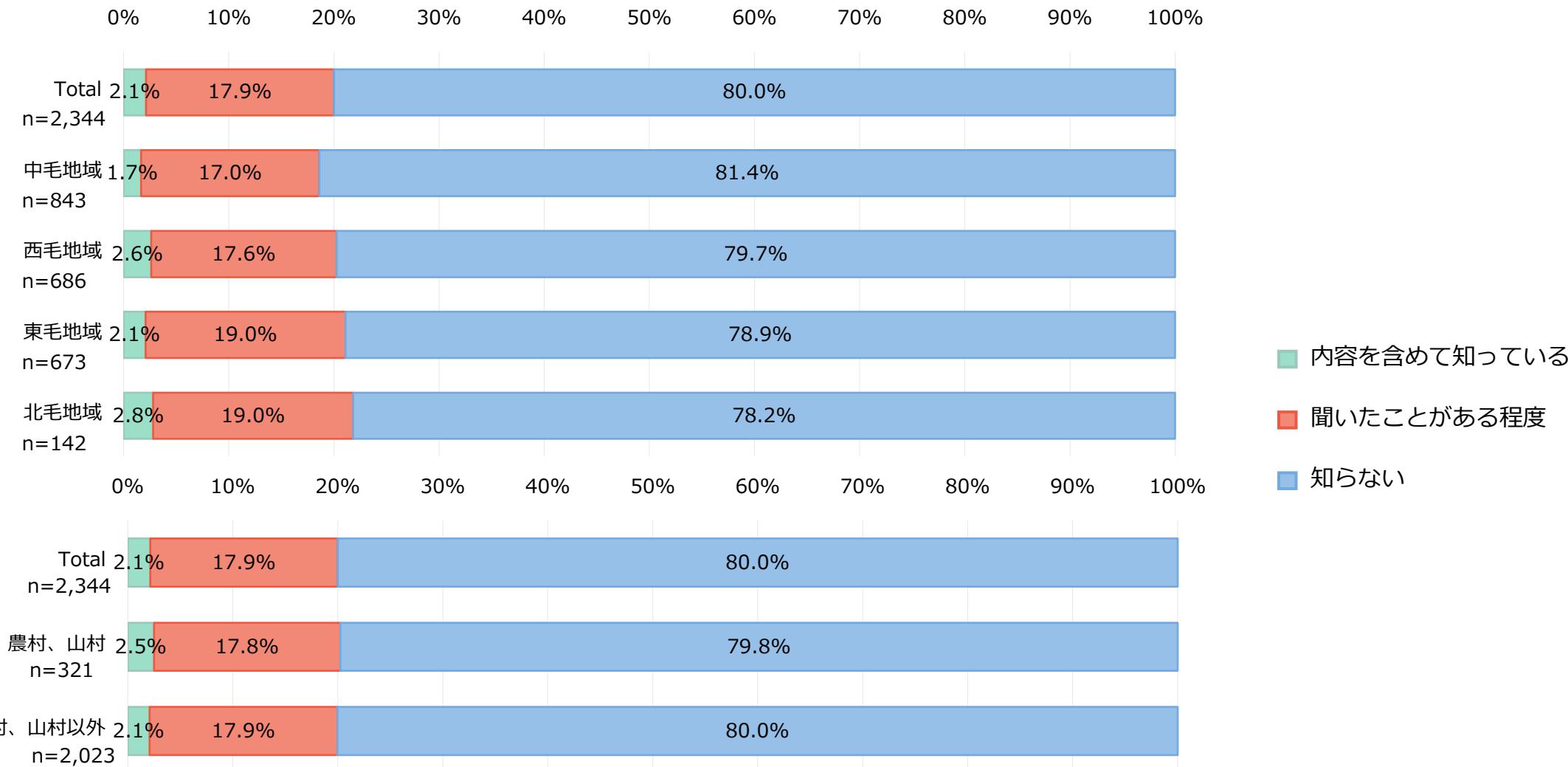
問10 群馬県では、県の生物多様性の基本計画である「生物多様性ぐんま戦略」を平成29年に策定しました。あなたは「生物多様性ぐんま戦略」について知っていますか。以下のなかからあてはまるものを1つお選びください。

1. 内容を含めて知っている
2. 聞いたことがある程度
3. 知らない

10 「生物多様性ぐんま戦略」の認知度（年代別）



10 「生物多様性ぐんま戦略」の認知度（居住地域別、居住地域の状況別）

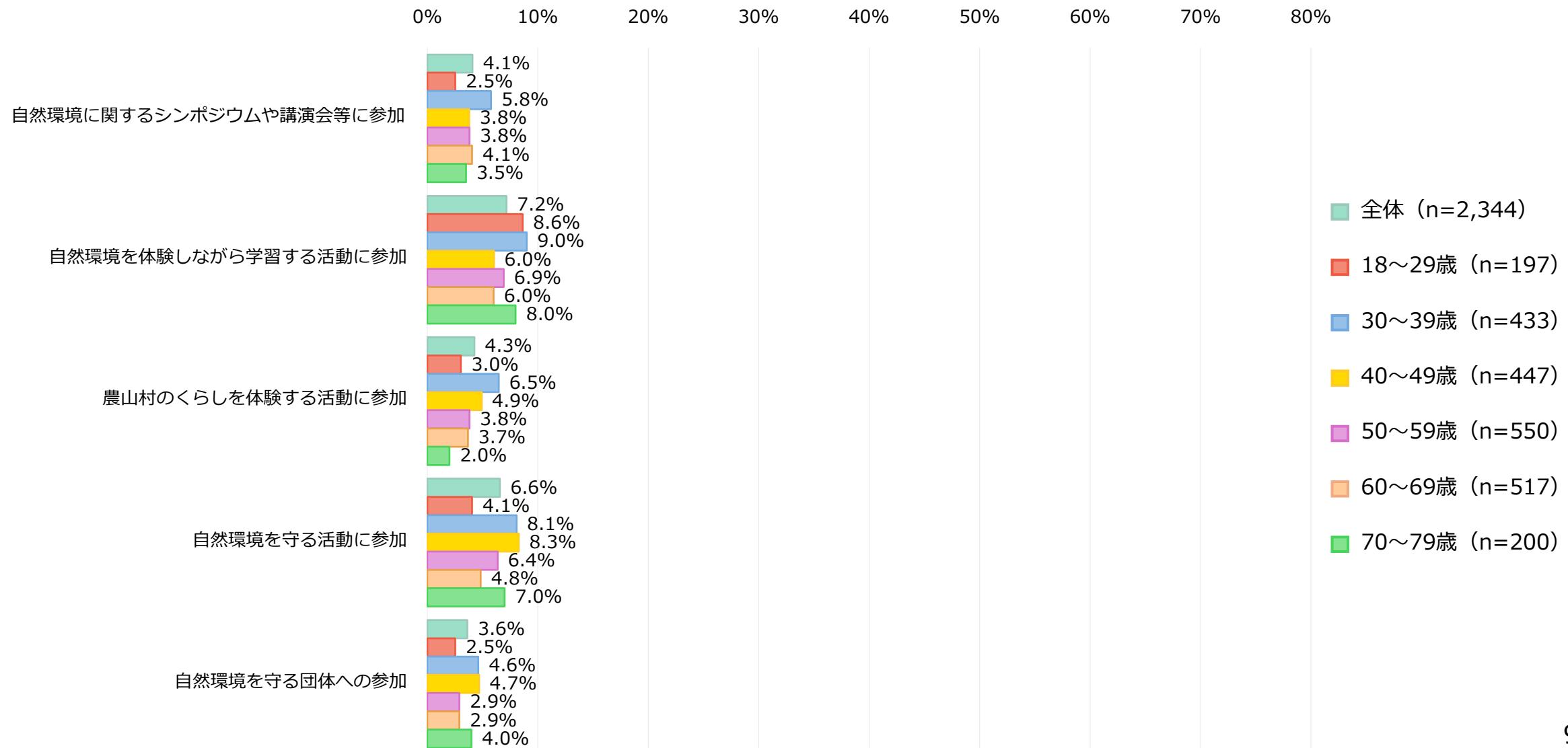


11 自然環境の保全に貢献する活動・行動についての経験

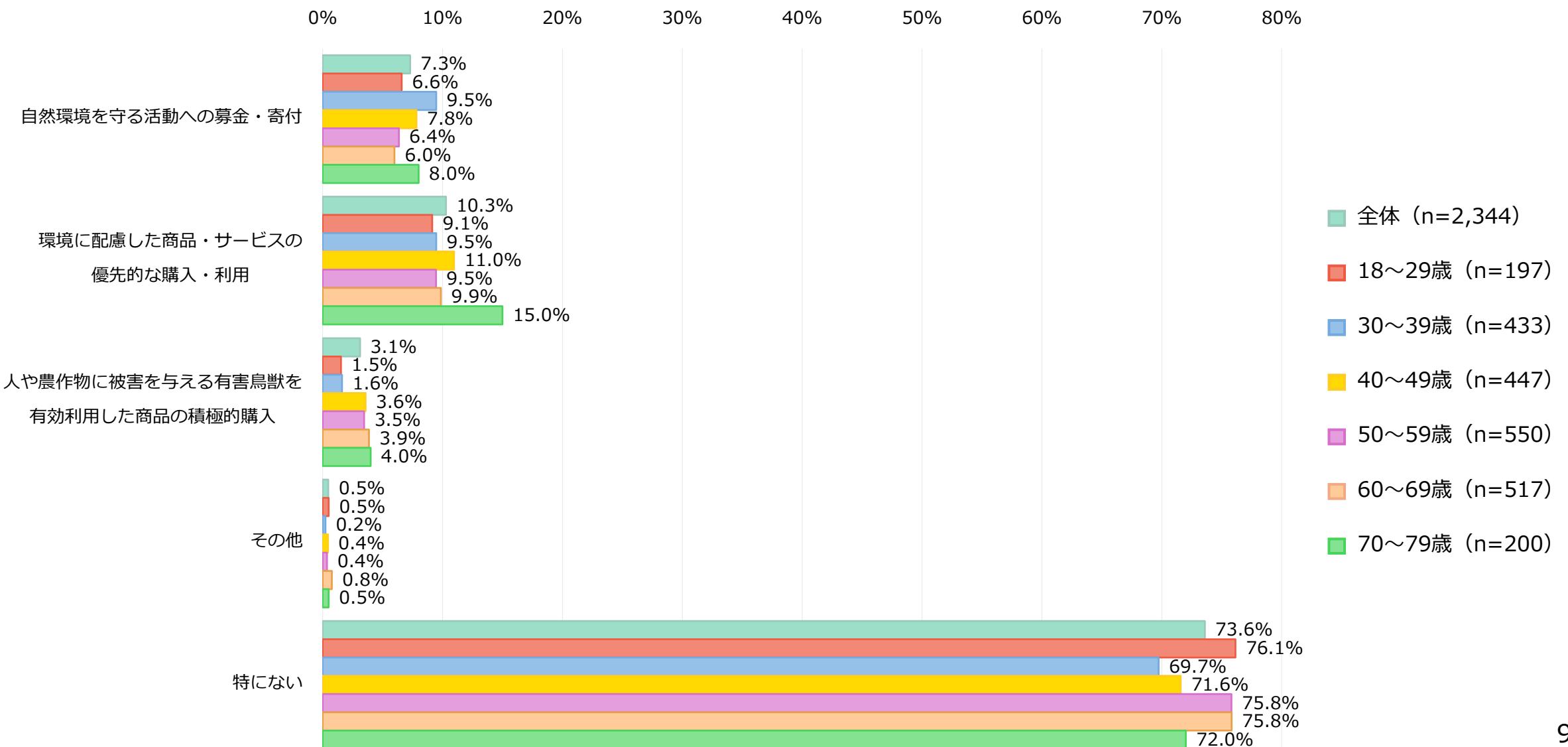
問11 群馬県の自然環境の保全に貢献する活動・行動について、あなたが行っている・行ったことがあることはどれですか。以下のなかあてはまるものを全てお選びください。

1. 自然環境に関するシンポジウムや講演会等に参加
2. 自然環境を体験しながら学習する活動に参加
(ガイド付きトレッキング、エコツアー、自然観察会等)
3. 農山村のくらしを体験する活動に参加 (農業体験教室、農家民宿への滞在等)
4. 自然環境を守る活動に参加
(希少種の保護・増殖、里山や水路の手入れ、森林ボランティア、外来種駆除等)
5. 自然環境を守る団体への参加
6. 自然環境を守る活動への募金・寄付
7. 環境に配慮した商品・サービスの優先的な購入・利用
8. 人や農作物に被害を与える有害鳥獣を有効利用した商品の積極的購入 (シカ肉食品等)
9. その他 ()
10. 特にない

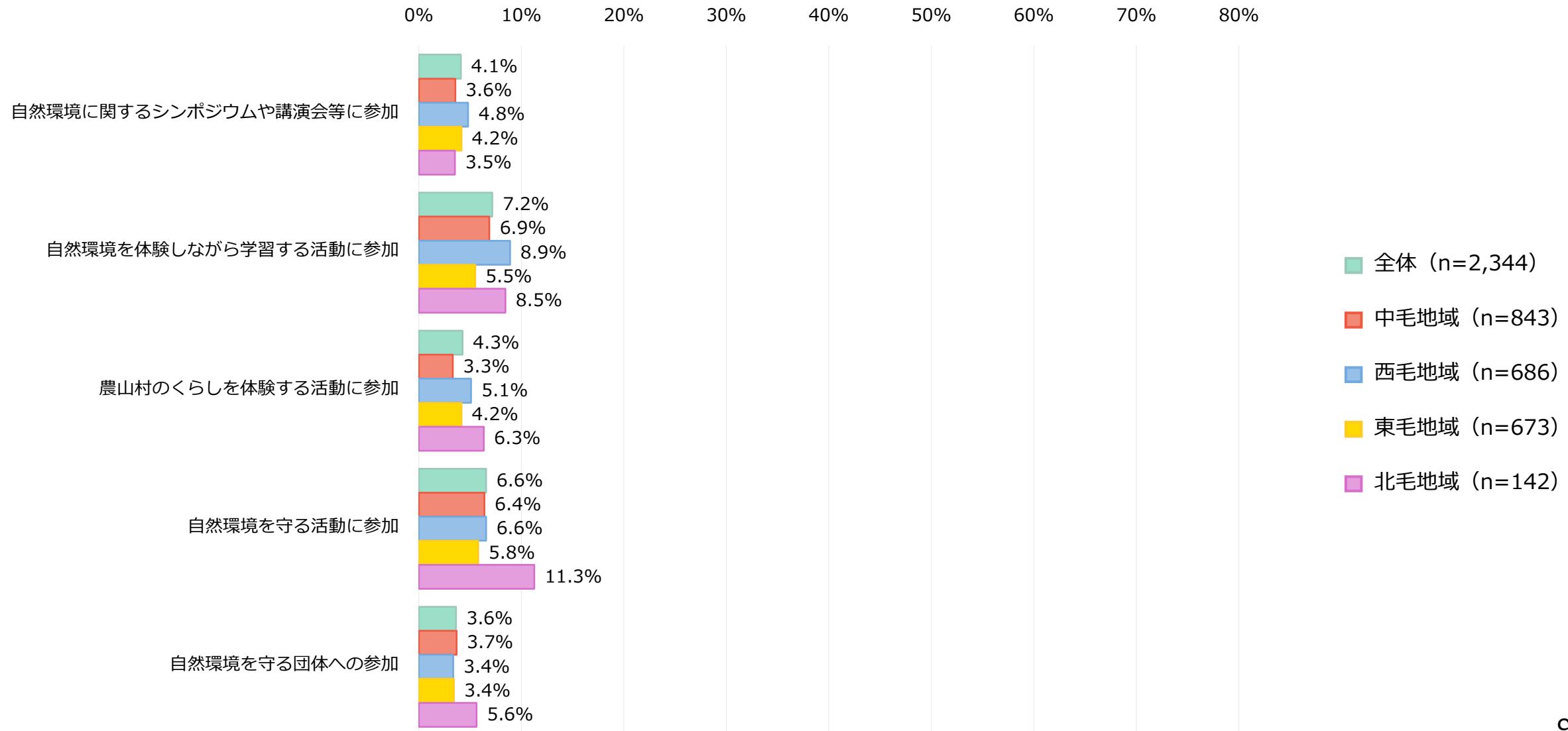
11 自然環境の保全に貢献する活動・行動についての経験（年代別）



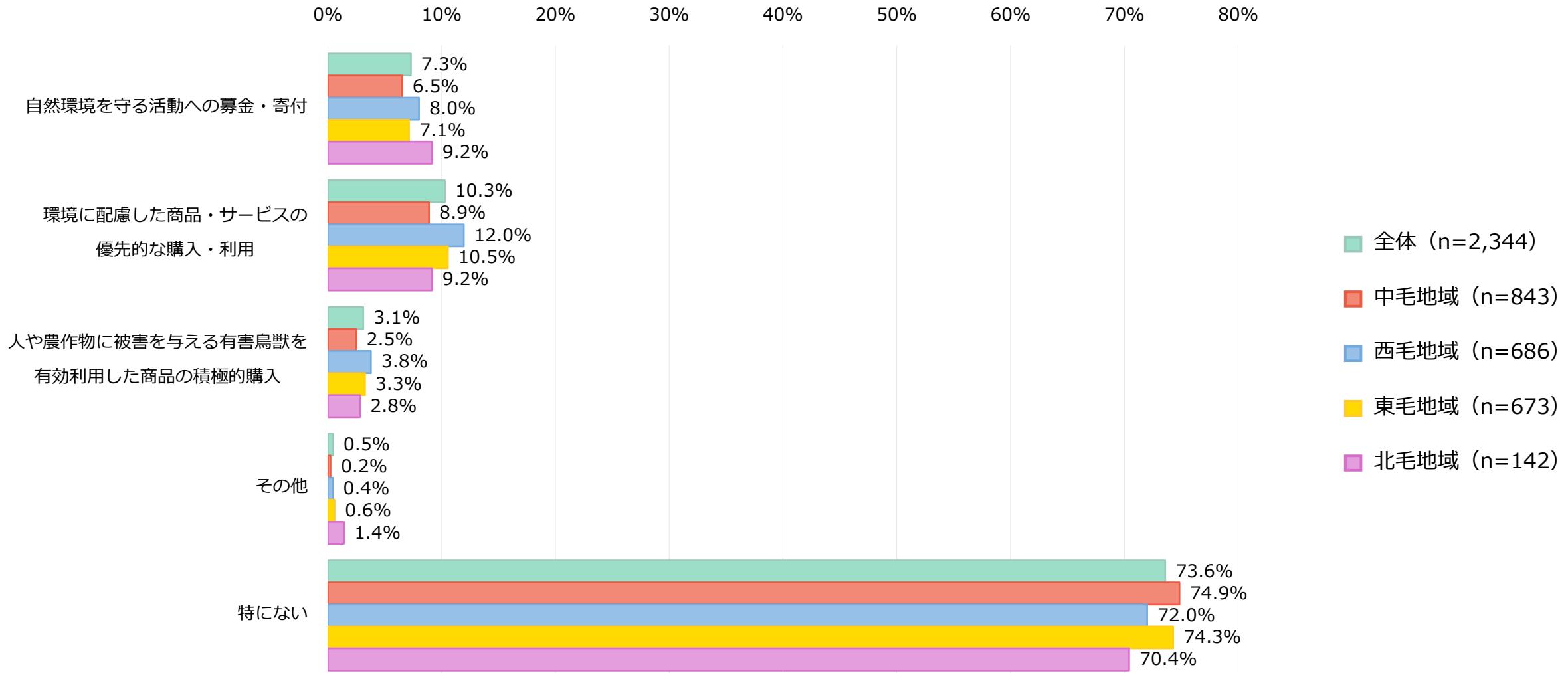
11 自然環境の保全に貢献する活動・行動についての経験（年代別 続き）



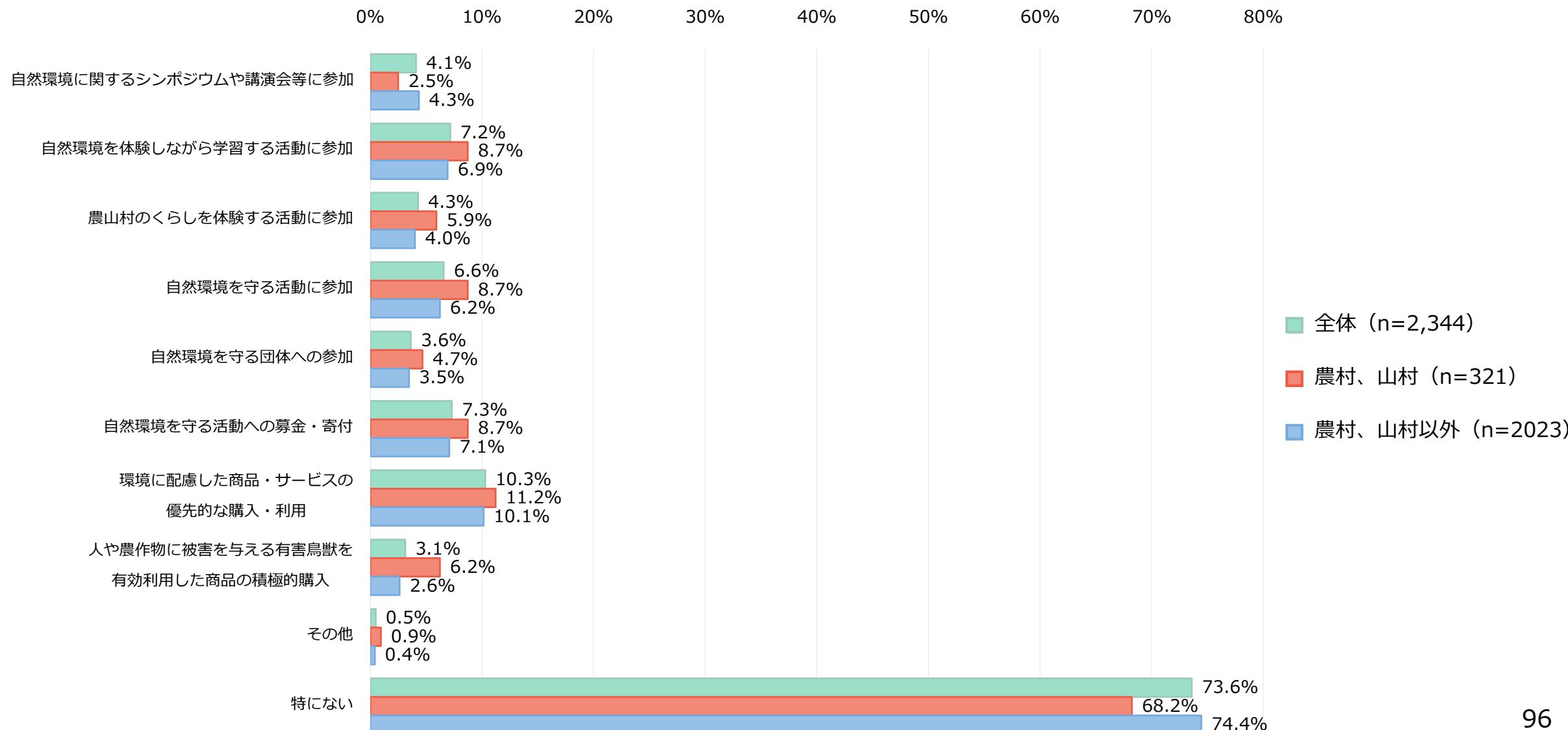
11 自然環境の保全に貢献する活動・行動についての経験（居住地域別）



11 自然環境の保全に貢献する活動・行動についての経験（居住地域別_続き）



11 自然環境の保全に貢献する活動・行動についての経験（居住地域の状況別）



11 自然環境の保全に貢献する活動・行動についての経験

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0~9.9ポイント
	全体-5.0~9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	自然環境に関するシンポジウムや講演会等に参加	自然環境を体験しながら学習する活動に参加	農山村のくらしを体験する活動に参加	自然環境を守る活動に参加	自然環境を守る団体への参加	自然環境を守る活動への募金・寄付	環境に配慮した商品・サービスの優先的な購入・利用	人や農作物に被害を与える有害鳥獣を有効利用した商品の積極的購入	その他	特にない
全体		2,344	4.1%	7.2%	4.3%	6.6%	3.6%	7.3%	10.3%	3.1%	0.5%	73.6%
年代	18~29歳	197	2.5%	8.6%	3.0%	4.1%	2.5%	6.6%	9.1%	1.5%	0.5%	76.1%
	30~39歳	433	5.8%	9.0%	6.5%	8.1%	4.6%	9.5%	9.5%	1.6%	0.2%	69.7%
	40~49歳	447	3.8%	6.0%	4.9%	8.3%	4.7%	7.8%	11.0%	3.6%	0.4%	71.6%
	50~59歳	550	3.8%	6.9%	3.8%	6.4%	2.9%	6.4%	9.5%	3.5%	0.4%	75.8%
	60~69歳	517	4.1%	6.0%	3.7%	4.8%	2.9%	6.0%	9.9%	3.9%	0.8%	75.8%
	70~79歳	200	3.5%	8.0%	2.0%	7.0%	4.0%	8.0%	15.0%	4.0%	0.5%	72.0%
居住市町村	中毛地域	843	3.6%	6.9%	3.3%	6.4%	3.7%	6.5%	8.9%	2.5%	0.2%	74.9%
	西毛地域	686	4.8%	8.9%	5.1%	6.6%	3.4%	8.0%	12.0%	3.8%	0.4%	72.0%
	東毛地域	673	4.2%	5.5%	4.2%	5.8%	3.4%	7.1%	10.5%	3.3%	0.6%	74.3%
	北毛地域	142	3.5%	8.5%	6.3%	11.3%	5.6%	9.2%	9.2%	2.8%	1.4%	70.4%
居住地域の状況	農村、山村	321	2.5%	8.7%	5.9%	8.7%	4.7%	8.7%	11.2%	6.2%	0.9%	68.2%
	農村、山村以外	2,023	4.3%	6.9%	4.0%	6.2%	3.5%	7.1%	10.1%	2.6%	0.4%	74.4%

11 自然環境の保全に貢献する活動・行動についての経験

■ 「その他」の回答

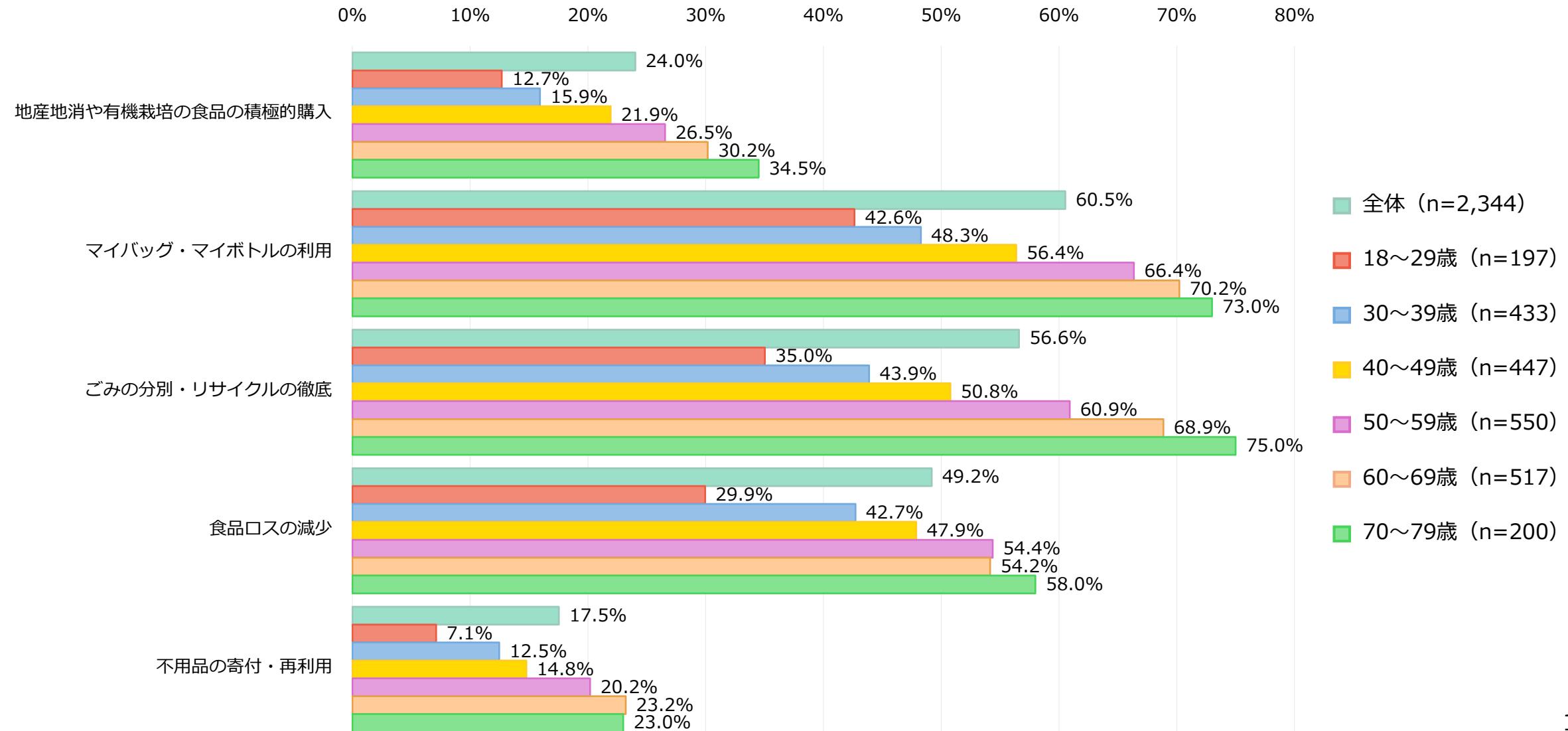
- ・清掃活動
- ・自然に優しい洗剤を使う
- ・自宅周辺での虫の観察
- ・傷病鳥獣保護
- ・地場農産物の優先的購入
- ・調理器具や食器を一度拭き取るなどして環境を汚さない
- ・燃やすゴミを出さないようリサイクル
- ・有害駆除

12 気候変動への対応や資源循環に貢献する活動・行動についての経験

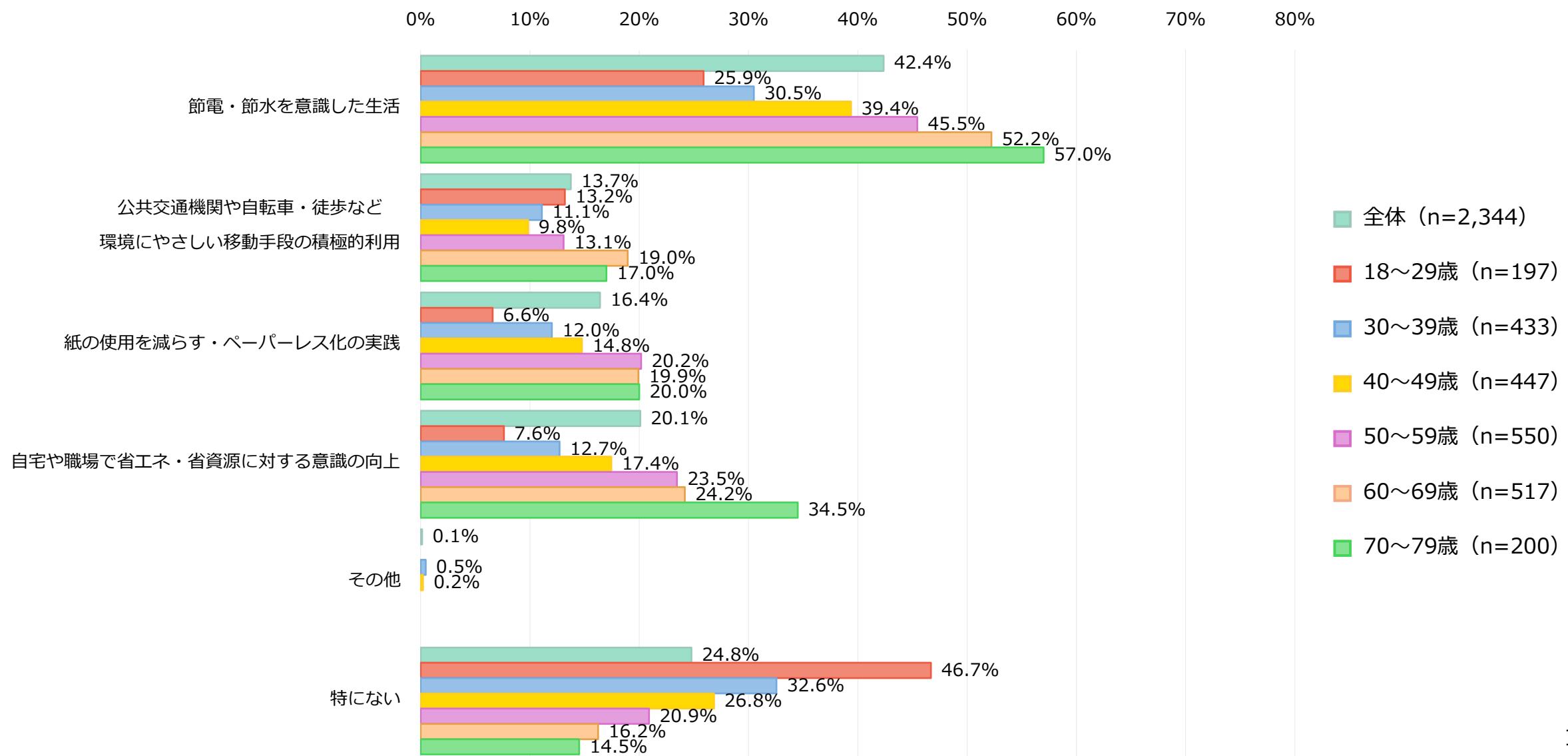
問12 生物多様性保全の実現には、直接の配慮・保全だけではなく、気候変動への対応や資源循環もあわせて進めることが不可欠であると言われています。あなたが行っている・行ったことがあることはどれですか。以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。

1. 地産地消や有機栽培の食品の積極的購入
2. マイバッグ・マイボトルの利用
3. ごみの分別・リサイクルの徹底
4. 食品ロスの減少（買すぎない・食べ残さない）
5. 不用品の寄付・再利用
6. 節電・節水を意識した生活
7. 公共交通機関や自転車・歩行など環境にやさしい移動手段の積極的利用
8. 紙の使用を減らす・ペーパーレス化の実践
9. 自宅や職場で省エネ・省資源に対する意識の向上
10. その他（ ）
11. 特にない

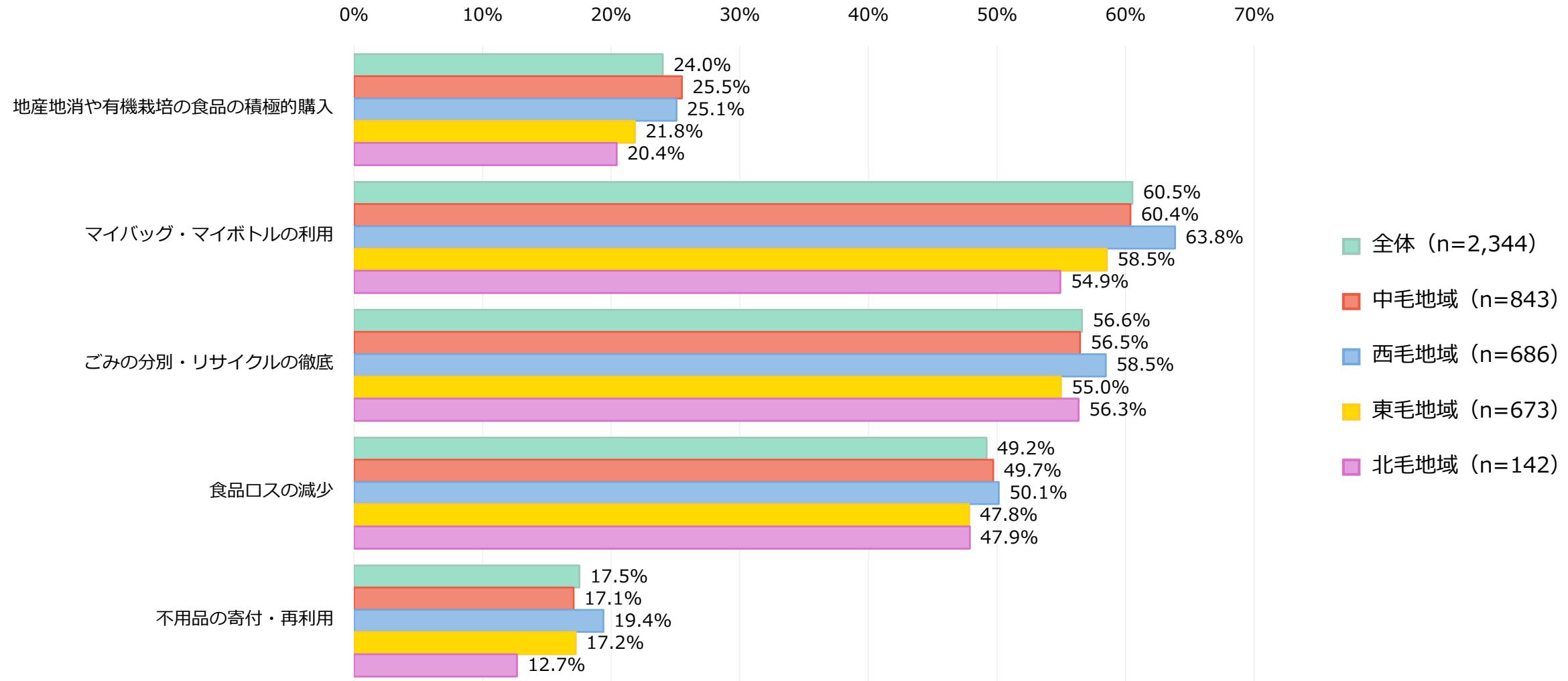
12 気候変動への対応や資源循環に貢献する活動・行動についての経験（年代別）



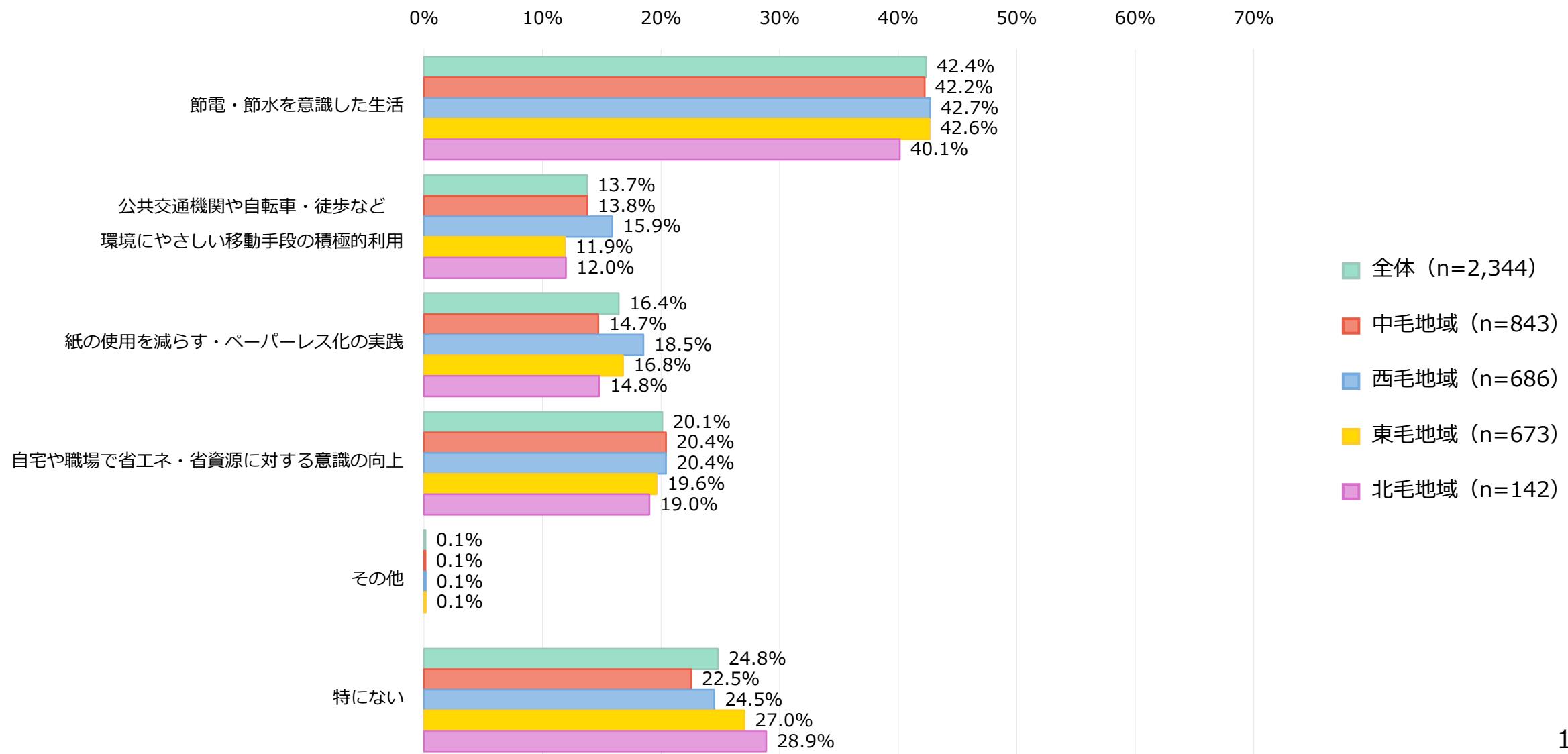
12 気候変動への対応や資源循環に貢献する活動・行動についての経験（年代別_続き）



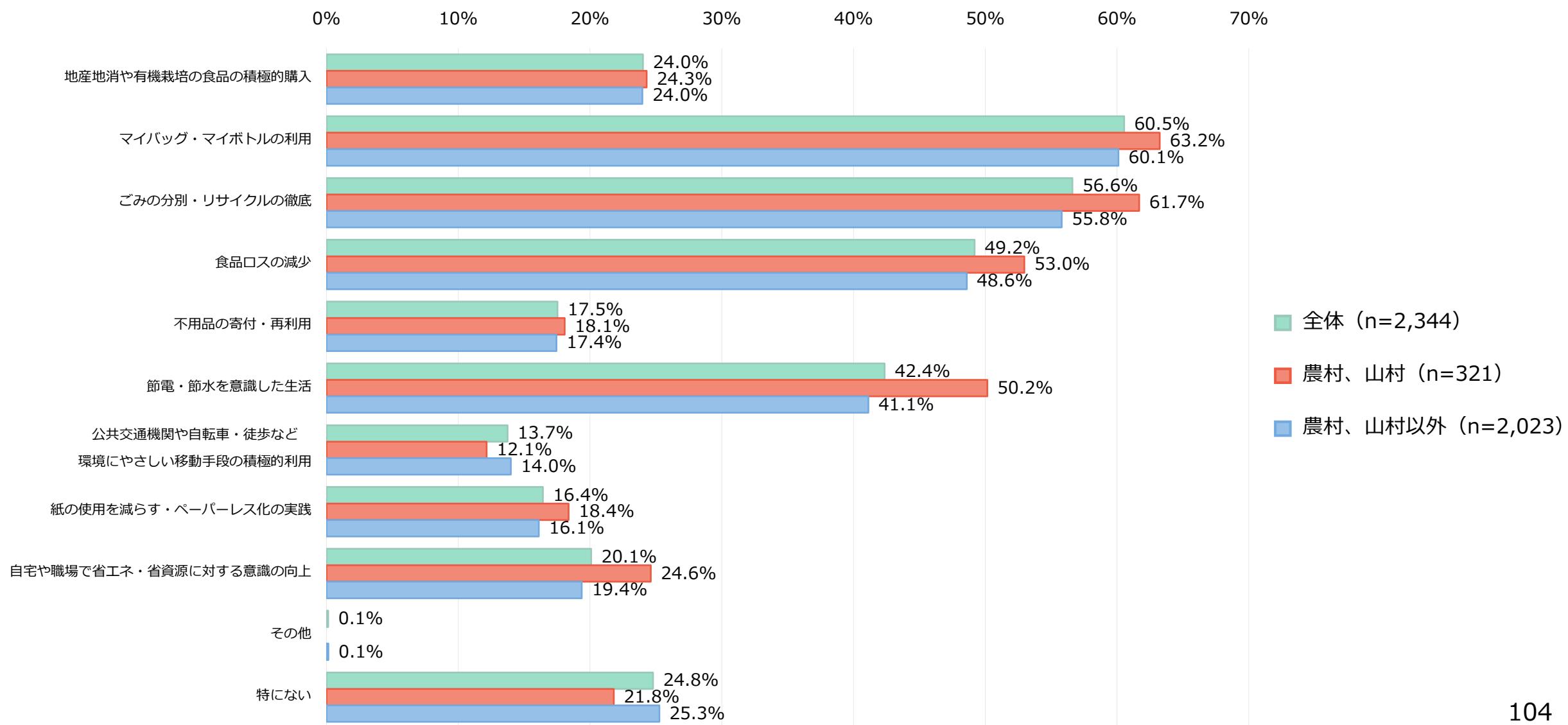
12 気候変動への対応や資源循環に貢献する活動・行動についての経験（居住地域別）



12 気候変動への対応や資源循環に貢献する活動・行動についての経験（居住地域別_続き）



12 気候変動への対応や資源循環に貢献する活動・行動についての経験（居住地域の状況別）



12 気候変動への対応や資源循環に貢献する活動・行動についての経験

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	地産地消や有機栽培の食品の積極的購入	マイバッグ・マイボトルの利用	ごみの分別・リサイクルの徹底	食品口スの減少	不用品の寄付・再利用	節電・節水を意識した生活	公共交通機関や自転車・徒歩など環境にやさしい移動手段の積極的利用	紙の使用を減らす・ペーパーレス化の実践	自宅や職場で省エネ・省資源に対する意識の向上	その他	特になし
全体		2,344	24.0%	60.5%	56.6%	49.2%	17.5%	42.4%	13.7%	16.4%	20.1%	0.1%	24.8%
年代	18～29歳	197	12.7%	42.6%	35.0%	29.9%	7.1%	25.9%	13.2%	6.6%	7.6%	0.0%	46.7%
	30～39歳	433	15.9%	48.3%	43.9%	42.7%	12.5%	30.5%	11.1%	12.0%	12.7%	0.5%	32.6%
	40～49歳	447	21.9%	56.4%	50.8%	47.9%	14.8%	39.4%	9.8%	14.8%	17.4%	0.2%	26.8%
	50～59歳	550	26.5%	66.4%	60.9%	54.4%	20.2%	45.5%	13.1%	20.2%	23.5%	0.0%	20.9%
	60～69歳	517	30.2%	70.2%	68.9%	54.2%	23.2%	52.2%	19.0%	19.9%	24.2%	0.0%	16.2%
	70～79歳	200	34.5%	73.0%	75.0%	58.0%	23.0%	57.0%	17.0%	20.0%	34.5%	0.0%	14.5%
居住市町村	中毛地域	843	25.5%	60.4%	56.5%	49.7%	17.1%	42.2%	13.8%	14.7%	20.4%	0.1%	22.5%
	西毛地域	686	25.1%	63.8%	58.5%	50.1%	19.4%	42.7%	15.9%	18.5%	20.4%	0.1%	24.5%
	東毛地域	673	21.8%	58.5%	55.0%	47.8%	17.2%	42.6%	11.9%	16.8%	19.6%	0.1%	27.0%
	北毛地域	142	20.4%	54.9%	56.3%	47.9%	12.7%	40.1%	12.0%	14.8%	19.0%	0.0%	28.9%
居住地域の状況	農村、山村	321	24.3%	63.2%	61.7%	53.0%	18.1%	50.2%	12.1%	18.4%	24.6%	0.0%	21.8%
	農村、山村以外	2,023	24.0%	60.1%	55.8%	48.6%	17.4%	41.1%	14.0%	16.1%	19.4%	0.1%	25.3%

12 気候変動への対応や資源循環に貢献する活動・行動についての経験

■ 「その他」の回答

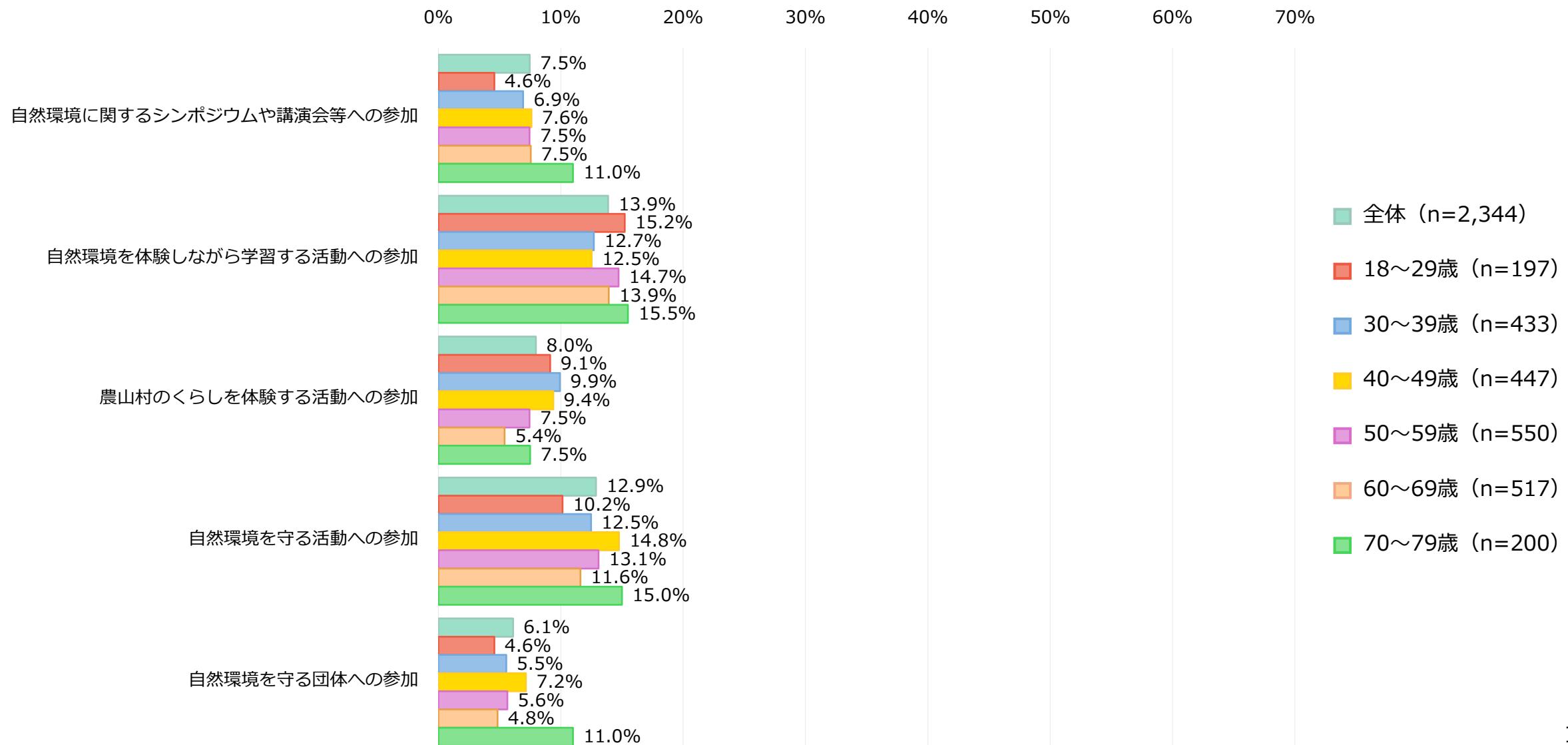
- ・スーパーなどで期限の近い食品から買う
- ・植林
- ・不用品をフリーマーケットアプリに出品

13 自然環境の保全に貢献する活動・行動の取組意向

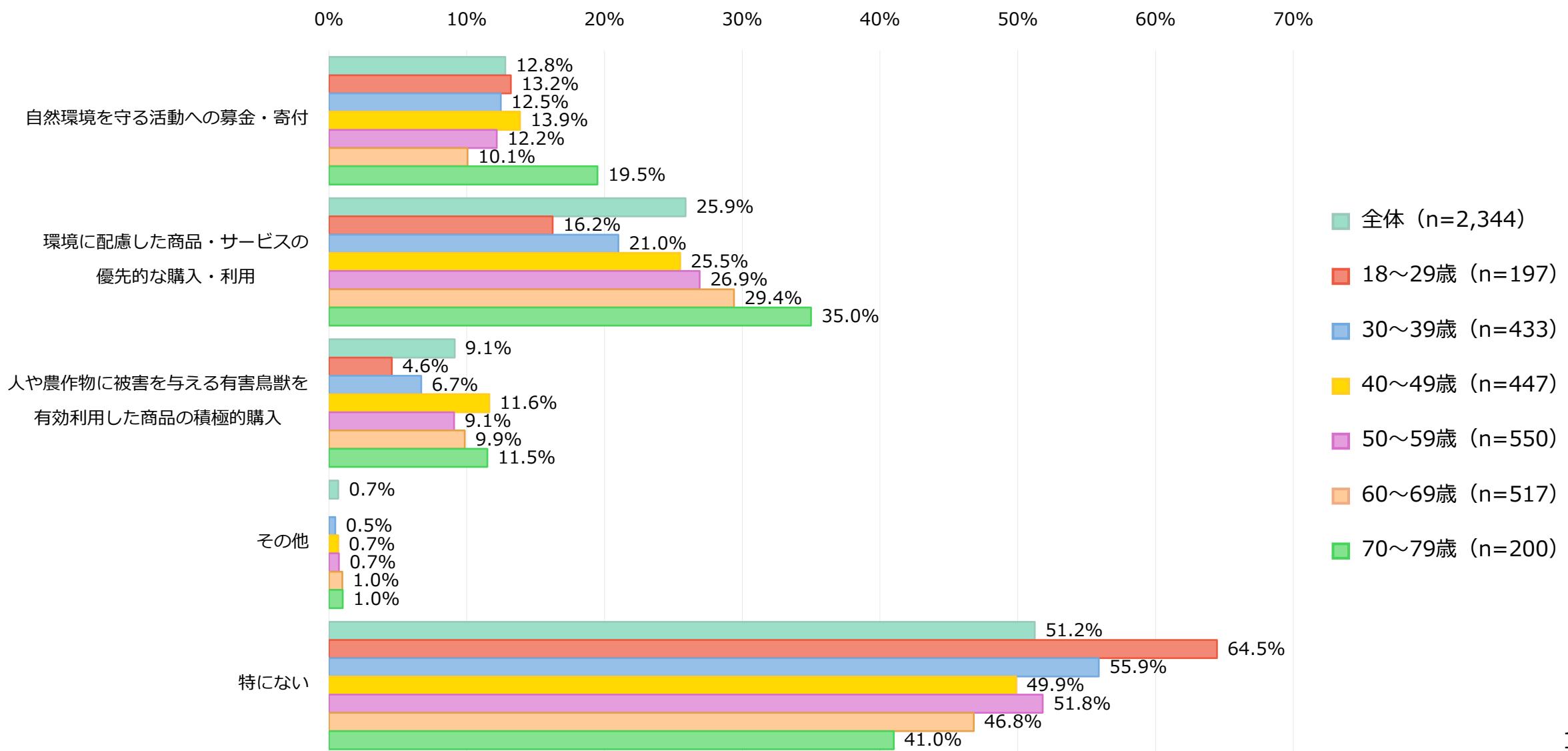
問13 群馬県の自然環境を守るために、あなたが今後行いたいと思うことは何ですか。以下の中からあてはまるものを全てお選びください。

1. 自然環境に関するシンポジウムや講演会等への参加
2. 自然環境を体験しながら学習する活動への参加
(ガイド付きトレッキング、エコツアー、自然観察会等)
3. 農山村のくらしを体験する活動への参加 (農業体験教室、農家民宿への滞在等)
4. 自然環境を守る活動への参加
(希少種の保護・増殖、里山や水路の手入れ、森林ボランティア、外来種駆除等)
5. 自然環境を守る団体への参加
6. 自然環境を守る活動への募金・寄付
7. 環境に配慮した商品・サービスの優先的な購入・利用
8. 人や農作物に被害を与える有害鳥獣を有効利用した商品の積極的購入 (シカ肉食品等)
9. その他 ()
10. 特にない

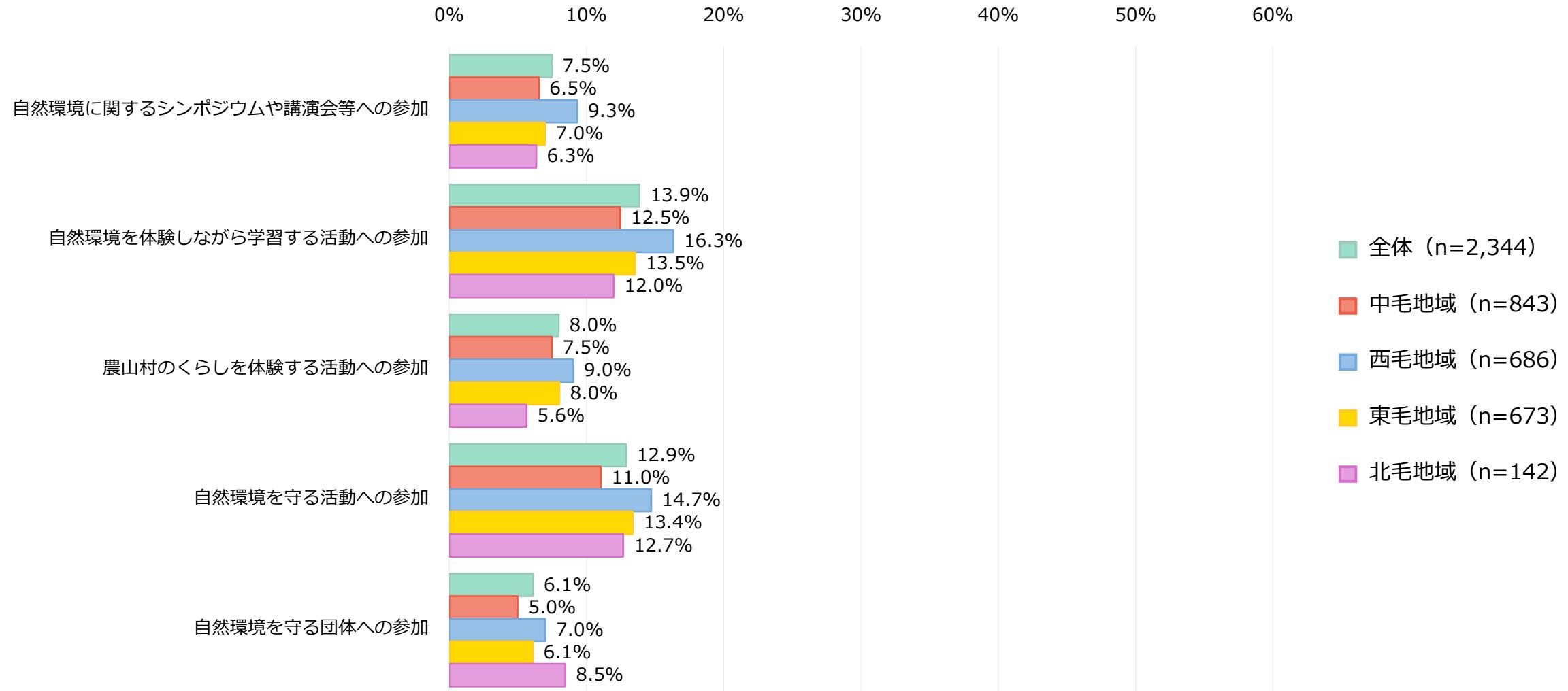
13 自然環境の保全に貢献する活動・行動の取組意向（年代別）



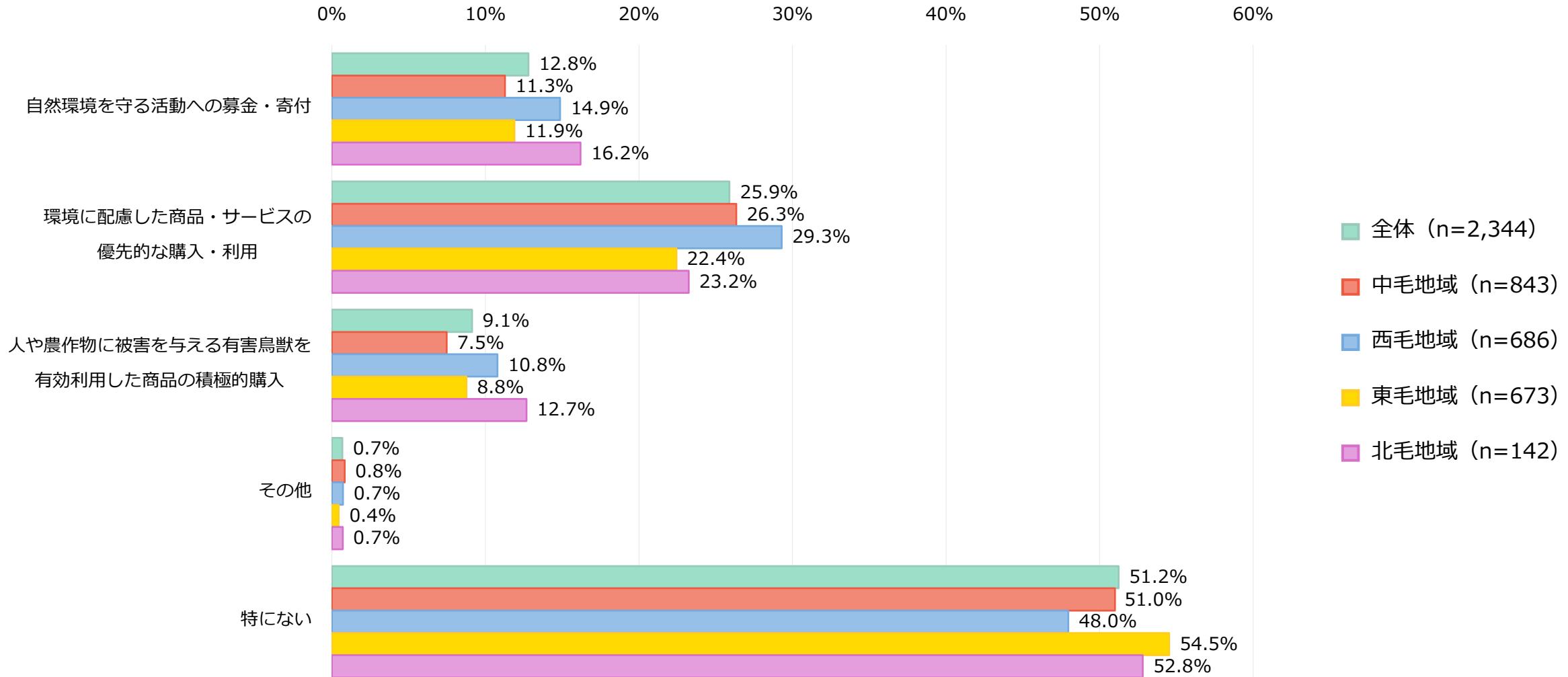
13 自然環境の保全に貢献する活動・行動の取組意向（年代別_続き）



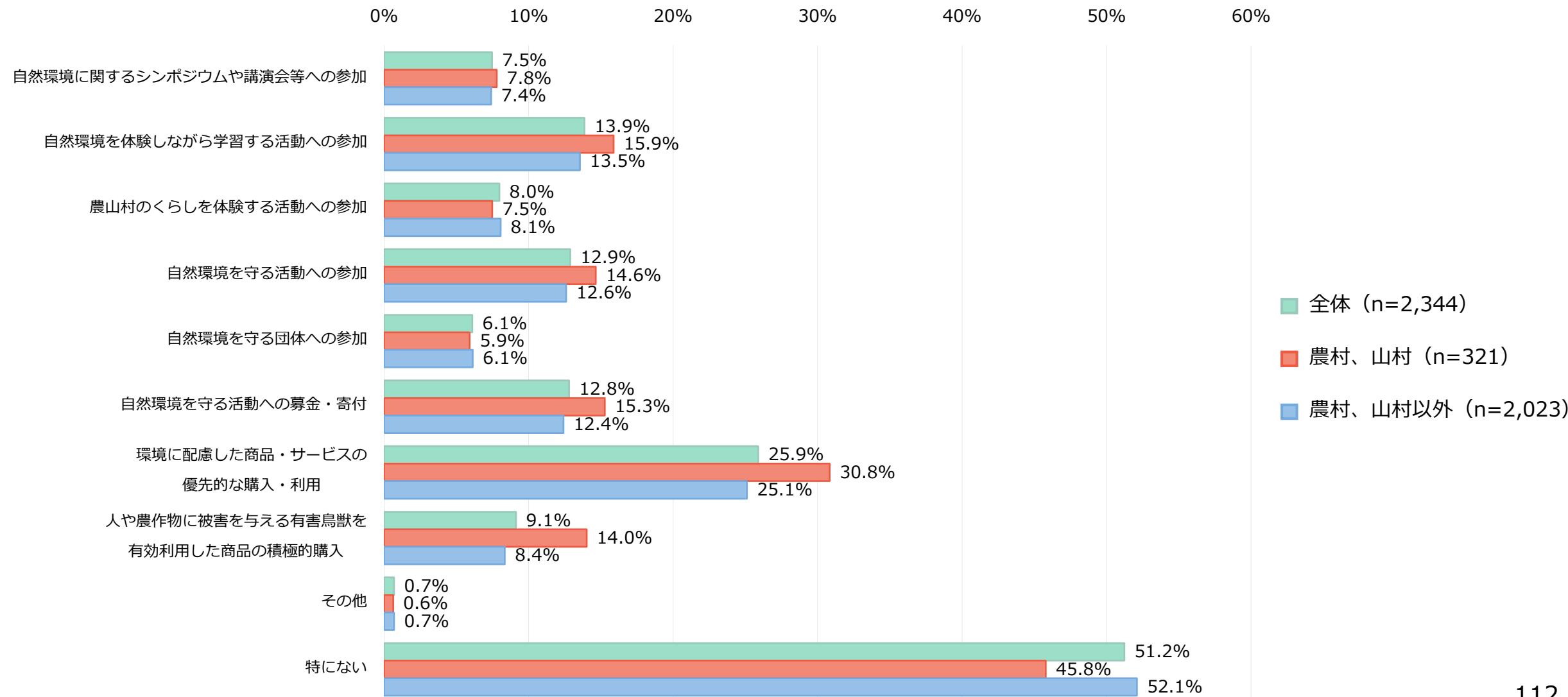
13 自然環境の保全に貢献する活動・行動の取組意向（居住地域別）



13 自然環境の保全に貢献する活動・行動の取組意向（居住地域別_続き）



13 自然環境の保全に貢献する活動・行動の取組意向（居住地域の状況別）



13 自然環境の保全に貢献する活動・行動の取組意向

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0~9.9ポイント
	全体-5.0~9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	自然環境に関するシンポジウムや講演会等への参加	自然環境を体験しながら学習する活動への参加	農山村のくらしを体験する活動への参加	自然環境を守る活動への参加	自然環境を守る団体への参加	自然環境を守る活動への募金・寄付	環境に配慮した商品・サービスの優先的な購入・利用	人や農作物に被害を与える有害鳥獣を有効利用した商品の積極的購入	その他	特にない
全体		2,344	7.5%	13.9%	8.0%	12.9%	6.1%	12.8%	25.9%	9.1%	0.7%	51.2%
年代	18~29歳	197	4.6%	15.2%	9.1%	10.2%	4.6%	13.2%	16.2%	4.6%	0.0%	64.5%
	30~39歳	433	6.9%	12.7%	9.9%	12.5%	5.5%	12.5%	21.0%	6.7%	0.5%	55.9%
	40~49歳	447	7.6%	12.5%	9.4%	14.8%	7.2%	13.9%	25.5%	11.6%	0.7%	49.9%
	50~59歳	550	7.5%	14.7%	7.5%	13.1%	5.6%	12.2%	26.9%	9.1%	0.7%	51.8%
	60~69歳	517	7.5%	13.9%	5.4%	11.6%	4.8%	10.1%	29.4%	9.9%	1.0%	46.8%
	70~79歳	200	11.0%	15.5%	7.5%	15.0%	11.0%	19.5%	35.0%	11.5%	1.0%	41.0%
居住市町村	中毛地域	843	6.5%	12.5%	7.5%	11.0%	5.0%	11.3%	26.3%	7.5%	0.8%	51.0%
	西毛地域	686	9.3%	16.3%	9.0%	14.7%	7.0%	14.9%	29.3%	10.8%	0.7%	48.0%
	東毛地域	673	7.0%	13.5%	8.0%	13.4%	6.1%	11.9%	22.4%	8.8%	0.4%	54.5%
	北毛地域	142	6.3%	12.0%	5.6%	12.7%	8.5%	16.2%	23.2%	12.7%	0.7%	52.8%
居住地域の状況	農村、山村	321	7.8%	15.9%	7.5%	14.6%	5.9%	15.3%	30.8%	14.0%	0.6%	45.8%
	農村、山村以外	2,023	7.4%	13.5%	8.1%	12.6%	6.1%	12.4%	25.1%	8.4%	0.7%	52.1%

13 自然環境の保全に貢献する活動・行動の取組意向

■ 「その他」の回答

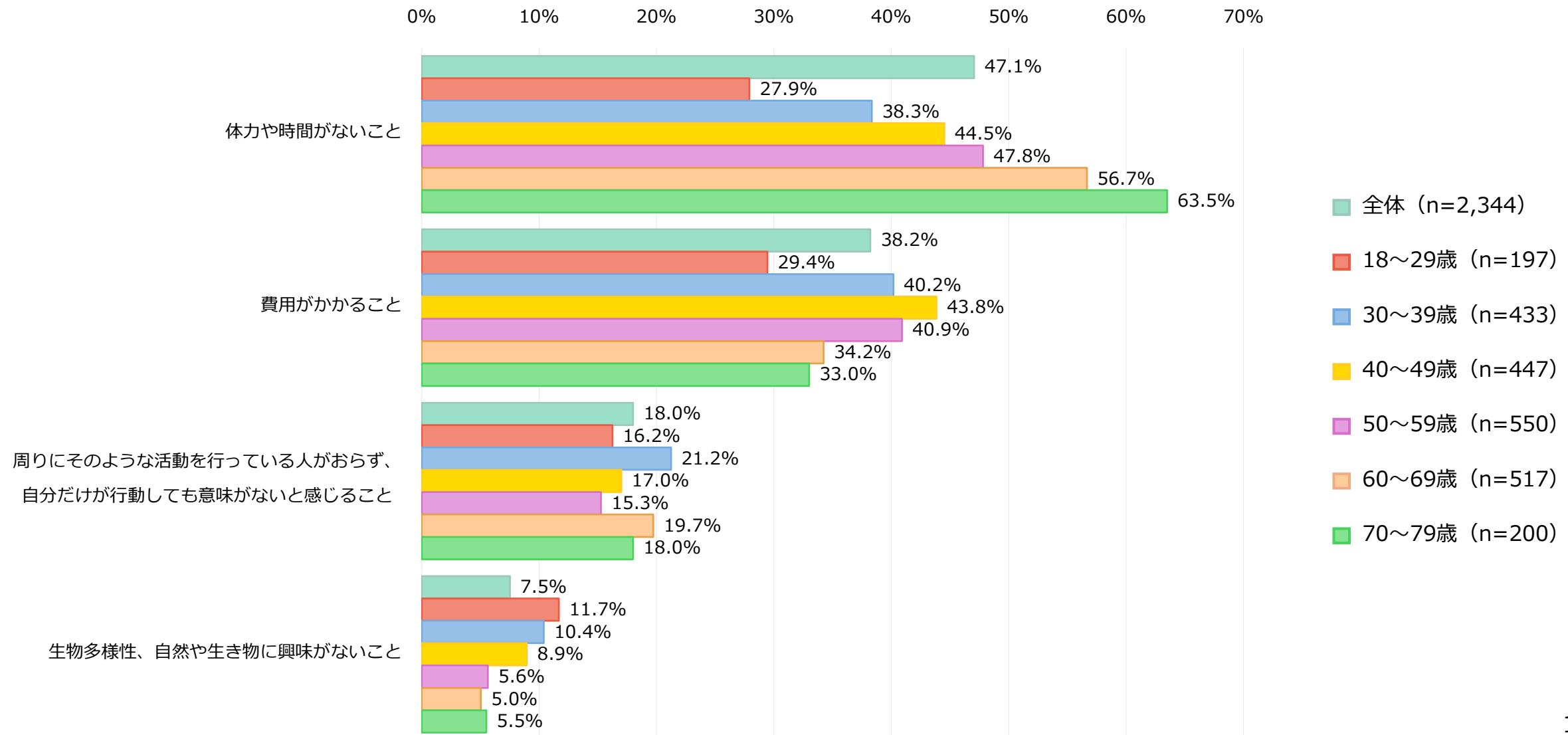
- ・ゴミの分別
- ・ゴミを減らす買い物の仕方
- ・散歩がてらのゴミ拾い
- ・家にあるもので間に合わせ、なるべく余計なものを買わず、長く使用する
- ・省エネ生活
- ・鳥獣保護法の見直しの提言
- ・地場農産物の優先的購入
- ・登山
- ・二酸化炭素を化学的に炭素を取り除いて酸素にする
- ・調理器具や食器の汚れを拭き取ってから洗うこと
- ・分別や節電など自分で出きることを最低限する

14 自然環境を守るために行動の制限・支障

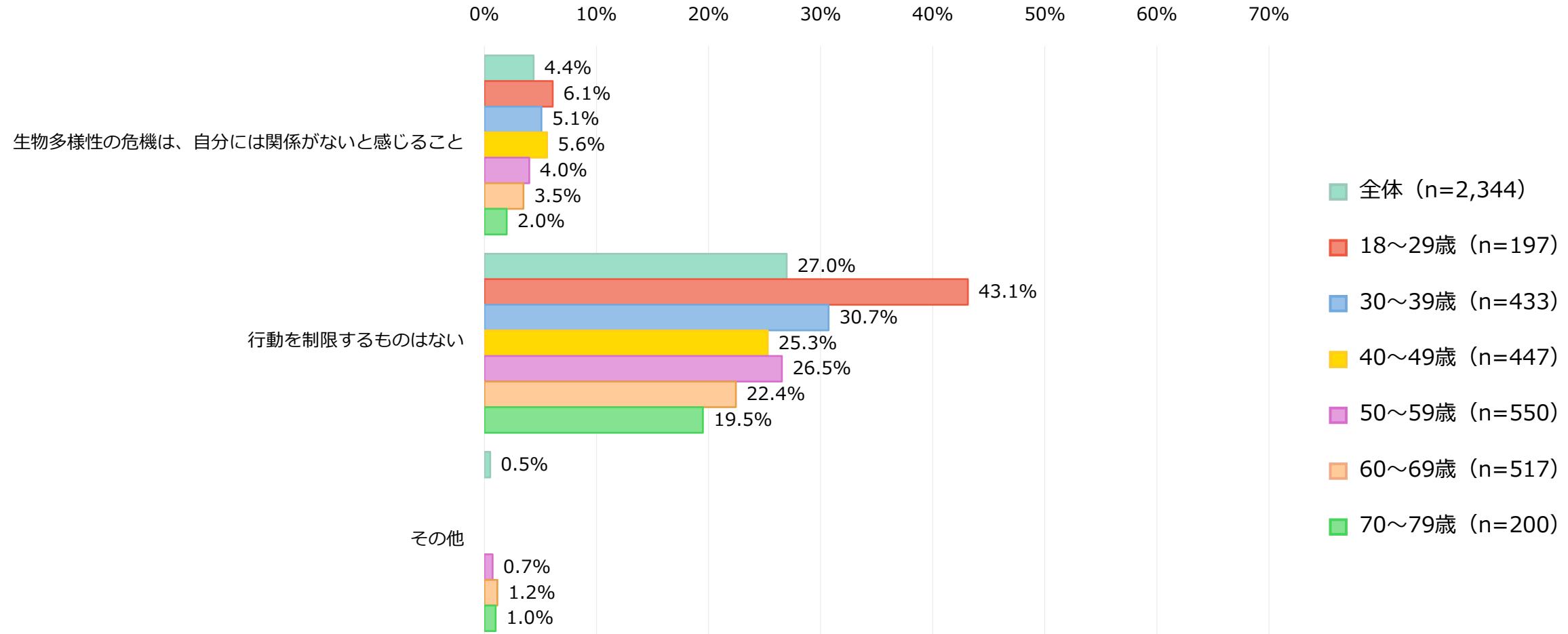
問14 群馬県の自然環境を守るために行動が制限されることや、行動の支障になると感じることはあるですか。その理由について、以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。

1. 体力や時間がないこと
2. 費用がかかること
3. 周りにそのような活動を行っている人がおらず、自分だけが行動しても意味がないと感じること
4. 生物多様性、自然や生き物に興味がないこと
5. 生物多様性の危機は、自分には関係がないと感じること
6. 行動を制限するものはない
7. その他 ()

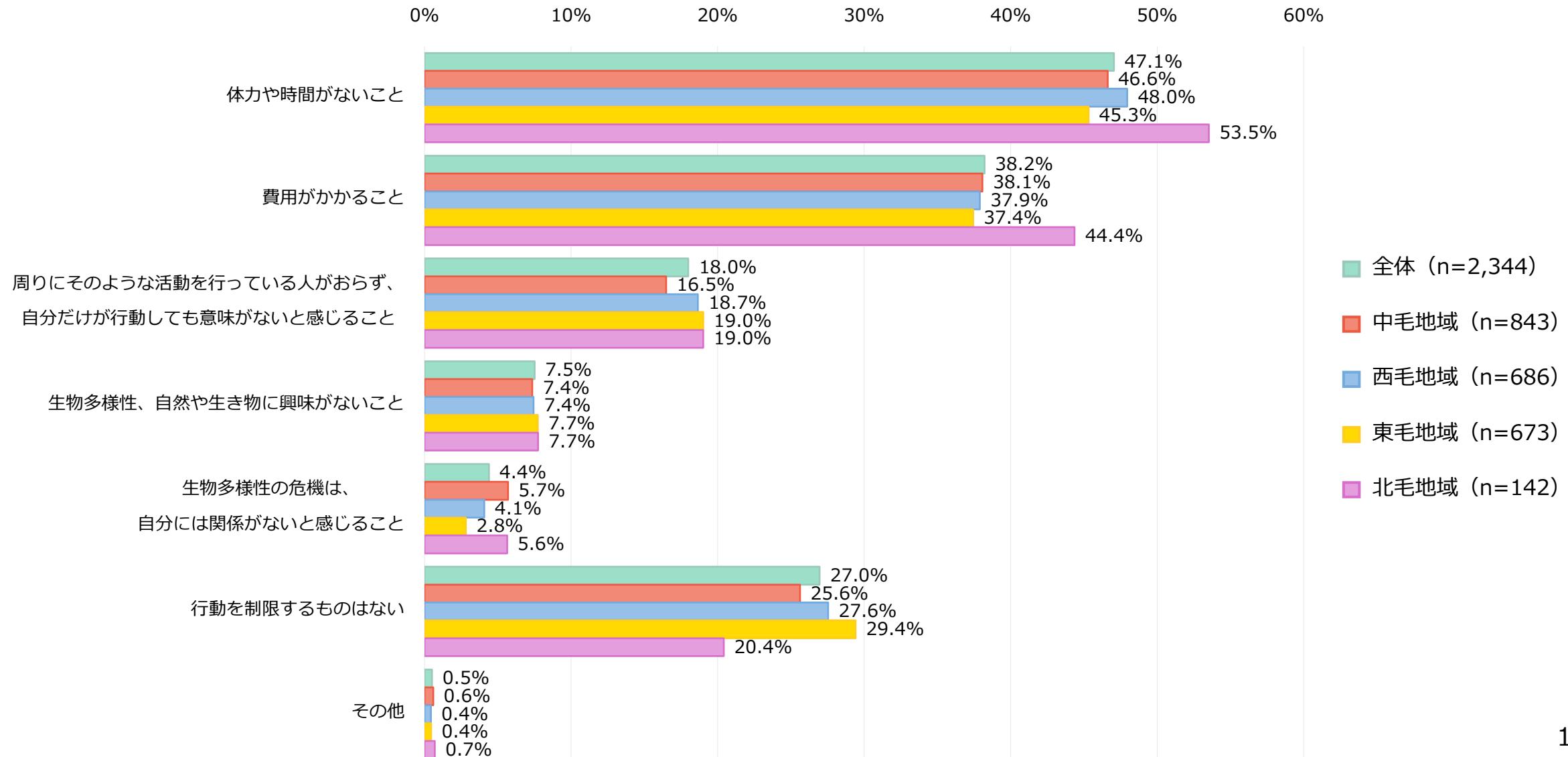
14 自然環境を守るために行動の制限・支障（年代別）



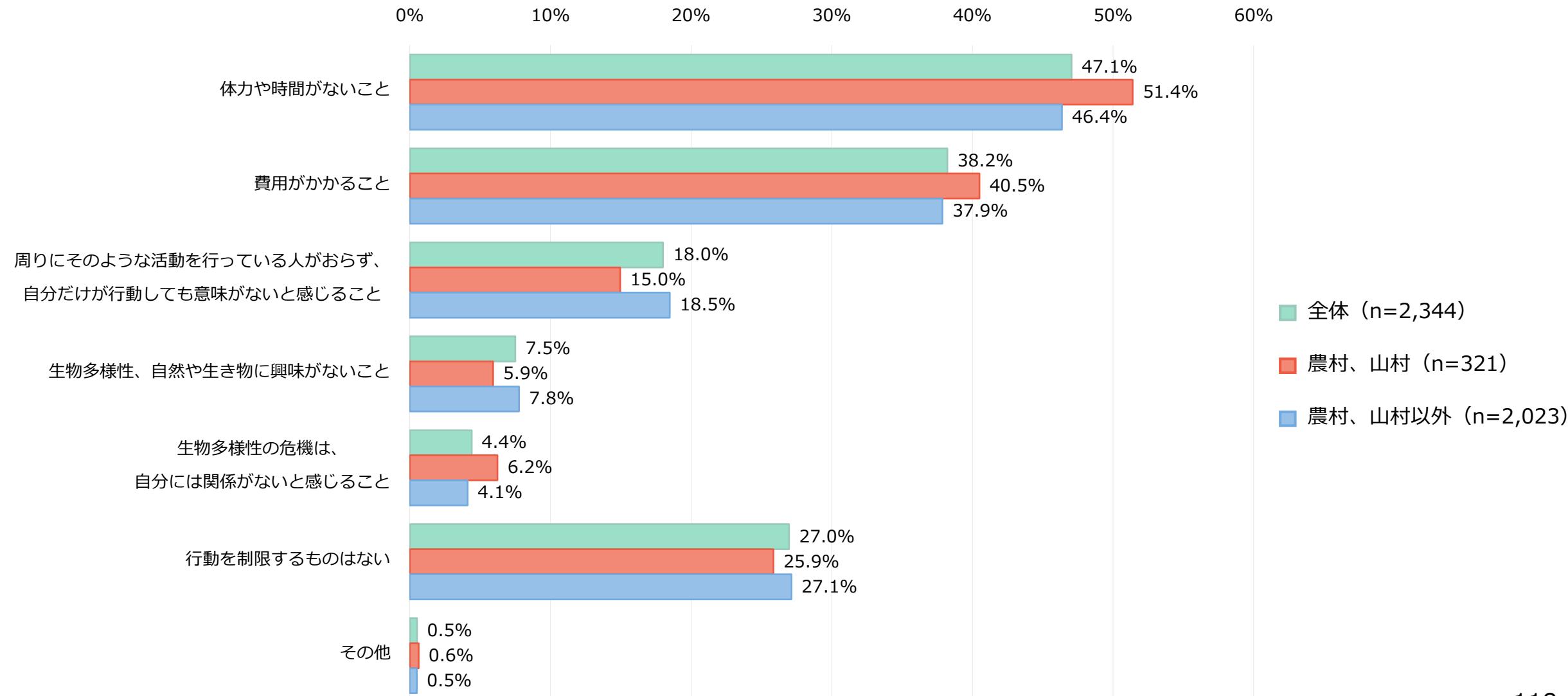
14 自然環境を守るために行動の制限・支障（年代別_続き）



14 自然環境を守るために行動の制限・支障（居住地域別）



14 自然環境を守るために行動の制限・支障（居住地域の状況別）



14 自然環境を守るために行動の制限・支障

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0~9.9ポイント
	全体-5.0~9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	体力や時間がないこと	費用がかかること	周りにそのような活動を行っている人がおらず、自分だけが行動しても意味がないと感じること	生物多様性、自然や生き物に興味がないこと	生物多様性の危機は、自分には関係がないと感じる	行動を制限するものはない	その他
全体		2,344	47.1%	38.2%	18.0%	7.5%	4.4%	27.0%	0.5%
年代	18~29歳	197	27.9%	29.4%	16.2%	11.7%	6.1%	43.1%	0.0%
	30~39歳	433	38.3%	40.2%	21.2%	10.4%	5.1%	30.7%	0.0%
	40~49歳	447	44.5%	43.8%	17.0%	8.9%	5.6%	25.3%	0.0%
	50~59歳	550	47.8%	40.9%	15.3%	5.6%	4.0%	26.5%	0.7%
	60~69歳	517	56.7%	34.2%	19.7%	5.0%	3.5%	22.4%	1.2%
	70~79歳	200	63.5%	33.0%	18.0%	5.5%	2.0%	19.5%	1.0%
居住市町村	中毛地域	843	46.6%	38.1%	16.5%	7.4%	5.7%	25.6%	0.6%
	西毛地域	686	48.0%	37.9%	18.7%	7.4%	4.1%	27.6%	0.4%
	東毛地域	673	45.3%	37.4%	19.0%	7.7%	2.8%	29.4%	0.4%
	北毛地域	142	53.5%	44.4%	19.0%	7.7%	5.6%	20.4%	0.7%
居住地域の状況	農村、山村	321	51.4%	40.5%	15.0%	5.9%	6.2%	25.9%	0.6%
	農村、山村以外	2,023	46.4%	37.9%	18.5%	7.8%	4.1%	27.1%	0.5%

14 自然環境を守るために行動の制限・支障

■ 「その他」の回答

- ・移動する交通手段が不便
- ・参加機会が少ない
- ・健康上の問題

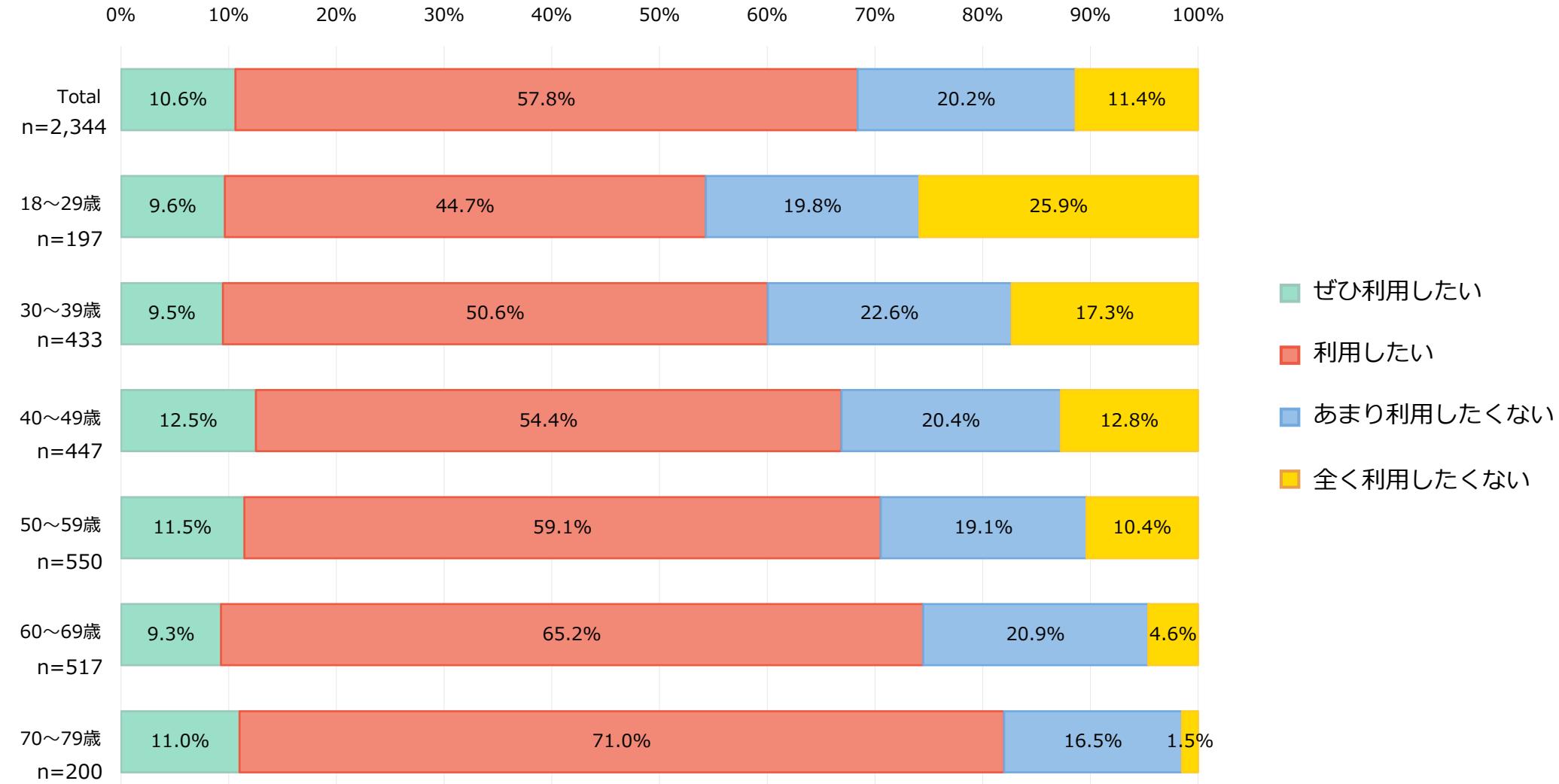
15 自然環境に配慮した商品やサービスの利用意向

問15 環境に配慮したパッケージを使用した商品や有機農業により栽培された農産物の販売など、自然環境の保全に配慮した商品・サービスの開発・提供が増えています。

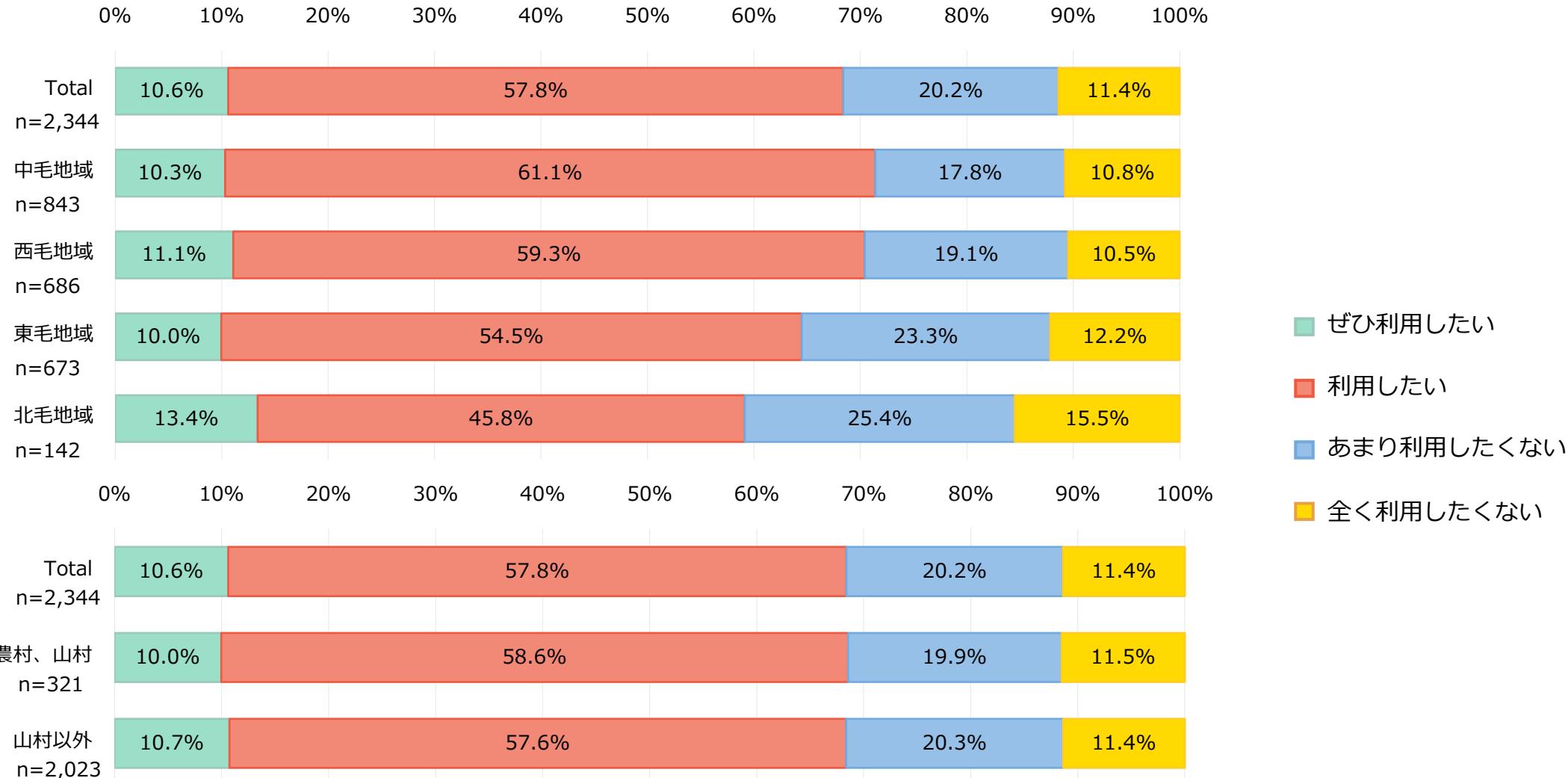
(1) あなたは、このような自然環境の保全に配慮した商品やサービスを利用したいと思いますか。以下のの中からあてはまるものを1つお選びください。

1. ゼひ利用したい ⇒ (2)
2. 利用したい ⇒ (2)
3. あまり利用したくない ⇒ (3)
4. 全く利用したくない ⇒ (3)

15-1 自然環境に配慮した商品やサービスの利用意向（年代別）



15-1 自然環境に配慮した商品やサービスの利用意向（居住地域別、居住地域の状況別）



15 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がある者の理由

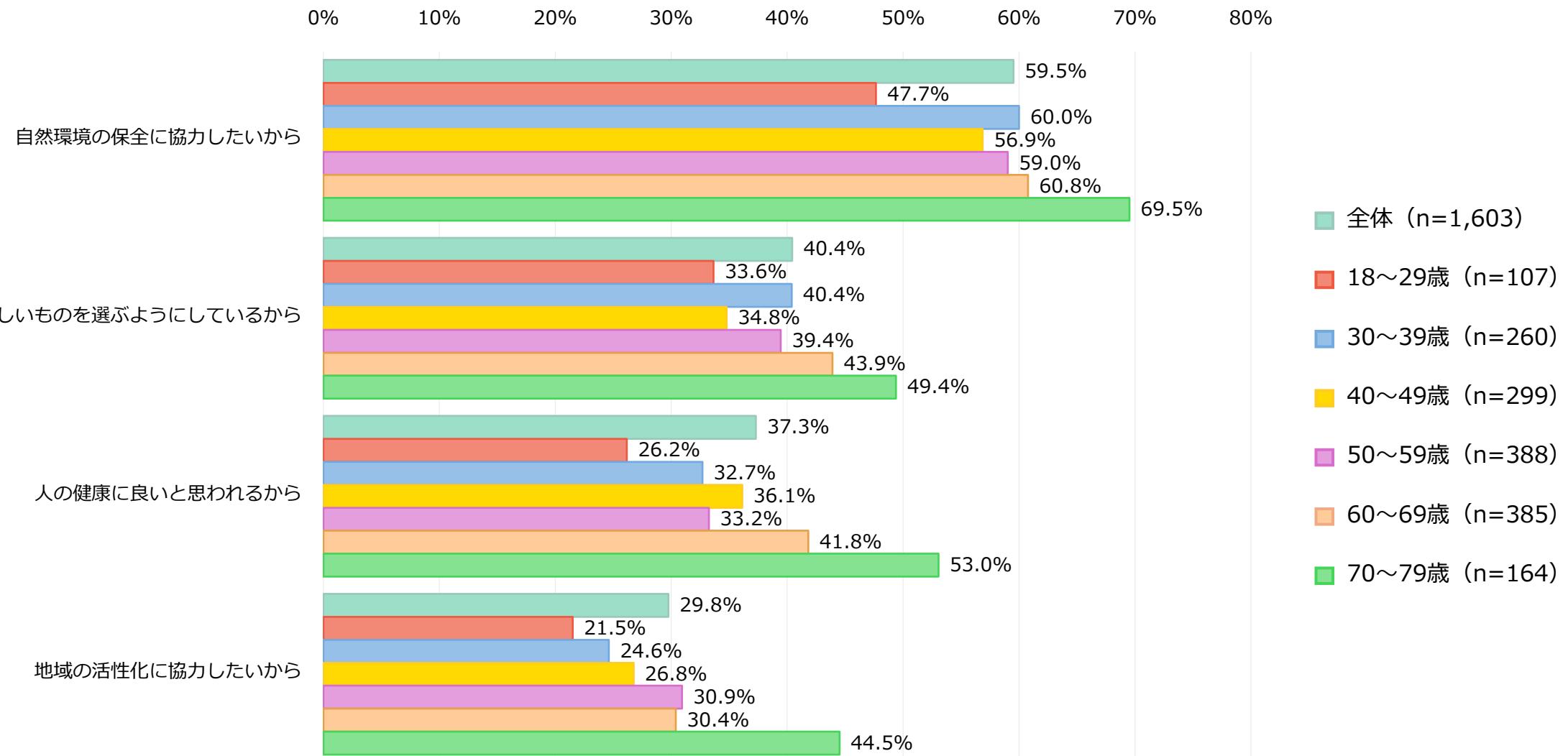
問15

■ (1) で「1.ぜひ利用したい」「2.利用したい」とお答えになった方にお伺いします。

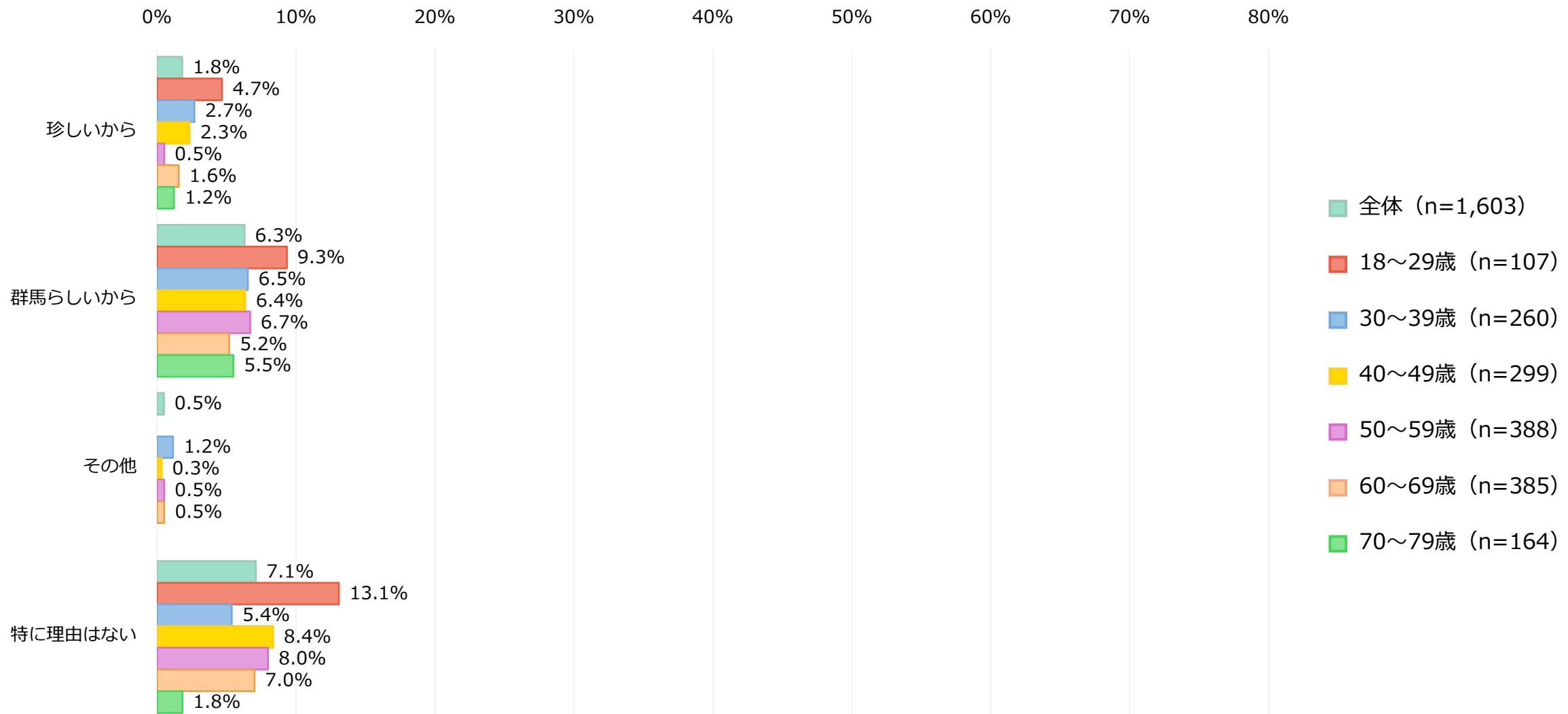
(2) (1) でそのようにお答えになった理由を教えてください。以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。

1. 自然環境の保全に協力したいから
2. 環境に優しいものを選ぶようになっているから
3. 人の健康に良いと思われるから
4. 地域の活性化に協力したいから
5. 珍しいから
6. 群馬らしいから
7. その他 ()
8. 特に理由はない

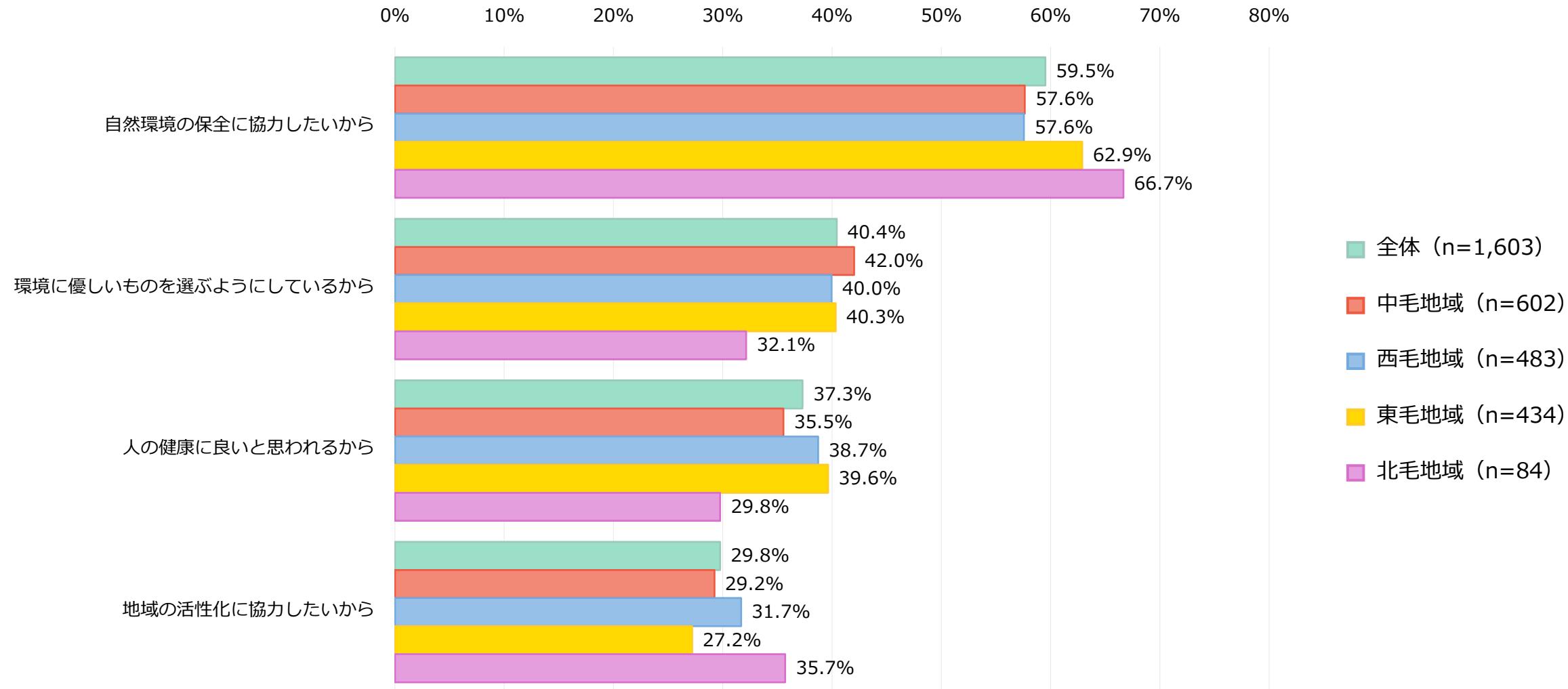
15-2 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がある者の理由（年代別）



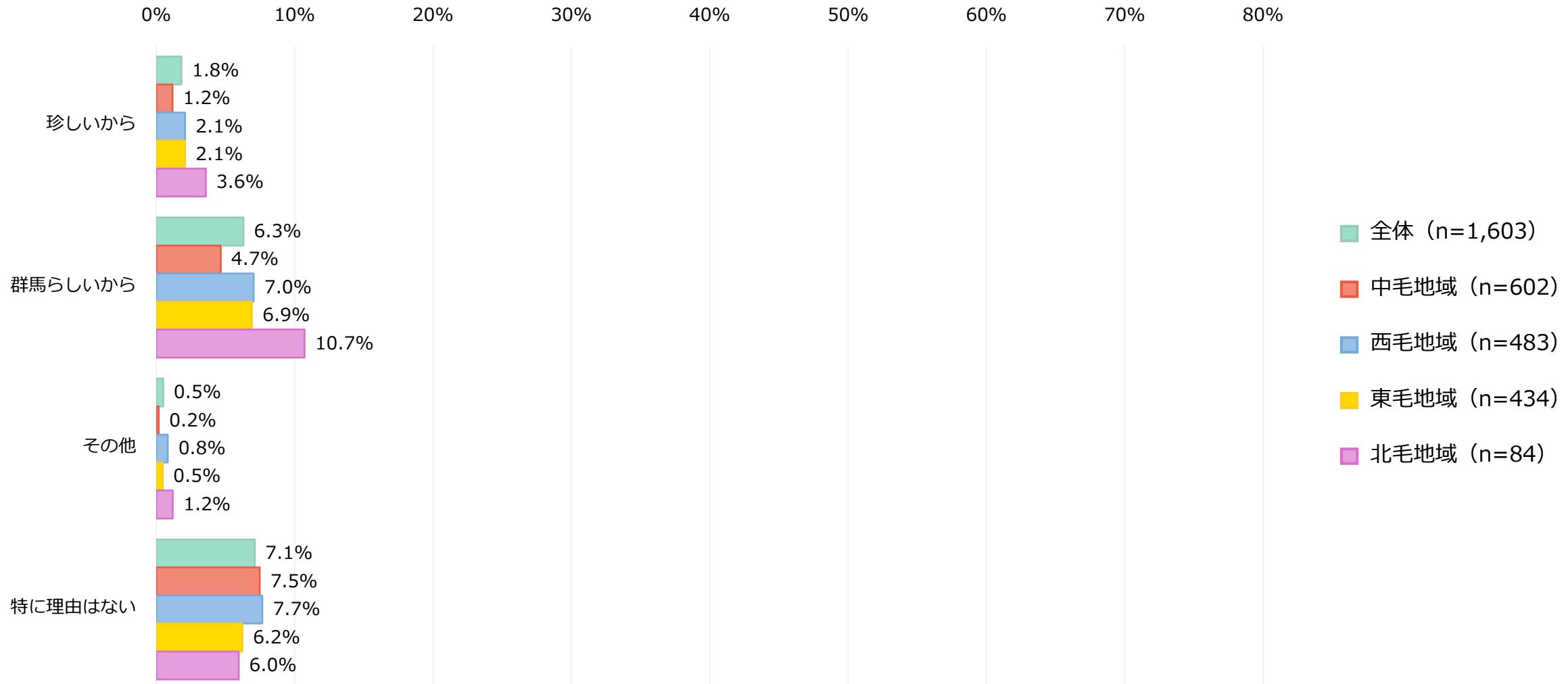
15-2 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がある者の理由（年代別_続き）



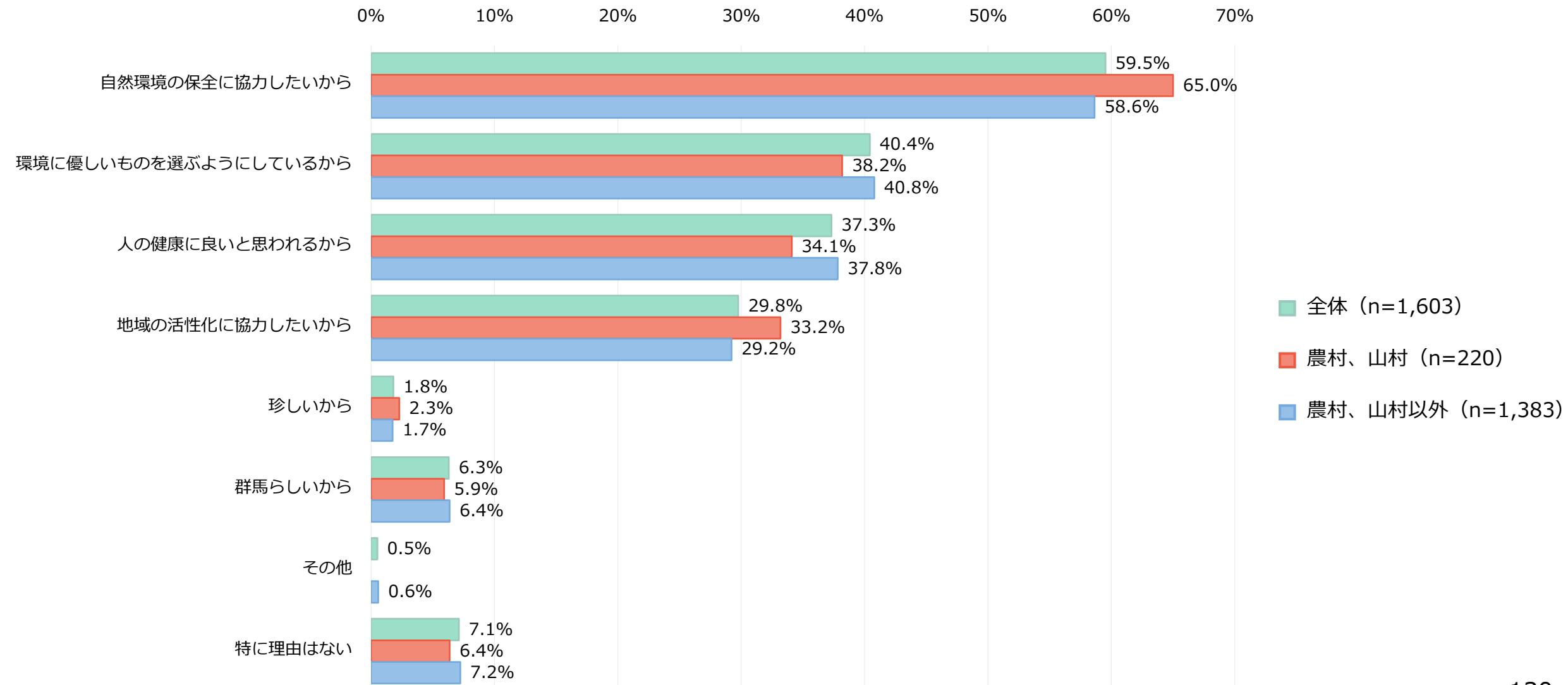
15-2 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がある者の理由（居住地域別）



15-2 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がある者の理由（居住地域別_続き）



15-2 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がある者の理由（居住地域の状況別）



15-2 自然環境に配慮した商品やサービスにおいて利用意向がある者の理由

		合計	自然環境の保全に協力したいから	環境に優しいものを選ぶようにしているから	人の健康に良いと思われるから	地域の活性化に協力したいから	珍しいから	群馬らしいから	その他	特に理由はない	
											全体+10.0ポイント以上
全体	2,344	59.5%	40.4%	37.3%	29.8%	1.8%	6.3%	0.5%	7.1%		全体+5.0～9.9ポイント
年代	18～29歳	197	47.7%	33.6%	26.2%	21.5%	4.7%	9.3%	0.0%	13.1%	全体-5.0～9.9ポイント
	30～39歳	433	60.0%	40.4%	32.7%	24.6%	2.7%	6.5%	1.2%	5.4%	全体-10.0ポイント以上
	40～49歳	447	56.9%	34.8%	36.1%	26.8%	2.3%	6.4%	0.3%	8.4%	
	50～59歳	550	59.0%	39.4%	33.2%	30.9%	0.5%	6.7%	0.5%	8.0%	
	60～69歳	517	60.8%	43.9%	41.8%	30.4%	1.6%	5.2%	0.5%	7.0%	
	70～79歳	200	69.5%	49.4%	53.0%	44.5%	1.2%	5.5%	0.0%	1.8%	
居住市町村	中毛地域	843	57.6%	42.0%	35.5%	29.2%	1.2%	4.7%	0.2%	7.5%	
	西毛地域	686	57.6%	40.0%	38.7%	31.7%	2.1%	7.0%	0.8%	7.7%	
	東毛地域	673	62.9%	40.3%	39.6%	27.2%	2.1%	6.9%	0.5%	6.2%	
	北毛地域	142	66.7%	32.1%	29.8%	35.7%	3.6%	10.7%	1.2%	6.0%	
居住地域の状況	農村、山村	321	65.0%	38.2%	34.1%	33.2%	2.3%	5.9%	0.0%	6.4%	
	農村、山村以外	2,023	58.6%	40.8%	37.8%	29.2%	1.7%	6.4%	0.6%	7.2%	

15-2 自然環境に配慮した商品やサービスにおいて利用意向がある者の理由

■ 「その他」の回答

- ・ゴミが減るから
- ・一番身近に参加できそうだから
- ・自分が出来る数少ないボランティアだと思うから

15 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がない者の理由

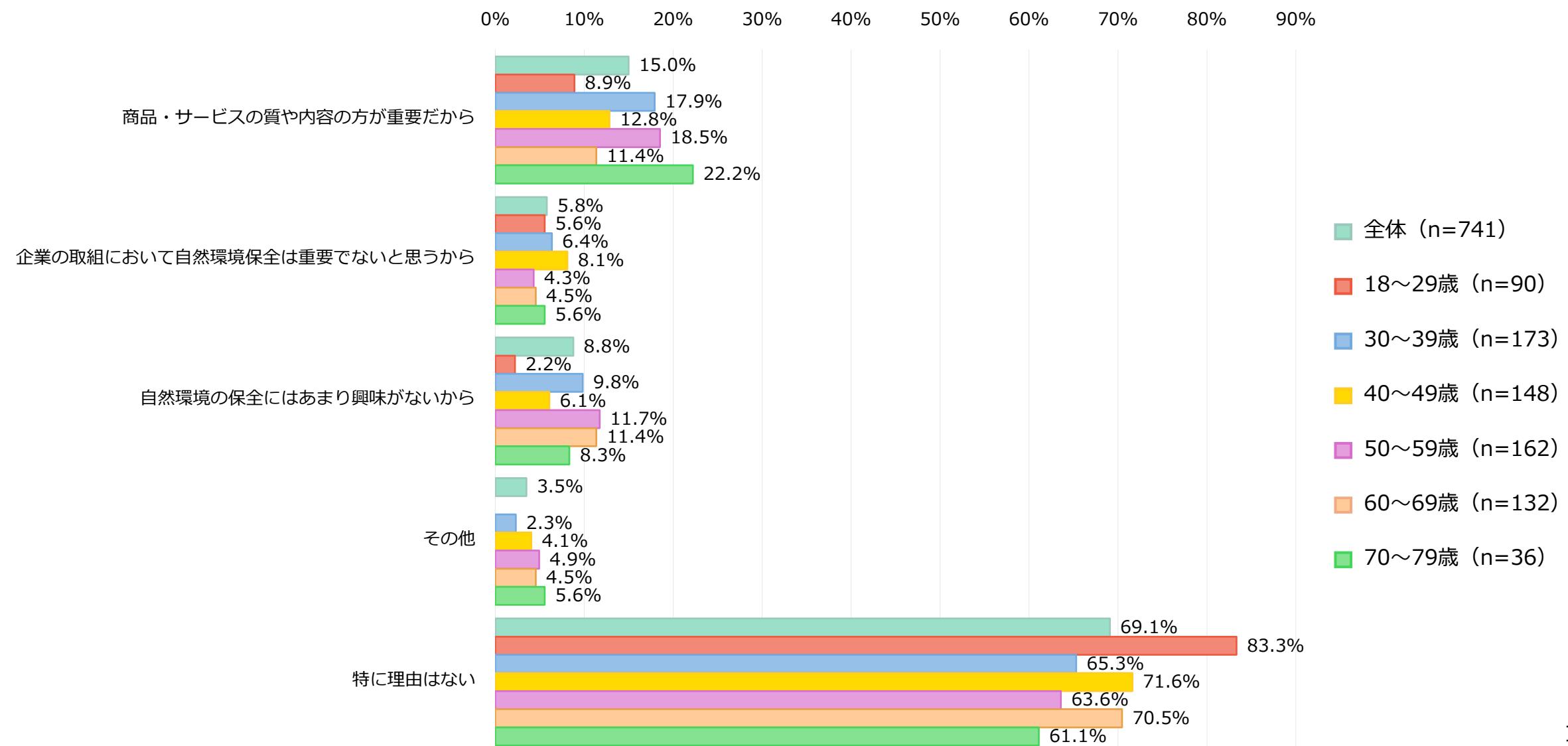
問15

■ (1) で「3. あまり利用したくない」「4. 全く利用したくない」とお答えになった方にお伺いします。

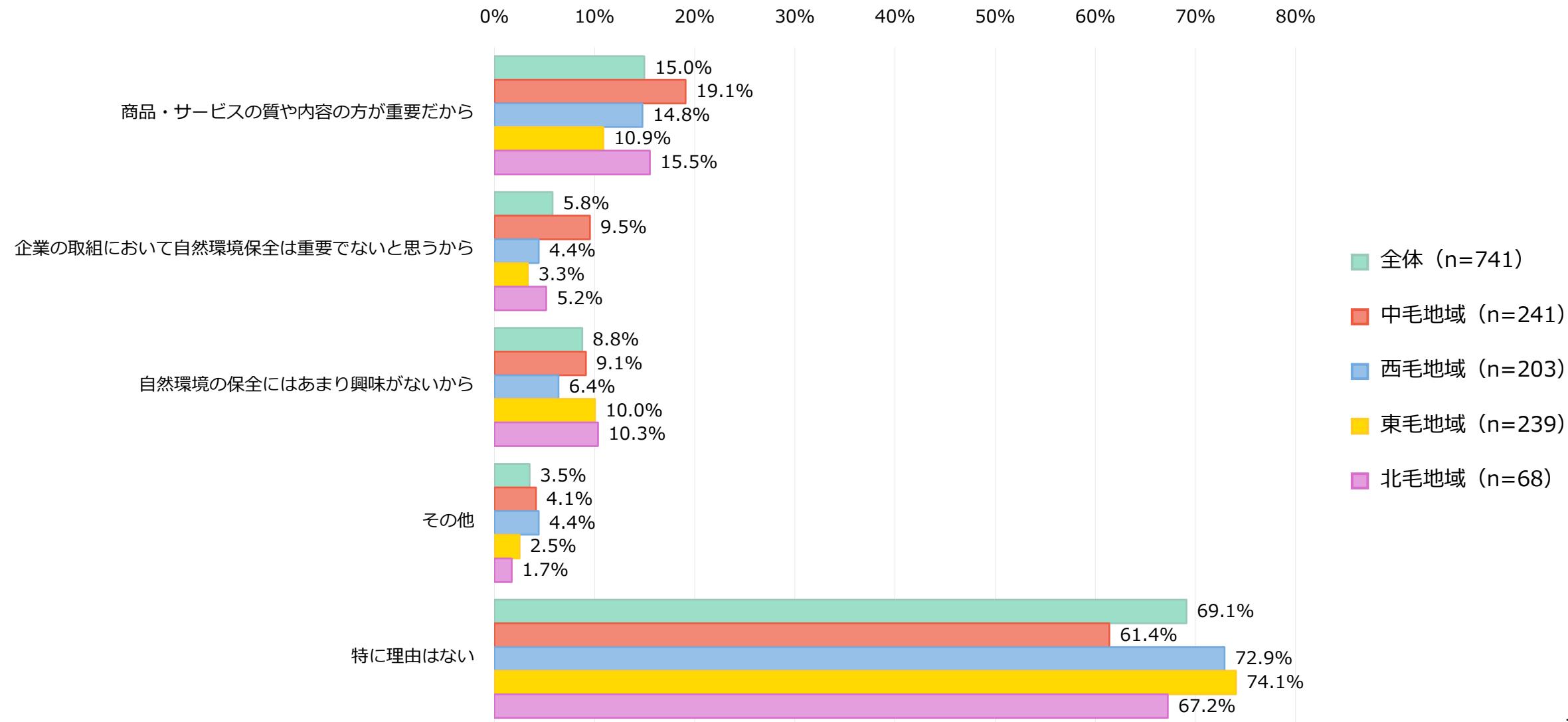
(3) (1) でそのようにお答えになった理由を教えてください。以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。

1. 商品・サービスの質や内容の方が重要だから
2. 企業の取組において自然環境保全は重要でないと思うから
3. 自然環境の保全にはあまり興味がないから
4. その他 ()
5. 特に理由はない

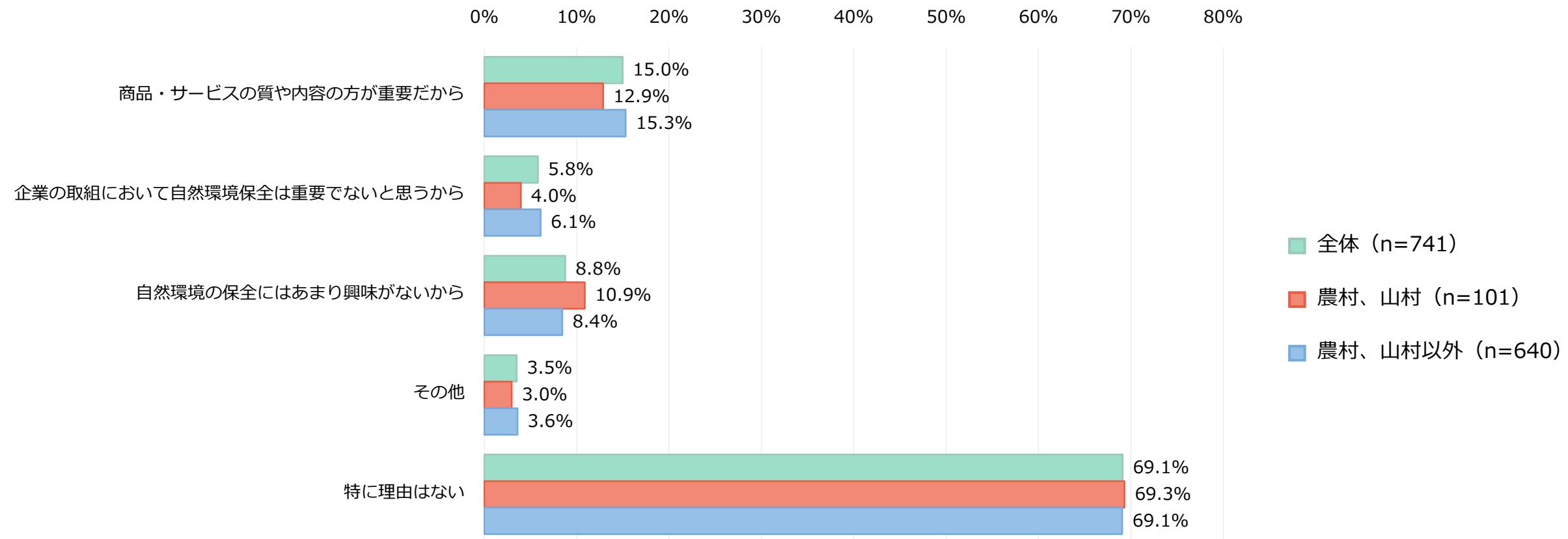
15-3 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がない者の理由（年代別）



15-3 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がない者の理由（居住地域別）



15-3 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がない者の理由（居住地域の状況別）



15-3 自然環境に配慮した商品やサービスについて利用意向がない者の理由

		合計	商品・サービスの質や内容の方が重要だから	企業の取組において自然環境保全は重要でないと思うから	自然環境の保全にはあまり興味がないから	その他	特に理由はない	
全体	2,344	15.0%		5.8%	8.8%	3.5%	69.1%	
年代	18~29歳	197	8.9%	5.6%	2.2%	0.0%	83.3%	
	30~39歳	433	17.9%	6.4%	9.8%	2.3%	65.3%	
	40~49歳	447	12.8%	8.1%	6.1%	4.1%	71.6%	
	50~59歳	550	18.5%	4.3%	11.7%	4.9%	63.6%	
	60~69歳	517	11.4%	4.5%	11.4%	4.5%	70.5%	
	70~79歳	200	22.2%	5.6%	8.3%	5.6%	61.1%	
居住市町村	中毛地域	843	19.1%	9.5%	9.1%	4.1%	61.4%	
	西毛地域	686	14.8%	4.4%	6.4%	4.4%	72.9%	
	東毛地域	673	10.9%	3.3%	10.0%	2.5%	74.1%	
	北毛地域	142	15.5%	5.2%	10.3%	1.7%	67.2%	
居住地域の状況	農村、山村	321	12.9%	4.0%	10.9%	3.0%	69.3%	
	農村、山村以外	2,023	15.3%	6.1%	8.4%	3.6%	69.1%	

全体+10.0ポイント以上
全体+5.0~9.9ポイント
全体-5.0~9.9ポイント
全体-10.0ポイント以上

15-3 自然環境に配慮した商品やサービスにおいて利用意向がない者の理由

■ 「その他」の回答

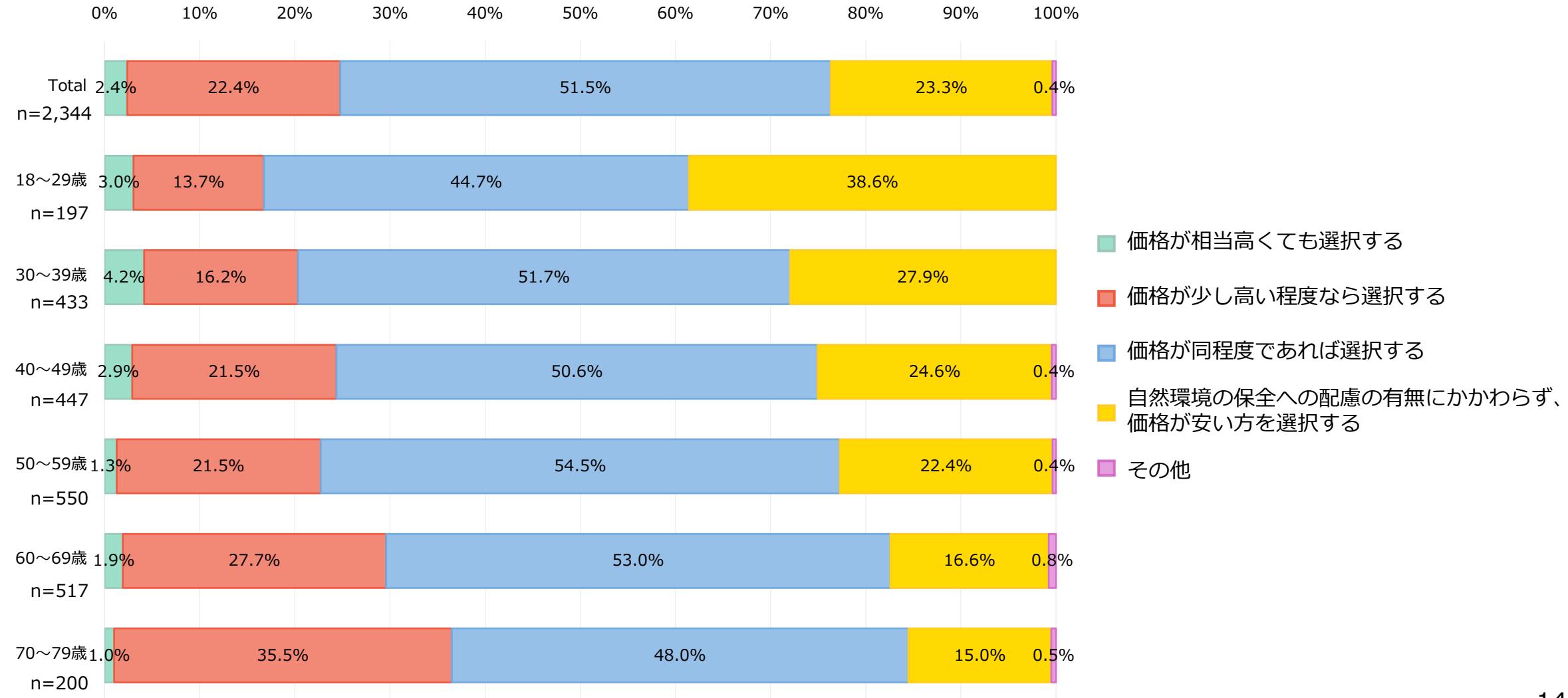
- ・お金がかかるから
- ・そのような商品は比較的高額になりがちだから
- ・環境保全に影響が無いから
- ・品質が悪い可能性があるから
- ・付加価値にはならないから

16 自然環境に配慮した商品やサービスの利用価格

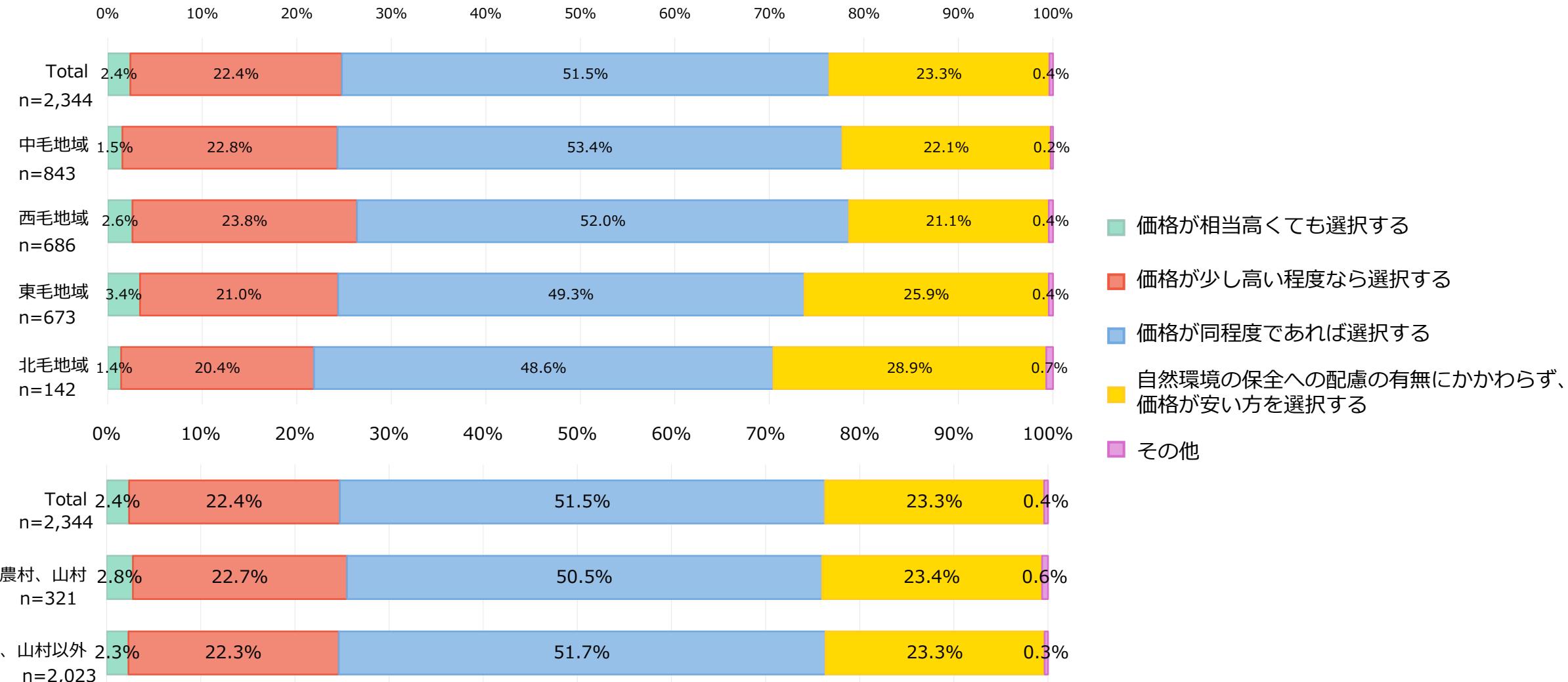
問16 あなたが自然環境の保全に配慮した商品やサービスを選ぶ際の価格について、以下のの中からあてはまるものを1つお選びください。

1. 価格が相当高くても選択する
2. 価格が少し高い程度なら選択する
3. 価格が同程度であれば選択する
4. 自然環境の保全への配慮の有無にかかわらず、価格が安い方を選択する
5. その他（ ）

16 自然環境に配慮した商品やサービスの利用価格（年代別）



16 自然環境に配慮した商品やサービスの利用価格（居住地域別、居住地域の状況別）



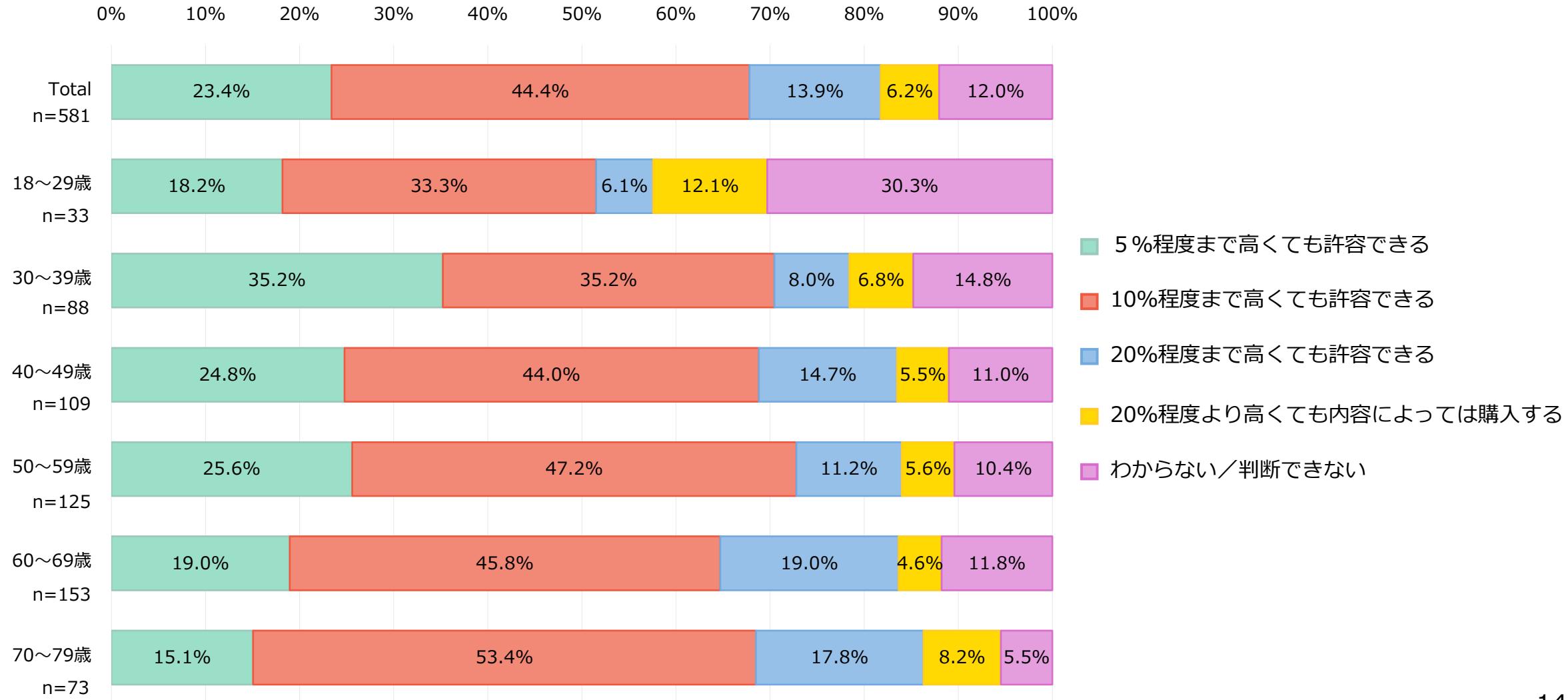
17 自然環境に配慮した商品やサービスの利用価格の許容範囲

■問16で「1. 価格が相当高くても選択する」「2. 価格が少し高い程度なら選択する」とお答えになつた方にお伺いします。

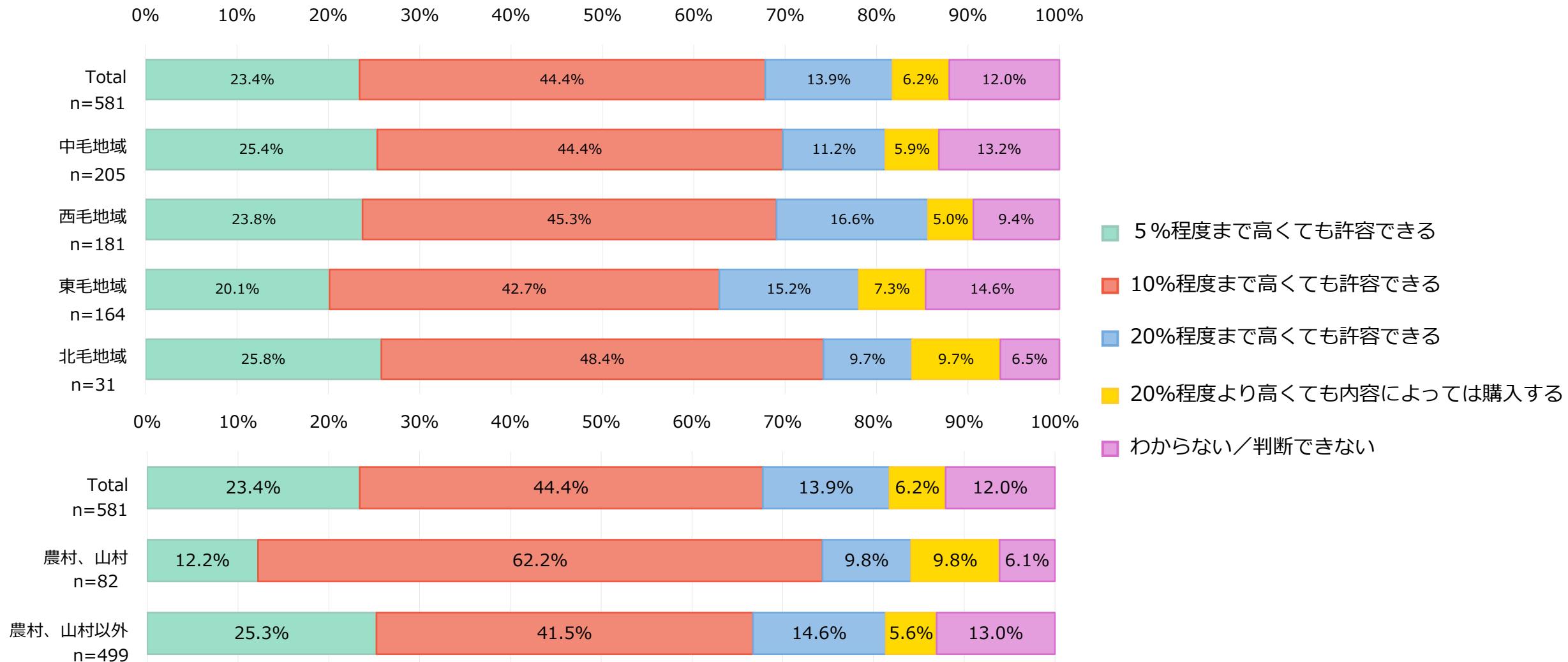
問17 生物多様性に配慮した商品サービスについて、どの程度まで割高な価格を許容できますか。以下のなかからあてはまるものを1つお選びください。

1. 5%程度まで高くても許容できる（例：100円の商品なら105円程度まで）
3. 10%程度まで高くても許容できる（例：100円の商品なら110円程度まで）
4. 20%程度まで高くても許容できる（例：100円の商品なら120円程度まで）
4. 20%程度より高くても内容によっては購入する（例：100円の商品なら125円程度以上）
5. わからない／判断できない

17 自然環境に配慮した商品やサービスの利用価格の許容範囲（年代別）



17 自然環境に配慮した商品やサービスの利用価格の許容範囲（居住地域別、居住地域の状況別）

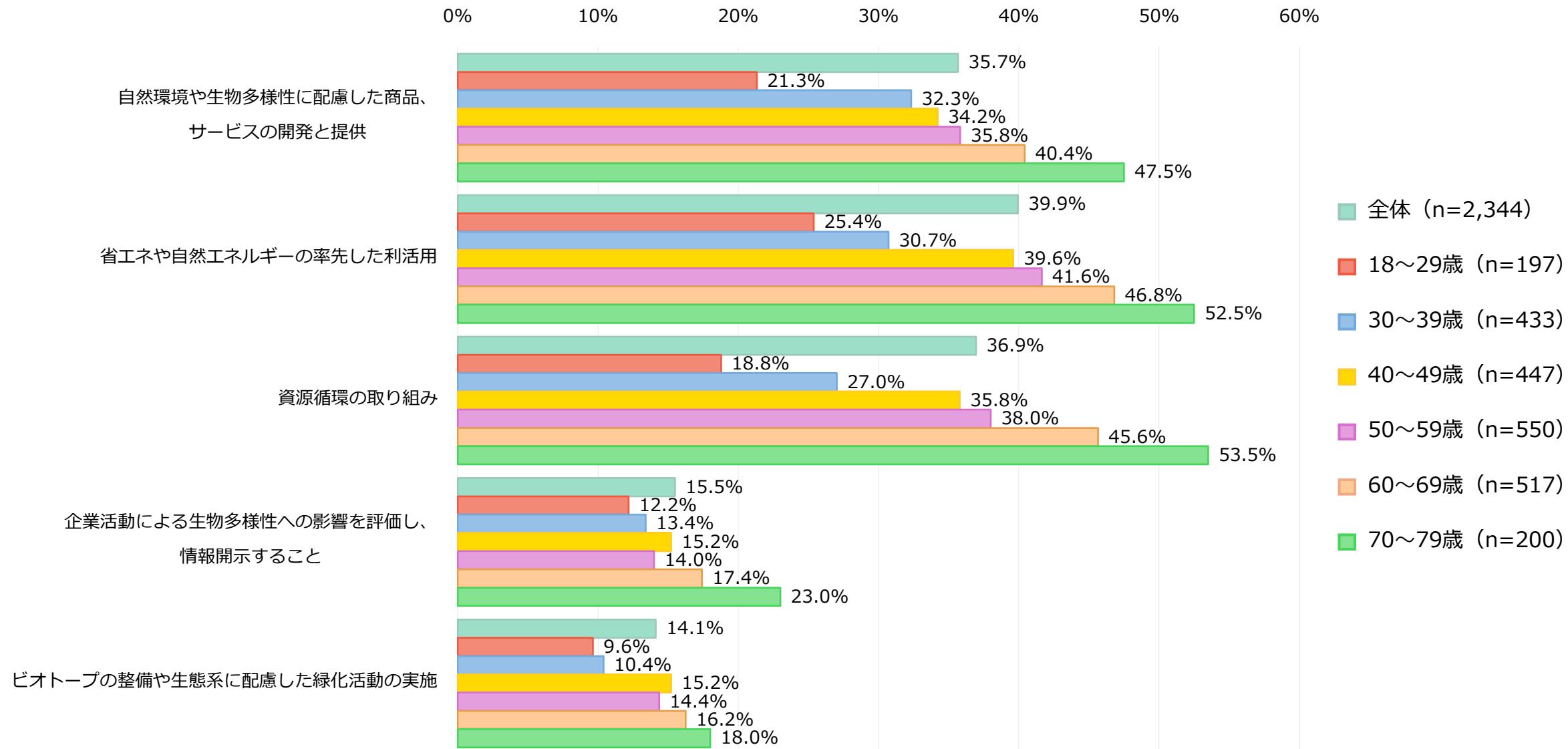


18 企業に対して期待する取組

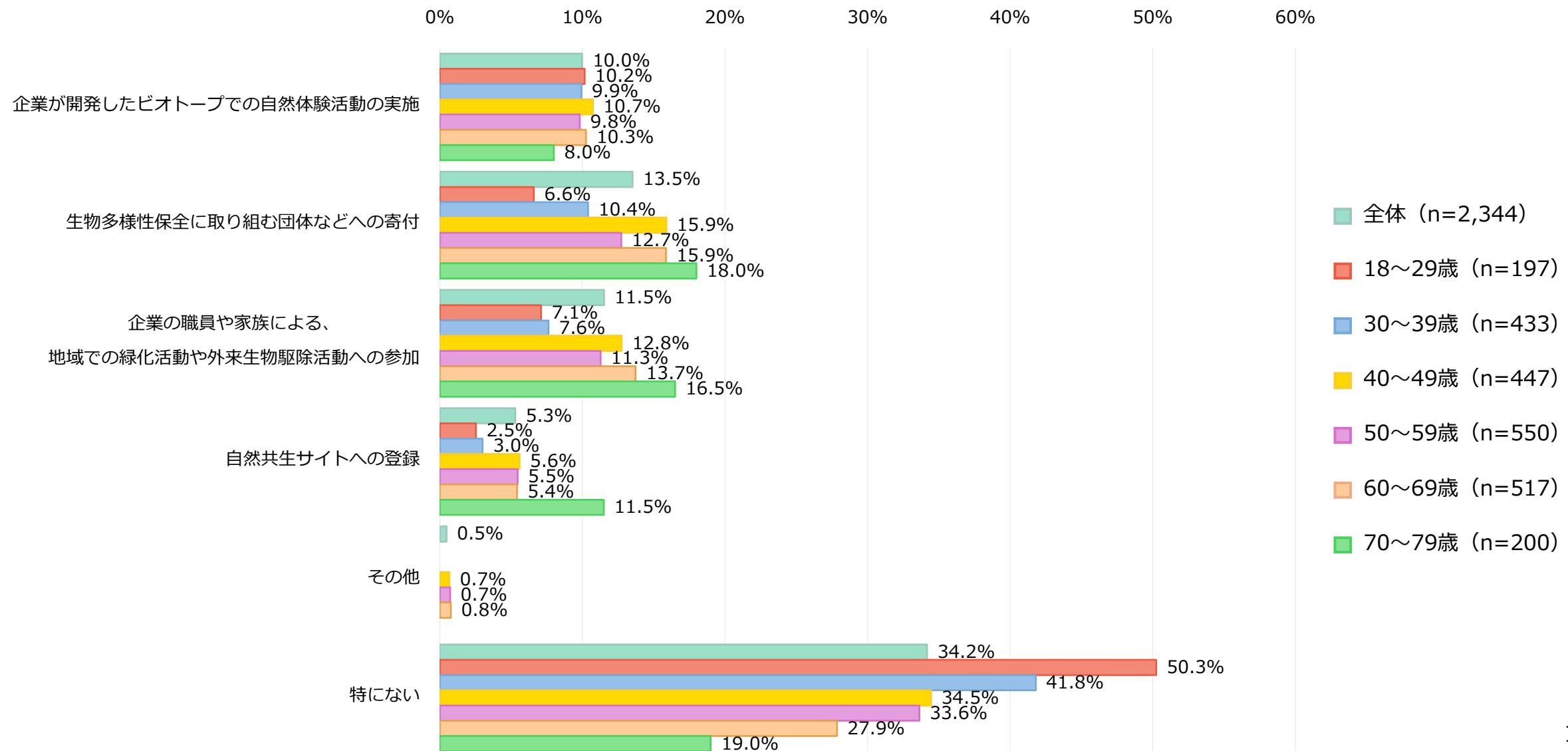
問18 生物多様性の保全（回復）の実現のためには、個人だけでなく、企業も積極的に取り組む必要があります。そこで、企業に対してあなたが期待するもしくは取り組んでほしいことは何ですか。以下のの中からあてはまるものを全てお選びください。

1. 自然環境や生物多様性に配慮した商品、サービスの開発と提供
2. 省エネや自然エネルギーの率先した利活用
3. 資源循環の取り組み（資源の再利用や省資源化など）
4. 企業活動による生物多様性への影響を評価し、情報開示すること
5. ビオトープの整備や生態系に配慮した緑化活動の実施
6. 企業が開発したビオトープでの自然体験活動の実施
7. 生物多様性保全に取り組む団体などへの寄付
8. 企業の職員や家族による、地域での緑化活動や外来生物駆除活動への参加
9. 自然共生サイトへの登録
10. その他（ ）
11. 特にない

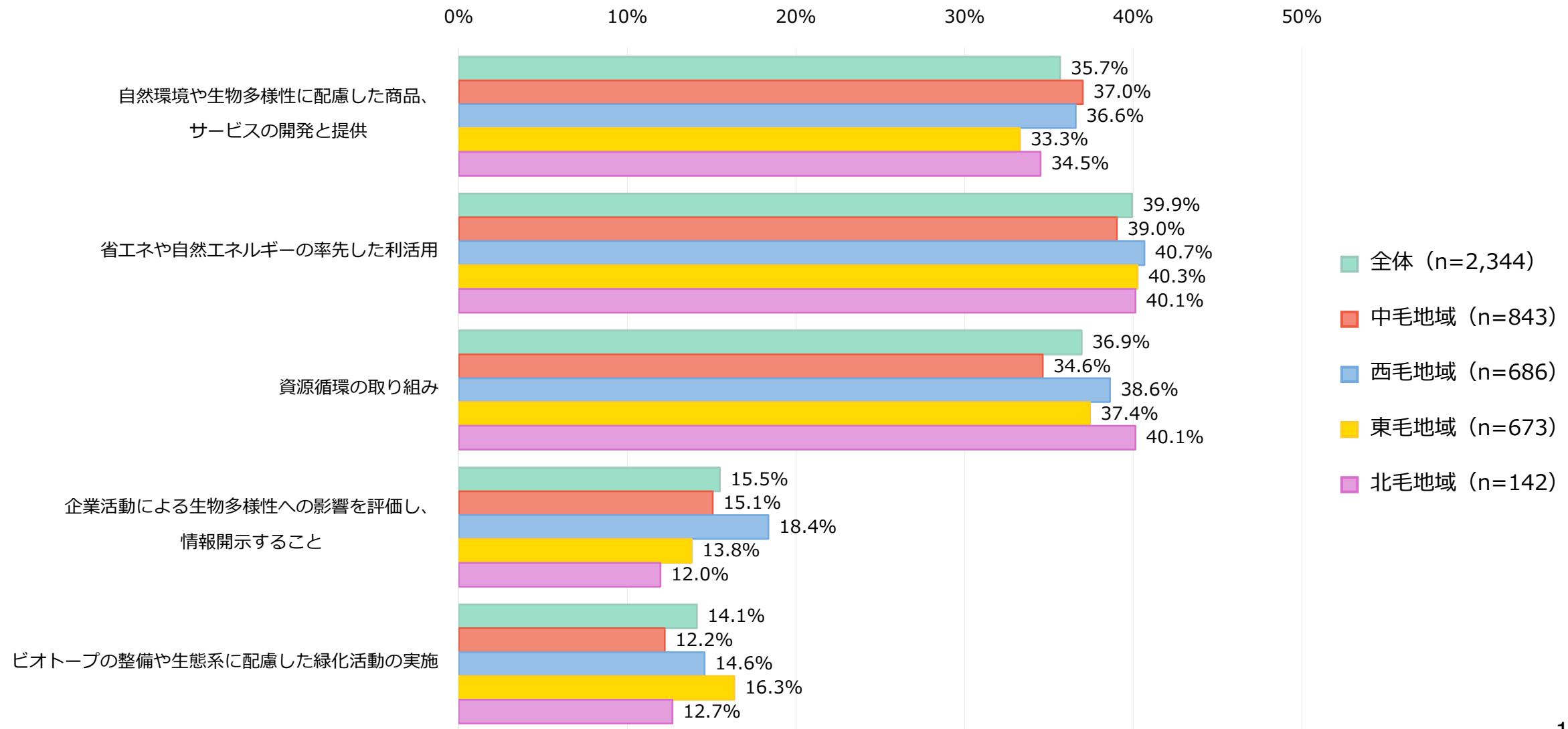
18 企業に対して期待する取組（年代別）



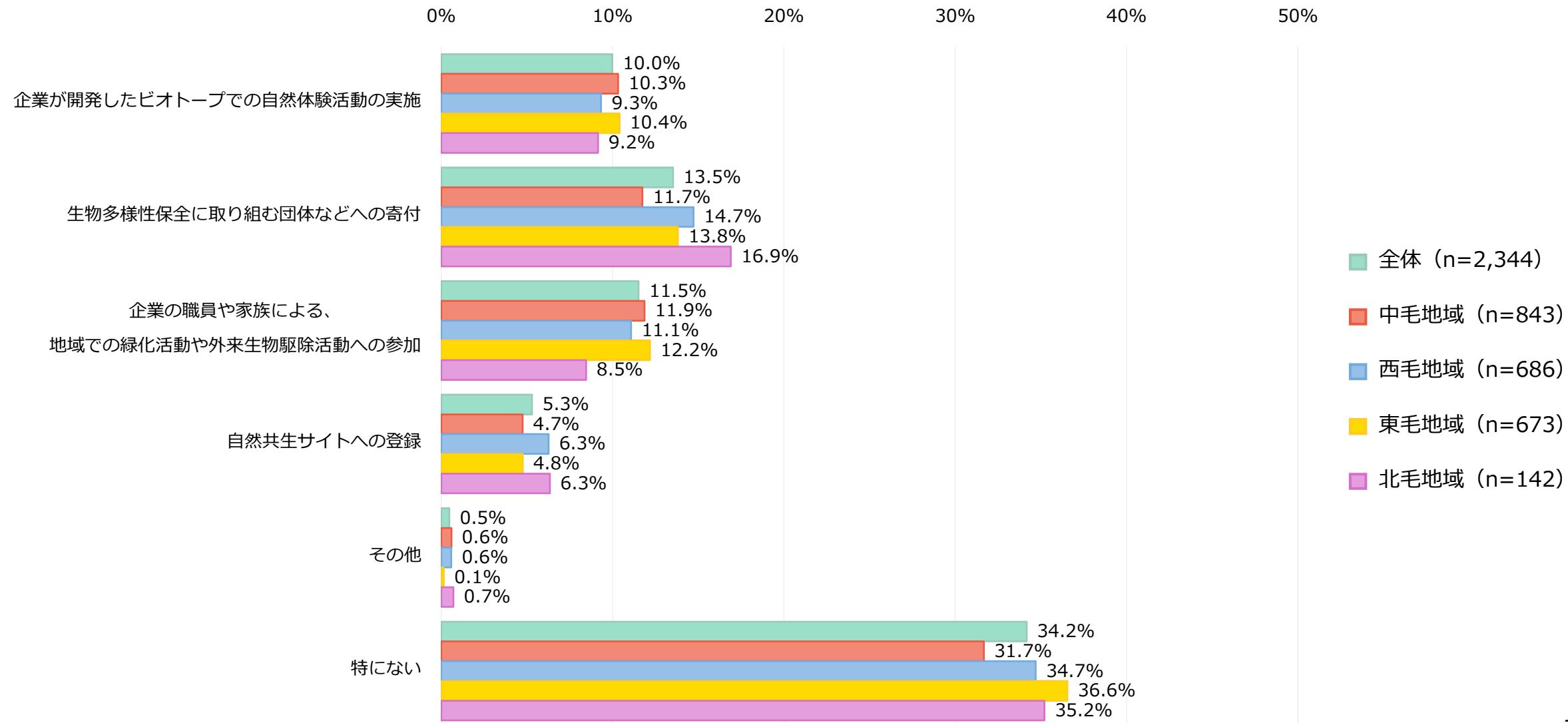
18 企業に対して期待する取組（年代別_続き）



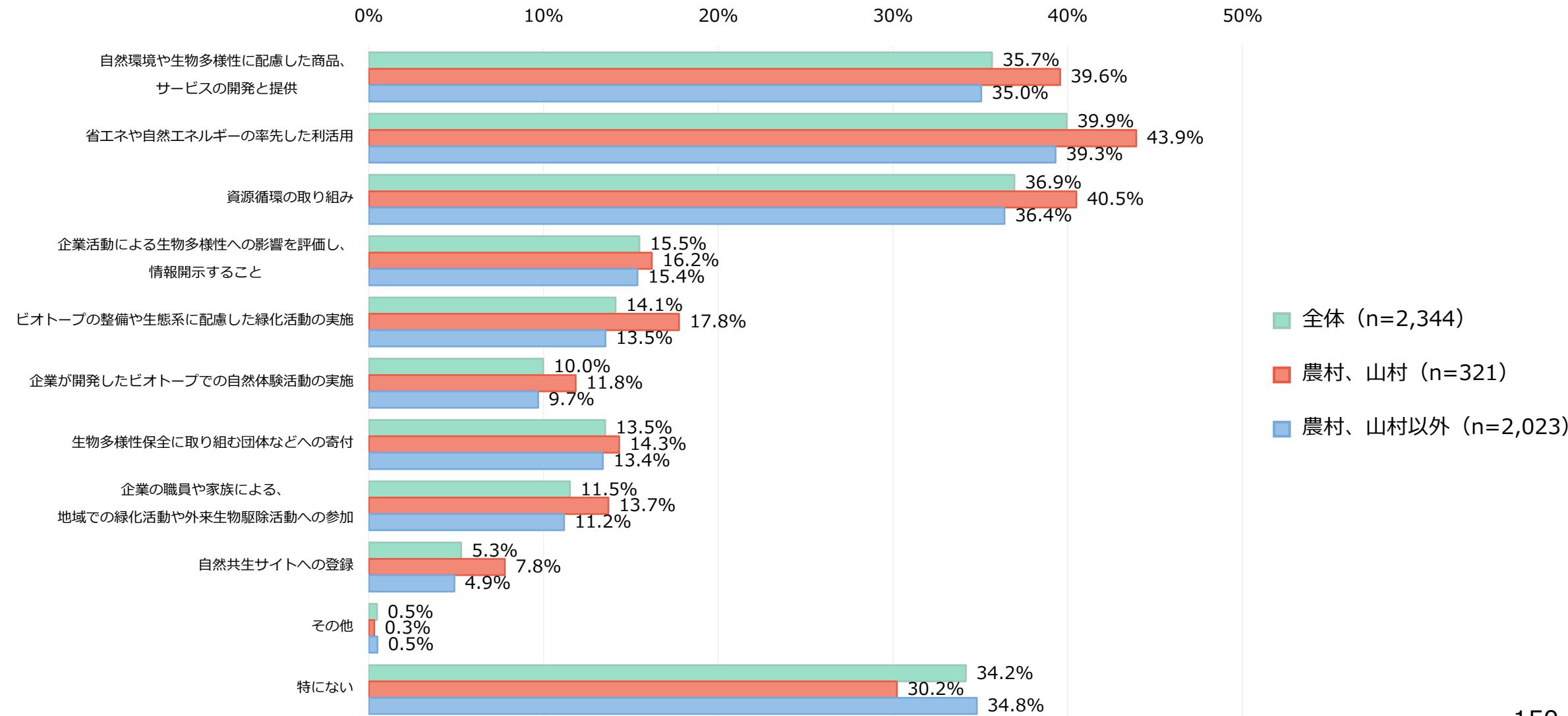
18 企業に対して期待する取組（居住地域別）



18 企業に対して期待する取組（居住地域別_続き）



18 企業に対して期待する取組（居住地域の状況別）



18 企業に対して期待する取組

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0~9.9ポイント
	全体-5.0~9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	自然環境や生物多様性に配慮した商品、サービスの開発と提供	省エネや自然エネルギーの率先した利活用	資源循環の取り組み	企業活動による生物多様性への影響を評価し、情報開示すること	ビオトープの整備や生態系に配慮した緑化活動の実施	企業が開発したビオトープでの自然体験活動の実施	生物多様性保全に取り組む団体などへの寄付	企業の職員や家族による、地域での緑化活動や外来生物駆除活動への参加	自然共生サイトへの登録	その他	特にない
全体		2,344	35.7%	39.9%	36.9%	15.5%	14.1%	10.0%	13.5%	11.5%	5.3%	0.5%	34.2%
年代	18~29歳	197	21.3%	25.4%	18.8%	12.2%	9.6%	10.2%	6.6%	7.1%	2.5%	0.0%	50.3%
	30~39歳	433	32.3%	30.7%	27.0%	13.4%	10.4%	9.9%	10.4%	7.6%	3.0%	0.0%	41.8%
	40~49歳	447	34.2%	39.6%	35.8%	15.2%	15.2%	10.7%	15.9%	12.8%	5.6%	0.7%	34.5%
	50~59歳	550	35.8%	41.6%	38.0%	14.0%	14.4%	9.8%	12.7%	11.3%	5.5%	0.7%	33.6%
	60~69歳	517	40.4%	46.8%	45.6%	17.4%	16.2%	10.3%	15.9%	13.7%	5.4%	0.8%	27.9%
	70~79歳	200	47.5%	52.5%	53.5%	23.0%	18.0%	8.0%	18.0%	16.5%	11.5%	0.0%	19.0%
居住市町村	中毛地域	843	37.0%	39.0%	34.6%	15.1%	12.2%	10.3%	11.7%	11.9%	4.7%	0.6%	31.7%
	西毛地域	686	36.6%	40.7%	38.6%	18.4%	14.6%	9.3%	14.7%	11.1%	6.3%	0.6%	34.7%
	東毛地域	673	33.3%	40.3%	37.4%	13.8%	16.3%	10.4%	13.8%	12.2%	4.8%	0.1%	36.6%
	北毛地域	142	34.5%	40.1%	40.1%	12.0%	12.7%	9.2%	16.9%	8.5%	6.3%	0.7%	35.2%
居住地域の状況	農村、山村	321	39.6%	43.9%	40.5%	16.2%	17.8%	11.8%	14.3%	13.7%	7.8%	0.3%	30.2%
	農村、山村以外	2,023	35.0%	39.3%	36.4%	15.4%	13.5%	9.7%	13.4%	11.2%	4.9%	0.5%	34.8%

18 企業に対して期待する取組

■ 「その他」の回答

- ・桜の保護のためクビアカツヤカミキリ駆除の徹底
- ・従業員への啓発や社内規定の作成
- ・出来ることをできる範囲で無理なく続ける

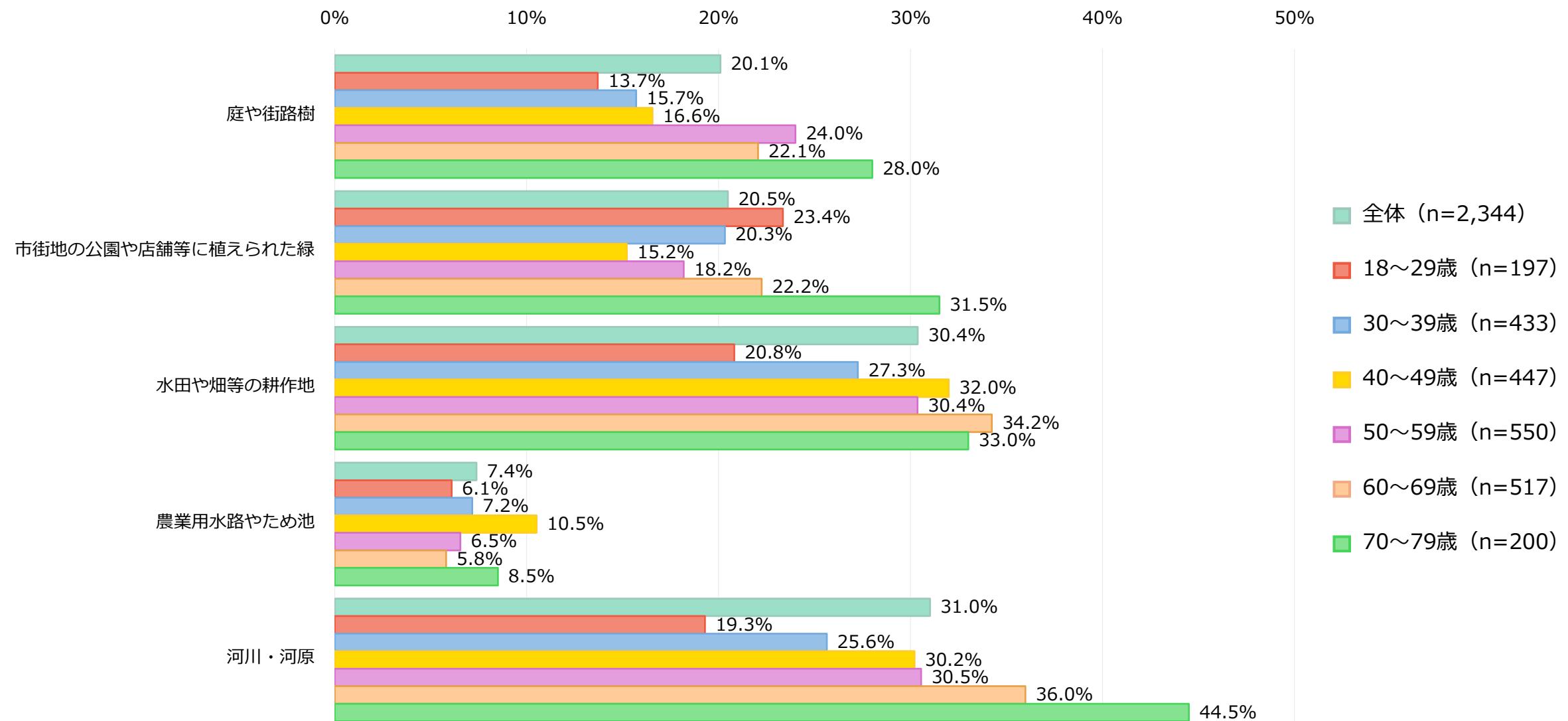
19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）

問19

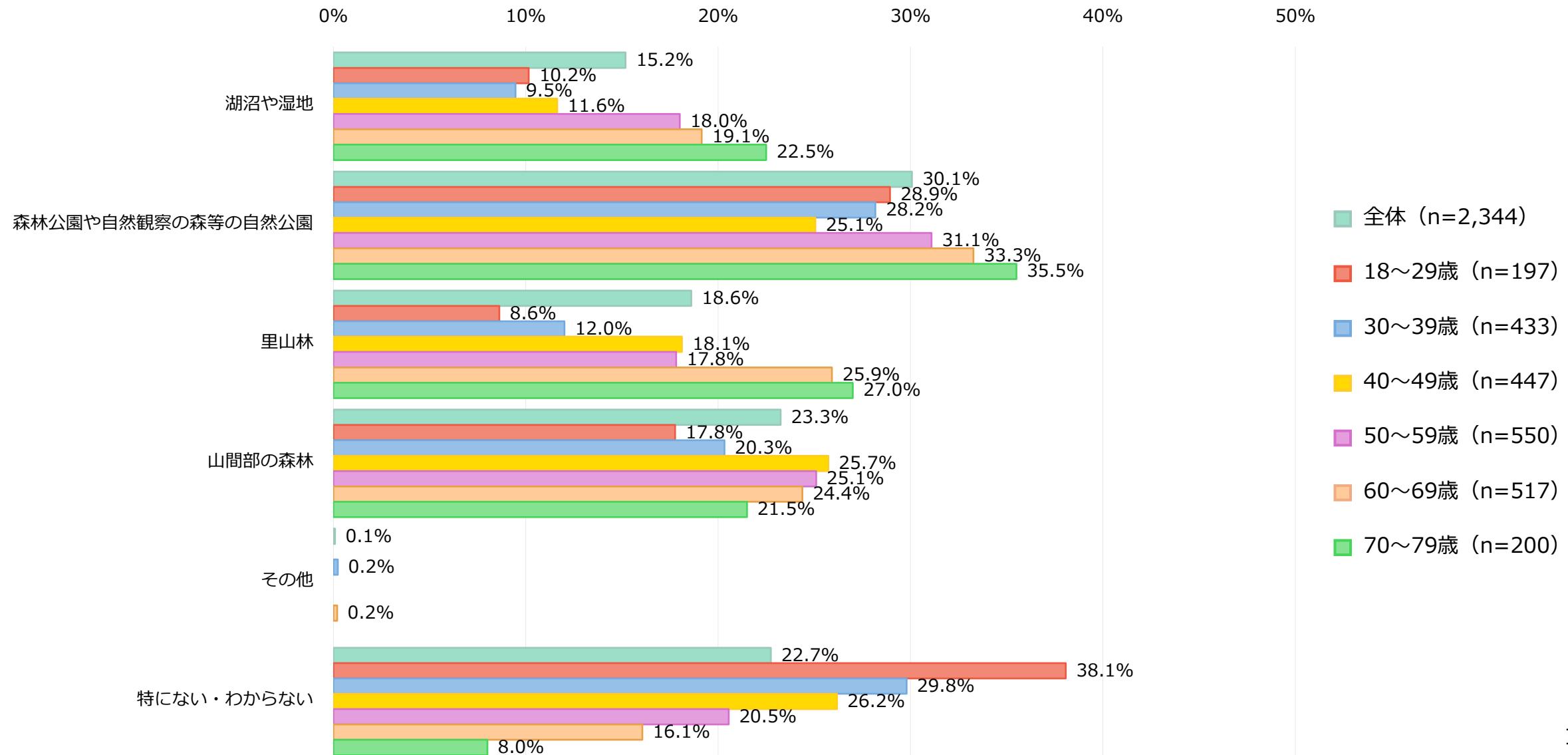
(1) 今後、積極的に守り、残していきたいと思う自然環境はどれですか。以下のなかあてはまるものを3つまでお選びください。

1. 庭や街路樹
2. 市街地の公園や店舗等に植えられた緑
3. 水田や畠等の耕作地
4. 農業用水路やため池
5. 河川・河原
6. 湖沼や湿地
7. 森林公園や自然観察の森等の自然公園
8. 里山林
9. 山間部の森林
10. その他（ ）
11. 特にない・わからない ⇒ 問20へ

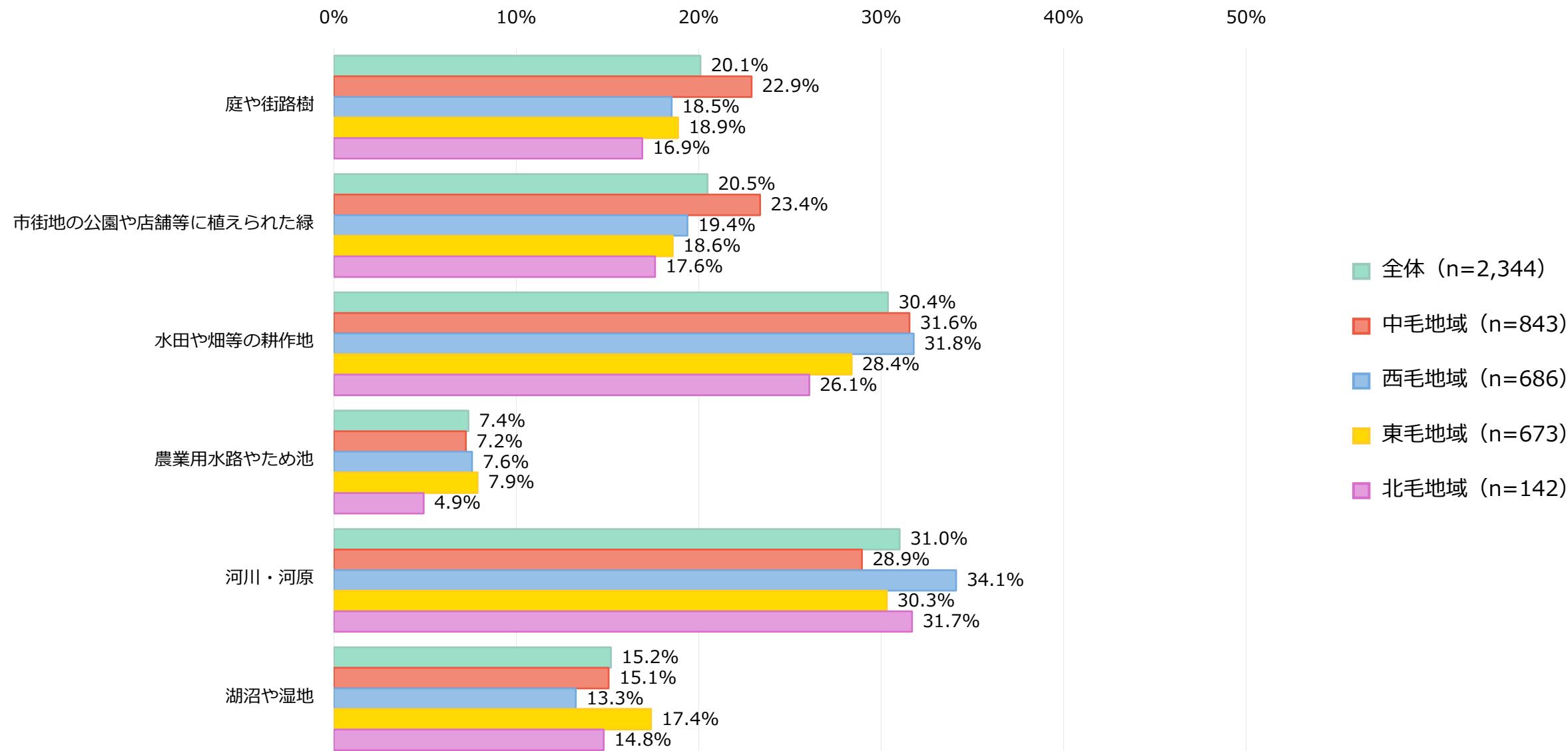
19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）（年代別）



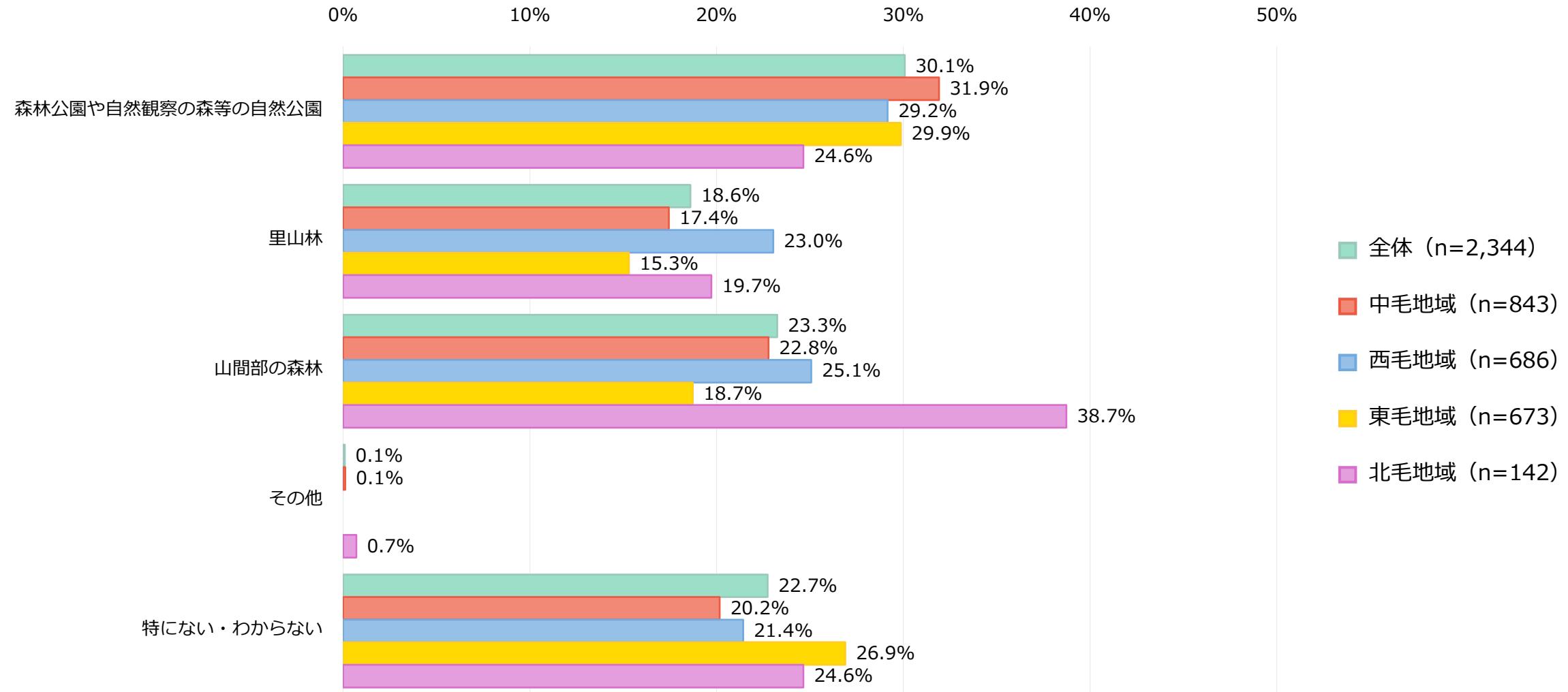
19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）（年代別_続き）



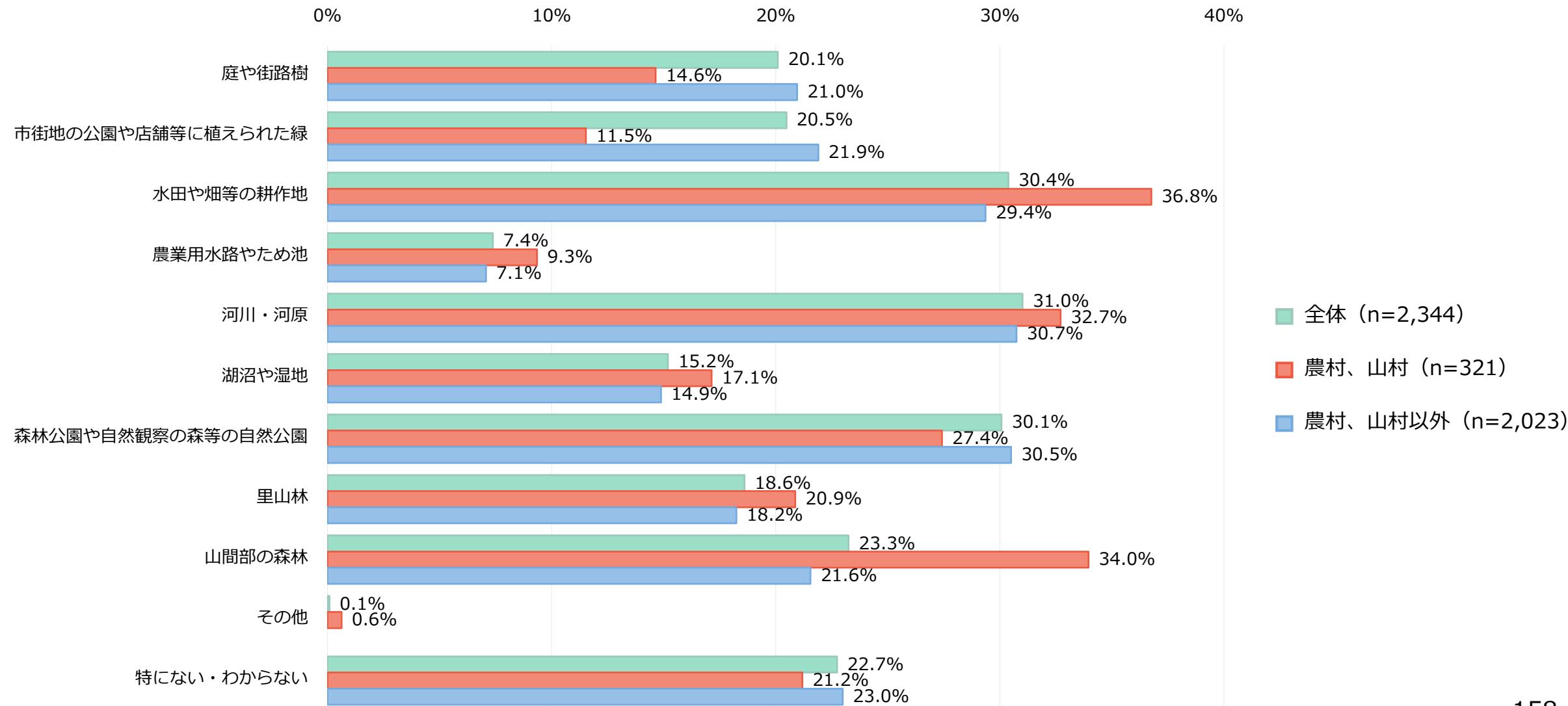
19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）（居住地域別）



19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）（居住地域別_続き）



19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）（居住地域の状況別）



19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	庭や街路樹	市街地の公園や 店舗等に植えら れた緑	水田や畑等の 耕作地	農業用水路や ため池	河川・河原	湖沼や湿地	森林公園や 自然観察の森等 の自然公園	里山林	山間部の 森林	その他	特ない・ わからない
全体		2,344	20.1%	20.5%	30.4%	7.4%	31.0%	15.2%	30.1%	18.6%	23.3%	0.1%	22.7%
年代	18～29歳	197	13.7%	23.4%	20.8%	6.1%	19.3%	10.2%	28.9%	8.6%	17.8%	0.0%	38.1%
	30～39歳	433	15.7%	20.3%	27.3%	7.2%	25.6%	9.5%	28.2%	12.0%	20.3%	0.2%	29.8%
	40～49歳	447	16.6%	15.2%	32.0%	10.5%	30.2%	11.6%	25.1%	18.1%	25.7%	0.0%	26.2%
	50～59歳	550	24.0%	18.2%	30.4%	6.5%	30.5%	18.0%	31.1%	17.8%	25.1%	0.0%	20.5%
	60～69歳	517	22.1%	22.2%	34.2%	5.8%	36.0%	19.1%	33.3%	25.9%	24.4%	0.2%	16.1%
	70～79歳	200	28.0%	31.5%	33.0%	8.5%	44.5%	22.5%	35.5%	27.0%	21.5%	0.0%	8.0%
居住市町村	中毛地域	843	22.9%	23.4%	31.6%	7.2%	28.9%	15.1%	31.9%	17.4%	22.8%	0.1%	20.2%
	西毛地域	686	18.5%	19.4%	31.8%	7.6%	34.1%	13.3%	29.2%	23.0%	25.1%	0.0%	21.4%
	東毛地域	673	18.9%	18.6%	28.4%	7.9%	30.3%	17.4%	29.9%	15.3%	18.7%	0.0%	26.9%
	北毛地域	142	16.9%	17.6%	26.1%	4.9%	31.7%	14.8%	24.6%	19.7%	38.7%	0.7%	24.6%
居住地域の状況	農村、山村	321	14.6%	11.5%	36.8%	9.3%	32.7%	17.1%	27.4%	20.9%	34.0%	0.6%	21.2%
	農村、山村以外	2,023	21.0%	21.9%	29.4%	7.1%	30.7%	14.9%	30.5%	18.2%	21.6%	0.0%	23.0%

19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）

■ 「その他」の回答

- ・もともとの自然状態の維持
- ・竹林

19 積極的に残していきたい自然環境（自由記述）

問19

■（1）で「1. 庭や街路樹」～「10. その他」のいずれかをお答えになった方にお伺いします。

（2）（1）でお選びになった自然環境のうち、あなたが最も大事にしたいと思う風景やそこに生息する動物・植物についてできるだけ具体的に教えてください。以下の回答欄にご自由にご記入ください。

19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）

■ 「その他」の回答（抜粋）

□ 森林・里山・山間部の保全

- ・里山林が最も重要であると思う。私たちに最も身近で生物を育む場所だと思うから。
- ・山間部の森林は、動物や植物の生息を守り、自然災害や温暖化対策のためにこれ以上開発されることなく最も大事にしたいと思う
- ・山間部の森林を守ることで海の生物まで守れると聞いた事が有るので。
- ・水源に近いところの森林を守るため。

□ 水田・畑・農地・農業の維持

- ・水田や畑等の耕作地の維持により自然環境の維持はもちろんのこと食料自給率の維持にもつながるため、最も大事にしたいと考えた。
- ・水田や畑はずっと残していきたい
- ・水田や畑等の耕作地は食糧の生産にとっても無くてはならないもので、景観としても微笑ましい
- ・米作りや四季折々の農作物の風景

19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）

■ 「その他」の回答（抜粋_続き）

□ 河川・湖沼・湿地・水辺の生態系

- ・河川や河原にいるホタルやカワセミなどの動物
- ・河川の護岸をコンクリート以外でやってほしいです。生物たちがより生き生きと暮らせる様に。
- ・綺麗な河川で、子どもたちが遊べる環境。魚も多種類が生息出来る環境
- ・湖沼や湿地は、自然のままで、手をかけずかつ破壊や汚染をさける。

□ 緑地・街路樹・公園の創出

- ・街路樹等は暑さ対策のために大事にしてほしい
- ・心が癒される風景を作り出す緑主体の植物など
- ・各家庭で少しでも樹木があれば、空気がきれいになる。
- ・身近な庭や街路樹に花や街路樹があってほしいです
- ・公園や街路樹など 整備されていく事を望みます

19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）

■ 「その他」の回答（抜粋_続き）

□動植物の保護・自然との共生

- ・絶滅危惧種が安心して生活できる自然な森林
- ・在来種が快適に過ごしている環境
- ・野生動物の保護
- ・人と動植物との調和のある共存

□環境教育・自然体験

- ・自然公園がなくなってしまったら子供たちが遊ぶ場所がなくなってしまう
- ・子供がいつも遊んでいる公園は川が流れていて芝生が綺麗でとても楽しそうにしているのでこれからもずっと残ってほしい
- ・子供の頃水田で小魚やザリガニをその脇の水路でタニシなど見つけて遊んだこと。特に出かけていかなくとも身近な自然はいつまでも残っていてほしい

19 積極的に残していきたい自然環境（3つまで）

■ 「その他」の回答（抜粋_続き）

□課題意識・変化・危機感

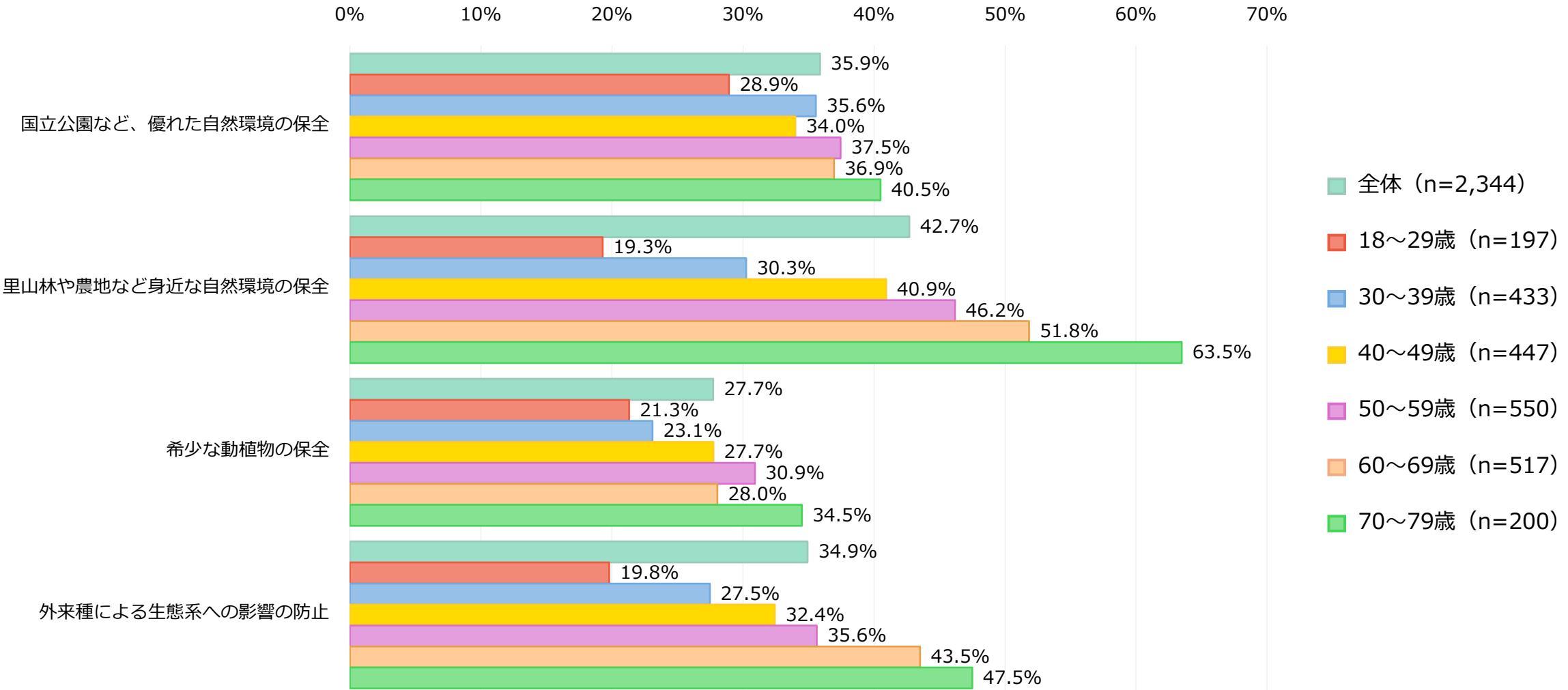
- ・太陽光設置が環境や景観をそこなうのをよく見る 美しい山々の景色を大事にする意識を取り戻したい
- ・耕作放棄地が目立つ現在、害獣が増える一方で環境を破壊している。湖沼や湿地、森林は環境の影響をうけやすく荒廃をふせぎたい。
- ・里山の管理が高齢化で荒れ放題になってきているように感じます。群馬には沢山の山に囲まれ自然が豊かでとても嬉しいです。荒れていく身近な里山を整備出来たら嬉しいです。

20 群馬県に期待する施策

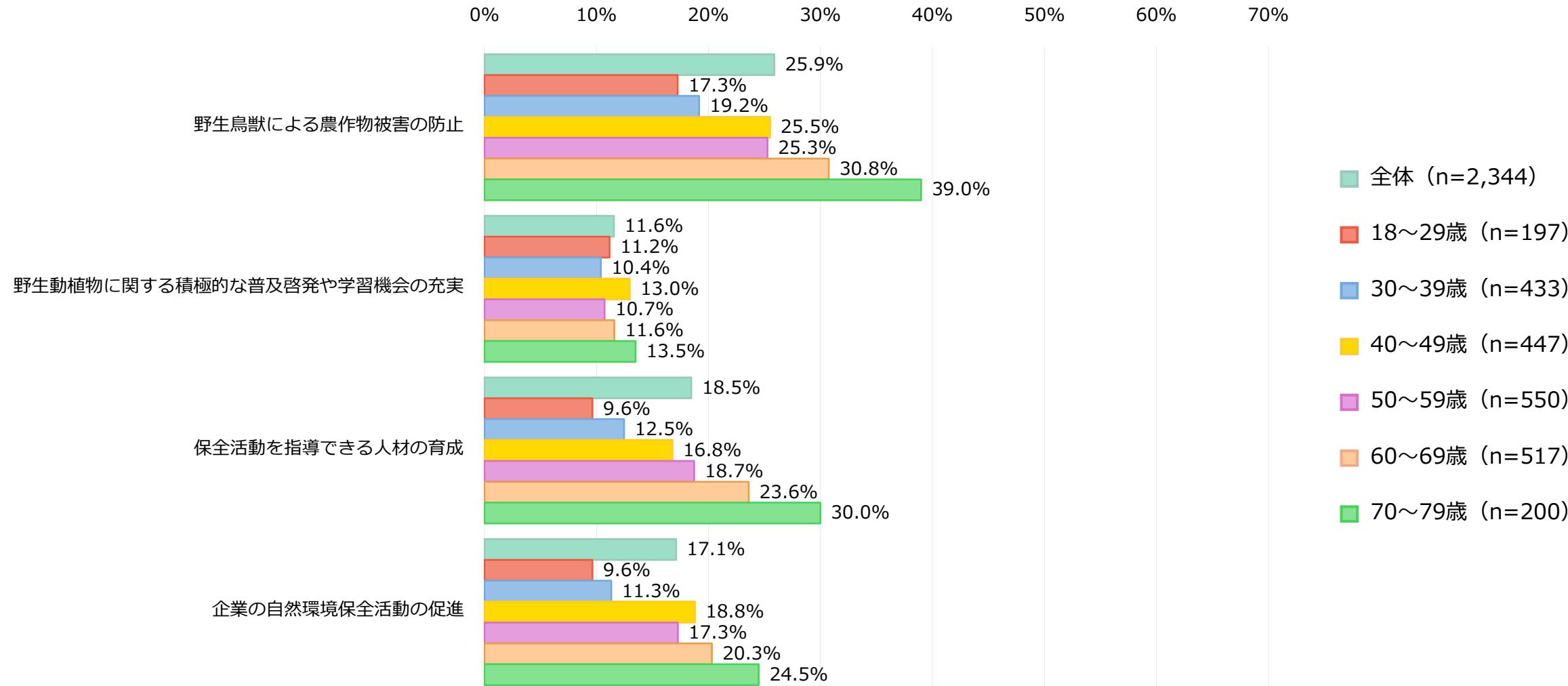
問20 群馬県の豊かな自然環境を未来に残していくために、県に期待する施策は何ですか。以下の中からあてはまるものを全てお選びください。

1. 国立公園など、優れた自然環境の保全
2. 里山林や農地など身近な自然環境の保全
3. 希少な動植物の保全
4. 外来種による生態系への影響の防止
5. 野生鳥獣による農作物被害の防止
6. 野生動植物に関する積極的な普及啓発や学習機会の充実
7. 保全活動を指導できる人材の育成
8. 企業の自然環境保全活動の促進
9. 県民やNPO等が取り組む保全活動への支援
10. 自然環境に配慮した農林水産業の振興
11. 自然環境保全に配慮した自然・文化の体験ツアー や農山村との交流等新しい観光スタイルの振興
12. シカ等、増えすぎた野生鳥獣の積極的な利活用
13. 自然環境を保全するための課税（税金）
14. 自然環境に負荷を与える行為への課税（税金）
15. 多様な主体との連携体制の構築
16. その他（ ）
17. 特にない・わからない

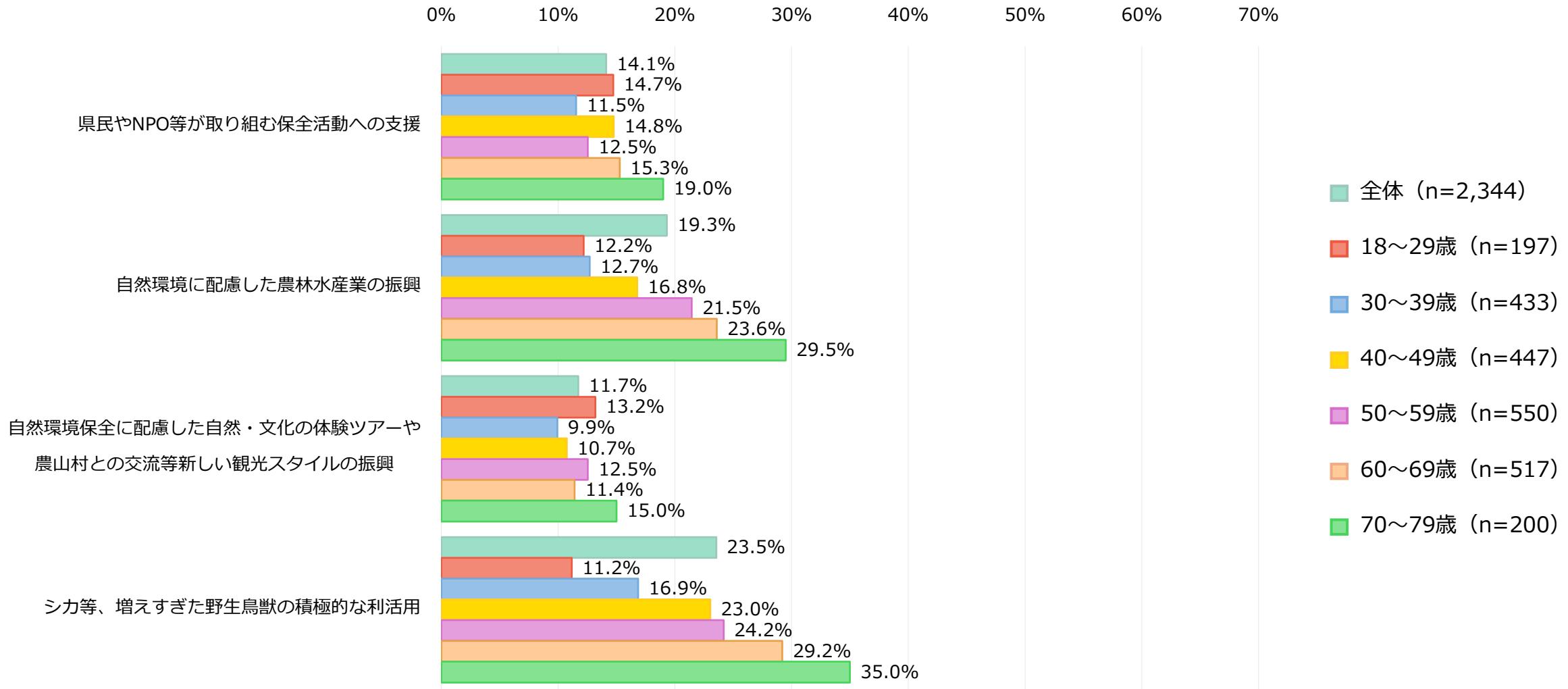
20 群馬県に期待する施策（年代別）



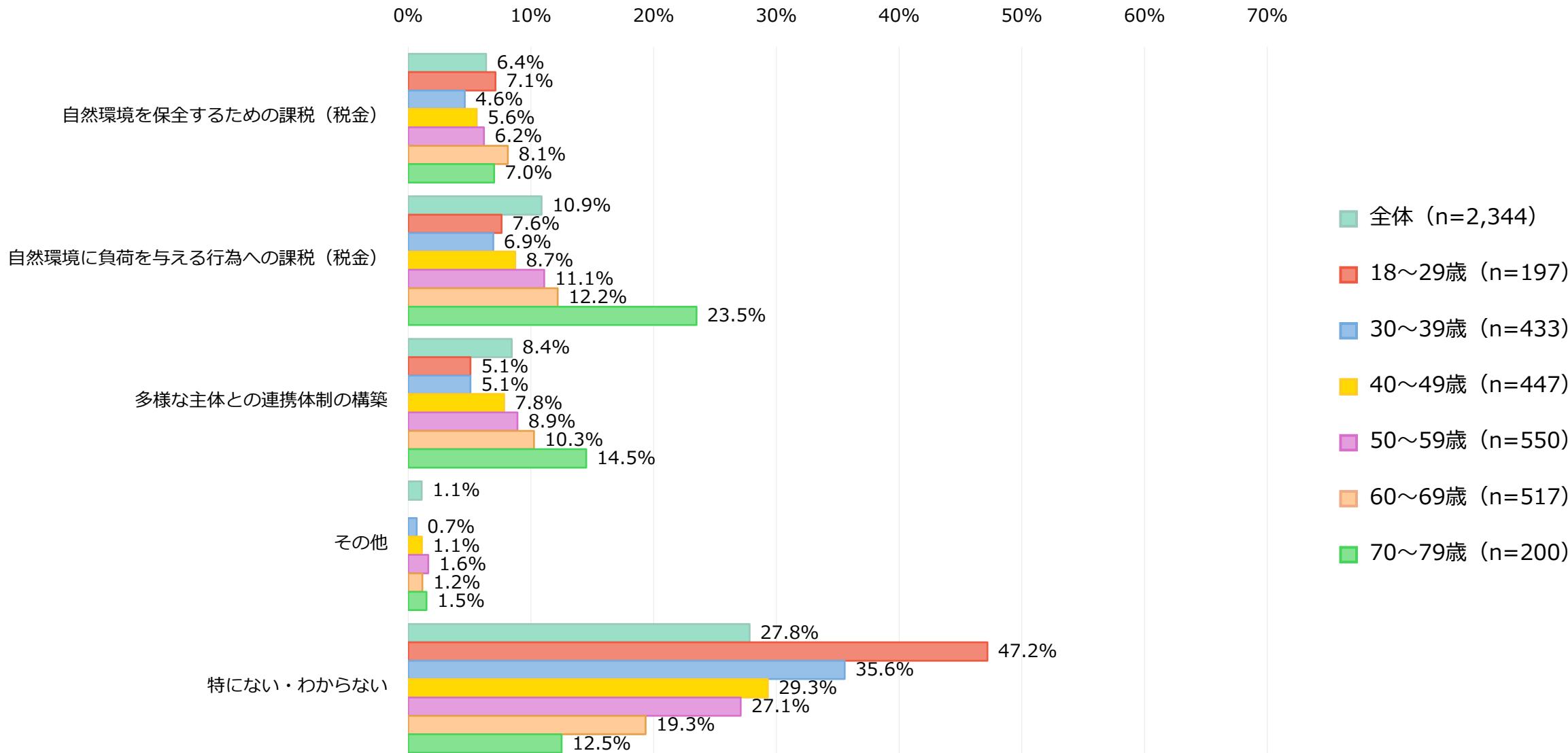
20 群馬県に期待する施策（年代別_続き）



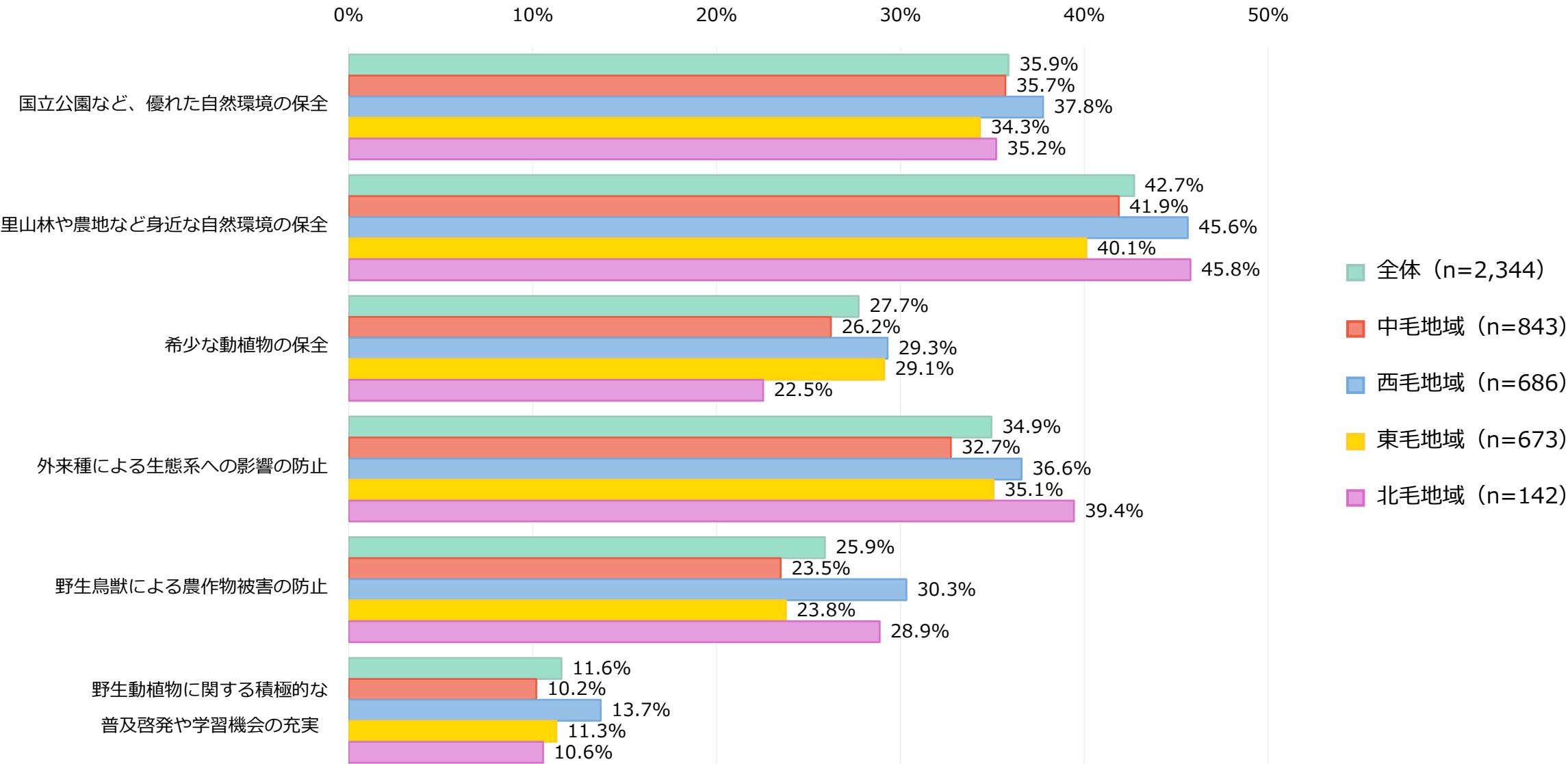
20 群馬県に期待する施策（年代別_続き）



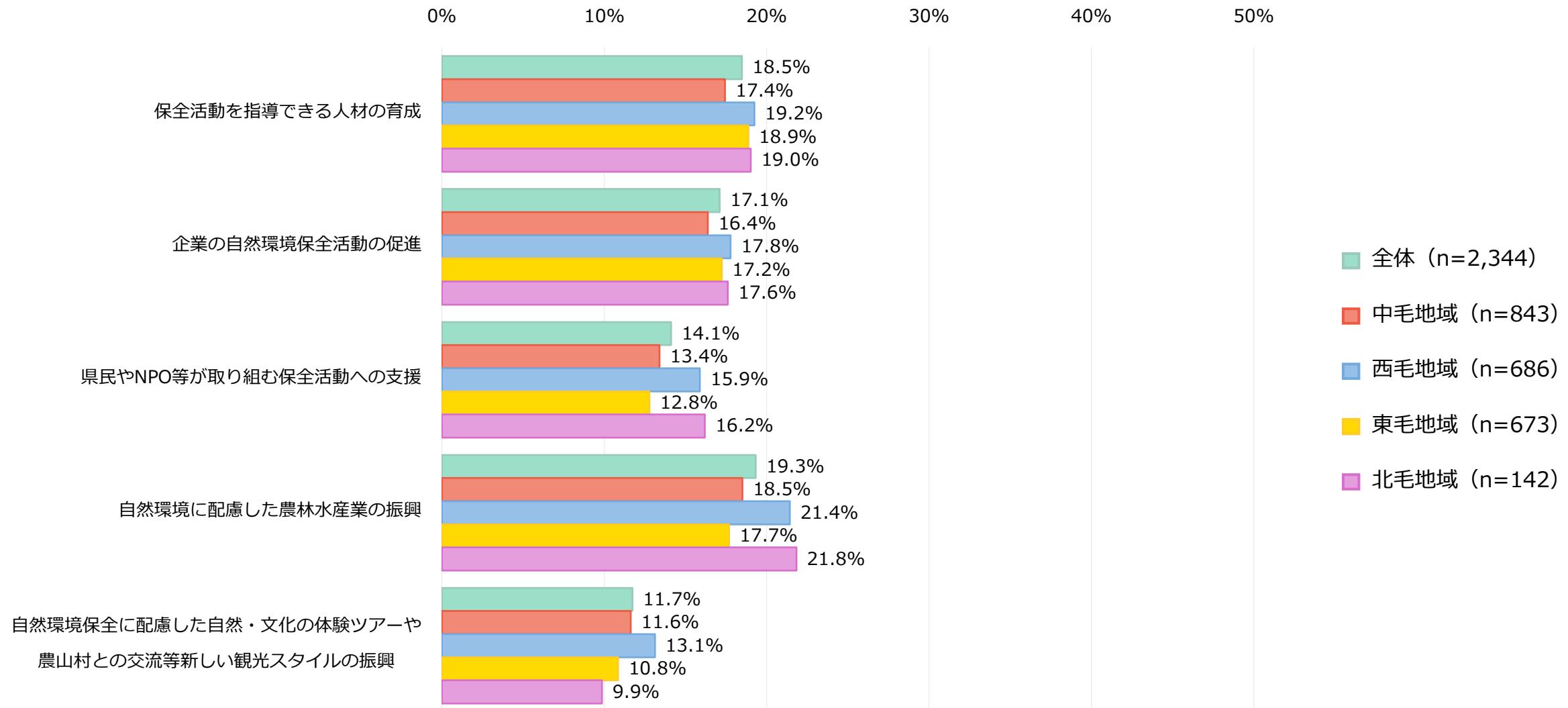
20 群馬県に期待する施策（年代別_続き）



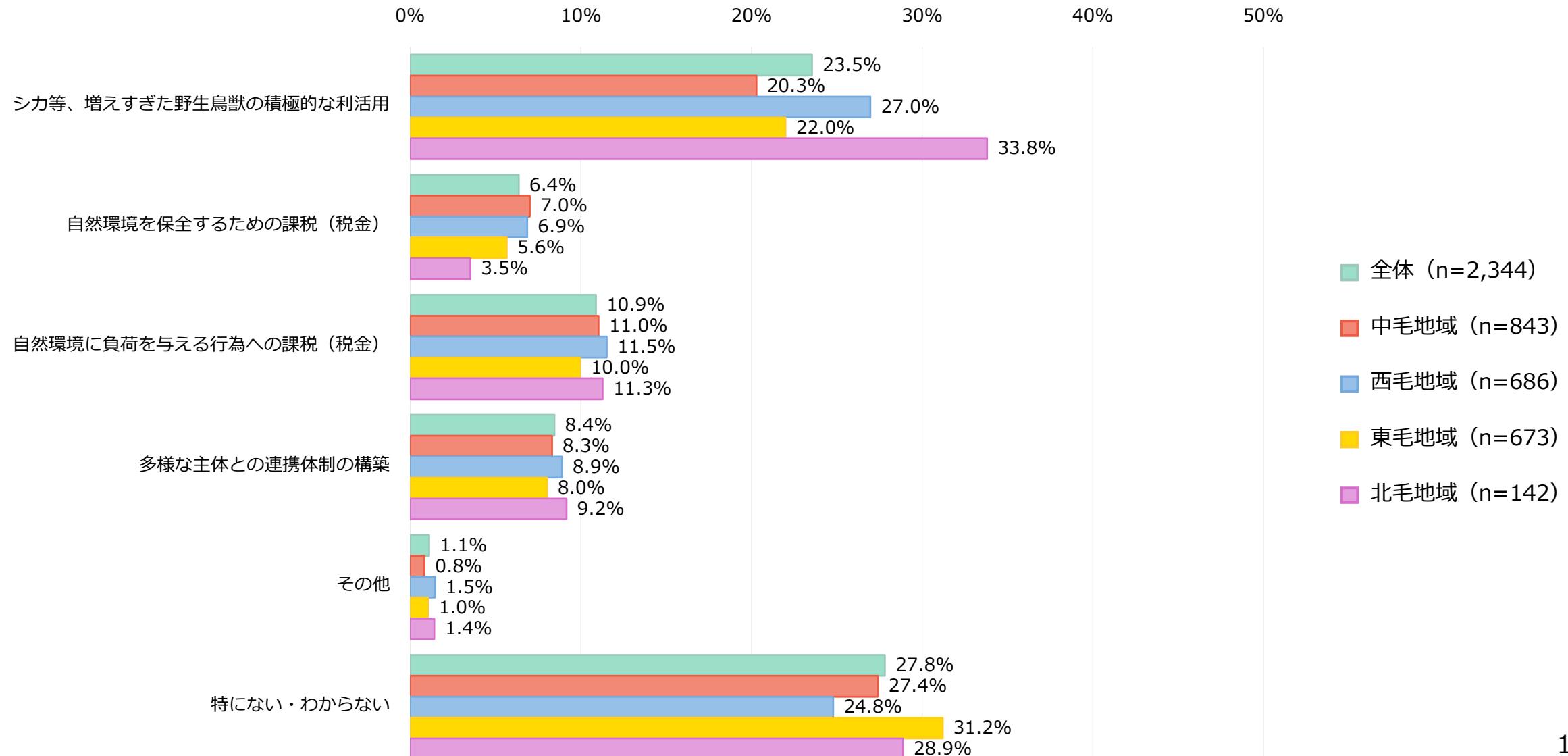
20 群馬県に期待する施策（居住地域別）



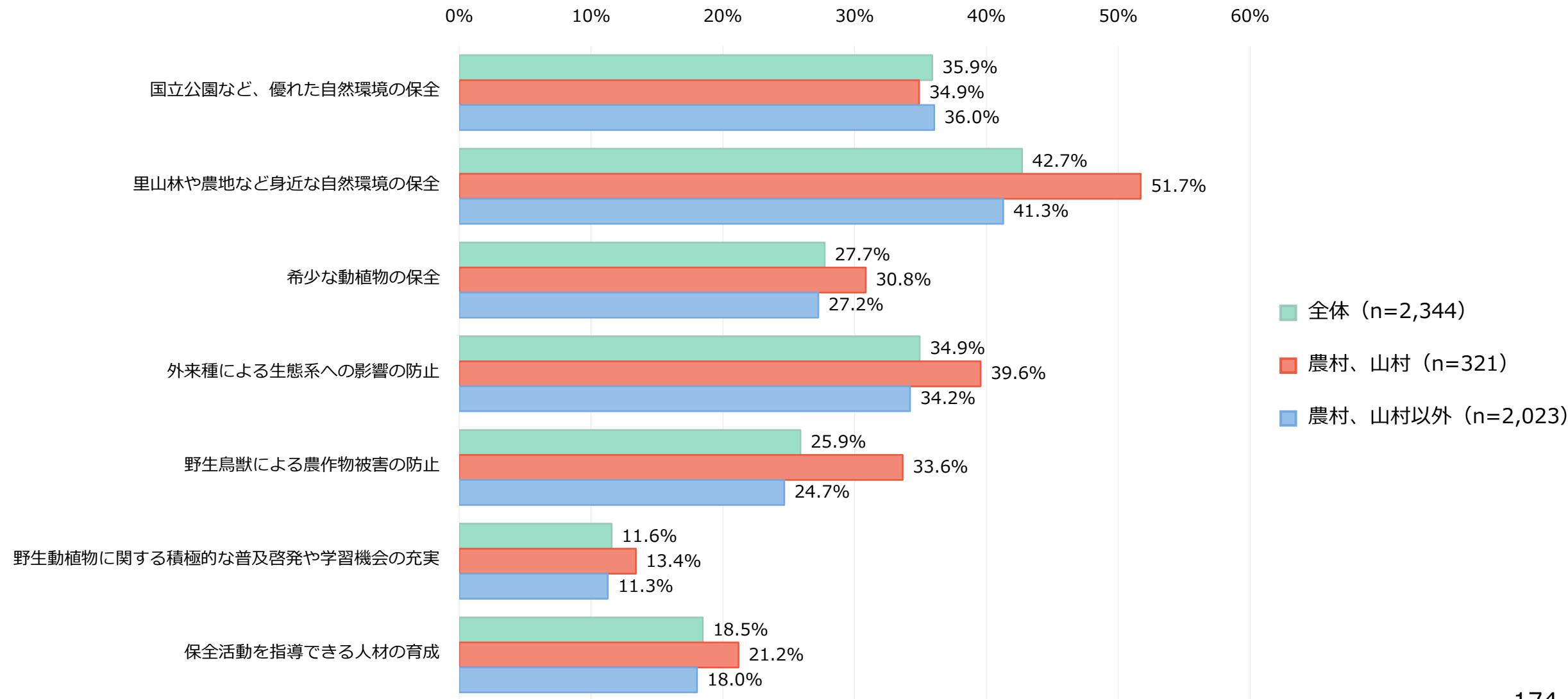
20 群馬県に期待する施策（居住地域別_続き）



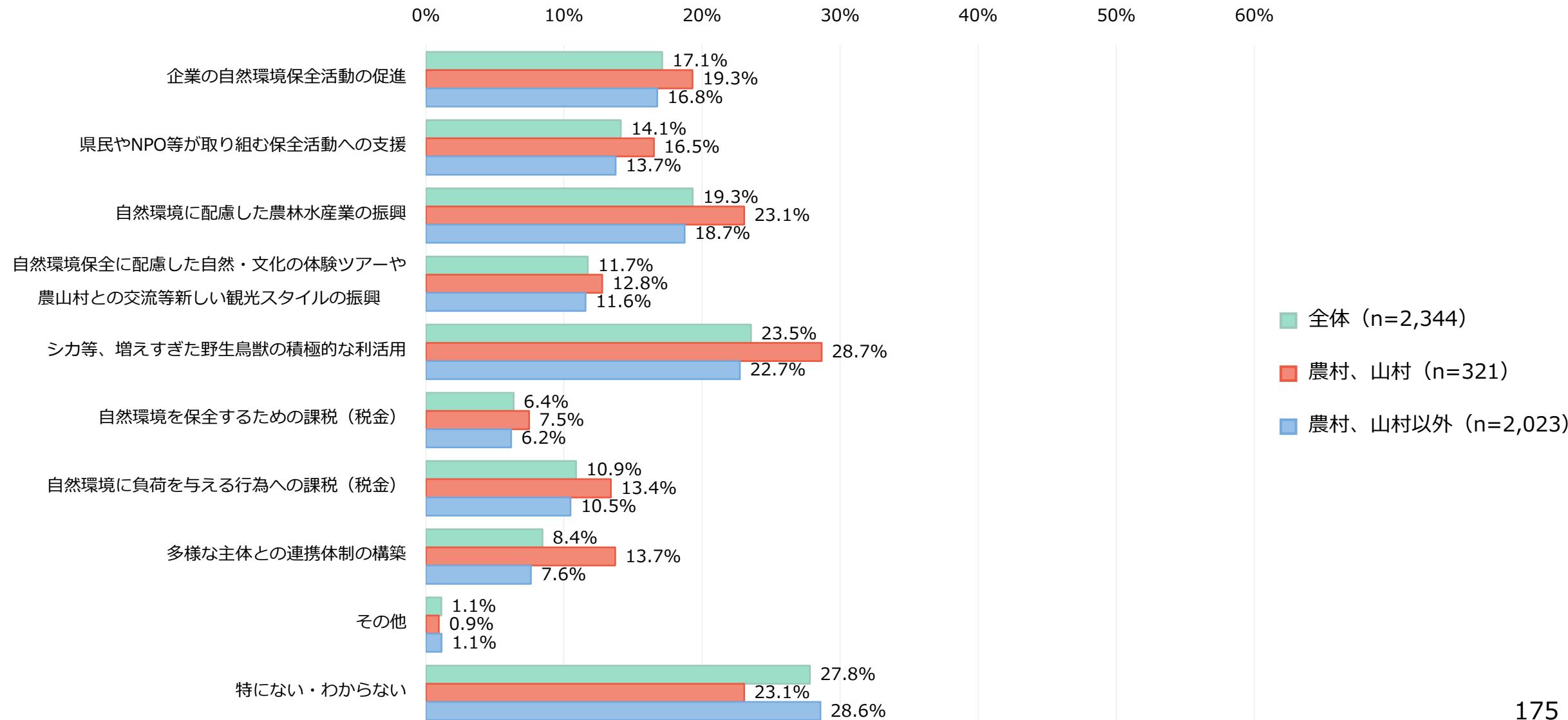
20 群馬県に期待する施策（居住地域別_続き）



20 群馬県に期待する施策（居住地域の状況別）



20 群馬県に期待する施策（居住地域の状況別_続き）



20 群馬県に期待する施策

		合計	国立公園など、優れた自然環境の保全	里山林や農地など身近な自然環境の保全	希少な動植物の保全	外来種による生態系への影響の防止	野生鳥獣による農作物被害の防止	野生動植物に関する積極的な普及啓発や学習機会の充実	
									全体+10.0ポイント以上
									全体+5.0～9.9ポイント
									全体-5.0～9.9ポイント
									全体-10.0ポイント以上
全体		2,344	35.9%	42.7%	27.7%	34.9%	25.9%	11.6%	
年代	18～29歳	197	28.9%	19.3%	21.3%	19.8%	17.3%	11.2%	
	30～39歳	433	35.6%	30.3%	23.1%	27.5%	19.2%	10.4%	
	40～49歳	447	34.0%	40.9%	27.7%	32.4%	25.5%	13.0%	
	50～59歳	550	37.5%	46.2%	30.9%	35.6%	25.3%	10.7%	
	60～69歳	517	36.9%	51.8%	28.0%	43.5%	30.8%	11.6%	
	70～79歳	200	40.5%	63.5%	34.5%	47.5%	39.0%	13.5%	
居住市町村	中毛地域	843	35.7%	41.9%	26.2%	32.7%	23.5%	10.2%	
	西毛地域	686	37.8%	45.6%	29.3%	36.6%	30.3%	13.7%	
	東毛地域	673	34.3%	40.1%	29.1%	35.1%	23.8%	11.3%	
	北毛地域	142	35.2%	45.8%	22.5%	39.4%	28.9%	10.6%	
居住地域の状況	農村、山村	321	34.9%	51.7%	30.8%	39.6%	33.6%	13.4%	
	農村、山村以外	2,023	36.0%	41.3%	27.2%	34.2%	24.7%	11.3%	

20 群馬県に期待する施策（続き）

		保全活動を指導できる人材の育成	企業の自然環境保全活動の促進	県民やNPO等が取り組む保全活動への支援	自然環境に配慮した農林水産業の振興	自然環境保全に配慮した自然・文化の体験ツアーや農山村との交流等新しい観光スタイルの振興	シカ等、増えすぎた野生鳥獣の積極的な利活用	
								全体+10.0ポイント以上
								全体+5.0～9.9ポイント
								全体-5.0～9.9ポイント
								全体-10.0ポイント以上
全体		18.5%	17.1%	14.1%	19.3%	11.7%	23.5%	
年代	18～29歳	9.6%	9.6%	14.7%	12.2%	13.2%	11.2%	
	30～39歳	12.5%	11.3%	11.5%	12.7%	9.9%	16.9%	
	40～49歳	16.8%	18.8%	14.8%	16.8%	10.7%	23.0%	
	50～59歳	18.7%	17.3%	12.5%	21.5%	12.5%	24.2%	
	60～69歳	23.6%	20.3%	15.3%	23.6%	11.4%	29.2%	
	70～79歳	30.0%	24.5%	19.0%	29.5%	15.0%	35.0%	
居住市町村	中毛地域	17.4%	16.4%	13.4%	18.5%	11.6%	20.3%	
	西毛地域	19.2%	17.8%	15.9%	21.4%	13.1%	27.0%	
	東毛地域	18.9%	17.2%	12.8%	17.7%	10.8%	22.0%	
	北毛地域	19.0%	17.6%	16.2%	21.8%	9.9%	33.8%	
居住地域の状況	農村、山村	21.2%	19.3%	16.5%	23.1%	12.8%	28.7%	
	農村、山村以外	18.0%	16.8%	13.7%	18.7%	11.6%	22.7%	

20 群馬県に期待する施策（続き）

		自然環境を保全するための課税（税金）	自然環境に負荷を与える行為への課税（税金）	多様な主体との連携体制の構築	その他	特になし・わからない	
		全体+10.0ポイント以上	全体+5.0～9.9ポイント	全体-5.0～9.9ポイント	全体-10.0ポイント以上		
全体		6.4%	10.9%	8.4%	1.1%	27.8%	
年代	18～29歳	7.1%	7.6%	5.1%	0.0%	47.2%	
	30～39歳	4.6%	6.9%	5.1%	0.7%	35.6%	
	40～49歳	5.6%	8.7%	7.8%	1.1%	29.3%	
	50～59歳	6.2%	11.1%	8.9%	1.6%	27.1%	
	60～69歳	8.1%	12.2%	10.3%	1.2%	19.3%	
	70～79歳	7.0%	23.5%	14.5%	1.5%	12.5%	
居住市町村	中毛地域	7.0%	11.0%	8.3%	0.8%	27.4%	
	西毛地域	6.9%	11.5%	8.9%	1.5%	24.8%	
	東毛地域	5.6%	10.0%	8.0%	1.0%	31.2%	
	北毛地域	3.5%	11.3%	9.2%	1.4%	28.9%	
居住地域の状況	農村、山村	7.5%	13.4%	13.7%	0.9%	23.1%	
	農村、山村以外	6.2%	10.5%	7.6%	1.1%	28.6%	

20 群馬県に期待する施策（続き）

■ 「その他」の回答（抜粋）

- ・くくり罠などの狩猟に興味を持つてもらう為の施策の拡充
- ・クビアカツヤカミキリ駆除の徹底
- ・メガソーラー撤廃
- ・屋根以外への太陽光発電設備設置禁止条例の制定
- ・河川をビオトープ型に
- ・環境保護に関わる条例などの罰則強化
- ・県民の自然に対する意識改革
- ・耕作放棄対策で土地改良が必要
- ・自然環境を保全する取組みに対する税金の減免
- ・自然農法の奨励
- ・小河川や水路の護岸の自然に近い形での再整備
- ・道を増やさない
- ・林業や農業などに関わる人の賃金上昇

21 群馬県に期待する施策（自由記述）

問21 こんな群馬県になってほしい、こんな群馬県に住みたいなど、将来の群馬県の姿について、イメージや夢などがありましたら、ご自由にお書きください。

21 群馬県に期待する施策（自由記述）

■ 「その他」の回答（抜粋）

□自然との共生、ふれあい

- ・自然とデジタル化の融合した都市になってほしい
- ・自然と共生する事を特別な取り組みを介さずとも当たり前のことと理解する為の教育を組み込まなければならないと思う。
- ・豊かな自然に無理せず優しく接する事ができる町。住んでいる人々がその環境を素直に受け入れられて、かつ、無理しないで維持できる町。
- ・住宅地の近くに豊かな自然環境が残る所であってほしい。 豊かな自然環境というのは人が手を入れて作るものだと思う。
- ・自然が豊かで、小さな子供からお年寄りまで楽しく、幸せを感じることが出来る緑に溢れた環境が身近にあるといいと思う。
- ・子供の未来が明るく、住みやすい県であってほしい。 自然豊かである程度アクセスがよく、若い人がずっと住み続けたいと思う環境になればいいなど。
- ・ハイキングコースの充実
- ・身近な自然にもっと触れ合う機会の多い県としての取り組みの増加

21 群馬県に期待する施策（自由記述）

■ 「その他」の回答（抜粋）

□開発等とのバランス

- ・あまり都会すぎずに、程よく自然が残り、暮らしやすくのんびりできるところが群馬の良いところだと思うので、そこそこの発展と、自然のバランスがとれているといいなと思います。
- ・このままある程度の自然を残しつつ、住みやすい都市を維持していって欲しい
- ・みんなが自然と共存出来る社会になって欲しいと思います。
- ・工業地帯と農園の共生
- ・市街地と近郊地域の人口密度の差を均して空いたエリアに公園等を整備する。工場や田畠はその外郭にあり、保全する森林や自然景観等との境を作ておく。人のエリアでは様々な職種、年齢層の人々が緩やかに連携して暮らしていく社会になったらよいと思う。
- ・観光客の増加と自然保護のバランスを考えた設備の拡充を行い、みんなが自然を楽しめる県になること。

□災害

- ・地震や台風などの自然災害に強い群馬県
- ・災害に強い・対応の迅速性、住民の協調性が自然と調和する町

21 群馬県に期待する施策（自由記述）

■「その他」の回答（抜粋）

□豊かな自然

- ・いつまでも水道水がおいしく飲める群馬県に住みたいです。
- ・お米や農作物が安定的にお店に並べられる
- ・きれいな河川が流れ、空気がおいしく感じられる、自然がいっぱいの環境が溢れています。豊かな群馬にしてみたい。
- ・どこからでも山や自然が見ることができること
- ・空気がきれいな環境を維持・継続し、星空がきれいに見える群馬県であってほしい。
- ・広葉樹林が身近にある

□公共交通

- ・バスが増えて自家用車で移動しなくてもいいようにしてほしい。それが自然保護にもつながると思う。排気量が少なくなる。



回答者プロフィール

(1) あなたの性別を教えてください。 (1つだけ)

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. その他

(2) あなたの年齢を教えてください。 (1つだけ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|----------------|
| 1. 18~29歳 | 4. 50~59歳 | 1. 会社員 | 5. 学生 |
| 2. 30~39歳 | 5. 60~69歳 | 2. 農林漁業 | 6. パート、アルバイト |
| 3. 40~49歳 | 6. 70歳以上 | 3. 2.以外の自営業 | 7. 無職・その他（具体的に |
| | | 4. 教職員、公務員 | |

(3) あなたのご職業を教えてください。 (1つだけ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 会社員 | 5. 学生 |
| 2. 農林漁業 | 6. パート、アルバイト |
| 3. 2.以外の自営業 | 7. 無職・その他（具体的に |
| 4. 教職員、公務員 |) |



回答者プロフィール

(4) あなたのお住まいの市町村を教えてください。 (1つだけ)

●市

1. 前橋市
2. 高崎市
3. 桐生市
4. 伊勢崎市
5. 太田市
6. 沼田市
7. 館林市
8. 渋川市
9. 藤岡市
10. 富岡市
11. 安中市
12. みどり市

●北群馬郡

13. 榛東村
14. 吉岡町

●多野郡

15. 上野村
16. 神流町
17. 下仁田町
18. 南牧村
19. 甘楽町
20. 中之条町
21. 長野原町
22. 嫁恋村
23. 草津町
24. 高山村
25. 東吾妻町

●吾妻郡

26. 片品村
27. 川場村
28. 昭和村
29. みなかみ町
30. 玉村町
31. 板倉町
32. 明和町
33. 千代田町
34. 大泉町
35. 邑楽町

●利根郡

●佐波郡

●邑楽郡

● 回答者プロフィール

(5) お住まいになっている地域の状況として、最も近いものを1つお選びください。（1つだけ）

1. 市街地（駅周辺や商店などが密集した地域）
2. 古くからある住宅地
3. 新興住宅地
4. 農村、山村
5. 工場地帯

(6) あなたは、現在のお住まいに、どのくらいの期間住んでおられますか。（1つだけ）

1. 1年未満
2. 1年以上～3年未満
3. 3年以上～5年未満
4. 5年以上～10年未満
5. 10年以上～20年未満
6. 20年以上

(7) あなたは、群馬県ご出身の方ですか。（1つだけ）

1. はい
2. いいえ → 出身都道府県（ ）

2 事業者アンケート調査

■ 調査概要

調査対象者

県内に事業拠点を置く事業者1,001事業所

群馬県会社要覧 2025 年版」（一般財団法人群馬経済研究所）に掲載の事業所

実施期間

2025（令和7）年6月13日から7月9日

調査方法

郵送調査（回収は郵送及びインターネットの併用）

回収数

397事業所（回収率39.7%）

■ 調査結果分析方法

アンケート調査結果の分析には、①業種、②事業所全体の従業員数の2つの軸を用いました。

※図表数値（%）は、四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないことがあります。

1 企業概要

問1 貴社名および連絡先（電話番号）を差し支えない範囲でご記入ください。

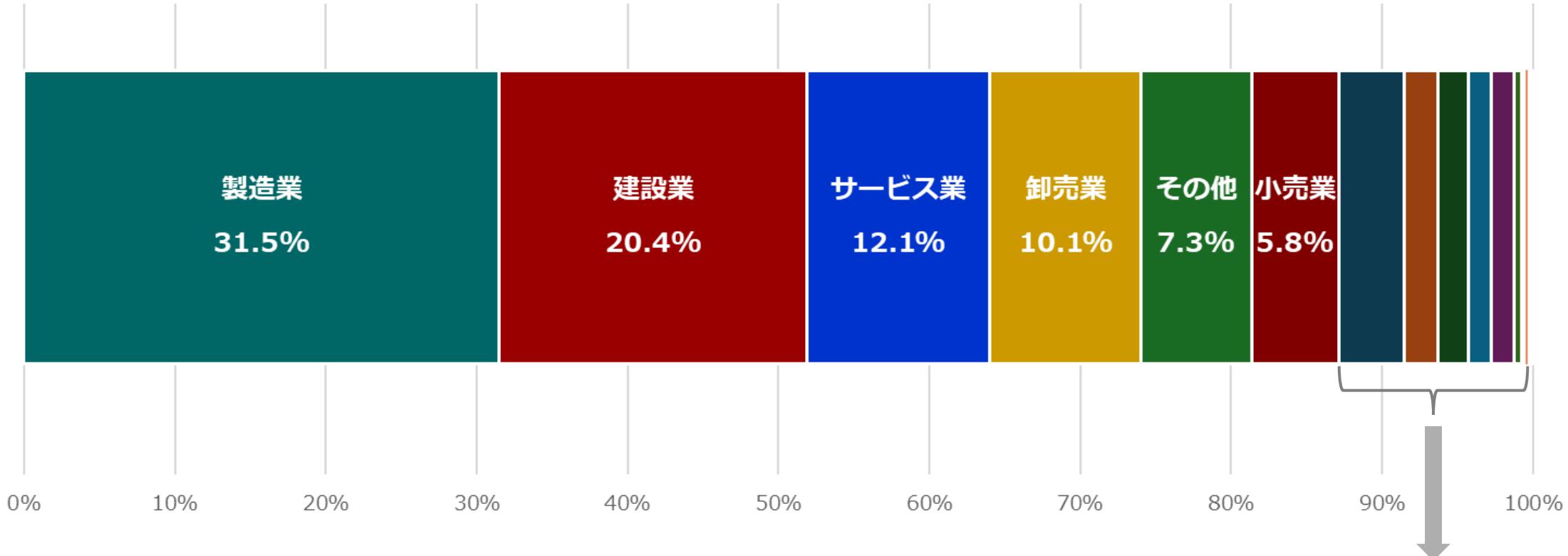
省 略

2 業種

問2 貴社の業種をお答えください。回答は、以下のなかあてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。（複数の業種に該当する場合は、売上の最も多いものを1つだけお答えください。）

- 1. 農林水産業
- 2. 鉱業
- 3. 建設業
- 4. 製造業
- 5. 卸売業
- 6. 小売業
- 7. 金融、保険業、不動産業
- 8. 運輸業
- 9. 通信業
- 10. 電気、ガス、水道、熱供給業
- 11. サービス業
- 12. 生協
- 13. 事業者団体・事業者組合
- 14. 観光協会・DMO
- 15. その他（具体的に： ）

2 業種



- ・金融、保険業、不動産業 4.3%
- ・電気、ガス、水道、熱供給業 1.5%
- ・鉱業 0.3%
- ・運輸業 2.3%
- ・観光協会・DMO 1.5%
- ・通信業 0.3%
- ・事業者団体・事業者組合 2.0%
- ・生協 0.5%
- ・無回答 0.3%

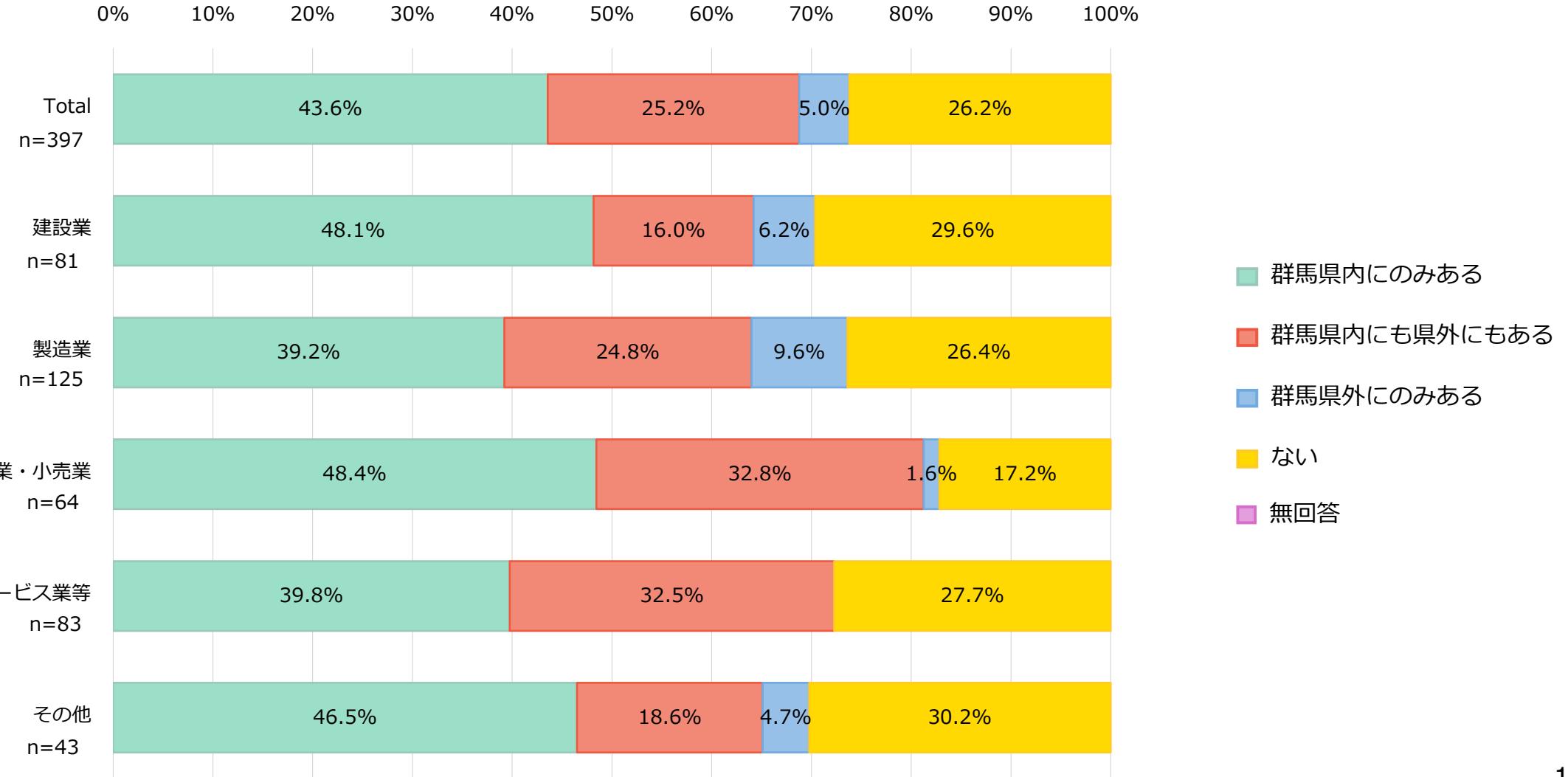
3 事業所所在地

問3

(1) 貴社の事業所は、本アンケートが送られた事業所以外にもありますか。以下のなかあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 群馬県内にのみある
2. 群馬県内にも県外にもある
3. 群馬県外にのみある ⇒ 問4へ
4. ない ⇒ 問4へ

3-1 事業所所在地（業種別）



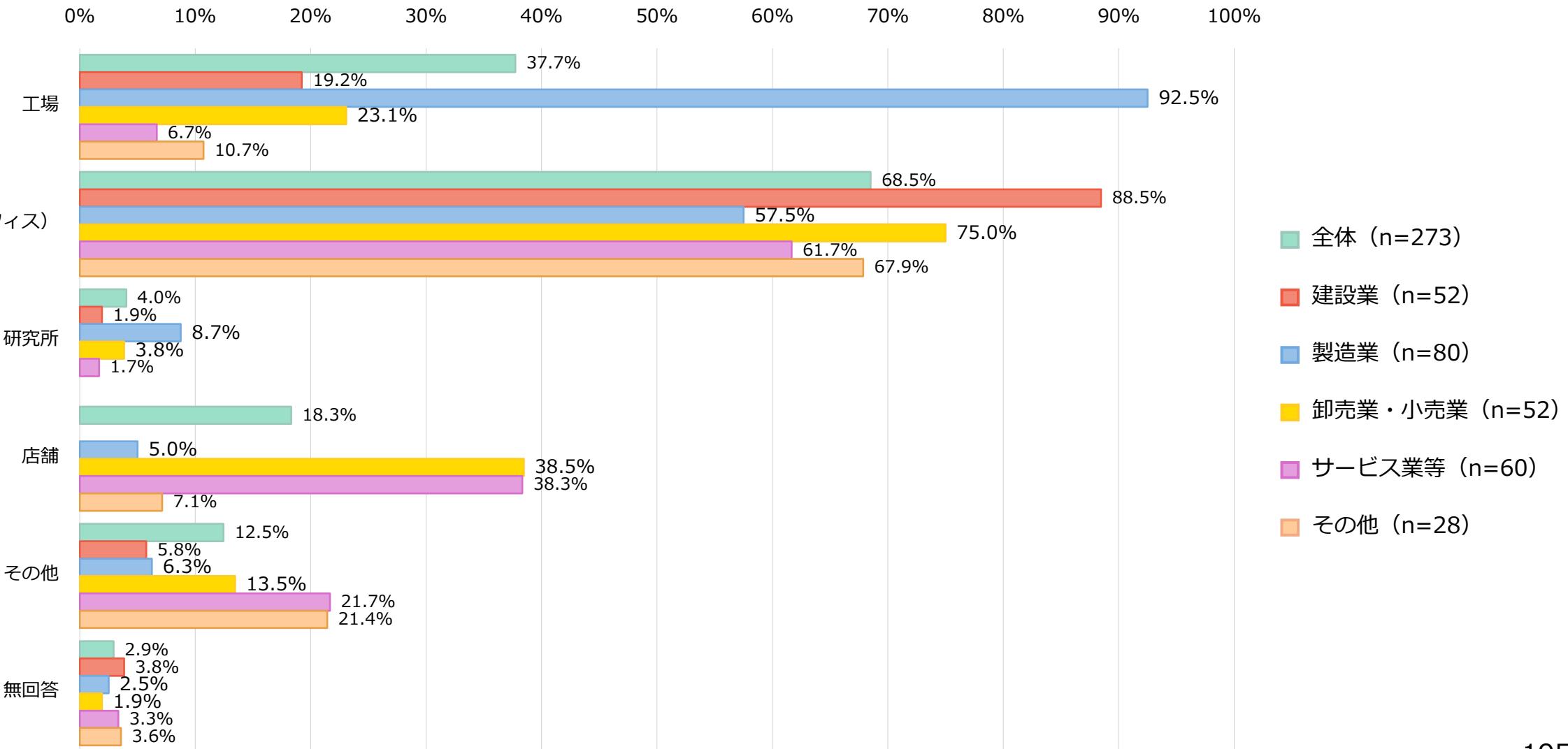
3 事業所事業形態

問3

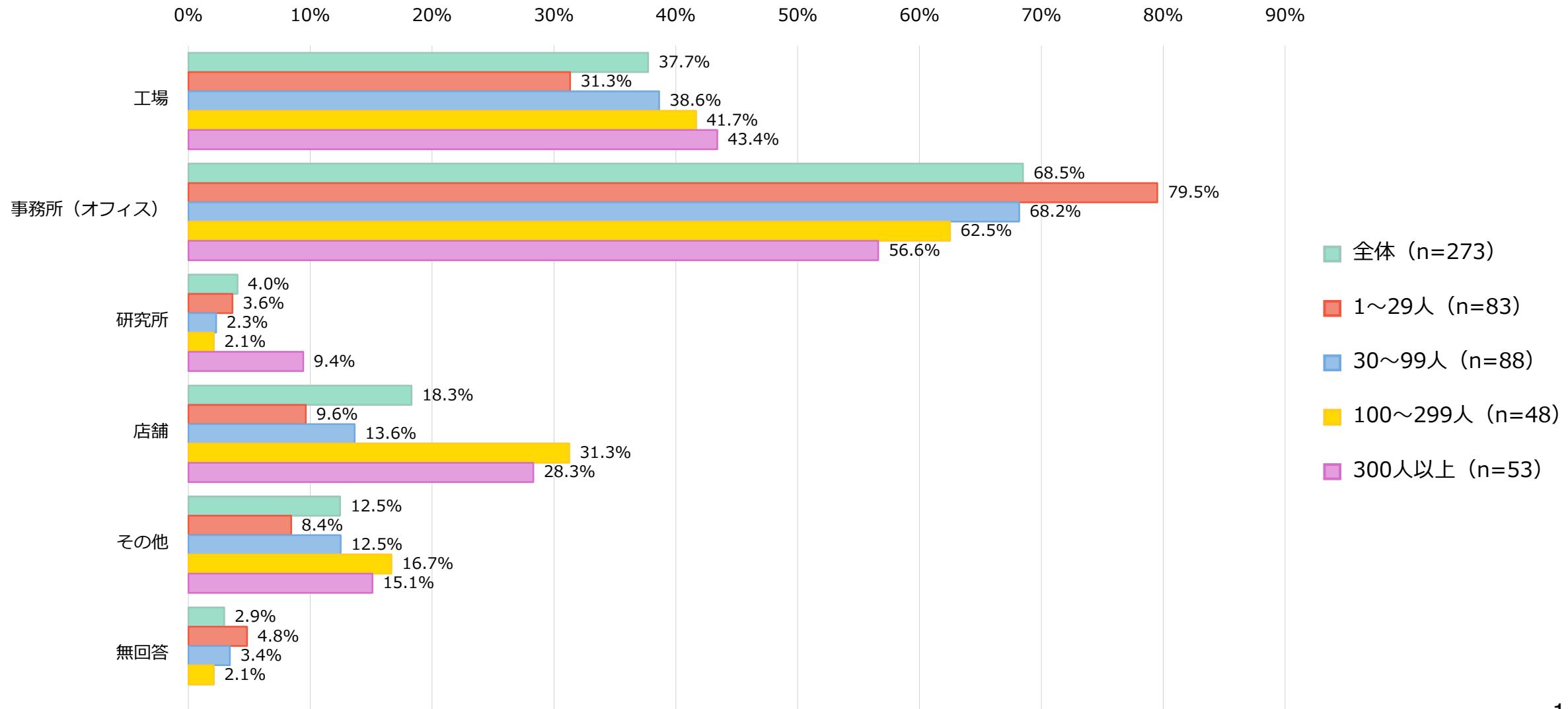
(2) 【前問で「1.県内にのみある」「2.群馬県内にも県外にもある」とお答えになつた方へ】
貴社の県内の事業所の事業形態をお答えください。以下のなかあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 工場
2. 事務所（オフィス）
3. 研究所
4. 店舗
5. その他（具体的に： ）

3-2 事業所事業形態（業種別）



3-2 事業所事業形態（全体従業員数別）



3-2 事業所事業形態

		合計	工場	事務所（オフィス）	研究所	店舗	その他	無回答		全体+10.0ポイント以上
全体		273	37.7%	68.5%	4.0%	18.3%	12.5%	2.9%		全体+5.0～9.9ポイント
業種	建設業	52	19.2%	88.5%	1.9%	0.0%	5.8%	3.8%		全体-5.0～9.9ポイント
	製造業	80	92.5%	57.5%	8.7%	5.0%	6.3%	2.5%		全体-10.0ポイント以上
	卸売業・小売業	52	23.1%	75.0%	3.8%	38.5%	13.5%	1.9%		
	サービス業等	60	6.7%	61.7%	1.7%	38.3%	21.7%	3.3%		
	その他	28	10.7%	67.9%	0.0%	7.1%	21.4%	3.6%		
	1～29人	11	31.3%	79.5%	3.6%	9.6%	8.4%	4.8%		
全体の従業員数	30～99人	134	38.6%	68.2%	2.3%	13.6%	12.5%	3.4%		
	100～299人	55	41.7%	62.5%	2.1%	31.3%	16.7%	2.1%		
	300人以上	62	43.4%	56.6%	9.4%	28.3%	15.1%	0.0%		

4 従業員数

問4 貴社の従業員数（常勤および長期のアルバイト、パートタイマーを含む）をお答えください。

（1）貴社全体の従業員数をお答えください。（1つだけ）

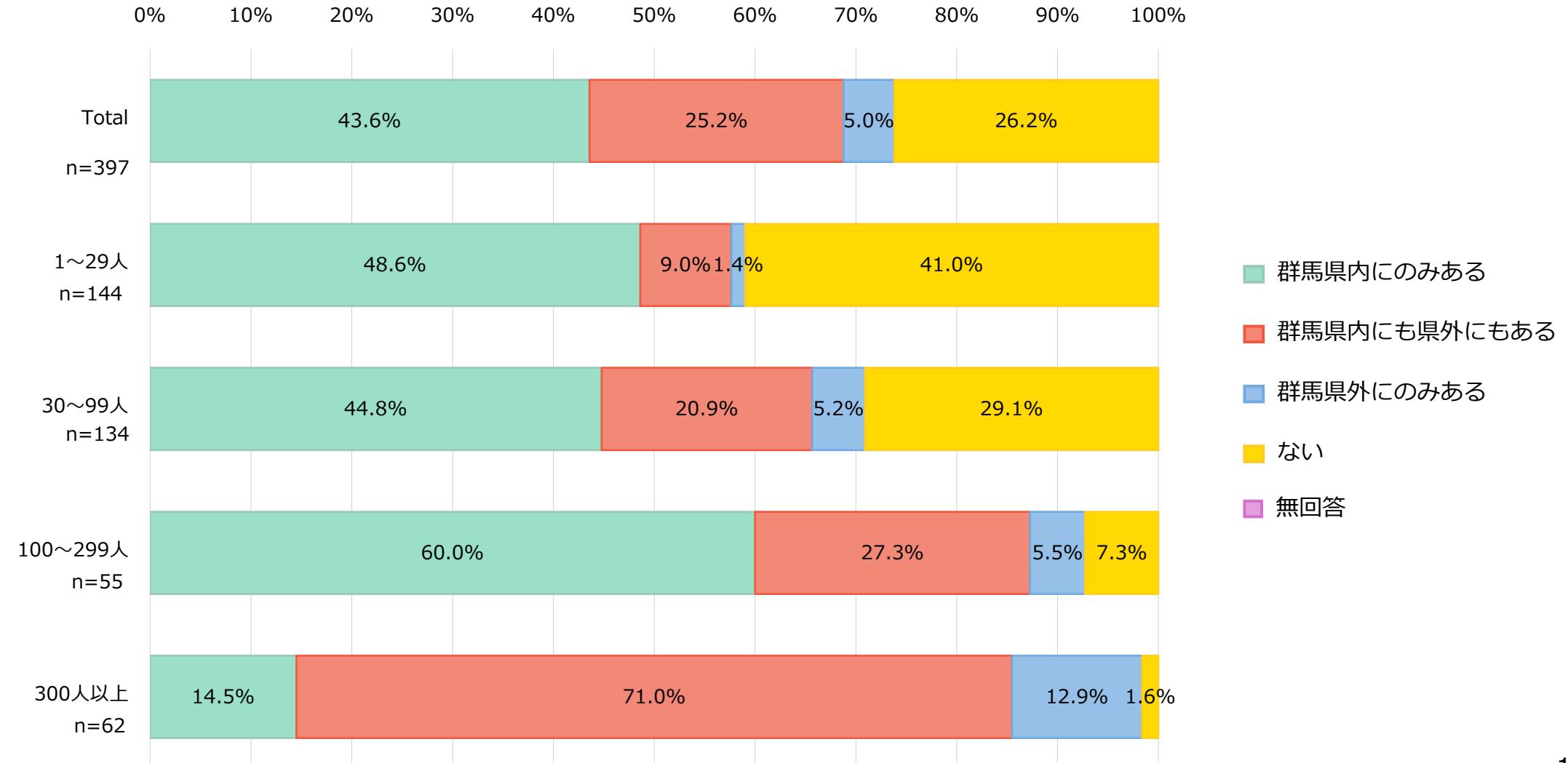
※本アンケートが送られた事業所以外にも事業所がある場合はそれらの従業員も含めてお答えください。

- | | | |
|-----------|-------------|-----------------|
| 1. 1～4人 | 4. 30～99人 | 7. 1,000～2,999人 |
| 2. 5～9人 | 5. 100～299人 | 8. 3,000人以上 |
| 3. 10～29人 | 6. 300～999人 | |

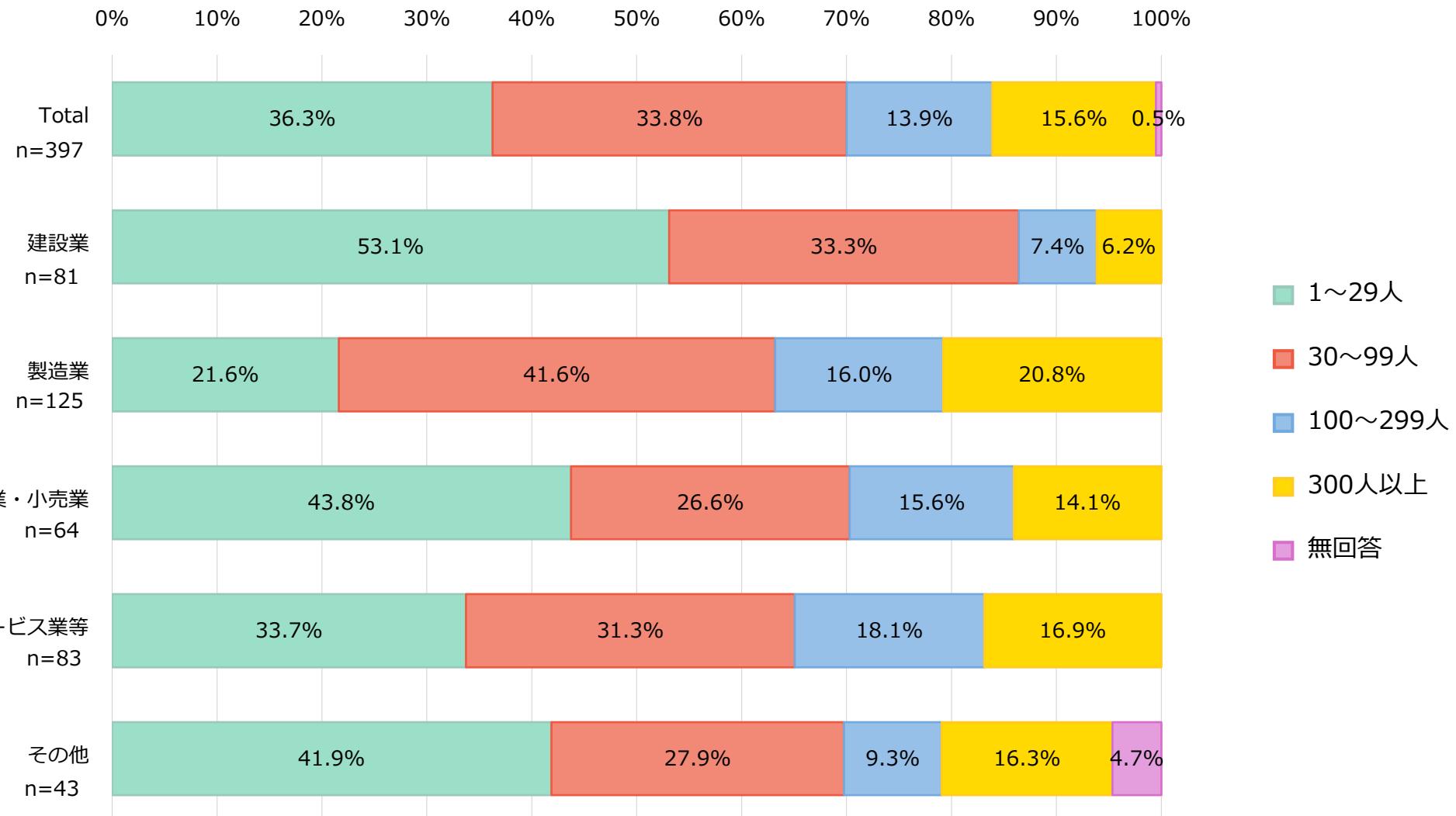
（2）本アンケートが送られた事業所のみの従業員数をお答えください。（1つだけ）

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 他の事業所はない
(全体の従業員数と同じ) | 6. 30～49人 |
| 2. 1～4人 | 7. 50～99人 |
| 3. 5～9人 | 8. 100～299人 |
| 4. 10～19人 | 9. 300人以上 |
| 5. 20～29人 | |

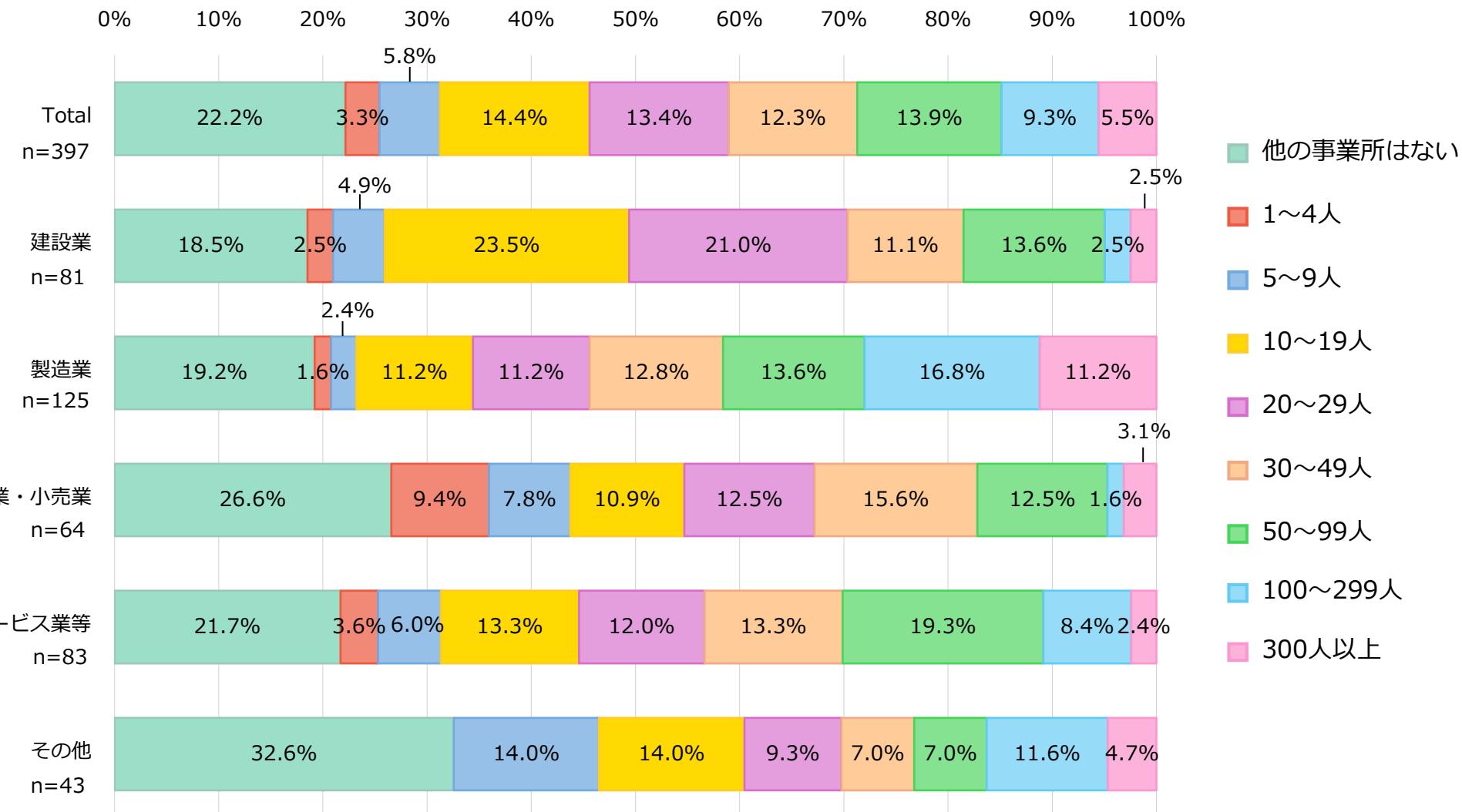
4-1 従業員数（事業所所在地別）



4-1 従業員数（業種別）



4-2 従業員数（本アンケートが送られた事業所内の従業員数）（業種別）

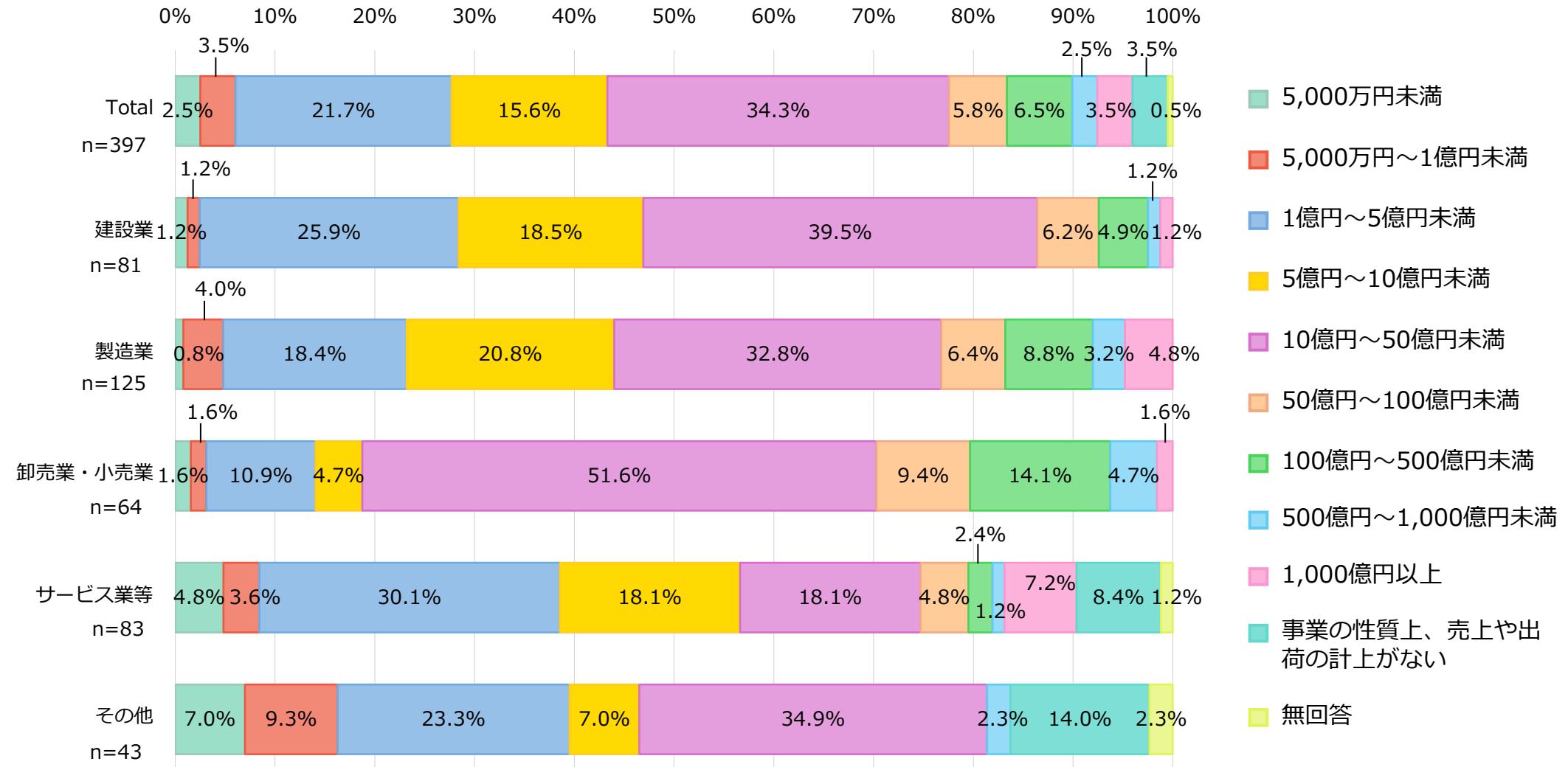


5 年間売上高・出荷額

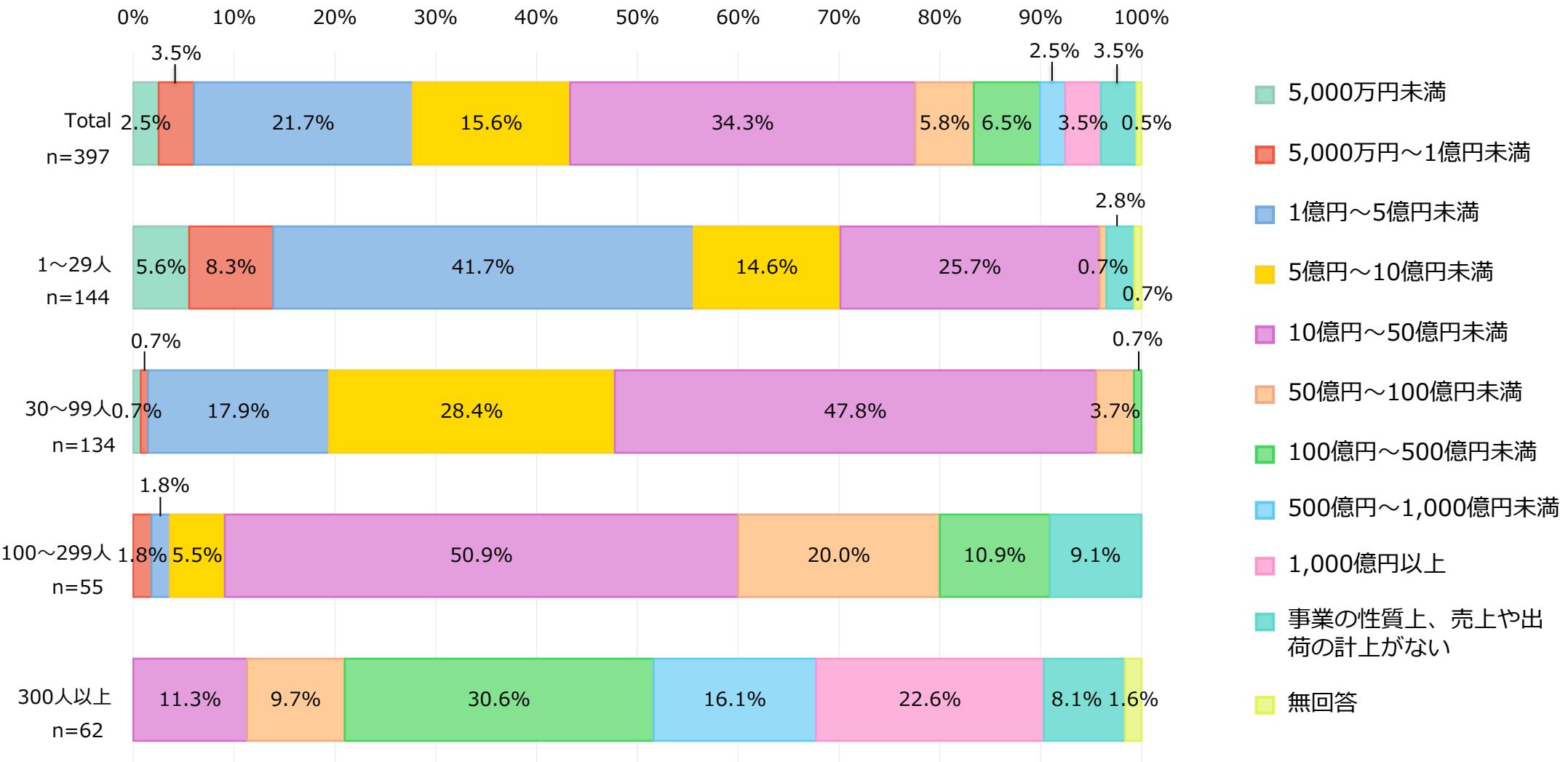
問5 貴社の年間売上高、あるいは出荷額をお答えください。（1つだけ）

1. 5,000万円未満
2. 5,000万円～1億円未満
3. 1億円～5億円未満
4. 5億円～10億円未満
5. 10億円～50億円未満
6. 50億円～100億円未満
7. 100億円～500億円未満
8. 500億円～1,000億円未満
9. 1,000億円以上
10. 事業の性質上、売上や出荷の計上がない

5 年間売上高・出荷額（業種別）



5 年間売上高・出荷額（全体従業員数別）



6 生物多様性等の認知度

問6 次の①～④の言葉について、（1）貴社の経営層（取締役・執行役員）と（2）一般社員のそれぞれ何割程度の方が、内容（言葉の意味）を知っていますか。感覚で構いませんので、下記それについて、0～10の整数でお答えください。

	(1) 貴社の経営層（役員）のうち	(2) 貴社の一般社員のうち
【ご記入例】 ►	4 割程度	3 割程度
<言葉の内容（意味）を知っている方>	↓ 【回答欄】	↓ 【回答欄】
① 生物多様性（※1） ►	割程度	割程度
② ネイチャーポジティブ（※2） ►	割程度	割程度
③ 自然共生サイト（※3） ►	割程度	割程度
④ 30by30目標（※4） ►	割程度	割程度

<参考>

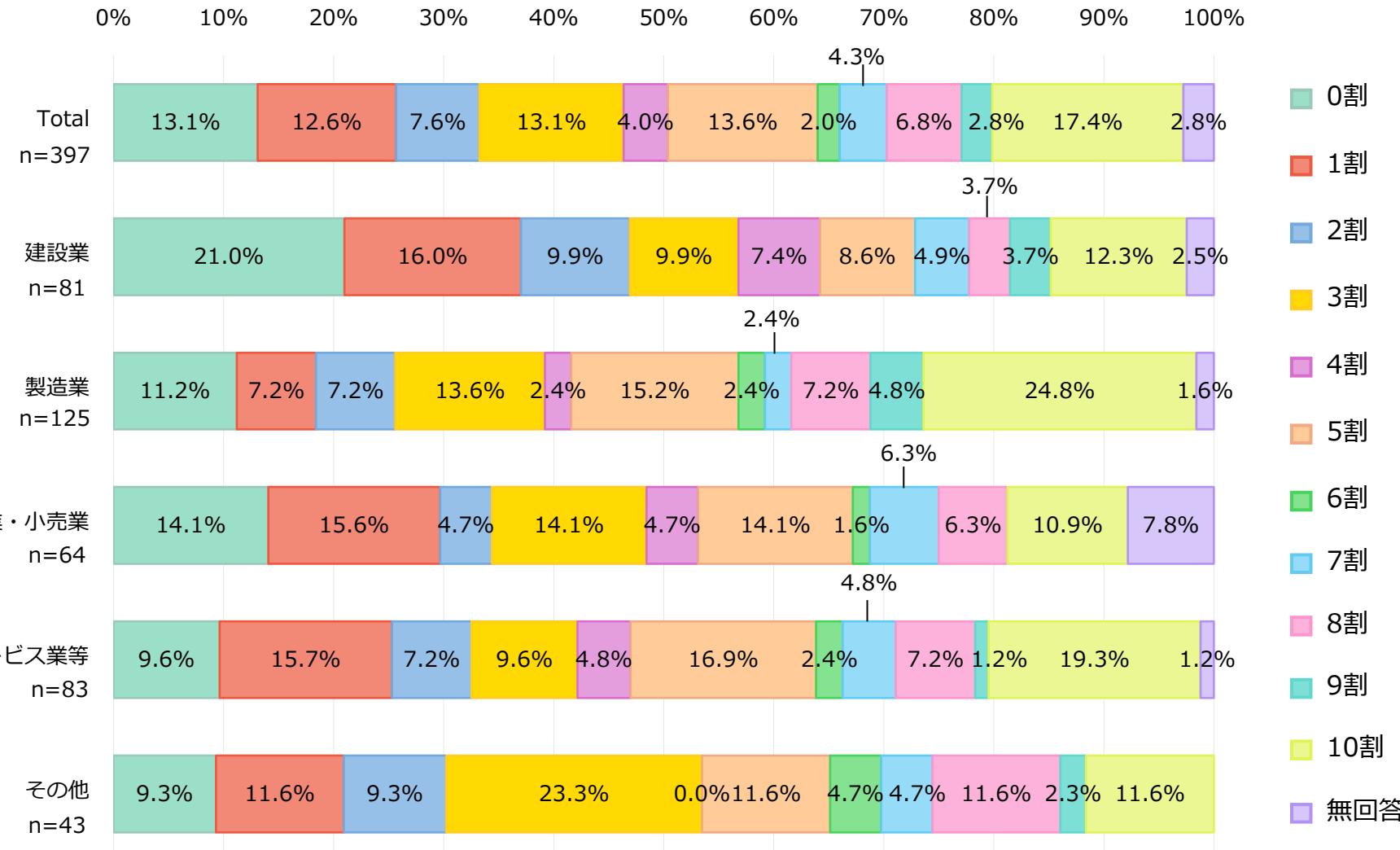
※1 生物多様性：生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと（出典：群馬県ホームページ「生物多様性について」）

※2 ネイチャーポジティブ（自然再興）：自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること（出典：「令和6年度 環境・循環型社会・生物多様性白書」（環境省））

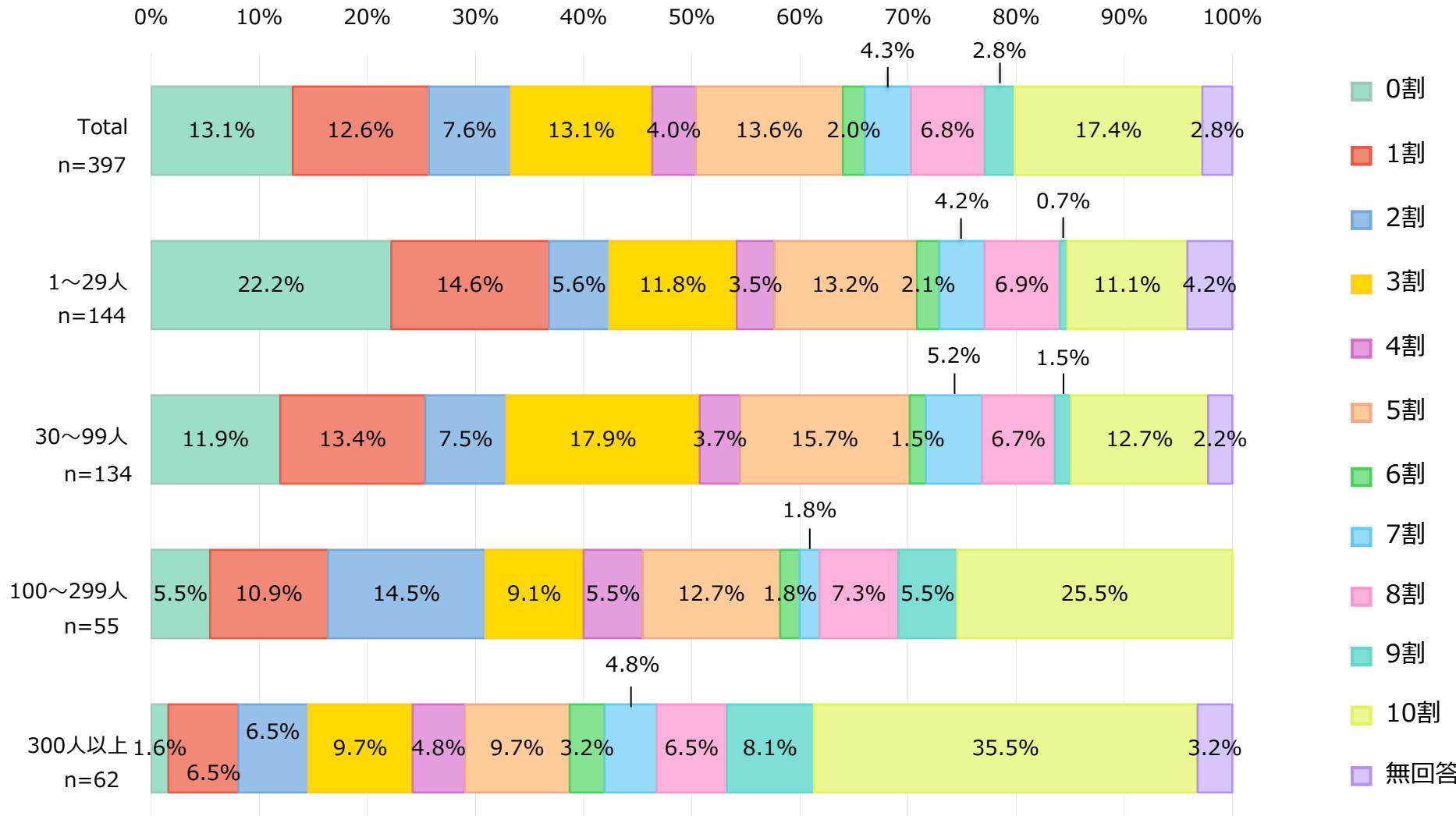
※3 自然共生サイト：環境省が認定する、民間企業や地方公共団体、個人などの取り組みによって生物多様性保全が図られている場所。（出典：ecojin（環境省））

※4 30by30目標：2030年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標（出典：30by30（環境省））

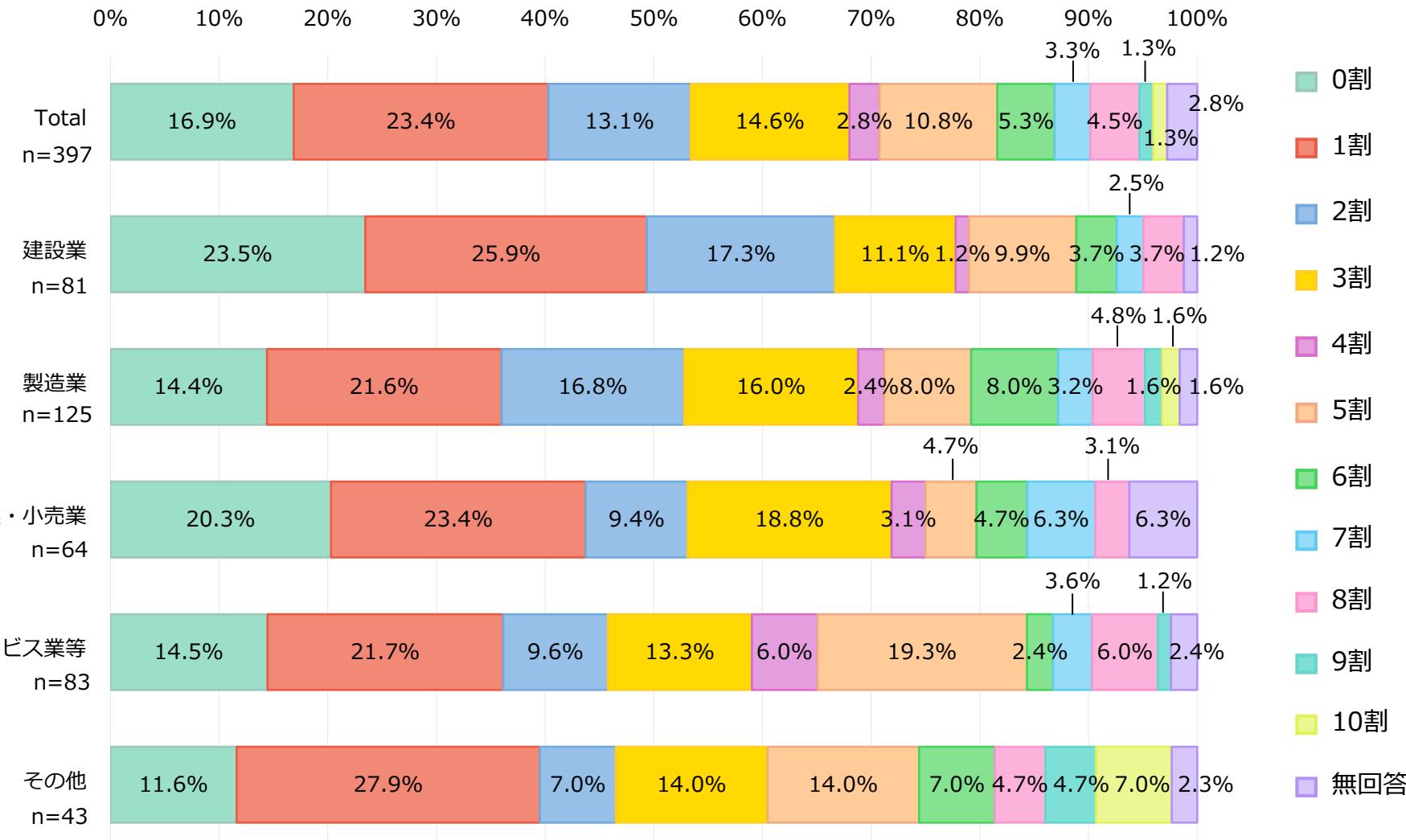
6-1-1 生物多様性の認知度_経営層（業種別）



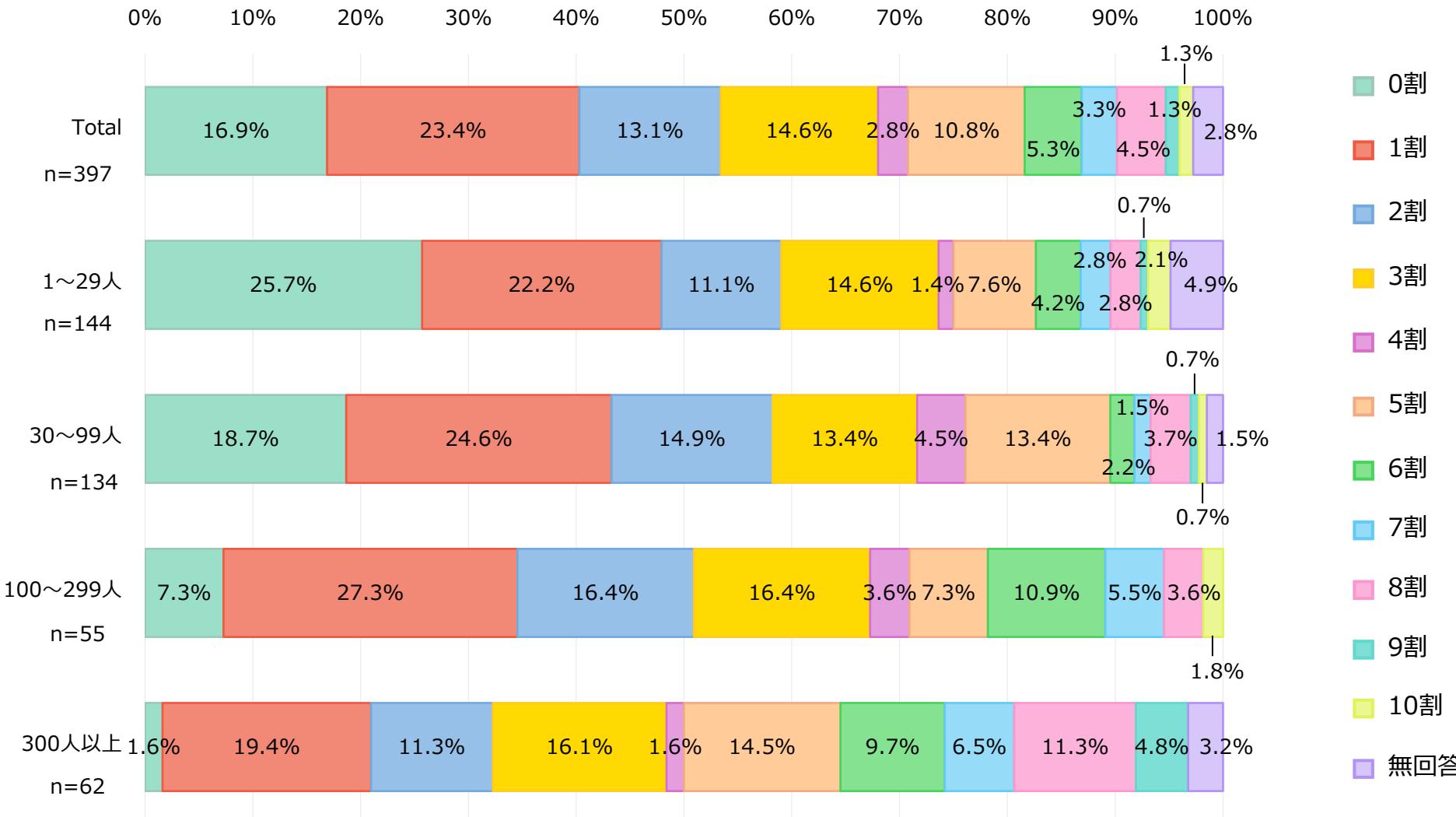
6-1-1 生物多様性の認知度_経営層（全体従業員数別）



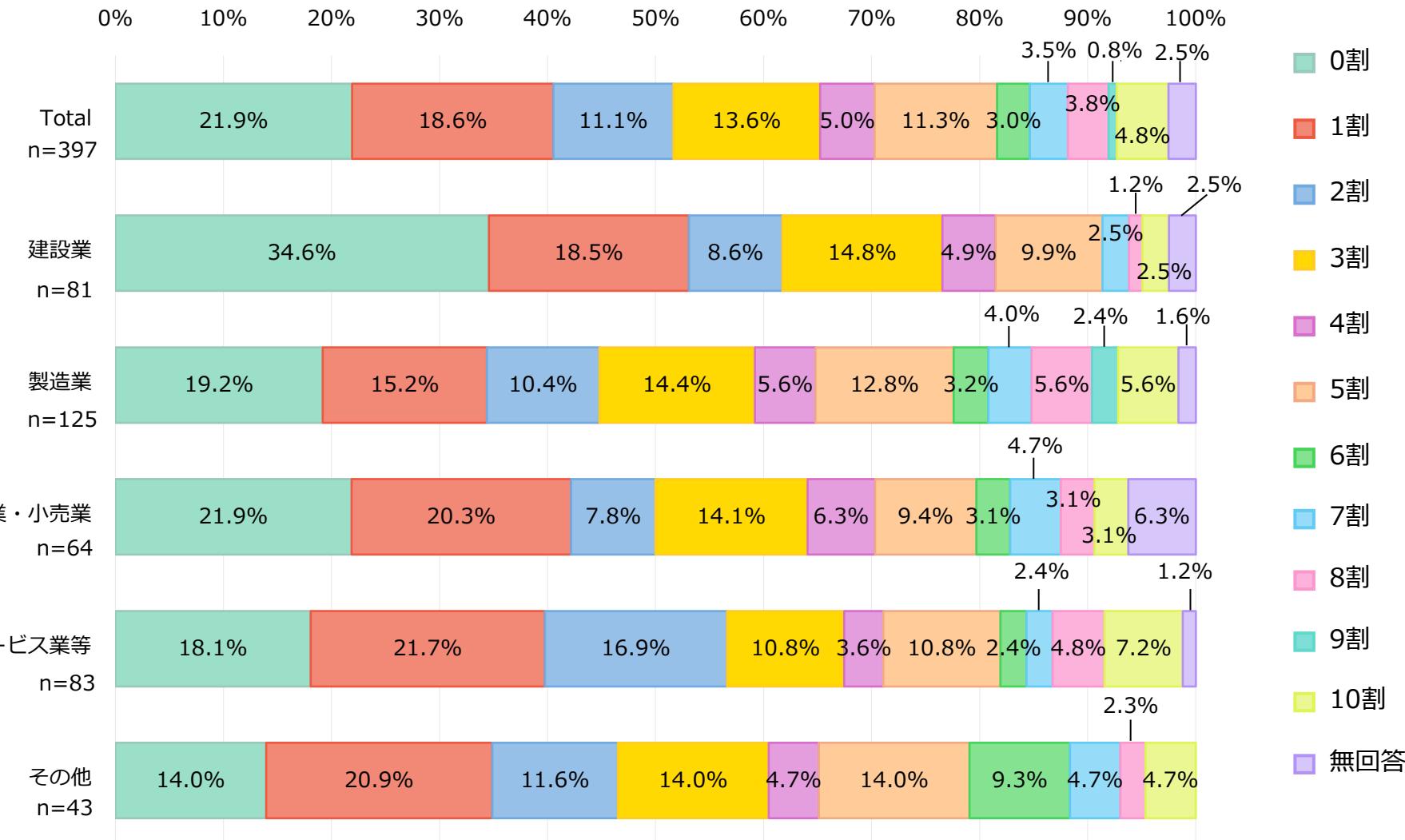
6-1-2 生物多様性の認知度_一般社員（業種別）



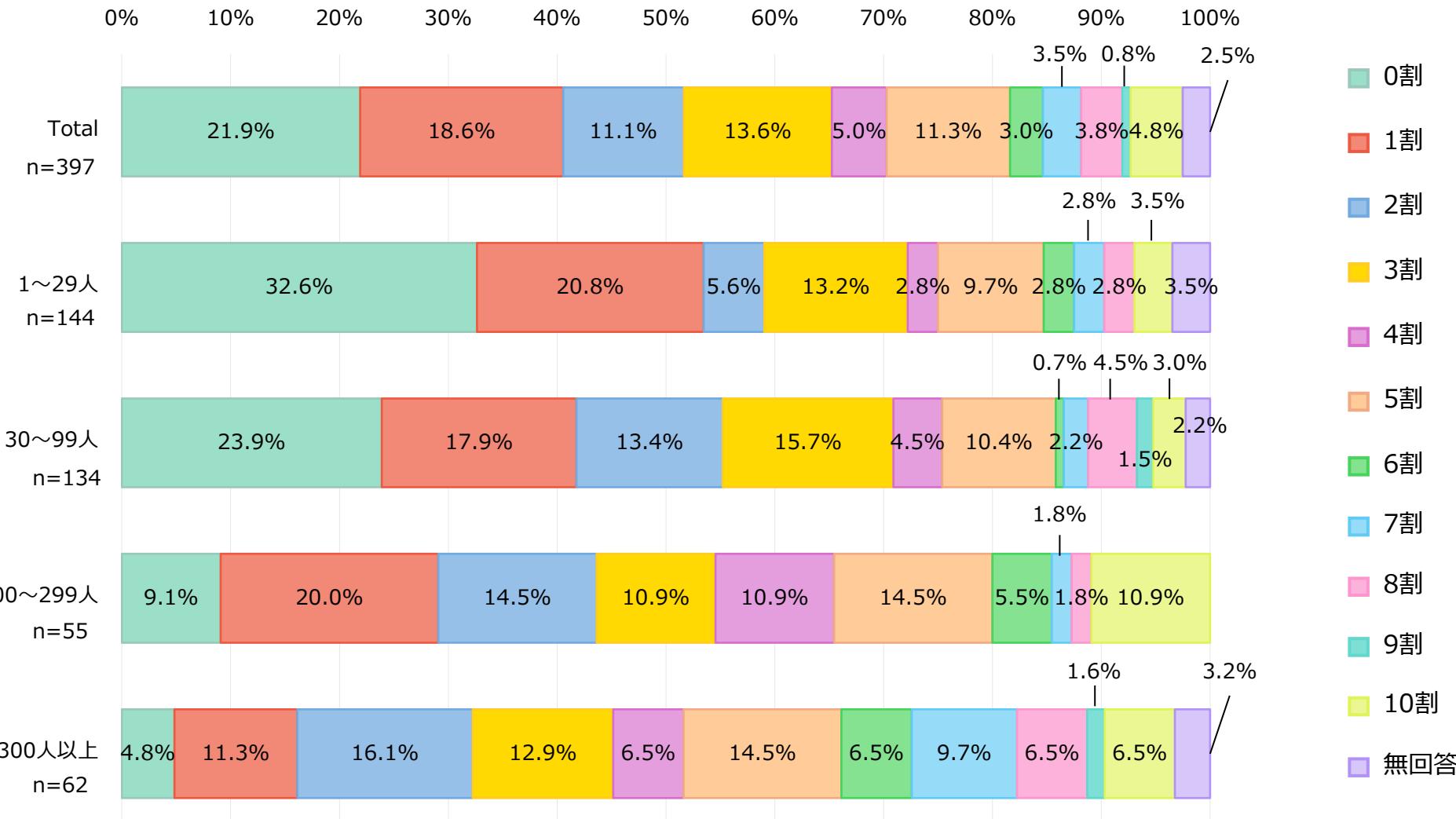
6-1-2 生物多様性の認知度_一般社員（全体従業員数別）



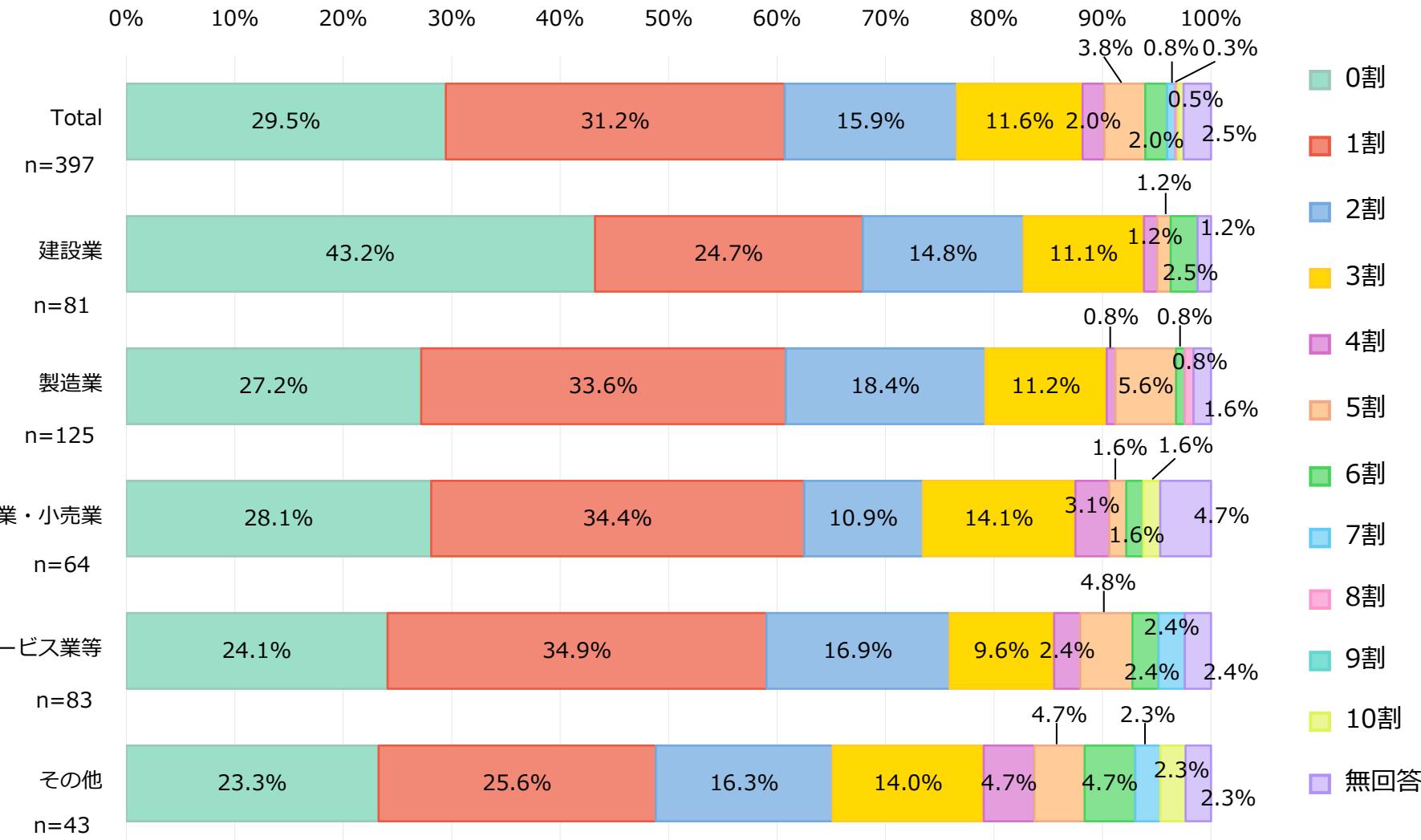
6-2-1 ネイチャーポジティブの認知度_経営層（業種別）



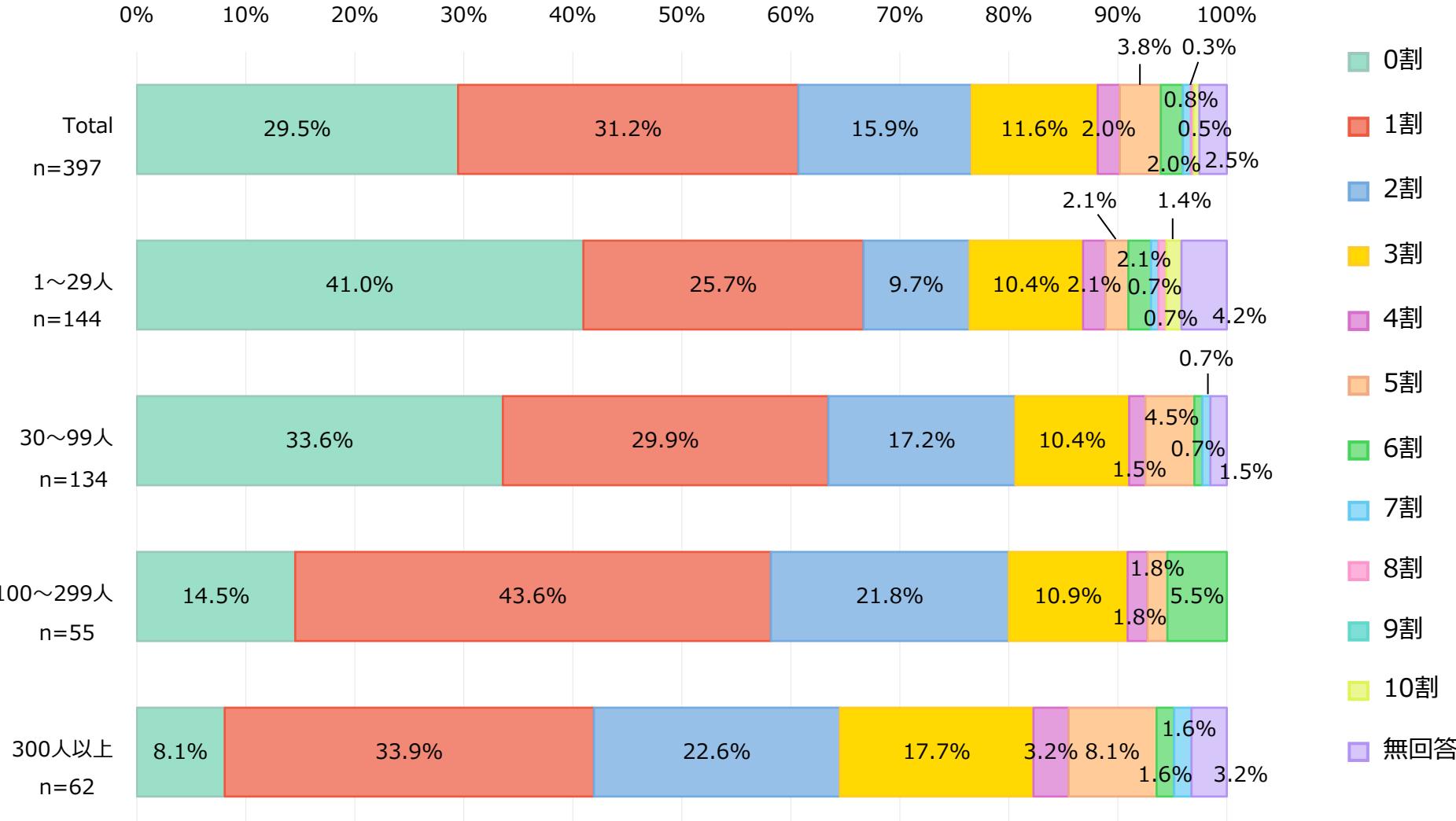
6-2-1 ネイチャーポジティブの認知度_経営層（全体従業員数別）



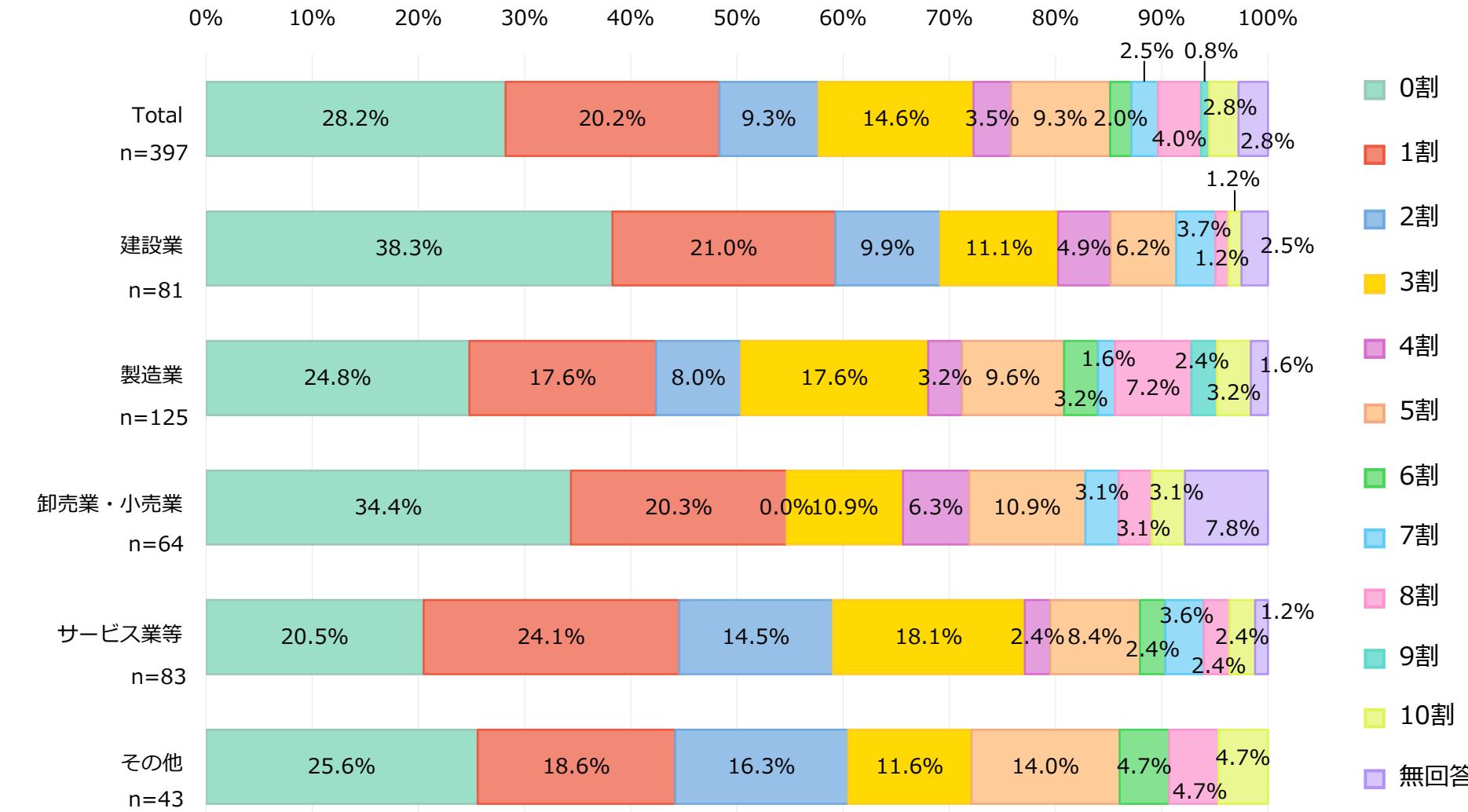
6-2-2 ネイチャーポジティブの認知度_一般社員（業種別）



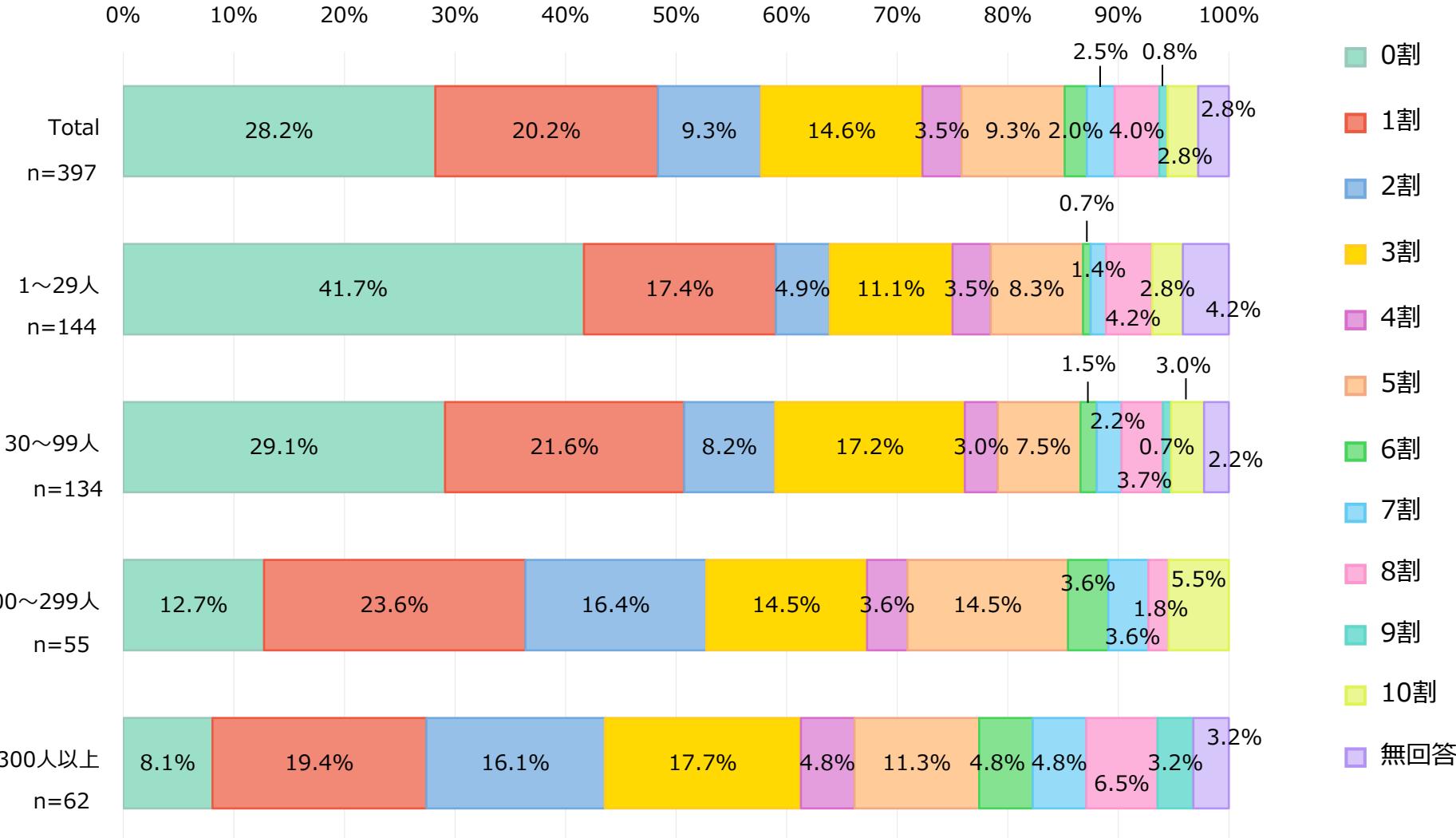
6-2-2 ネイチャーポジティブの認知度_一般社員（全体従業員数別）



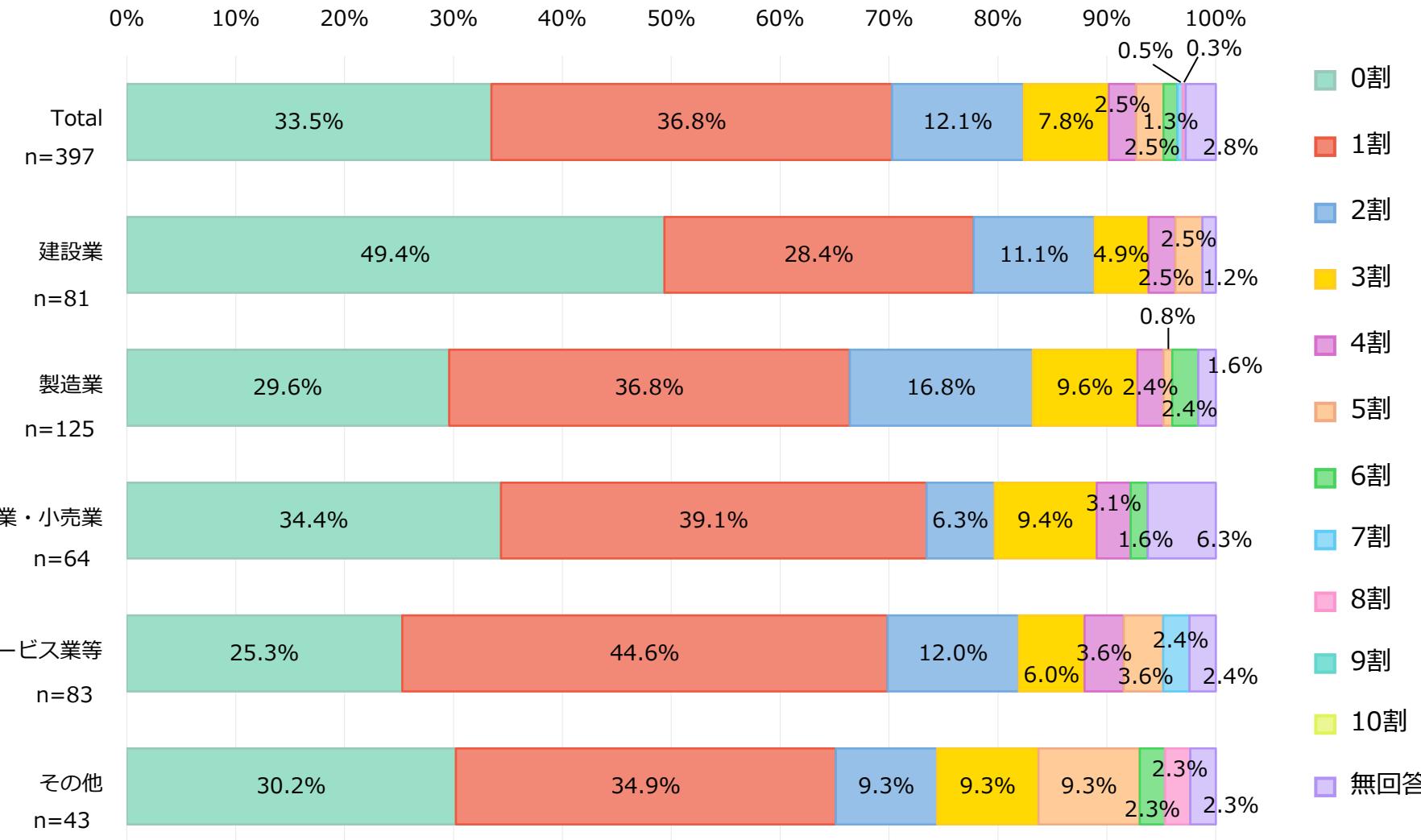
6-3-1 自然共生サイトの認知度_経営層（業種別）



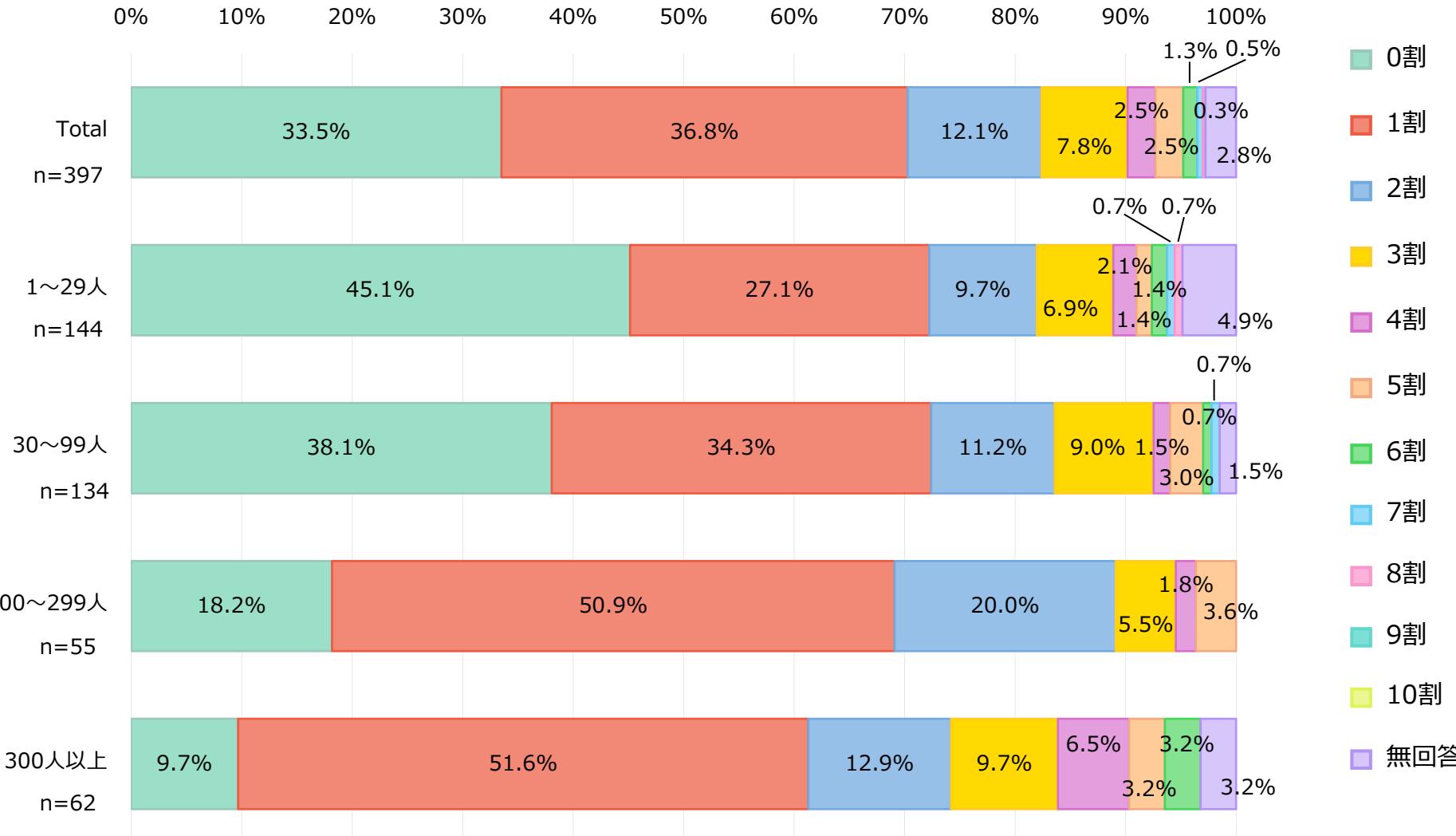
6-3-1 自然共生サイトの認知度_経営層（全体従業員数別）



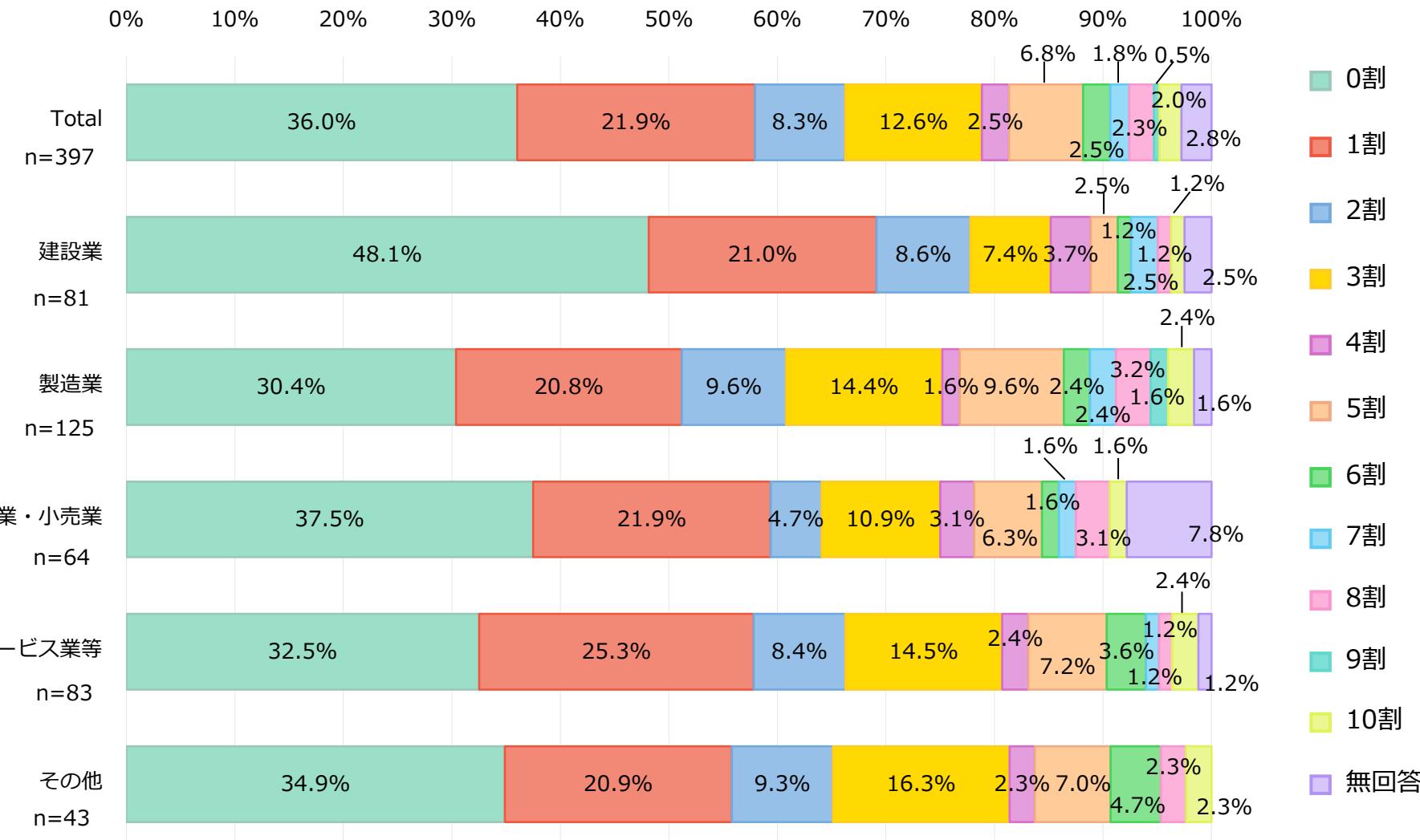
6-3-2 自然共生サイトの認知度_一般社員（業種別）



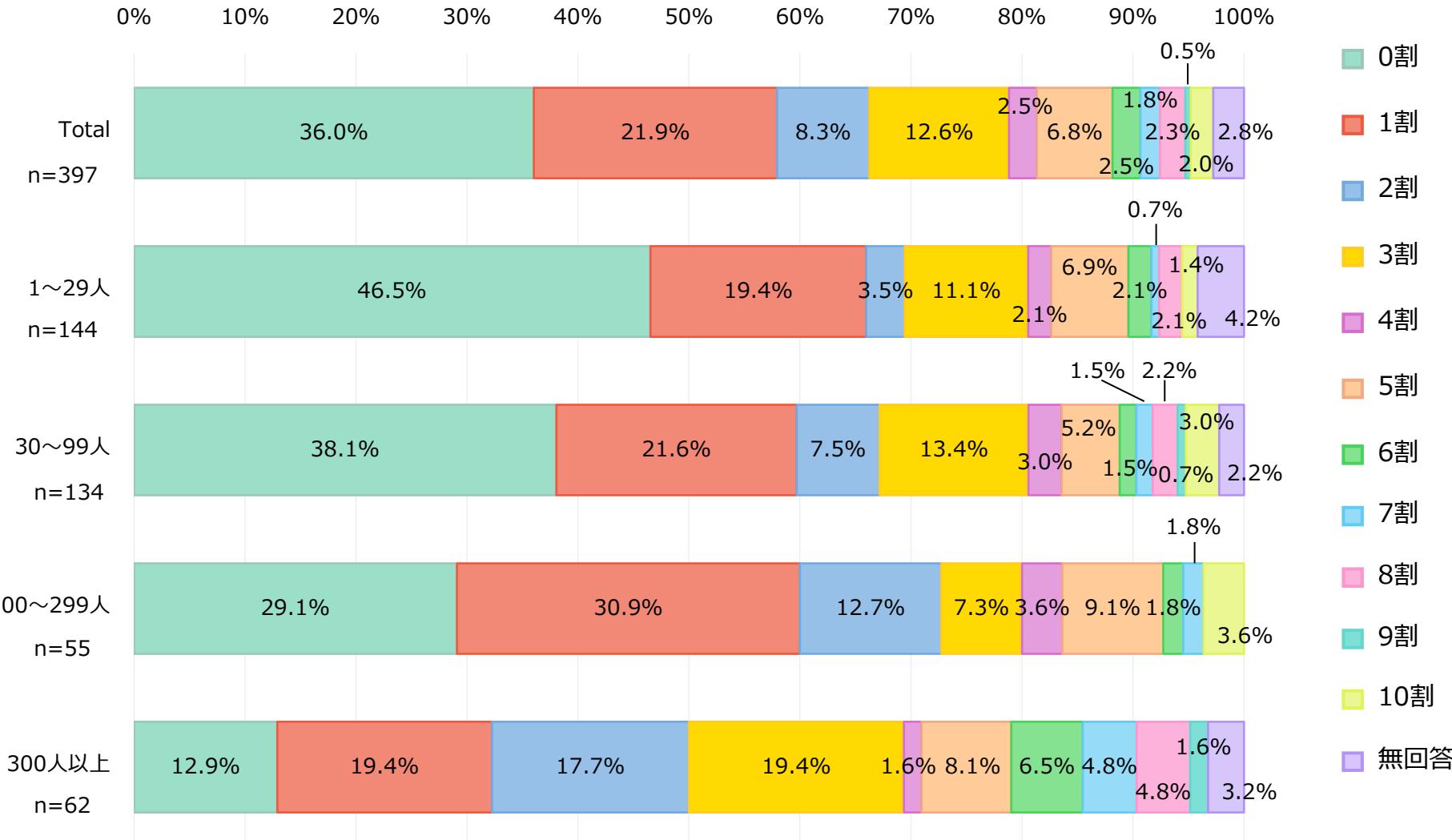
6-3-2 自然共生サイトの認知度_一般社員（全体従業員数別）



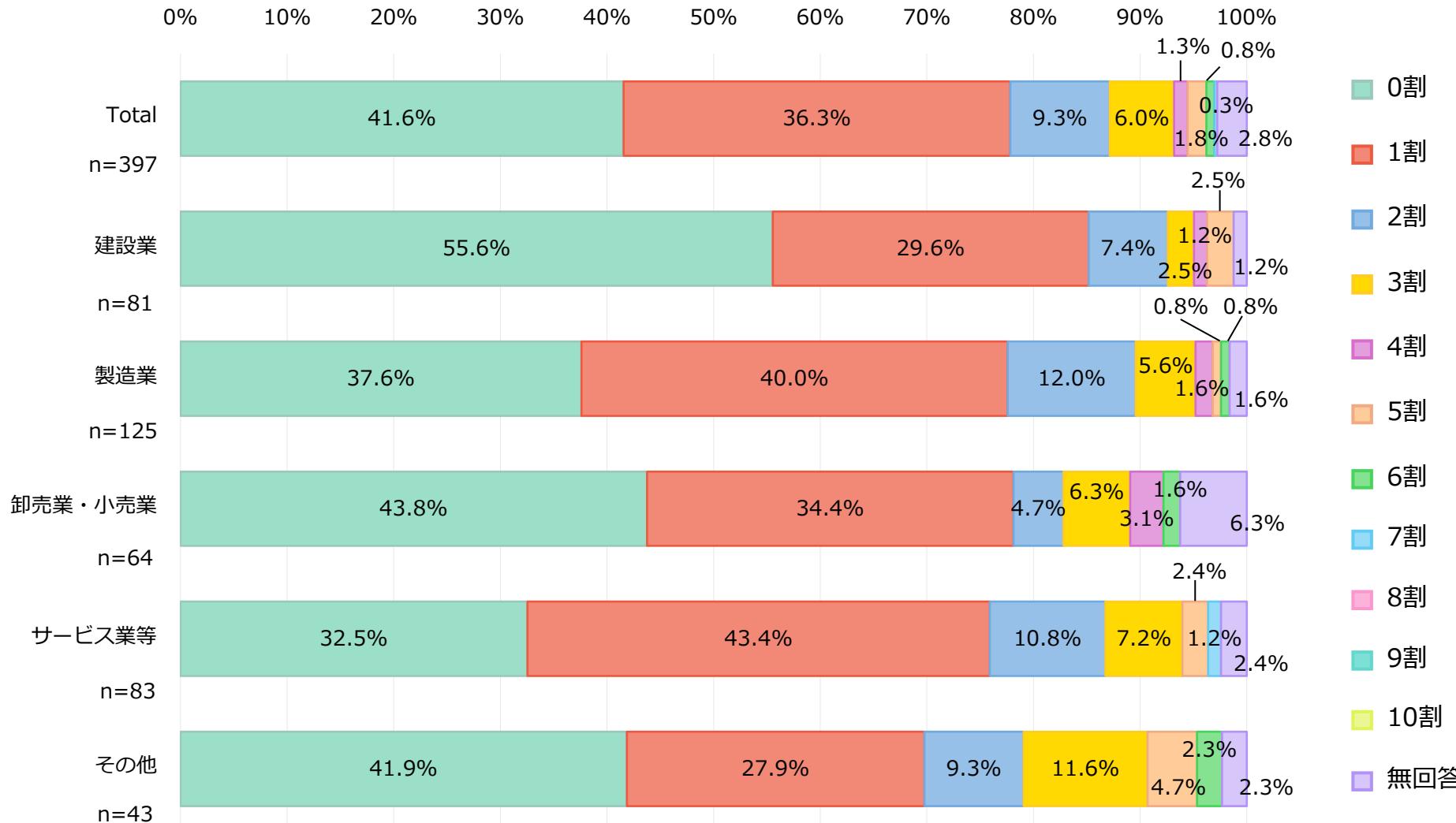
6-4-1 30by30の認知度_経営層（業種別）



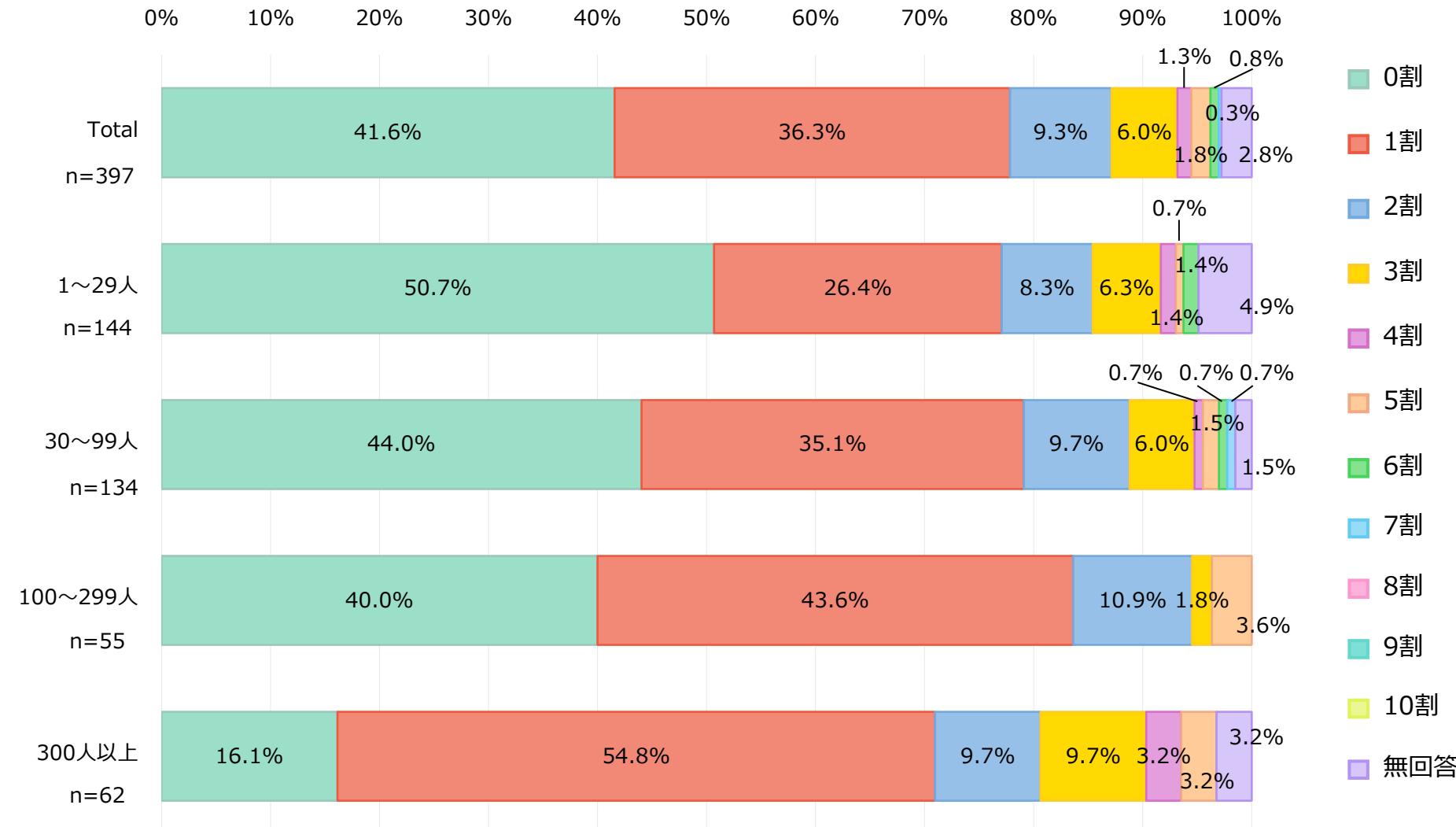
6-4-1 30by30の認知度_経営層（全体従業員数別）



6-4-2 30by30の認知度_一般社員（業種別）



6-4-2 30by30の認知度_一般社員（全体従業員数別）



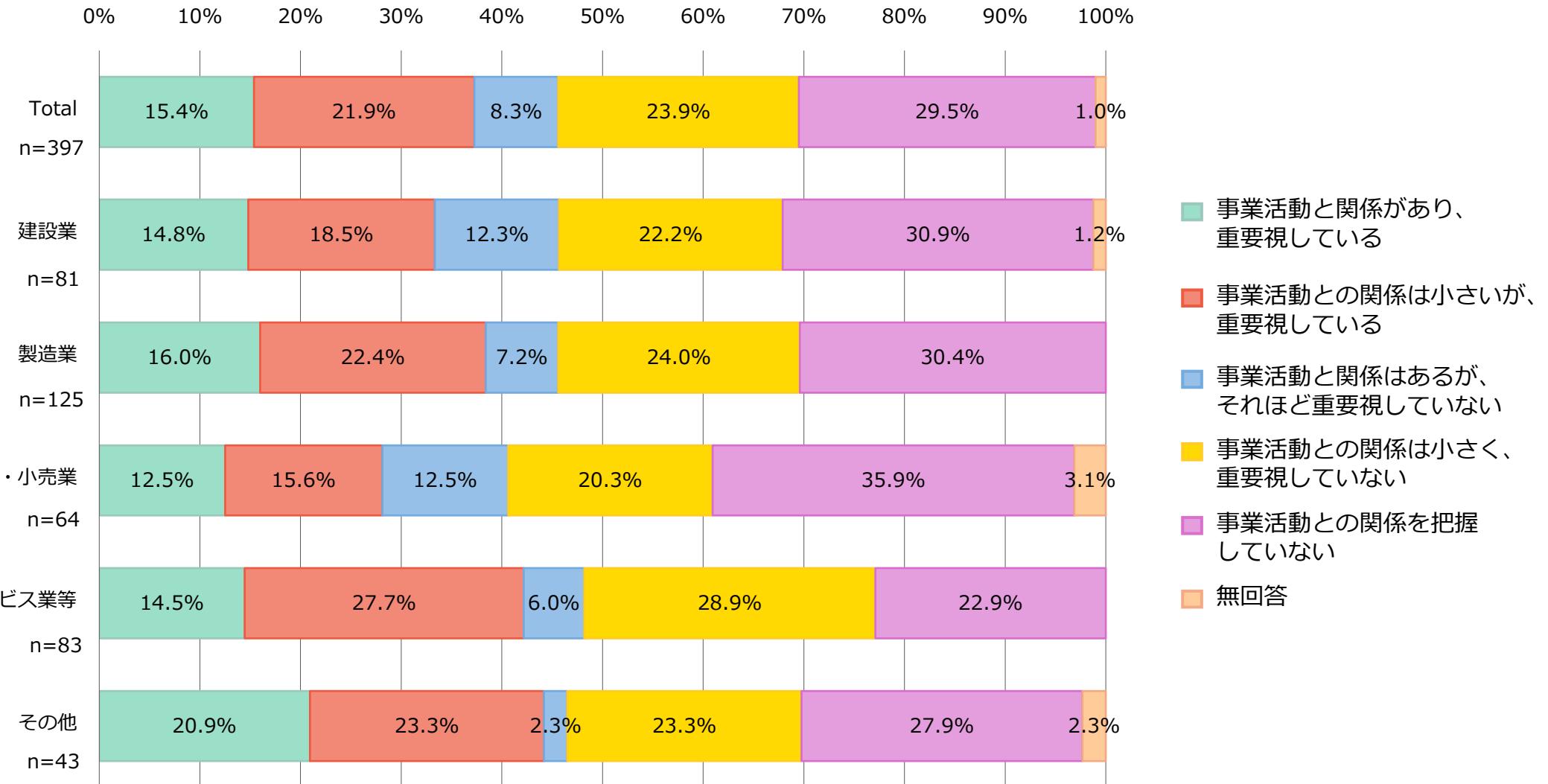
7

事業活動と生物多様性の関係や生物多様性の重要性

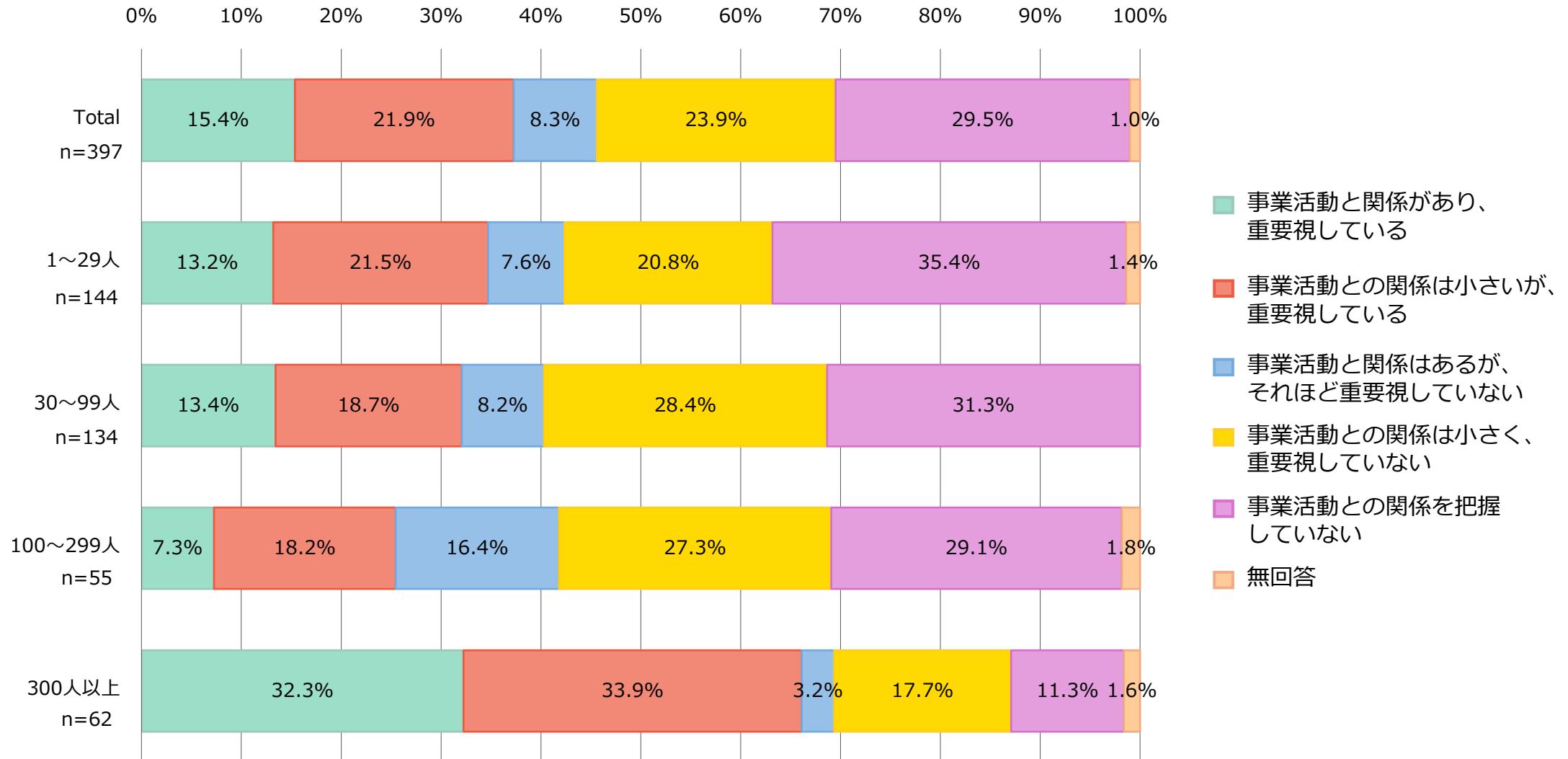
問7 貴社では、貴社の事業活動と生物多様性の関係や、生物多様性の重要性についてどう思われますか。以下のなかからあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 事業活動と関係があり、重要視している
2. 事業活動と関係はあるが、それほど重要視していない
3. 事業活動との関係は小さいが、重要視している
4. 事業活動との関係は小さく、重要視していない
5. 事業活動との関係を把握していない

7 事業活動と生物多様性の関係や生物多様性の重要性（業種別）



7 事業活動と生物多様性の関係や生物多様性の重要性（全体従業員数別）

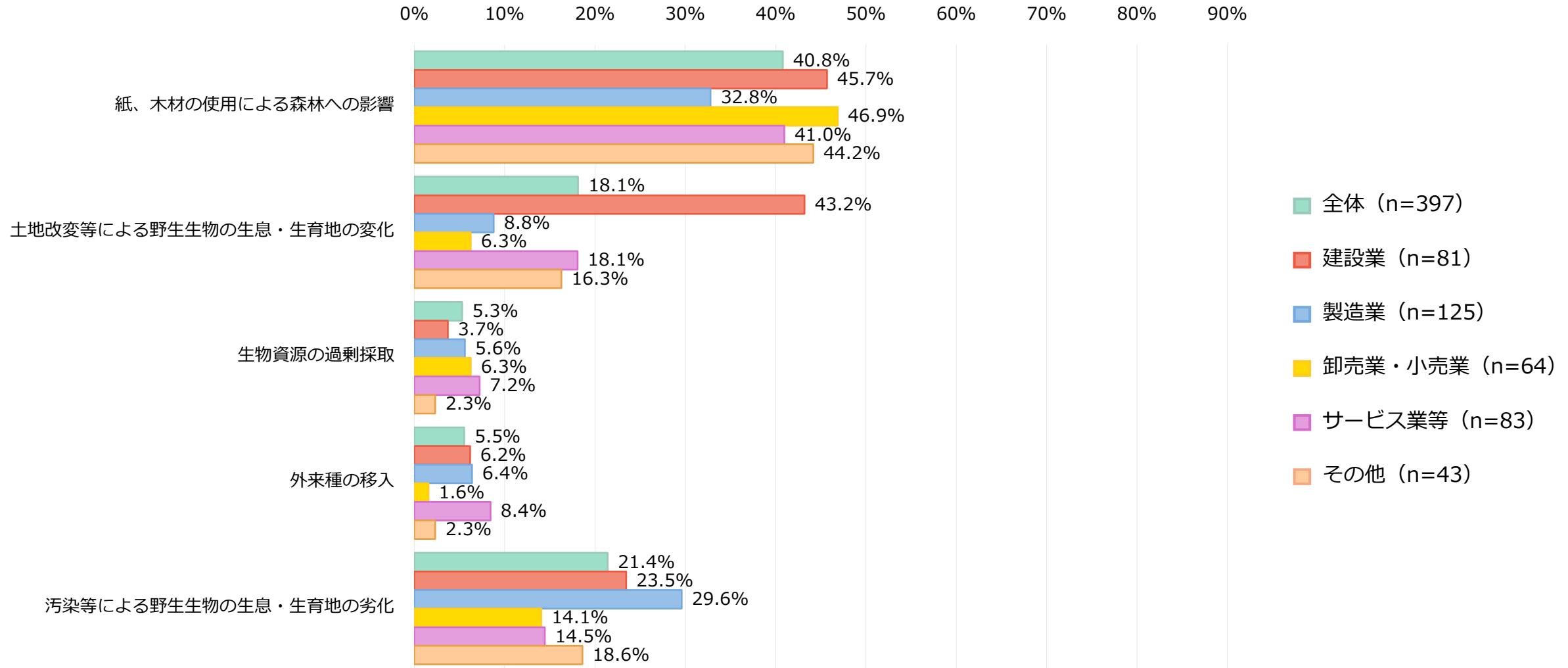


8 事業活動が生物多様性に与える影響

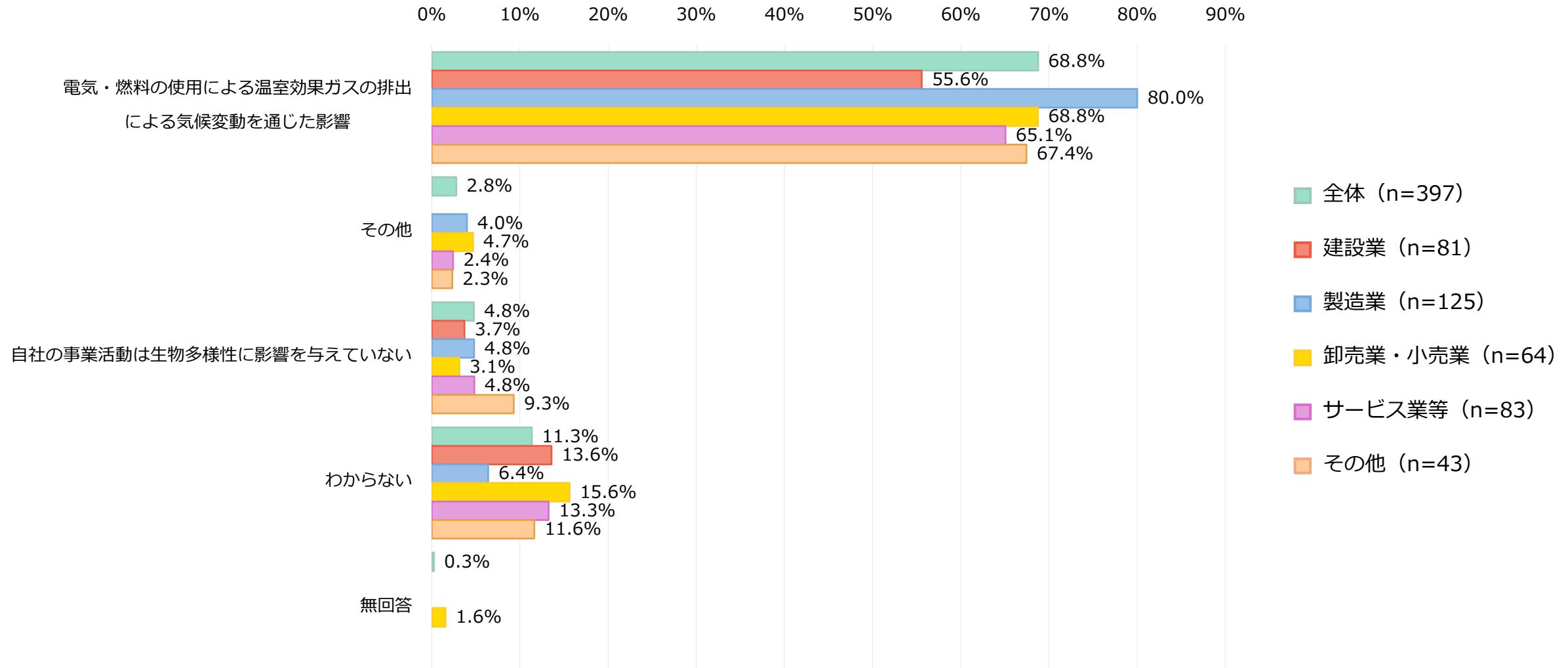
問8 貴社の事業活動が生物多様性に与える影響としてどのようなものが可能性として考えられますか。以下の中からあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 紙、木材の使用による森林への影響
2. 土地改变等による野生生物の生息・生育地の変化（生息・生育地の減少、移動経路の分断、森林伐採による河川流量の減少等）
3. 生物資源の過剰採取（過剰漁獲等による漁業資源の減少等）
4. 外来種の移入（物資の輸送や緑化、養殖における外来種の利用等に伴う移入）
5. 汚染等による野生生物の生息・生育地の劣化（汚染物質の排出等）
6. 電気・燃料の使用による温室効果ガスの排出による気候変動を通じた影響
7. その他（具体的に： ）
8. 自社の事業活動は生物多様性に影響を与えていない
9. わからない

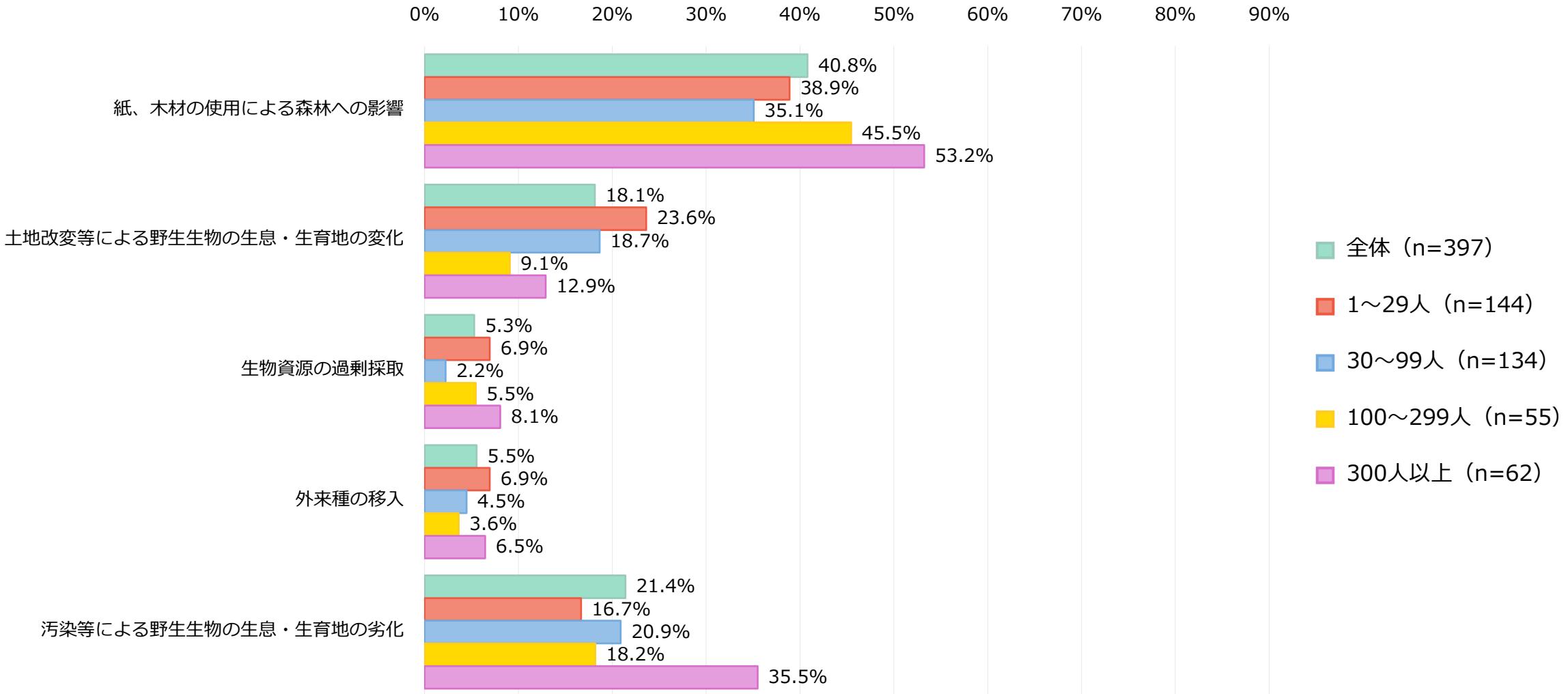
8 事業活動が生物多様性に与える影響（業種別）



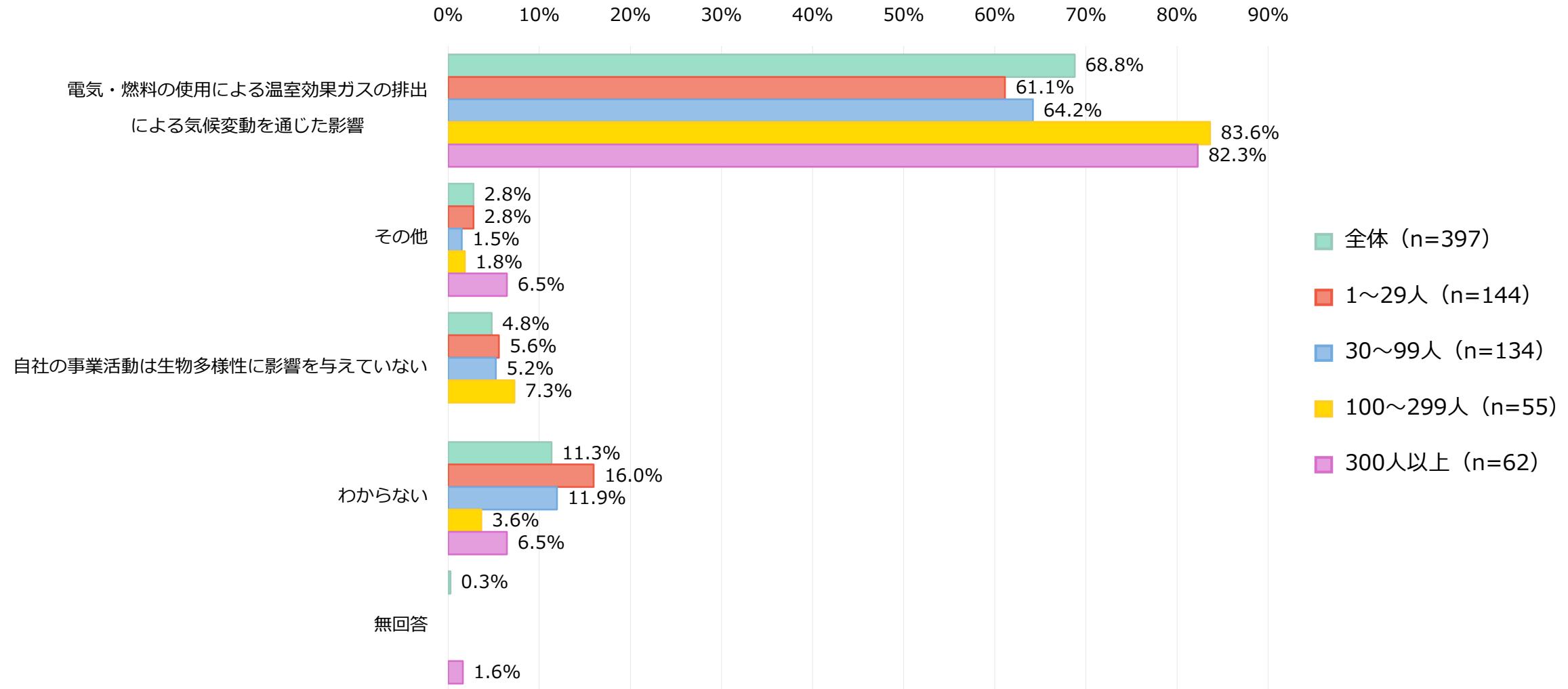
8 事業活動が生物多様性に与える影響（業種別_続き）



8 事業活動が生物多様性に与える影響（全体従業員数別）



8 事業活動が生物多様性に与える影響（全体従業員数別_続き）



8 事業活動が生物多様性に与える影響

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	紙、木材の使用による森林への影響	土地改变等による野生生物の生息・生育地の変化	生物資源の過剰採取	外来種の移入	汚染等による野生生物の生息・生育地の劣化	電気・燃料の使用による温室効果ガスの排出による気候変動を通じた影響	その他	自社の事業活動は生物多様性に影響を与えていない	わからない	無回答
全体		397	40.8%	18.1%	5.3%	5.5%	21.4%	68.8%	2.8%	4.8%	11.3%	0.3%
業種	建設業	81	45.7%	43.2%	3.7%	6.2%	23.5%	55.6%	0.0%	3.7%	13.6%	0.0%
	製造業	125	32.8%	8.8%	5.6%	6.4%	29.6%	80.0%	4.0%	4.8%	6.4%	0.0%
	卸売業・小売業	64	46.9%	6.3%	6.3%	1.6%	14.1%	68.8%	4.7%	3.1%	15.6%	1.6%
	サービス業等	83	41.0%	18.1%	7.2%	8.4%	14.5%	65.1%	2.4%	4.8%	13.3%	0.0%
	その他	43	44.2%	16.3%	2.3%	2.3%	18.6%	67.4%	2.3%	9.3%	11.6%	0.0%
全体の従業員数	1～29人	144	38.9%	23.6%	6.9%	6.9%	16.7%	61.1%	2.8%	5.6%	16.0%	0.0%
	30～99人	134	35.1%	18.7%	2.2%	4.5%	20.9%	64.2%	1.5%	5.2%	11.9%	0.0%
	100～299人	55	45.5%	9.1%	5.5%	3.6%	18.2%	83.6%	1.8%	7.3%	3.6%	0.0%
	300人以上	62	53.2%	12.9%	8.1%	6.5%	35.5%	82.3%	6.5%	0.0%	6.5%	1.6%

8 生物多様性に与える影響

■ 「その他」の回答

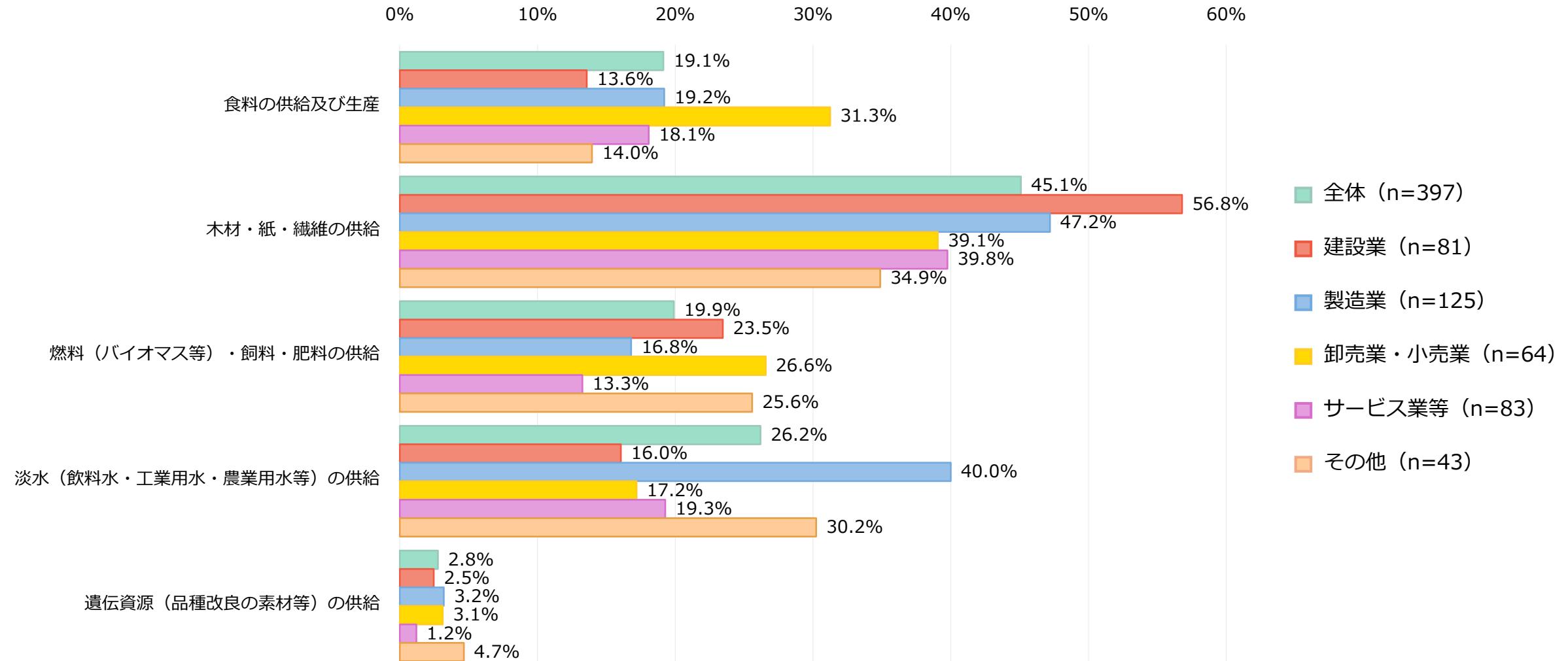
- ・CO₂排出
- ・バニラ、カカオ、シトラスなどの天然原料生産のための農地開拓および栽培による生態系への影響
- ・レジ袋等の海洋プラスチック問題
- ・消耗品全般
- ・水力発電に伴う河川水の取水による生物への影響
- ・投融資先による間接的な影響
- ・農薬の使用

9 事業活動が受けている自然の恵み

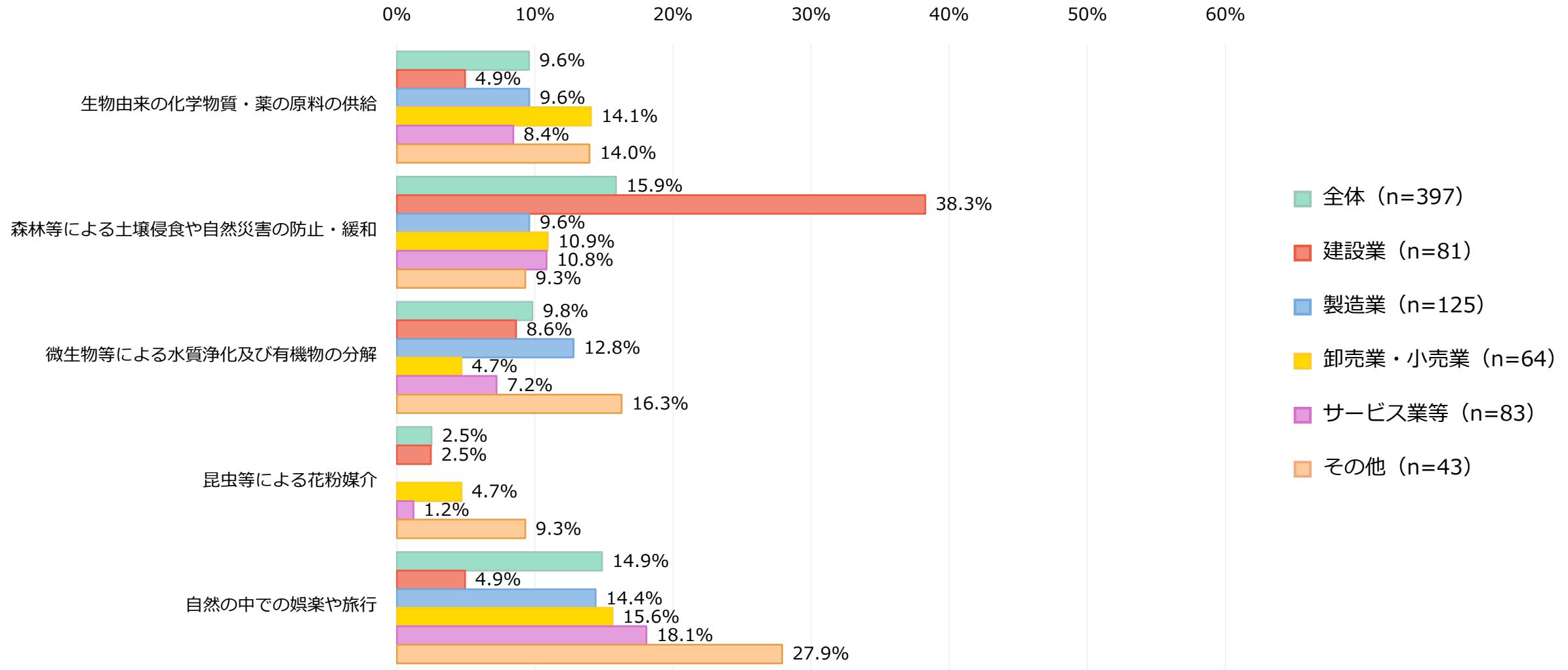
問9 貴社の事業活動は、どのような自然の恵み（生態系サービス）を受けているとお考えですか。
以下のなかあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 食料の供給及び生産
2. 木材・紙・纖維の供給
3. 燃料（バイオマス等）・飼料・肥料の供給
4. 淡水（飲料水、工業用水、農業用水等）の供給
5. 遺伝資源（品種改良の素材等）の供給
6. 生物由来の化学物質・薬の原料の供給
7. 森林等による土壌侵食や自然災害の防止・緩和
8. 微生物等による水質浄化及び有機物の分解
9. 昆虫等による花粉媒介
10. 自然の中での娯楽や旅行
11. その他（具体的に： ）
12. 自社の事業活動は自然の恵み（生態系サービス）を受けていない
13. わからない

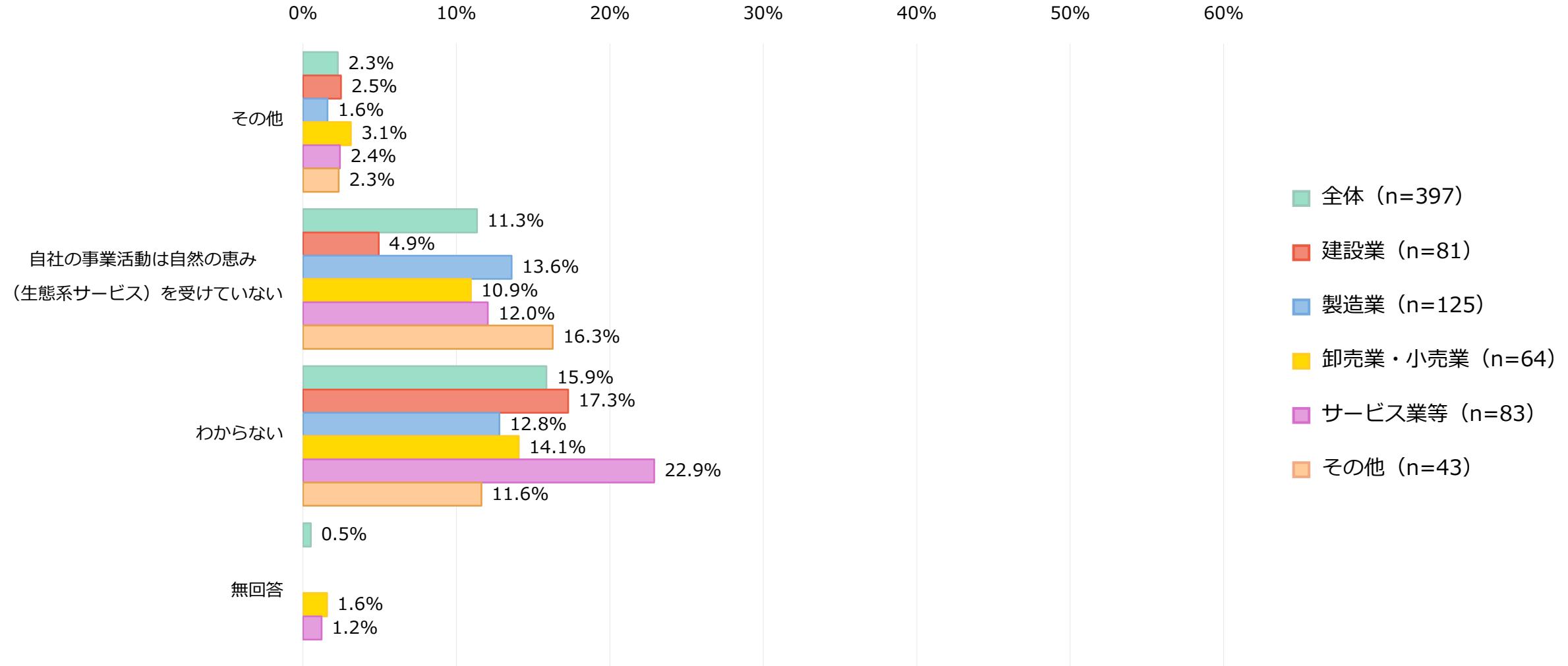
9 事業活動が受けている自然の恵み（業種別）



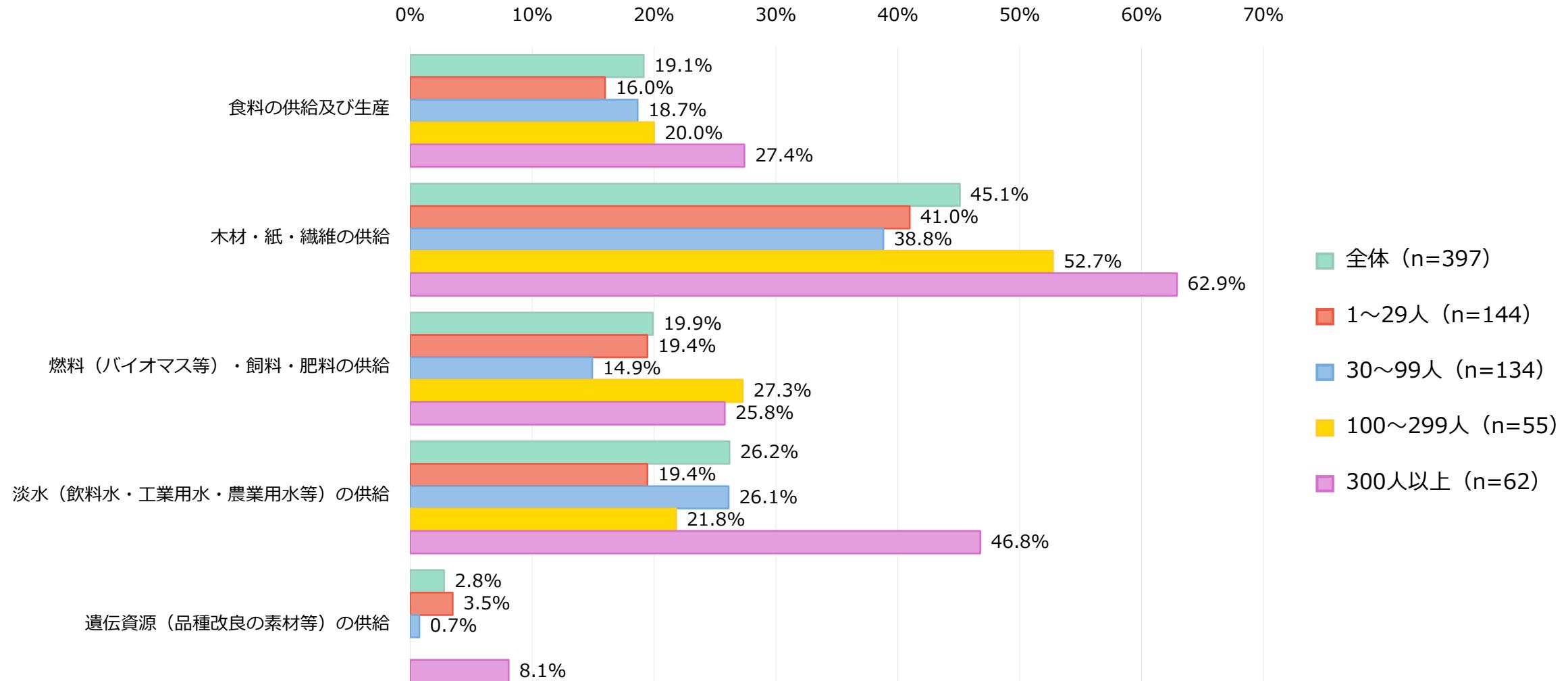
9 事業活動が受けている自然の恵み（業種別_続き）



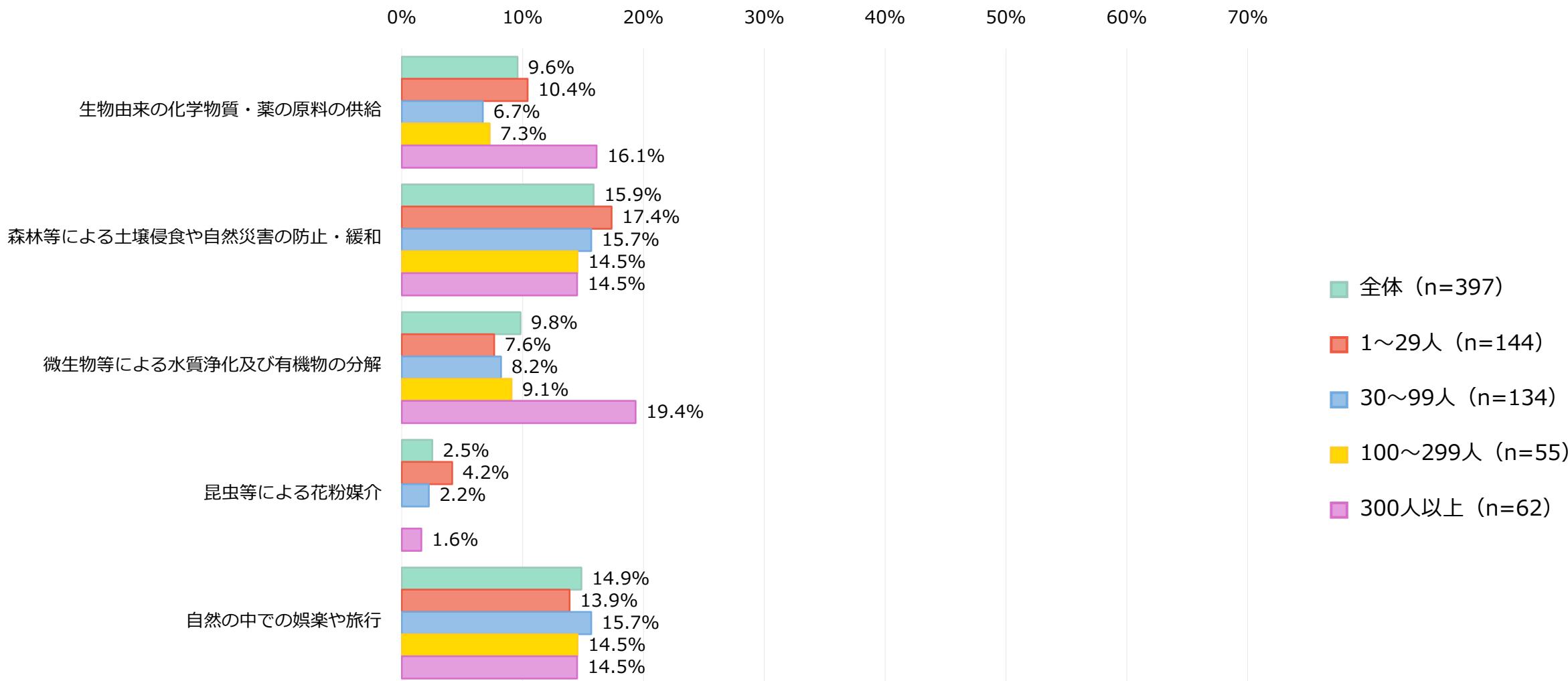
9 事業活動が受けている自然の恵み（業種別_続き）



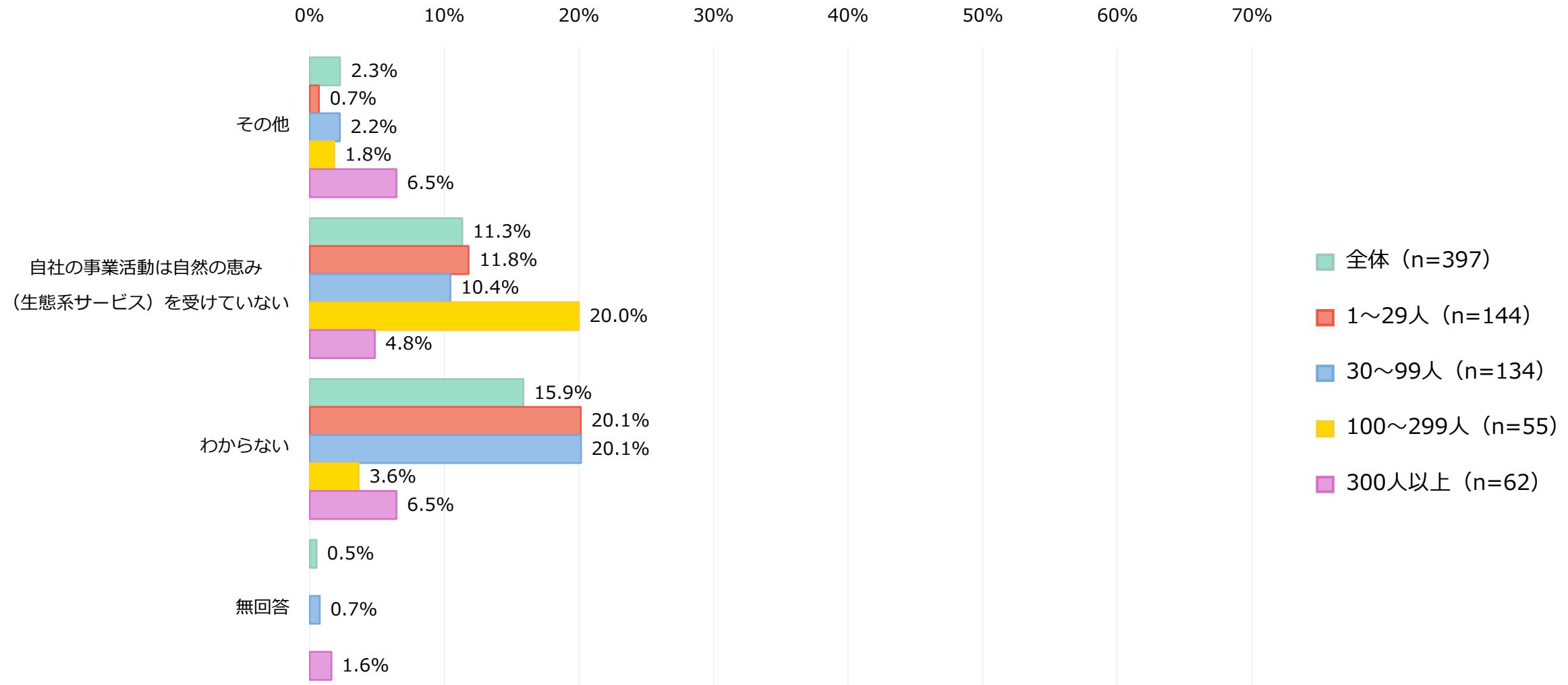
9 事業活動が受けている自然の恵み（全体従業員数別）



9 事業活動が受けている自然の恵み（全体従業員数別_続き）



9 事業活動が受けている自然の恵み（全体従業員数別_続き）



9 事業活動が受けている自然の恵み

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	食料の供給及び生産	木材・紙・繊維の供給	燃料（バイオマス等）・飼料・肥料の供給	淡水（飲料水・工業用水・農業用水等）の供給	遺伝資源（品種改良の素材等）の供給	生物由来の化学物質・薬の原料の供給	森林等による土壤侵食や自然災害の防止・緩和
全体	397	19.1%	45.1%	19.9%	26.2%	2.8%	9.6%	15.9%	
業種	建設業	81	13.6%	56.8%	23.5%	16.0%	2.5%	4.9%	38.3%
	製造業	125	19.2%	47.2%	16.8%	40.0%	3.2%	9.6%	9.6%
	卸売業・小売業	64	31.3%	39.1%	26.6%	17.2%	3.1%	14.1%	10.9%
	サービス業等	83	18.1%	39.8%	13.3%	19.3%	1.2%	8.4%	10.8%
	その他	43	14.0%	34.9%	25.6%	30.2%	4.7%	14.0%	9.3%
全体の従業員数	1～29人	144	16.0%	41.0%	19.4%	19.4%	3.5%	10.4%	17.4%
	30～99人	134	18.7%	38.8%	14.9%	26.1%	0.7%	6.7%	15.7%
	100～299人	55	20.0%	52.7%	27.3%	21.8%	0.0%	7.3%	14.5%
	300人以上	62	27.4%	62.9%	25.8%	46.8%	8.1%	16.1%	14.5%

9

事業活動が受けている自然の恵み（続き）

全体+10.0ポイント以上
全体+5.0～9.9ポイント
全体-5.0～9.9ポイント
全体-10.0ポイント以上

		合計	微生物等による水質浄化及び有機物の分解	昆虫等による花粉媒介	自然の中での娯楽や旅行	その他	自社の事業活動は自然の恵み（生態系サービス）を受けていない	わからない	無回答
全体		397	9.8%	2.5%	14.9%	2.3%	11.3%	15.9%	0.5%
業種	建設業	81	8.6%	2.5%	4.9%	2.5%	4.9%	17.3%	0.0%
	製造業	125	12.8%	0.0%	14.4%	1.6%	13.6%	12.8%	0.0%
	卸売業・小売業	64	4.7%	4.7%	15.6%	3.1%	10.9%	14.1%	1.6%
	サービス業等	83	7.2%	1.2%	18.1%	2.4%	12.0%	22.9%	1.2%
	その他	43	16.3%	9.3%	27.9%	2.3%	16.3%	11.6%	0.0%
全体の従業員数	1～29人	144	7.6%	4.2%	13.9%	0.7%	11.8%	20.1%	0.0%
	30～99人	134	8.2%	2.2%	15.7%	2.2%	10.4%	20.1%	0.7%
	100～299人	55	9.1%	0.0%	14.5%	1.8%	20.0%	3.6%	0.0%
	300人以上	62	19.4%	1.6%	14.5%	6.5%	4.8%	6.5%	1.6%

9 事業活動が受けている自然の恵み（続き）

■ 「その他」の回答

- ・バニラ、カカオ、シトラスなどの天然原料の供給
- ・稻作・麦作
- ・温泉を地下から
- ・間接的に河川の利用
- ・川床から湧出する源泉
- ・天然粘土鉱物の採掘・生産・販売
- ・投融資先への間接的な恩恵

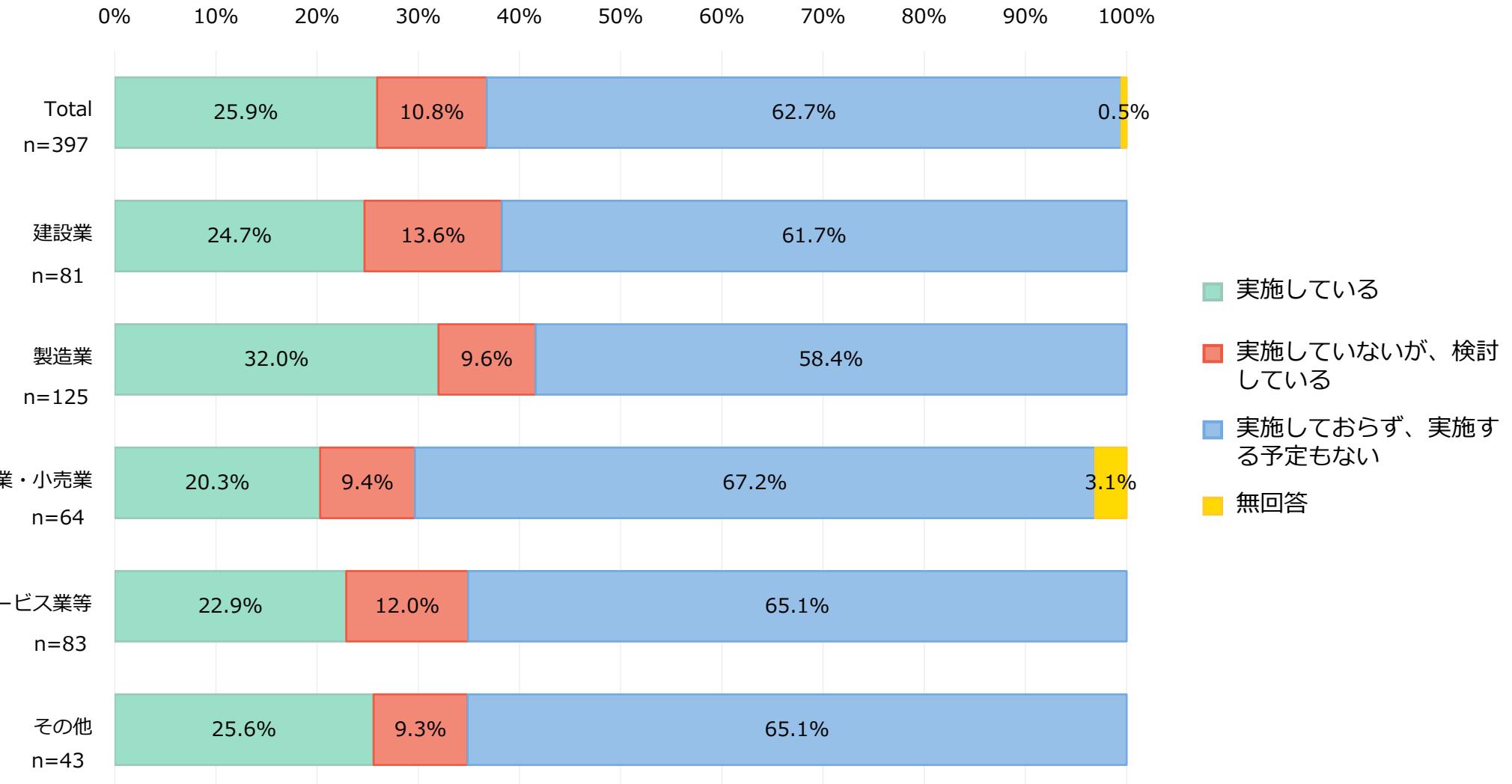
10 生物多様性に関する取組

問10 貴社では、何らかの生物多様性に関する取組※を実施していますか。以下の中からあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

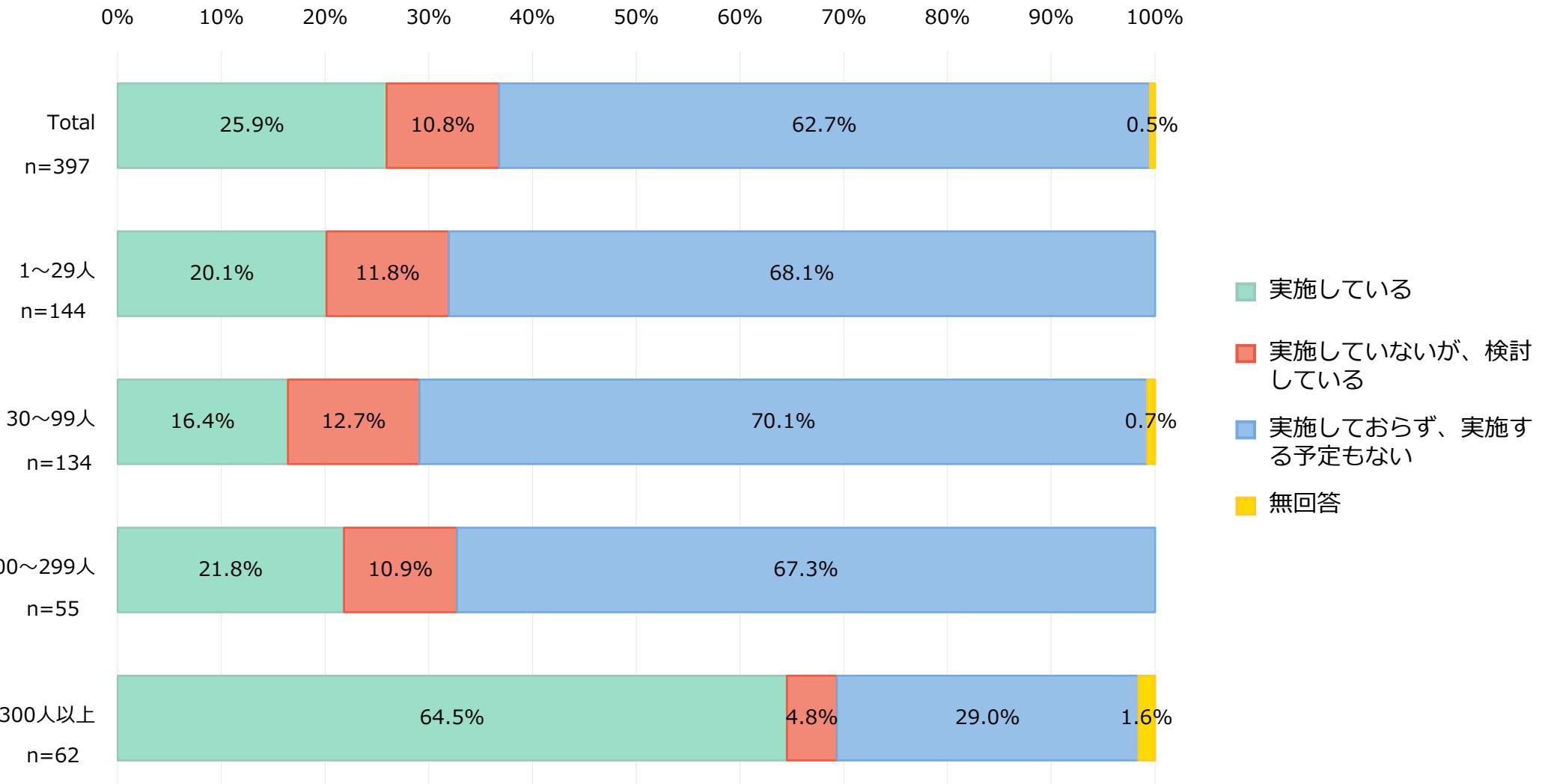
※方針や目標の設定、環境マネジメントシステム・情報公開・環境教育への生物多様性の組み込み、事業活動における取組、社会貢献活動等を含めてお答えください。

1. 実施している
 2. 実施していないが、検討している
 3. 実施しておらず、実施する予定もない
- ⇒ 問11へ

10 生物多様性に関する取組（業種別）



10 生物多様性に関する取組（従業員数別）



11 生物多様性に関して現在実施・予定している取組

問11 生物多様性に関して貴社が（1）現在実施している取組、（2）現在は実施していないが、今後実施を予定・検討している取組について、以下の中からあてはまるもの全ての欄に○をつけてください。

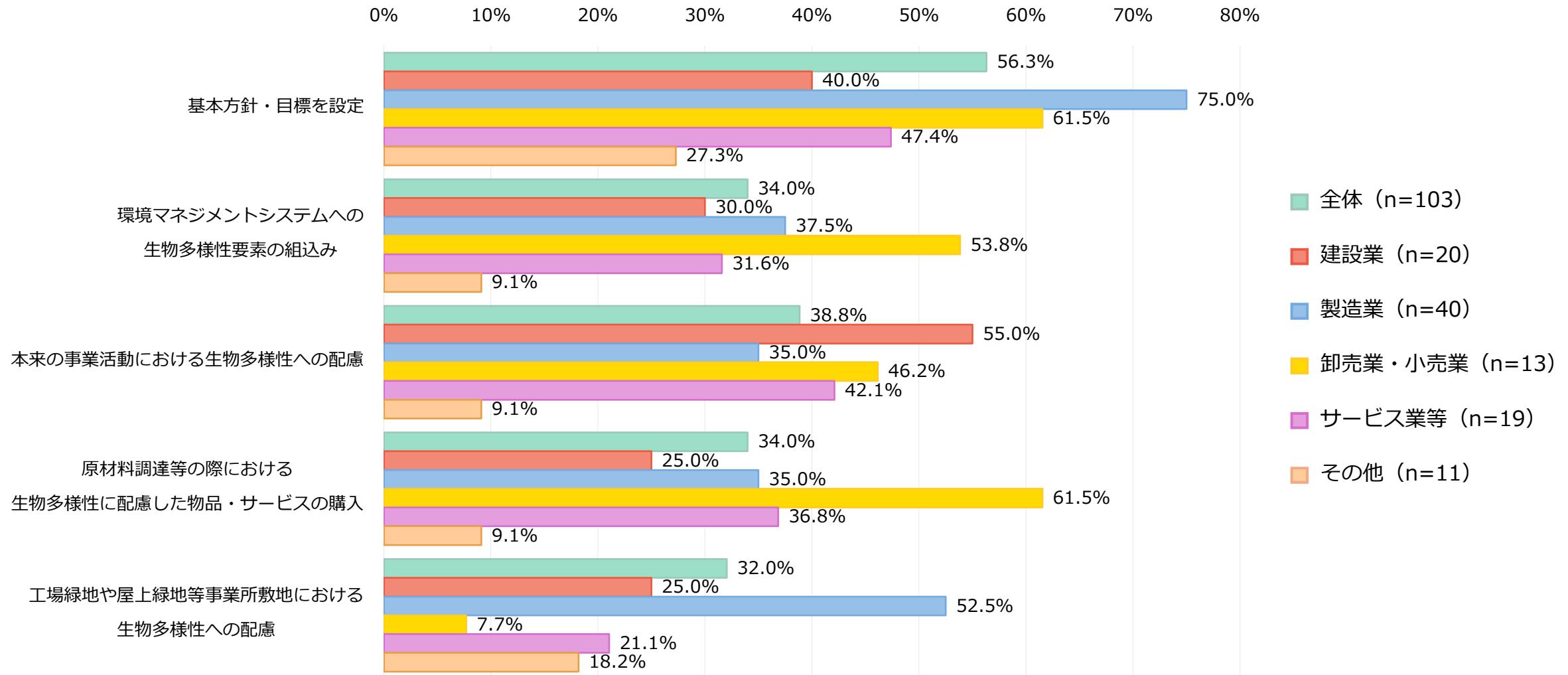
※問10で「2.実施していないが、検討している」を選択した方は（1）実施している取組の欄には○をつけないでください。

	(1) 実施している取組	(2) 実施を予定・検討している取組
【ご記入例】 ① 基本方針・目標を設定 ►	○	
●自社の事業活動における取組		
① 基本方針・目標を設定		
② 環境マネジメントシステムへの生物多様性要素の組込み		
③ 本来の事業活動における生物多様性への配慮		
④ 原材料調達等の際ににおける生物多様性に配慮した物品・サービスの購入		
⑤ 工場緑地や屋上緑地等事業所敷地における生物多様性への配慮		
⑥ 事業所敷地・所有地の「自然共生サイト」への登録（申請準備を含む）		
⑦ 生物多様性を含めた環境保全に関する社内教育		

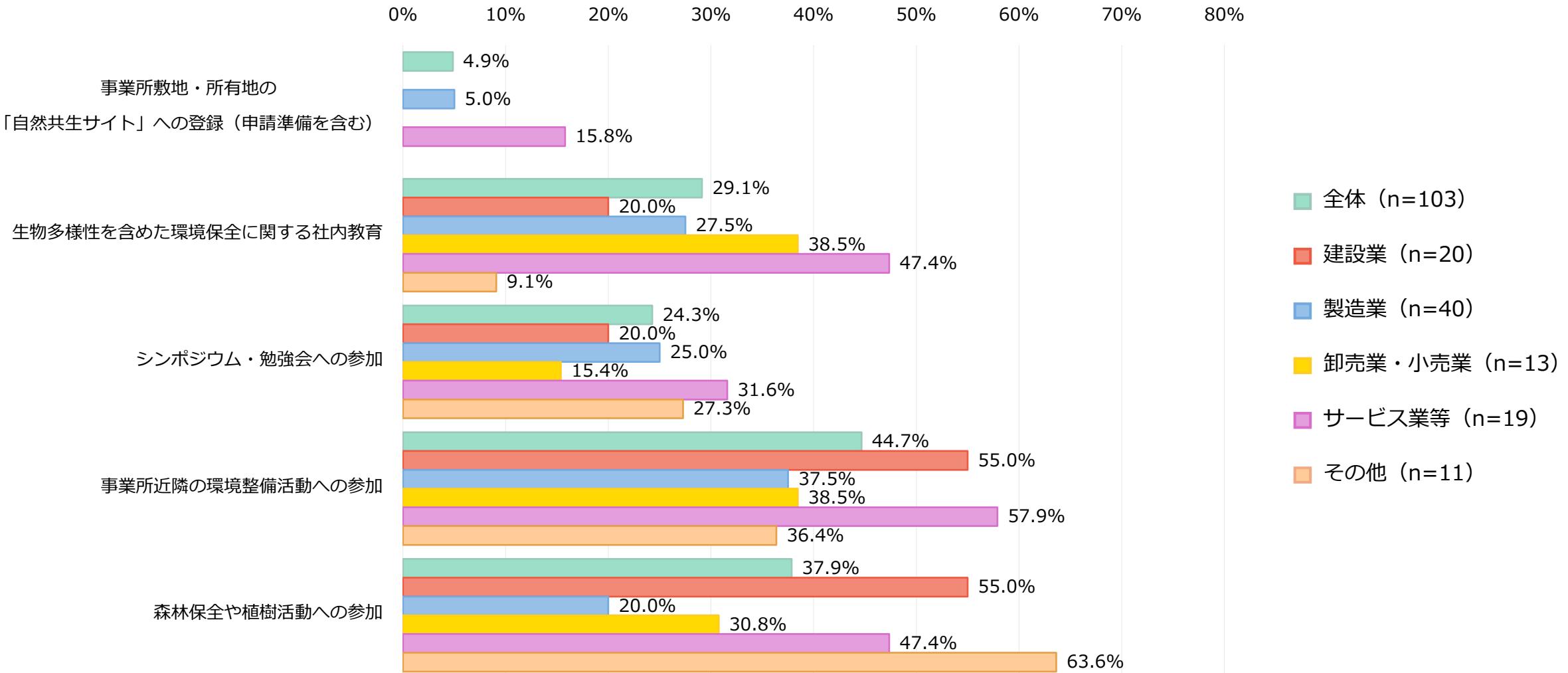
11 生物多様性に関して現在実施・予定している取組

	(1) 実施している取組	(2) 実施を予定・検討している取組
●他者が主催する生物多様性に関する活動への参加		
⑧ シンポジウム・勉強会への参加		
⑨ 事業所近隣の環境整備活動への参加		
⑩ 森林保全や植樹活動への参加		
⑪ 河川や湖沼など水辺の保全活動への参加		
⑫ 他者の「自然共生サイト」登録の取組への支援（活動への参加、資金、技術提供等）		
●主催者又は共催者の一員として生物多様性に関する活動を実施		
⑬ 子どもを対象とした環境教育の実施		
⑭ シンポジウム・勉強会等の普及啓発活動の実施		
⑮ エコツアーなどの実施		
⑯ 事業所やその近隣の環境整備の実施		
⑰ 河川や湖沼など水辺の保全活動の実施		
⑱ 森林保全や植樹活動の実施		
⑲ 活動団体等の支援（資金・技術提供等）		
⑳ その他（具体的に： ）		

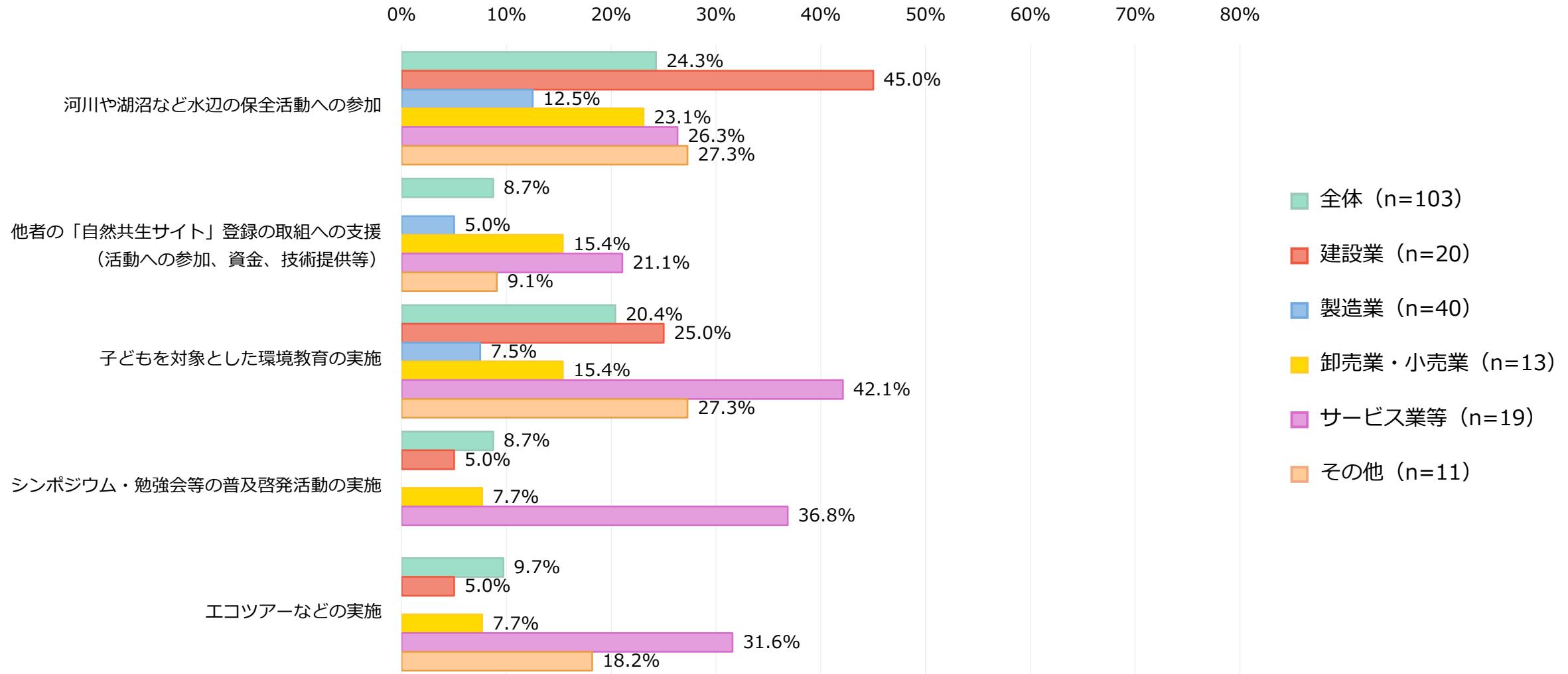
11-1 生物多様性に関して現在実施している取組（業種別）



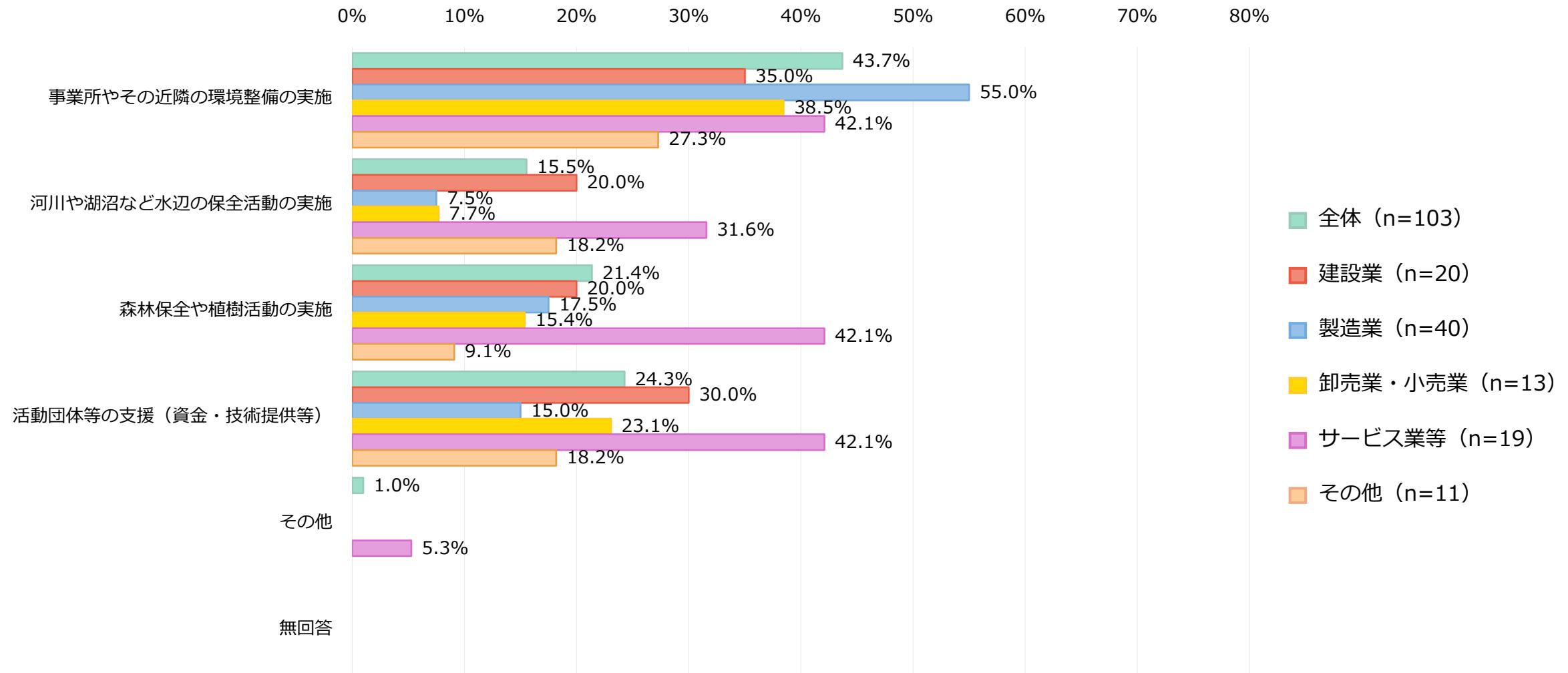
11-1 生物多様性に関して現在実施している取組（業種別_続き）



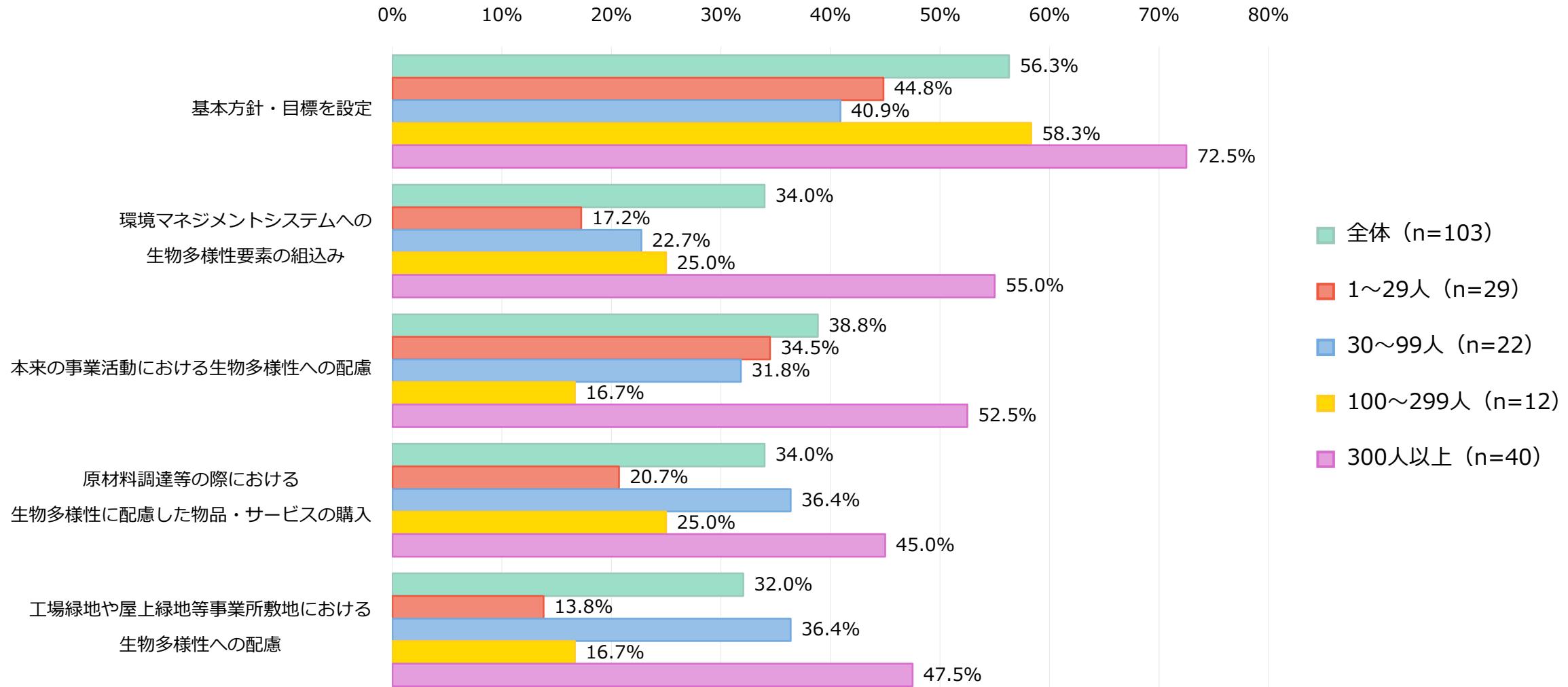
11-1 生物多様性に関して現在実施している取組（業種別_続き）



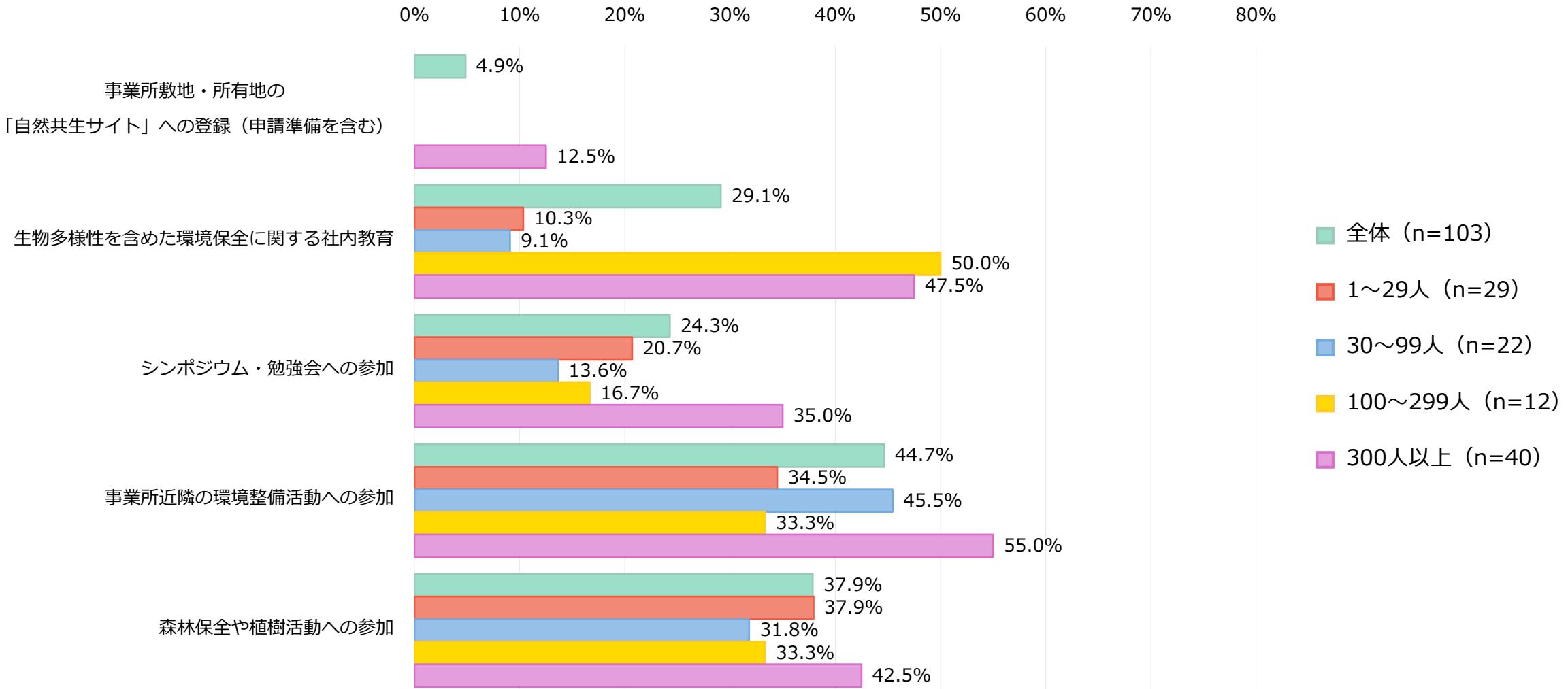
11-1 生物多様性に関して現在実施している取組（業種別_続き）



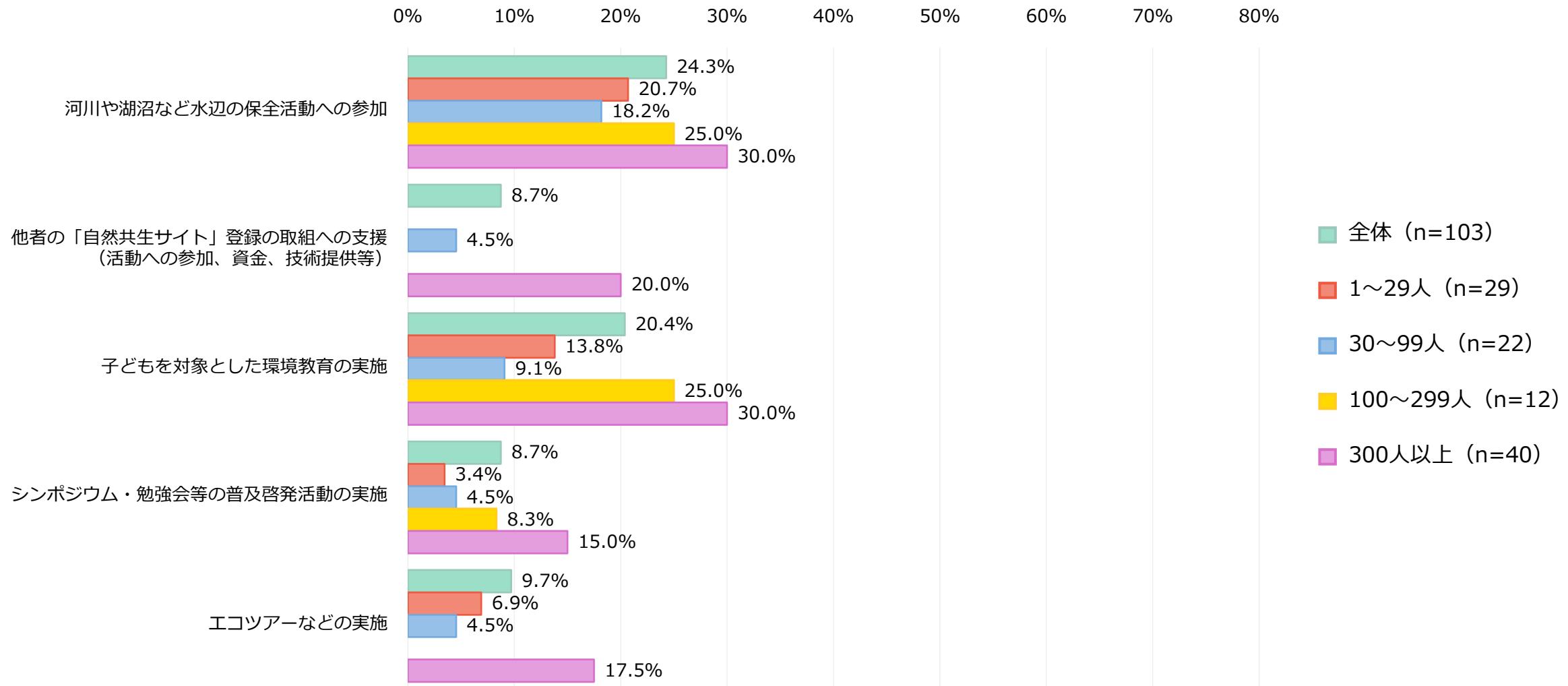
11-1 生物多様性に関して現在実施している取組（全体従業員数別）



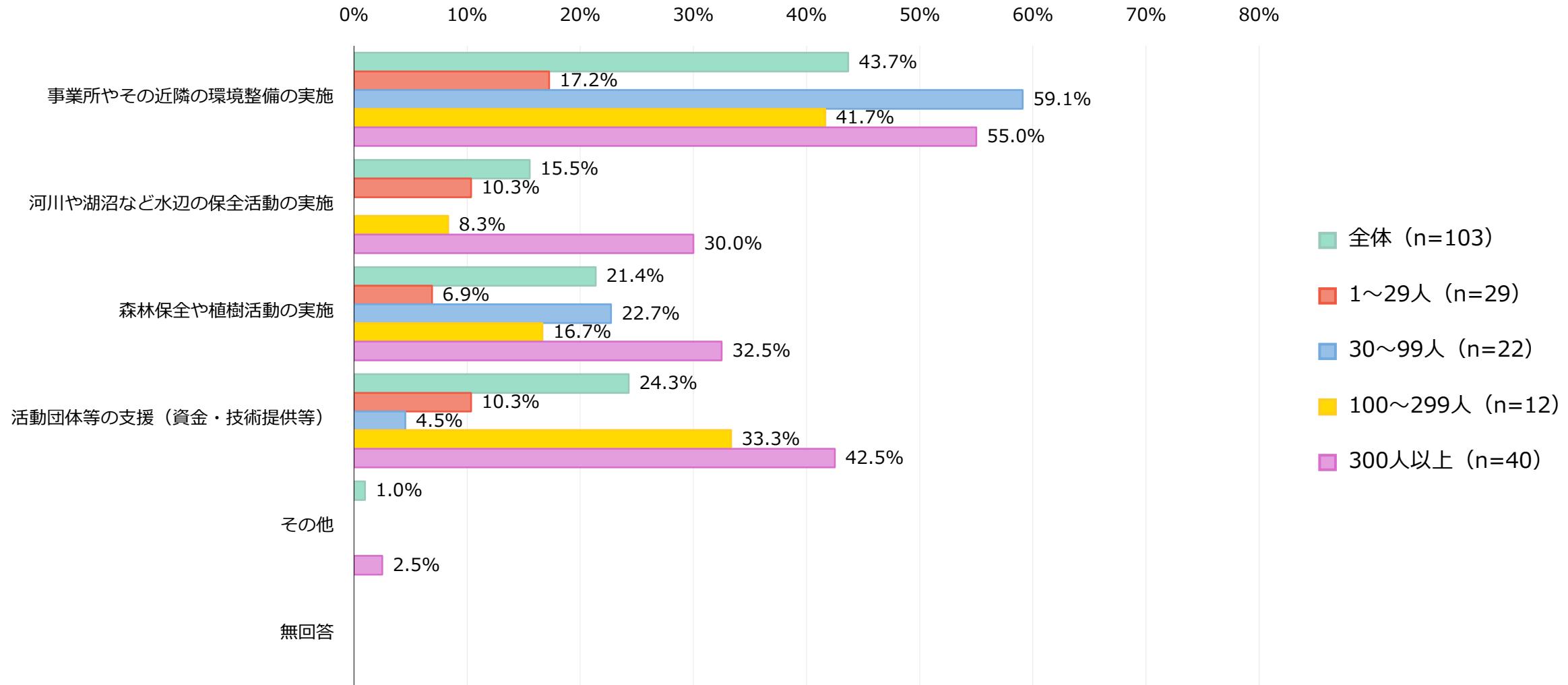
11-1 生物多様性に関して現在実施している取組（全体従業員数別_続き）



11-1 生物多様性に関して現在実施している取組（全体従業員数別_続き）



11-1 生物多様性に関して現在実施している取組（全体従業員数別_続き）



11-1 生物多様性に関して現在実施している取組

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

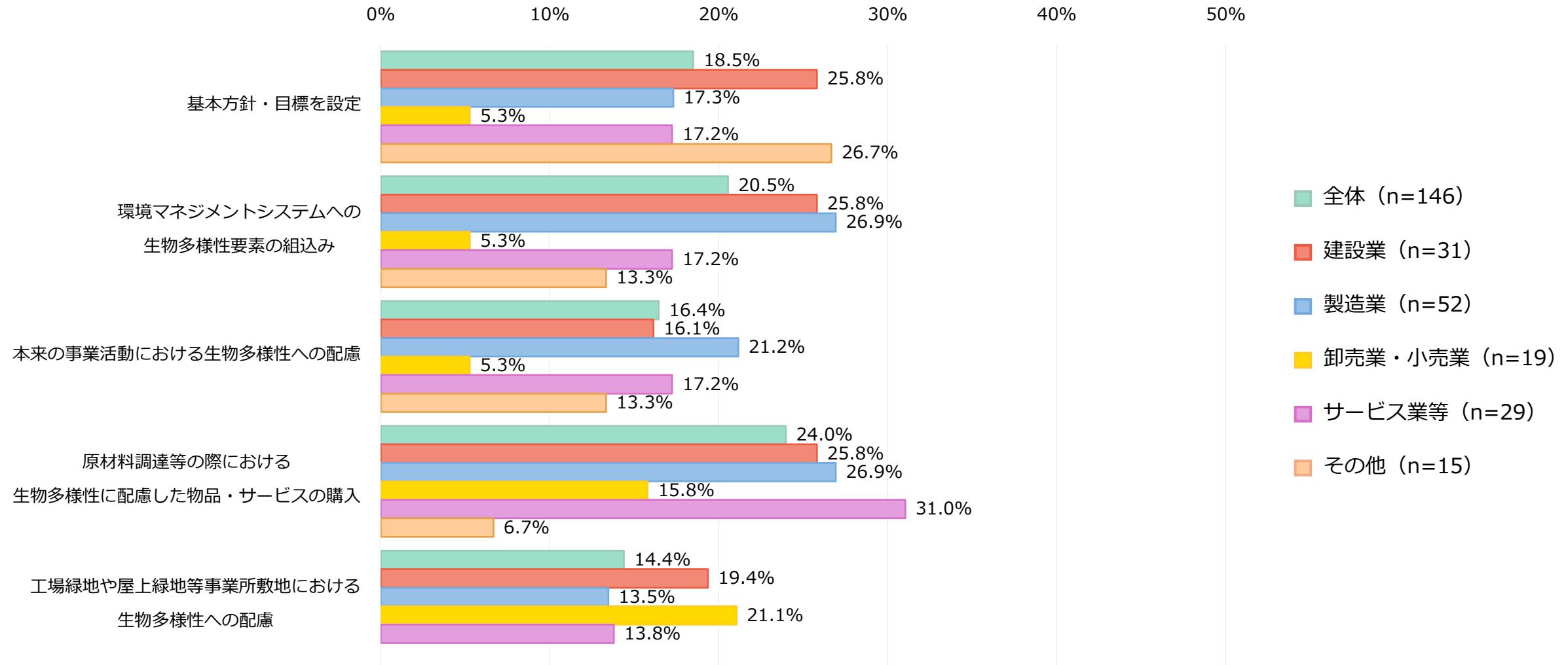
		合計	基本方針・目標を設定	環境マネジメントシステムへの生物多様性要素の組込み	本来の事業活動における生物多様性への配慮	原材料調達等の際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入	工場緑地や屋上緑地等事業所敷地における生物多様性への配慮	事業所敷地・所有地の「自然共生サイト」への登録（申請準備を含む）	生物多様性を含めた環境保全に関する社内教育	シンポジウム・勉強会への参加	事業所近隣の環境整備活動への参加	森林保全や植樹活動への参加
全体	103	56.3%	34.0%	38.8%	34.0%	32.0%	4.9%	29.1%	24.3%	44.7%	37.9%	
業種	建設業	20	40.0%	30.0%	55.0%	25.0%	25.0%	0.0%	20.0%	20.0%	55.0%	55.0%
	製造業	40	75.0%	37.5%	35.0%	35.0%	52.5%	5.0%	27.5%	25.0%	37.5%	20.0%
	卸売業・小売業	13	61.5%	53.8%	46.2%	61.5%	7.7%	0.0%	38.5%	15.4%	38.5%	30.8%
	サービス業等	19	47.4%	31.6%	42.1%	36.8%	21.1%	15.8%	47.4%	31.6%	57.9%	47.4%
	その他	11	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%	27.3%	36.4%	63.6%
全体の従業員数	1~29人	29	44.8%	17.2%	34.5%	20.7%	13.8%	0.0%	10.3%	20.7%	34.5%	37.9%
	30~99人	22	40.9%	22.7%	31.8%	36.4%	36.4%	0.0%	9.1%	13.6%	45.5%	31.8%
	100~299人	12	58.3%	25.0%	16.7%	25.0%	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	33.3%	33.3%
	300人以上	40	72.5%	55.0%	52.5%	45.0%	47.5%	12.5%	47.5%	35.0%	55.0%	42.5%

11-1 生物多様性に関して現在実施している取組（続き）

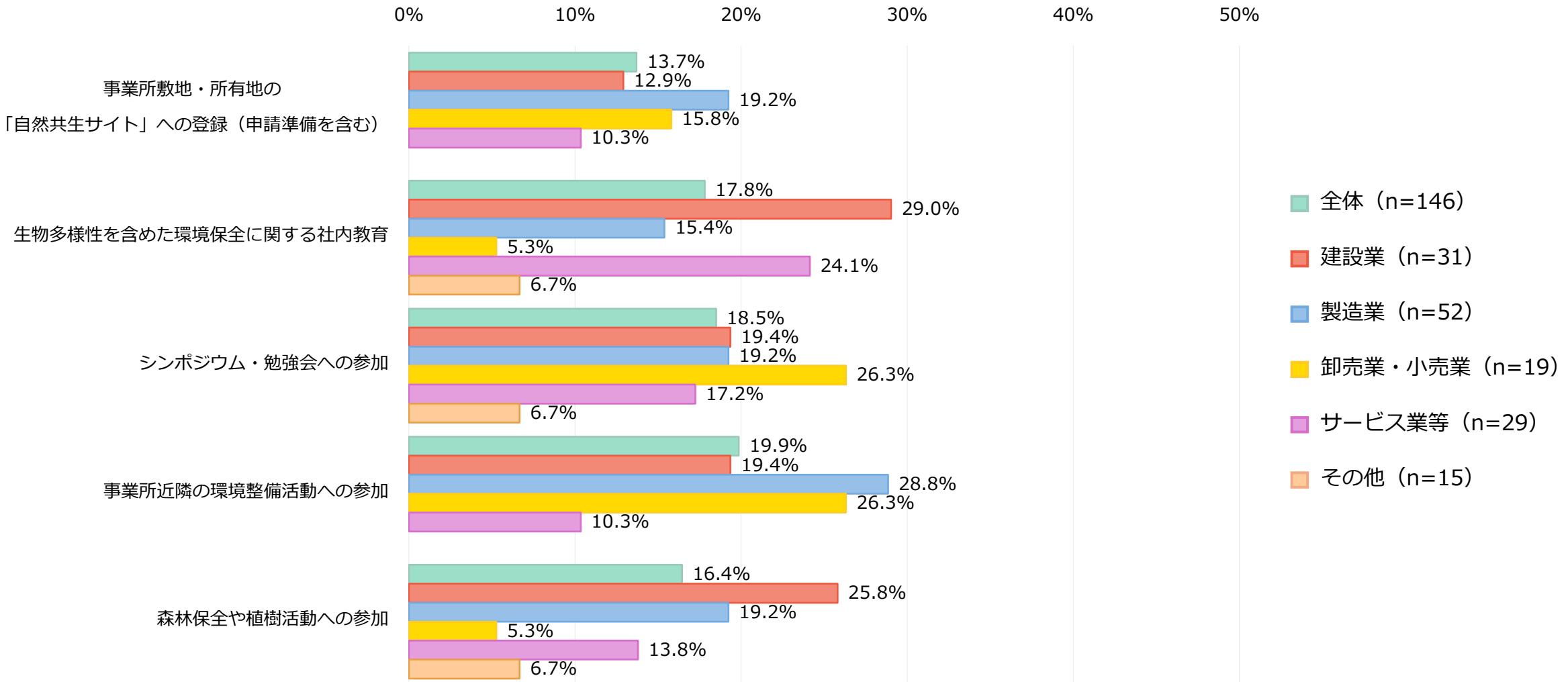
	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	河川や湖沼など水辺の保全活動への参加	他者の「自然共生サイト」登録の取組への支援（活動への参加、資金、技術提供等）	子どもを対象とした環境教育の実施	シンポジウム・勉強会等の普及啓発活動の実施	エコツアーナなどの実施	事業所やその近隣の環境整備の実施	河川や湖沼など水辺の保全活動の実施	森林保全や植樹活動の実施	活動団体等の支援（資金・技術提供等）	その他	無回答
全体		103	24.3%	8.7%	20.4%	8.7%	9.7%	43.7%	15.5%	21.4%	24.3%	1.0%	0.0%
業種	建設業	20	45.0%	0.0%	25.0%	5.0%	5.0%	35.0%	20.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	製造業	40	12.5%	5.0%	7.5%	0.0%	0.0%	55.0%	7.5%	17.5%	15.0%	0.0%	0.0%
	卸売業・小売業	13	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	38.5%	7.7%	15.4%	23.1%	0.0%	0.0%
	サービス業等	19	26.3%	21.1%	42.1%	36.8%	31.6%	42.1%	31.6%	42.1%	42.1%	5.3%	0.0%
	その他	11	27.3%	9.1%	27.3%	0.0%	18.2%	27.3%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%
全体の従業員数	1～29人	29	20.7%	0.0%	13.8%	3.4%	6.9%	17.2%	10.3%	6.9%	10.3%	0.0%	0.0%
	30～99人	22	18.2%	4.5%	9.1%	4.5%	4.5%	59.1%	0.0%	22.7%	4.5%	0.0%	0.0%
	100～299人	12	25.0%	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	41.7%	8.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	300人以上	40	30.0%	20.0%	30.0%	15.0%	17.5%	55.0%	30.0%	32.5%	42.5%	2.5%	0.0%

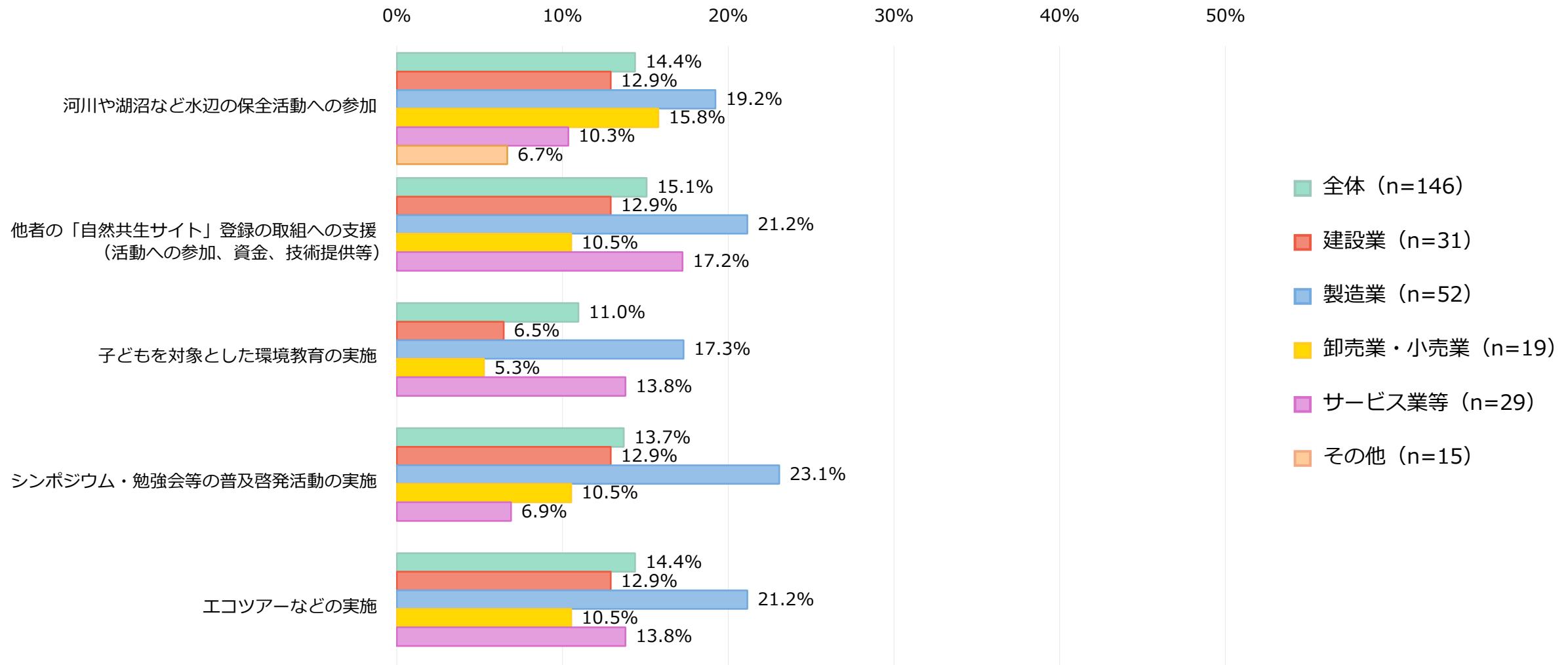
11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（業種別）



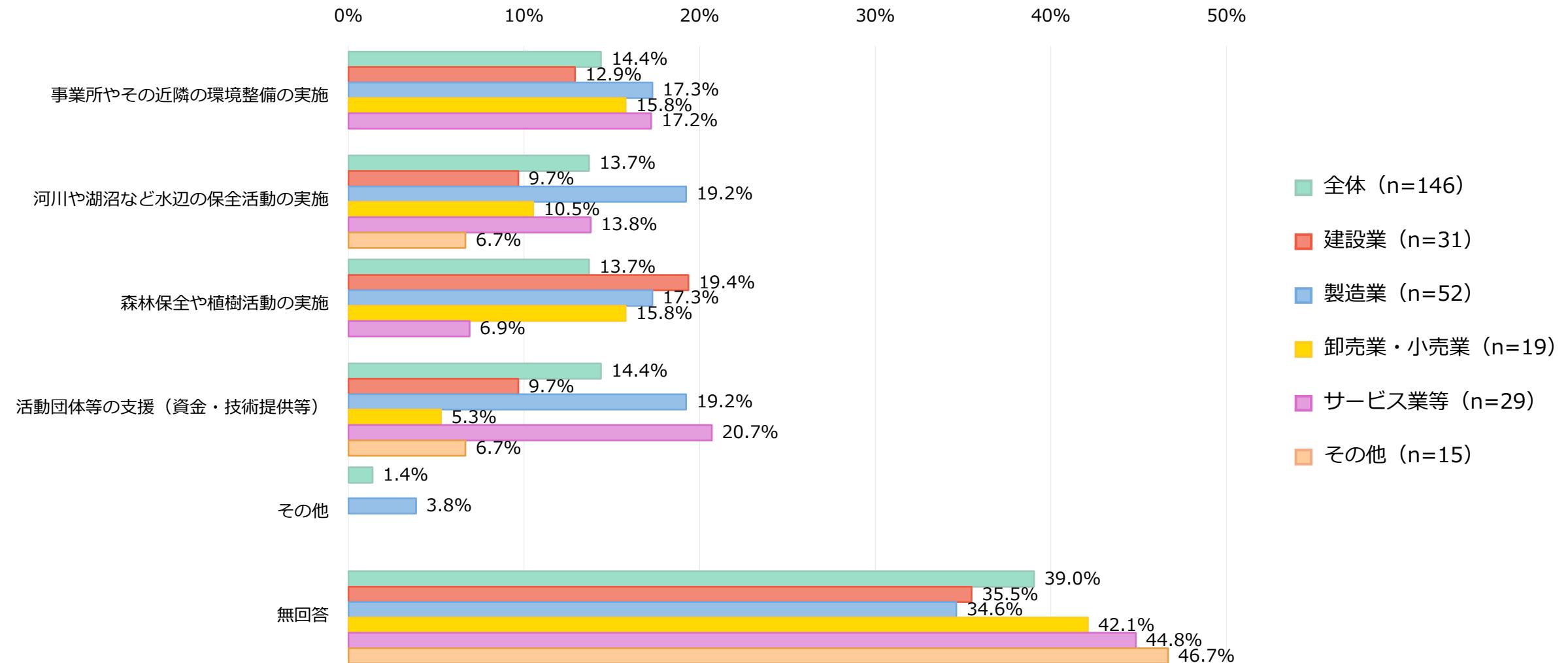
11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（業種別_続き）



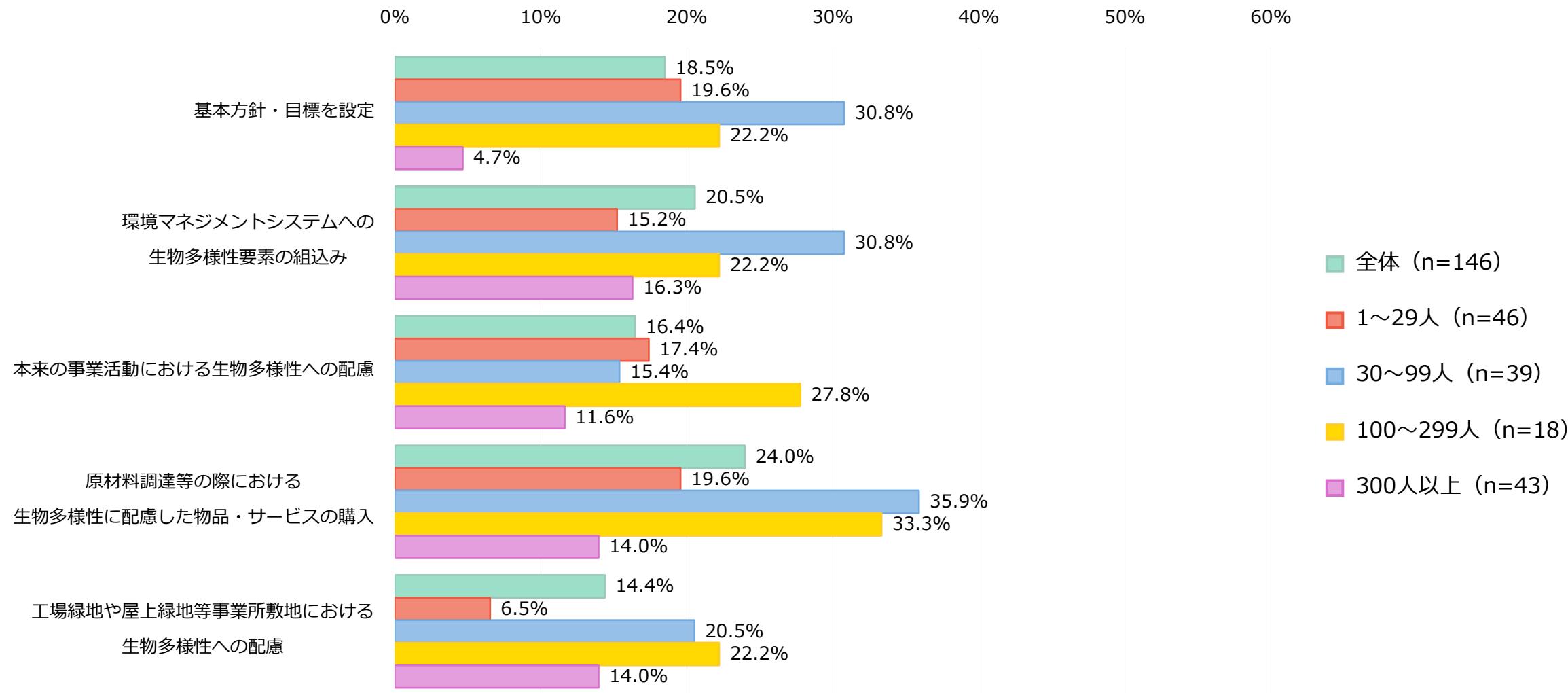
11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（業種別_続き）



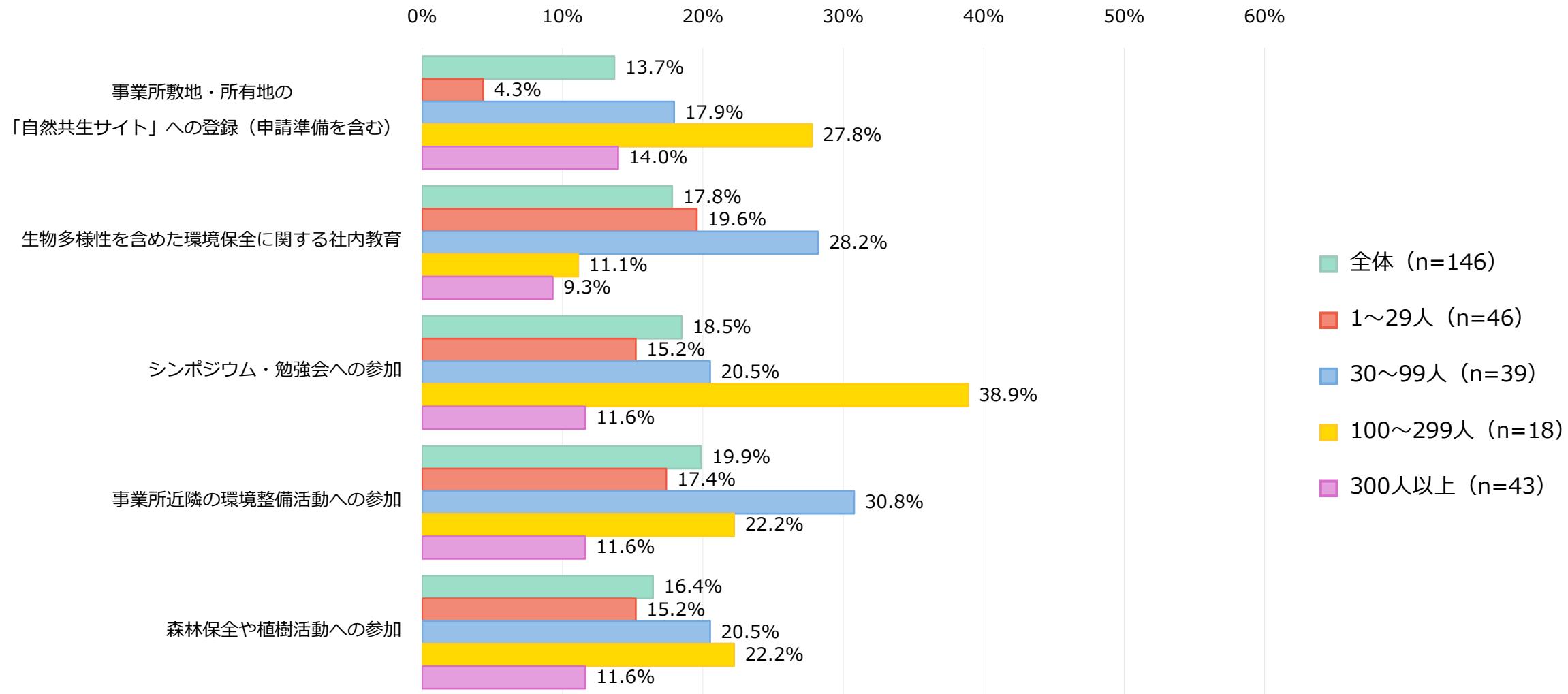
11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（業種別_続き）



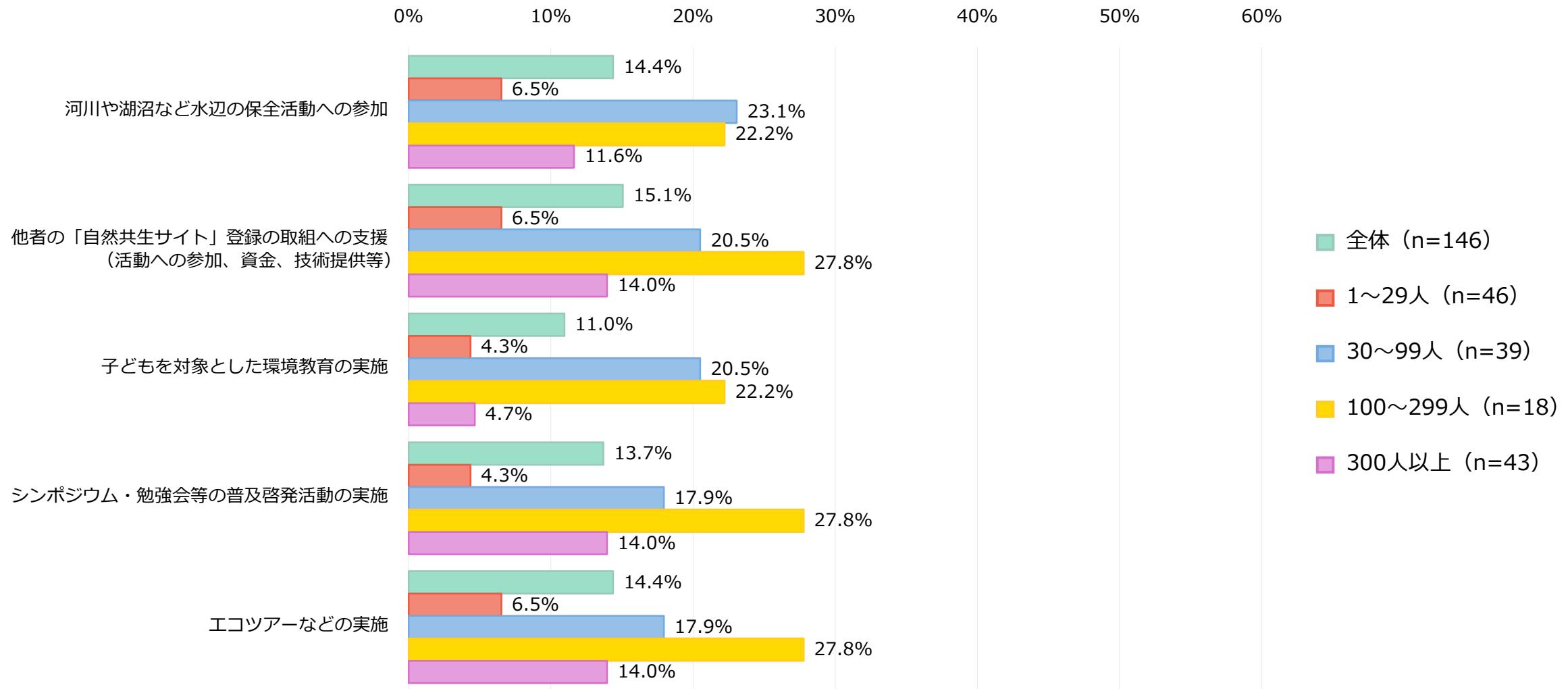
11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（従業員数別）



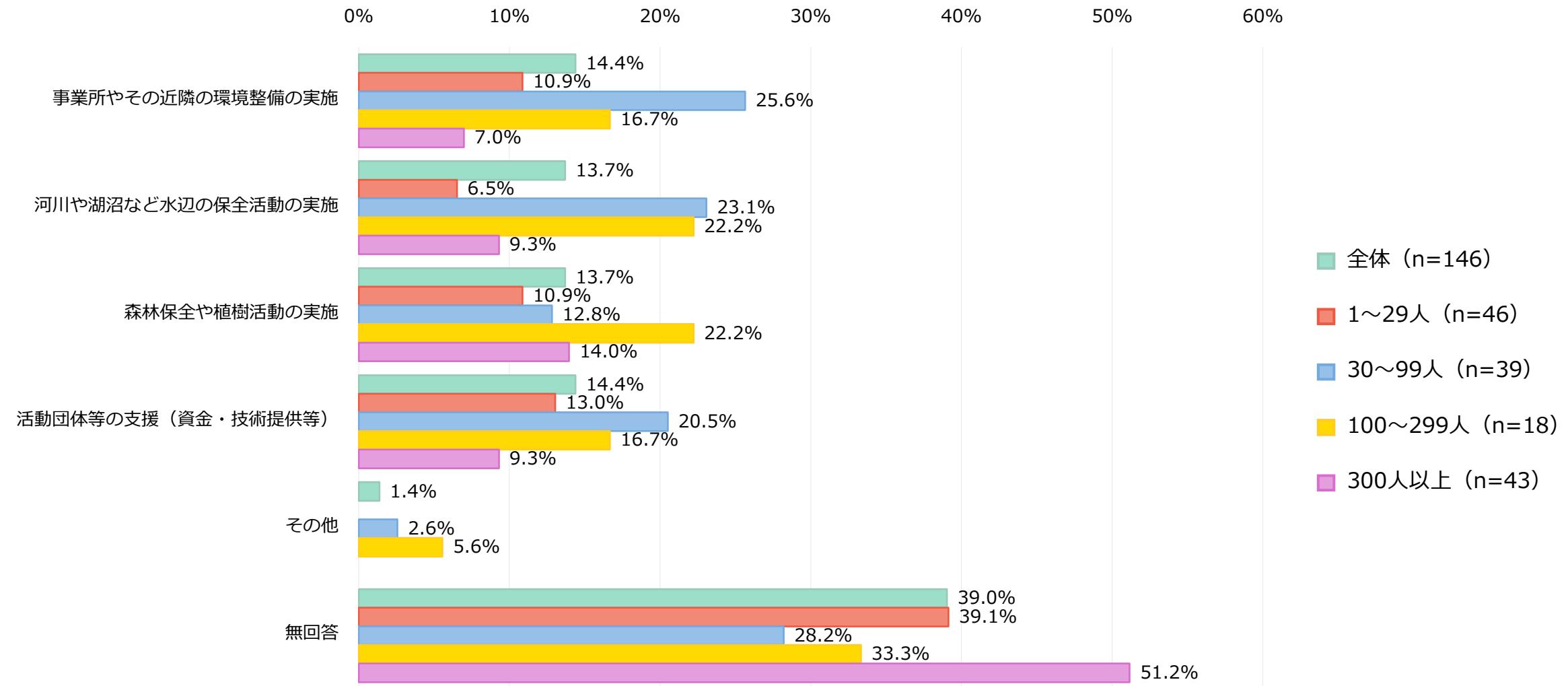
11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（従業員数別_続き）



11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（従業員数別_続き）



11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（従業員数別_続き）



2 事業者アンケート調査

資料編

11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	基本方針・目標を設定	環境マネジメントシステムへの生物多様性要素の組込み	本来の事業活動における生物多様性への配慮	原材料調達等の際ににおける生物多様性に配慮した物品・サービスの購入	工場緑地や屋上緑地等事業所敷地における生物多様性への配慮	事業所敷地・所持地の「自然共生サイト」への登録（申請準備を含む）	生物多様性を含む環境保全に関する社内教育	シンポジウム・勉強会への参加	事業所近隣の環境整備活動への参加	森林保全や植樹活動への参加
全体	146	18.5%	20.5%	16.4%	24.0%	14.4%	13.7%	17.8%	18.5%	19.9%	16.4%	
業種	建設業	31	25.8%	25.8%	16.1%	25.8%	19.4%	12.9%	29.0%	19.4%	19.4%	25.8%
	製造業	52	17.3%	26.9%	21.2%	26.9%	13.5%	19.2%	15.4%	19.2%	28.8%	19.2%
	卸売業・小売業	19	5.3%	5.3%	5.3%	15.8%	21.1%	15.8%	5.3%	26.3%	26.3%	5.3%
	サービス業等	29	17.2%	17.2%	17.2%	31.0%	13.8%	10.3%	24.1%	17.2%	10.3%	13.8%
	その他	15	26.7%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%
全体の従業員数	1~29人	46	19.6%	15.2%	17.4%	19.6%	6.5%	4.3%	19.6%	15.2%	17.4%	15.2%
	30~99人	39	30.8%	30.8%	15.4%	35.9%	20.5%	17.9%	28.2%	20.5%	30.8%	20.5%
	100~299人	18	22.2%	22.2%	27.8%	33.3%	22.2%	27.8%	11.1%	38.9%	22.2%	22.2%
	300人以上	43	4.7%	16.3%	11.6%	14.0%	14.0%	14.0%	9.3%	11.6%	11.6%	11.6%

2 事業者アンケート調査

資料編

11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（続き）

全体+10.0ポイント以上
全体+5.0～9.9ポイント
全体-5.0～9.9ポイント
全体-10.0ポイント以上

		合計	河川や湖沼など水辺の保全活動への参加	他者の「自然共生サイト」登録の取組への支援（活動への参加、資金、技術提供等）	子どもを対象とした環境教育の実施	シンポジウム・勉強会等の普及啓発活動の実施	エコツアーナなどの実施	事業所やその近隣の環境整備の実施	河川や湖沼など水辺の保全活動の実施	森林保全や植樹活動の実施	活動団体等の支援（資金・技術提供等）	その他	無回答
全体		146	14.4%	15.1%	11.0%	13.7%	14.4%	14.4%	13.7%	13.7%	14.4%	1.4%	39.0%
業種	建設業	31	12.9%	12.9%	6.5%	12.9%	12.9%	12.9%	9.7%	19.4%	9.7%	0.0%	35.5%
	製造業	52	19.2%	21.2%	17.3%	23.1%	21.2%	17.3%	19.2%	17.3%	19.2%	3.8%	34.6%
	卸売業・小売業	19	15.8%	10.5%	5.3%	10.5%	10.5%	15.8%	10.5%	15.8%	5.3%	0.0%	42.1%
	サービス業等	29	10.3%	17.2%	13.8%	6.9%	13.8%	17.2%	13.8%	6.9%	20.7%	0.0%	44.8%
	その他	15	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	46.7%
全体の従業員数	1～29人	46	6.5%	6.5%	4.3%	4.3%	6.5%	10.9%	6.5%	10.9%	13.0%	0.0%	39.1%
	30～99人	39	23.1%	20.5%	20.5%	17.9%	17.9%	25.6%	23.1%	12.8%	20.5%	2.6%	28.2%
	100～299人	18	22.2%	27.8%	22.2%	27.8%	27.8%	16.7%	22.2%	22.2%	16.7%	5.6%	33.3%
	300人以上	43	11.6%	14.0%	4.7%	14.0%	14.0%	7.0%	9.3%	14.0%	9.3%	0.0%	51.2%

11-2 生物多様性に関して実施を予定・検討している取組（続き）

■ 「その他」の回答

- ・節電の取り組みで温暖化を抑制すること

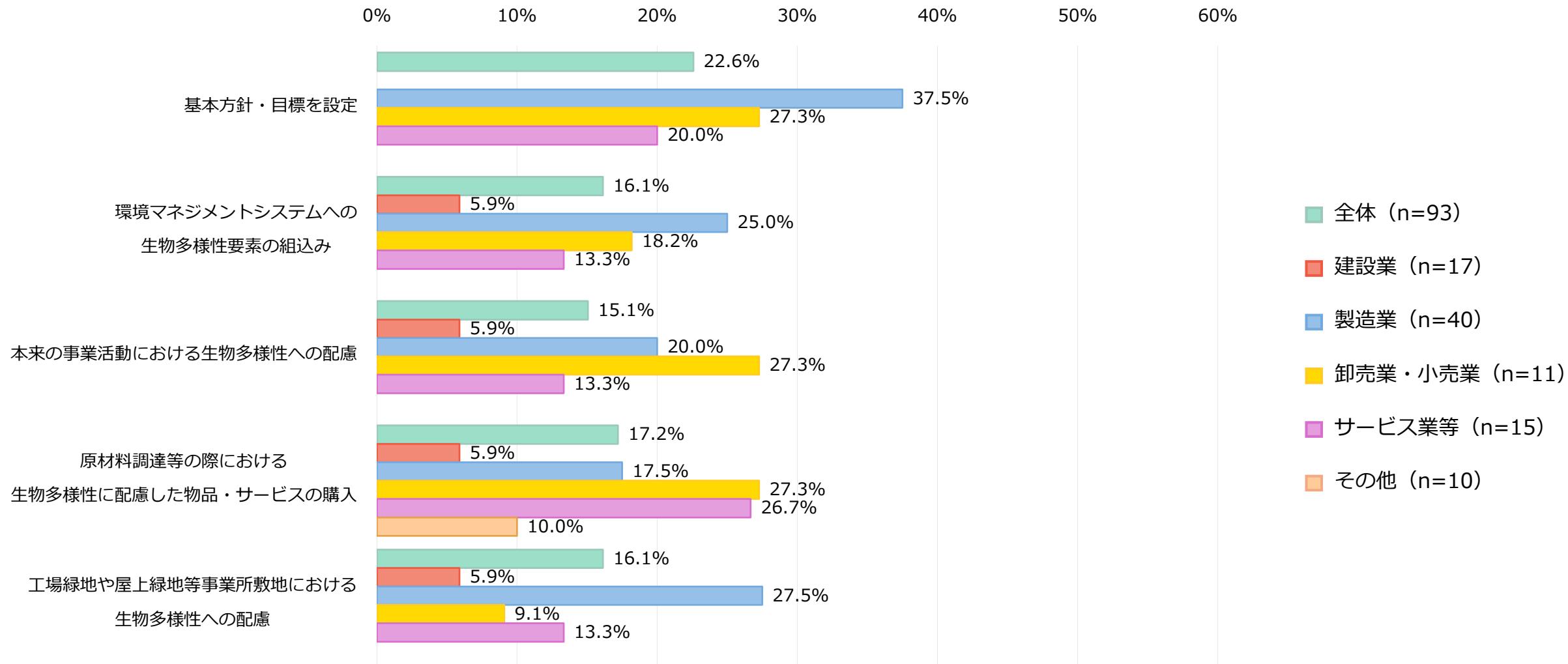
12 群馬県内事業所での取組

問12 【本社所在地が群馬県外で、群馬県内に事業所を有する企業の方のうち、問11で「（1）実施している取組」「（2）実施を予定・検討している取組」に○をつけた方へ】

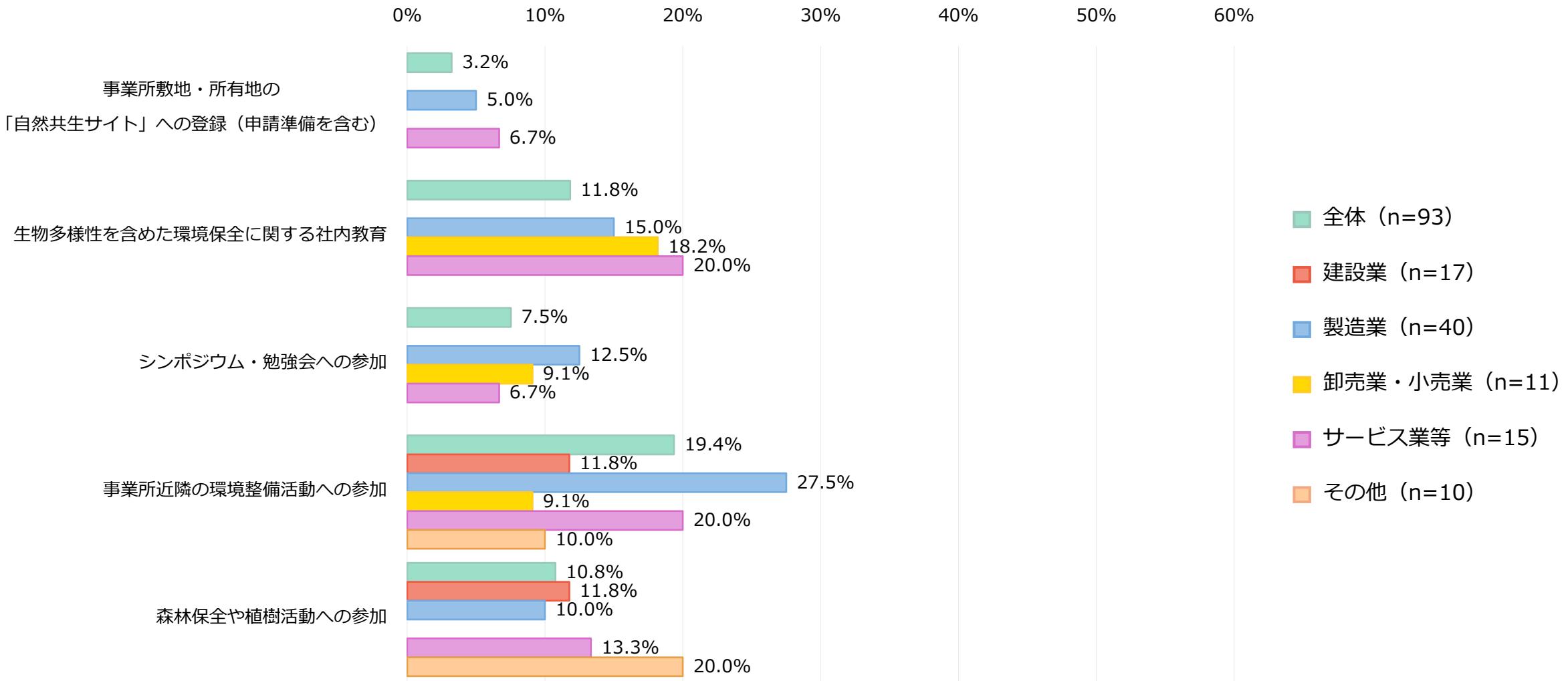
問11でご回答された取組のうち、群馬県内事業所での取組がある場合は、その選択肢の番号を全て以下の回答欄にご記入ください。

群馬県内事業所での取組⇒

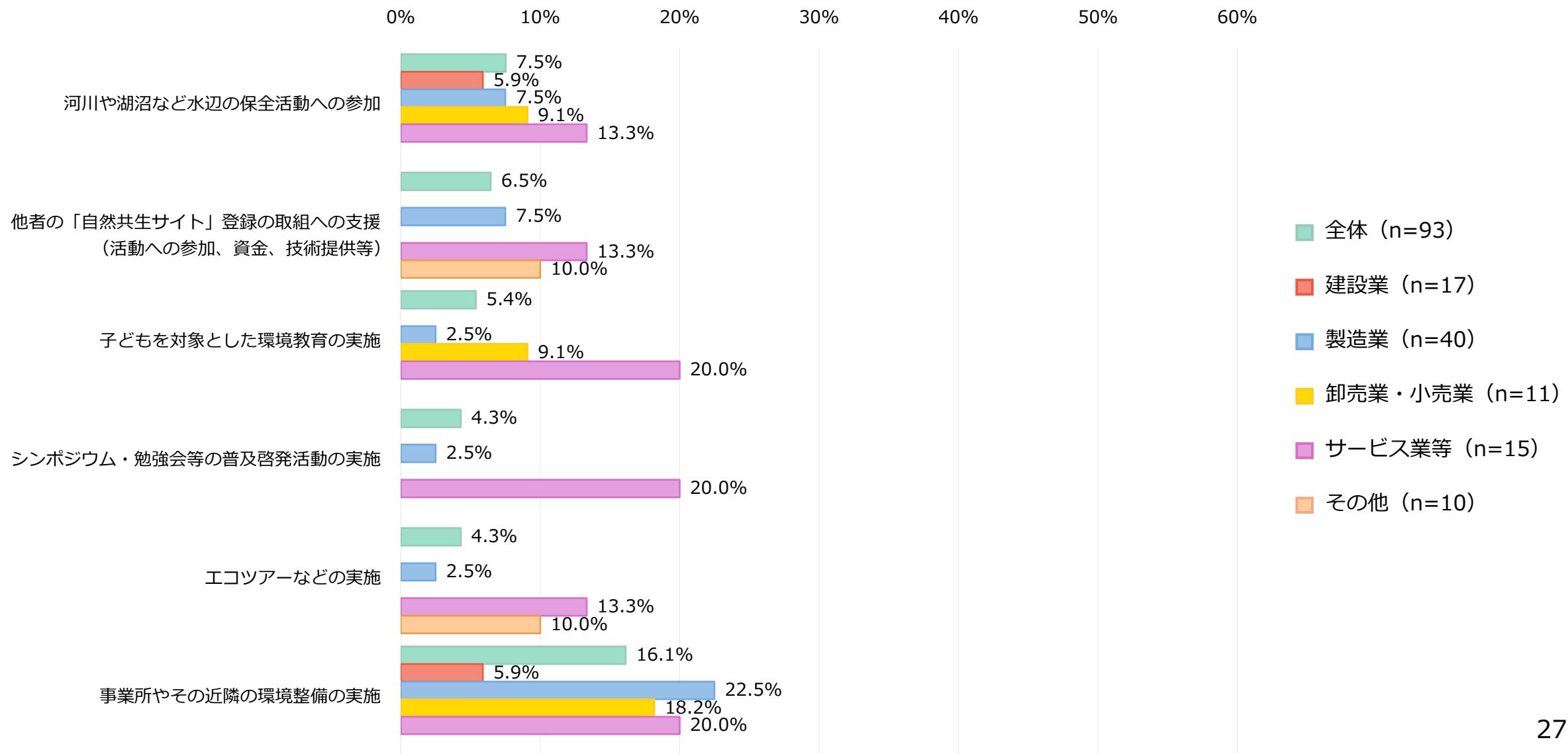
12 群馬県内事業所での取組（業種別）



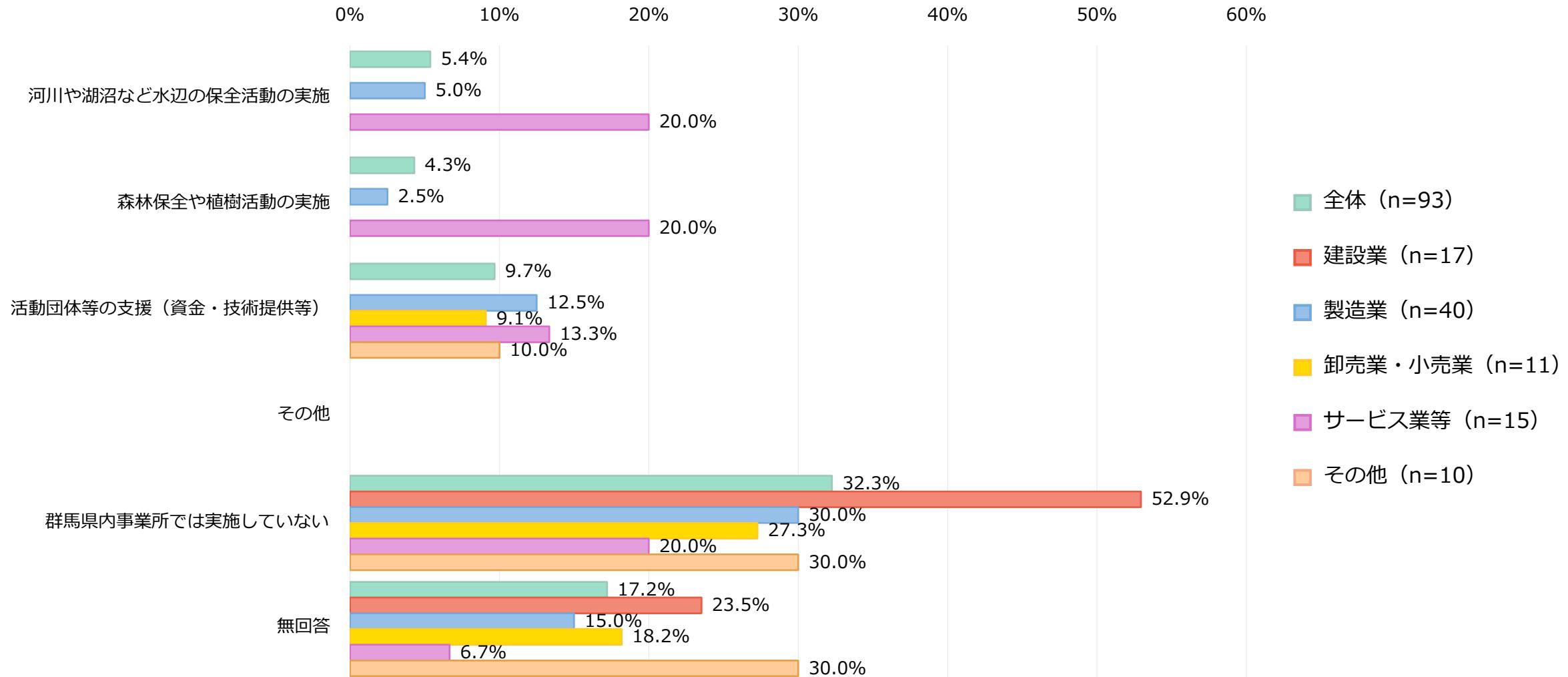
12 群馬県内事業所での取組（業種別_続き）



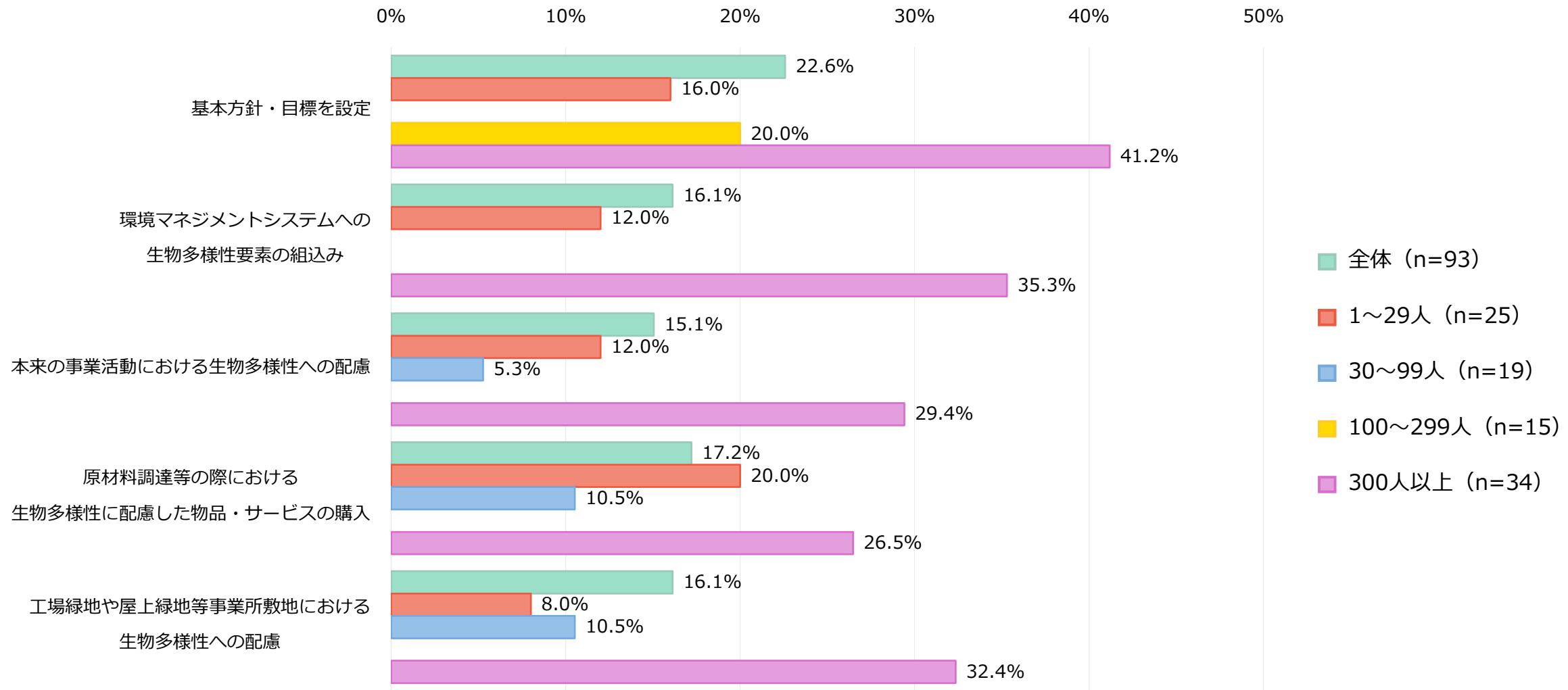
12 群馬県内事業所での取組（業種別_続き）



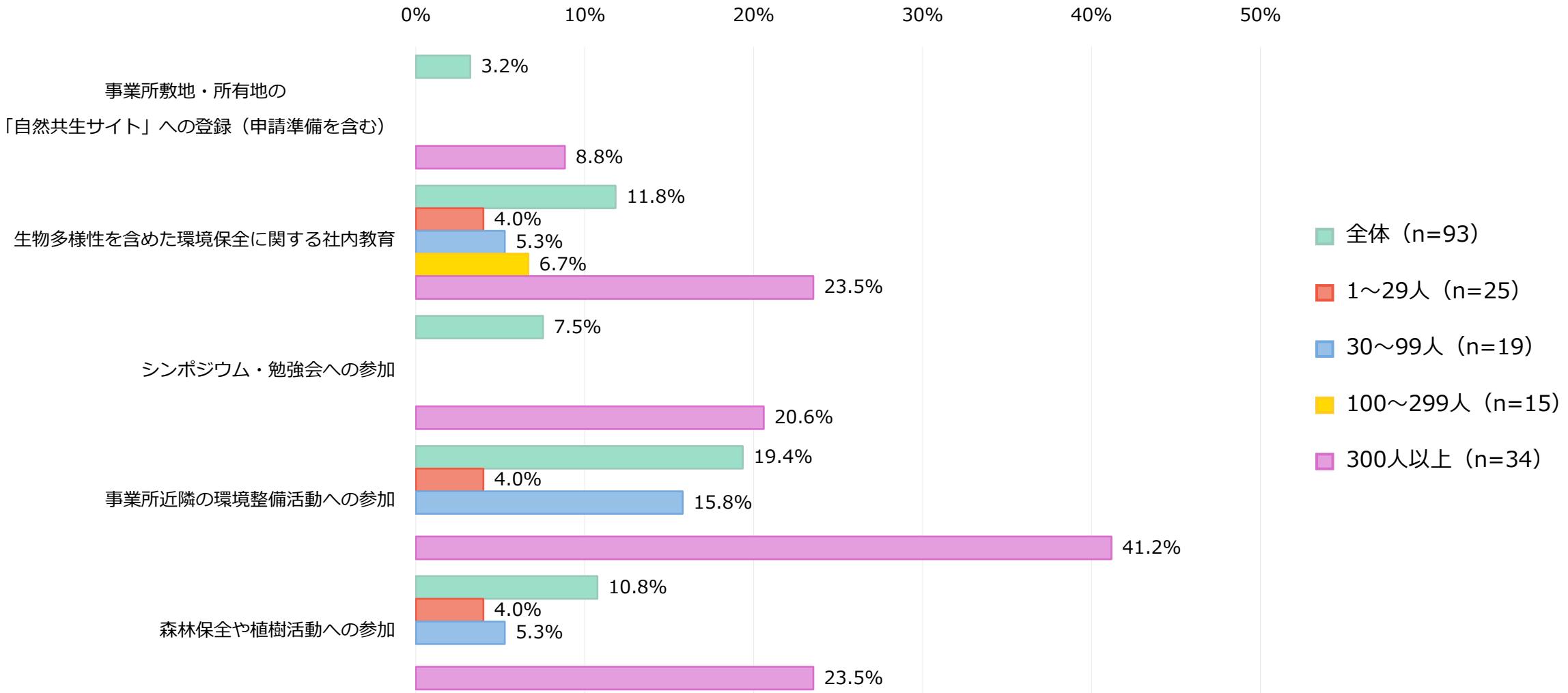
12 群馬県内事業所での取組（業種別_続き）



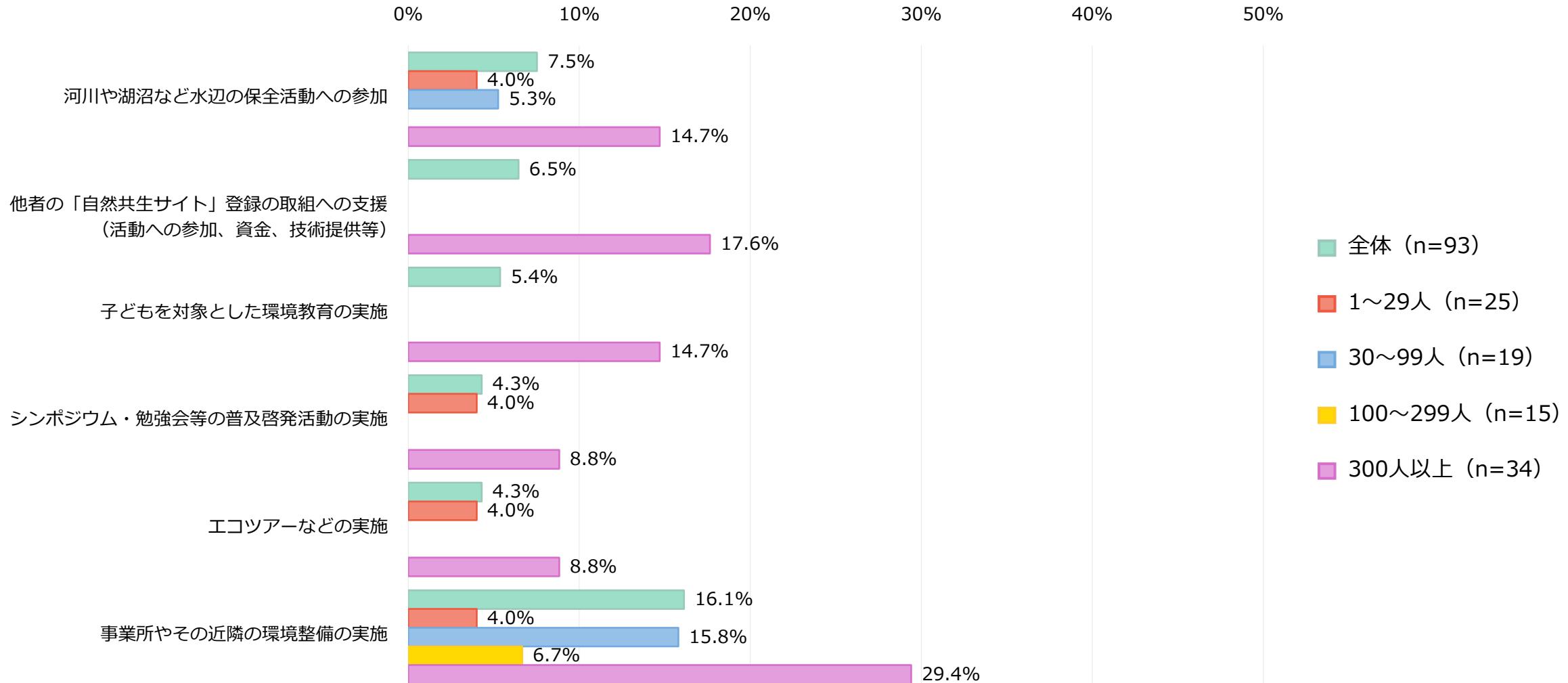
12 群馬県内事業所での取組（全体従業員数別）



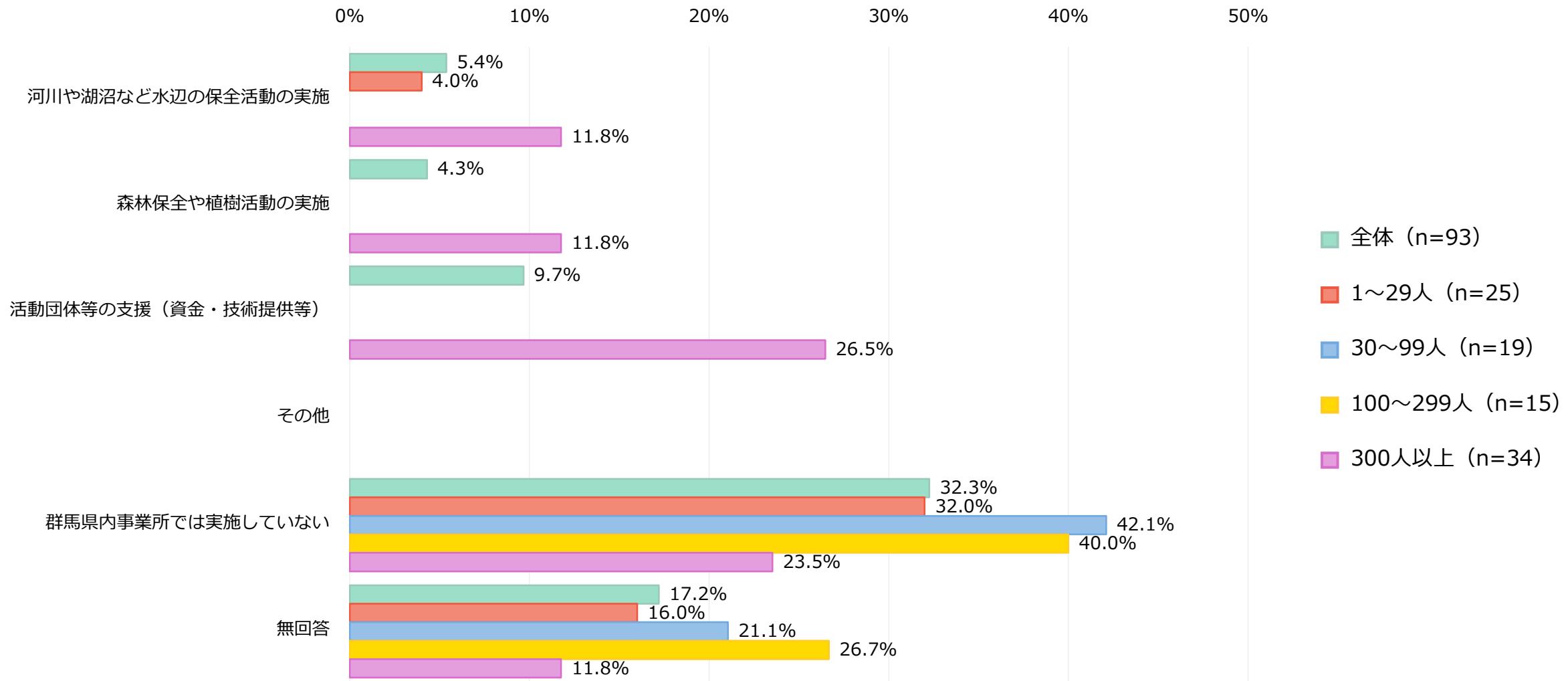
12 群馬県内事業所での取組（全体従業員数別_続き）



12 群馬県内事業所での取組（全体従業員数別_続き）



12 群馬県内事業所での取組（全体従業員数別_続き）



2 事業者アンケート調査

資料編

12 群馬県内事業所での取組

業種	合計	基本方針・目標を設定	環境マネジメントシステムへの生物多様性要素の組込み	本来の事業活動における生物多様性への配慮	原材料調達等の際ににおける生物多様性に配慮した物品・サービスの購入	工場緑地や屋上緑地等事業所敷地における生物多様性への配慮	事業所敷地・所持地の「自然共生サイト」への登録（申請準備を含む）	生物多様性を含めた環境保全に関する社内教育登録（申請準備を含む）	シンポジウム・勉強会への参加	事業所近隣の環境整備活動への参加	森林保全や植樹活動への参加
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	93	22.6%	16.1%	15.1%	17.2%	16.1%	3.2%	11.8%	7.5%	19.4%	10.8%
建設業	17	0.0%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	11.8%
製造業	40	37.5%	25.0%	20.0%	17.5%	27.5%	5.0%	15.0%	12.5%	27.5%	10.0%
卸売業・小売業	11	27.3%	18.2%	27.3%	27.3%	9.1%	0.0%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%
サービス業等	15	20.0%	13.3%	13.3%	26.7%	13.3%	6.7%	20.0%	6.7%	20.0%	13.3%
その他	10	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%
全体の従業員数	1~29人	25	16.0%	12.0%	12.0%	20.0%	8.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%
	30~99人	19	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	15.8%
	100~299人	15	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
	300人以上	34	41.2%	35.3%	29.4%	26.5%	32.4%	8.8%	23.5%	20.6%	41.2%

2 事業者アンケート調査

資料編

12 群馬県内事業所での取組（続き）

		合計	河川や湖沼など水辺の保全活動への参加	他者の「自然共生サイト」登録の取組への支援（活動への参加、資金、技術提供等）	子どもを対象とした環境教育の実施	シンポジウム・勉強会等の普及啓発活動の実施	エコツアーナなどの実施	事業所やその近隣の環境整備の実施	河川や湖沼など水辺の保全活動の実施	森林保全や植樹活動の実施	活動団体等の支援（資金・技術提供等）	その他	群馬県内では実施していない		無回答
														全体+10.0ポイント以上	全体+5.0～9.9ポイント
全体		93	7.5%	6.5%	5.4%	4.3%	4.3%	16.1%	5.4%	4.3%	9.7%	0.0%	32.3%	17.2%	
業種	建設業	17	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.9%	23.5%	
	製造業	40	7.5%	7.5%	2.5%	2.5%	2.5%	22.5%	5.0%	2.5%	12.5%	0.0%	30.0%	15.0%	
	卸売業・小売業	11	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	27.3%	18.2%	
	サービス業等	15	13.3%	13.3%	20.0%	20.0%	13.3%	20.0%	20.0%	20.0%	13.3%	0.0%	20.0%	6.7%	
	その他	10	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	30.0%	30.0%	
全体の従業員数	1～29人	25	4.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	32.0%	16.0%	
	30～99人	19	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.1%	21.1%	
	100～299人	15	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	26.7%	
	300人以上	34	14.7%	17.6%	14.7%	8.8%	8.8%	29.4%	11.8%	11.8%	26.5%	0.0%	23.5%	11.8%	

12 群馬県内事業所での取組（続き）

■ 「その他」の回答

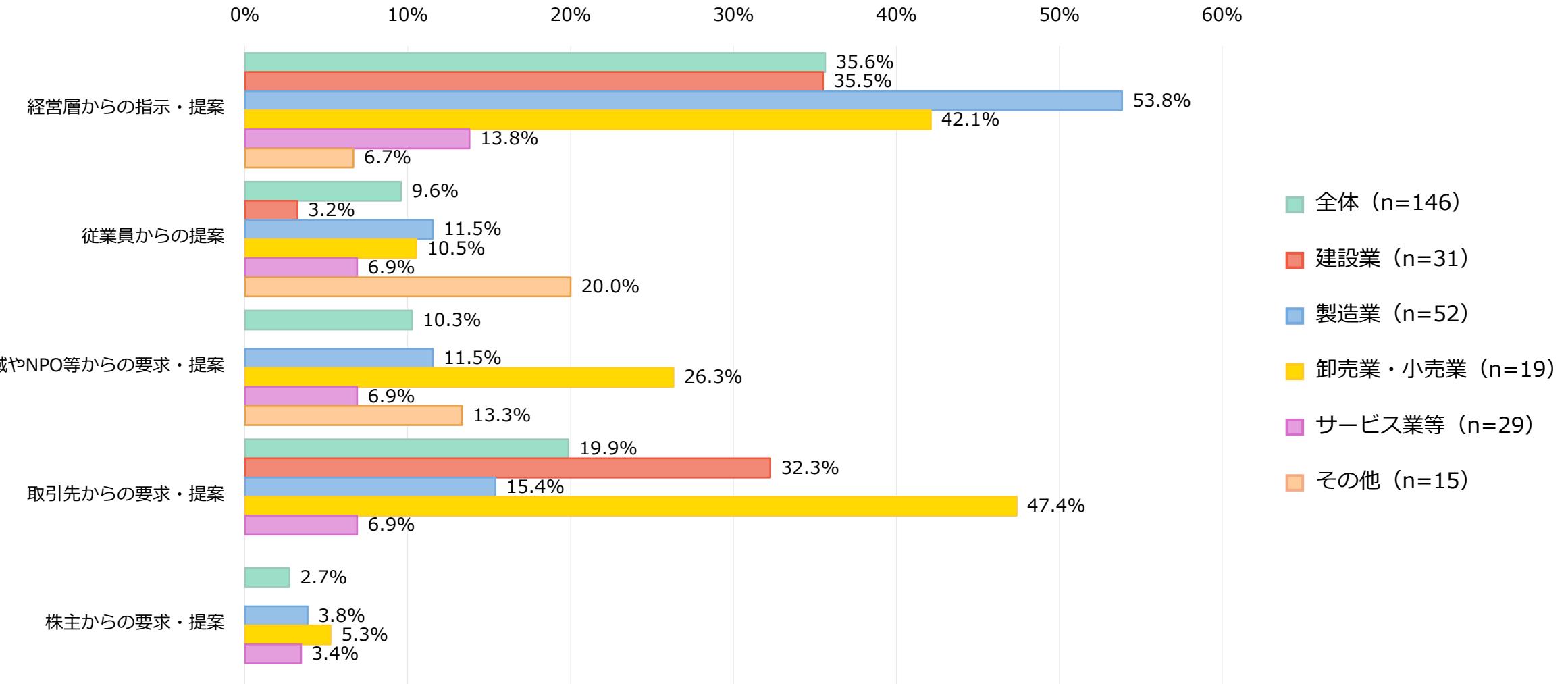
- ・赤谷プロジェクト協力、ホタル保護活動森林塾青水への協力
- ・事業所周辺の道路緑地の除草、清掃
- ・本社店舗、工場内の緑地化の推進
- ・環境に配慮したレジ袋の導入
- ・エコアクション担当メンバーによる環境保護の勉強会への参加
- ・尾瀬自然保護活動への寄付

13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ

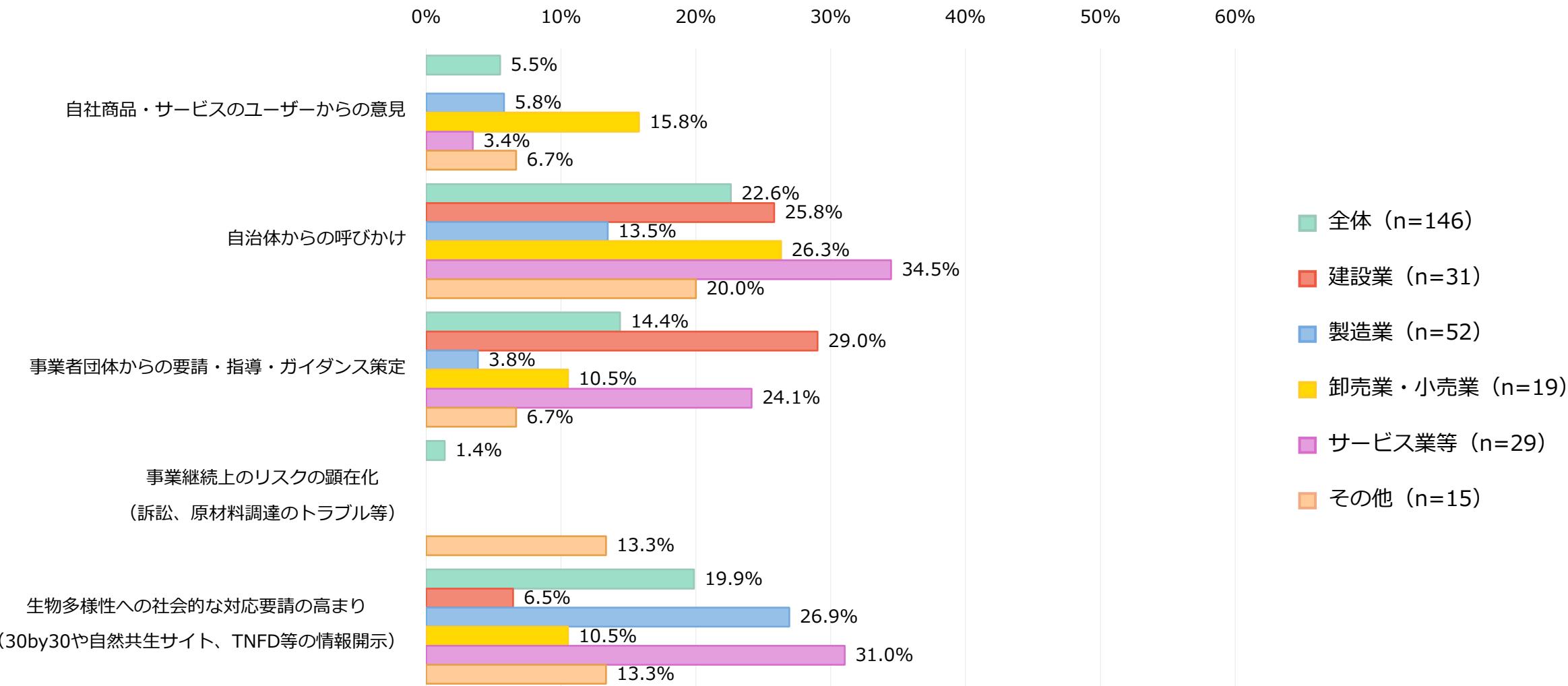
問13 貴社が生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけを教えてください。以下のの中からあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 経営層からの指示・提案
2. 従業員からの提案
3. 地域やNPO等からの要求・提案
4. 取引先からの要求・提案
5. 株主からの要求・提案
6. 自社商品・サービスのユーザーからの意見
7. 自治体からの呼びかけ
8. 事業者団体からの要請・指導・ガイダンス策定
9. 事業継続上のリスクの顕在化（訴訟、原材料調達のトラブル等）
10. 生物多様性への社会的な対応要請の高まり（30by30や自然共生サイト、TNFD等の情報開示）
11. その他（具体的に：）
12. わからない

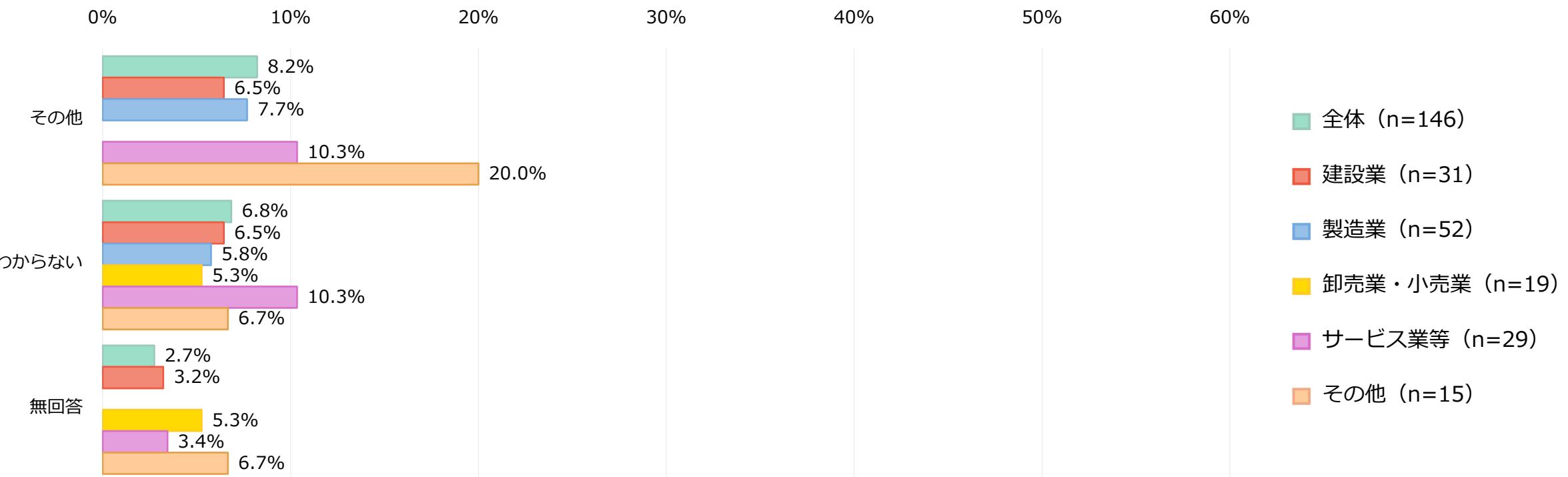
13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ（業種別）



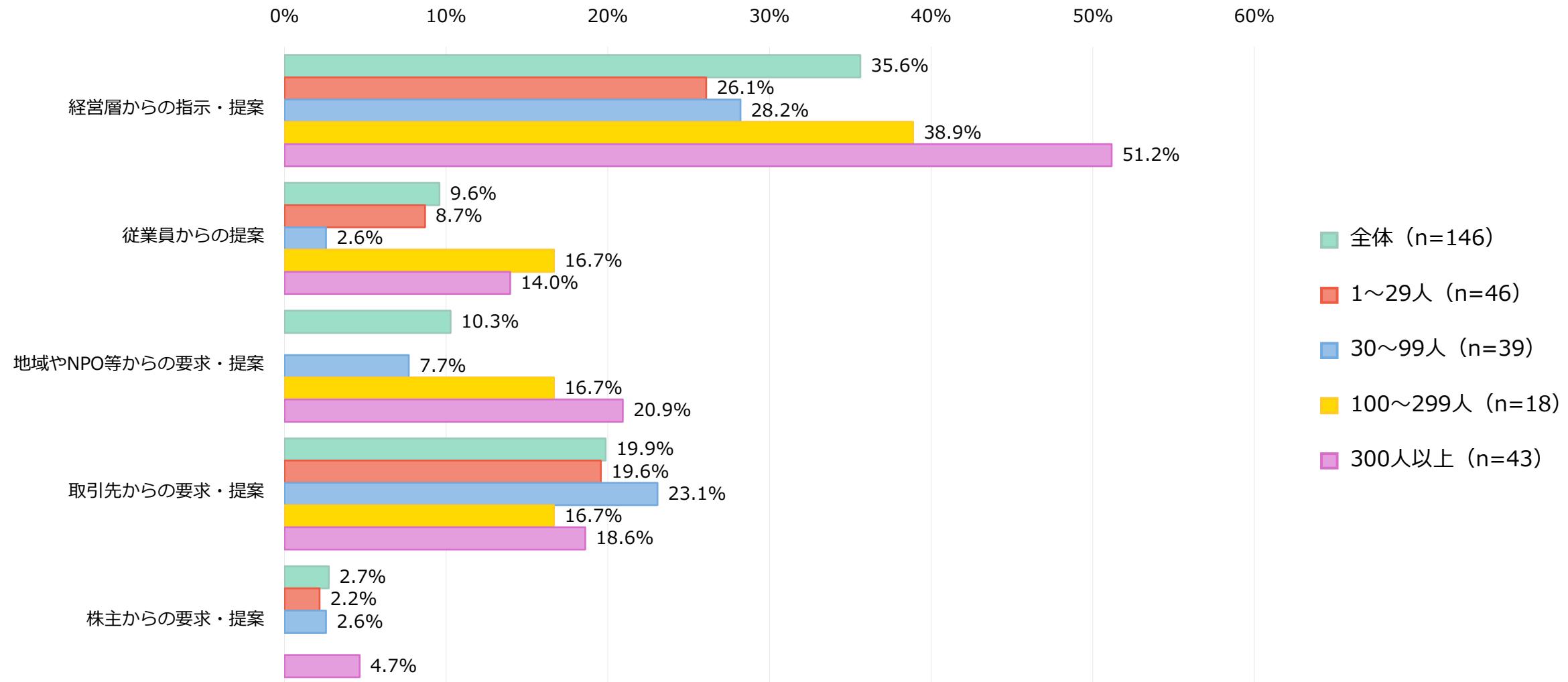
13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ（業種別_続き）



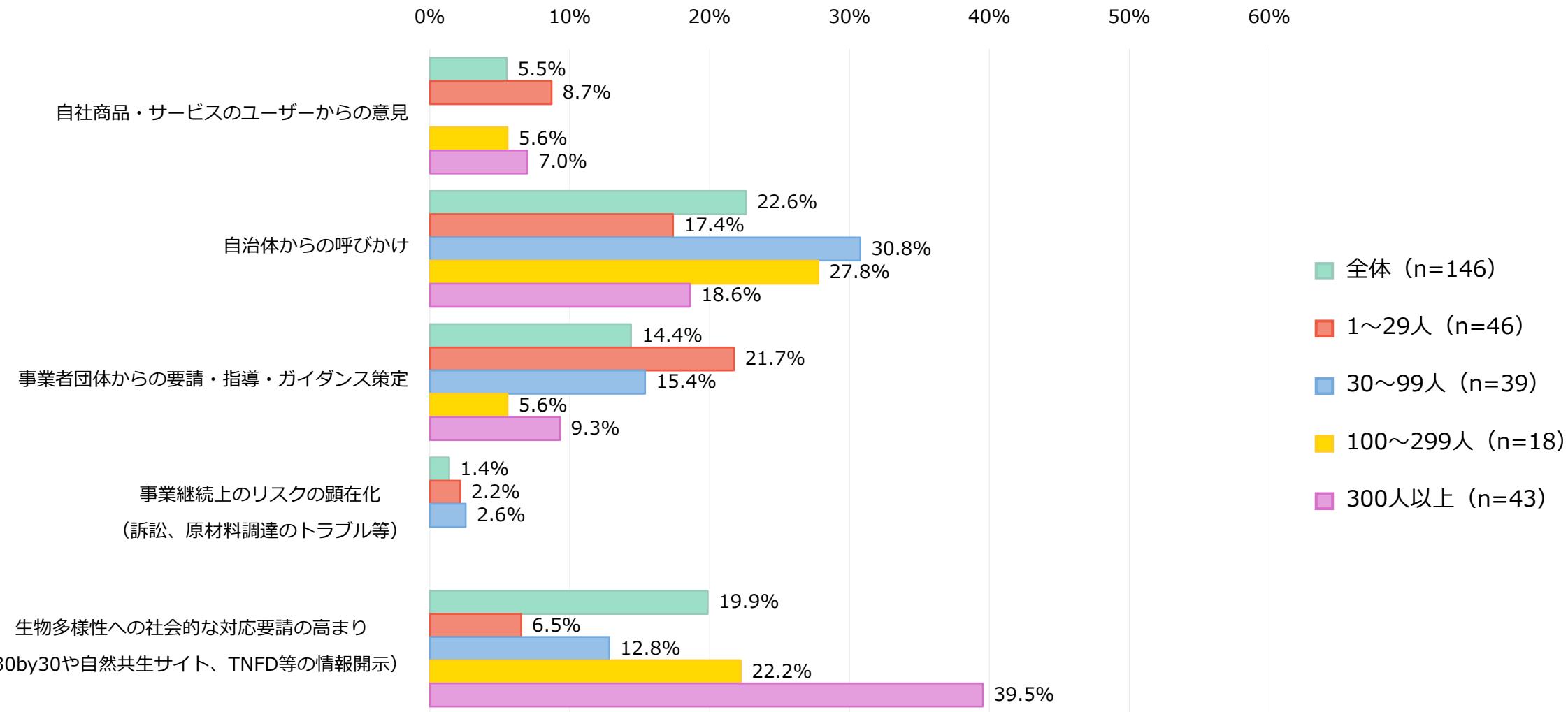
13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ（業種別_続き）



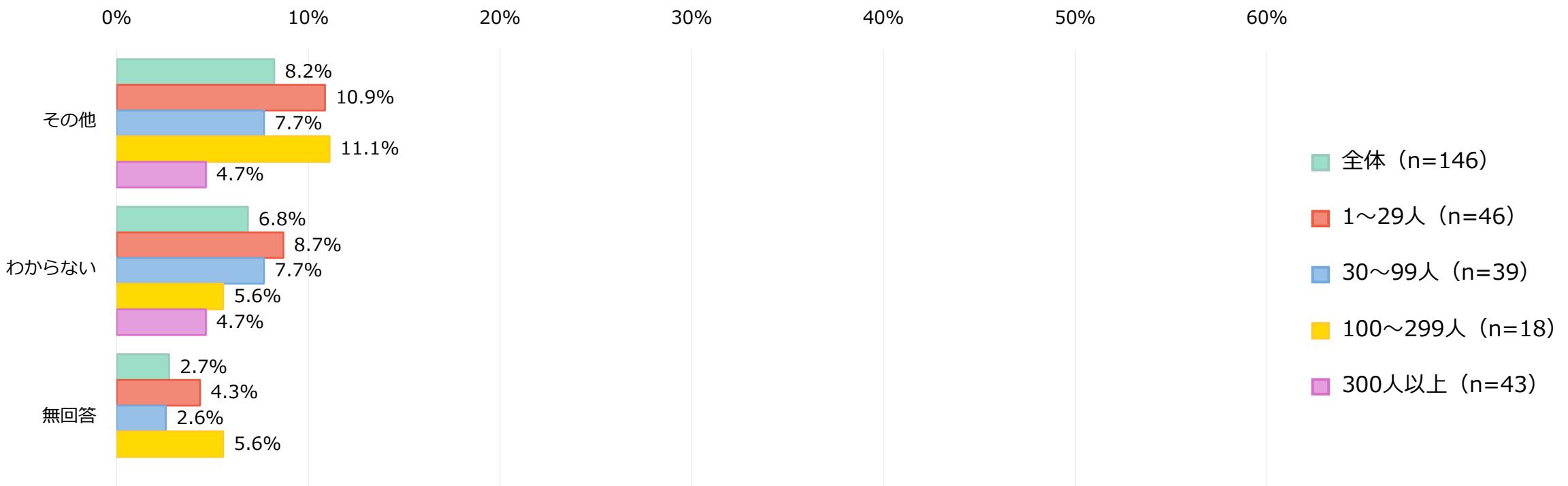
13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ（全体従業員数別）



13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ（全体従業員数別_続き）



13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ（全体従業員数別_続き）



13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ

		合計	経営層からの指示・提案	従業員からの提案	地域やNPO等からの要求・提案	取引先からの要求・提案	株主からの要求・提案	自社商品・サービスのユーザーからの意見	
全体		146	35.6%	9.6%	10.3%	19.9%	2.7%	5.5%	
業種	建設業	31	35.5%	3.2%	0.0%	32.3%	0.0%	0.0%	
	製造業	52	53.8%	11.5%	11.5%	15.4%	3.8%	5.8%	
	卸売業・小売業	19	42.1%	10.5%	26.3%	47.4%	5.3%	15.8%	
	サービス業等	29	13.8%	6.9%	6.9%	6.9%	3.4%	3.4%	
	その他	15	6.7%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	
全体の従業員数	1~29人	46	26.1%	8.7%	0.0%	19.6%	2.2%	8.7%	
	30~99人	39	28.2%	2.6%	7.7%	23.1%	2.6%	0.0%	
	100~299人	18	38.9%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	5.6%	
	300人以上	43	51.2%	14.0%	20.9%	18.6%	4.7%	7.0%	

全体+10.0ポイント以上
全体+5.0~9.9ポイント
全体-5.0~9.9ポイント
全体-10.0ポイント以上

13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ（続き）

		合計	自治体からの呼びかけ	事業者団体からの要請・指導・ガイダンス策定	事業継続上のリスクの顕在化（訴訟、原材料調達のトラブル等）	生物多様性への社会的な対応要請の高まり（30by30や自然共生サイト、TNFD等の情報開示）	その他	わからない	無回答	
										全体+10.0ポイント以上
										全体+5.0～9.9ポイント
										全体-5.0～9.9ポイント
										全体-10.0ポイント以上
全体		146	22.6%	14.4%	1.4%	19.9%	8.2%	6.8%	2.7%	
業種	建設業	31	25.8%	29.0%	0.0%	6.5%	6.5%	6.5%	3.2%	
	製造業	52	13.5%	3.8%	0.0%	26.9%	7.7%	5.8%	0.0%	
	卸売業・小売業	19	26.3%	10.5%	0.0%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	
	サービス業等	29	34.5%	24.1%	0.0%	31.0%	10.3%	10.3%	3.4%	
	その他	15	20.0%	6.7%	13.3%	13.3%	20.0%	6.7%	6.7%	
全体の従業員数	1～29人	46	17.4%	21.7%	2.2%	6.5%	10.9%	8.7%	4.3%	
	30～99人	39	30.8%	15.4%	2.6%	12.8%	7.7%	7.7%	2.6%	
	100～299人	18	27.8%	5.6%	0.0%	22.2%	11.1%	5.6%	5.6%	
	300人以上	43	18.6%	9.3%	0.0%	39.5%	4.7%	4.7%	0.0%	

13 生物多様性に取り組む、あるいは検討することになったきっかけ（続き）

■ 「その他」の回答

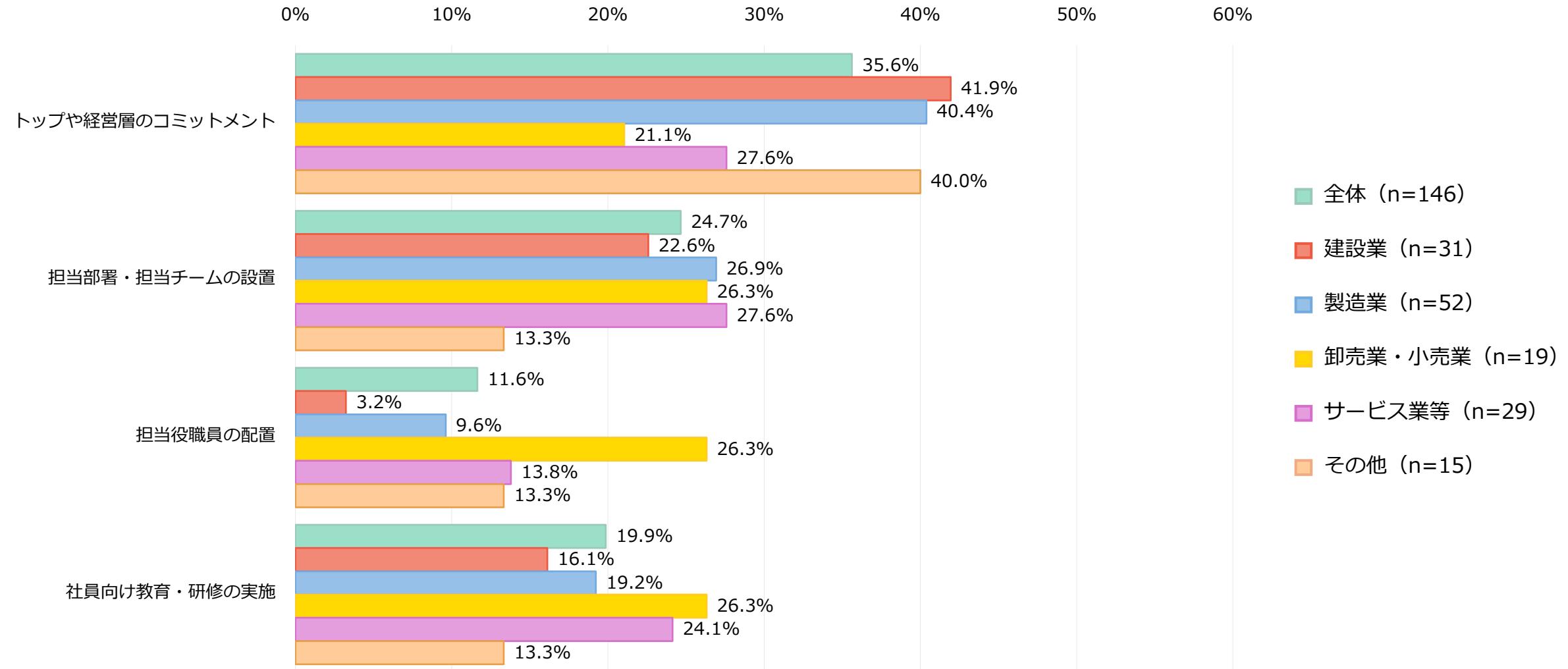
- ・本来の事業活動に必要だから
- ・法令順守
- ・創業当時からの会社方針が「資源循環型社会の実現」であったので、創業当時から取り組んでいる。
- ・近隣自治会への地域貢献活動としての活動の一つとして検討
- ・教育活動の一環として
- ・旅館に宿泊に来た方に、草津の大切な資源の温泉、自然と楽しんで頂きたい。
- ・みどりの工場大賞
- ・キャリア教育を支援する専門的立場として、子供たちに本質を伝えたい思いから。
- ・エコアクション21の取組から。
- ・ISO取得に伴い
- ・ISO-14001の一環

14 生物多様性に関する活動の推進体制

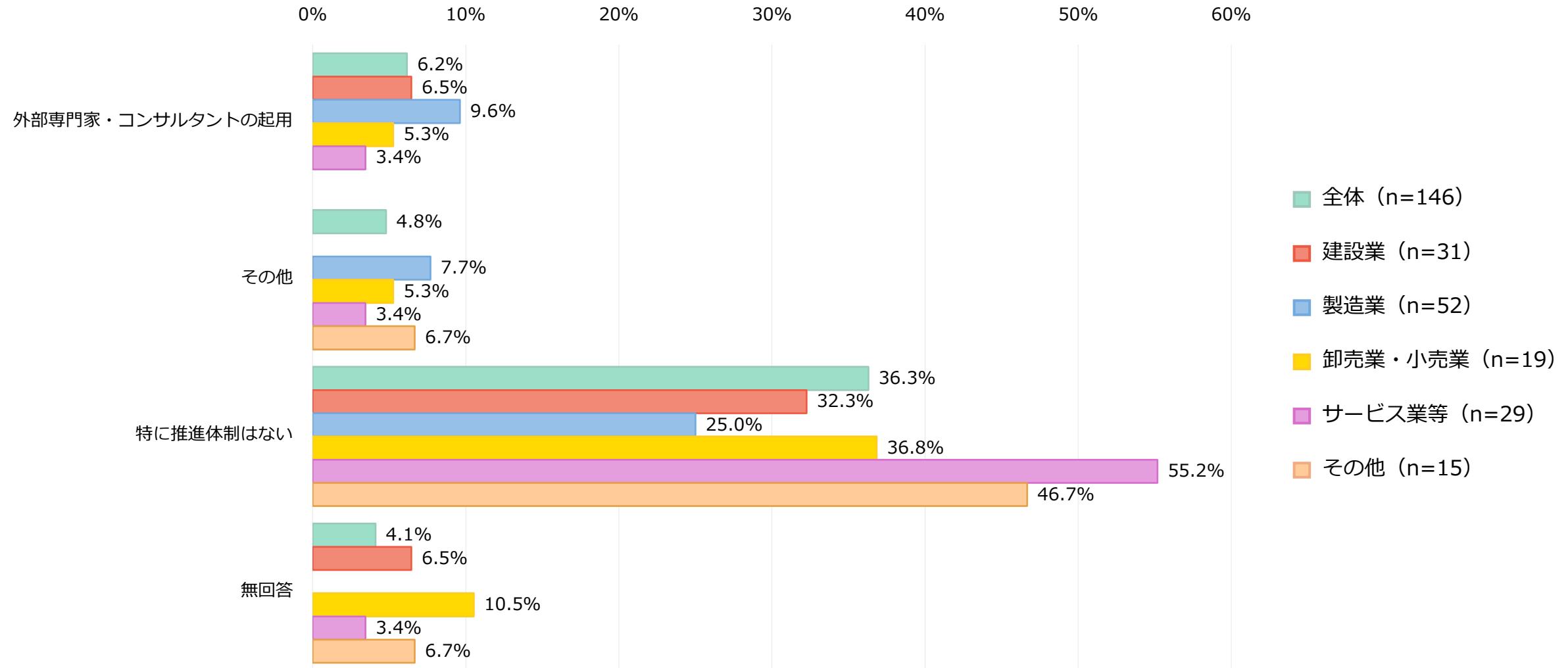
問14 貴社の生物多様性に関する活動の推進体制として、実施しているものはどのようなものがありますか。以下の中からあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. トップや経営層のコミットメント
2. 担当部署・担当チームの設置
3. 担当役職員の配置
4. 社員向け教育・研修の実施
5. 外部専門家・コンサルタントの起用
6. その他（具体的に：）
7. 特に推進体制はない

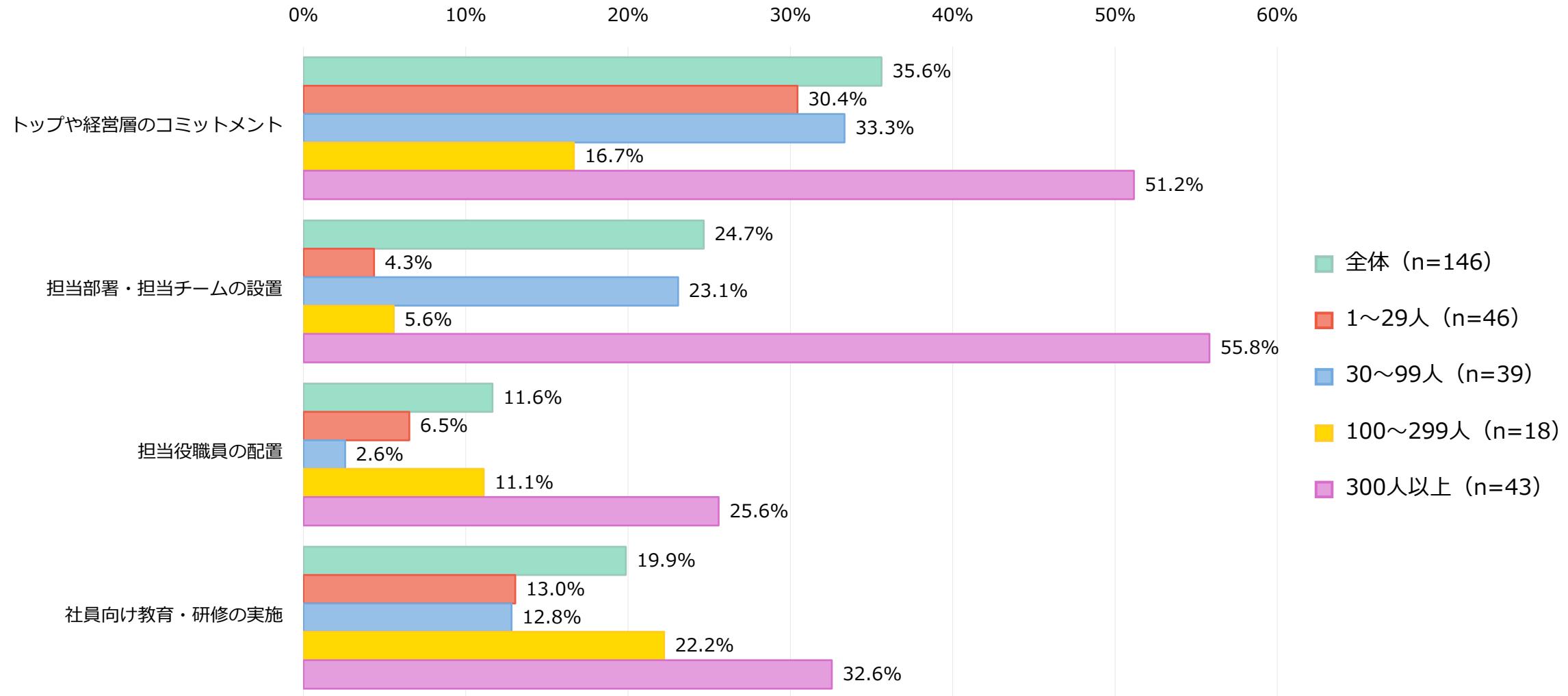
14 生物多様性に関する活動の推進体制（業種別）



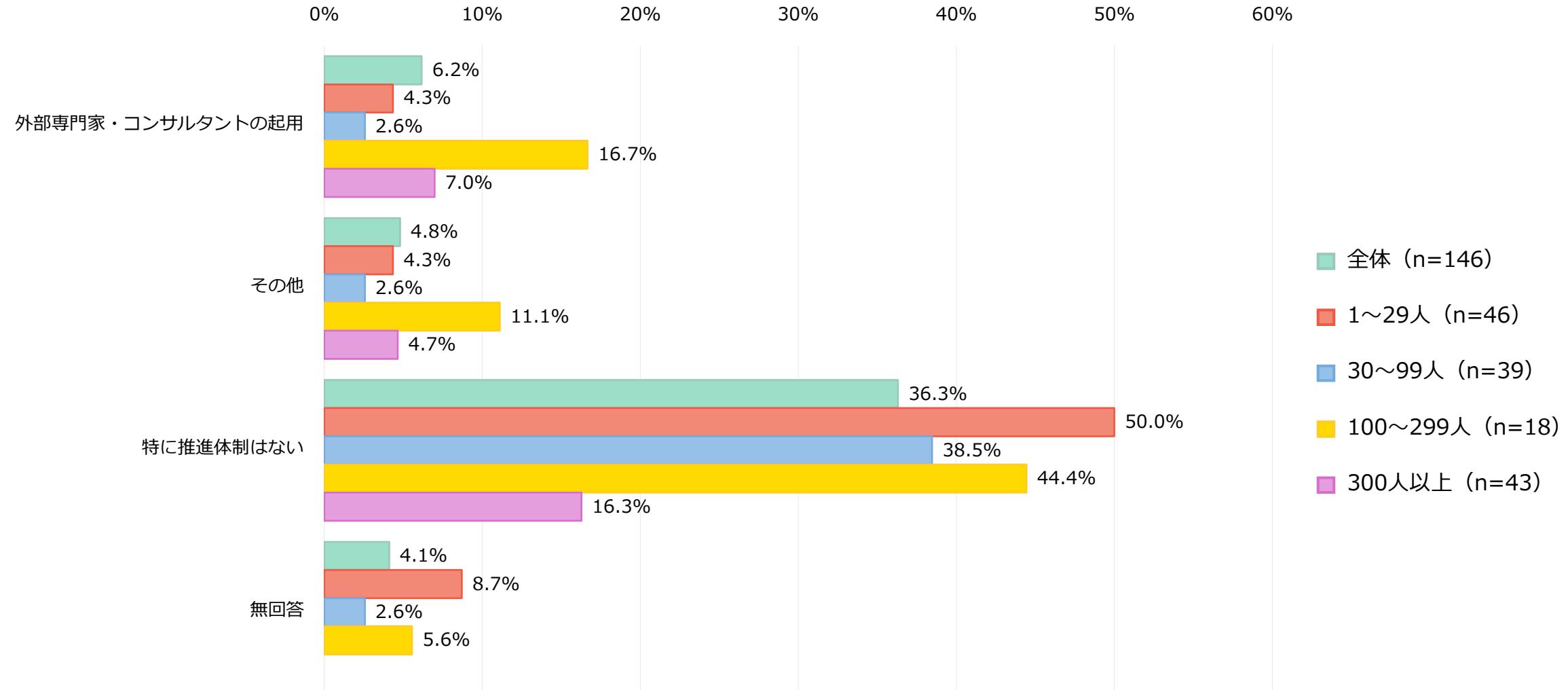
14 生物多様性に関する活動の推進体制（業種別_続き）



14 生物多様性に関する活動の推進体制（全体従業員数別）



14 生物多様性に関する活動の推進体制（全体従業員数別_続き）



14 生物多様性に関する活動の推進体制

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	トップや経営層のコミットメント	担当部署・担当チームの設置	担当役職員の配置	社員向け教育・研修の実施	外部専門家・コンサルタントの起用	その他	特に推進体制はない	無回答
全体	146		35.6%	24.7%	11.6%	19.9%	6.2%	4.8%	36.3%	4.1%
業種	建設業	31	41.9%	22.6%	3.2%	16.1%	6.5%	0.0%	32.3%	6.5%
	製造業	52	40.4%	26.9%	9.6%	19.2%	9.6%	7.7%	25.0%	0.0%
	卸売業・小売業	19	21.1%	26.3%	26.3%	26.3%	5.3%	5.3%	36.8%	10.5%
	サービス業等	29	27.6%	27.6%	13.8%	24.1%	3.4%	3.4%	55.2%	3.4%
	その他	15	40.0%	13.3%	13.3%	13.3%	0.0%	6.7%	46.7%	6.7%
全従業員数	1～29人	46	30.4%	4.3%	6.5%	13.0%	4.3%	4.3%	50.0%	8.7%
	30～99人	39	33.3%	23.1%	2.6%	12.8%	2.6%	2.6%	38.5%	2.6%
	100～299人	18	16.7%	5.6%	11.1%	22.2%	16.7%	11.1%	44.4%	5.6%
	300人以上	43	51.2%	55.8%	25.6%	32.6%	7.0%	4.7%	16.3%	0.0%

14 生物多様性に関する活動の推進体制

■ 「その他」の回答

- ・明確ではないが管理部が対応している
- ・環境活動推進部門にて取り組み
- ・グリーンボンドへの投資
- ・インターンシップを受け入れた学生に座学を実施
- ・SBT取得予定（2024年5月27日にコミットメントレター提出済）
- ・ISO関係者によるCO₂削減とグリーン調達
- ・ISO-14001の推進体制

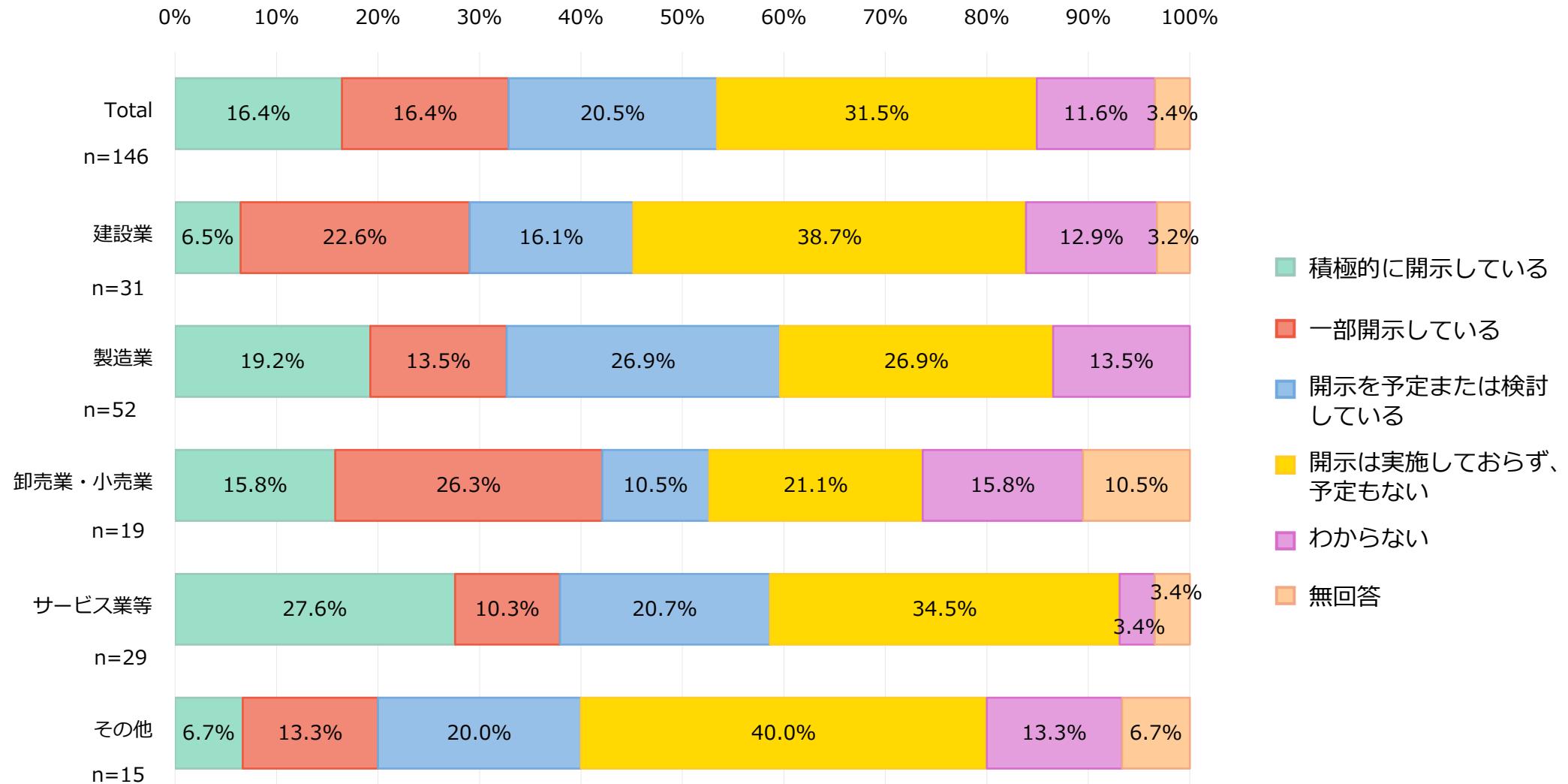
15 情報開示

問15

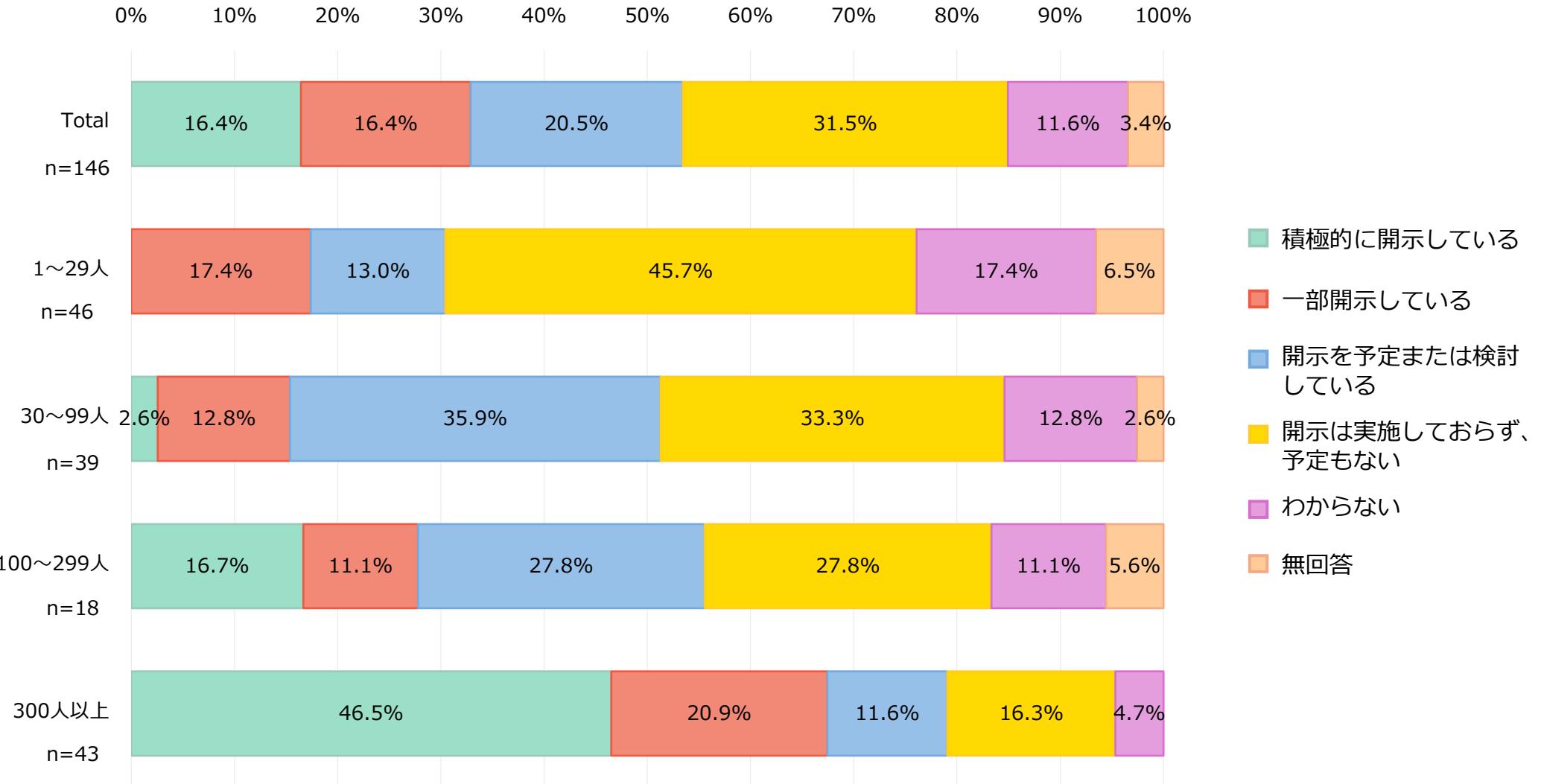
(1) 貴社では、生物多様性に関する取組について、社外への情報開示を実施していますか。以下の中からあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 積極的に開示している（例：統合報告書、サステナビリティレポート、ウェブサイト等で定期的に発信している）
2. 一部開示している（例：活動事例に関する内容のみ一部開示している）
3. 開示を予定または検討している
4. 開示は実施しておらず、予定もない
5. わからない

15-1 情報開示（業種別）



15-1 情報開示（全体従業員数別）



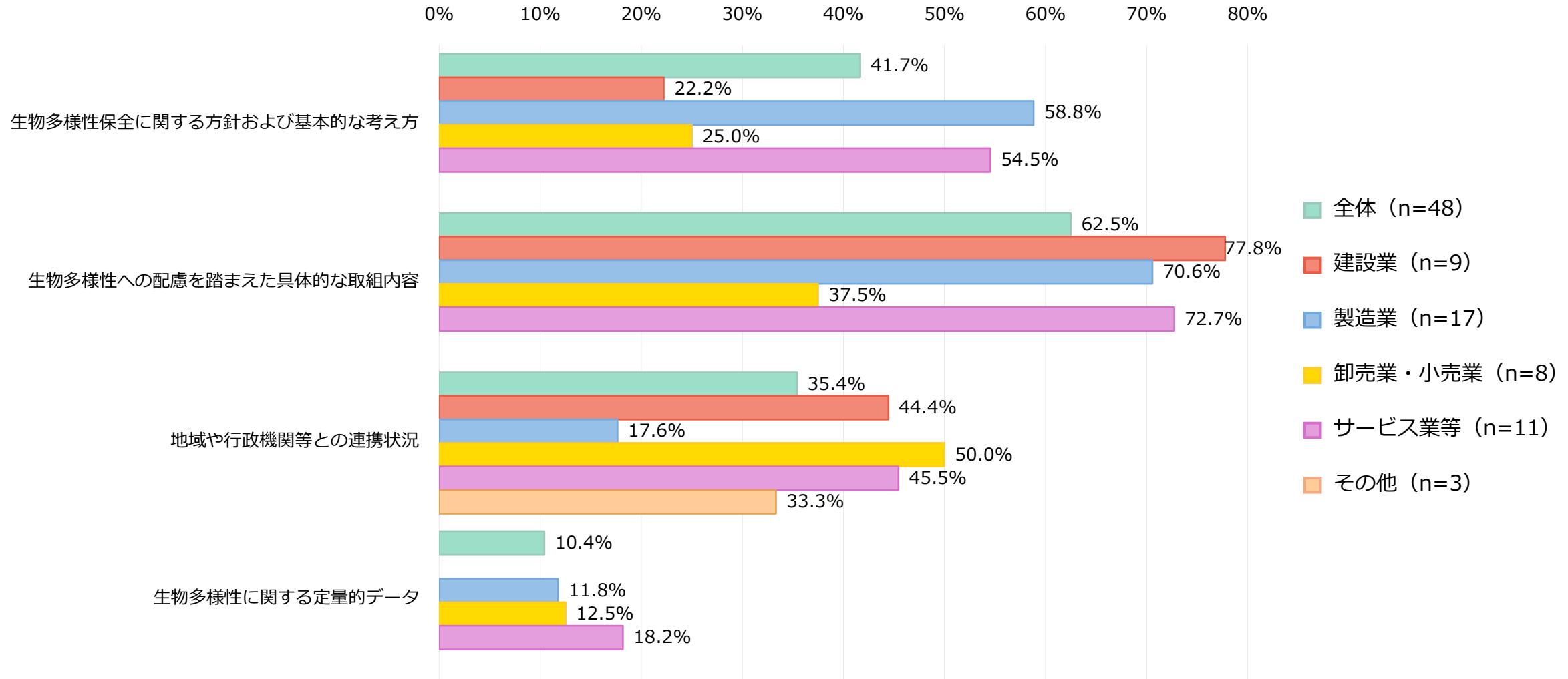
15 情報開示している内容（積極的に開示している、一部開示している）

問15

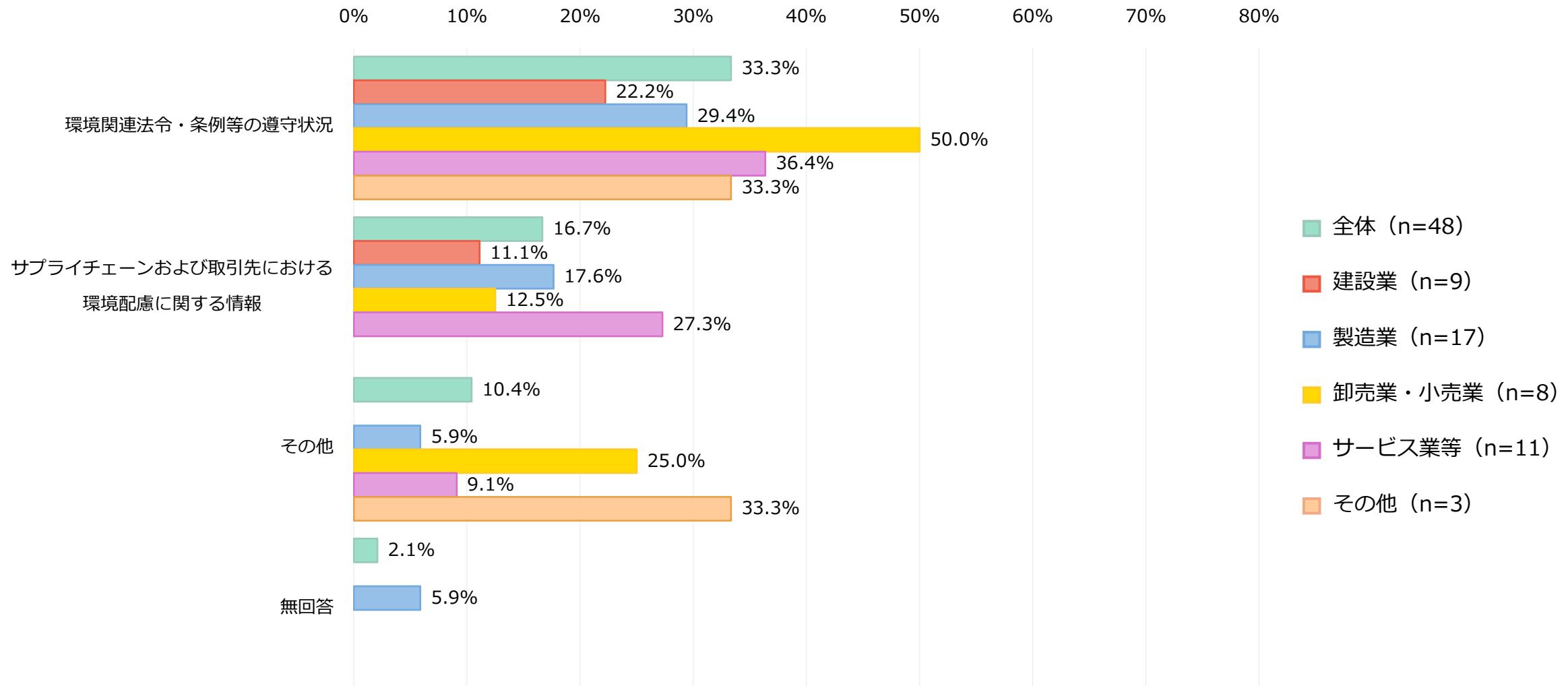
(2) 【(1)で「1. 積極的に開示している」「2. 一部開示している」とお答えになった方へ】開示している内容をお知らせください。以下のの中からあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 生物多様性保全に関する方針および基本的な考え方
2. 生物多様性への配慮を踏まえた具体的な取組内容
3. 地域や行政機関等との連携状況
4. 生物多様性に関する定量的データ（例：植生管理、生物種のモニタリング結果等）
5. 環境関連法令・条例等の遵守状況
6. サプライチェーンおよび取引先における環境配慮に関する情報
7. その他（具体的に：）

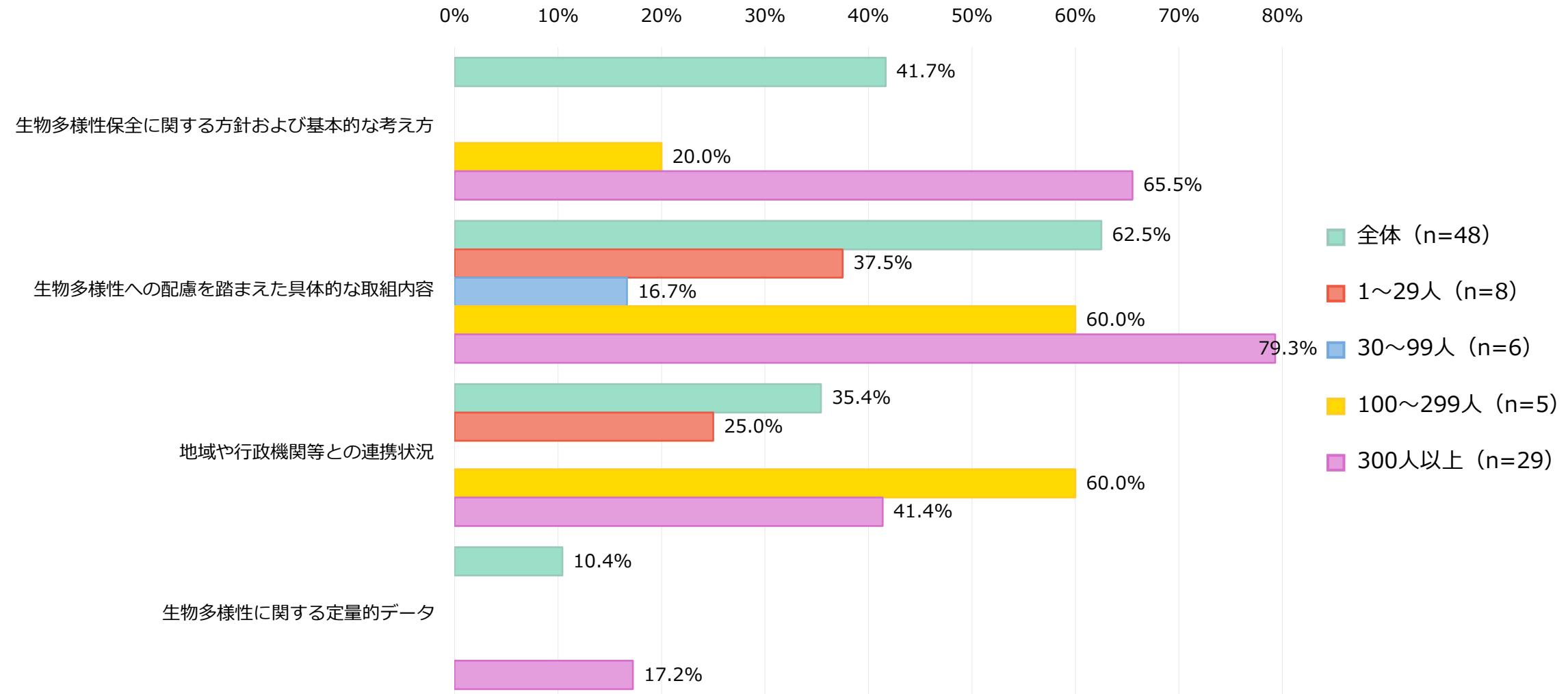
15-2 情報開示している内容（積極的に開示している、一部開示している）（業種別）



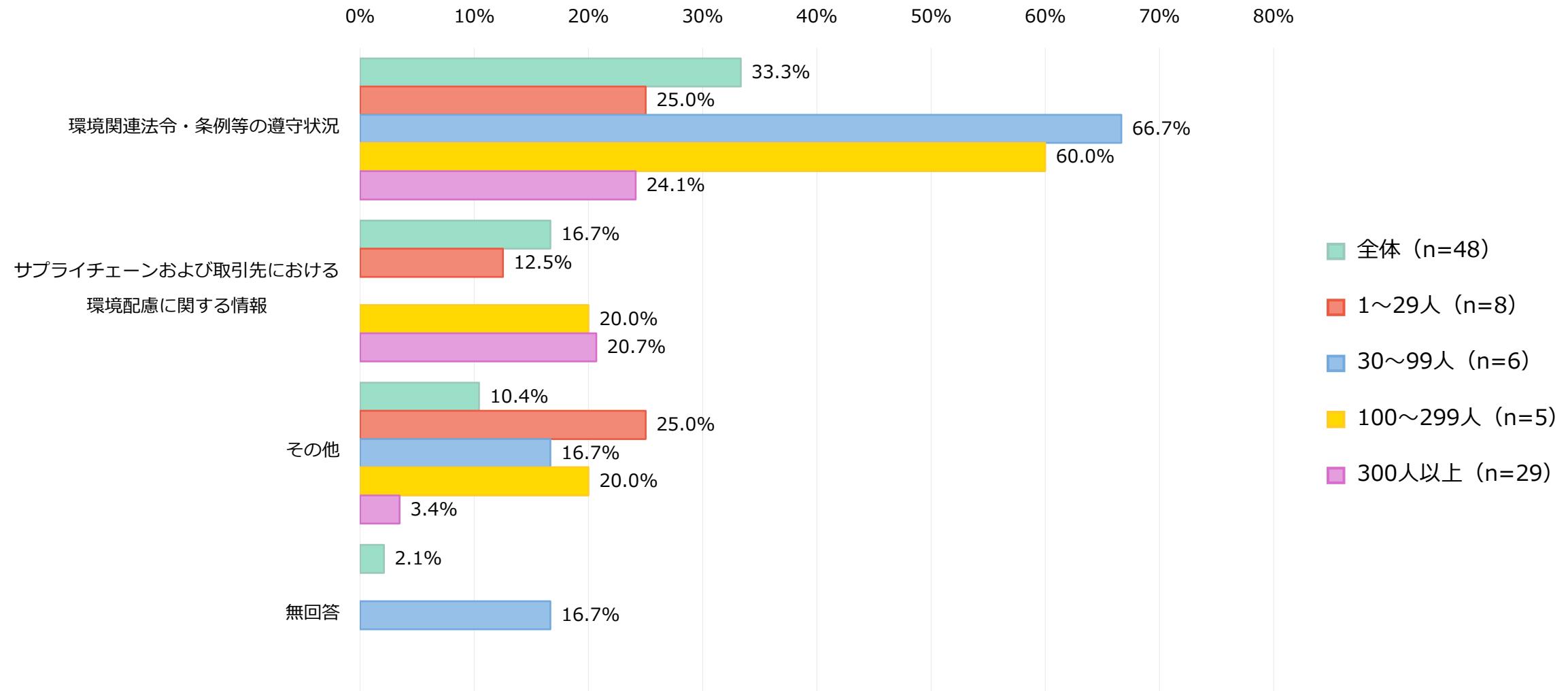
15-2 情報開示している内容（積極的に開示している、一部開示している）（業種別_続き）



15-2 情報開示している内容（積極的に開示している、一部開示している）（全体従業員数別）



15-2 情報開示している内容（積極的に開示している、一部開示している）（全体従業員数別_ 続き）



15-2 情報開示している内容（積極的に開示している、一部開示している）

		合計	生物多様性保全に関する方針および基本的な考え方	生物多様性への配慮を踏まえた具体的な取組内容	地域や行政機関等との連携状況	生物多様性に関する定量データ	環境関連法令・条例等の遵守状況	サプライチェーンおよび取引先における環境配慮に関する情報	その他	無回答
全体		48	41.7%	62.5%	35.4%	10.4%	33.3%	16.7%	10.4%	2.1%
業種	建設業	9	22.2%	77.8%	44.4%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
	製造業	17	58.8%	70.6%	17.6%	11.8%	29.4%	17.6%	5.9%	5.9%
	卸売業・小売業	8	25.0%	37.5%	50.0%	12.5%	50.0%	12.5%	25.0%	0.0%
	サービス業等	11	54.5%	72.7%	45.5%	18.2%	36.4%	27.3%	9.1%	0.0%
	その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
全体の従業員数	1~29人	46	0.0%	37.5%	25.0%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%
	30~99人	39	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	16.7%	16.7%
	100~299人	18	20.0%	60.0%	60.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	300人以上	43	65.5%	79.3%	41.4%	17.2%	24.1%	20.7%	3.4%	0.0%

15-2 情報開示している内容（積極的に開示している、一部開示している）

■ 「その他」の回答

- ・社会教育活動の様子をSNSで発信
- ・みどりの工場大賞のタイトルで発信。
- ・環境への取り組み姿勢や状況等
- ・SDGs推奨HPに掲載。環境GS認定。

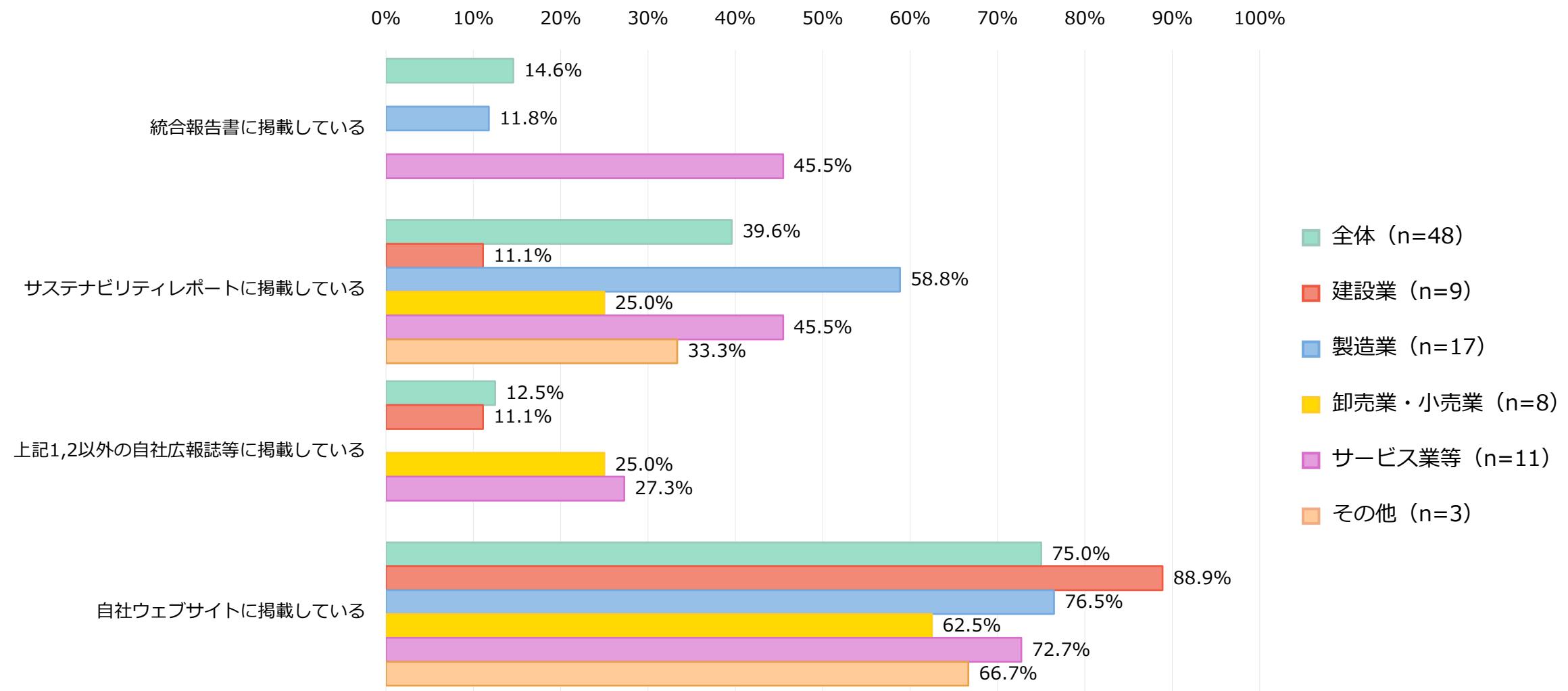
15 情報開示の主な手段（積極的に開示している、一部開示している）

問15

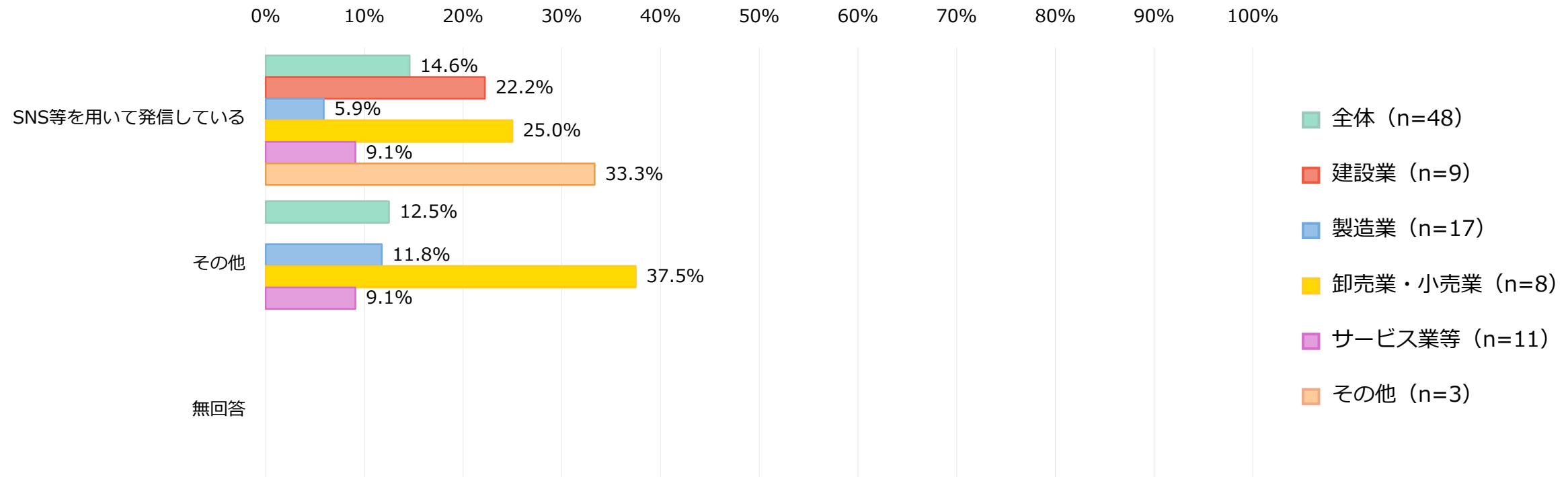
(3) 【(1)で「1. 積極的に開示している」「2. 一部開示している」とお答えになった方へ】
情報開示の主な手段をお知らせください。以下のなかあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 統合報告書に掲載している
2. サステナビリティレポートに掲載している
3. 上記1,2以外の自社広報誌等に掲載している
4. 自社ウェブサイトに掲載している
5. SNS等を用いて発信している
6. その他（具体的に：）

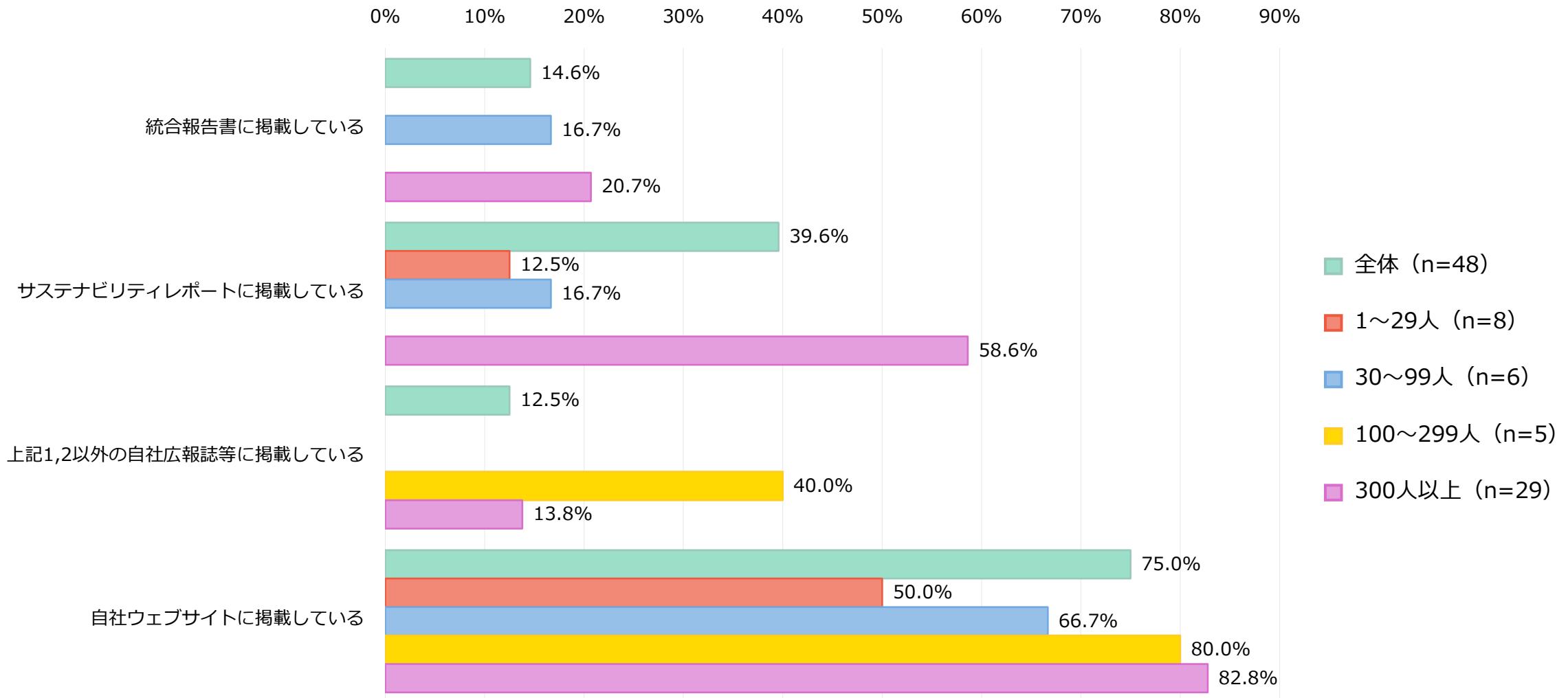
15-3 情報開示の主な手段（積極的に開示している、一部開示している）（業種別）



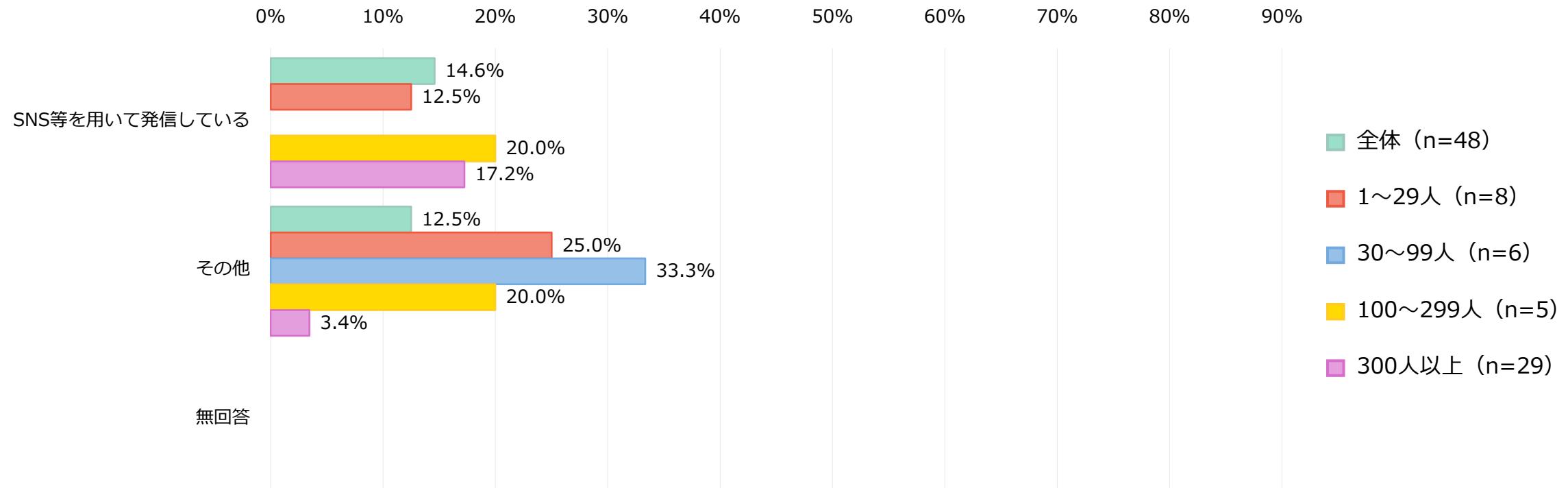
15-3 情報開示の主な手段（積極的に開示している、一部開示している）（業種別_続き）



15-3 情報開示の主な手段（積極的に開示している、一部開示している）（全体従業員数別）



15-3 情報開示の主な手段（積極的に開示している、一部開示している）（全体従業員数別_続き）



15-3 情報開示の主な手段（積極的に開示している、一部開示している）

		合計	統合報告書に掲載している	サステナビリティレポートに掲載している	上記1,2以外の自社広報誌等に掲載している	自社ウェブサイトに掲載している	SNS等を用いて発信している	その他	無回答
全体		48	14.6%	39.6%	12.5%	75.0%	14.6%	12.5%	0.0%
業種	建設業	9	0.0%	11.1%	11.1%	88.9%	22.2%	0.0%	0.0%
	製造業	17	11.8%	58.8%	0.0%	76.5%	5.9%	11.8%	0.0%
	卸売業・小売業	8	0.0%	25.0%	25.0%	62.5%	25.0%	37.5%	0.0%
	サービス業等	11	45.5%	45.5%	27.3%	72.7%	9.1%	9.1%	0.0%
	その他	3	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
全体の従業員数	1~29人	46	0.0%	12.5%	0.0%	50.0%	12.5%	25.0%	0.0%
	30~99人	39	16.7%	16.7%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
	100~299人	18	0.0%	0.0%	40.0%	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	300人以上	43	20.7%	58.6%	13.8%	82.8%	17.2%	3.4%	0.0%

15-3 情報開示の主な手段（積極的に開示している、一部開示している）

■ 「その他」の回答

- ・環境マネジメントシステムのマニュアルに基づく報告書の作成
- ・業界新聞や地元タブロイド紙へのリリース
- ・環境レポートとして公開
- ・メールやFAXで全取引先へ依頼
- ・「社会・環境報告書」として毎年発行（ホームページでの公開含む）

16 生物多様性に配慮した商品・サービスを提供する事業活動への取組状況と関心

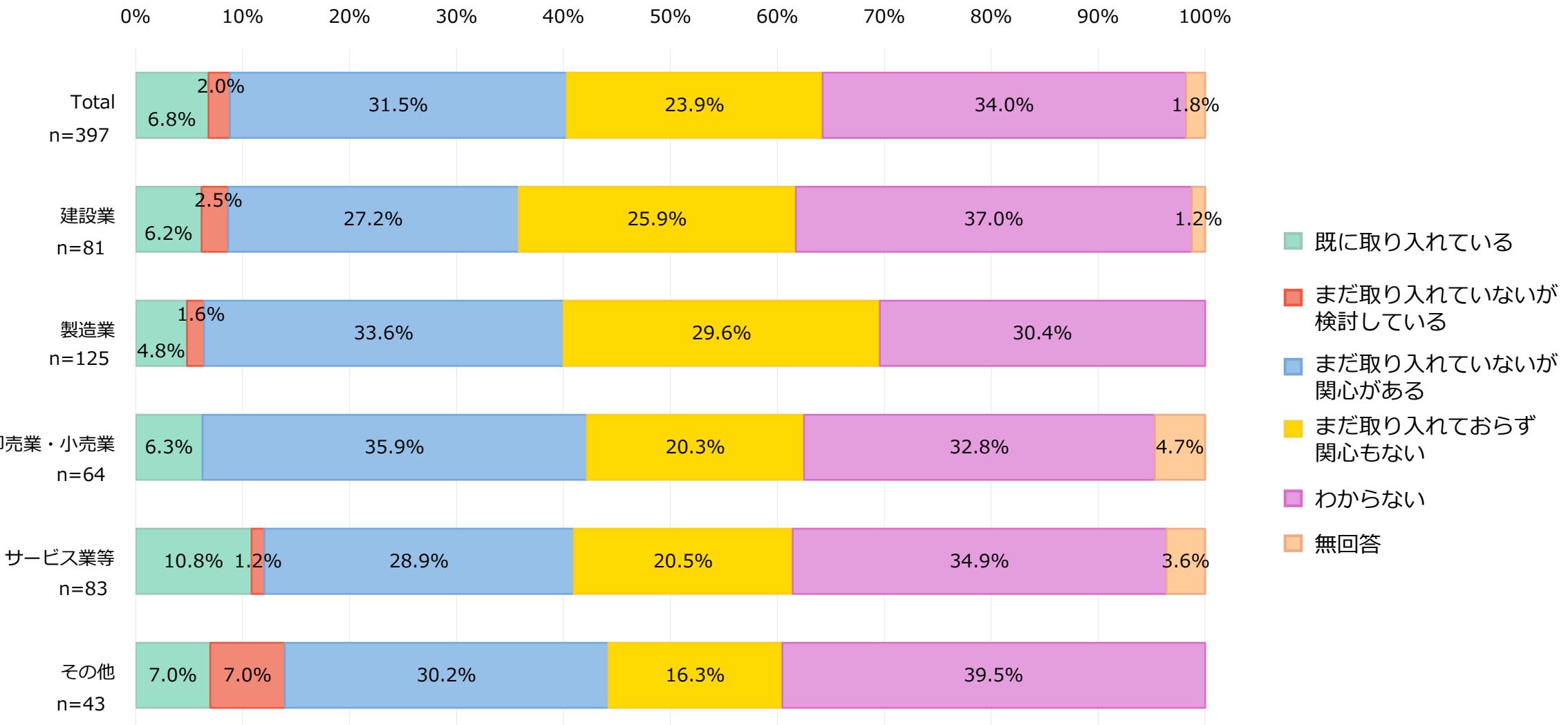
問16 豊かな自然を楽しむエコツアーや、生きものを守るための農法で栽培した農産物が通常よりも高く販売されるなど、経済活動と生物多様性の保全を組み合わせた事業活動が増えてきました。

(1) 貴社ではこのような生物多様性に配慮した商品・サービスを提供する事業活動にどの程度ご関心がありますか。以下のなかからあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

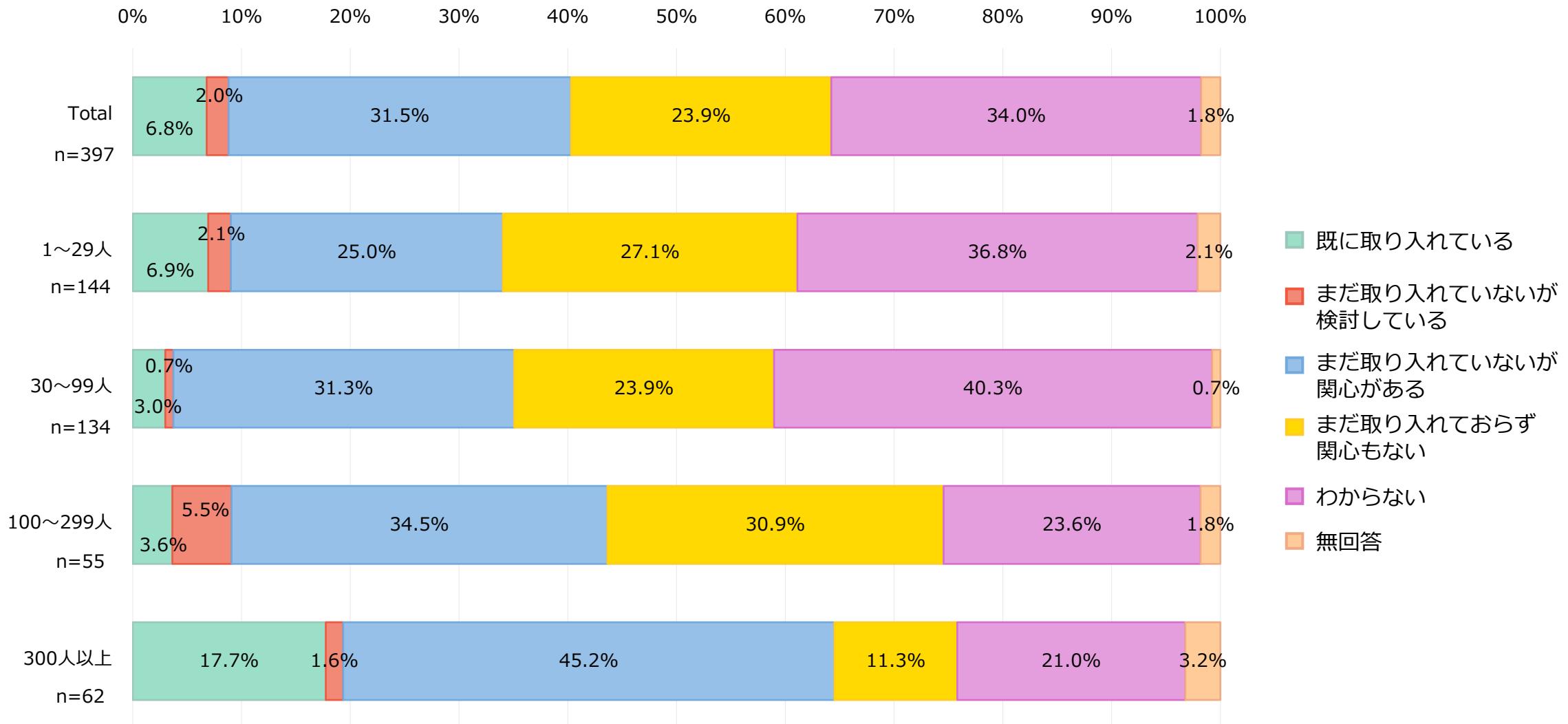
1. 既に取り入れている
2. まだ取り入れていないが検討している
3. まだ取り入れないが関心がある
4. まだ取り入れておらず関心もない
5. わからない

(2) (1)でのご回答の理由を教えてください。以下の回答欄にご自由にご記入ください。

16-1 生物多様性に配慮した商品・サービスを提供する事業活動への取組状況と関心（業種別）



16-1 生物多様性に配慮した商品・サービスを提供する事業活動への取組状況と関心（全体従業員数別）



16-2 生物多様性に配慮した商品・サービスを提供する事業活動への取組状況と関心の理由

■ 理由（抜粋）

(1) で「1. 既に取り入れている」と回答した事業所

- ・県産木材を中心に使用している。
- ・建築したビルで、ZEBready認証を取得した。
- ・既存住宅の断熱リフォームを提案することで、CO₂の排出量を抑え、気候変動の緩和に貢献しており、間接的に生態系や野生動物の生息環境を守っている。
- ・環境負荷が少ない独自のプライベート商品を販売している。
- ・木材をムダなく利用している。
- ・エコツアーについて当社HPでの販売取扱いを実施中

(1) で「2. まだ取り入れていないが検討している」と回答した事業所

- ・地産地消の促進により、地域社会を活性化しつつ、地元の就業機会を創出することで持続可能な農業と生物多様性の保全を両立するため。
- ・我が事業において具体的に何をすれば良いか検討中の段階

16-2 生物多様性に配慮した商品・サービスを提供する事業活動への取組状況と関心の理由

■ 理由（抜粋）

(1) で「3. まだ取り入れていないが関心がある」と回答した事業所

- ・有機農業など持続的な農業に関心がある。
- ・未来に必要な取り組みだから。
- ・経済活動と生物多様性の保全を組み合わせた事業活動は、今後重要性が増すと考えるから。
- ・弊社の環境方針に、生物多様性に関わる文言が含まれているため。
- ・農薬の製造をしており、供給責任があるため。
- ・当社の事業が、自然との共存なくしては成立しない事から。
- ・地域の生物多様性は持続可能な社会の実現、魅力あふれる地域の実現につながるから。
- ・商品と生物との関係性を表示することで、付加価値を創出することは売上の拡大につながりそうだから。
- ・取引先からの要請等、今後増えてくる可能性がある為。
- ・社会課題に取り組むことは企業の存在意義の一つと考えています。
- ・群馬県の豊かな森林環境を後世に残したい。
- ・環境資源の枯渇や温暖化など、人間が地球上に住んでいくための条件が年々厳しさを増していく。少しでも環境の維持・回復に努めなければ未来に繋げないと思う。

16-2 生物多様性に配慮した商品・サービスを提供する事業活動への取組状況と関心の理由

■ 理由（抜粋）

(1) で「4. まだ取り入れておらず関心もない」と回答した事業所

- ・弊社事業と生物多様性の関係がわからず、具体的な活動にどのようなものが考えられるかがわからない。
- ・普段の事業活動により、事業を継続していくのがやっとで、生物多様性に考えが及んでいない。
- ・取り入れることが難しい。どう取り入れたら生物多様性に配慮した商品になるのか分からない。
- ・事業活動としては関連が無く、生活上の問題だと思う。
- ・いまのところ必要性が見当たらない。

(1) で「5. わからない」と回答した事業所

- ・当社事業とどう関わってくるか分からない。
- ・当社で使用する材料が生物多様性を重視したサービスによるものかわからぬため。
- ・生物多様性に配慮した商品（非鉄金属）のイメージができていない。
- ・商品化やサービス提供について、どのようにしたらいいか分からない。
- ・現状は対応しておらず、経営層の方針もわからぬため。

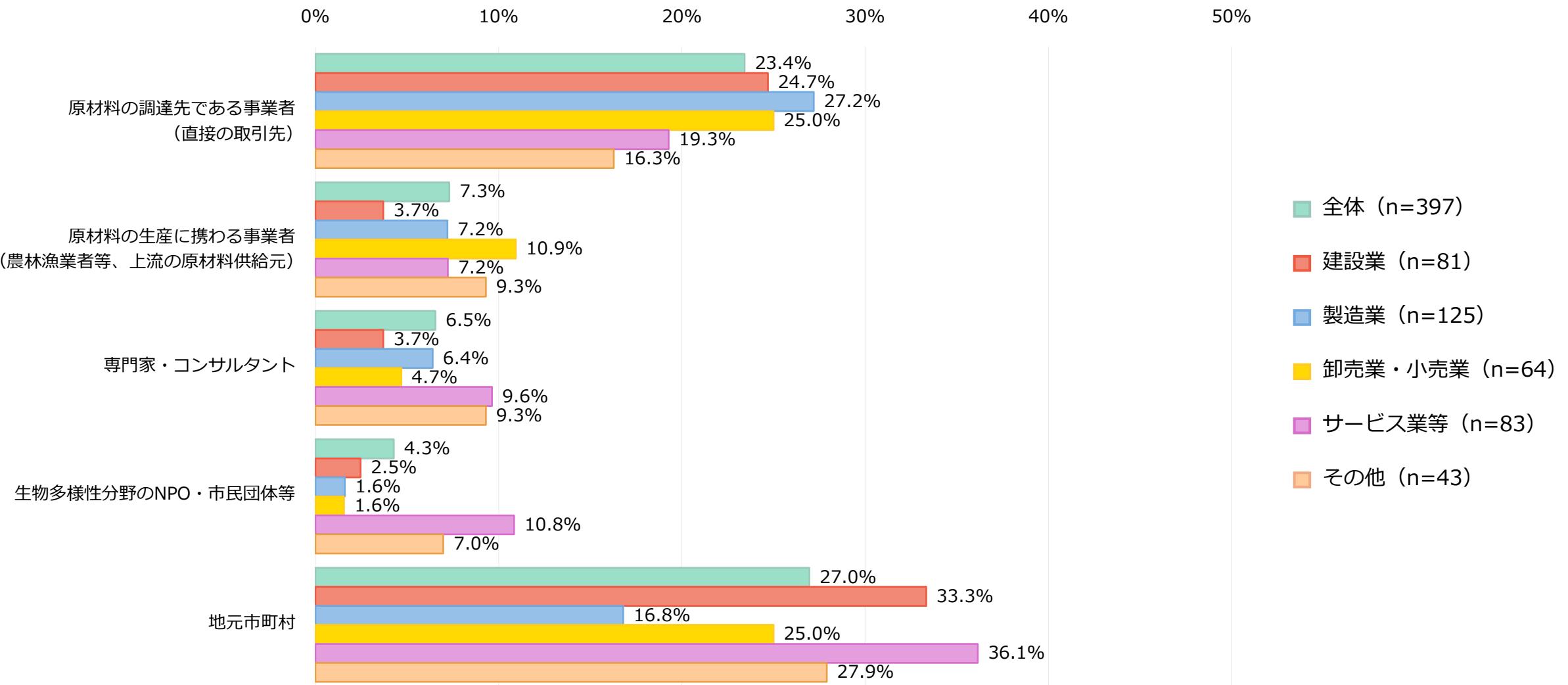
16 自然環境に配慮した商品やサービスの提供における連携希望先

問16

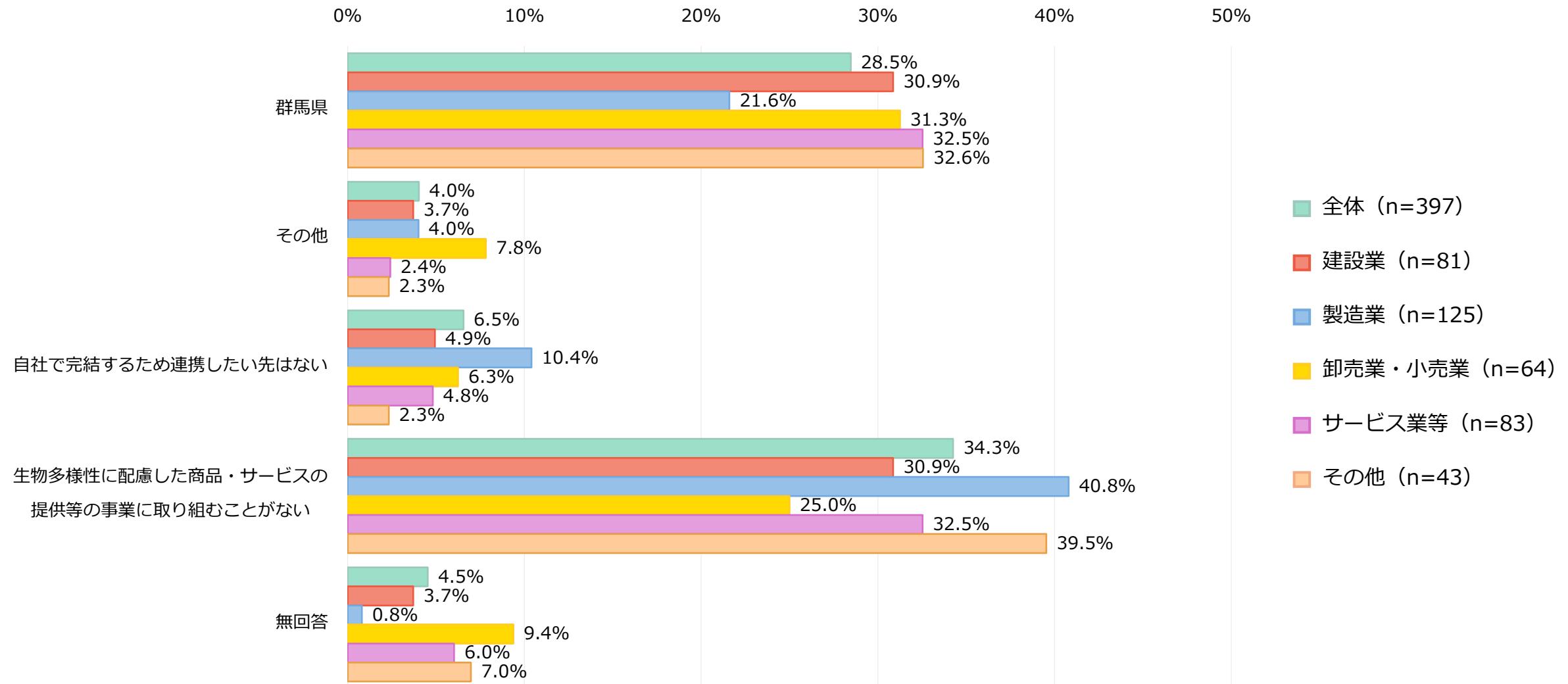
(3) 生物多様性に配慮した商品・サービスの提供等の事業を取り組むうえで、連携したい先はありますか。以下のなかからあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 原材料の調達先である事業者（直接の取引先）
2. 原材料の生産に携わる事業者（農林漁業者等、上流の原材料供給元）
3. 専門家・コンサルタント
4. 生物多様性分野のNPO・市民団体等
5. 地元市町村
6. 群馬県
7. その他（具体的に： ）
8. 自社で完結するため連携したい先はない
9. 生物多様性に配慮した商品・サービスの提供等の事業に取り組むことがない

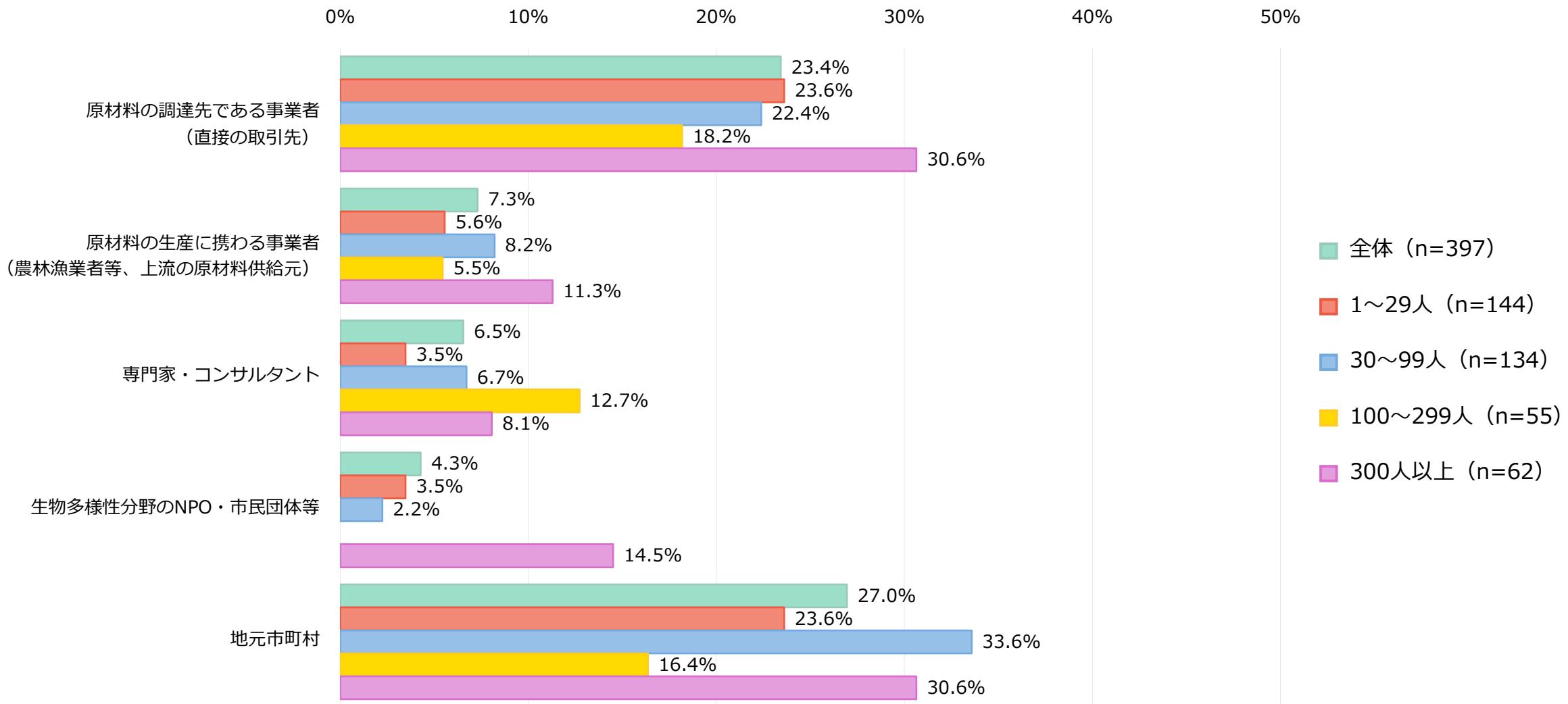
16-3 自然環境に配慮した商品やサービスの提供における連携希望先（業種別）



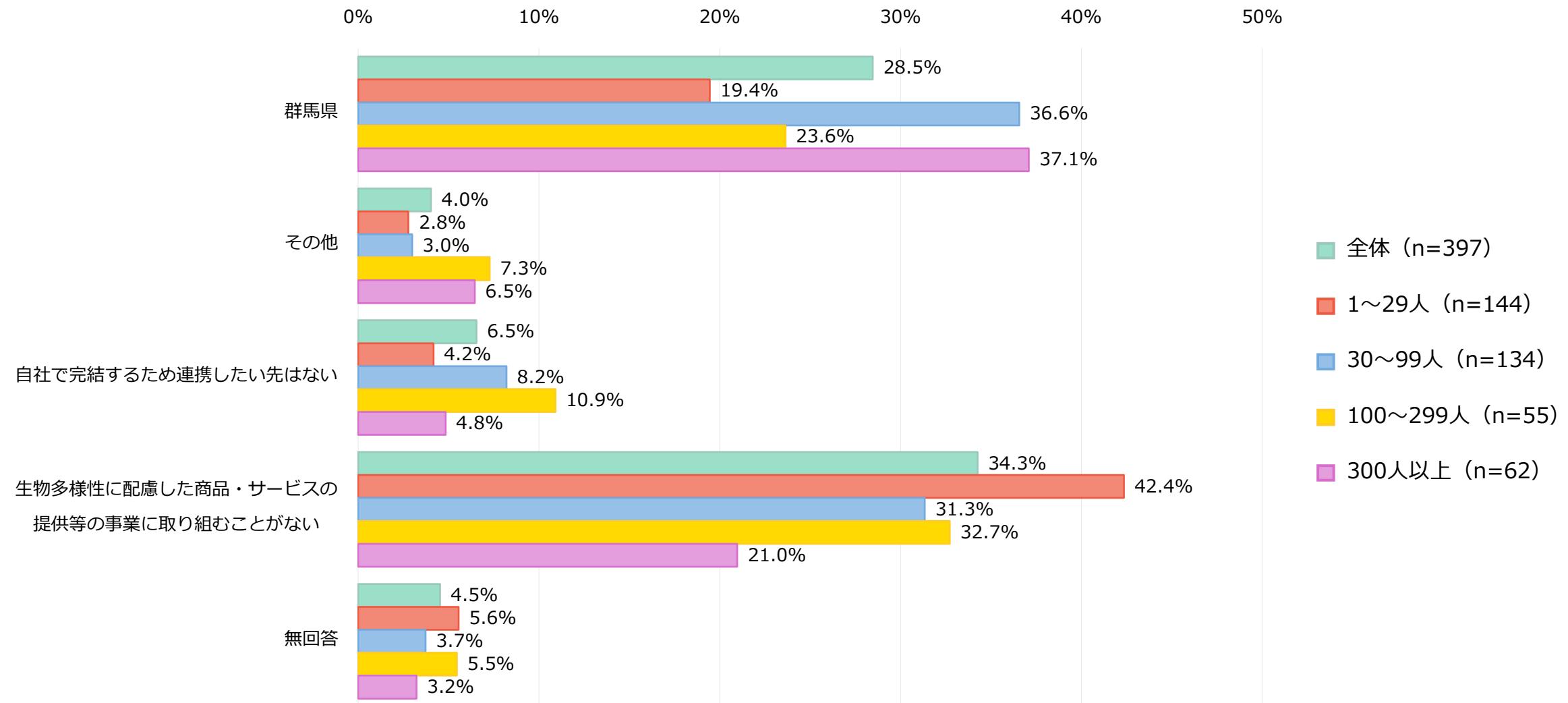
16-3 自然環境に配慮した商品やサービスの提供における連携希望先（業種別_続き）



16-3 自然環境に配慮した商品やサービスの提供における連携希望先（全体従業員数別）



16-3 自然環境に配慮した商品やサービスの提供における連携希望先（全体従業員数別_続き）



16-3 自然環境に配慮した商品やサービスの提供における連携希望先

		合計	原材料の調達先である事業者（直接の取引先）	原材料の生産に携わる事業者（農林漁業者等、上流の原材料供給元）	専門家・コンサルタント	生物多様性分野のNPO・市民団体等	地元市町村	
全体		397	23.4%	7.3%	6.5%	4.3%	27.0%	全体+10.0ポイント以上
業種	建設業	81	24.7%	3.7%	3.7%	2.5%	33.3%	全体+5.0～9.9ポイント
	製造業	125	27.2%	7.2%	6.4%	1.6%	16.8%	全体-5.0～9.9ポイント
	卸売業・小売業	64	25.0%	10.9%	4.7%	1.6%	25.0%	全体-10.0ポイント以上
	サービス業等	83	19.3%	7.2%	9.6%	10.8%	36.1%	
	その他	43	16.3%	9.3%	9.3%	7.0%	27.9%	
全体の従業員数	1～29人	144	23.6%	5.6%	3.5%	3.5%	23.6%	
	30～99人	134	22.4%	8.2%	6.7%	2.2%	33.6%	
	100～299人	55	18.2%	5.5%	12.7%	0.0%	16.4%	
	300人以上	62	30.6%	11.3%	8.1%	14.5%	30.6%	

16-3 自然環境に配慮した商品やサービスの提供における連携希望先（続き）

		合計	群馬県	その他	自社で完結するため連携したい先はない	生物多様性に配慮した商品・サービスの提供等の事業に取り組むことがない	無回答	
								全体+10.0ポイント以上
全体		397	28.5%	4.0%	6.5%	34.3%	4.5%	全体+10.0ポイント以上
業種	建設業	81	30.9%	3.7%	4.9%	30.9%	3.7%	全体+5.0～9.9ポイント
	製造業	125	21.6%	4.0%	10.4%	40.8%	0.8%	全体-5.0～9.9ポイント
	卸売業・小売業	64	31.3%	7.8%	6.3%	25.0%	9.4%	全体-10.0ポイント以上
	サービス業等	83	32.5%	2.4%	4.8%	32.5%	6.0%	
	その他	43	32.6%	2.3%	2.3%	39.5%	7.0%	
全体の従業員数	1～29人	144	19.4%	2.8%	4.2%	42.4%	5.6%	
	30～99人	134	36.6%	3.0%	8.2%	31.3%	3.7%	
	100～299人	55	23.6%	7.3%	10.9%	32.7%	5.5%	
	300人以上	62	37.1%	6.5%	4.8%	21.0%	3.2%	

16-3 自然環境に配慮した商品やサービスの提供における連携希望先（続き）

■ 「その他」の回答

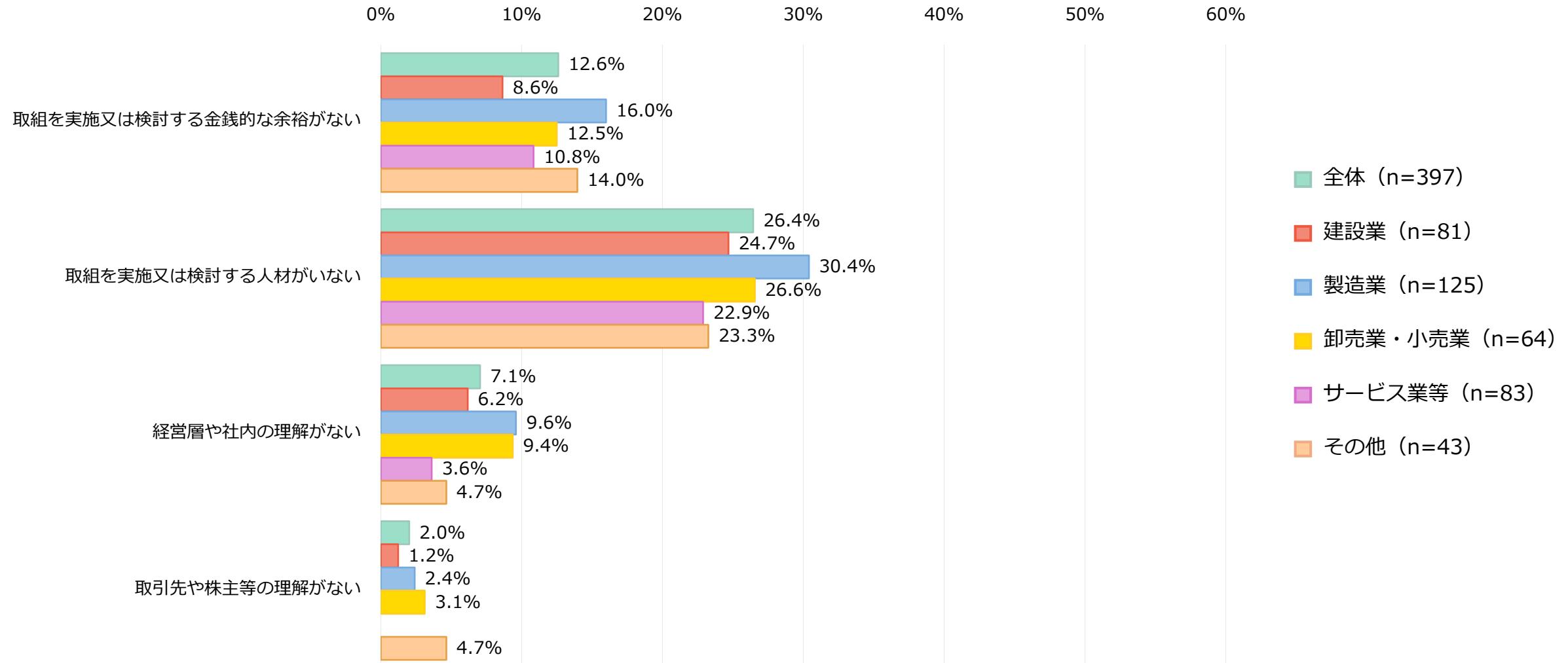
- ・尾瀬保護財団
- ・大学など
- ・グループ会社

17 生物多様性に関する取組を実施する上での課題

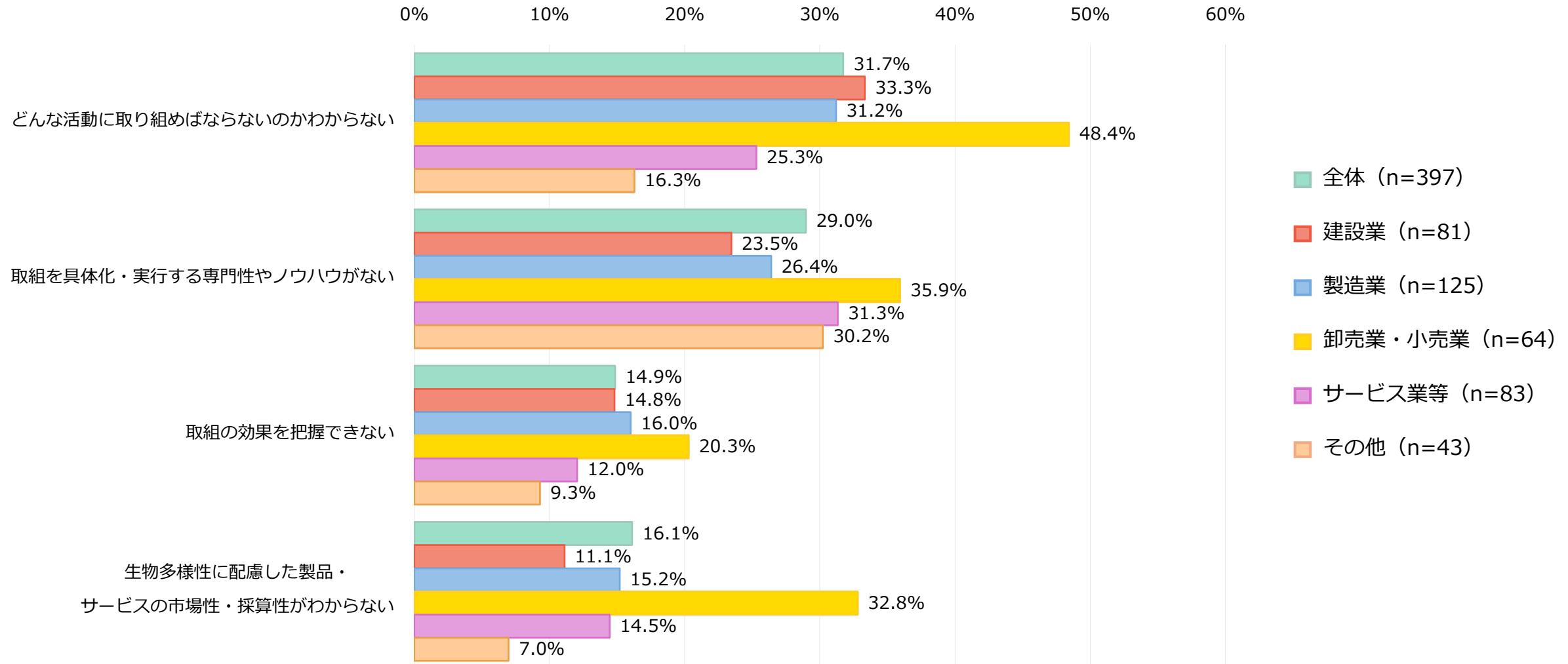
問17 貴社が生物多様性に関する取組を実施する上で課題となっていることがあれば、お知らせください。以下の中からあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 取組を実施又は検討する金銭的な余裕がない
2. 取組を実施又は検討する人材がない
3. 経営層や社内の理解がない
4. 取引先や株主等の理解がない
5. どんな活動に取り組めばならないのかわからない
6. 取組を具体化・実行する専門性やノウハウがない
7. 取組の効果を把握できない
8. 生物多様性に配慮した製品・サービスの市場性・採算性がわからない
9. その他（具体的に：）
10. 課題となっていることはない
11. わからない

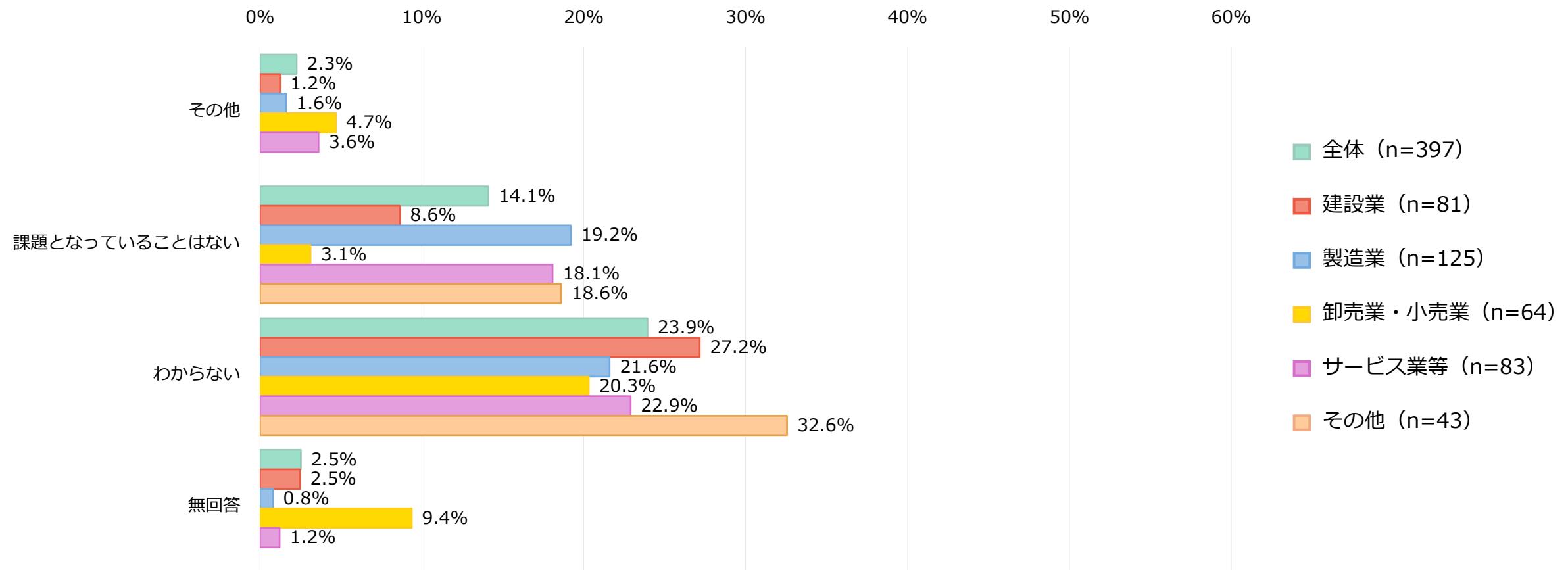
17 生物多様性に関する取組を実施するまでの課題（業種別）



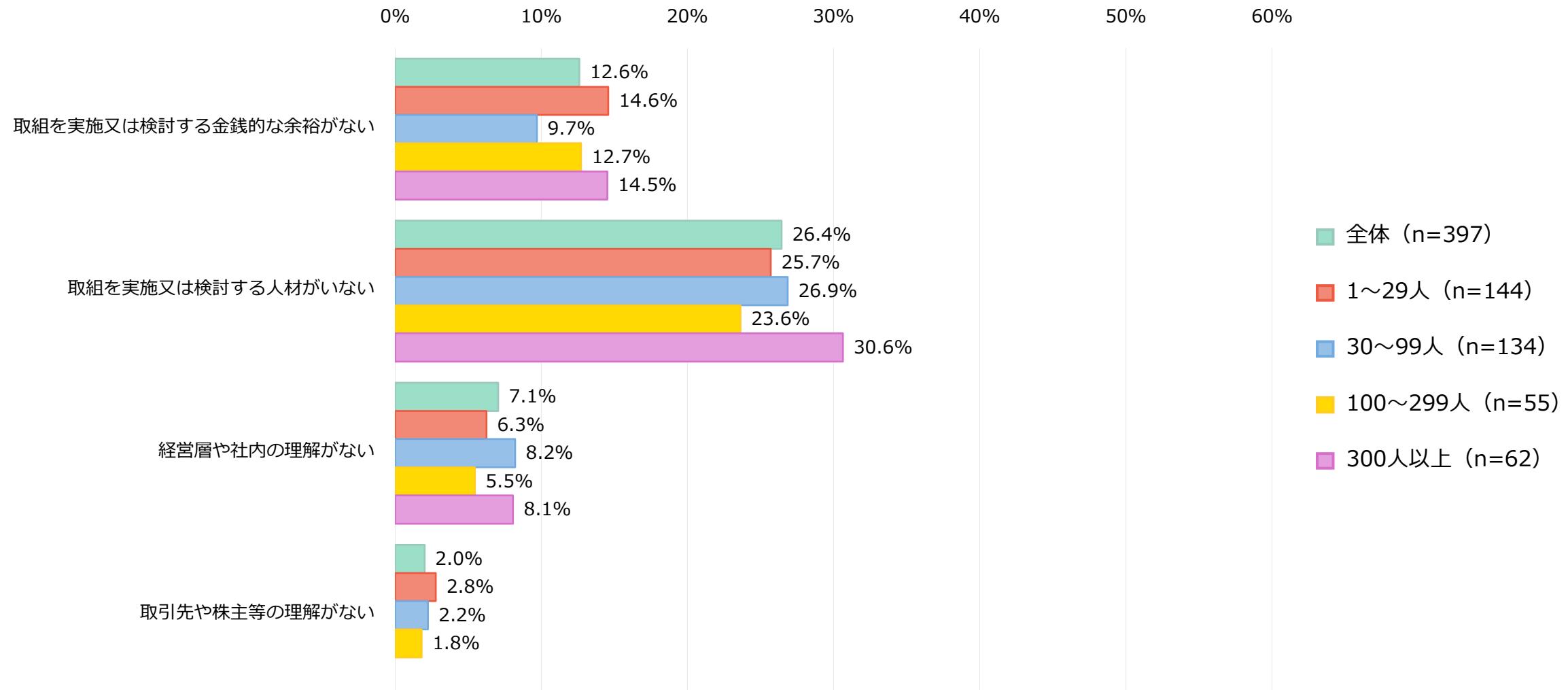
17 生物多様性に関する取組を実施する上での課題（業種別_続き）



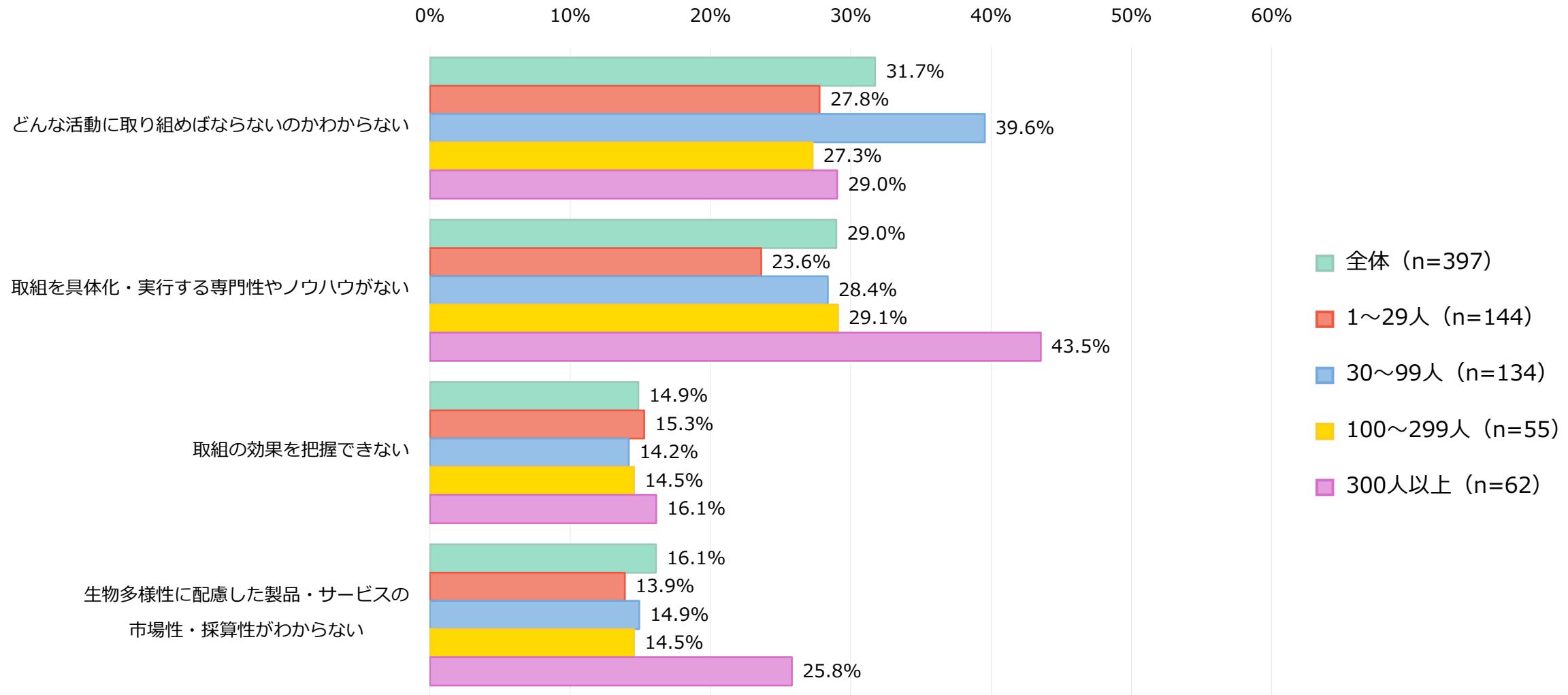
17 生物多様性に関する取組を実施するまでの課題（業種別_続き）



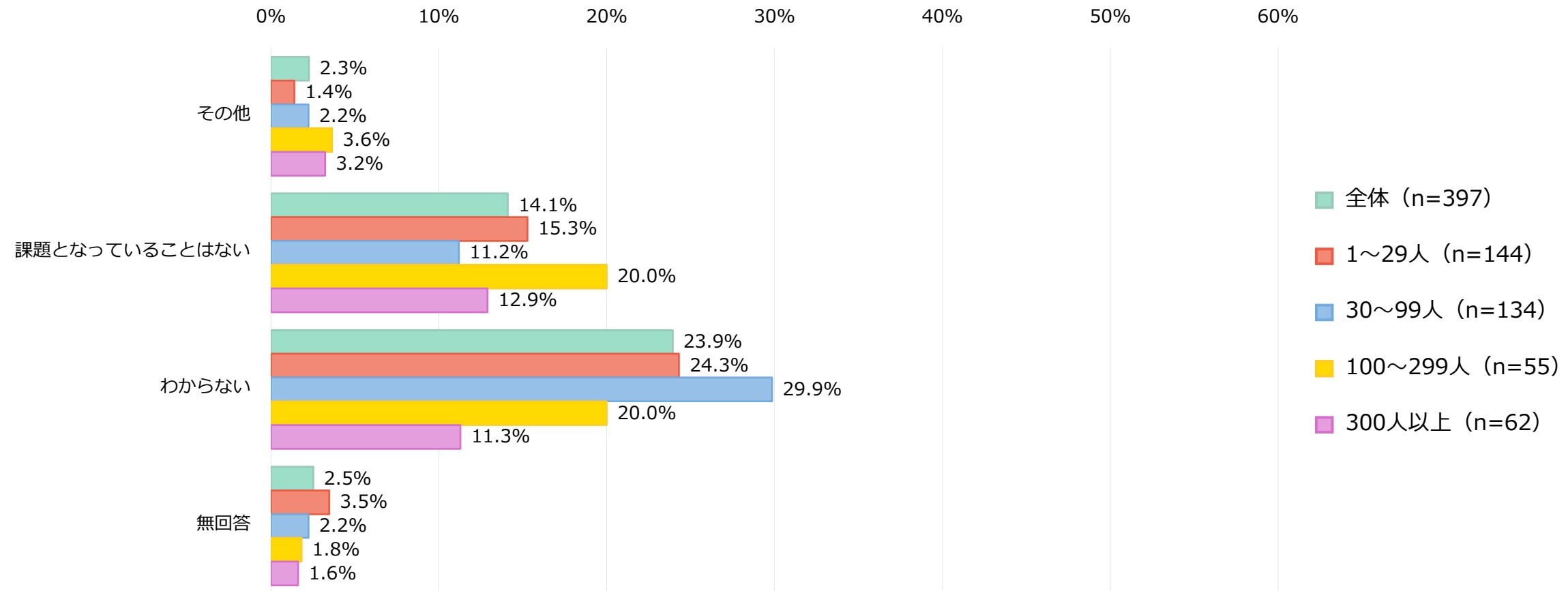
17 生物多様性に関する取組を実施するまでの課題（全体従業員数別）



17 生物多様性に関する取組を実施する上での課題（全体従業員数別_続き）



17 生物多様性に関する取組を実施するまでの課題（全体従業員数別_続き）



17 生物多様性に関する取組を実施するまでの課題

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0~9.9ポイント
	全体-5.0~9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	取組を実施又は検討する金銭的な余裕がない	取組を実施又は検討する人材がない	経営層や社内の理解がない	取引先や株主等の理解がない	どんな活動に取り組めばならないのかわからない	取組を具体化・実行する専門性やノウハウがない
全体	397	12.6%		26.4%	7.1%	2.0%	31.7%	29.0%
業種	建設業	81	8.6%	24.7%	6.2%	1.2%	33.3%	23.5%
	製造業	125	16.0%	30.4%	9.6%	2.4%	31.2%	26.4%
	卸売業・小売業	64	12.5%	26.6%	9.4%	3.1%	48.4%	35.9%
	サービス業等	83	10.8%	22.9%	3.6%	0.0%	25.3%	31.3%
	その他	43	14.0%	23.3%	4.7%	4.7%	16.3%	30.2%
全体の従業員数	1~29人	144	14.6%	25.7%	6.3%	2.8%	27.8%	23.6%
	30~99人	134	9.7%	26.9%	8.2%	2.2%	39.6%	28.4%
	100~299人	55	12.7%	23.6%	5.5%	1.8%	27.3%	29.1%
	300人以上	62	14.5%	30.6%	8.1%	0.0%	29.0%	43.5%

17 生物多様性に関する取組を実施するまでの課題（続き）

全体+10.0ポイント以上
全体+5.0～9.9ポイント
全体-5.0～9.9ポイント
全体-10.0ポイント以上

		合計	取組の効果を把握できない	生物多様性に配慮した製品・サービスの市場性・採算性がわからない	その他	課題となっていることはない	わからない	無回答
全体	397		14.9%	16.1%	2.3%	14.1%	23.9%	2.5%
業種	建設業	81	14.8%	11.1%	1.2%	8.6%	27.2%	2.5%
	製造業	125	16.0%	15.2%	1.6%	19.2%	21.6%	0.8%
	卸売業・小売業	64	20.3%	32.8%	4.7%	3.1%	20.3%	9.4%
	サービス業等	83	12.0%	14.5%	3.6%	18.1%	22.9%	1.2%
	その他	43	9.3%	7.0%	0.0%	18.6%	32.6%	0.0%
全体の従業員数	1～29人	144	15.3%	13.9%	1.4%	15.3%	24.3%	3.5%
	30～99人	134	14.2%	14.9%	2.2%	11.2%	29.9%	2.2%
	100～299人	55	14.5%	14.5%	3.6%	20.0%	20.0%	1.8%
	300人以上	62	16.1%	25.8%	3.2%	12.9%	11.3%	1.6%

17 生物多様性に関する取組を実施する上での課題（続き）

■ 「その他」の回答

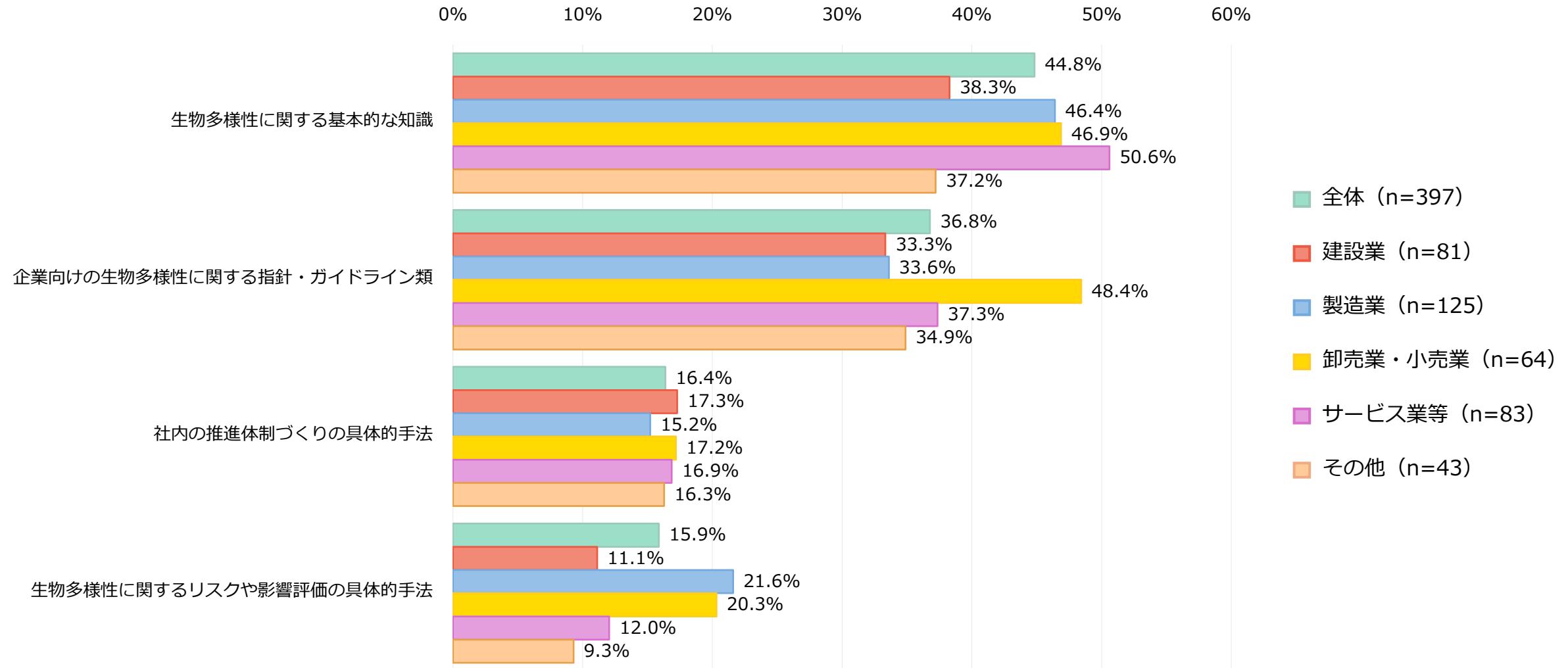
- ・納品物が未だ紙面による物が多い
- ・従業員への浸透
- ・取引先が少ない

18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報

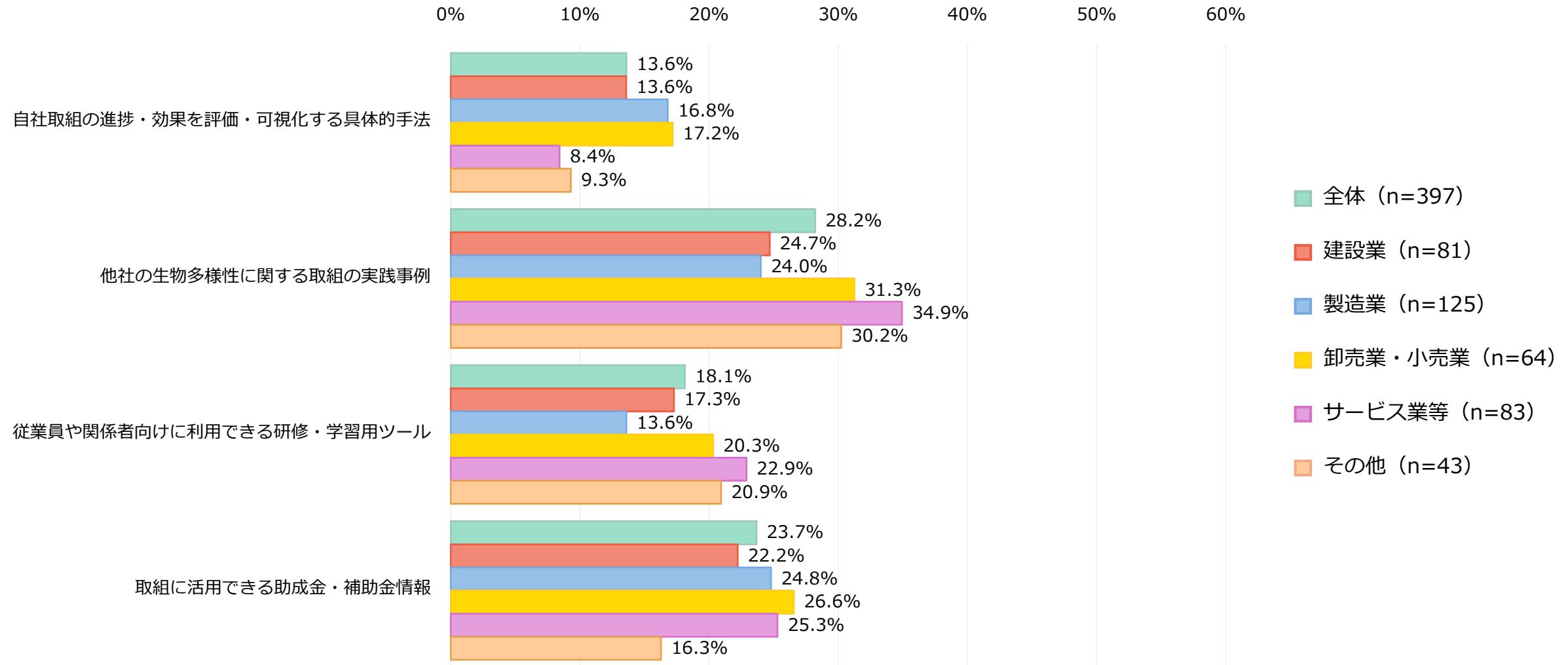
問18 貴社が生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報をお答えください。以下の中からあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 生物多様性に関する基本的な知識
2. 企業向けの生物多様性に関する指針・ガイドライン類
3. 社内の推進体制づくりの具体的手法
4. 生物多様性に関するリスクや影響評価の具体的手法
5. 自社取組の進捗・効果を評価・可視化する具体的手法
6. 他社の生物多様性に関する取組の実践事例
7. 従業員や関係者向けに利用できる研修・学習用ツール
8. 取組に活用できる助成金・補助金情報
9. その他（具体的に：）
10. 必要な情報はない
11. わからない

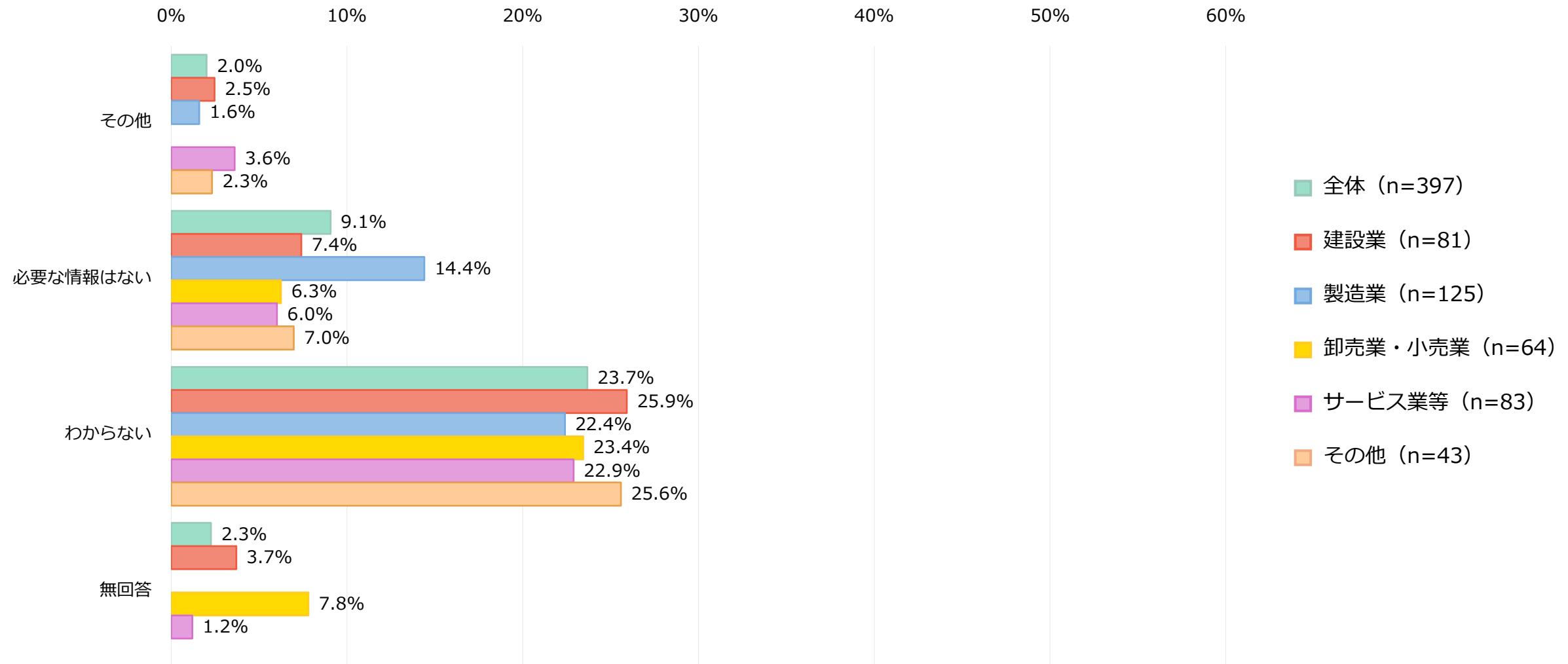
18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報（業種別）



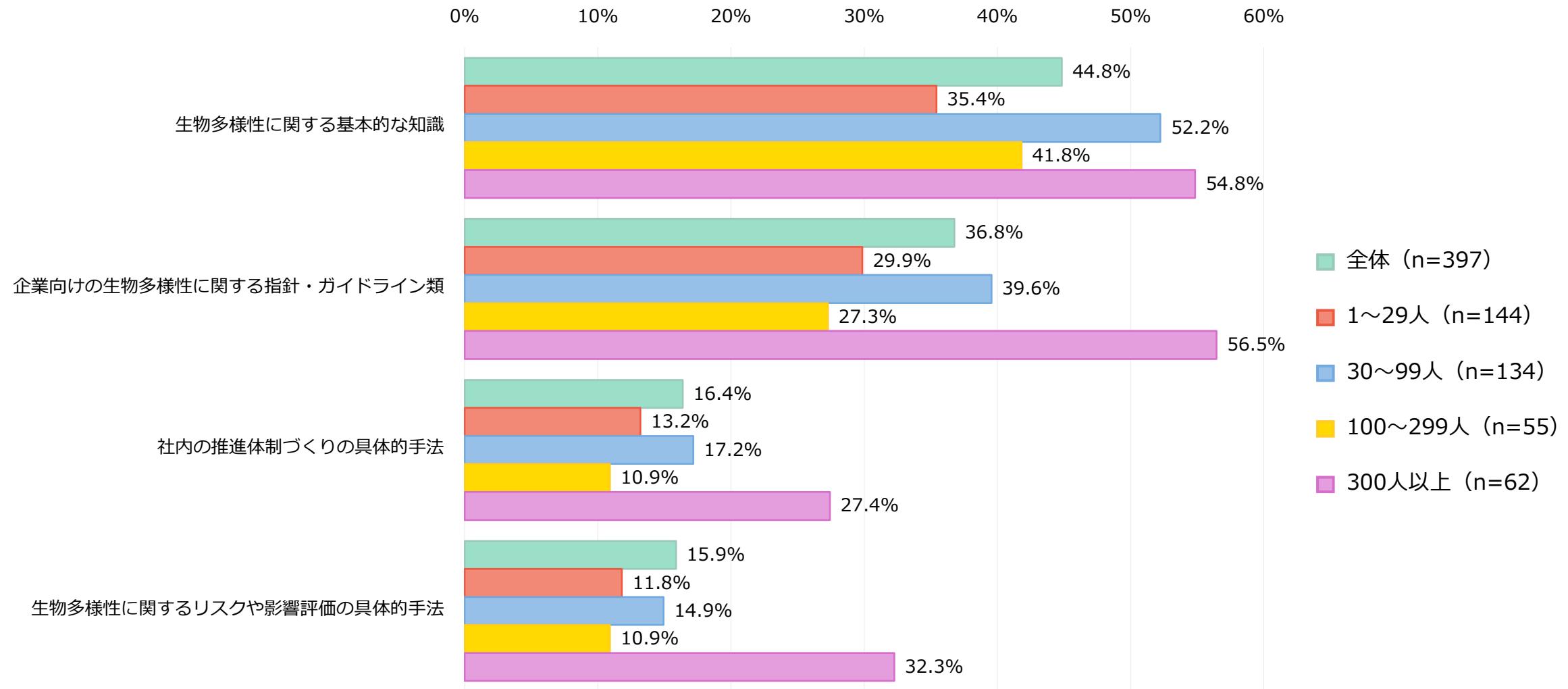
18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報（業種別_続き）



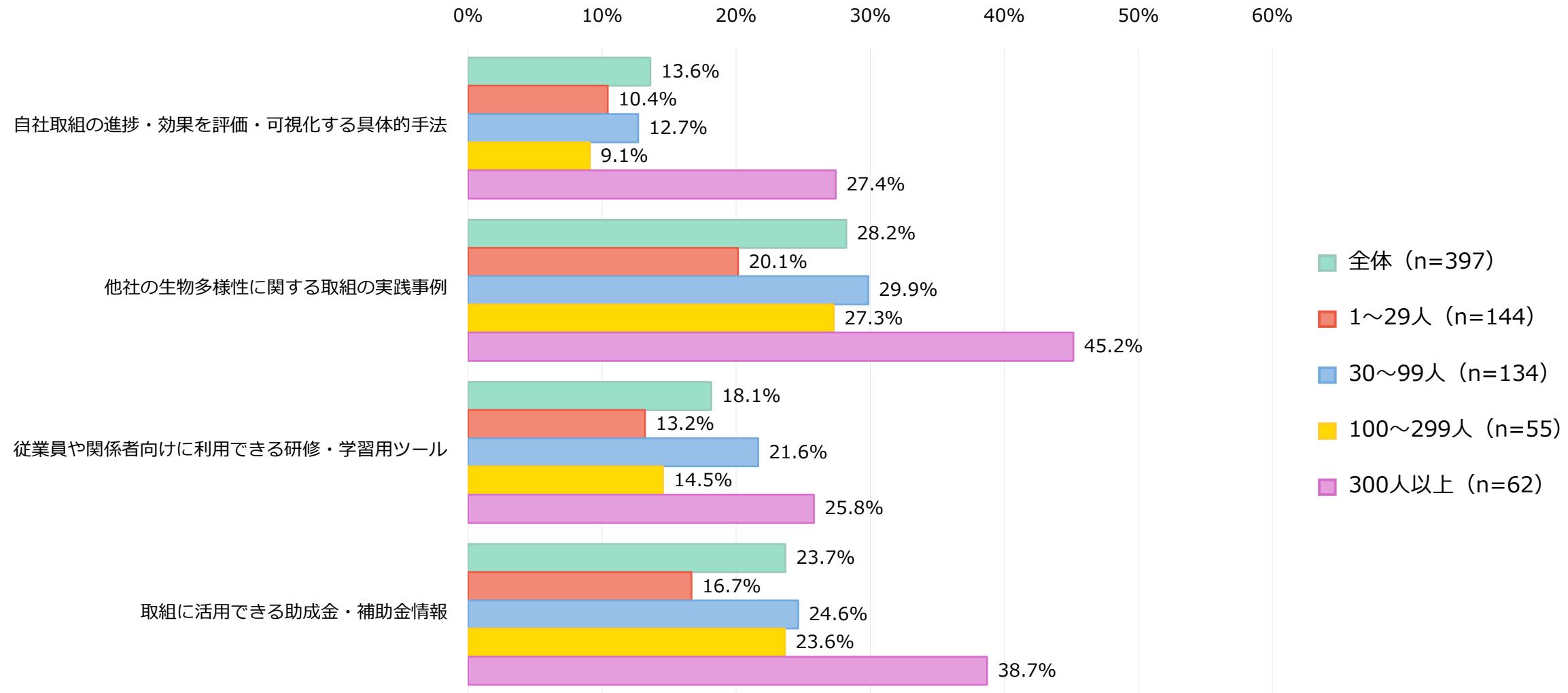
18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報（業種別_続き）



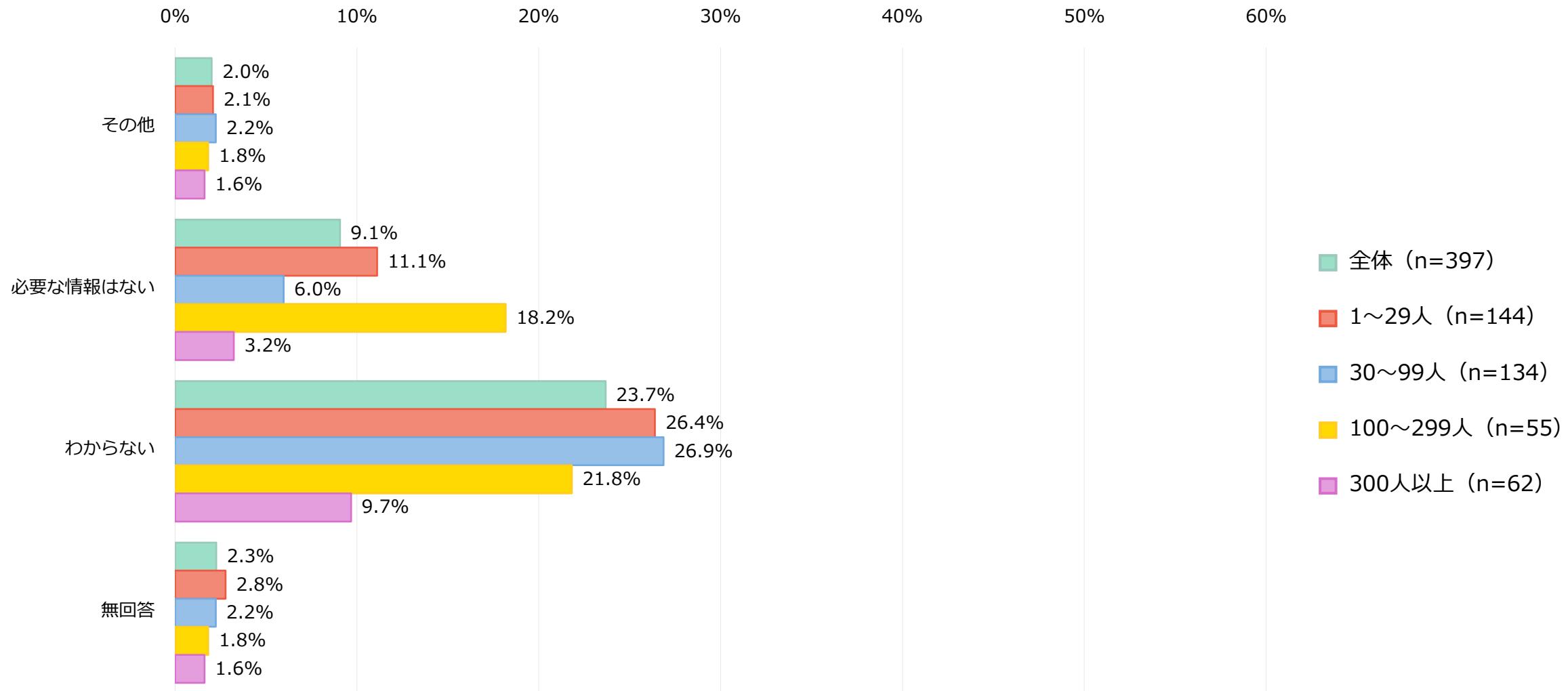
18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報（全体従業員数別）



18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報（全体従業員数別_続き）



18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報（全体従業員数別_続き）



18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	生物多様性に関する基本的な知識	企業向けの生物多様性に関する指針・ガイドライン類	社内の推進体制づくりの具体的手法	生物多様性に関するリスクや影響評価の具体的手法	自社取組の進捗・効果を評価・可視化する具体的手法	他社の生物多様性に関する取組の実践事例
全体	397		44.8%	36.8%	16.4%	15.9%	13.6%	28.2%
業種	建設業	81	38.3%	33.3%	17.3%	11.1%	13.6%	24.7%
	製造業	125	46.4%	33.6%	15.2%	21.6%	16.8%	24.0%
	卸売業・小売業	64	46.9%	48.4%	17.2%	20.3%	17.2%	31.3%
	サービス業等	83	50.6%	37.3%	16.9%	12.0%	8.4%	34.9%
	その他	43	37.2%	34.9%	16.3%	9.3%	9.3%	30.2%
全体の従業員数	1～29人	144	35.4%	29.9%	13.2%	11.8%	10.4%	20.1%
	30～99人	134	52.2%	39.6%	17.2%	14.9%	12.7%	29.9%
	100～299人	55	41.8%	27.3%	10.9%	10.9%	9.1%	27.3%
	300人以上	62	54.8%	56.5%	27.4%	32.3%	27.4%	45.2%

18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報（続き）

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	従業員や関係者向けに利用できる研修・学習用ツール	取組に活用できる助成金・補助金情報	その他	必要な情報はない	わからない	無回答
全体		397	18.1%	23.7%	2.0%	9.1%	23.7%	2.3%
業種	建設業	81	17.3%	22.2%	2.5%	7.4%	25.9%	3.7%
	製造業	125	13.6%	24.8%	1.6%	14.4%	22.4%	0.0%
	卸売業・小売業	64	20.3%	26.6%	0.0%	6.3%	23.4%	7.8%
	サービス業等	83	22.9%	25.3%	3.6%	6.0%	22.9%	1.2%
	その他	43	20.9%	16.3%	2.3%	7.0%	25.6%	0.0%
全体の従業員数	1～29人	144	13.2%	16.7%	2.1%	11.1%	26.4%	2.8%
	30～99人	134	21.6%	24.6%	2.2%	6.0%	26.9%	2.2%
	100～299人	55	14.5%	23.6%	1.8%	18.2%	21.8%	1.8%
	300人以上	62	25.8%	38.7%	1.6%	3.2%	9.7%	1.6%

18 生物多様性に関する取組を実施する上で必要な情報（続き）

■ 「その他」の回答

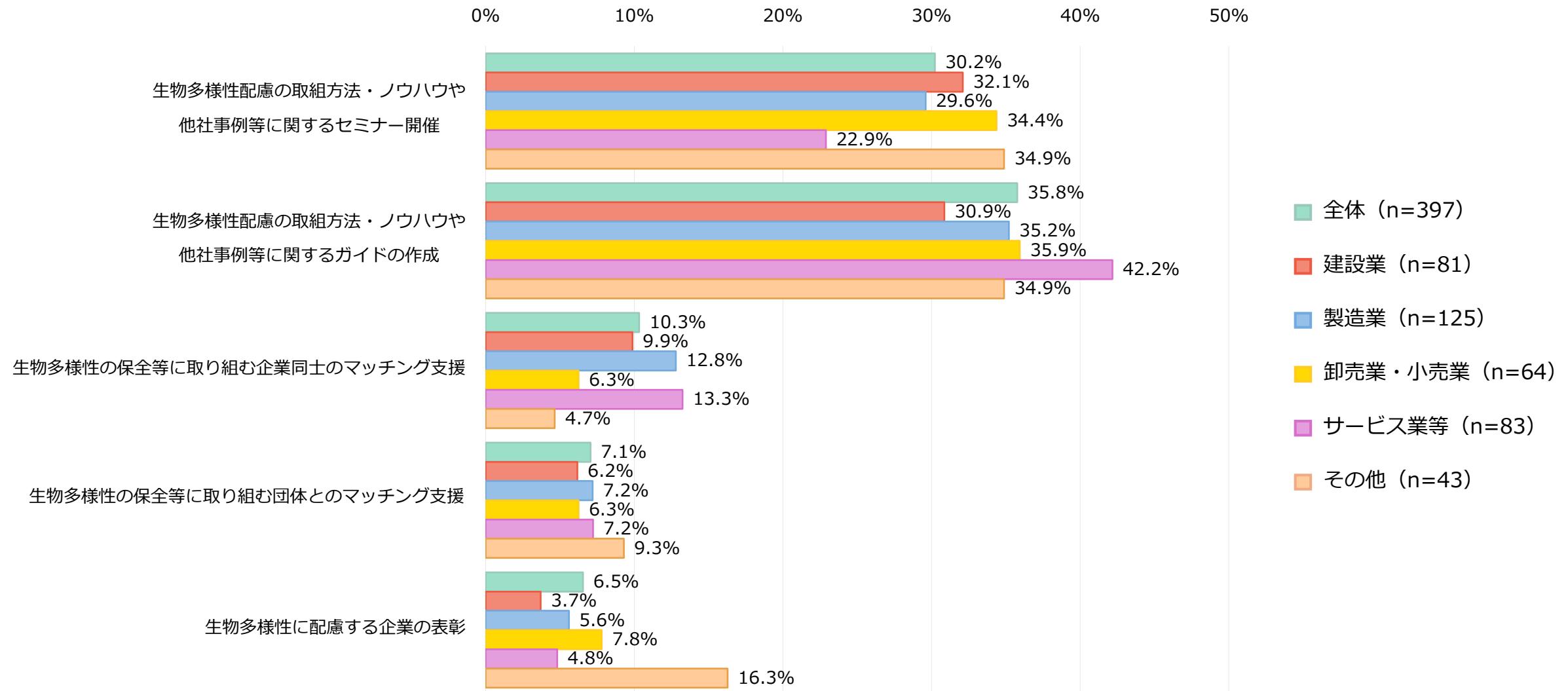
- ・設備工事業に関する上記指針・ガイドラインを示してほしい
- ・取り組みたいが、初動で気軽に始められる具体例
- ・残土が生物多様性に貢献出来るなら、残土の受入先の情報
- ・関連の薄い企業での取組の必要性及び重要性

19 群馬県に期待する取組

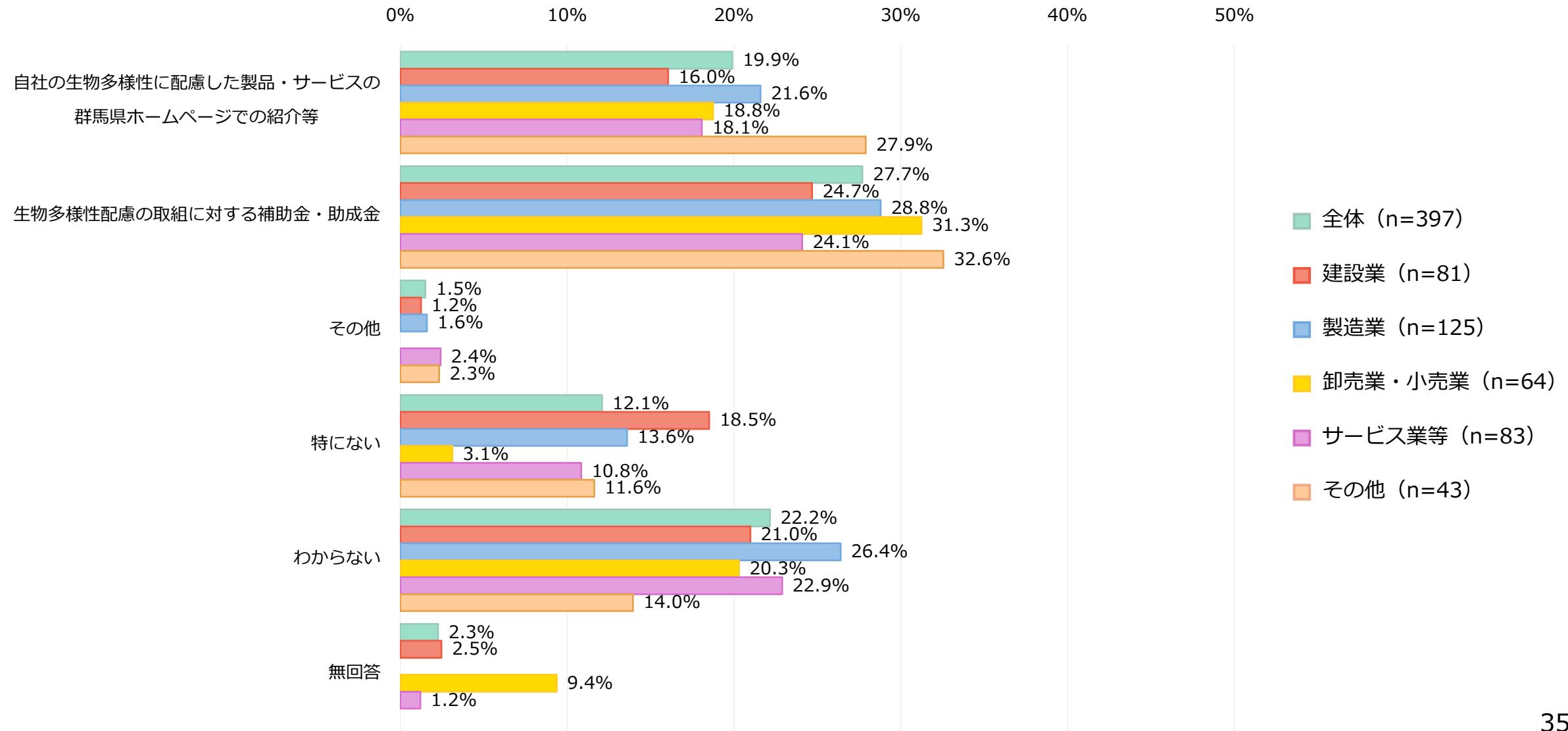
問19 企業の生物多様性に関する取組をより一層広げていくため、今後、群馬県に期待する取組をお答えください。以下のなかあてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 生物多様性配慮の取組方法・ノウハウや他社事例等に関するセミナー開催
2. 生物多様性配慮の取組方法・ノウハウや他社事例等に関するガイドの作成
3. 生物多様性の保全等に取り組む企業同士のマッチング支援
4. 生物多様性の保全等に取り組む団体とのマッチング支援
5. 生物多様性に配慮する企業の表彰
6. 自社の生物多様性に配慮した製品・サービスの群馬県ホームページでの紹介等
7. 生物多様性配慮の取組に対する補助金・助成金
8. その他（ ）
9. 特にない
10. わからない

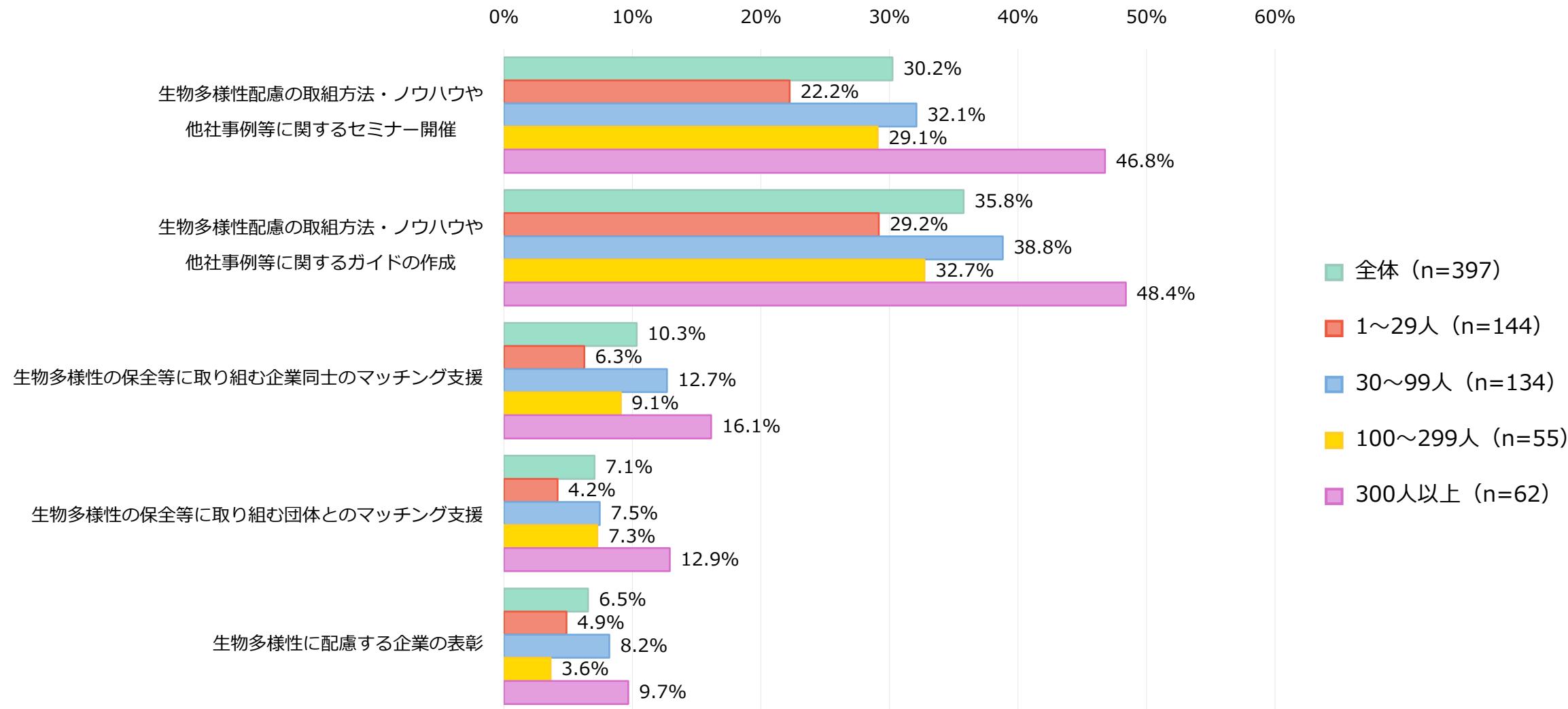
19 群馬県に期待する取組（業種別）



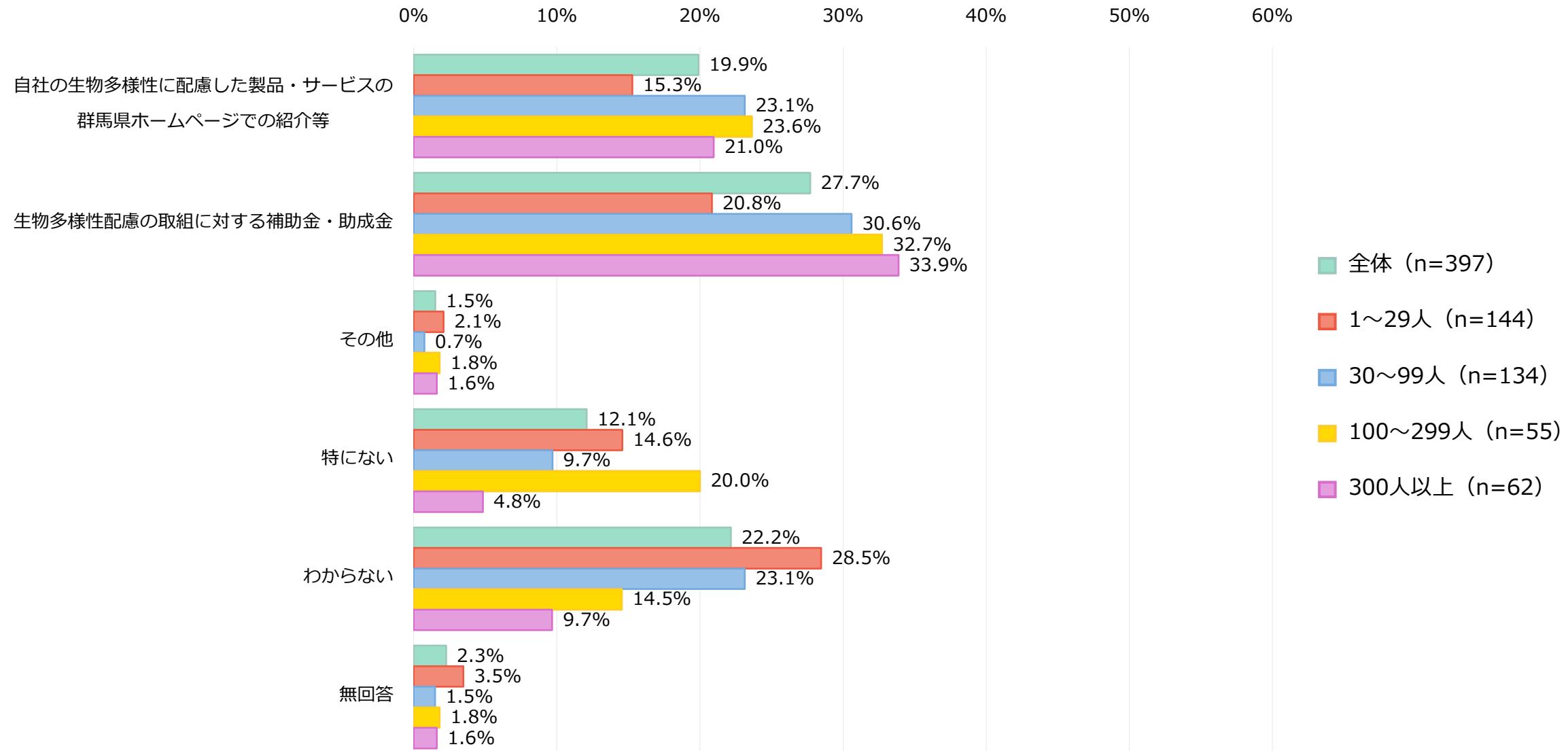
19 群馬県に期待する取組（業種別_続き）



19 群馬県に期待する取組（全体従業員数別）



19 群馬県に期待する取組（全体従業員数別_続き）



19 群馬県に期待する取組

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	生物多様性配慮の取組方法・ノウハウや他社事例等に関するセミナー開催	生物多様性配慮の取組方法・ノウハウや他社事例等に関するガイドの作成	生物多様性の保全等に取り組む企業同士のマッチング支援	生物多様性の保全等に取り組む団体とのマッチング支援	生物多様性に配慮する企業の表彰
全体	397	30.2%		35.8%	10.3%	7.1%	6.5%
業種	建設業	81	32.1%	30.9%	9.9%	6.2%	3.7%
	製造業	125	29.6%	35.2%	12.8%	7.2%	5.6%
	卸売業・小売業	64	34.4%	35.9%	6.3%	6.3%	7.8%
	サービス業等	83	22.9%	42.2%	13.3%	7.2%	4.8%
	その他	43	34.9%	34.9%	4.7%	9.3%	16.3%
全体の従業員数	1～29人	144	22.2%	29.2%	6.3%	4.2%	4.9%
	30～99人	134	32.1%	38.8%	12.7%	7.5%	8.2%
	100～299人	55	29.1%	32.7%	9.1%	7.3%	3.6%
	300人以上	62	46.8%	48.4%	16.1%	12.9%	9.7%

19 群馬県に期待する取組（続き）

	全体+10.0ポイント以上
	全体+5.0～9.9ポイント
	全体-5.0～9.9ポイント
	全体-10.0ポイント以上

		合計	自社の生物多様性に配慮した製品・サービスの群馬県ホームページでの紹介等	生物多様性配慮の取組に対する補助金・助成金	その他	特にない	わからない	無回答
全体		397	19.9%	27.7%	1.5%	12.1%	22.2%	2.3%
業種	建設業	81	16.0%	24.7%	1.2%	18.5%	21.0%	2.5%
	製造業	125	21.6%	28.8%	1.6%	13.6%	26.4%	0.0%
	卸売業・小売業	64	18.8%	31.3%	0.0%	3.1%	20.3%	9.4%
	サービス業等	83	18.1%	24.1%	2.4%	10.8%	22.9%	1.2%
	その他	43	27.9%	32.6%	2.3%	11.6%	14.0%	0.0%
全体の従業員数	1～29人	144	15.3%	20.8%	2.1%	14.6%	28.5%	3.5%
	30～99人	134	23.1%	30.6%	0.7%	9.7%	23.1%	1.5%
	100～299人	55	23.6%	32.7%	1.8%	20.0%	14.5%	1.8%
	300人以上	62	21.0%	33.9%	1.6%	4.8%	9.7%	1.6%

19 群馬県に期待する取組（続き）

■ 「その他」の回答

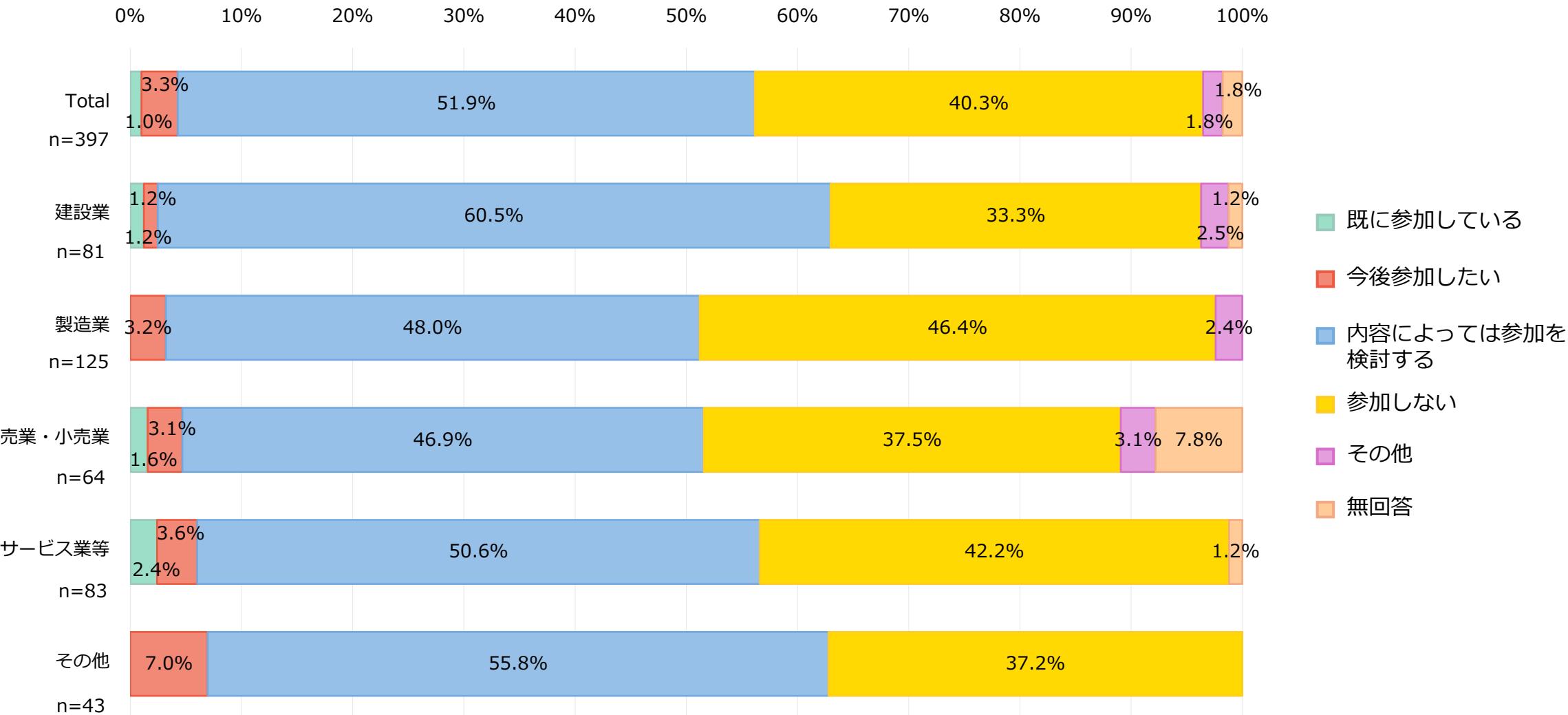
- ・提供を受ける側（エンドユーザー）の意識、そこに価値を感じることができなければ、取引が成立しない。
- ・失敗・成功どちらも、アクティビティーに関する事例など、又、どうしたらネイチャー的な体験を、宿泊（観光）につなげる事が可能かを、知りたい。
- ・自社の事業活動で生物多様性を大きく毀損するような活動が具体的に分からなく、広報的な効果しか無いように思います。意義の理解が不足しているということです。なので、もしこうした取組を広げるためには、活動の意義を周知することが重要かと思います。
- ・業種別、事業規模別のガイドラインを示してほしい。

20 ぐんまネイチャー・ポジティブ推進プラットフォームへの参加希望

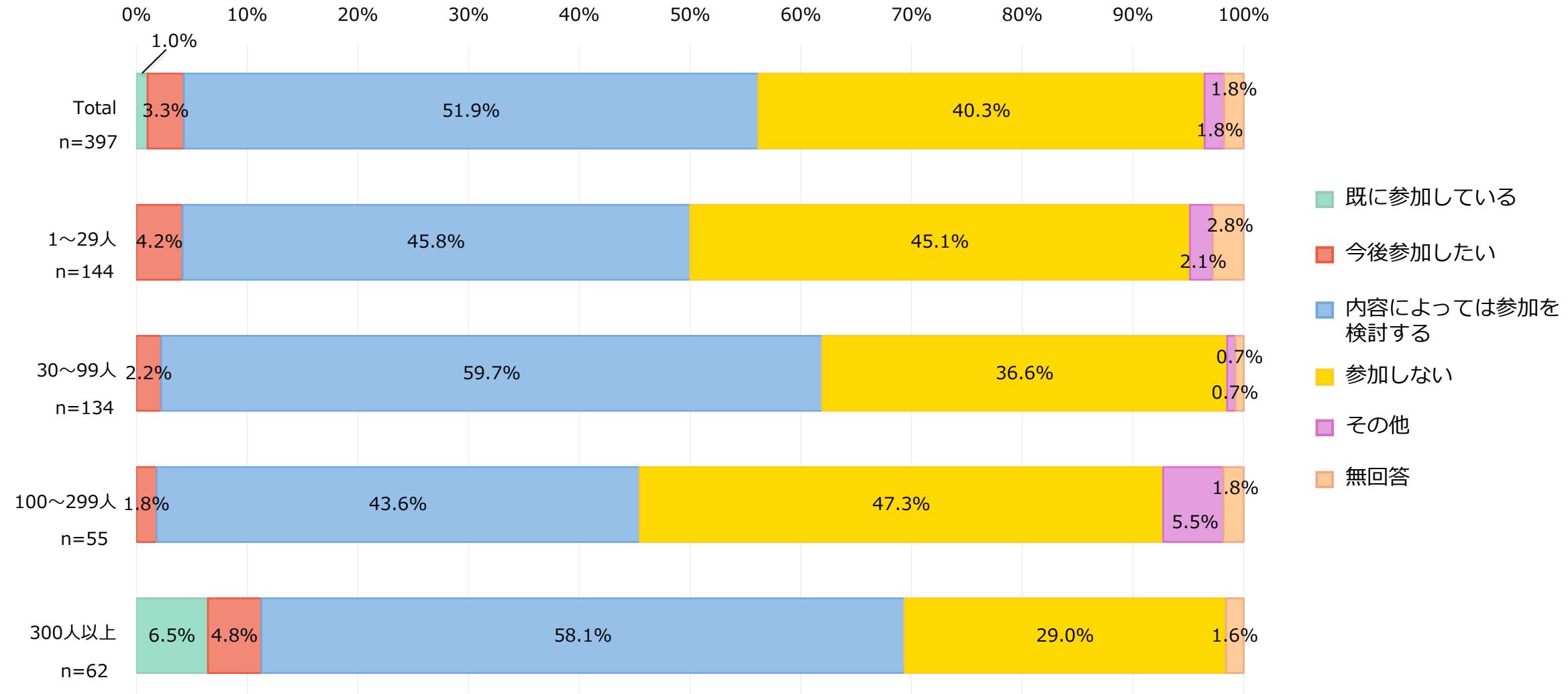
問20 群馬県は令和7年度に「ぐんまネイチャー・ポジティブ推進プラットフォーム」を創設しました。貴社は参加を希望しますか。以下の中からあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 既に参加している
2. 今後参加したい
3. 内容によっては参加を検討する
4. 参加しない
5. その他（具体的に：）

20 ぐんまネイチャーポジティブ推進プラットフォームへの参加希望（業種別）



20 ぐんまネイチャーポジティブ推進プラットフォームへの参加希望（全体従業員数別）

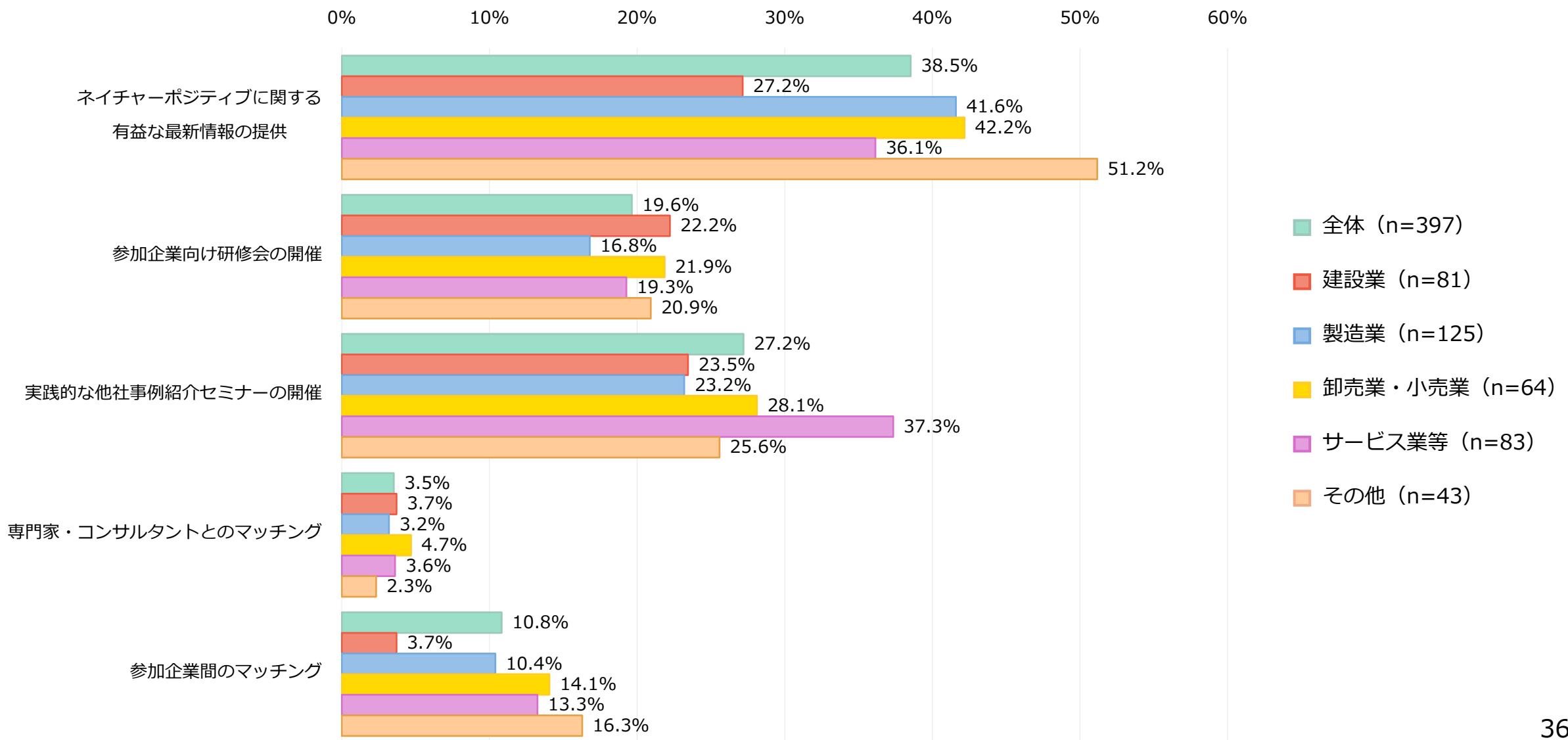


21 ぐんまネイチャーポジティブ推進プラットフォーム参加の決め手となる機能

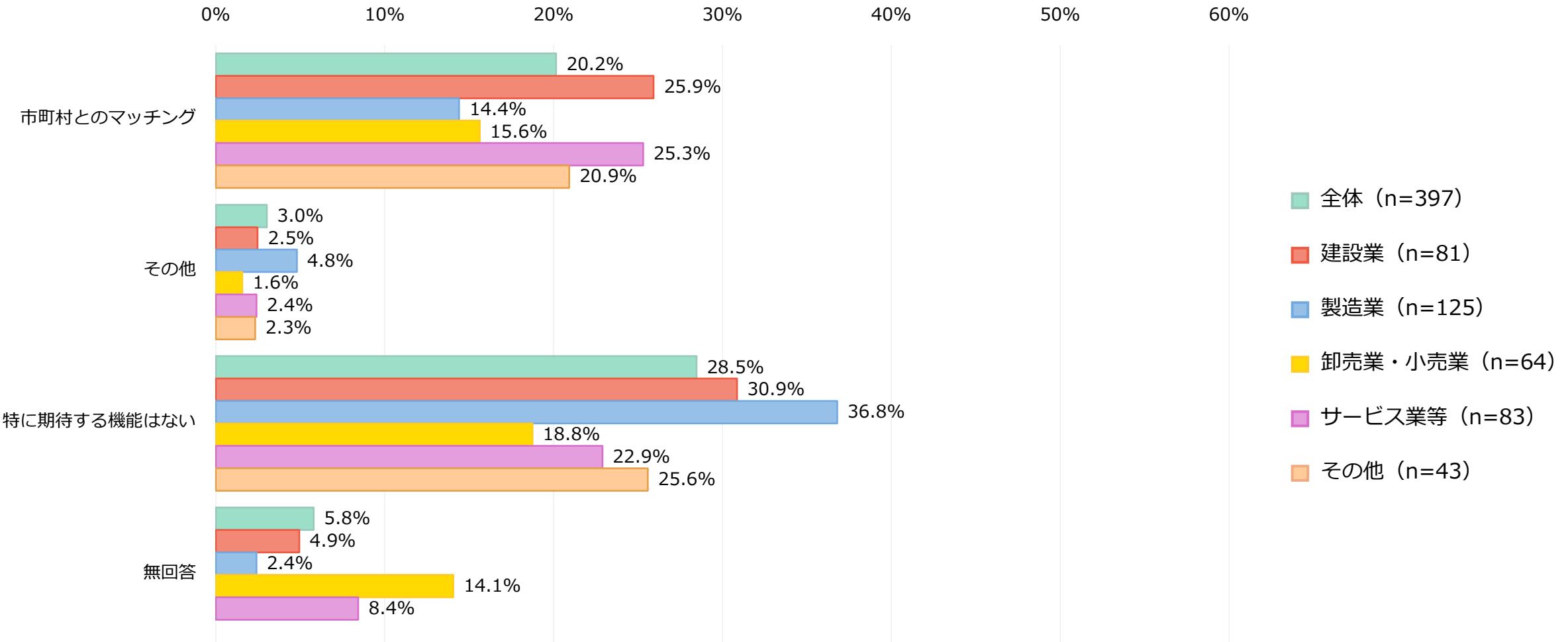
問21 「ぐんまネイチャーポジティブ推進プラットフォーム」に参加または参加継続するうえで、決め手となる機能は何ですか。以下の中から特に期待する機能を3つまで選び、番号に○をつけてください。

1. ネイチャーポジティブに関する有益な最新情報の提供
2. 参加企業向け研修会の開催
3. 実践的な他社事例紹介セミナーの開催
4. 専門家・コンサルタントとのマッチング
5. 参加企業間のマッチング
6. 市町村とのマッチング
7. その他（具体的に：）
8. 特に期待する機能はない

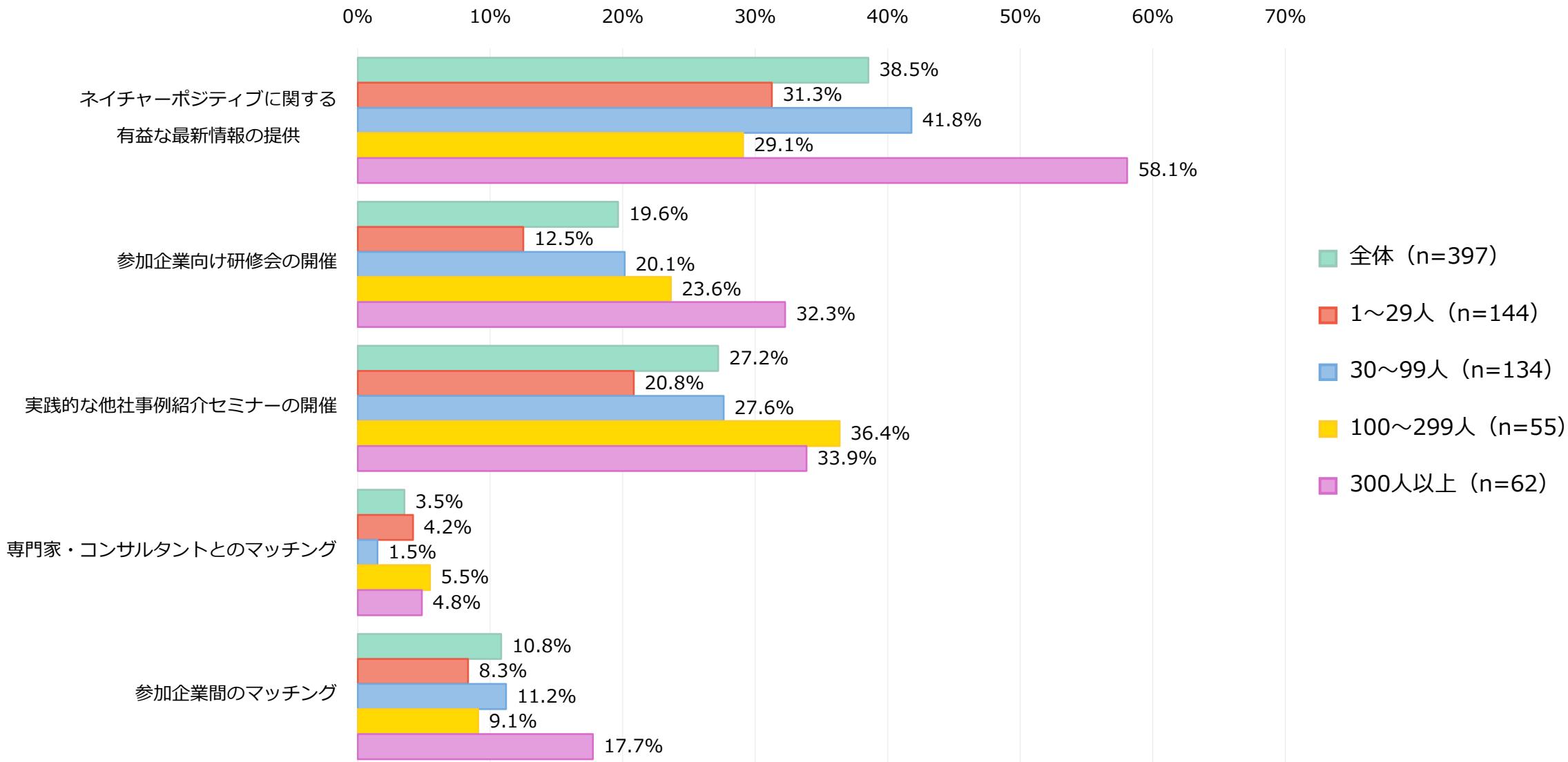
21 ぐんまネイチャーポジティブ推進プラットフォーム参加の決め手となる機能（業種別）



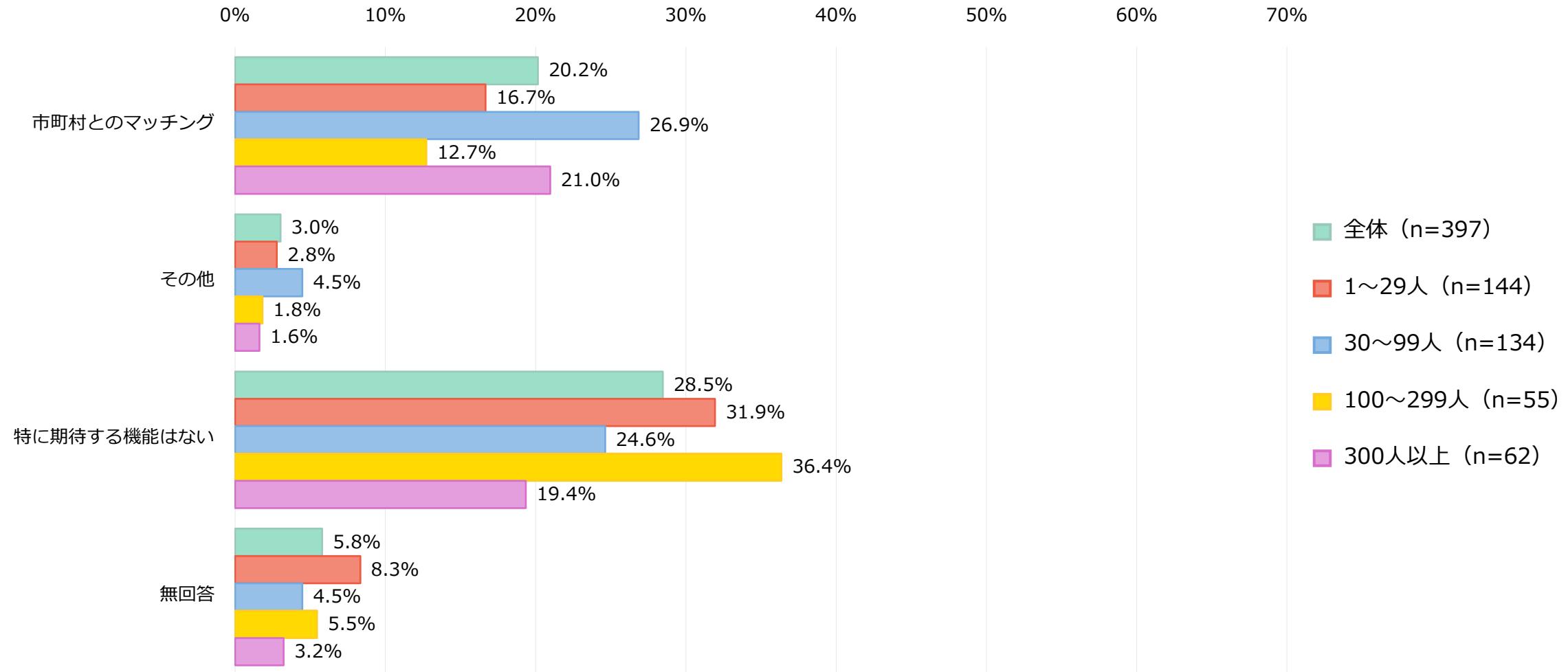
21 ぐんまネイチャーポジティブ推進プラットフォーム参加の決め手となる機能（業種別_続き）



21 ぐんまネイチャーポジティブ推進プラットフォーム参加の決め手となる機能（全体従業員数別）



21 ぐんまネイチャーポジティブ推進プラットフォーム参加の決め手となる機能（全体従業員数別_続き）



2 事業者アンケート調査

資料編

21 ぐんまネイチャーポジティブ推進プラットフォーム参加の決め手となる機能

全員+10.0ポイント以上
全員+5.0~9.9ポイント
全員-5.0~9.9ポイント
全員-10.0ポイント以上

		合計	ネイチャーポジティブに関する有益な最新情報の提供	参加企業向け研修会の開催	実践的な他社事例紹介セミナーの開催	専門家・コンサルタントとのマッチング	参加企業間のマッチング	市町村とのマッチング	その他	特に期待する機能はない	無回答
全体		397	38.5%	19.6%	27.2%	3.5%	10.8%	20.2%	3.0%	28.5%	5.8%
業種	建設業	81	27.2%	22.2%	23.5%	3.7%	3.7%	25.9%	2.5%	30.9%	4.9%
	製造業	125	41.6%	16.8%	23.2%	3.2%	10.4%	14.4%	4.8%	36.8%	2.4%
	卸売業・小売業	64	42.2%	21.9%	28.1%	4.7%	14.1%	15.6%	1.6%	18.8%	14.1%
	サービス業等	83	36.1%	19.3%	37.3%	3.6%	13.3%	25.3%	2.4%	22.9%	8.4%
	その他	43	51.2%	20.9%	25.6%	2.3%	16.3%	20.9%	2.3%	25.6%	0.0%
全体の従業員数	1~29人	144	31.3%	12.5%	20.8%	4.2%	8.3%	16.7%	2.8%	31.9%	8.3%
	30~99人	134	41.8%	20.1%	27.6%	1.5%	11.2%	26.9%	4.5%	24.6%	4.5%
	100~299人	55	29.1%	23.6%	36.4%	5.5%	9.1%	12.7%	1.8%	36.4%	5.5%
	300人以上	62	58.1%	32.3%	33.9%	4.8%	17.7%	21.0%	1.6%	19.4%	3.2%

21 ぐんまネイチャー・ポジティブ推進プラットフォーム参加の決め手となる機能

■ 「その他」の回答

- ・農林水産業の問題点洗い出し
- ・入札加点
- ・同業種の取組事例
- ・将来的に利益に結び付くか

22 群馬県の自然環境・生物多様性施策に対する意見・要望

問22 「ぐんまネイチャー・ポジティブ推進プラットフォーム」や群馬県の自然環境・生物多様性施策について、ご意見やご要望がありましたら、以下の回答欄にご自由にご記入ください。

＜ぐんまネイチャー・ポジティブ推進プラットフォームについて＞

＜群馬県の自然環境・生物多様性施策について＞

22 群馬県の自然環境・生物多様性施策に対する意見・要望

■ 「ぐんまネイチャー・ポジティブ推進プラットフォームについて」の回答

- ・理想論ばかりで、弊社の様な中小企業はそれらを行うほどの余裕なし
- ・認知度を、向上させる必要があると考えます。
- ・自然に相対する主体は農林水産業であり、普通の県民です。企業に負担を求めるべきではない。
- ・自社の事業がどのようにネイチャー・ポジティブで機能するのかを探りたい。
- ・具体的なプラットフォームがあるのは、ありがたい。何をしたらよいか、の部分の最初のとっかかりとなりそう。
- ・関心はあるが、中小企業にとって、現実的に意味のあるものにはならない。社会にとって必要なものであっても、企業とあって金はとられるがメリットになるものでは無いのが現実である。願わくば、金を取られた分の何分の一かは社会が良くなつて欲しい。
- ・各業種による取り組み例を具体的に明示してもらえるとよい。
- ・異業種間で自然再興をする推進することはとても重要なことだと思います。
- ・取組事例、効果など情報発信をお願いしたい（できれば業種による取組）。
- ・水源県としてとてもよい施策かと思いますが今回初めて耳にした言葉でした勉強していきたいと思います。
- ・自然豊かな場所であり、かつ農業、工業共に盛んであるので、「らしい」取り組みと感じます。

22 群馬県の自然環境・生物多様性施策に対する意見・要望

■「群馬県の自然環境・生物多様性施策について」の回答

- ・地域では、清掃活動などには参加していますが、少人数の会社では、なかなか参加できません。会社の回り等はお花や木を植えています。
- ・情報提供は今後も続けてほしい。
- ・自然豊かな群馬県ならではの施策を独自で取り入れることも重要であると思います。
- ・耕作放棄地による環境への悪影響、放置林がもたらす土砂災害など農林水産業の悪を取り締る事を期待します オーバーツーリズムも悪影響が大きいです。
- ・県内でこの取り組みを進めるためには、いかに民間企業が「CSV」のうち、「Value」を感じられるかが焦点になると個人的には考えている。そのために、企業間連携の支援、補助金活用の拡大等、この分野の情報提供にとどまらず民間企業を応援する施策の検討をお願いしたい。
- ・群馬県は都心からアクセスも良く、自然環境に恵まれている地域ではありますが、群馬県が実施している施策をこのアンケートを記入するまで知りませんでした。群馬県だからこそ発信でき自然環境や生物多様性の豊かさを発信できるのではと思います。
- ・群馬の特性を、GX、DXをかけあわせる事で、群馬がリーダーシップをとっていけると思いました。より強みをアピールできると思います。
- ・具体的な取組を通じてどのような効果が得られたのか、事例を紹介するような冊子などを配布してもらえたら、よいのではないかと思います。